

IV 第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画策定
に関する調査

IV 第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画策定に関する調査

IV-1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

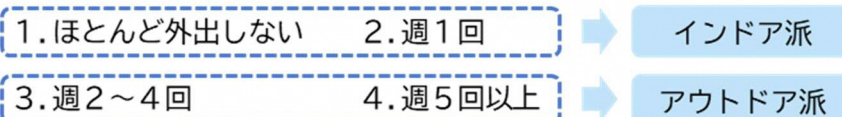
○「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析について

本報告書は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することに主眼を置き、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」へとつなげていくための、基礎調査として位置づけられています。

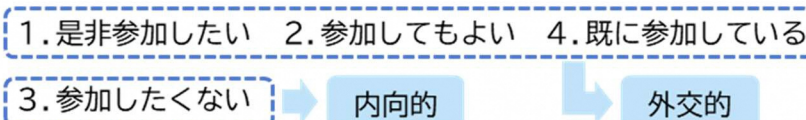
フレイルとは加齢とともに体や心の働き、社会的なつながりなどが弱くなった状態のことを指し、予防に取り組むことでその進行を緩め健康な状態に戻すことも可能であることから、高齢者をタイプ別に分類し、虚弱高齢者を把握する項目とのクロス集計・分析を行います。

なお、高齢者の「タイプ別分類別」は、下記に示すように問「週に1回以上は外出していますか」及び問「健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の設問より判定しています。

問 週に1回以上は外出していますか。



問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



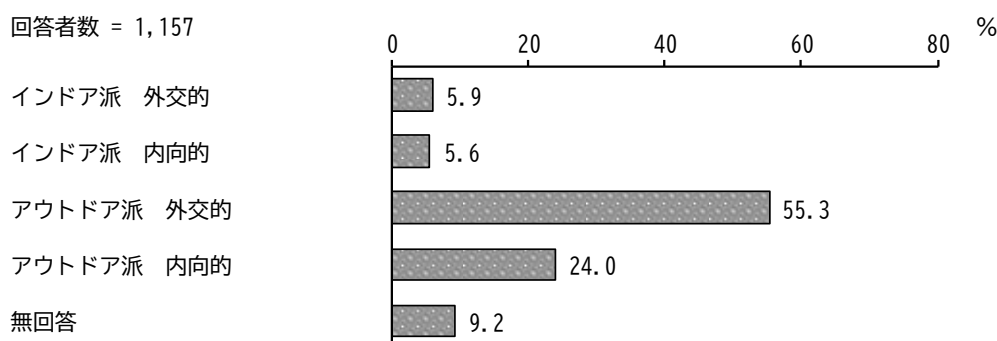
タイプ別分類	特性	想定される事業の方向性
インドア派 外交的	現在は、自宅の中で楽しむ志向が強いが、潜在的な外交的志向がある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・ボランティア等への参加促進 など
インドア派 内向的	現在、今後も、自宅の中で楽しむ志向が強い	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など
アウトドア派 外交的	自宅の外で楽しむ志向が強く、外交的志向もある	・介護予防事業、サロンへの参加促進 ・各種事業の運営者との育成支援 ・ボランティア等への参加促進 など
アウトドア派 内向的	自宅の外で楽しむ志向が強いが、外交的志向はあまりない	・介護予防など健康情報の提供 ・生涯学習情報の提供 ・在宅生活を支援するための情報提供 など

〔活動タイプ別、対人関係別分類によるフレイル予防・介護予防〕



高齢者の外出タイプ別

「アウトドア派 外交的」の割合が55.3%と最も高く、次いで「アウトドア派 内向的」の割合が24.0%となっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、男女とも年齢が高くなるにつれ「アウトドア派 外交的」の割合が低くなる傾向がみられます。また、女性の85歳以上で「インドア派 外交的」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	インドア派 外交的	インドア派 内向的	アウトドア派 外交的	アウトドア派 内向的	無回答
全 体	1,157	5.9	5.6	55.3	24.0	9.2
女性-65～74歳	286	2.8	1.7	63.6	24.8	7.0
女性-75～84歳	248	8.5	4.0	57.7	19.8	10.1
女性-85歳以上	92	15.2	16.3	38.0	20.7	9.8
男性-65～74歳	247	2.8	4.9	56.7	27.9	7.7
男性-75～84歳	184	7.6	7.1	50.5	25.5	9.2
男性-85歳以上	65	6.2	13.8	46.2	20.0	13.8

【日常生活圏域別】

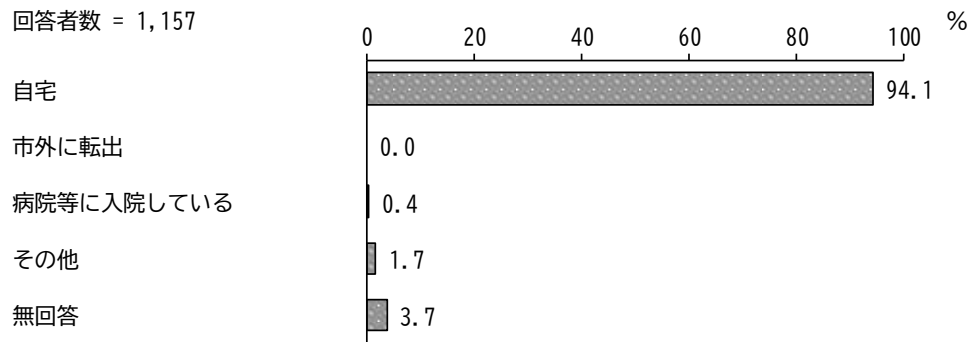
日常生活圏域別にみると、他に比べ、北東圏域で「アウトドア派外交的」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	インドア派 外交的	インドア派 内向的	アウトドア派 外交的	アウトドア派 内向的	無回答
全 体	1,157	5.9	5.6	55.3	24.0	9.2
北西圏域	137	2.2	7.3	56.2	25.5	8.8
北東圏域	320	6.6	4.1	61.9	20.0	7.5
南西圏域	335	7.8	5.4	54.3	23.9	8.7
南東圏域	317	5.7	7.3	49.2	26.8	11.0

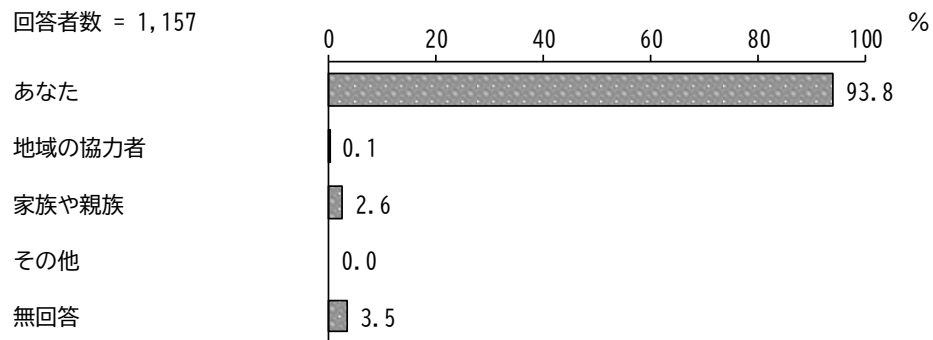
◆あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)

「自宅」の割合が94.1%と最も高くなっています。



◆この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

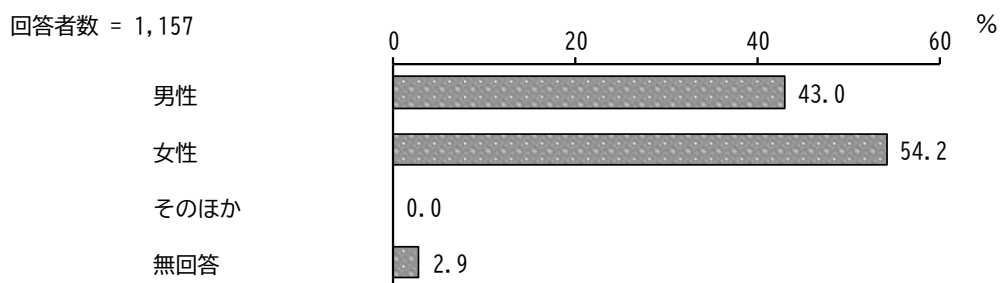
「あなた」の割合が93.8%と最も高くなっています。



1. 回答者属性

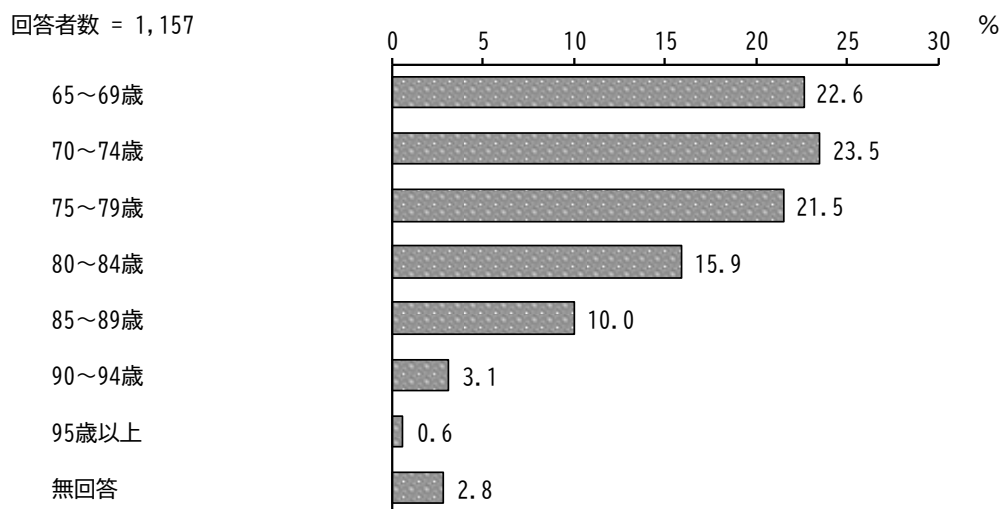
F 1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「女性」の割合が54.2%、「男性」の割合が43.0%となっています。



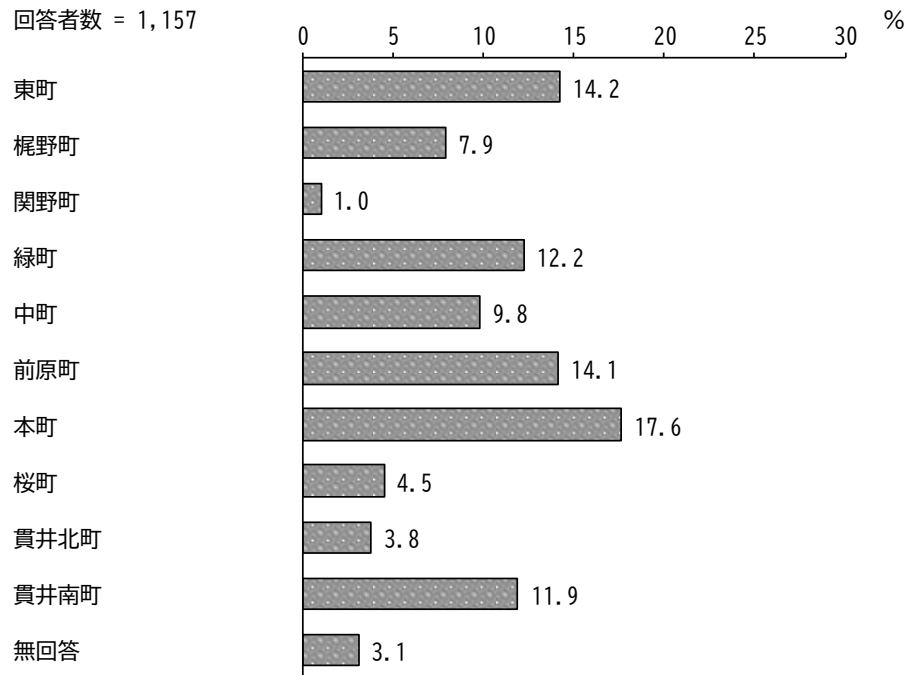
F 2 あなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

「70～74歳」の割合が23.5%と最も高く、次いで「65～69歳」の割合が22.6%、「75～79歳」の割合が21.5%となっています。



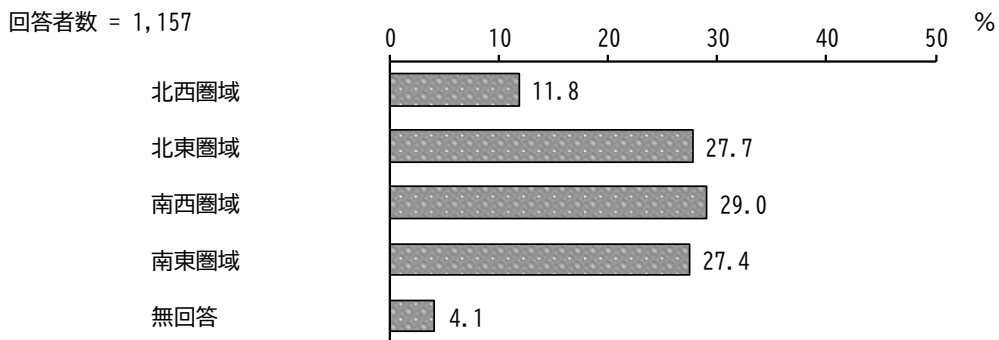
F3 あなたはどちらにお住まいですか。(1つに○)

「本町」の割合が17.6%と最も高く、次いで「東町」の割合が14.2%、「前原町」の割合が14.1%となっています。



【日常生活圏域】

日常生活圏域については、「南西圏域」の割合が29.0%と最も高く、次いで「北東圏域」の割合が27.7%、「南東圏域」の割合が27.4%となっています。



【家族構成別】

家族構成別にみると、北西圏域で夫婦二人暮らし（配偶者 64 歳以下）の割合が高くなっています。南西圏域、南東圏域は一人暮らしの割合が最も高く、次いで、夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）が高くなっています。北東圏域は息子・娘との二世帯が最も高くなっています。

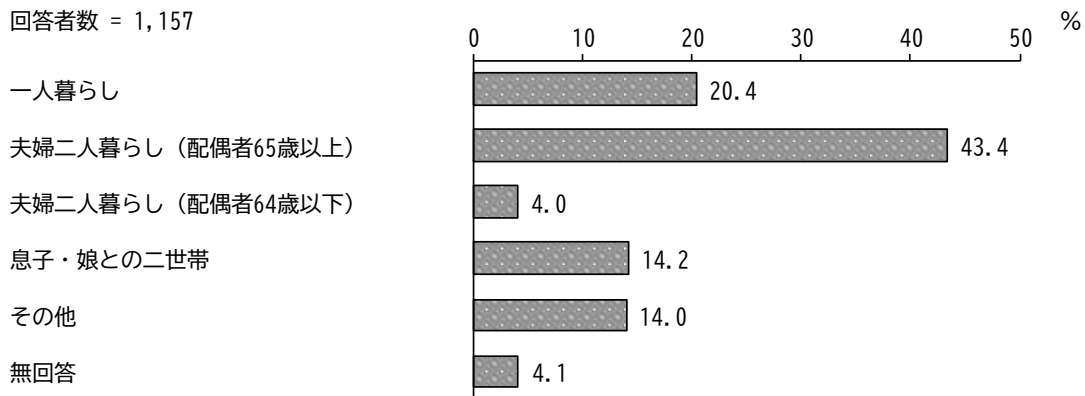
単位：%

区分	回答者数 (件)	北西圏域	北東圏域	南西圏域	南東圏域	無回答
全 体	1,157	11.8	27.7	29.0	27.4	4.1
一人暮らし	236	8.9	27.5	30.5	28.4	4.7
夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）	502	11.8	27.3	29.7	27.9	3.4
夫婦二人暮らし（配偶者 64 歳以下）	46	21.7	28.3	19.6	19.6	10.9
息子・娘との二世帯	164	12.2	30.5	27.4	27.4	2.4
その他	162	13.6	27.2	28.4	25.9	4.9

2. 家族や生活状況について

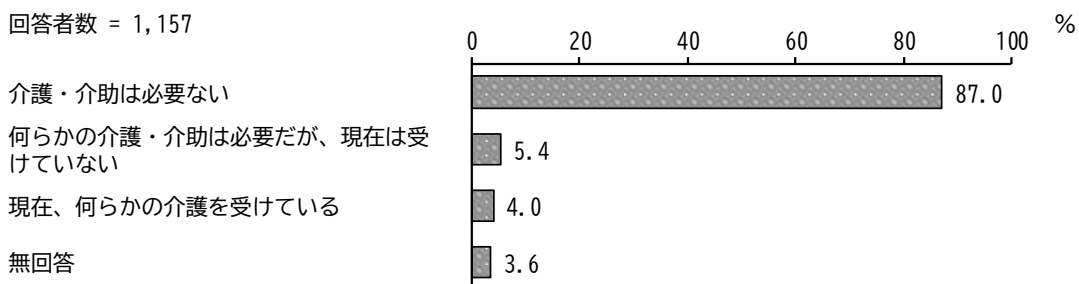
問1 (1) あなたの家族構成をお教えてください。(1つに○)

「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が43.4%と最も高く、次いで「一人暮らし」の割合が20.4%、「息子・娘との二世帯」の割合が14.2%となっています。



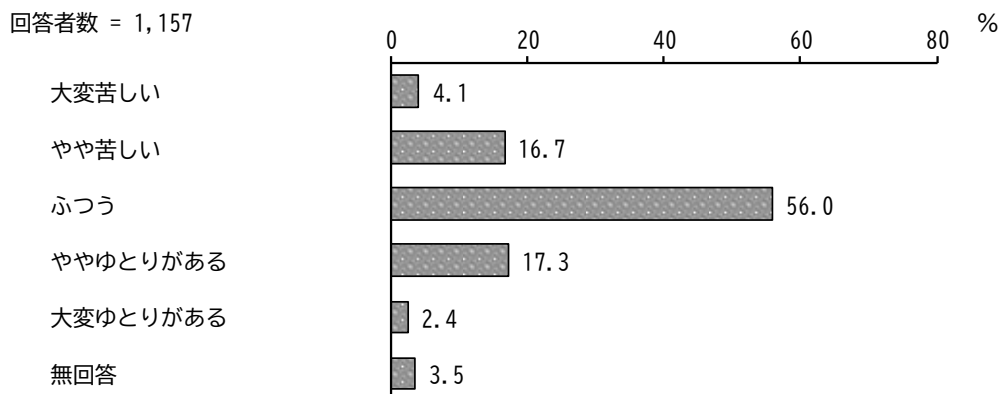
問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

「介護・介助は必要ない」の割合が87.0%と最も高くなっています。



問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

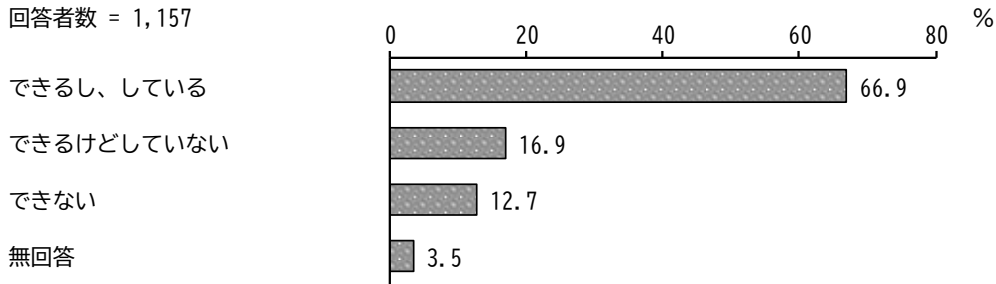
「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が20.8%、「ふつう」の割合が56.0%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”の割合が19.7%となっています。



3. からだを動かすことについて

問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（1つに○）

「できるし、している」の割合が66.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が16.9%、「できない」の割合が12.7%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

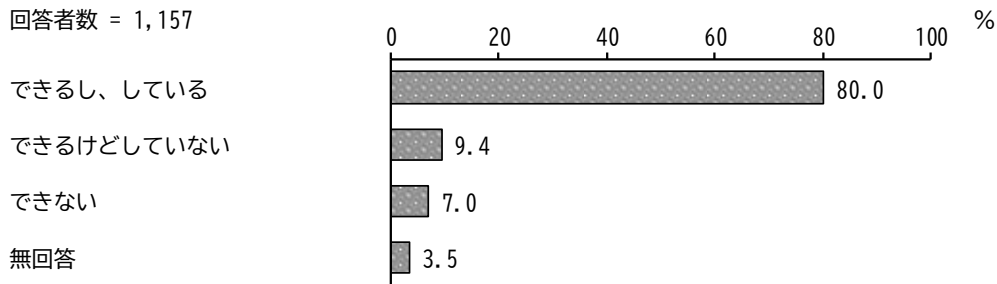
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「できない」の割合が高くなっています。また、インドア派外交的、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全 体	1,157	66.9	16.9	12.7	3.5
インドア派 外交的	68	41.2	22.1	33.8	2.9
インドア派 内向的	65	32.3	23.1	43.1	1.5
アウトドア派 外交的	640	75.5	16.7	7.5	0.3
アウトドア派 内向的	278	70.1	15.8	14.0	—

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

「できるし、している」の割合が80.0%と最も高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

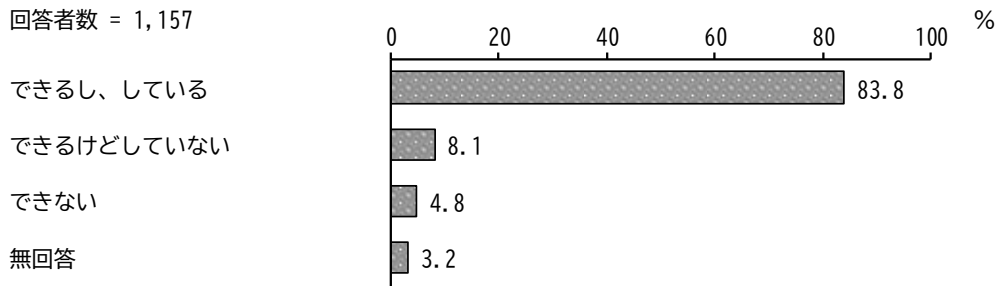
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派外交的で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,157	80.0	9.4	7.0	3.5
インドア派 外交的	68	64.7	19.1	13.2	2.9
インドア派 内向的	65	49.2	18.5	30.8	1.5
アウトドア派 外交的	640	88.1	7.5	4.1	0.3
アウトドア派 内向的	278	80.6	11.5	6.8	1.1

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

「できるし、している」の割合が83.8%と最も高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

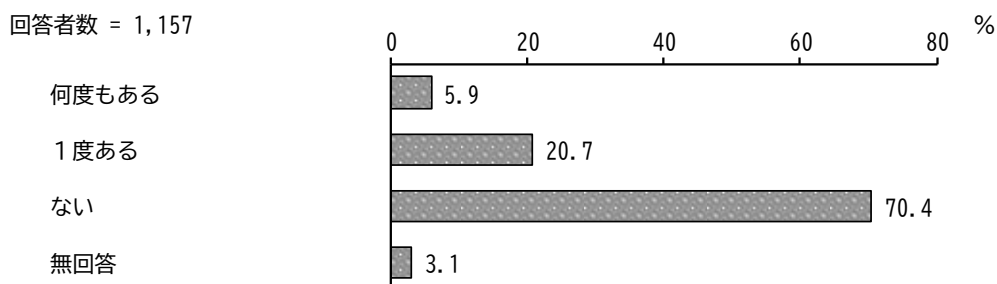
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、アウトドア派外交的、アウトドア派内向的で「できるし、している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,157	83.8	8.1	4.8	3.2
インドア派 外交的	68	61.8	22.1	16.2	—
インドア派 内向的	65	43.1	23.1	33.8	—
アウトドア派 外交的	640	92.7	5.6	1.6	0.2
アウトドア派 内向的	278	89.2	7.2	2.9	0.7

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

「ない」の割合が70.4%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が20.7%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

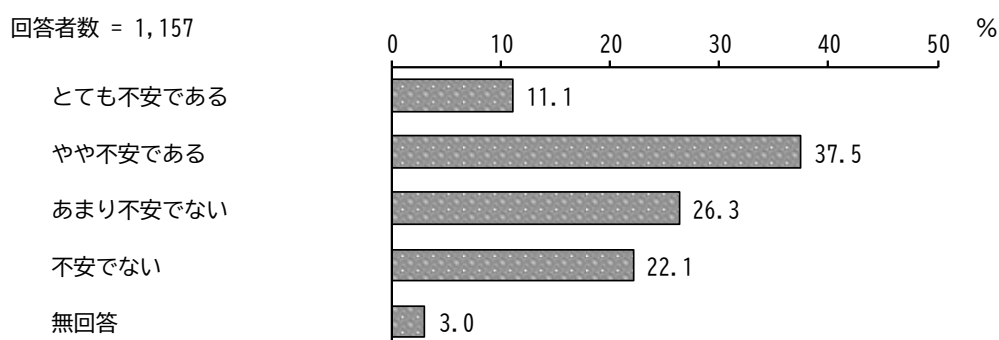
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「1度ある」の割合が、アウトドア派内向的で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	何度もある	1度ある	ない	無回答
全 体	1,157	5.9	20.7	70.4	3.1
インドア派 外交的	68	8.8	25.0	66.2	—
インドア派 内向的	65	15.4	33.8	50.8	—
アウトドア派 外交的	640	4.7	21.3	73.6	0.5
アウトドア派 内向的	278	7.2	17.3	75.5	—

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”の割合が48.6%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”の割合が48.4%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

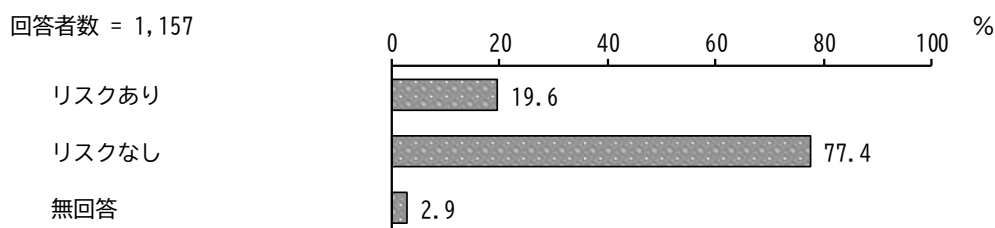
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派 外交的、インドア派 内向的で“不安である”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全 体	1,157	11.1	37.5	26.3	22.1	3.0
インドア派 外交的	68	14.7	52.9	25.0	5.9	1.5
インドア派 内向的	65	23.1	46.2	23.1	7.7	—
アウトドア派 外交的	640	10.2	37.2	28.3	24.2	0.2
アウトドア派 内向的	278	11.2	36.3	25.9	26.6	—

<転倒リスク者>

「リスクあり※」の割合が19.6%、「リスクなし※」の割合が77.4%となっています。



※ 「問2(4)「過去1年間に転んだ経験がありますか」の間で「何度もある」、「1度ある」と答えた方のうち、「問2(5)転倒に対する不安は大きいですか」の間で「とても不安である」、「やや不安である」と答えた方を「リスクあり」、それ以外の方を「リスクなし」に分類しています。

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「リスクあり」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	リスクあり	リスクなし	無回答
全 体	1,157	19.6	77.4	2.9
インドア派 外交的	68	32.4	67.6	—
インドア派 内向的	65	43.1	56.9	—
アウトドア派 外交的	640	18.0	81.9	0.2
アウトドア派 内向的	278	17.3	82.7	—

【性・年代別】

性・年代別にみると、他に比べ、女性-85歳以上、男性-85歳以上で「リスクあり」の割合が高くなっています。また、男性-65～74歳で「リスクなし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	リスクあり	リスクなし	無回答
全 体	1,157	19.6	77.4	2.9
女性-65～74歳	286	16.8	80.4	2.8
女性-75～84歳	248	20.6	75.8	3.6
女性-85歳以上	92	38.0	59.8	2.2
男性-65～74歳	247	10.9	86.2	2.8
男性-75～84歳	184	20.7	77.7	1.6
男性-85歳以上	65	33.8	63.1	3.1

【日常生活圏域別】

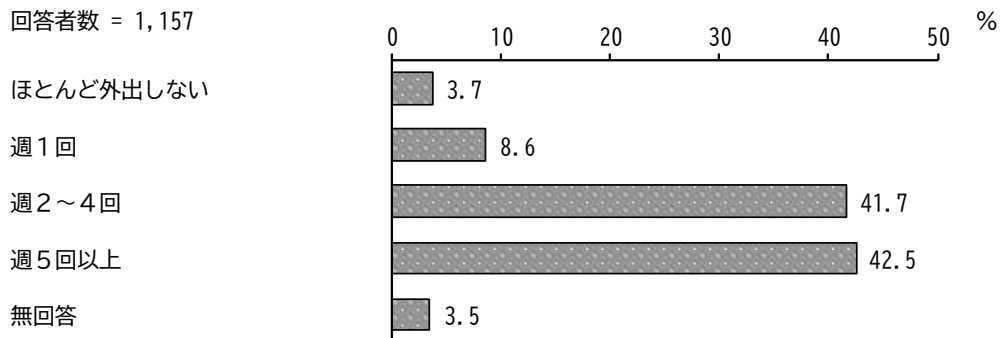
日常生活圏域別にみると、他に比べ、北西圏域で「リスクなし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	リスクあり	リスクなし	無回答
全 体	1,157	19.6	77.4	2.9
北西圏域	137	15.3	82.5	2.2
北東圏域	320	19.7	77.8	2.5
南西圏域	335	19.1	77.9	3.0
南東圏域	317	22.4	74.1	3.5

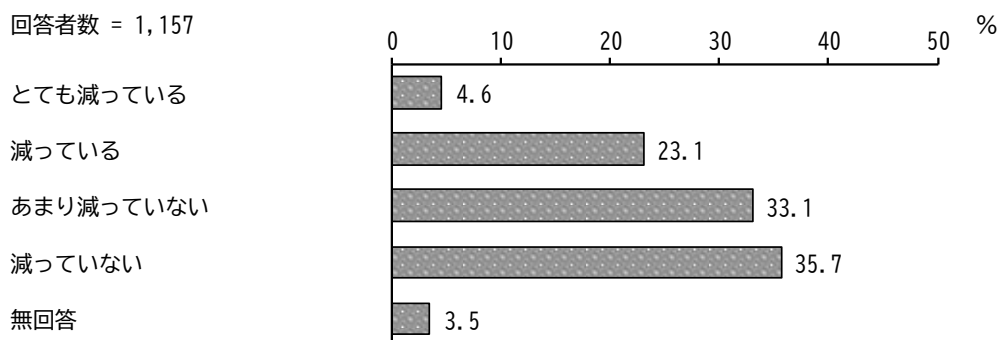
問2（6）週に1回以上は外出していますか。（1つに○）

「週5回以上」の割合が42.5%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が41.7%となっています。



問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つに○）

「減っていない」の割合が35.7%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が33.1%、「減っている」の割合が23.1%となっています。



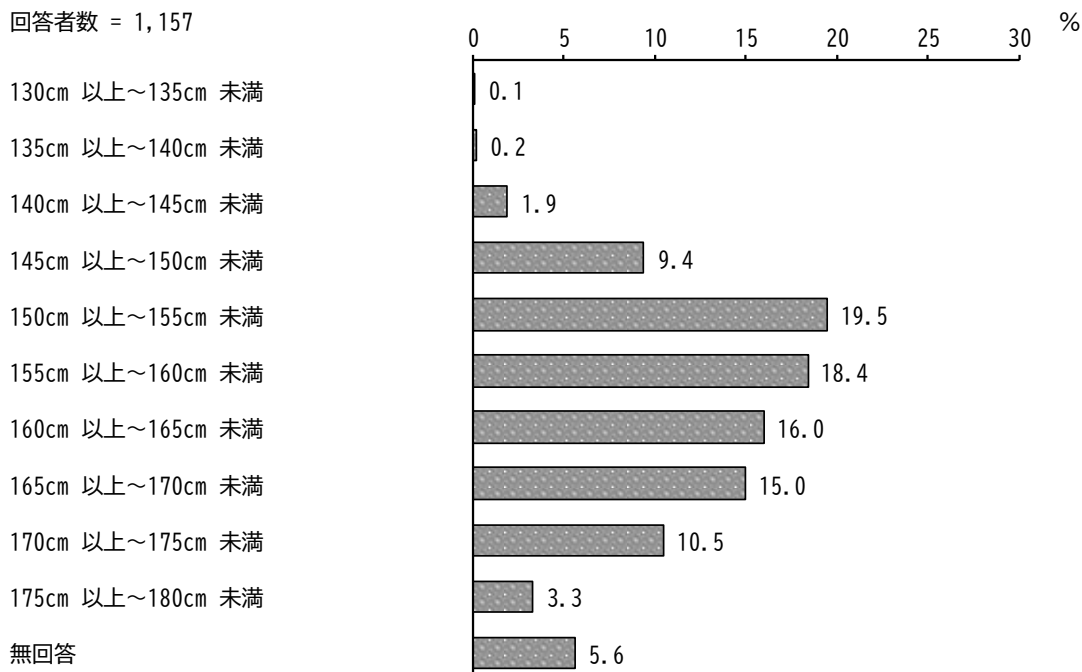
4. 食べることについて

問3 (1) 身長・体重

(1) 身長

「150cm 以上～155cm 未満」の割合が19.5%と最も高く、次いで「155cm 以上～160cm 未満」の割合が18.4%、「160cm 以上～165cm 未満」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 1,157



【性・年代別】

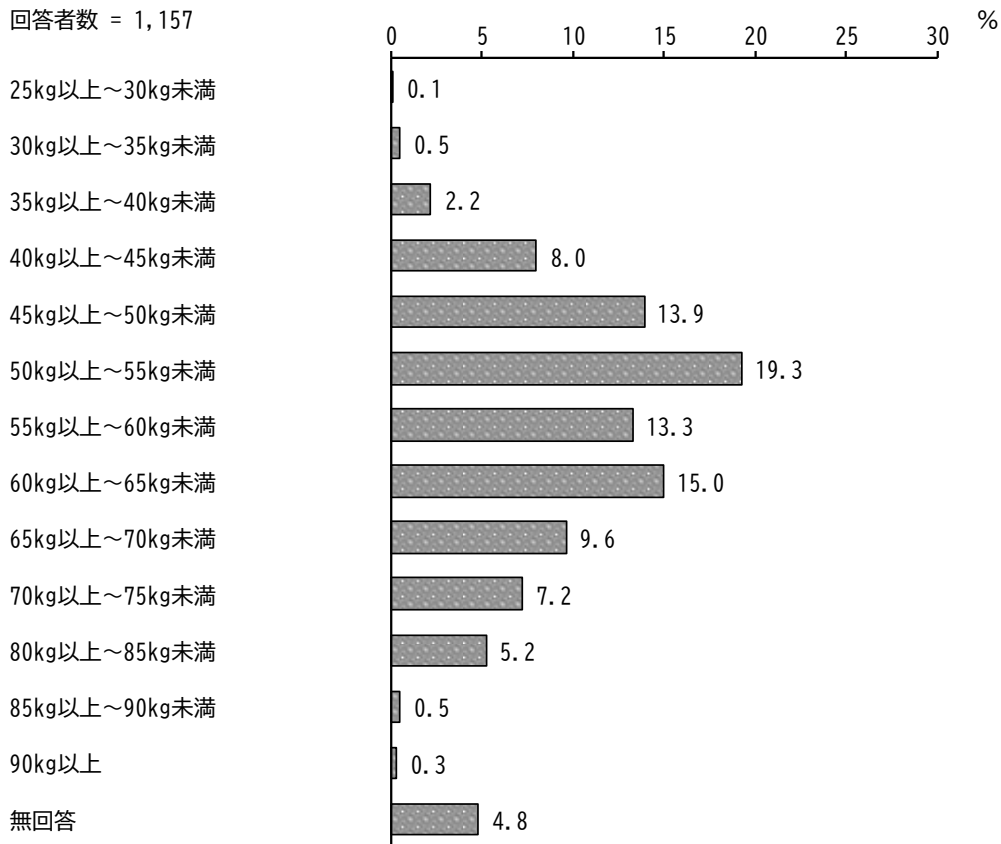
性・年代別にみると、他に比べ、男性-65～74歳で「165cm 以上～170cm 未満」「170cm 以上～175cm 未満」の割合が、女性-75～84歳で「150cm 以上～155cm 未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	130cm以上～135cm未満	135cm以上～140cm未満	140cm以上～145cm未満	145cm以上～150cm未満	150cm以上～155cm未満	155cm以上～160cm未満	160cm以上～165cm未満	165cm以上～170cm未満	170cm以上～175cm未満	175cm以上～180cm未満	無回答
全体	1,157	0.1	0.2	1.9	9.4	19.5	18.4	16.0	15.0	10.5	3.3	5.6
女性-65～74歳	286	—	—	1.0	9.4	33.6	32.9	16.1	2.1	0.7	—	4.2
女性-75～84歳	248	0.4	0.4	2.8	20.2	36.7	24.2	7.7	1.2	—	—	6.5
女性-85歳以上	92	—	1.1	12.0	29.3	26.1	16.3	3.3	1.1	—	—	10.9
男性-65～74歳	247	—	—	—	—	0.4	2.8	17.0	36.8	28.3	8.5	6.1
男性-75～84歳	184	—	—	—	—	1.1	9.2	28.8	30.4	20.1	7.1	3.3
男性-85歳以上	65	—	—	—	1.5	12.3	27.7	26.2	18.5	9.2	1.5	3.1

(2) 体重

「50kg 以上～55kg 未満」の割合が 19.3%と最も高く、次いで「60kg 以上～65kg 未満」の割合が 15.0%、「45kg 以上～50kg 未満」の割合が 13.9%となっています。



【性・年代別】

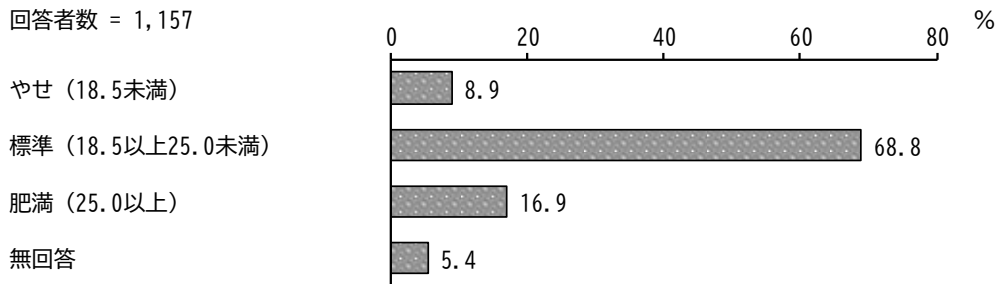
性・年代別にみると、他に比べ、女性-75～84歳で「45kg 以上～50kg 未満」の割合が、女性-65～74歳で「45kg 以上～50kg 未満」「50kg 以上～55kg 未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	25kg以上～30kg未満	30kg以上～35kg未満	35kg以上～40kg未満	40kg以上～45kg未満	45kg以上～50kg未満	50kg以上～55kg未満	55kg以上～60kg未満	60kg以上～65kg未満	65kg以上～70kg未満	70kg以上～75kg未満	80kg以上～85kg未満	85kg以上～90kg未満	90kg以上	無回答	
全体	1,157	0.1	0.5	2.2	8.0	13.9	19.3	13.3	15.0	9.6	7.2	5.2	0.5	0.3	4.8	
女性-65～74歳	286	—	0.3	1.7	11.9	23.4	28.7	12.2	10.1	3.8	1.0	1.7	0.3	—	4.5	
女性-75～84歳	248	—	1.2	4.8	13.7	24.6	25.8	11.7	11.7	8.1	2.8	1.2	0.4	—	5.6	
女性-85歳以上	92	1.1	2.2	7.6	20.7	21.7	16.3	7.6	7.6	6.5	—	3.3	2.2	—	10.9	
男性-65～74歳	247	—	—	—	0.4	1.2	8.5	11.7	11.7	22.3	21.1	15.4	14.6	1.2	0.4	3.2
男性-75～84歳	184	—	—	—	0.5	2.2	10.9	19.0	19.0	23.9	15.8	15.8	7.1	0.5	1.6	2.7
男性-85歳以上	65	—	—	1.5	1.5	6.2	26.2	13.8	13.8	21.5	15.4	7.7	3.1	—	—	3.1

(3) BMI

「標準 (18.5 以上 25.0 未満)」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「肥満 (25.0 以上)」の割合が 16.9%となっています。



【性・年代別】

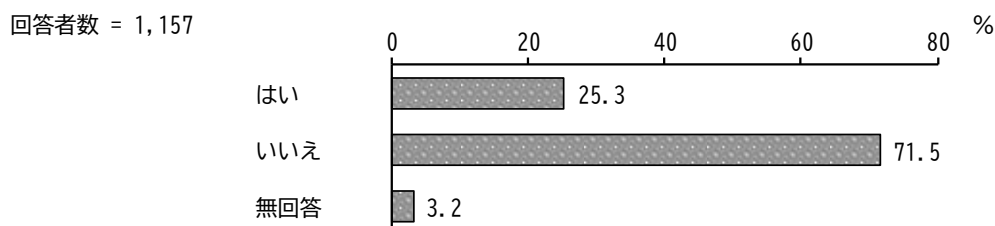
性・年代別にみると、他に比べ、男性-85歳以上で「肥満 (25.0 以上)」の割合が、男性-65～74歳で「肥満 (25.0 以上)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	やせ (18.5 未満)	標準 (18.5 以上 25.0 未満)	肥満 (25.0 以上)	無回答
全 体	1,157	8.9	68.8	16.9	5.4
女性-65～74 歳	286	10.8	73.1	11.5	4.5
女性-75～84 歳	248	12.5	69.4	10.9	7.3
女性-85 歳以上	92	14.1	56.5	16.3	13.0
男性-65～74 歳	247	4.0	68.4	24.3	3.2
男性-75～84 歳	184	4.9	71.2	21.2	2.7
男性-85 歳以上	65	9.2	61.5	26.2	3.1

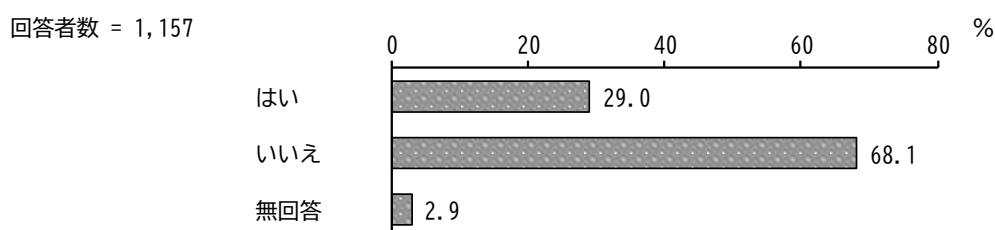
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

「はい」の割合が25.3%、「いいえ」の割合が71.5%となっています。



問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

「はい」の割合が29.0%、「いいえ」の割合が68.1%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派外交的、インドア派内向的で「はい」の割合が高くなっています。

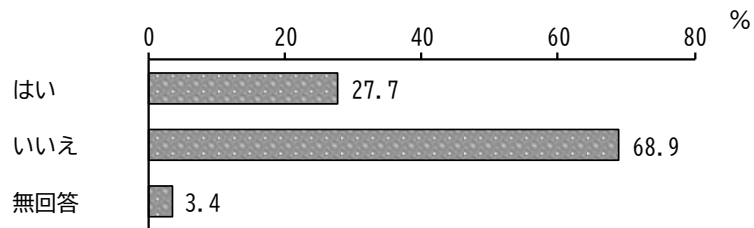
単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,157	29.0	68.1	2.9
インドア派 外交的	68	41.2	58.8	—
インドア派 内向的	65	38.5	60.0	1.5
アウトドア派 外交的	640	28.0	72.0	—
アウトドア派 内向的	278	29.1	70.9	—

問3（4）口の渴きが気になりますか。（1つに○）

「はい」の割合が27.7%、「いいえ」の割合が68.9%となっています。

回答者数 = 1,157



【高齢者の外出タイプ別】

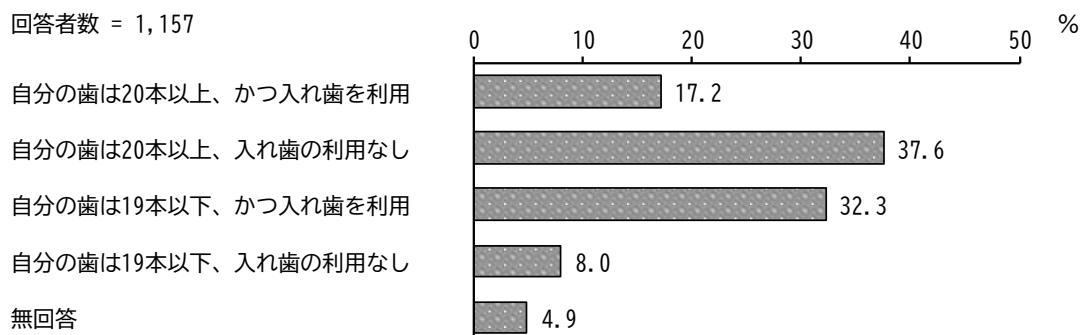
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、インドア派外交的で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,157	27.7	68.9	3.4
インドア派 外交的	68	33.8	66.2	—
インドア派 内向的	65	44.6	53.8	1.5
アウトドア派 外交的	640	27.2	72.2	0.6
アウトドア派 内向的	278	26.6	73.0	0.4

問3 (5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が37.6%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が32.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が17.2%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

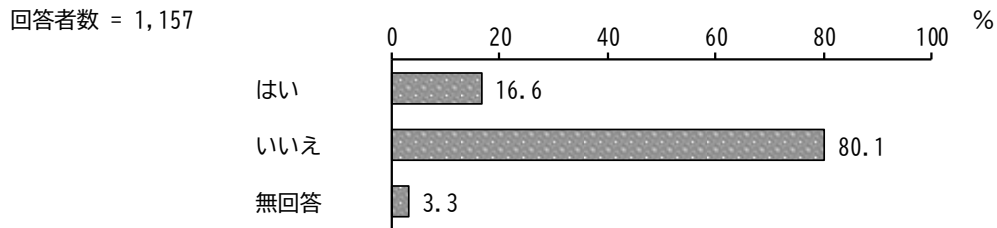
高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的で「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	無回答
全 体	1,157	17.2	37.6	32.3	8.0	4.9
インドア派 外交的	68	16.2	35.3	33.8	7.4	7.4
インドア派 内向的	65	13.8	20.0	47.7	18.5	—
アウトドア派 外交的	640	18.4	41.1	32.7	6.6	1.3
アウトドア派 内向的	278	16.5	38.1	32.4	10.1	2.9

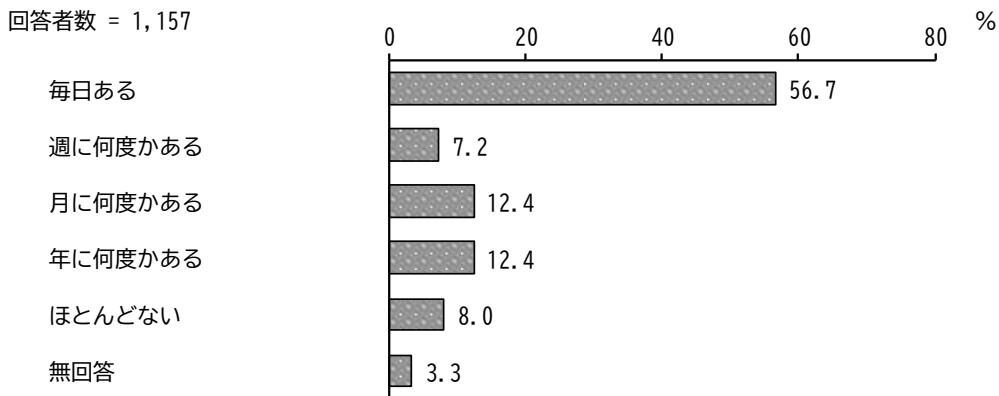
問3 (6) この半年間で2～3kg以上の体重減少はありましたか。(1つに○)

「はい」の割合が16.6%、「いいえ」の割合が80.1%となっています。



問3 (7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)

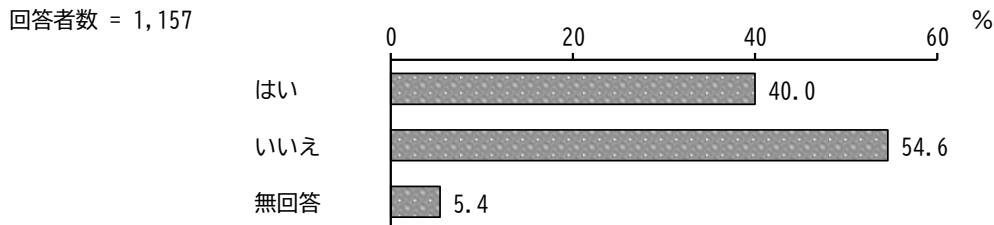
「毎日ある」の割合が56.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が12.4%、「年に何度かある」の割合が12.4%となっています。



5. 毎日の生活について

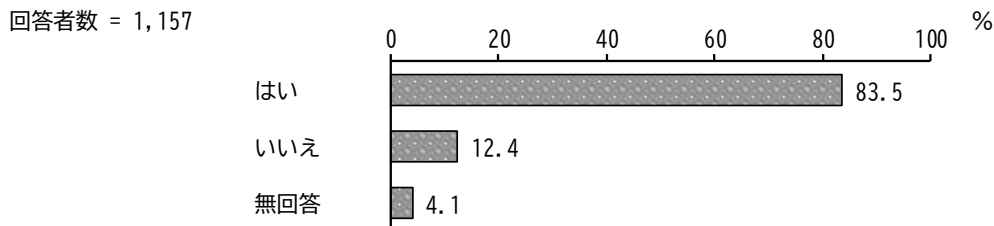
問4（1）物忘れが多いと感じますか。（1つに○）

「はい」の割合が40.0%、「いいえ」の割合が54.6%となっています。



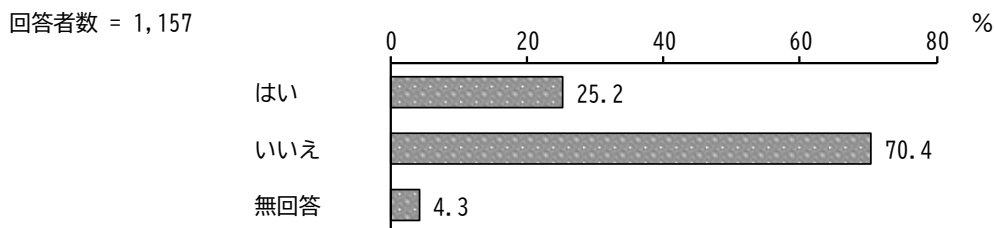
問4（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（1つに○）

「はい」の割合が83.5%、「いいえ」の割合が12.4%となっています。



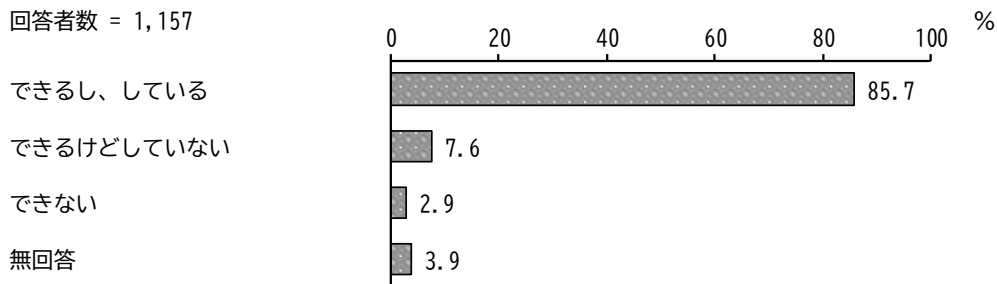
問4（3）今日が何月何日かわからない時がありますか。（1つに○）

「はい」の割合が25.2%、「いいえ」の割合が70.4%となっています。



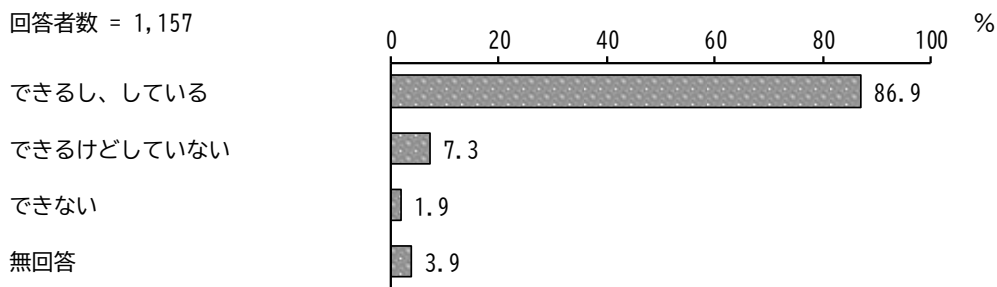
問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)

「できるし、している」の割合が85.7%と最も高くなっています。



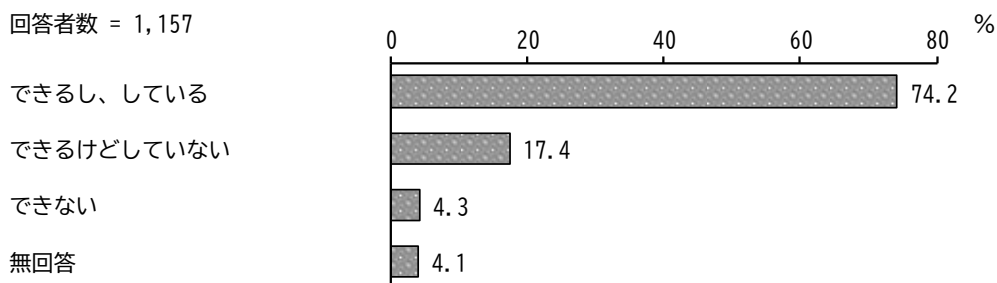
問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」の割合が86.9%と最も高くなっています。



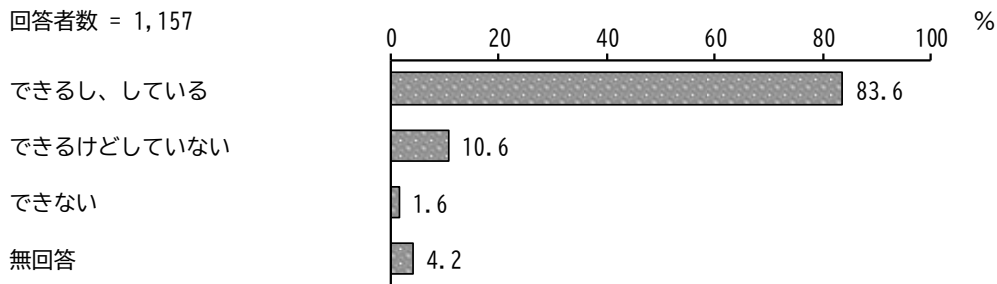
問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」の割合が74.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が17.4%となっています。



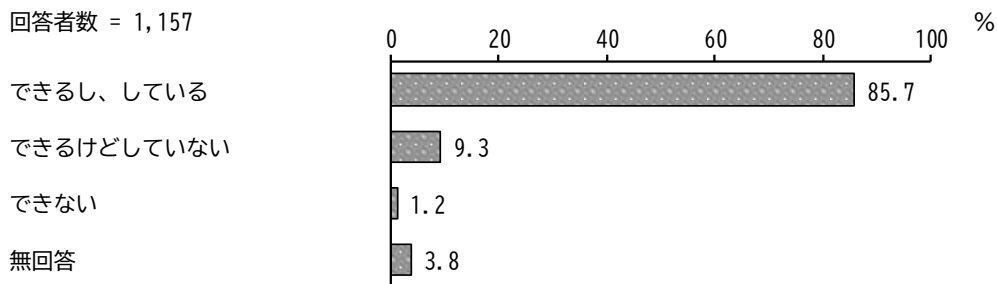
問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

「できるし、している」の割合が83.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が10.6%となっています。



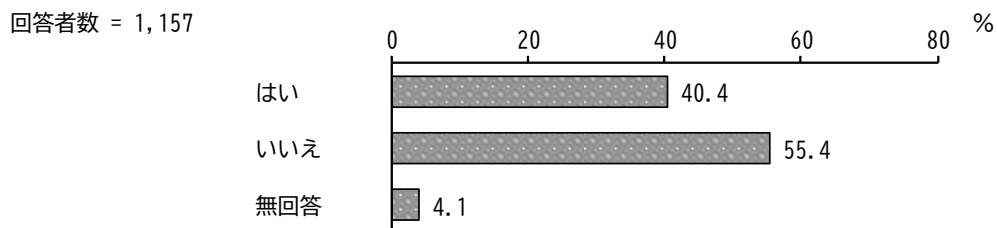
問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

「できるし、している」の割合が85.7%と最も高くなっています。



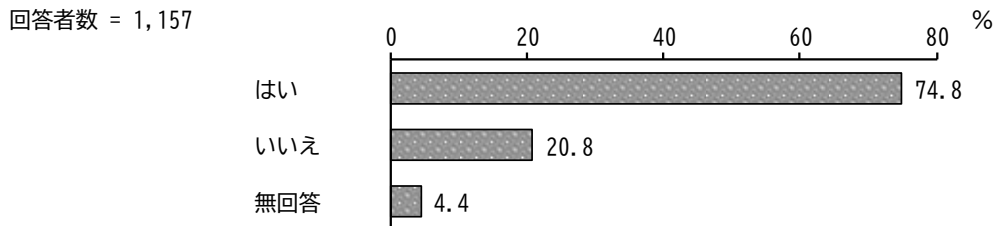
問4 (9) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

「はい」の割合が40.4%、「いいえ」の割合が55.4%となっています。



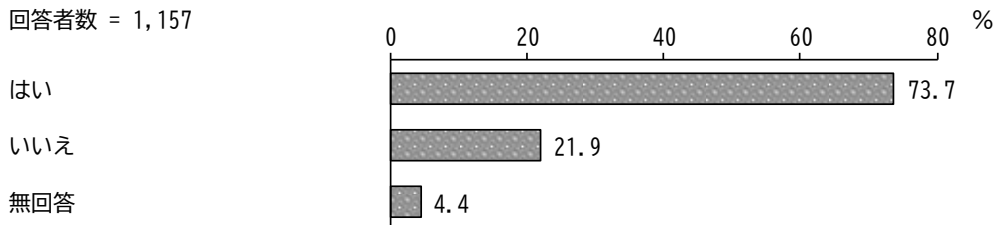
問4 (10) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)

「はい」の割合が74.8%、「いいえ」の割合が20.8%となっています。



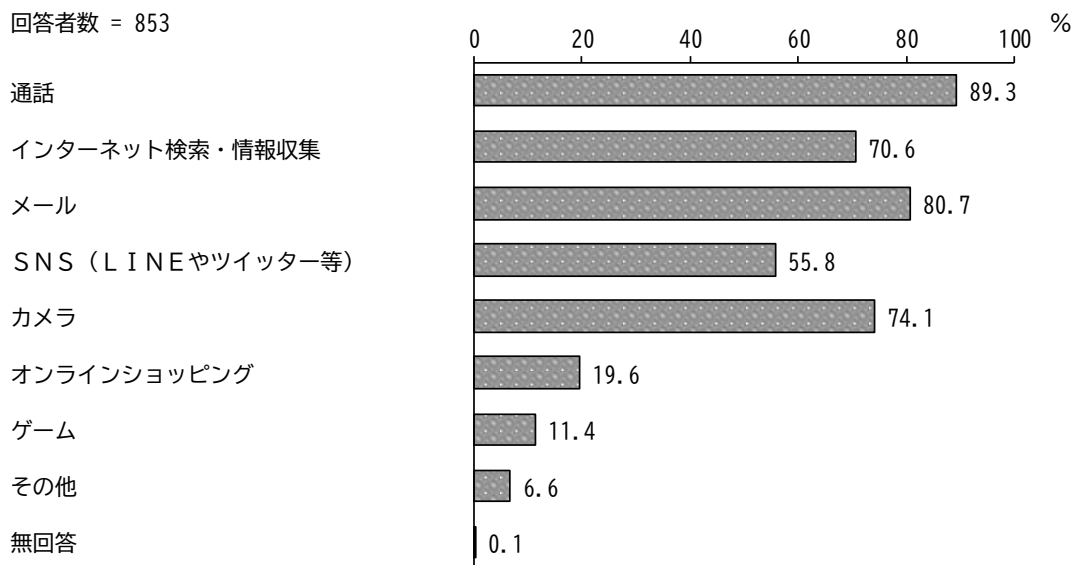
問4 (11) スマートフォンを持っていますか。(1つに○)

「はい」の割合が73.7%、「いいえ」の割合が21.9%となっています。



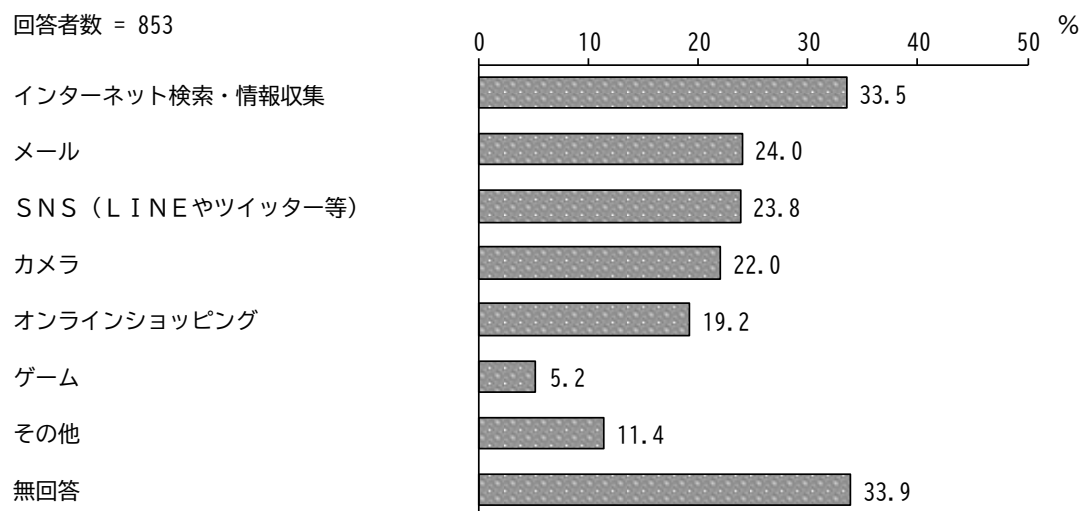
問4 (12) スマートフォンをお持ちの方にお聞きします。スマートフォンの主な利用目的は何ですか。(いくつでも○)

「通話」の割合が89.3%と最も高く、次いで「メール」の割合が80.7%、「カメラ」の割合が74.1%となっています。



問4 (13) スマートフォンをお持ちの方にお聞きします。スマートフォンで使えるようになりたい機能は何ですか。(いくつでも○)

「インターネット検索・情報収集」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「メール」の割合が 24.0%、「SNS (LINEやツイッター等)」の割合が 23.8%となっています。

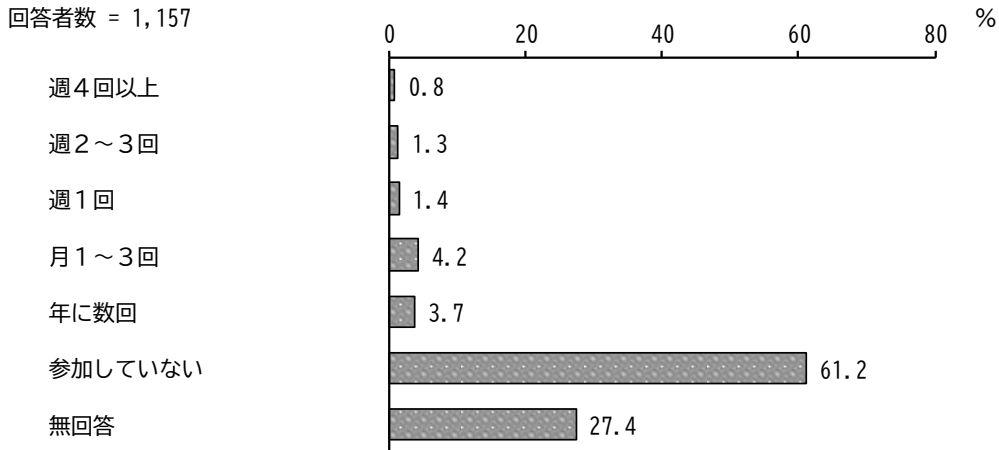


6. 地域での活動について

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

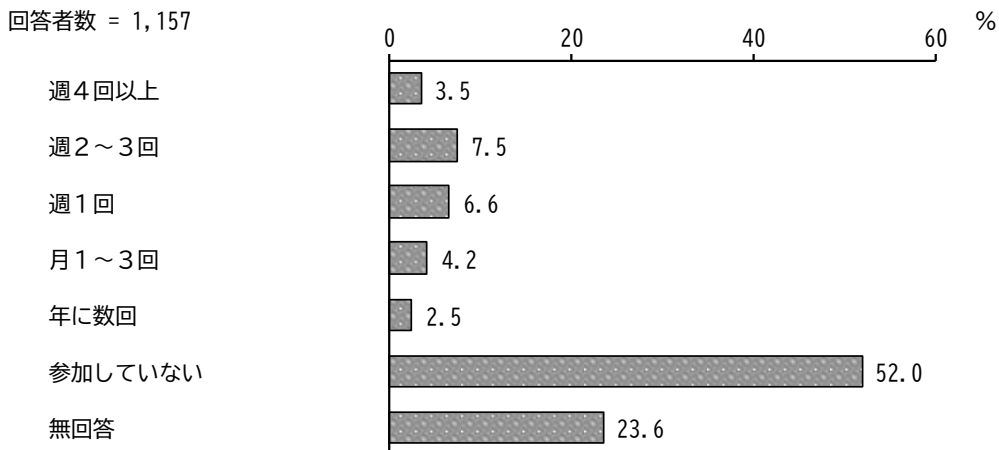
(1) ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が61.2%と最も高くなっています。



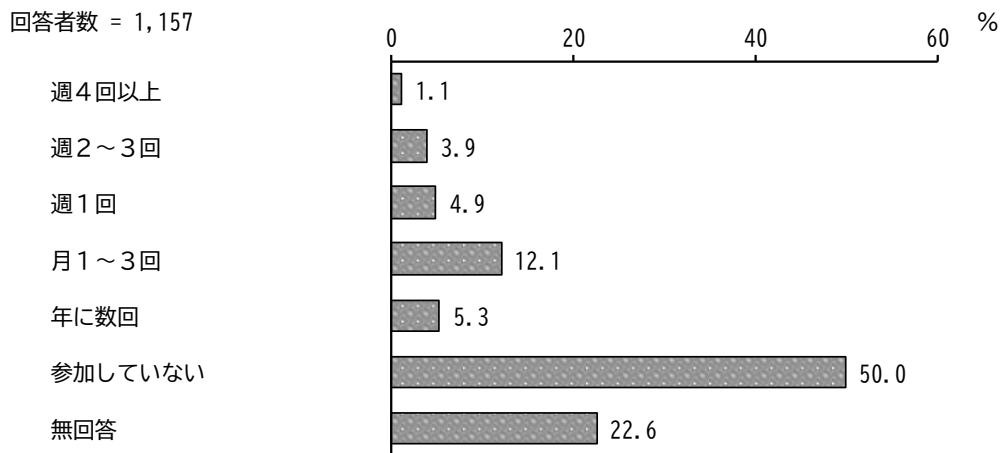
(2) スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が52.0%と最も高くなっています。



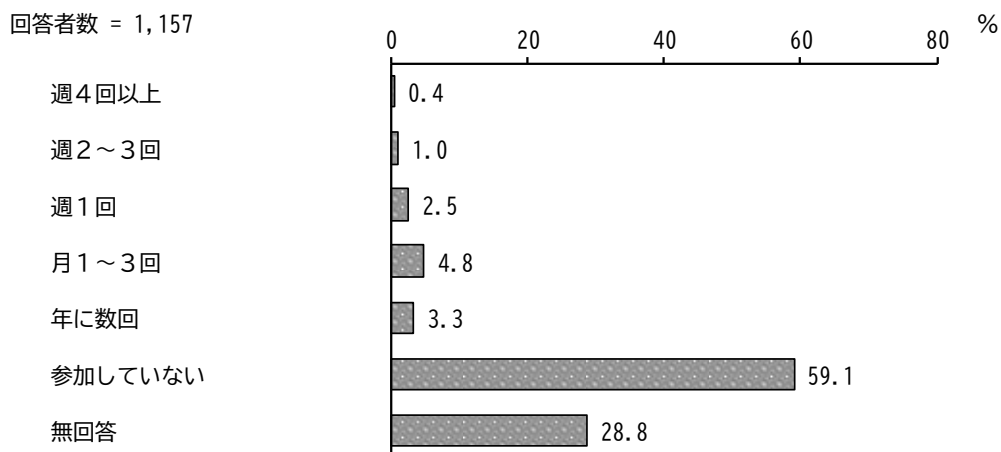
(3) 趣味関係のグループ

「参加していない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が12.1%となっています。



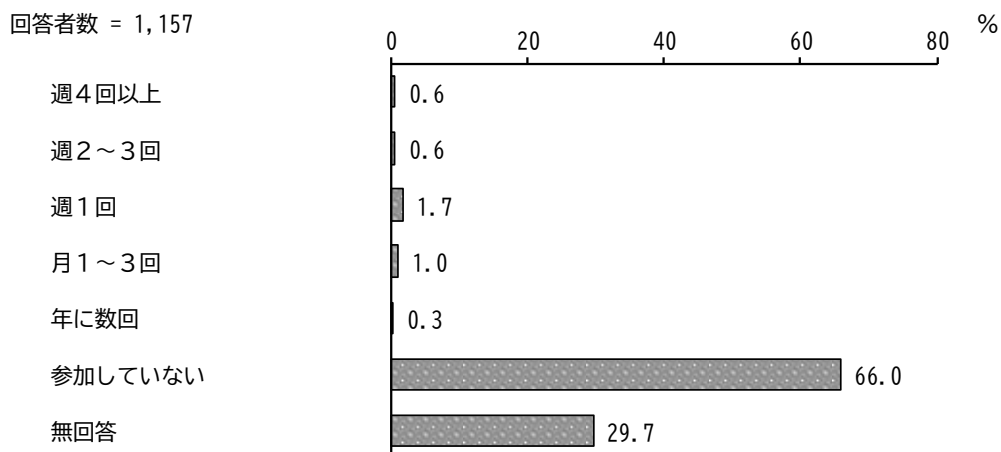
(4) 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が59.1%と最も高くなっています。



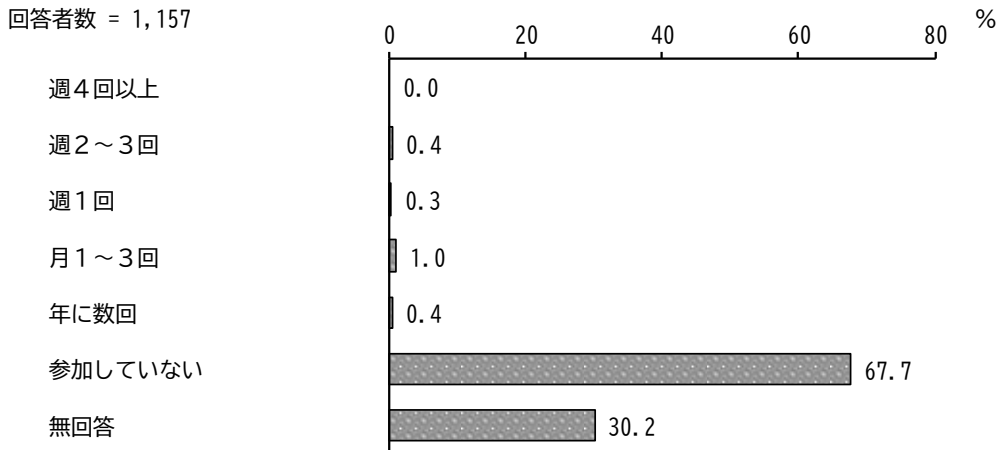
(5) さくら体操やサロン等の通いの場

「参加していない」の割合が66.0%と最も高くなっています。



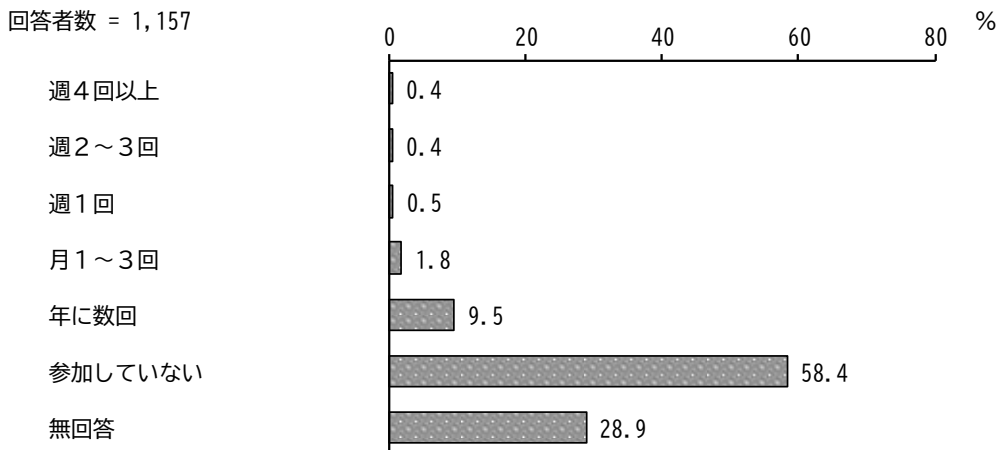
(6) 老人クラブ

「参加していない」の割合が67.7%と最も高くなっています。



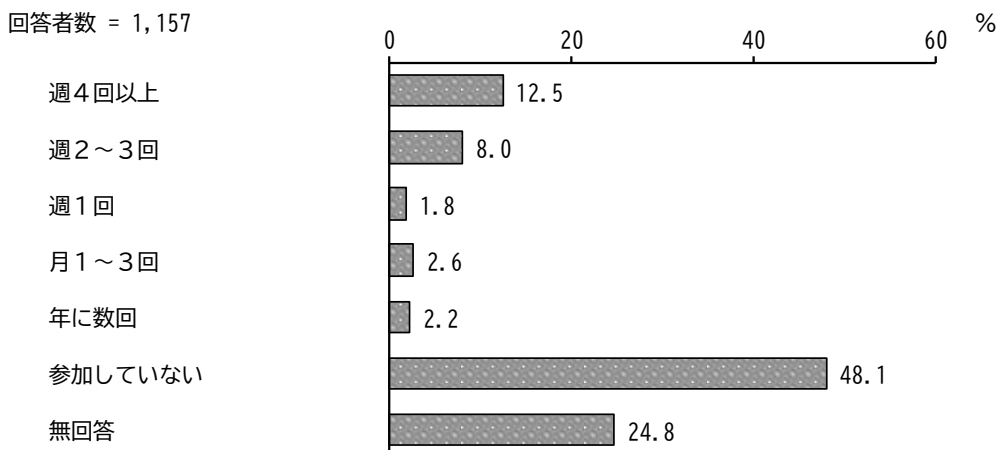
(7) 町内会・自治会

「参加していない」の割合が58.4%と最も高くなっています。



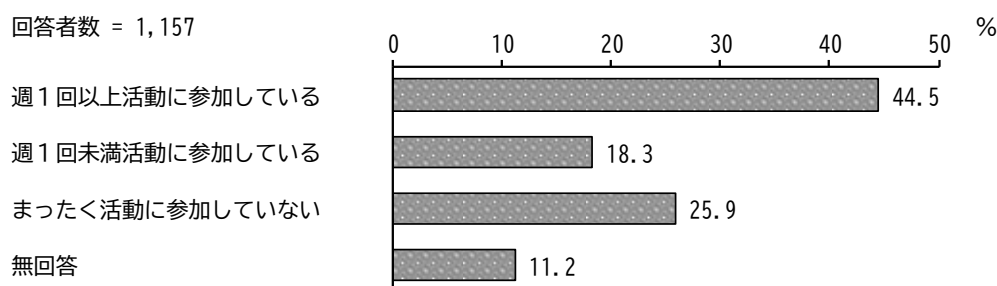
(8) 収入のある仕事

「参加していない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が12.5%となっています。



(9) 地域活動の参加状況

「週1回以上活動に参加している」の割合が44.5%と最も高く、次いで「まったく活動に参加していない」の割合が25.9%、「週1回未満活動に参加している」の割合が18.3%となっています。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、他に比べ、インドア派内向的、アウトドア派内向的で「まったく活動に参加していない」の割合が高くなっています。また、アウトドア派外交的で「週1回以上活動に参加している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	週1回以上活動に参加している	週1回未満活動に参加している	まったく活動に参加していない	無回答
全体	1,157	44.5	18.3	25.9	11.2
インドア派 外交的	68	22.1	25.0	38.2	14.7
インドア派 内向的	65	7.7	12.3	55.4	24.6
アウトドア派 外交的	640	58.8	20.3	17.3	3.6
アウトドア派 内向的	278	32.7	17.3	43.2	6.8

【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、0～6点で「まったく活動に参加していない」の割合が、7～10点で「週1回以上活動に参加している」の割合が高くなっています。

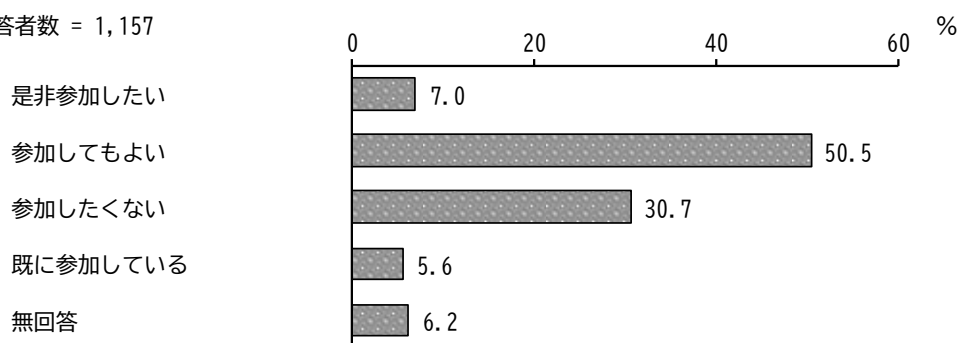
単位：％

区分	回答者数(件)	週1回以上活動に参加している	週1回未満活動に参加している	まったく活動に参加していない	無回答
全体	1,157	44.5	18.3	25.9	11.2
0～3点	30	20.0	16.7	50.0	13.3
4～6点	253	34.8	16.6	35.2	13.4
7～10点	782	48.5	18.8	22.1	10.6

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

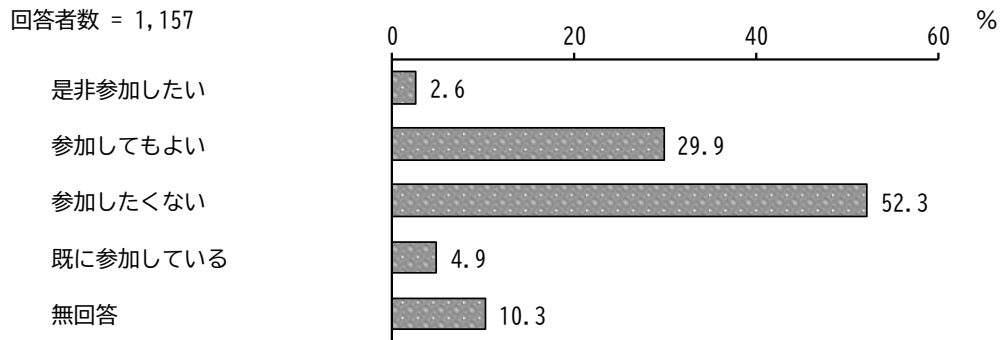
「参加してもよい」の割合が50.5%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が30.7%となっています。

回答者数 = 1,157



問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

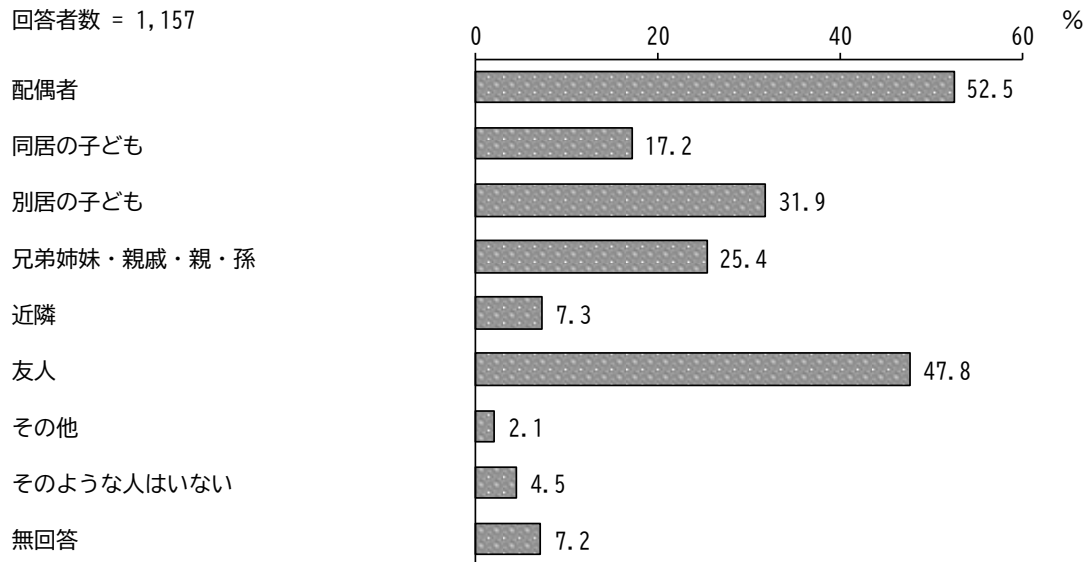
「参加したくない」の割合が52.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が29.9%となっています。



7. たすけあいについて

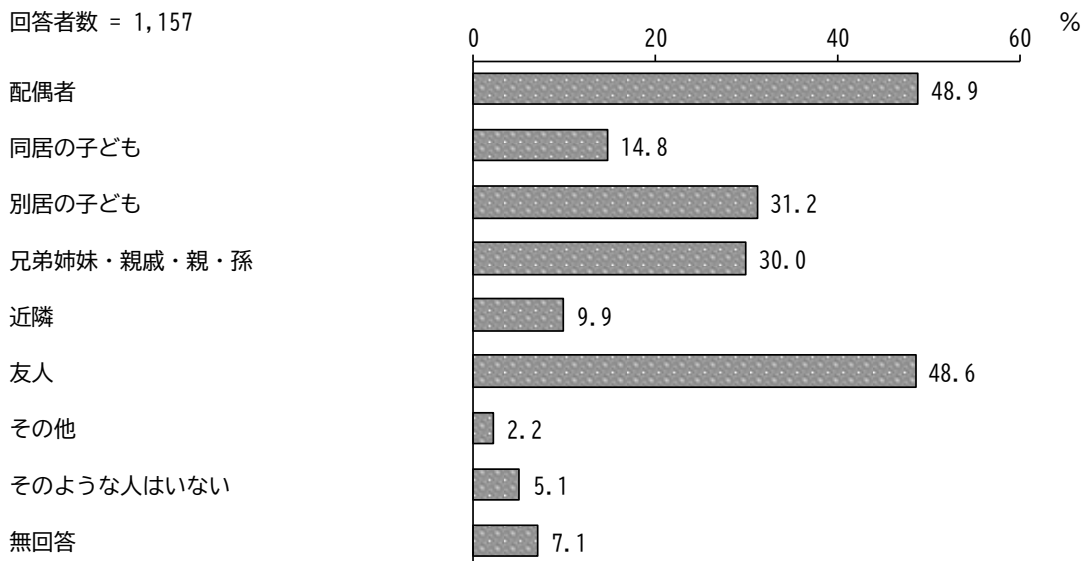
問6（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。

「配偶者」の割合が52.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が47.8%、「別居の子ども」の割合が31.9%となっています。



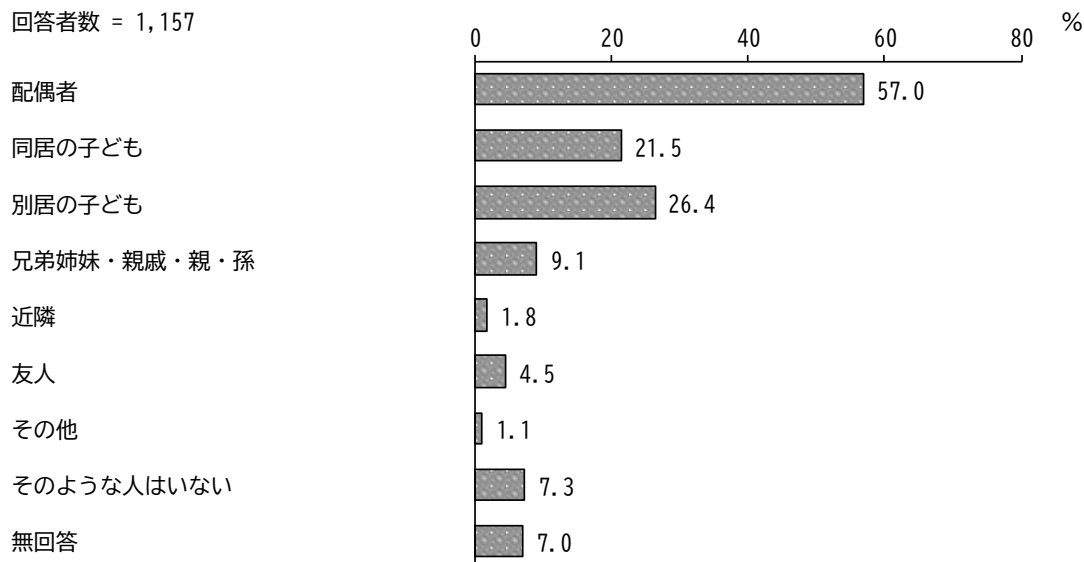
問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。

「配偶者」の割合が48.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が48.6%、「別居の子ども」の割合が31.2%となっています。



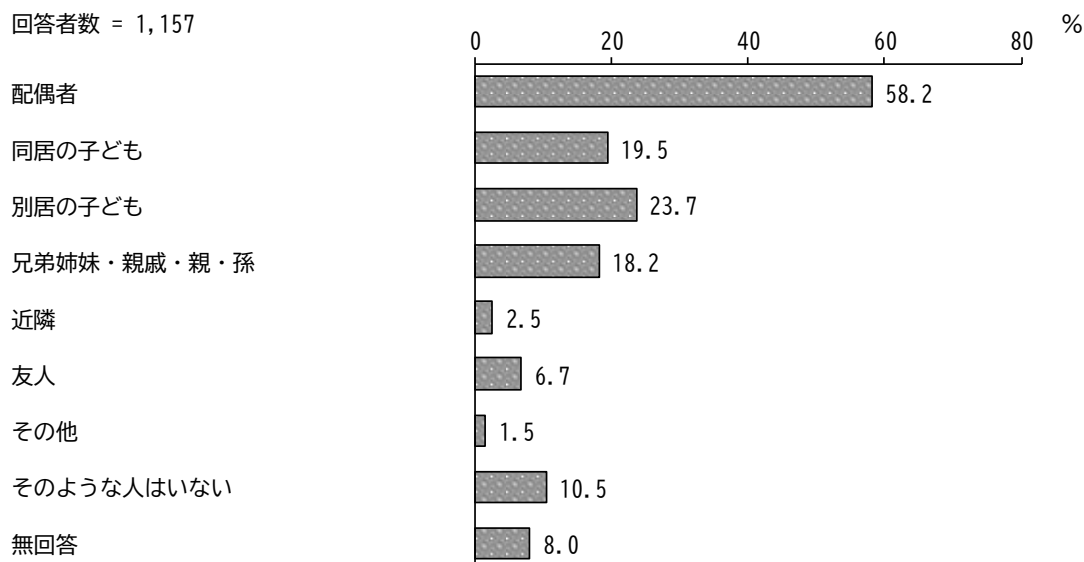
問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)

「配偶者」の割合が57.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が26.4%、「同居の子ども」の割合が21.5%となっています。



問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)

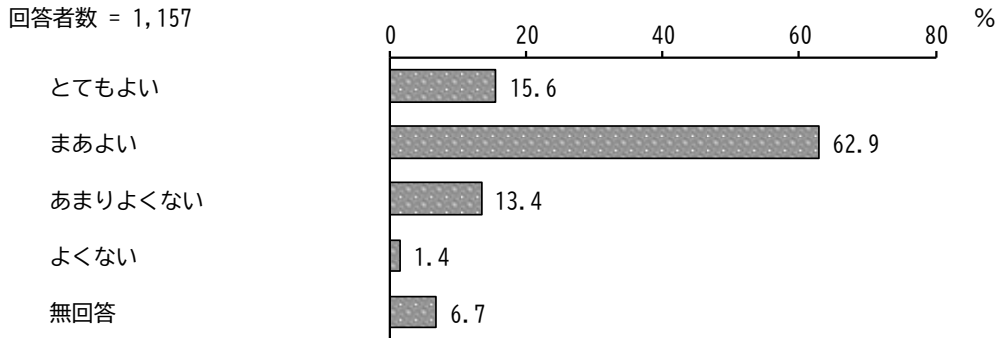
「配偶者」の割合が58.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が23.7%、「同居の子ども」の割合が19.5%となっています。



8. 健康について

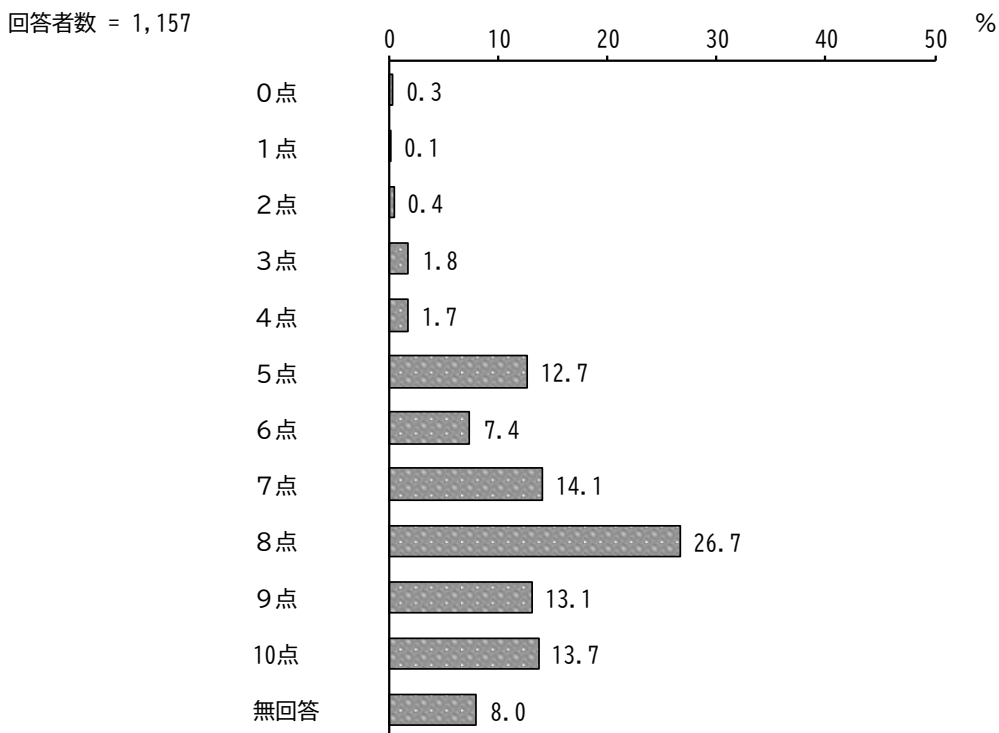
問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1つに○）

「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”の割合が78.5%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”の割合が14.8%となっています。



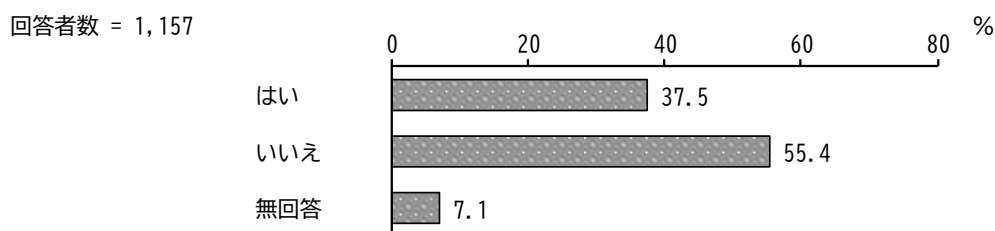
問7（2）あなたは、現在どの程度幸せですか。（当てはまる点数1つに○） （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「8点」の割合が26.7%と最も高く、次いで「7点」の割合が14.1%、「10点」の割合が13.7%となっています。



問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

「はい」の割合が37.5%、「いいえ」の割合が55.4%となっています。



【幸福度別】

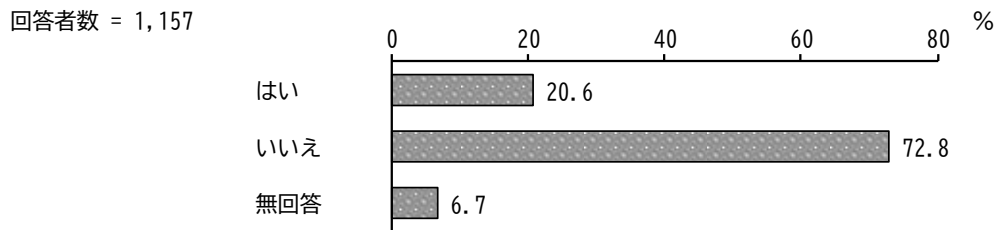
幸福度別にみると、幸福度の点数が低くなるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,157	37.5	55.4	7.1
0～3点	30	83.3	16.7	—
4～6点	253	55.3	43.5	1.2
7～10点	782	33.2	66.1	0.6

問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（1つに○）

「はい」の割合が20.6%、「いいえ」の割合が72.8%となっています。



【幸福度別】

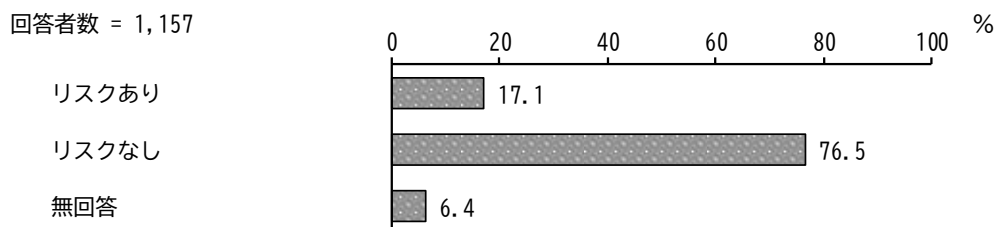
幸福度別にみると、幸福度の点数が低くなるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体	1,157	20.6	72.8	6.7
0～3点	30	80.0	20.0	—
4～6点	253	41.9	56.9	1.2
7～10点	782	13.3	86.6	0.1

<うつ傾向リスク者>

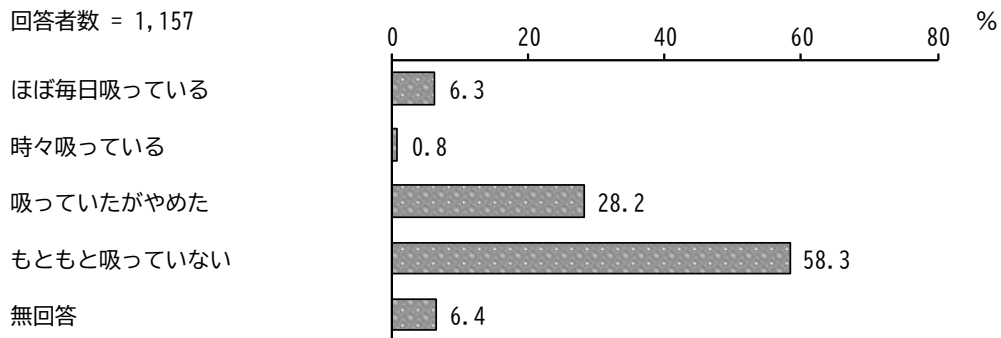
「リスクあり※」の割合が17.1%、「リスクなし※」の割合が76.5%となっています。



※ 「問7（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」「問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」の問のうち、どちらかで「はい」と答えた方を「リスクあり」、それ以外の方を「リスクなし」に分類しています。

問7 (5) タバコは吸っていますか。(1つに○)

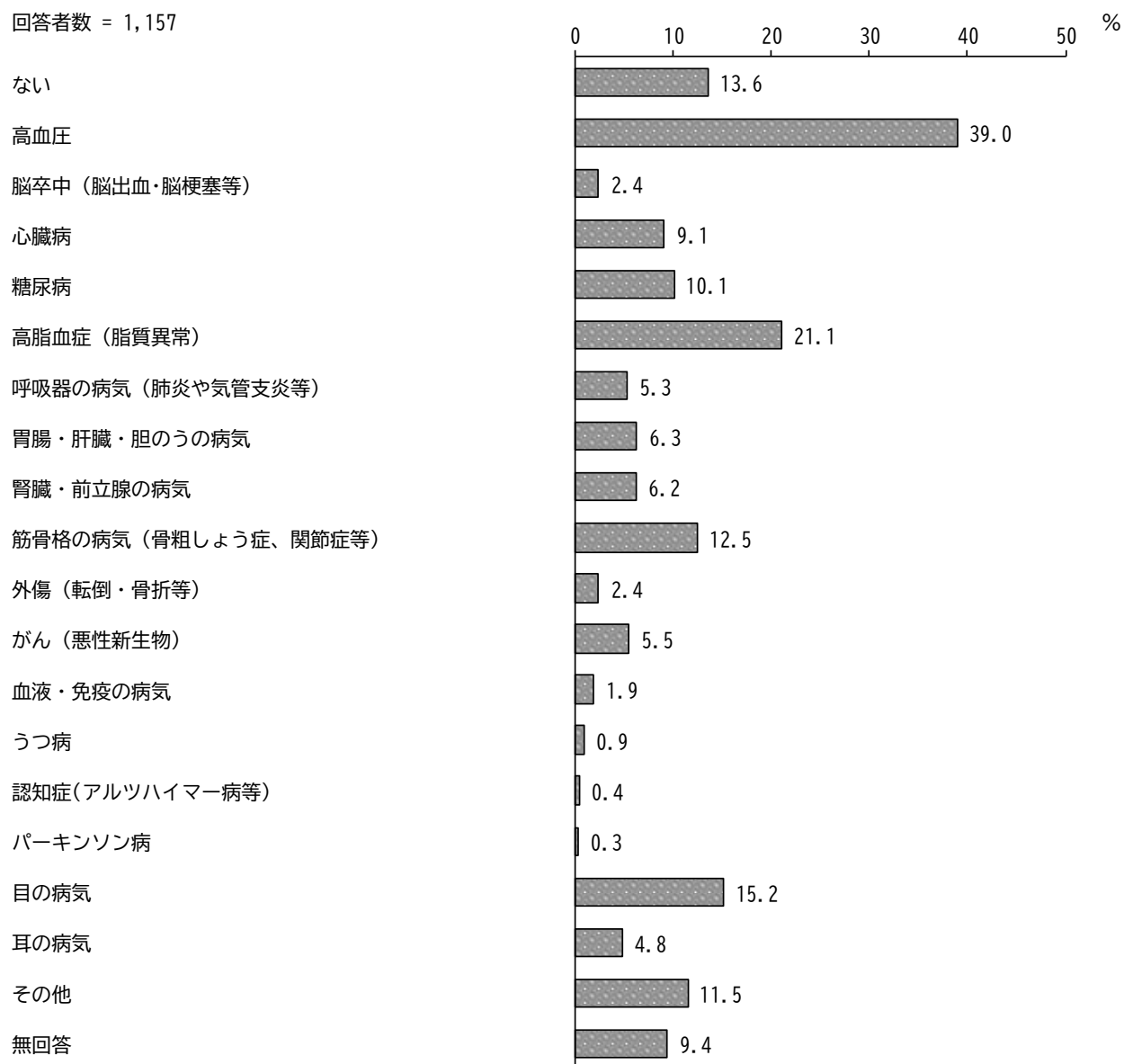
「もともと吸っていない」の割合が58.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が28.2%となっています。



問7（6）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも○）

「高血圧」の割合が39.0%と最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」の割合が21.1%、「目の病気」の割合が15.2%となっています。

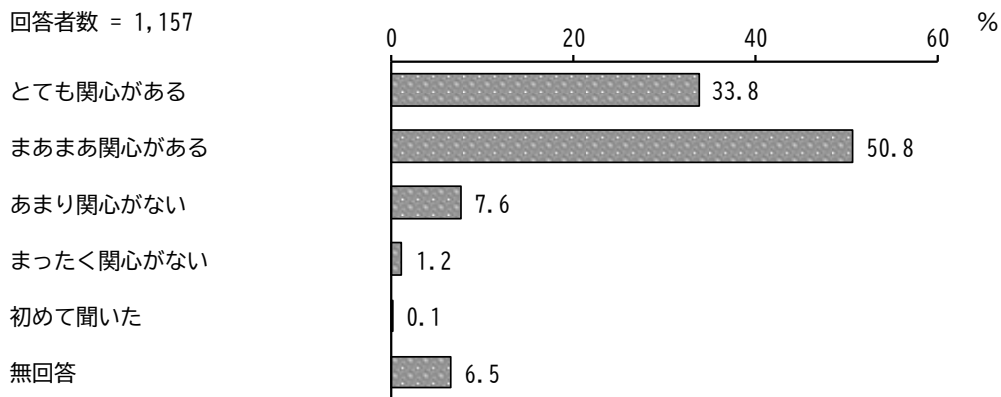
回答者数 = 1,157



9. 認知症について

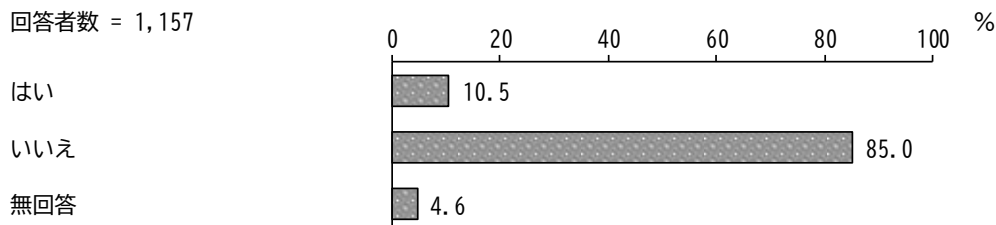
問8（1）あなたは、「認知症」にどの程度関心がありますか。（1つに○）

「とても関心がある」と「まあまあ関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が84.6%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が8.8%となっています。



問8（2）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（1つに○）

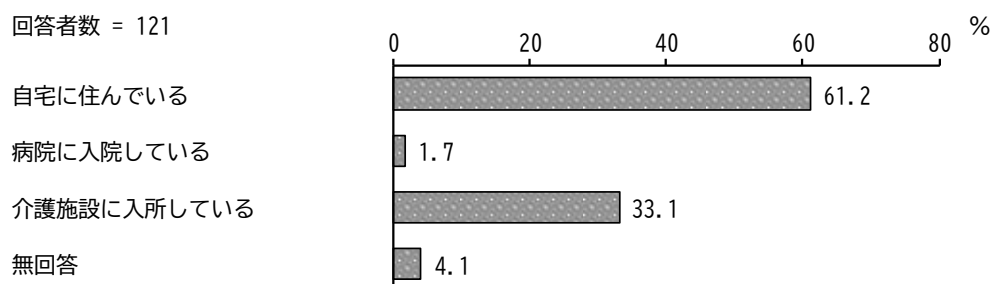
「はい」の割合が10.5%、「いいえ」の割合が85.0%となっています。



問8 (3) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状があると回答した方にお聞きします。
その方は、どこにお住まいで、そこにどの程度お住まいですか。(1つに○)

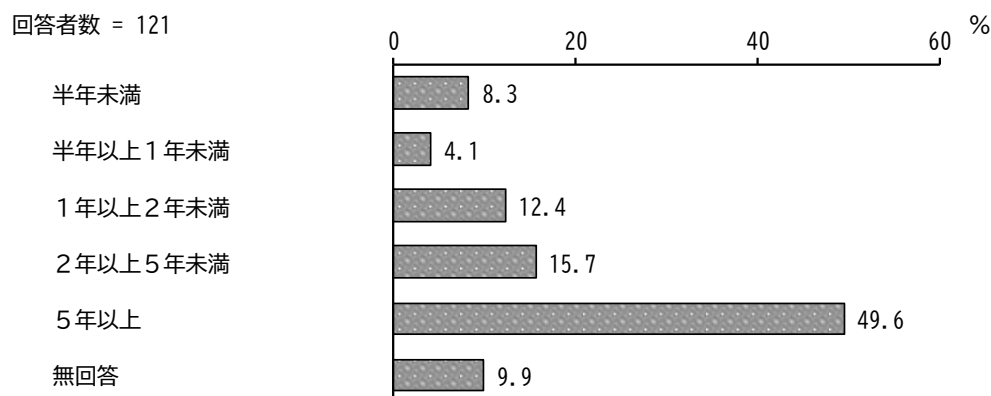
(1) お住まい

「自宅に住んでいる」の割合が61.2%と最も高く、次いで「介護施設に入所している」の割合が33.1%となっています。



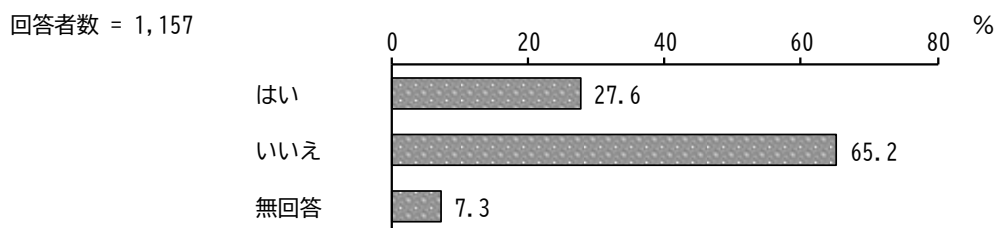
(2) お住まいの期間

「5年以上」の割合が49.6%と最も高く、次いで「2年以上5年未満」の割合が15.7%、「1年以上2年未満」の割合が12.4%となっています。



問8 (4) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

「はい」の割合が27.6%、「いいえ」の割合が65.2%となっています。



【本人または家族の認知症の症状の有無別】

本人または家族に認知症の症状の人がいるか別にみると、他に比べ、本人または家族に認知症の症状の人がいる方で「はい」の割合が高くなっていますが、「いいえ」の割合が51.2%となっています。

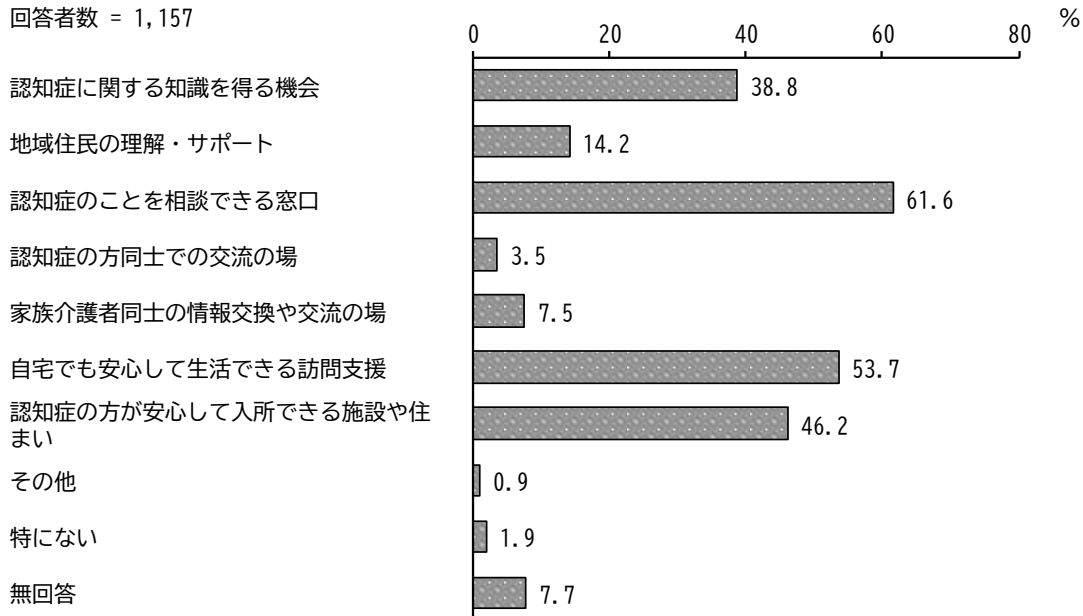
単位：%

区分	回答者数(件)	はい	いいえ	無回答
全 体	1,157	27.6	65.2	7.3
本人または家族に認知症の症状の人がいる方	121	40.5	51.2	8.3
本人または家族に認知症の症状の人がいない方	983	26.9	69.1	4.1

問8 (5) もし、自分や家族が認知症になったときに、認知症の対策として必要だと思うことはなんですか。(3つまで○)

「認知症のことを相談できる窓口」の割合が61.6%と最も高く、次いで「自宅でも安心して生活できる訪問支援」の割合が53.7%、「認知症の方が安心して入所できる施設や住まい」の割合が46.2%となっています。

回答者数 = 1,157



【本人または家族の認知症の症状の有無別】

本人または家族の認知症の症状の有無別にみると、本人または家族に認知症の症状の人がいない方に比べ、認知症の症状の人がいる方で「認知症の方が安心して入所できる施設や住まい」の割合が高くなっています。

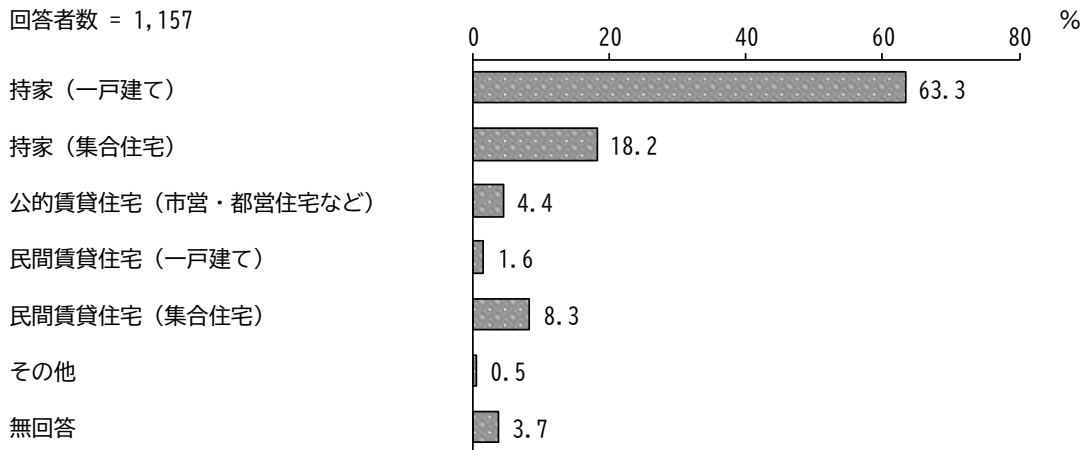
単位：%

区分	回答者数(件)	認知症に関する知識を得る機会	地域住民の理解・サポート	認知症のことを相談できる窓口	認知症の方同士での交流の場	家族介護者同士の情報交換や交流の場	自宅でも安心して生活できる訪問支援	認知症の方が安心して入所できる施設や住まい	その他	特になし	無回答
全体	1,157	38.8	14.2	61.6	3.5	7.5	53.7	46.2	0.9	1.9	7.7
本人または家族に認知症の症状の人がいる方	121	36.4	9.1	53.7	5.8	9.9	54.5	51.2	—	3.3	3.3
本人または家族に認知症の症状の人がいない方	983	40.4	15.6	64.7	3.5	7.4	55.7	47.2	1.0	1.8	5.1

10. 住まいについて

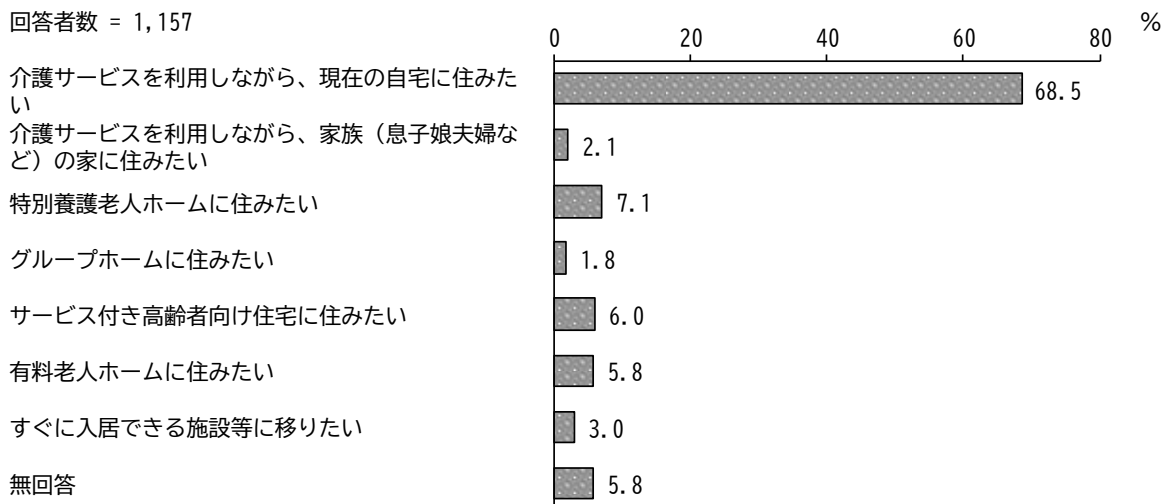
問9（1）あなたのお住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

「持家（一戸建て）」の割合が63.3%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が18.2%となっています。



問9（2）今後、介護が必要となった場合に、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。（1つに○）

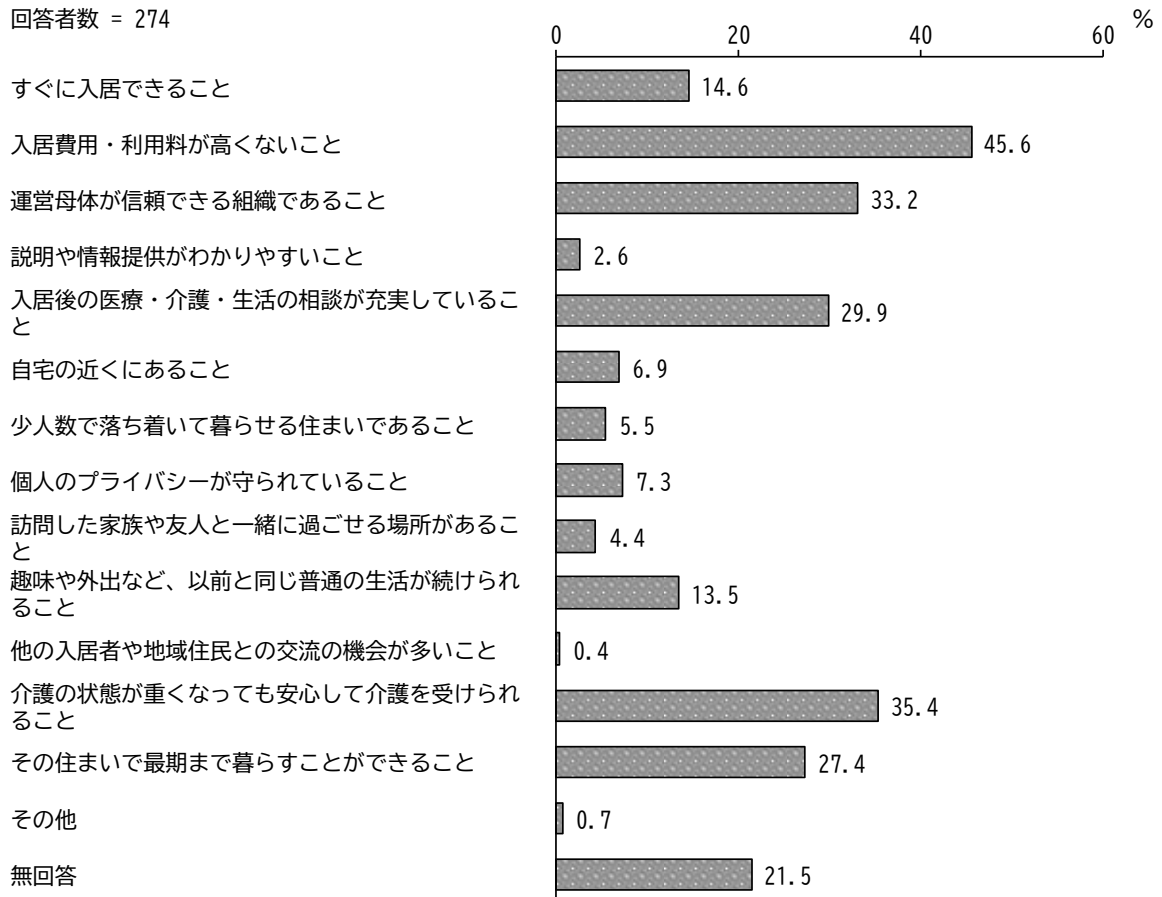
「介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい」の割合が68.5%と最も高くなっています。



問9 (3) (2) で「特別養護老人ホームに住みたい」～「すぐに入居できる施設等に移りたい」と回答した方におたずねします。
 希望した住まい等についてどのような条件を重視したいですか。(3つまで○)

「入居費用・利用料が高くないこと」の割合が45.6%と最も高く、次いで「介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること」の割合が35.4%、「運営母体が信頼できる組織であること」の割合が33.2%となっています。

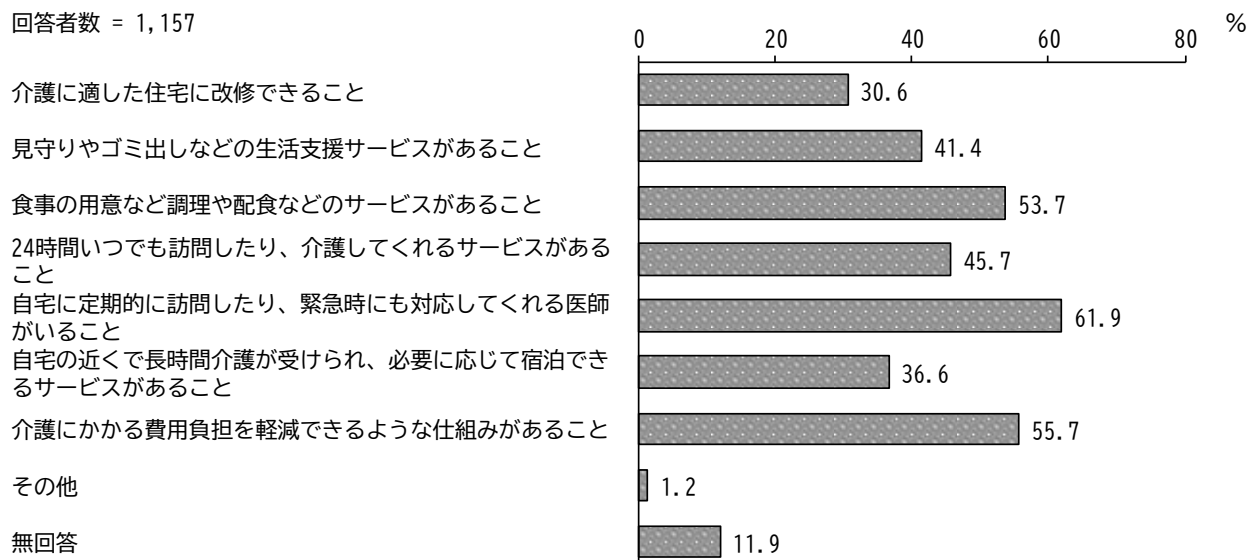
回答者数 = 274



問9（4）在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。

「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」の割合が61.9%と最も高く、次いで「介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること」の割合が55.7%、「食事の用意など調理や配食などのサービスがあること」の割合が53.7%となっています。

回答者数 = 1,157

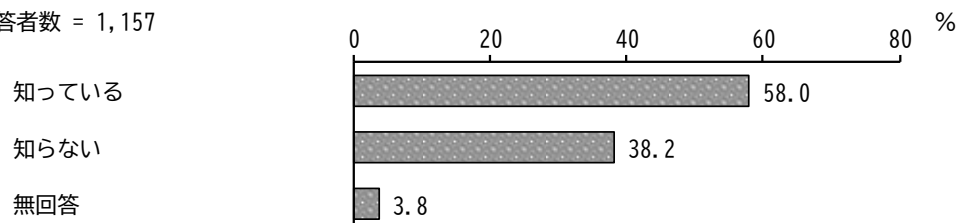


11. 地域包括支援センターについて

問 10（1）あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。（1つに○）

「知っている」の割合が 58.0%、「知らない」の割合が 38.2%となっています。

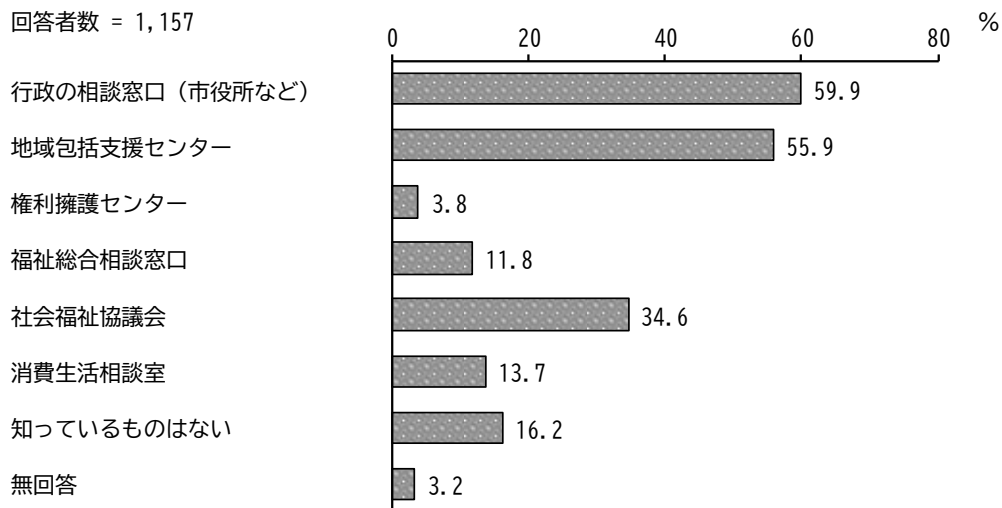
回答者数 = 1,157



12. 高齢者の権利について

問11(1) 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも○)

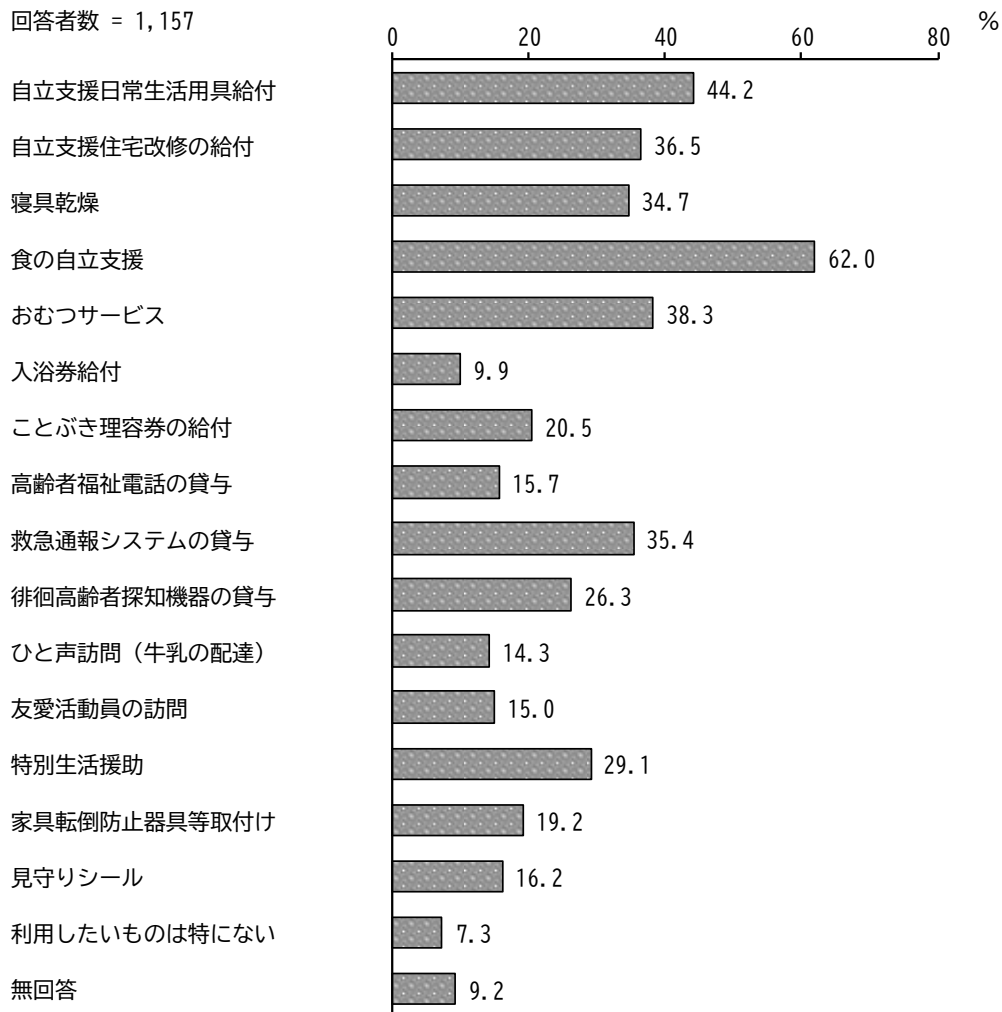
「行政の相談窓口(市役所など)」の割合が59.9%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が55.9%、「社会福祉協議会」の割合が34.6%となっています。



13. 高齢者保健福祉サービス（介護保険外）等について

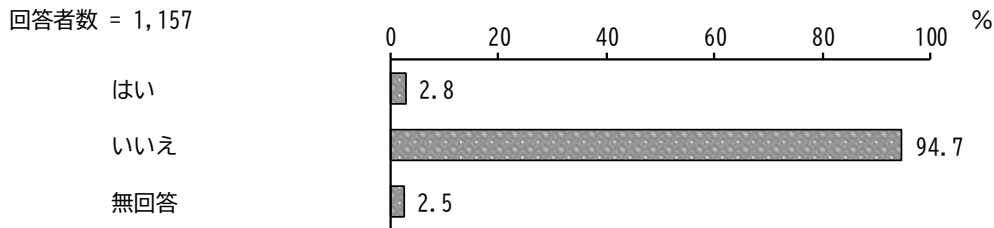
問 12（1）市では、介護保険以外にも、様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。（いくつでも○）

「食の自立支援」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「自立支援日常生活用具給付」の割合が 44.2%、「おむつサービス」の割合が 38.3%となっています。



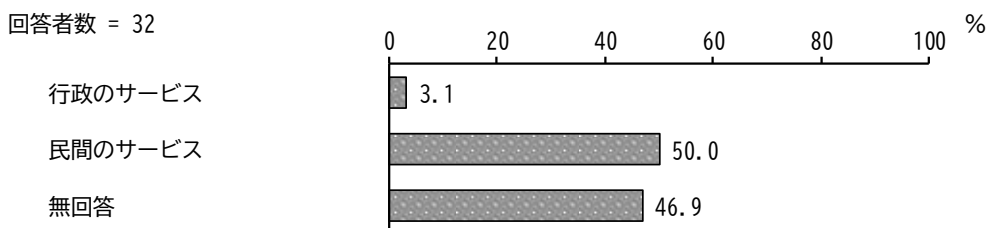
問12(2) 配食サービスを利用していますか。(1つに○)

「はい」の割合が2.8%、「いいえ」の割合が94.7%となっています。



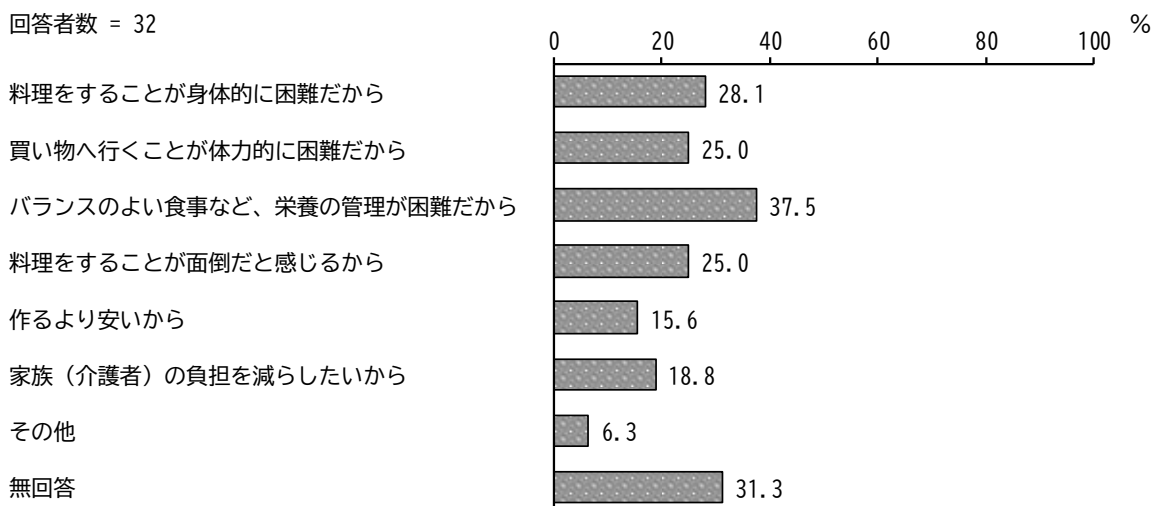
<利用しているサービス>

「行政のサービス」の割合が3.1%、「民間のサービス」の割合が50.0%となっています。



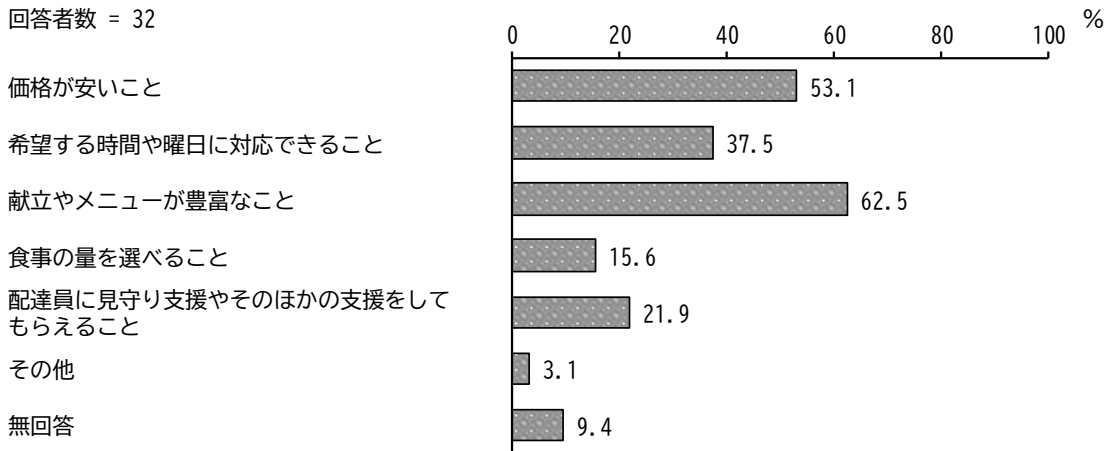
問12(3) 現在、配食サービスを利用していると回答した方にお聞きします。利用している理由は何ですか。(いくつでも○)

「バランスのよい食事など、栄養の管理が困難だから」の割合が37.5%と最も高く、次いで「料理をすることが身体的に困難だから」の割合が28.1%、「買い物へ行くことが体力的に困難だから」、「料理をすることが面倒だと感じるから」の割合が25.0%となっています。



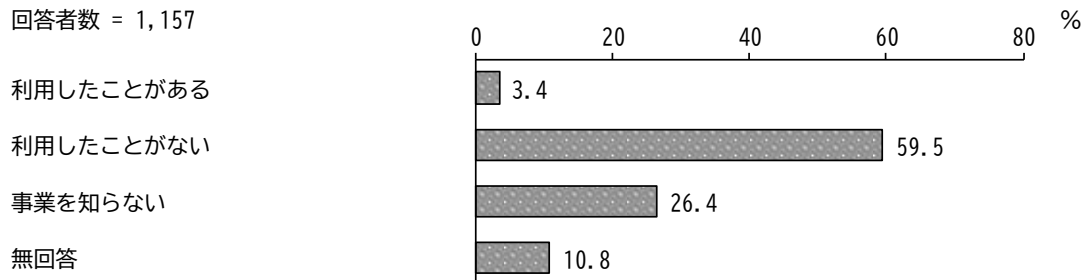
問 12 (4) 配食サービスに望むものは何ですか。(いくつでも○)

「献立やメニューが豊富なこと」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「価格が安いこと」の割合が 53.1%、「希望する時間や曜日に対応できること」の割合が 37.5%となっています。



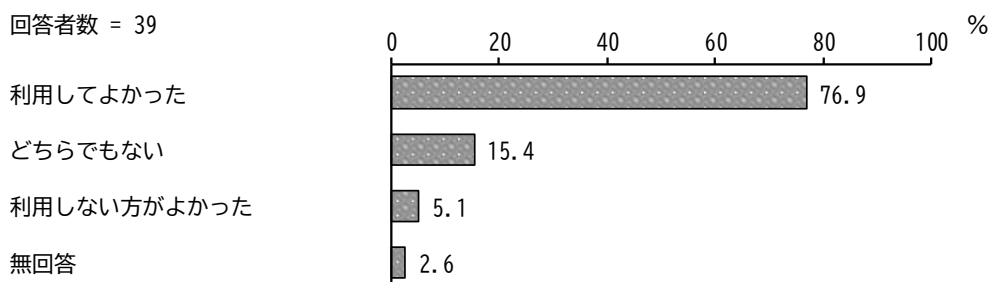
問 12 (5) 総合事業を利用したことがありますか。また、利用したことがある方は、事業の満足度はいかがでしたか。(1つに○)

「利用したことがない」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「事業を知らない」の割合が 26.4%となっています。



【利用した後の満足度】

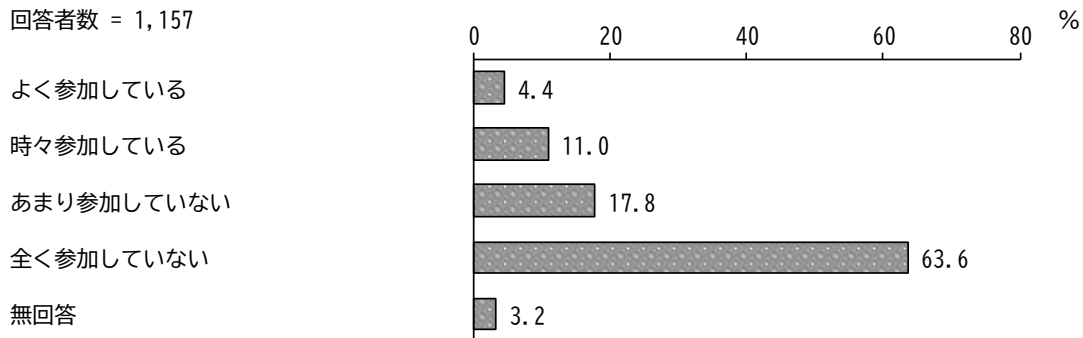
「利用してよかった」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 15.4%となっています。



14. 地域生活について

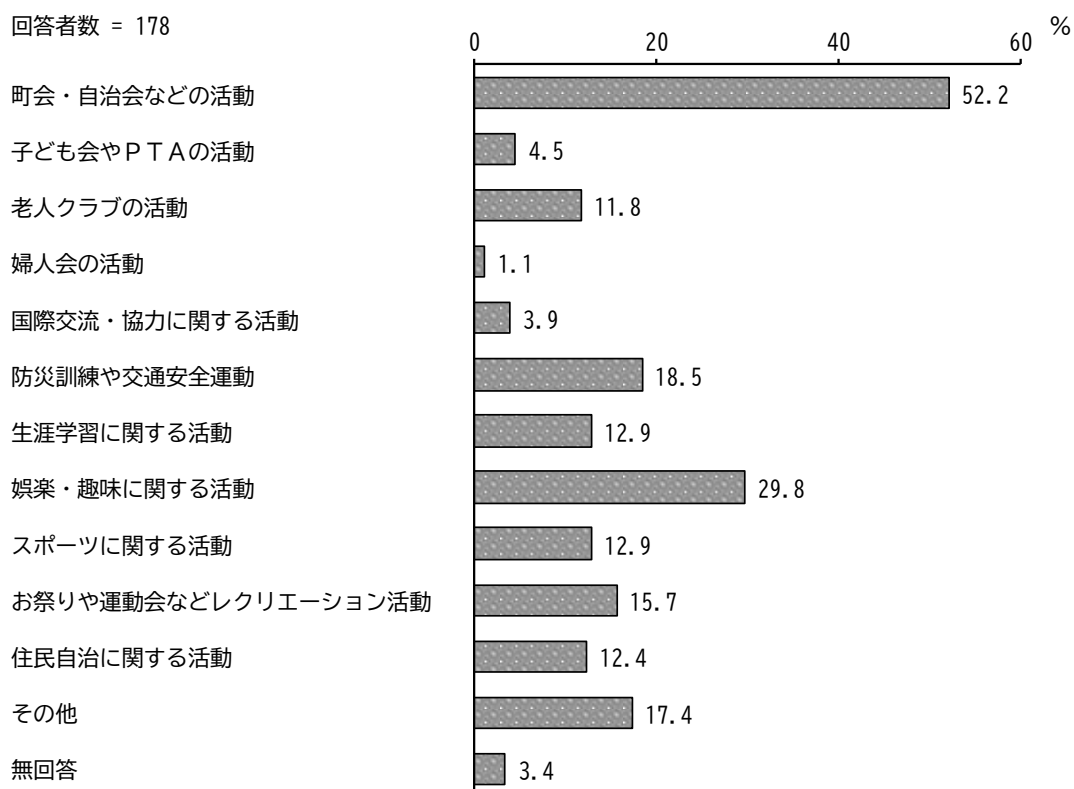
問 13 (1) あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた“参加している”の割合が 15.4%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」をあわせた“参加していない”の割合が 81.4%となっています。



問 13 (2) (1) で「よく参加している」または「時々参加している」と答えた方におたずねします。
どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも○)

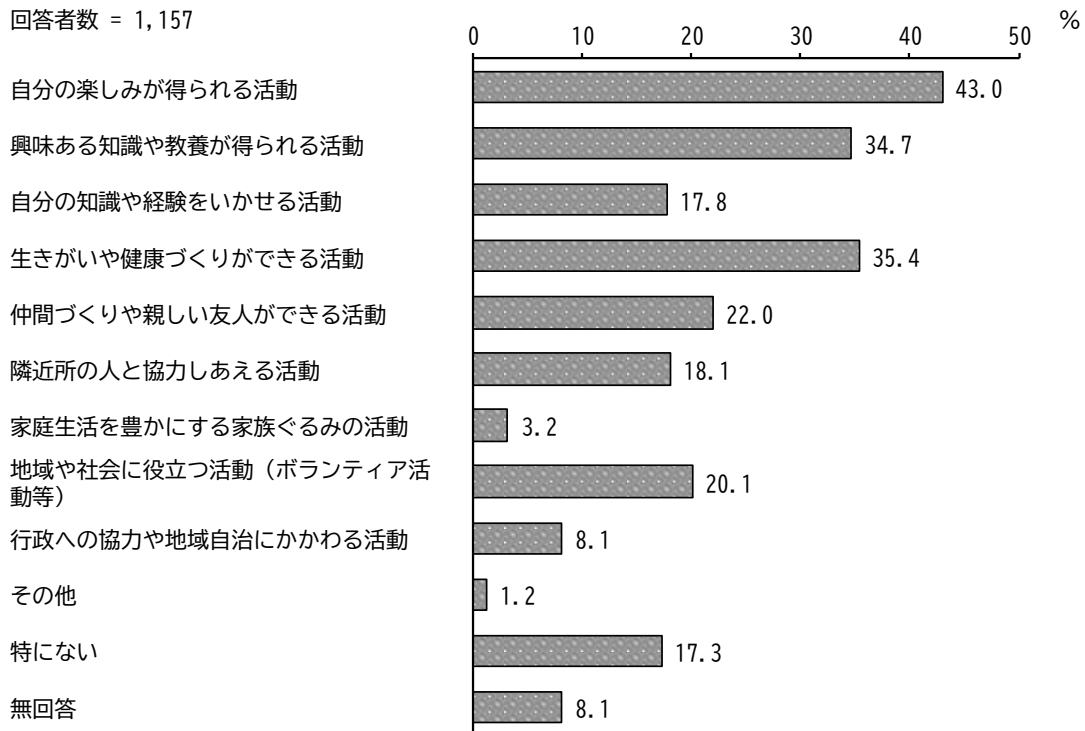
「町会・自治会などの活動」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「娯楽・趣味に関する活動」の割合が 29.8%、「防災訓練や交通安全運動」の割合が 18.5%となっています。



問 13 (3) あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

「自分の楽しみが得られる活動」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」の割合が 35.4%、「興味ある知識や教養が得られる活動」の割合が 34.7%となっています。

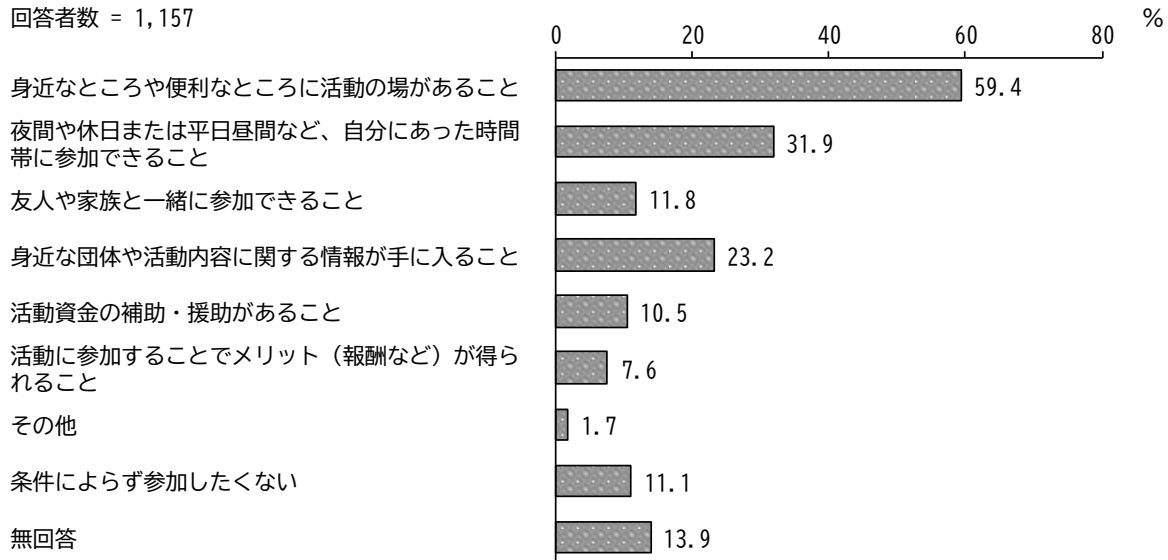
回答者数 = 1,157



問13(4) あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで○)

「身近なところや便利なところに活動の場があること」の割合が59.4%と最も高く、次いで「夜間や休日または平日昼間など、自分にあつた時間帯に参加できること」の割合が31.9%、「身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること」の割合が23.2%となっています。

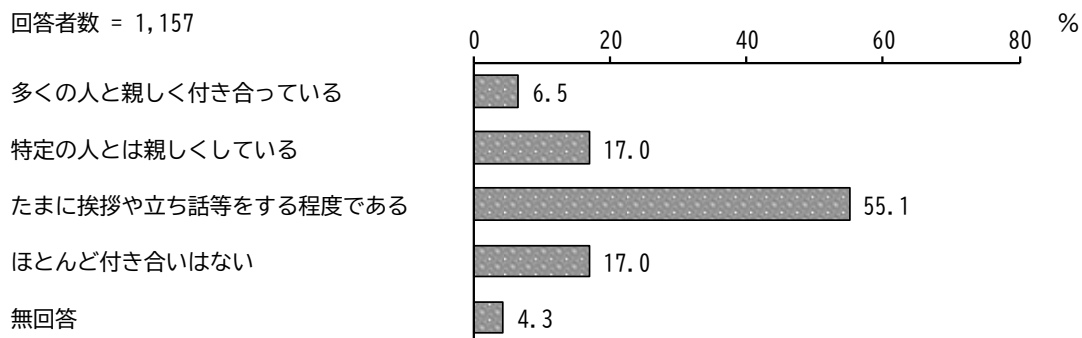
回答者数 = 1,157



問13(5) あなたは隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(1つに○)

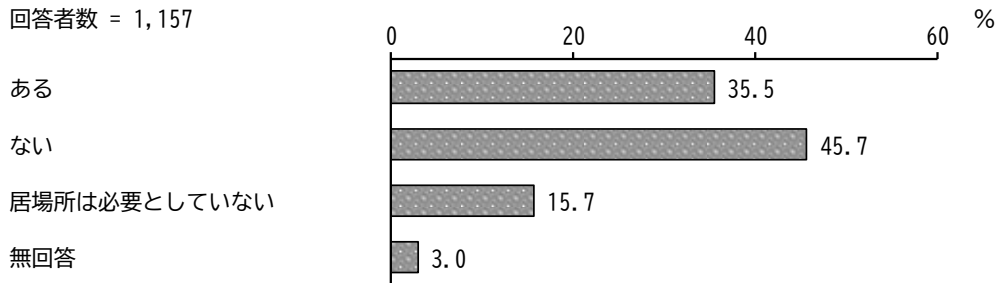
「たまに挨拶や立ち話等をする程度である」の割合が55.1%と最も高く、次いで「特定の人とは親しくしている」、「ほとんど付き合いはない」の割合が17.0%となっています。

回答者数 = 1,157



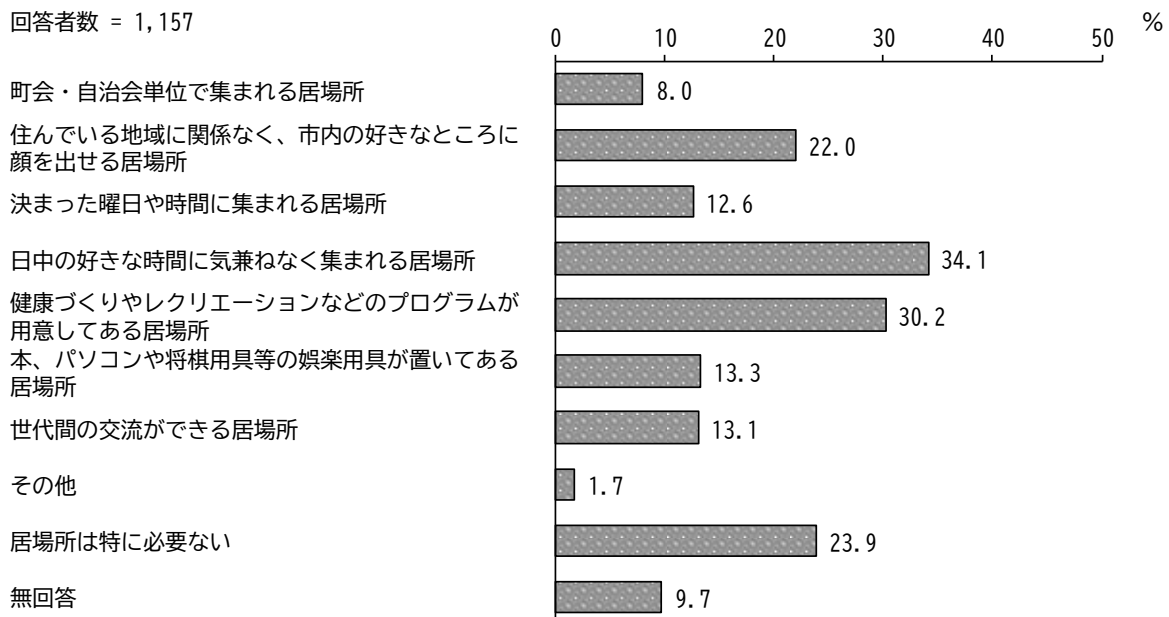
問 13 (6) あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。（1つに○）

「ない」の割合が45.7%と最も高く、次いで「ある」の割合が35.5%、「居場所は必要としていない」の割合が15.7%となっています。



問 13 (7) 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。（いくつでも○）

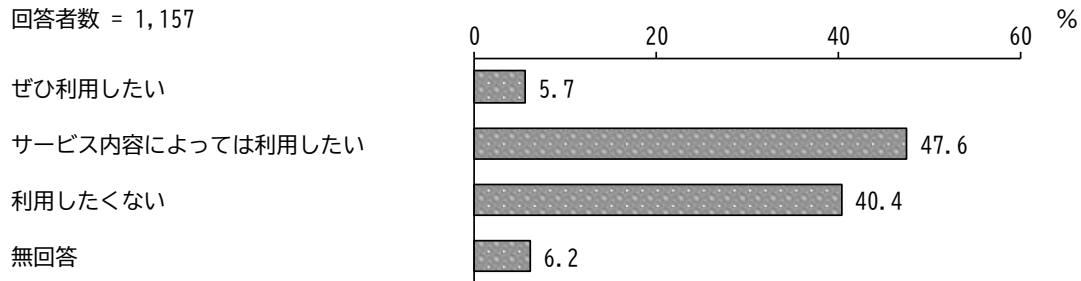
「日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる居場所」の割合が34.1%と最も高く、次いで「健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある居場所」の割合が30.2%、「居場所は特に必要ない」の割合が23.9%となっています。



問13(8) 元気高齢者の方等がサービス提供の担い手となる生活支援サービスがあった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

「サービス内容によっては利用したい」の割合が47.6%と最も高く、次いで「利用したくない」の割合が40.4%となっています。

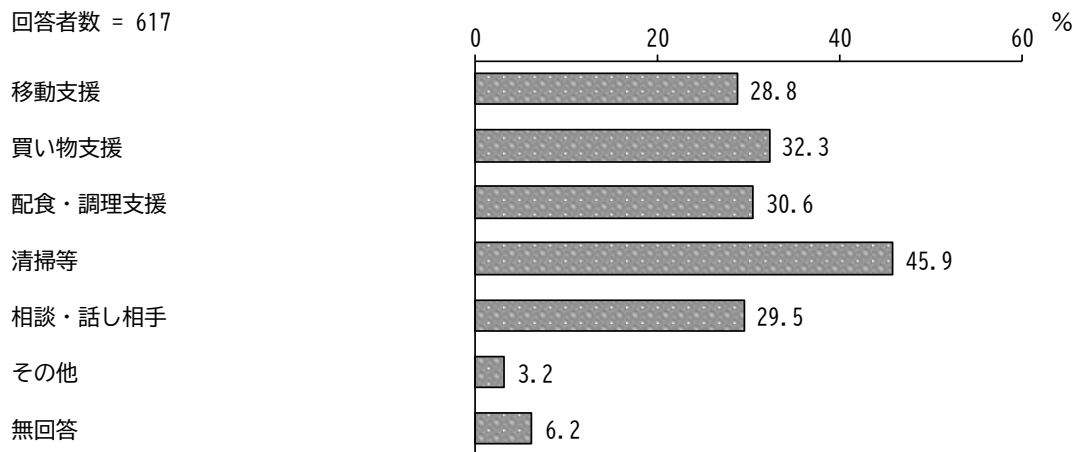
回答者数 = 1,157



問13(9) (8)で「ぜひ利用したい」または「サービス内容によっては利用したい」と答えた方におたずねします。どのようなサービスであれば、利用したいですか。(いくつでも○)

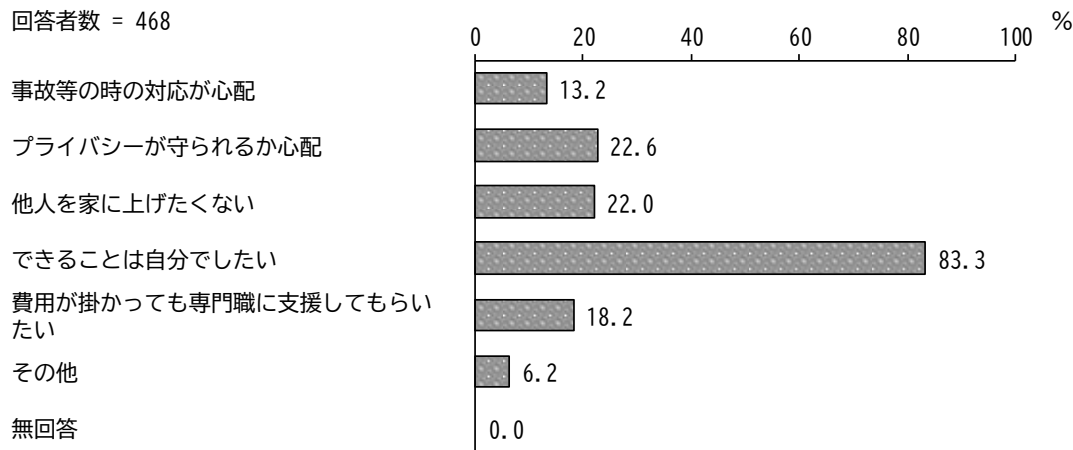
「清掃等」の割合が45.9%と最も高く、次いで「買い物支援」の割合が32.3%、「配食・調理支援」の割合が30.6%となっています。

回答者数 = 617



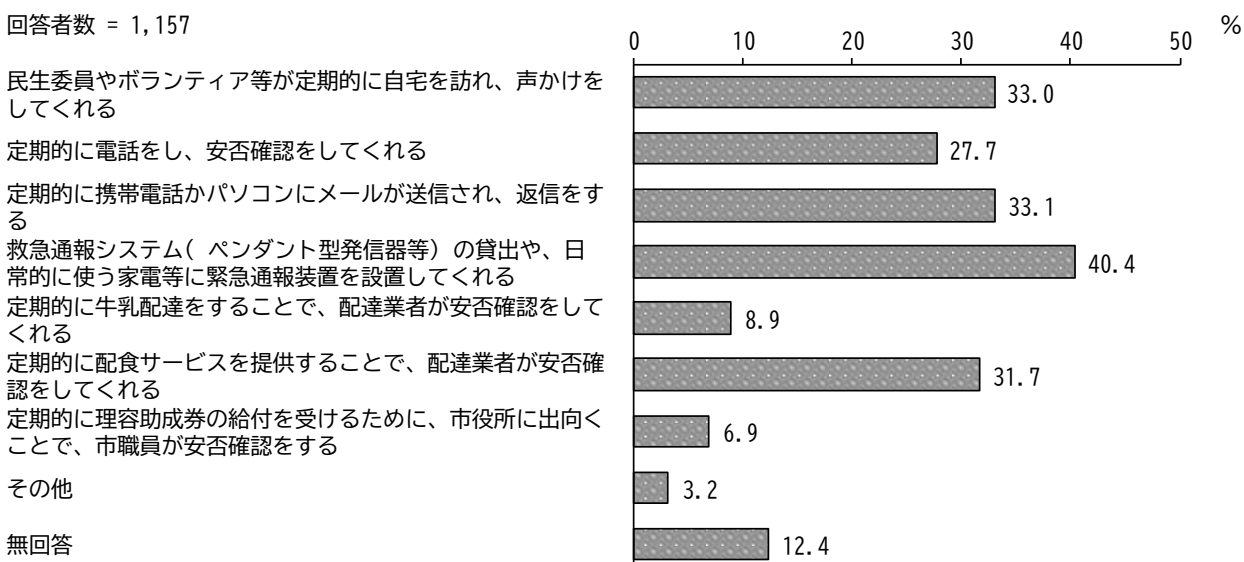
問 13 (10) (8) で「利用したくない」と答えた方におたずねします。
 利用したくない理由はなんですか。(いくつでも○)

「できることは自分でしたい」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「プライバシーが守られるか心配」の割合が 22.6%、「他人を家に上げたくない」の割合が 22.0%となっています。



問 13 (11) もし、あなたがひとり暮らしになった場合（現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として）、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。

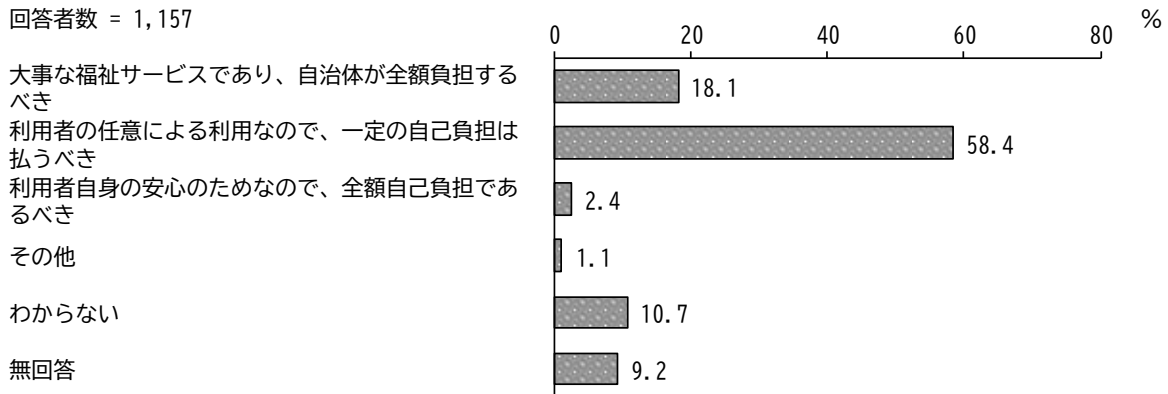
「救急通報システム(ペンダント型発信器等)の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「定期的に携帯電話かパソコンにメールが送信され、返信をする」の割合が 33.1%、「民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」の割合が 33.0%となっています。



問13 (12) ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、費用が発生する場合、利用と負担の関係はどうあるべきだと思いますか。(1つに○)

「利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき」の割合が58.4%と最も高く、次いで「大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき」の割合が18.1%、「わからない」の割合が10.7%となっています。

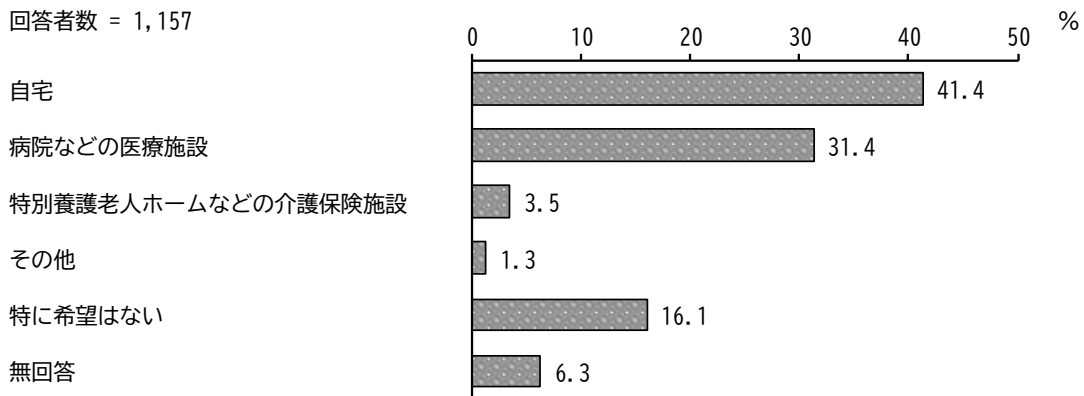
回答者数 = 1,157



問13 (13) ご自身が病気などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいですか。(1つに○)

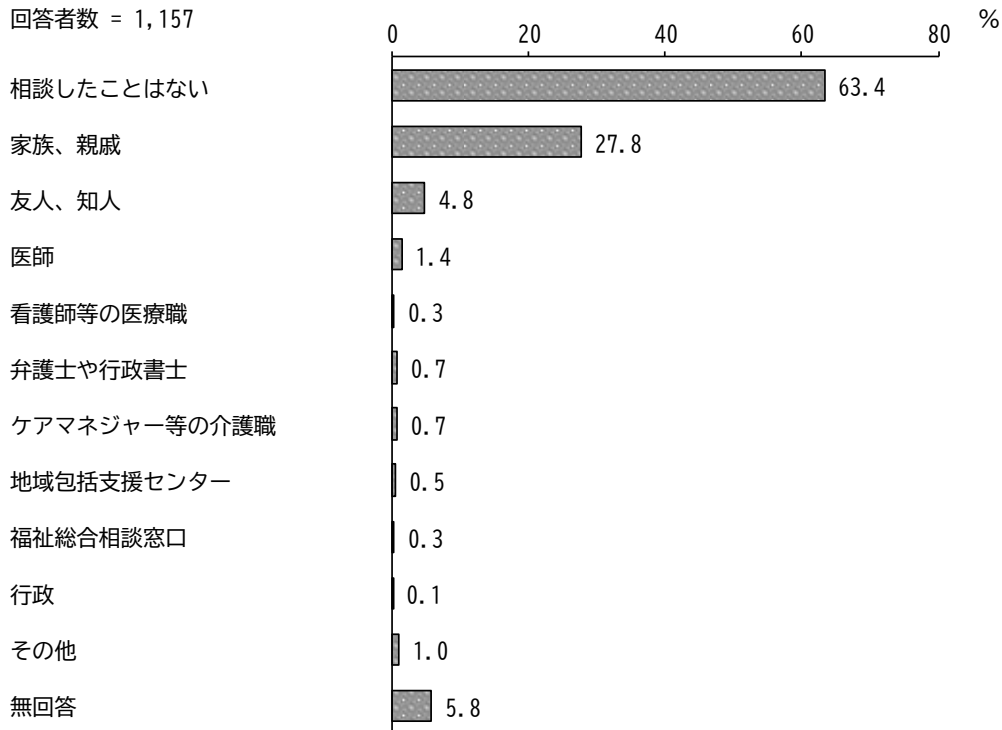
「自宅」の割合が41.4%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」の割合が31.4%、「特に希望はない」の割合が16.1%となっています。

回答者数 = 1,157



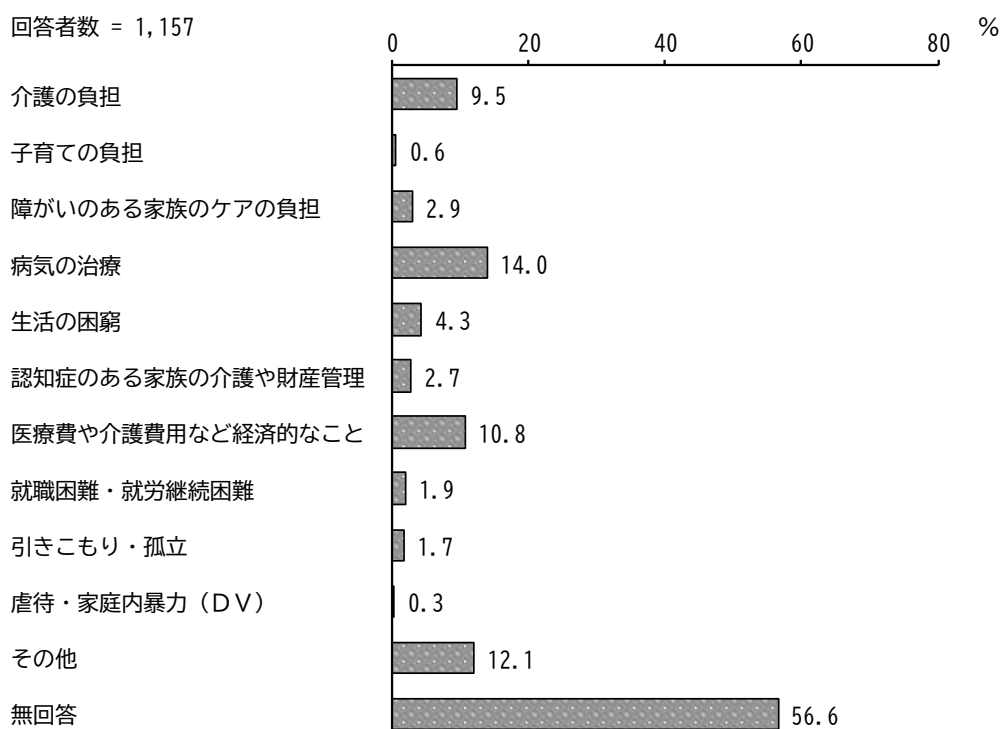
問 13 (14) ご自身の看取りについて、誰かに相談したことはありますか。
(いくつでも○)

「相談したことはない」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「家族、親戚」の割合が 27.8%となっています。



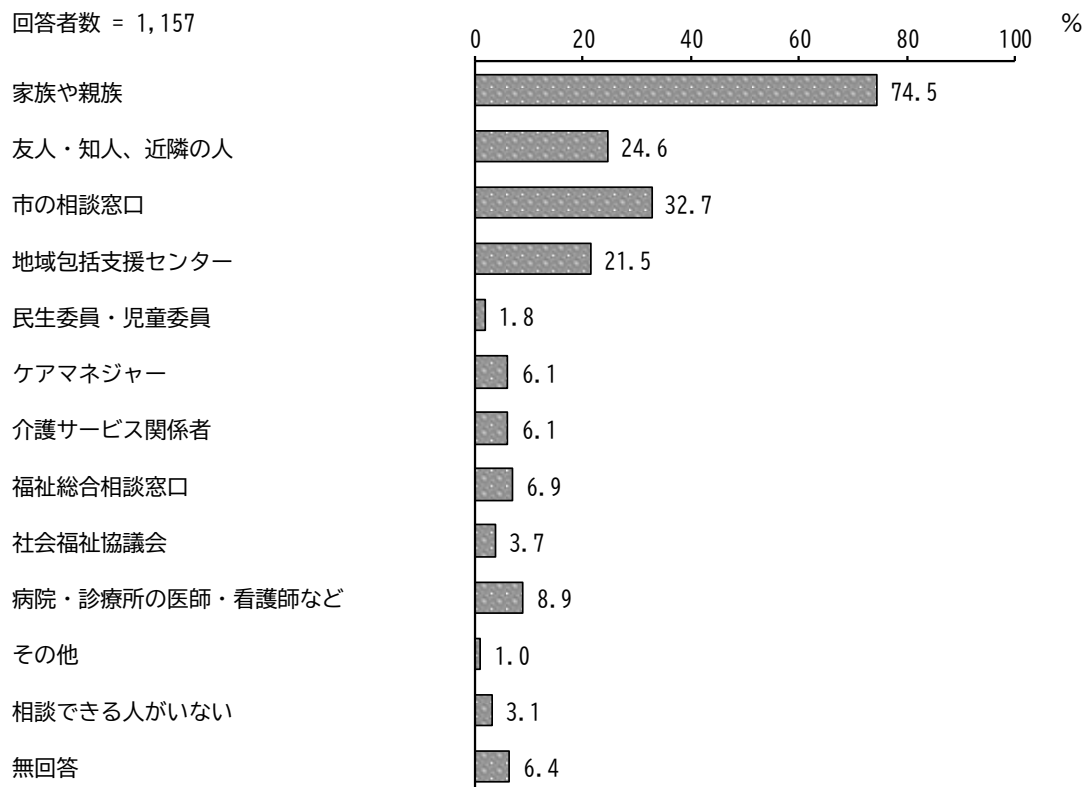
問 13 (15) あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(いくつでも○)

「病気の治療」の割合が 14.0%と最も高く、次いで「医療費や介護費用など経済的なこと」の割合が 10.8%となっています。



問 13 (16) あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）

「家族や親族」の割合が74.5%と最も高く、次いで「市の相談窓口」の割合が32.7%、「友人・知人、近隣の人」の割合が24.6%となっています。

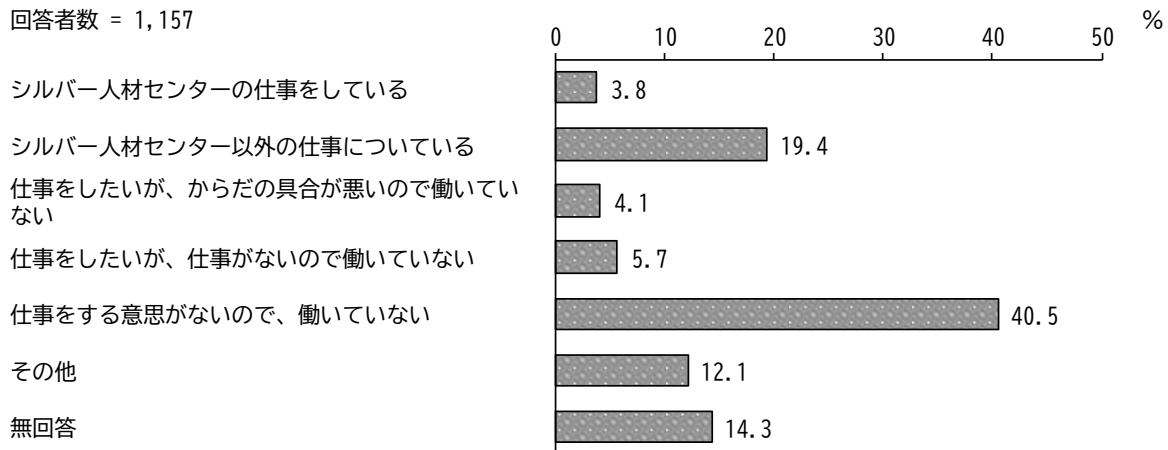


15. 就労意向について

問 14 (1) あなたは現在、収入のある仕事についていますか。(1つに○)

「仕事をする意思がないので、働いていない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「シルバー人材センター以外の仕事についている」の割合が19.4%、「その他」の割合が12.1%となっています。

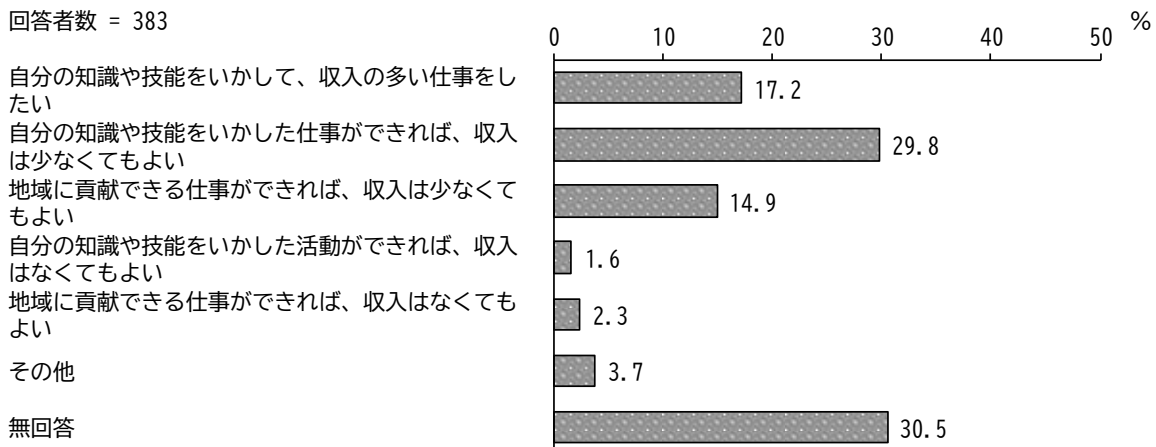
回答者数 = 1,157



問 14 (2) (1) で「シルバー人材センターの仕事をしている」～「仕事をしたいが、仕事がないので働いていない」と答えた方におたずねします。 あなたは今後、どのようなかたちで働きたいと考えていますか。(1つに○)

「自分の知識や技能をいかした仕事ができれば、収入は少なくてもよい」の割合が29.8%と最も高く、次いで「自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい」の割合が17.2%、「地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい」の割合が14.9%となっています。

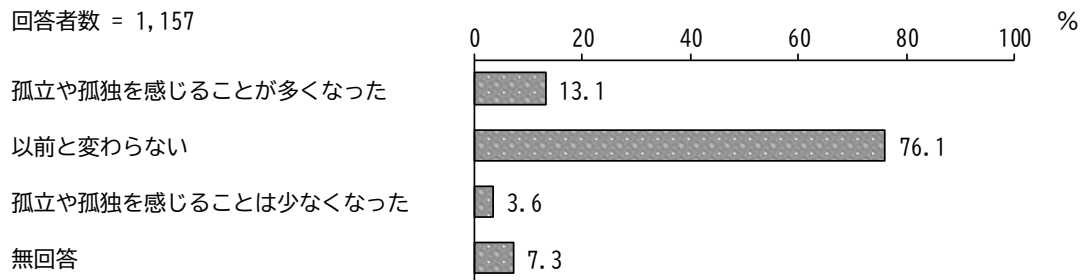
回答者数 = 383



16. 新型コロナウイルス感染拡大について

問 15 (1) 新型コロナウイルス感染症拡大により、孤立や孤独を感じることはありませんか。

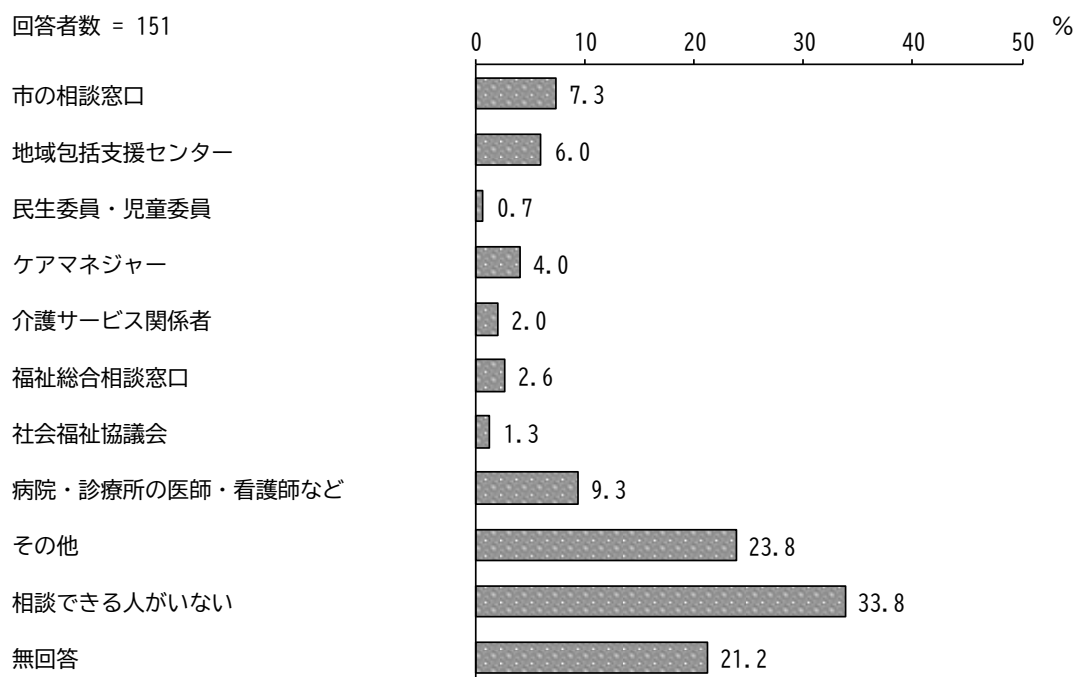
「以前と変わらない」の割合が76.1%と最も高く、次いで「孤立や孤独を感じるが多くなった」の割合が13.1%となっています。



問 15 (2) (1) で「孤立や孤独を感じるが多くなった」と答えた方におたずねします。

孤立や孤独を感じるが多くなった時に、どこかに相談しましたか。

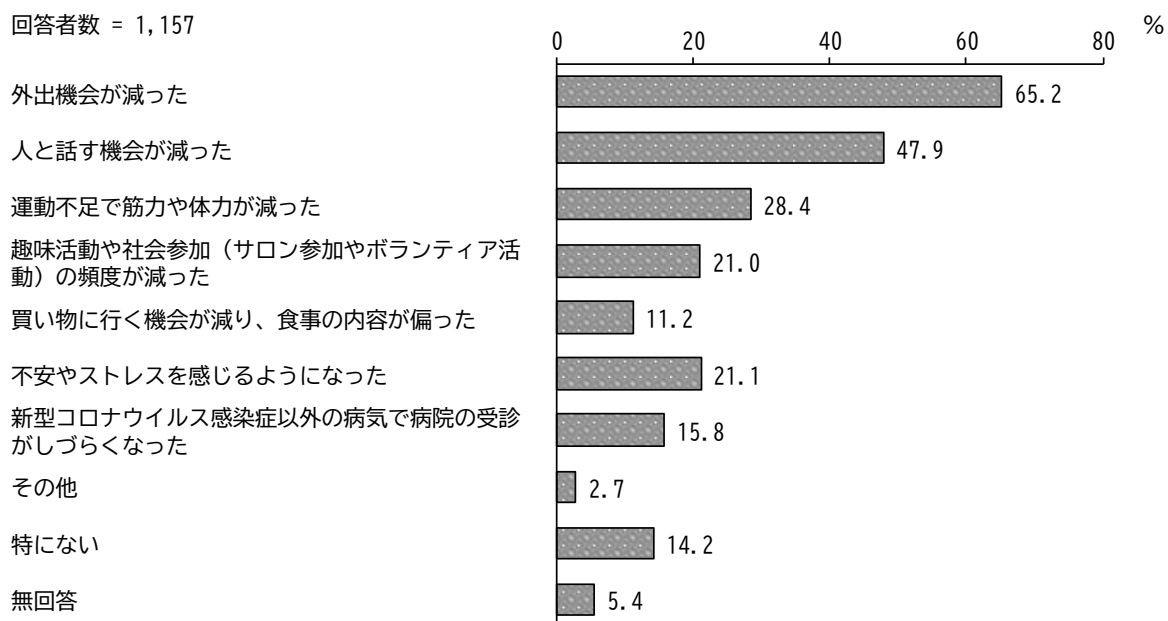
「相談できる人がいない」の割合が33.8%と最も高くなっています。



問 15（3）新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けたことはありますか。

「外出機会が減った」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「人と話す機会が減った」の割合が 47.9%、「運動不足で筋力や体力が減った」の割合が 28.4%となっています。

回答者数 = 1,157

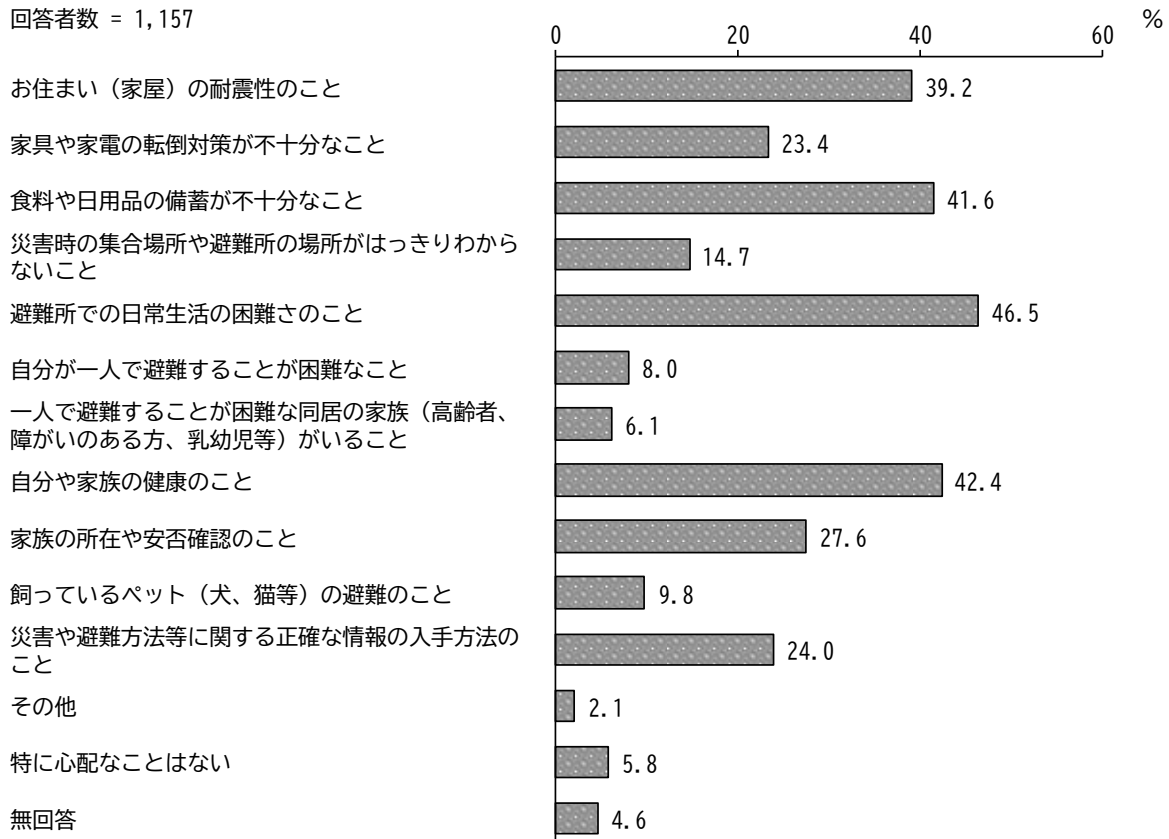


17. 災害対応について

問 16 (1) あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。(いくつでも○)

「避難所での日常生活の困難さのこと」の割合が46.5%と最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」の割合が42.4%、「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」の割合が41.6%となっています。

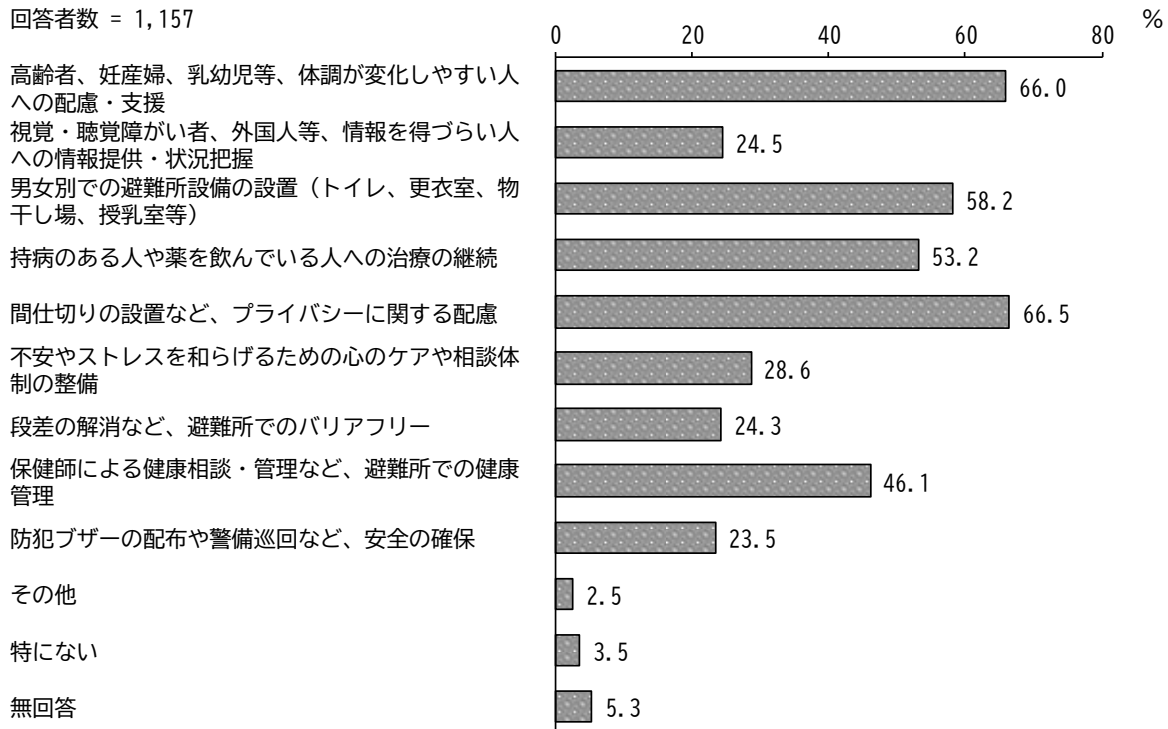
回答者数 = 1,157



問 16 (2) 災害が起きた時、避難所で配慮してほしいことは何ですか。
(いくつでも○)

「間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援」の割合が 66.0%、「男女別での避難所設備の設置（トイレ、更衣室、物干し場、授乳室等）」の割合が 58.2%となっています。

回答者数 = 1,157

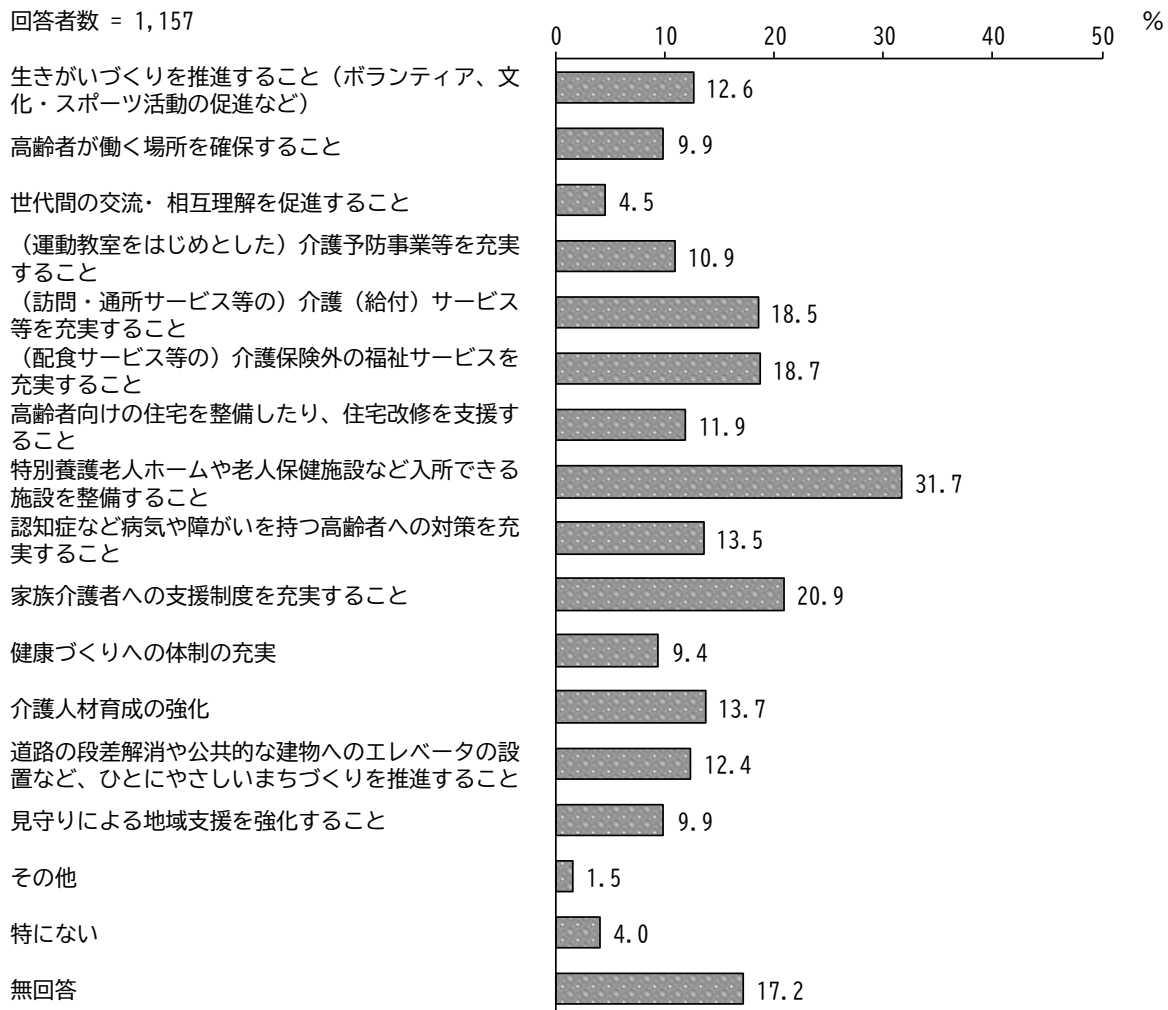


18. その他・市への要望について

問 17 (1) 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。(3つまで○)

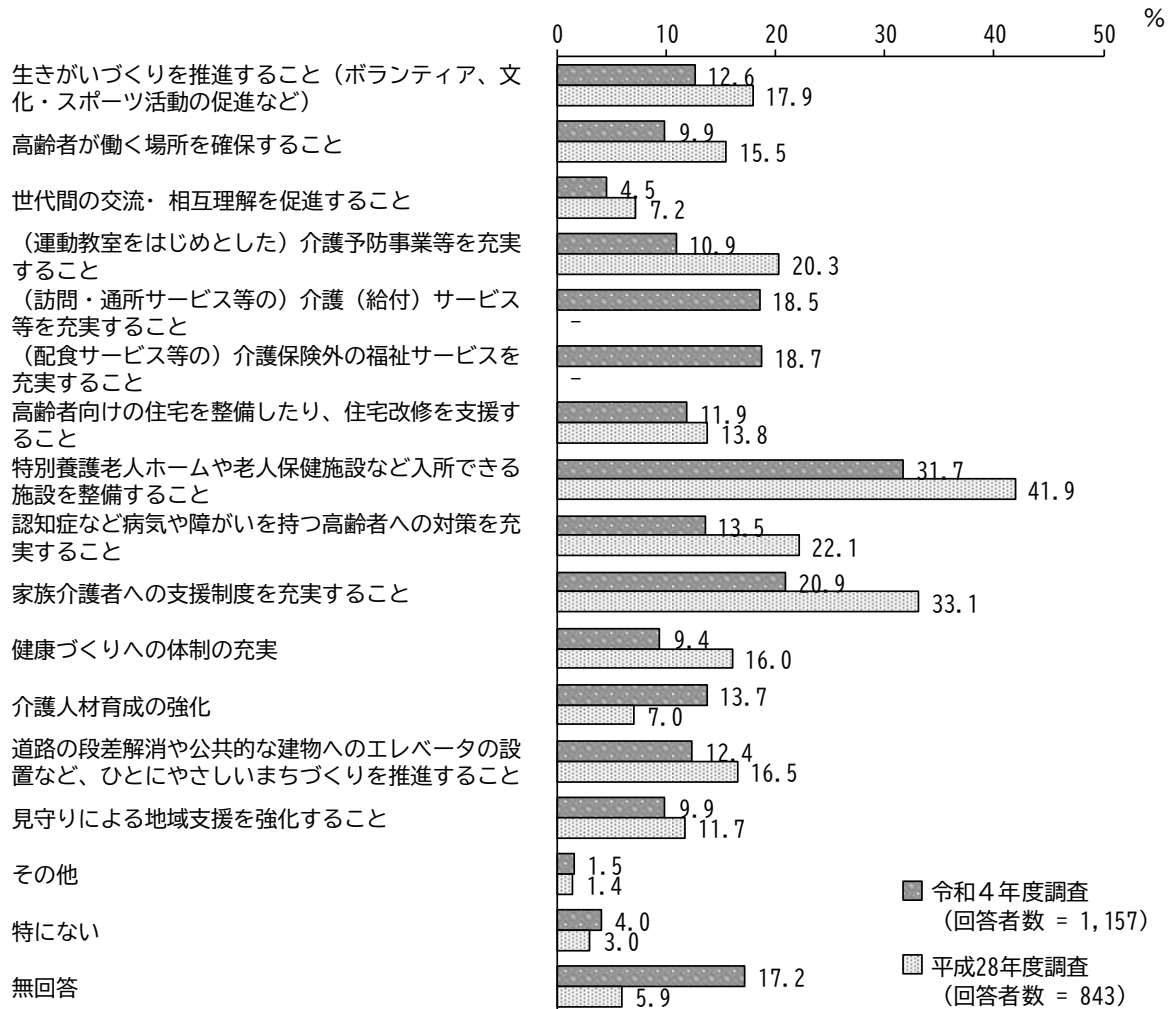
「特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「家族介護者への支援制度を充実すること」の割合が 20.9%、「(配食サービス等の) 介護保険外の福祉サービスを充実すること」の割合が 18.7%となっています。

回答者数 = 1,157



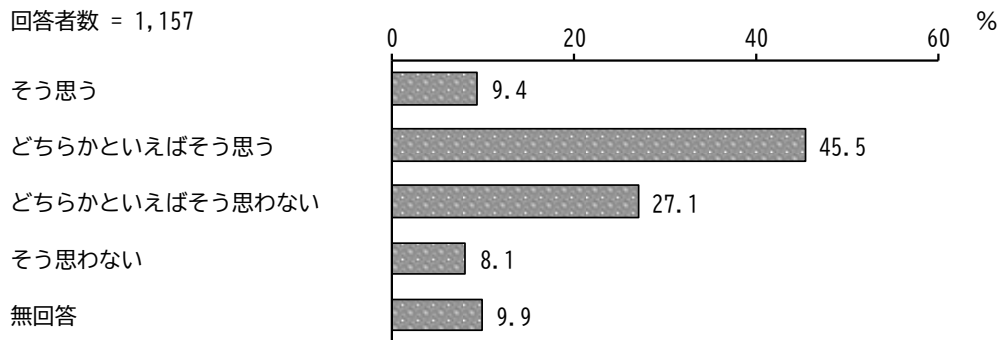
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「介護人材育成の強化」の割合が増加しています。一方、「家族介護者への支援制度を充実すること」、「特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること」、「(運動教室をはじめとした)介護予防事業等を充実すること」の割合が減少しています。



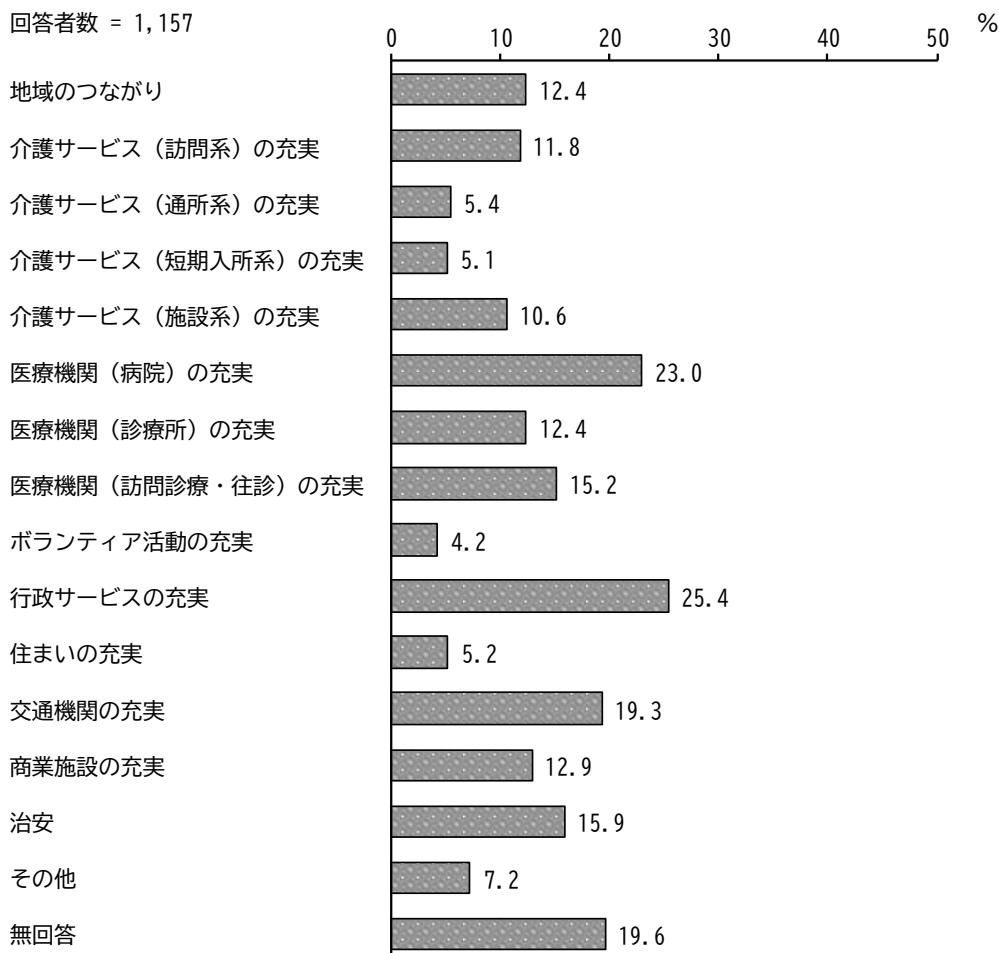
問17(2) 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(1つに○)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が54.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が35.2%となっています。



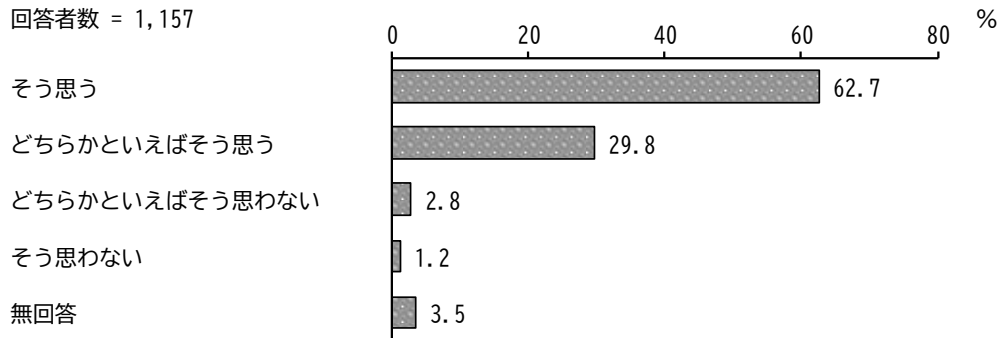
問17(3) 「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか

「行政サービスの充実」の割合が25.4%と最も高く、次いで「医療機関（病院）の充実」の割合が23.0%、「交通機関の充実」の割合が19.3%となっています。



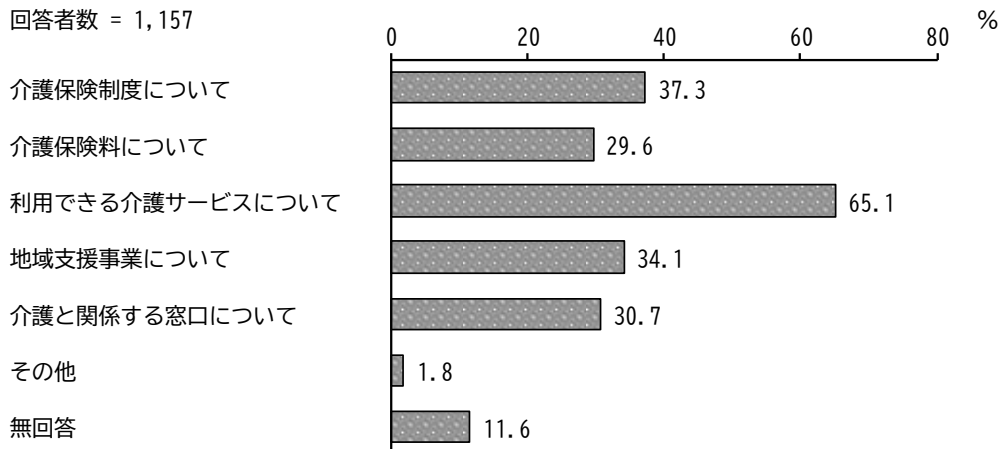
問 17 (4) あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 92.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 4.0%となっています。



問 17 (5) 高齢者保健福祉施策や介護保険制度について、知りたい情報や制度はどのようなものですか。(いくつでも○)

「利用できる介護サービスについて」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「介護保険制度について」の割合が 37.3%、「地域支援事業について」の割合が 34.1%となっています。



問17(6) 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・自身が高齢者となったが、現在親の面倒をみている為、自由になる時間があまり取れないでいる。もっと身近に、学習センター等の施設があれば、自然と交流が図れると思う。
- ・高齢になると行動範囲も決められてしまうのでまず向こう三軒両隣りの方達と、日常、お茶のみからでも行動して仲良くすることが大事だと思います。生き生きおしゃべりも大事だと思います。
- ・年金額が低い人に生活保護以外の経済的支援を充実させてほしい。介護保険料が高い。訪問介護、デイサービスを必要なだけ利用できず、市外の特養に入るしかなかった例がある。
- ・困難なときに、相談にのって寄り添ってくれるような行政であって欲しい。
- ・現在は夫婦共に80才超の健常者ですが要支援、要介護になった時に直ぐにその支援を得られるような制度、仕組みを整えて欲しい。
- ・高齢者が自立した生活ができるようなサポートを充実。また介護にたずさわる施設や人材への手厚いサポートや財政的支援を充実させるべきと思います。
- ・ミニバスのルート拡大と本数増加と運賃の値上げしない事を希望します。(自転車も車道で車にあおられて高齢者は乗れなくなっています。)買物のイベントの足としてやはりミニバスの存在は重要と思います。
- ・健康で働く意欲があり、働ける力がある人のための仕事を確保してほしい。シルバー人材センターをもう少し進化させたような。
- ・市報やこがねい新聞等に色々なサービス等について載せてほしいと思います!市のホームページも若干わかりづらい所があると感じました。
- ・自宅で一人暮らしになっても安心してくらせるようなシステム作りをしてほしいです。
- ・今は夫婦共に健康で、大きな問題はありませんが、1人になった時、大病をかかえた時に、気軽に相談できるようなところがあれば良いと思います。
- ・80過ぎの高齢夫婦です。元気な年寄りが生きがいを感じる様な趣味、健康について仲間が集まる機会をもっと作って欲しい。(公民館の行事は店員が少なく、一度出席すると次回は抽選に落ちる)元気な高齢者にもっと生きがいを与える機会を作って欲しい!元気な高齢者が行く所がなく家にひきこもりがちです。
- ・現在高齢者支援サービスについて、どのような施策が行われているのか、具体的リストがあれば知りたい。
- ・苦言がある。CoCoバスを利用しているが道が狭いため、小型バスの運用で1時間に2本が現状の体制。小型バスで乗れない時もあり、本数を増やしてもらえれば助かる老人が多いと思う。買い物に行き、重たい荷物を運ぶには、CoCoバスが「生活の足」であることを理解してもらいたい。
- ・最後は一人になる時期が到来した場合の介護支援や最後の看取支援が十分にケアされる事を望みます。
- ・高齢者への福祉制度や支援内容、担当窓口も含めて詳細を一覧できるような冊子を配布していただけたら助かります。

(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

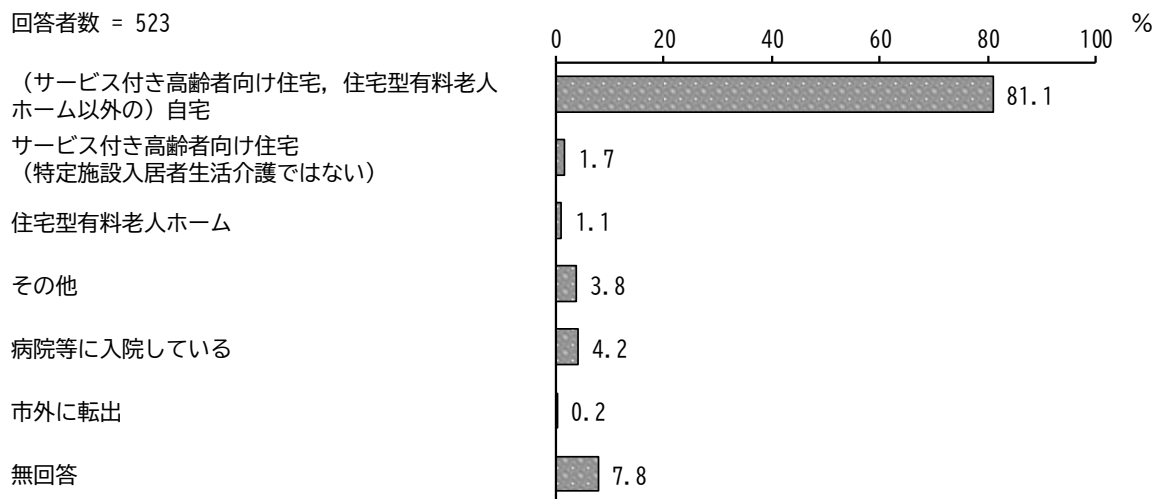
IV-2 在宅介護実態調査結果

1. 回答者属性

◆あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)

「(サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム以外の) 自宅」の割合が 81.1%と最も高くなっています。

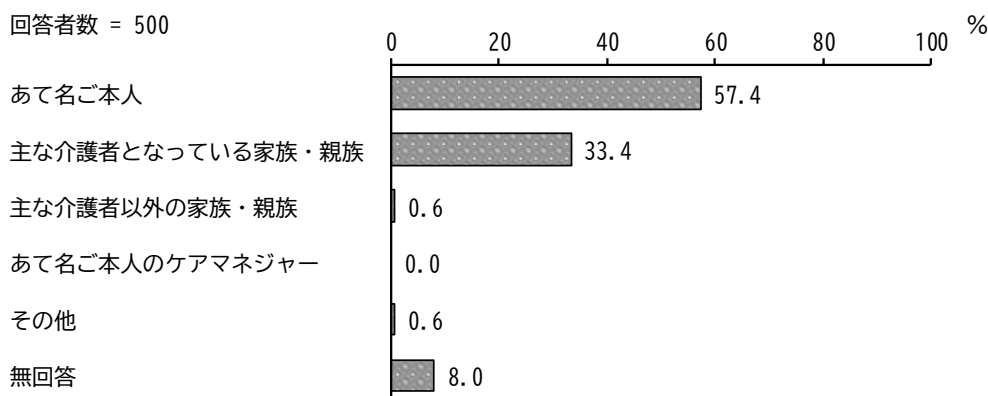
回答者数 = 523



◆この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

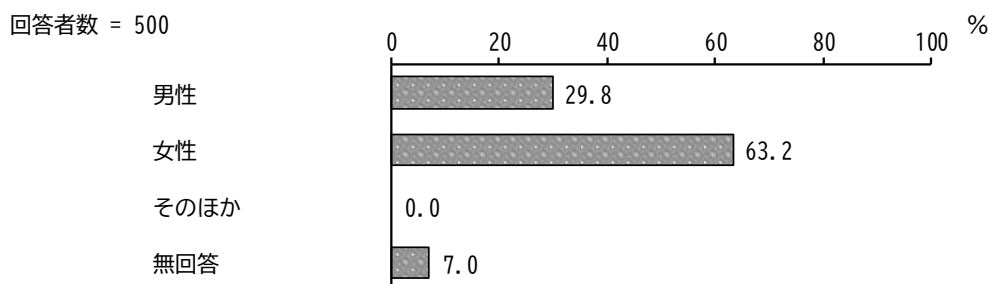
「あて名ご本人」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」の割合が 33.4%となっています。

回答者数 = 500



F1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

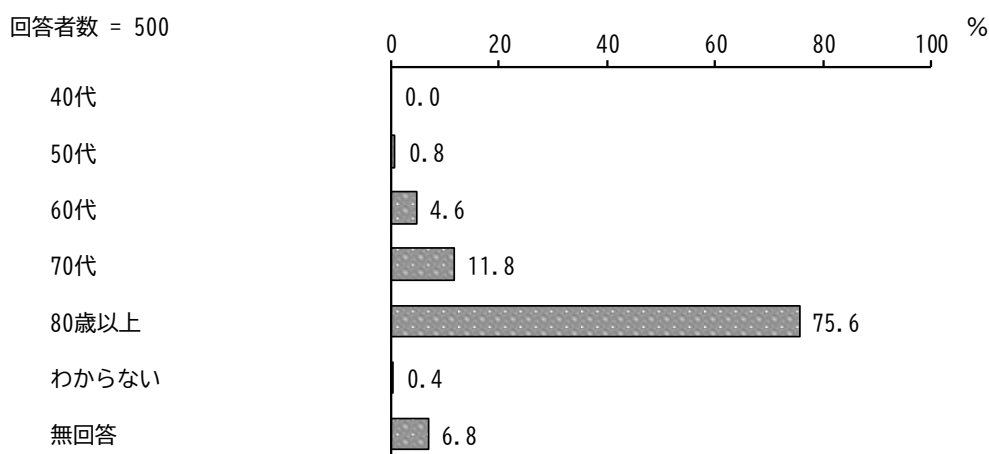
「女性」の割合が63.2%と最も高く、次いで「男性」の割合が29.8%となっています。



F2 あなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

※ 令和4年12月1日現在の年齢でお答えください。

「80歳以上」の割合が75.6%と最も高く、次いで「70代」の割合が11.8%となっています。

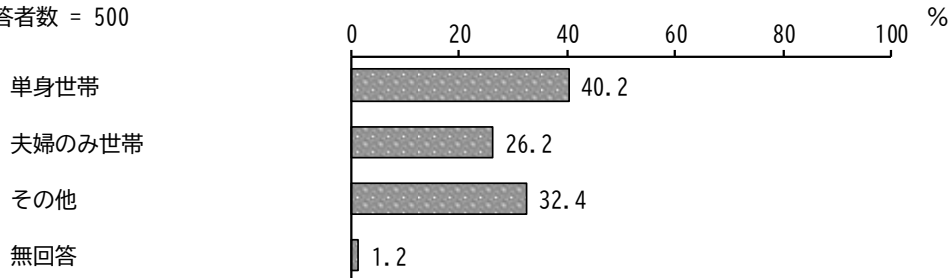


2. 本人の介護の概況について

問1 あなたの世帯類型は次のうちどれですか。(1つに○)

「単身世帯」の割合が40.2%、「夫婦のみ世帯」の割合が26.2%となっています。

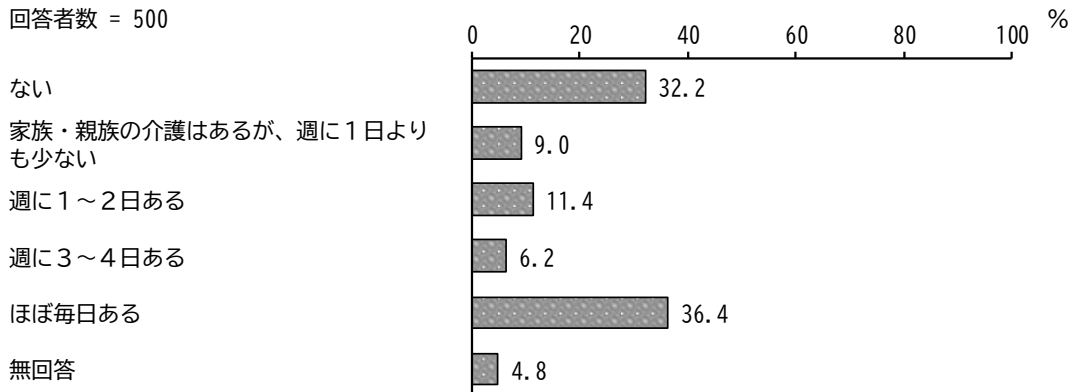
回答者数 = 500



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。同居していない子どもや親族等からの介護も入れてお答えください。(1つに○)

「ほぼ毎日ある」の割合が36.4%と最も高く、次いで「ない」の割合が32.2%、「週に1～2日ある」の割合が11.4%となっています。

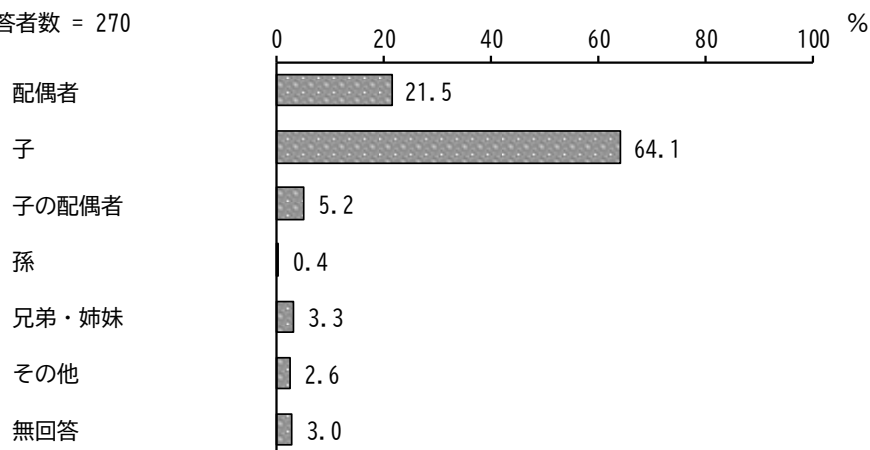
回答者数 = 500



問3 主な介護者の方はどなたですか。(1つに○)

「子」の割合が64.1%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が21.5%となっています。

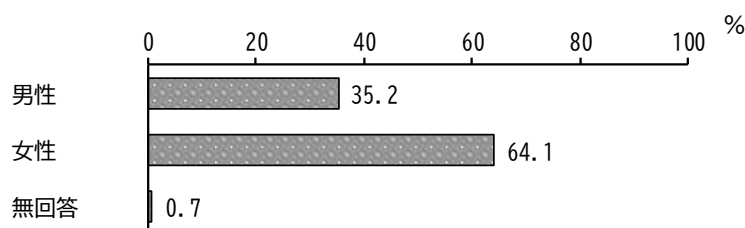
回答者数 = 270



問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。(1つに○)

「男性」の割合が35.2%、「女性」の割合が64.1%となっています。

回答者数 = 270

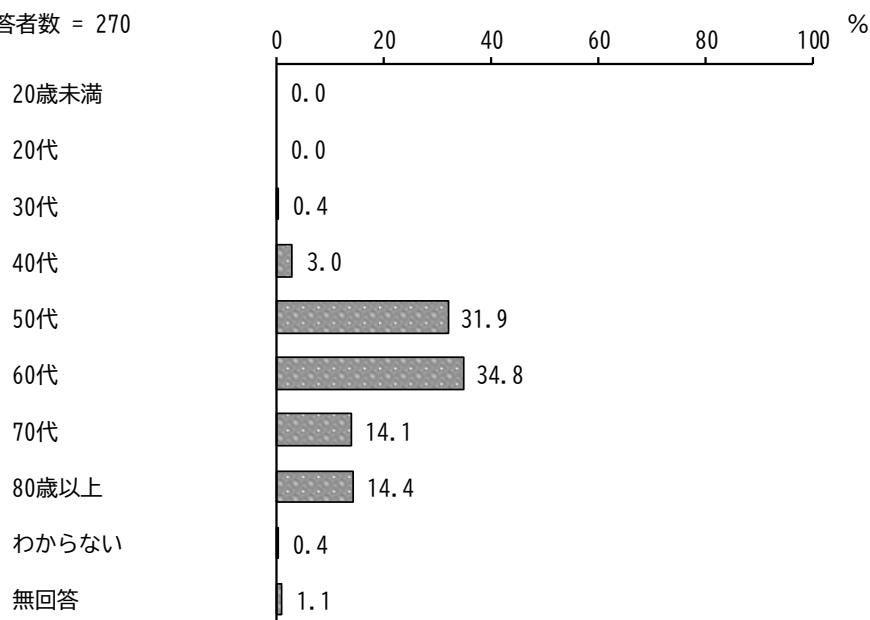


問5 主な介護者の方の年齢は次のどれですか。(1つに○)

※ 令和4年12月1日現在の年齢でお答えください。

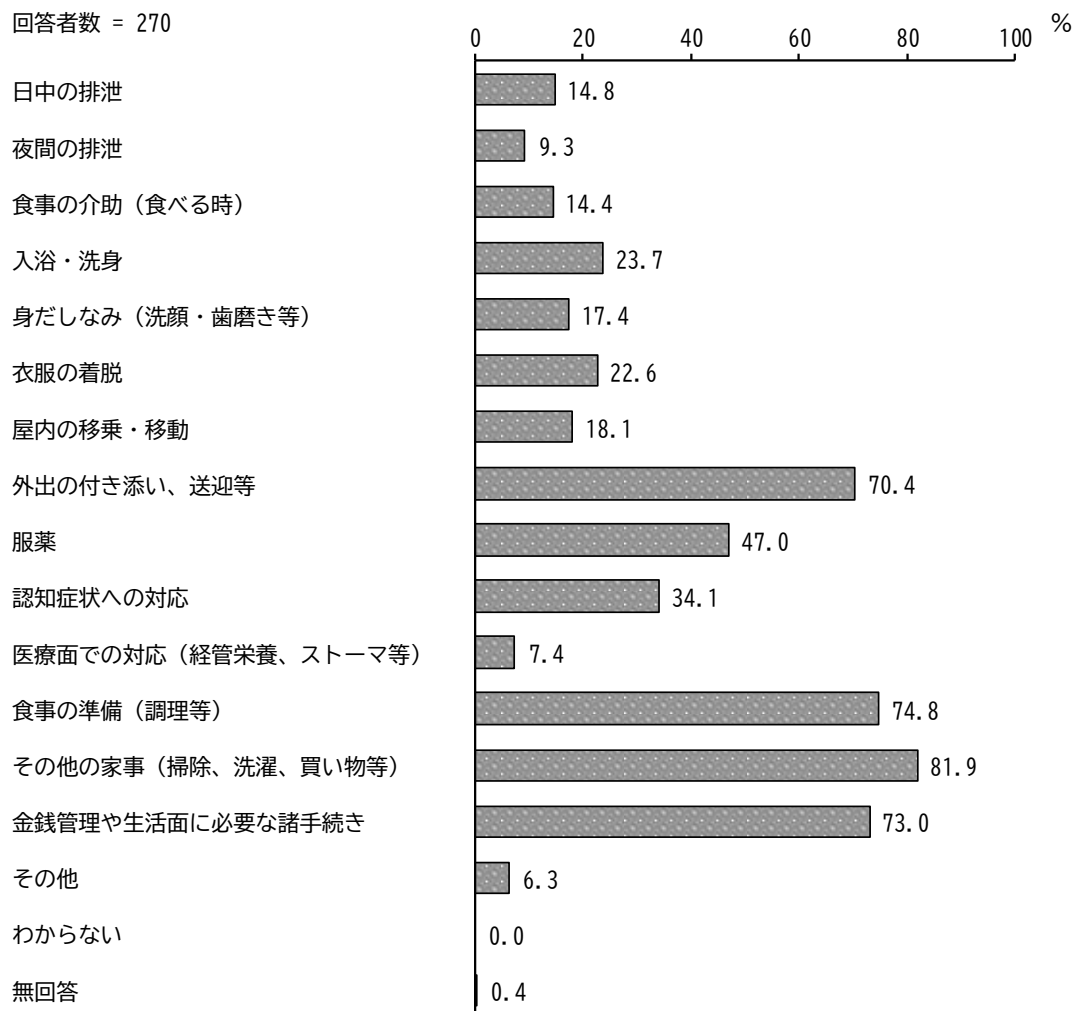
「60代」の割合が34.8%と最も高く、次いで「50代」の割合が31.9%、「80歳以上」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 270



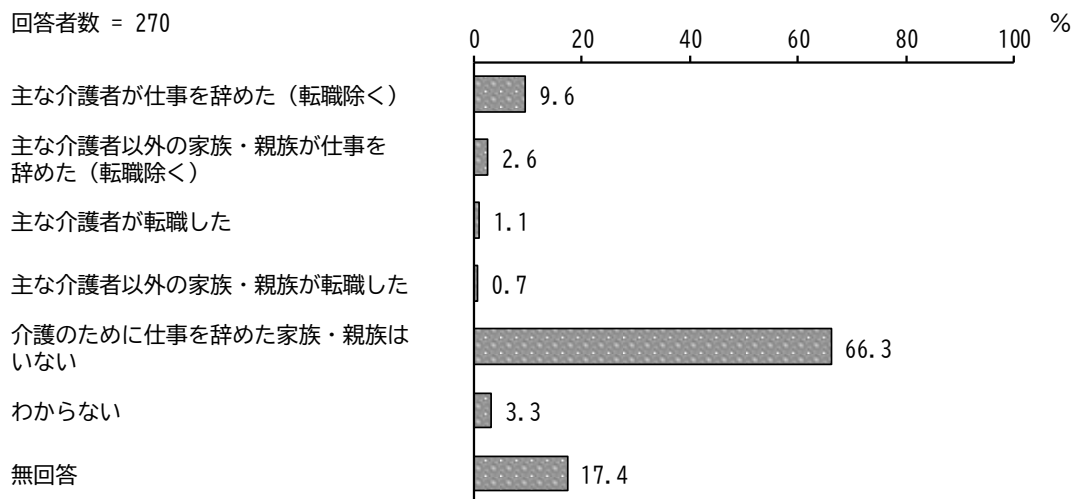
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等は次のどれですか。(いくつでも○)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 81.9%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」の割合が 74.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 73.0%となっています。



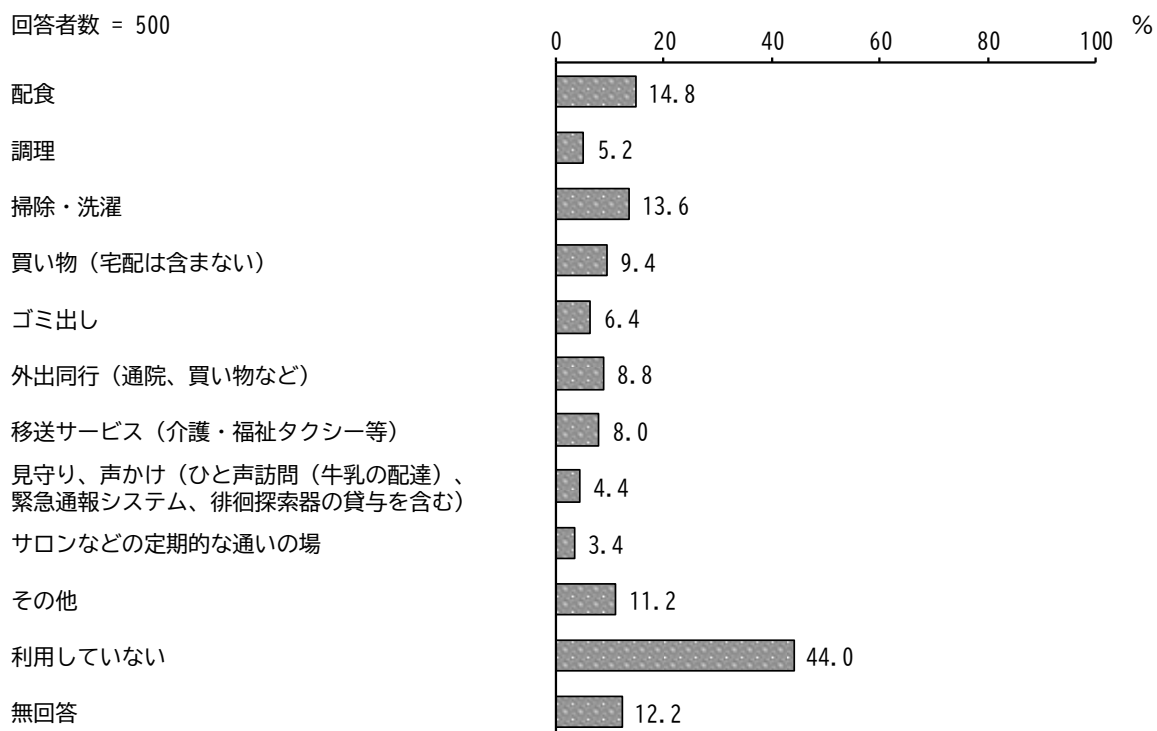
問7 ご家族やご親族の中で、あて名ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや現在の勤務形態は問いません。(いくつでも○)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が66.3%と最も高くなっています。



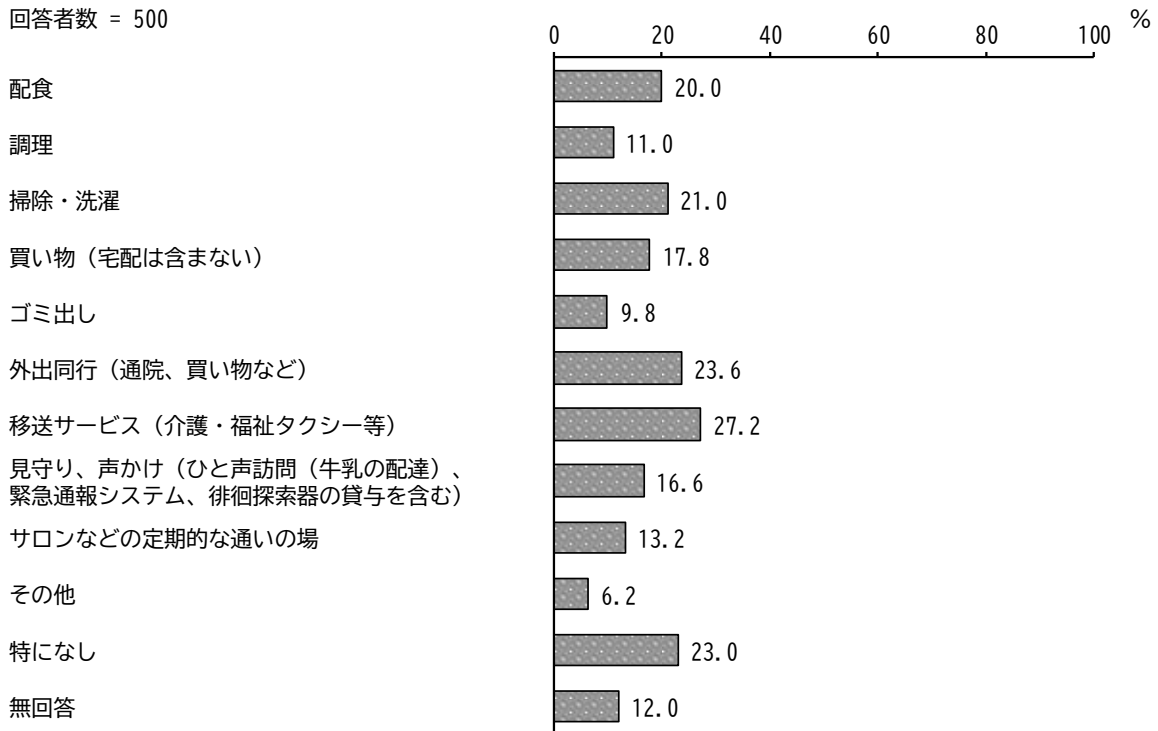
問8 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか。(いくつでも○)

「利用していない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「配食」の割合が14.8%、「掃除・洗濯」の割合が13.6%となっています。



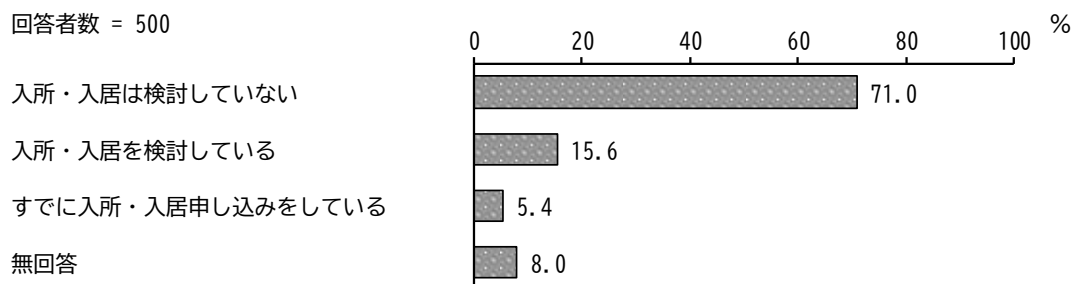
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）はどれですか。（いくつでも○）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が27.2%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」の割合が23.6%、「特になし」の割合が23.0%となっています。



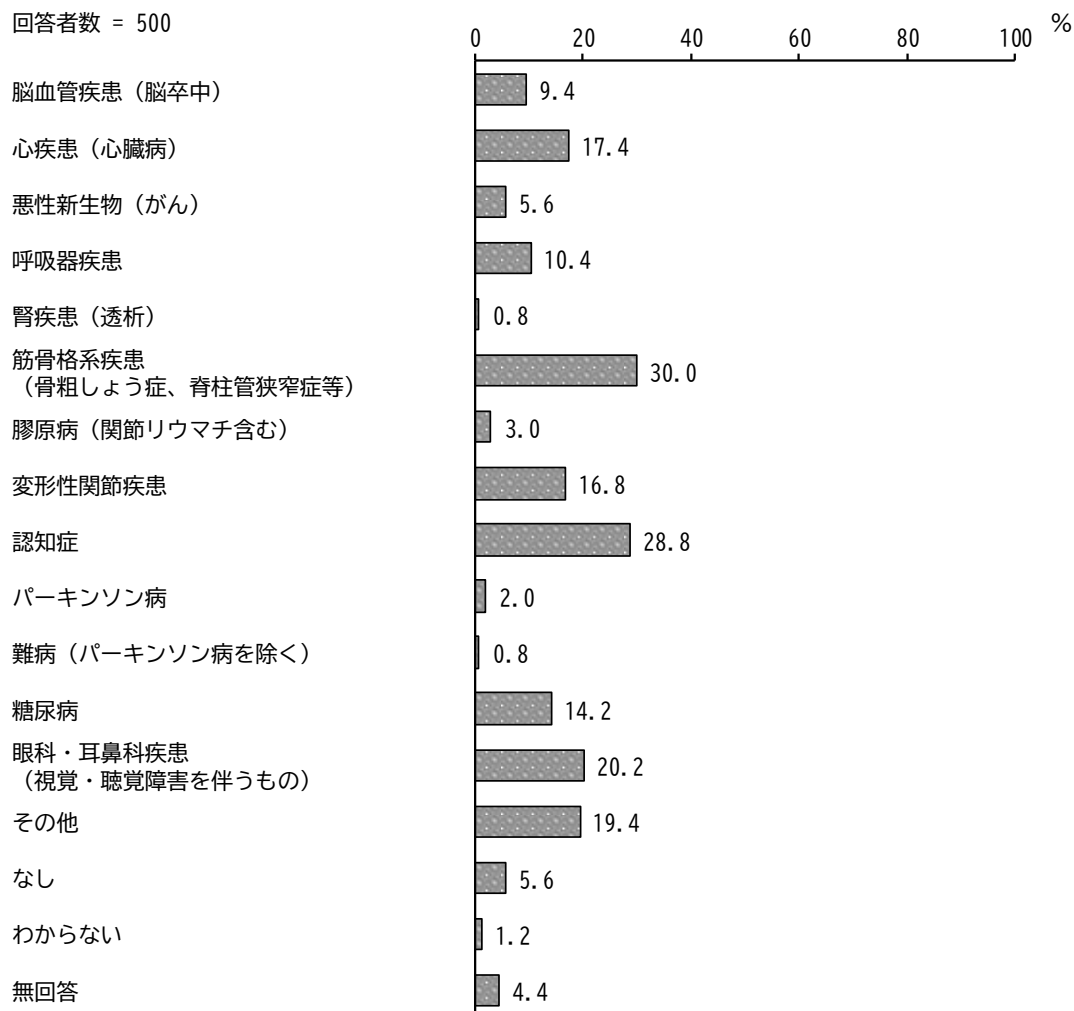
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つに○）

「入所・入居は検討していない」の割合が71.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が15.6%となっています。



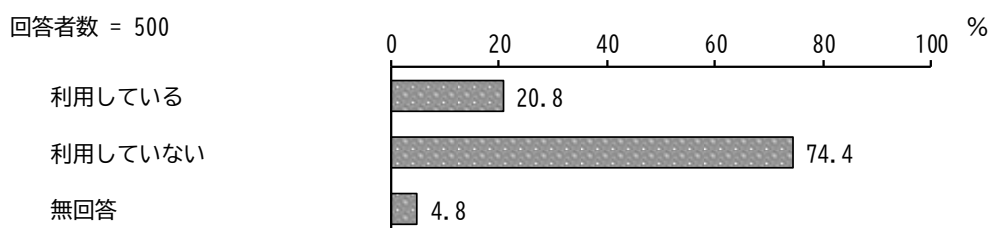
問11 あて名ご本人が現在抱えている傷病は次のどれですか。(いくつでも○)

「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が30.0%と最も高く、次いで「認知症」の割合が28.8%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が20.2%となっています。



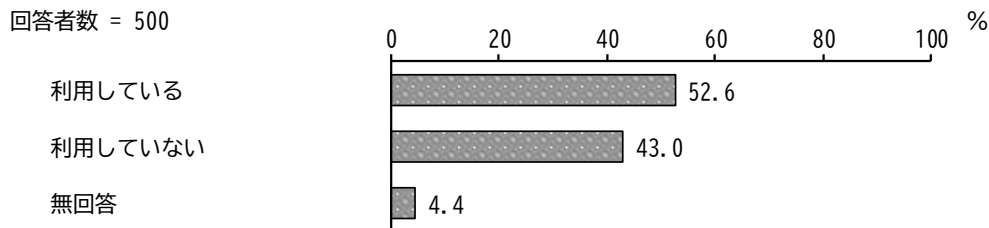
問12 あて名ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

「利用している」の割合が20.8%、「利用していない」の割合が74.4%となっています。



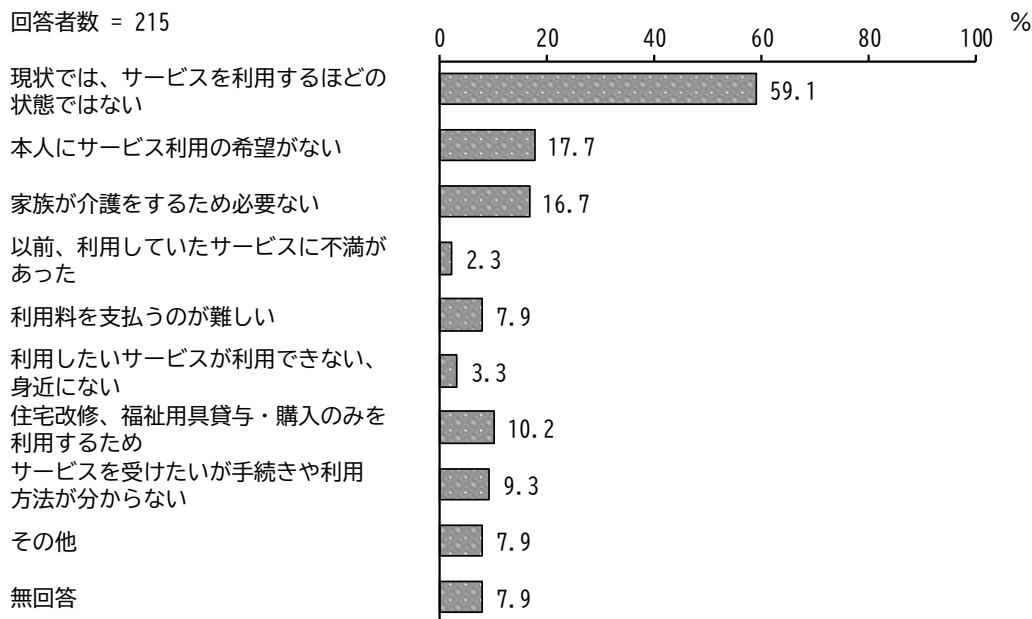
問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用して
いますか。(1つに○)

「利用している」の割合が 52.6%、「利用していない」の割合が 43.0%となっています。



問 14 問 13 で「利用していない」と答えた方におうかがいします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

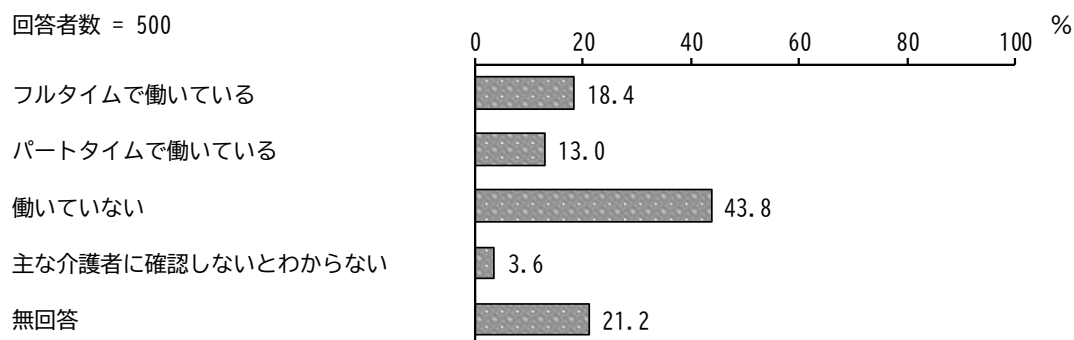
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 17.7%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が 16.7%となっています。



3. 主な介護者の状況について

問15 主な介護者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。(1つに○)

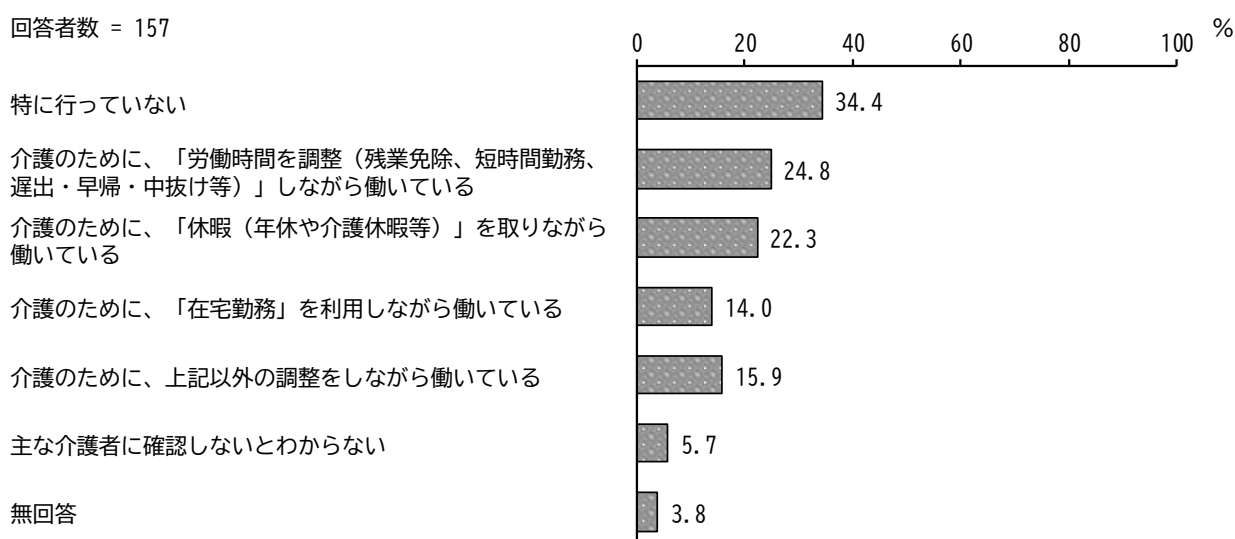
「働いていない」の割合が43.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が18.4%、「パートタイムで働いている」の割合が13.0%となっています。



問16 問15で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方におたずねします。

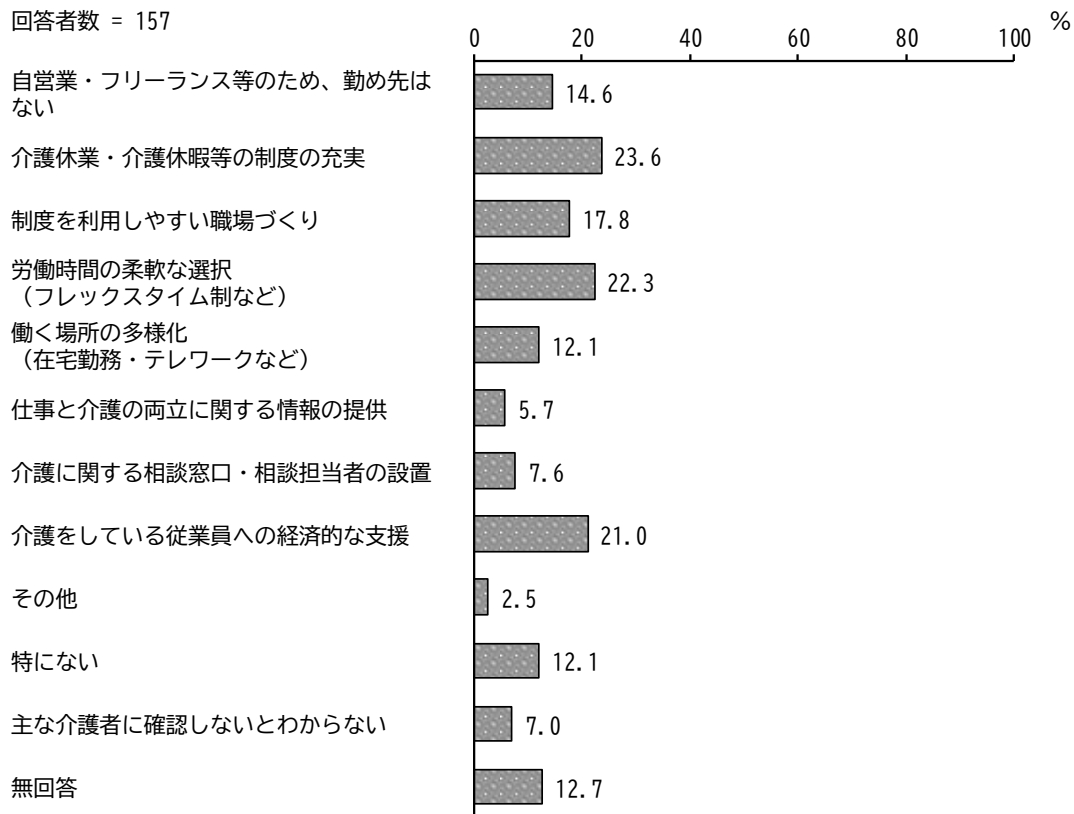
主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)

「特に行っていない」の割合が34.4%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」の割合が24.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている」の割合が22.3%となっています。



問17 問15で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方におたずねします。
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○)

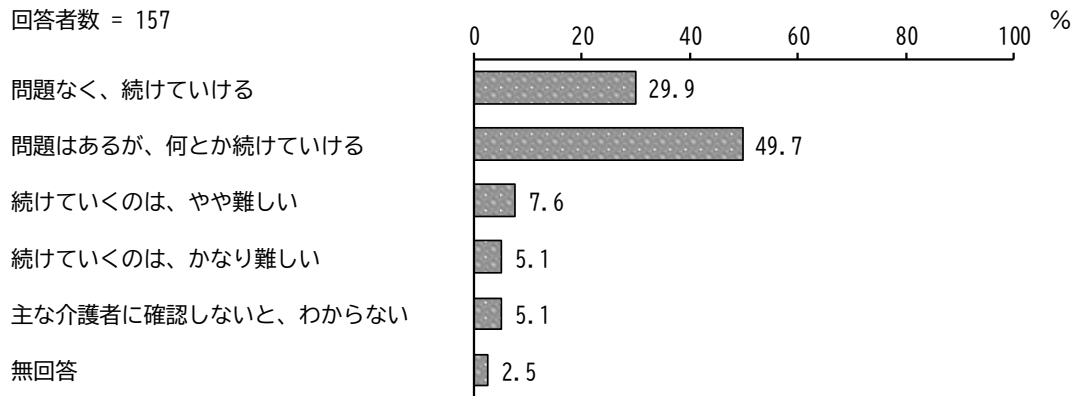
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が23.6%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」の割合が22.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が21.0%となっています。



問18 問15で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方におたずねします。

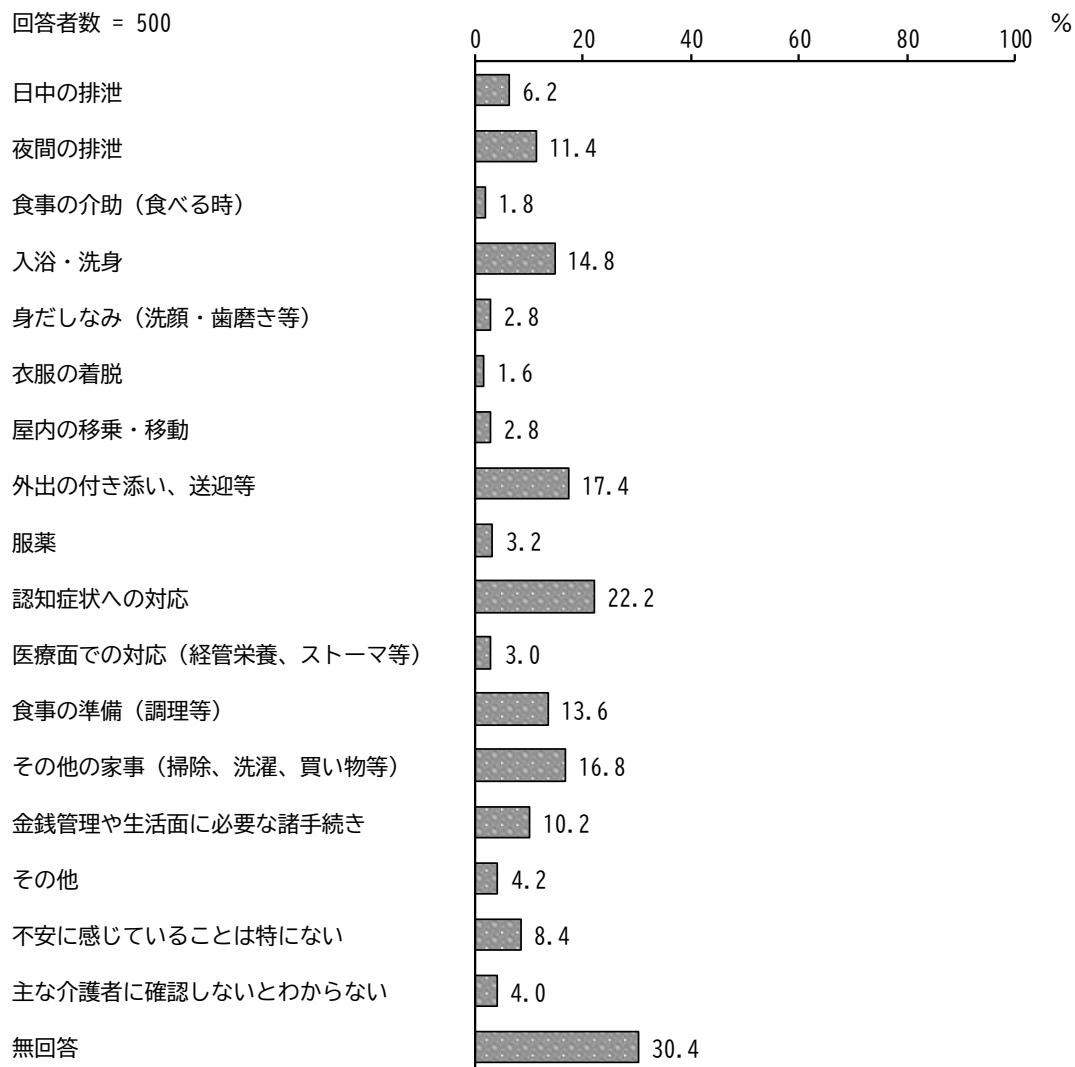
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が49.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が29.9%となっています。



問 19 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等についてご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。(3つまで○)

「認知症状への対応」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が 17.4%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 16.8%となっています。

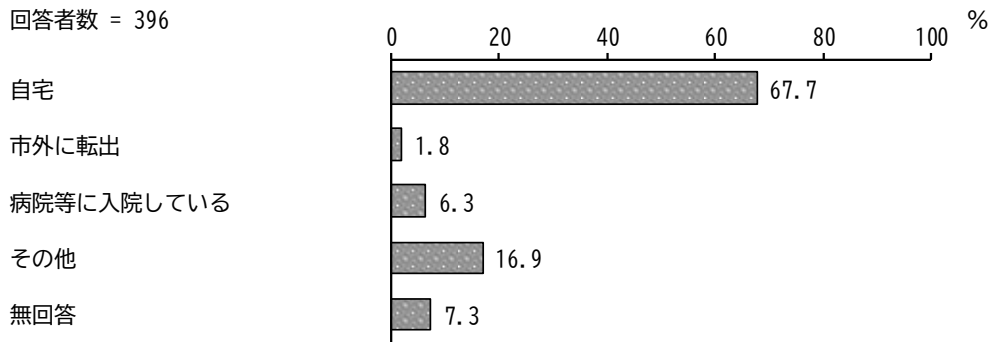


IV-3 介護保険サービス利用意向調査結果

1. 回答者属性

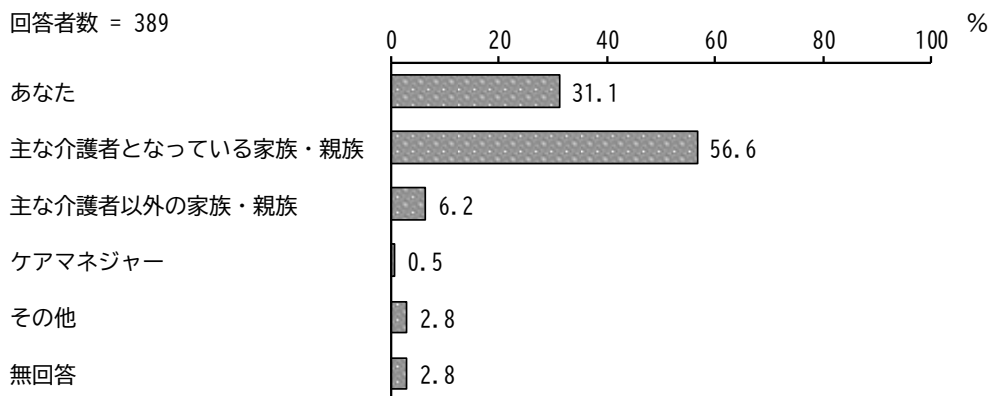
あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)

「自宅」の割合が67.7%と最も高くなっています。



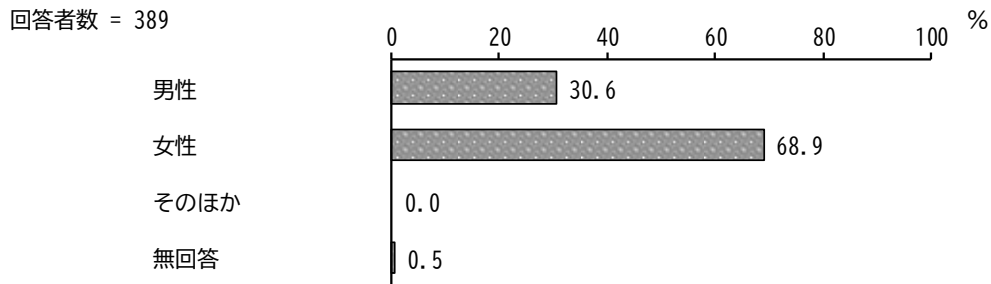
この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が56.6%と最も高く、次いで「あなた」の割合が31.1%となっています。



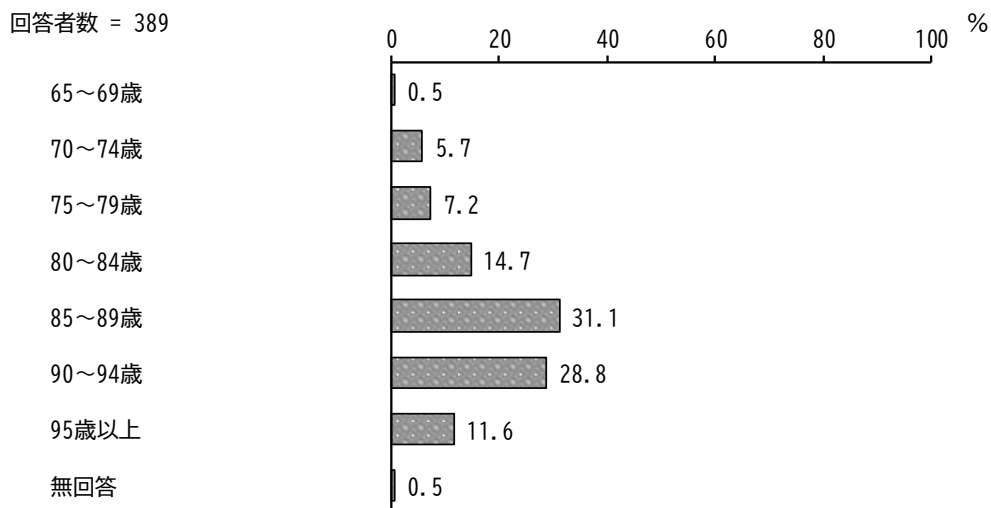
F 1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「女性」の割合が68.9%と最も高く、次いで「男性」の割合が30.6%となっています。



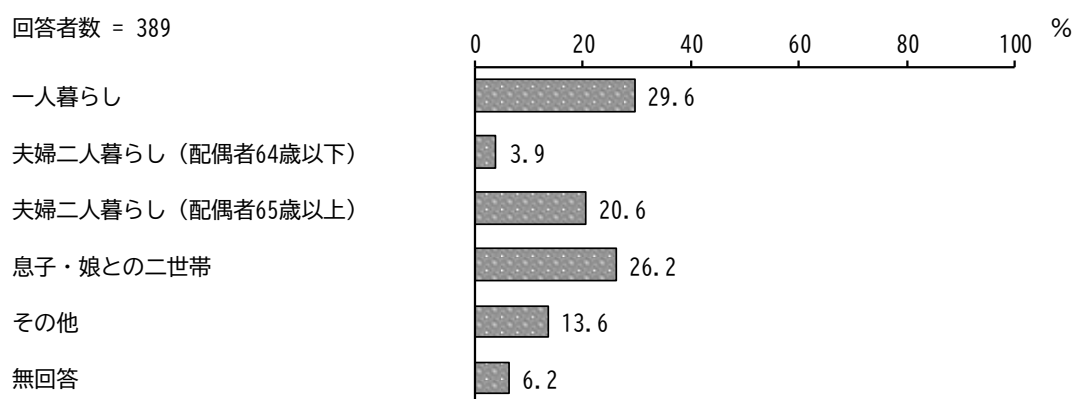
F 2 あなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

「85～89歳」の割合が31.1%と最も高く、次いで「90～94歳」の割合が28.8%、「80～84歳」の割合が14.7%となっています。



F3 あなたの家族構成をお教えてください。(1つに○)

「一人暮らし」の割合が29.6%と最も高く、次いで「息子・娘との二世帯」の割合が26.2%、「夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が20.6%となっています。



【幸福度別】

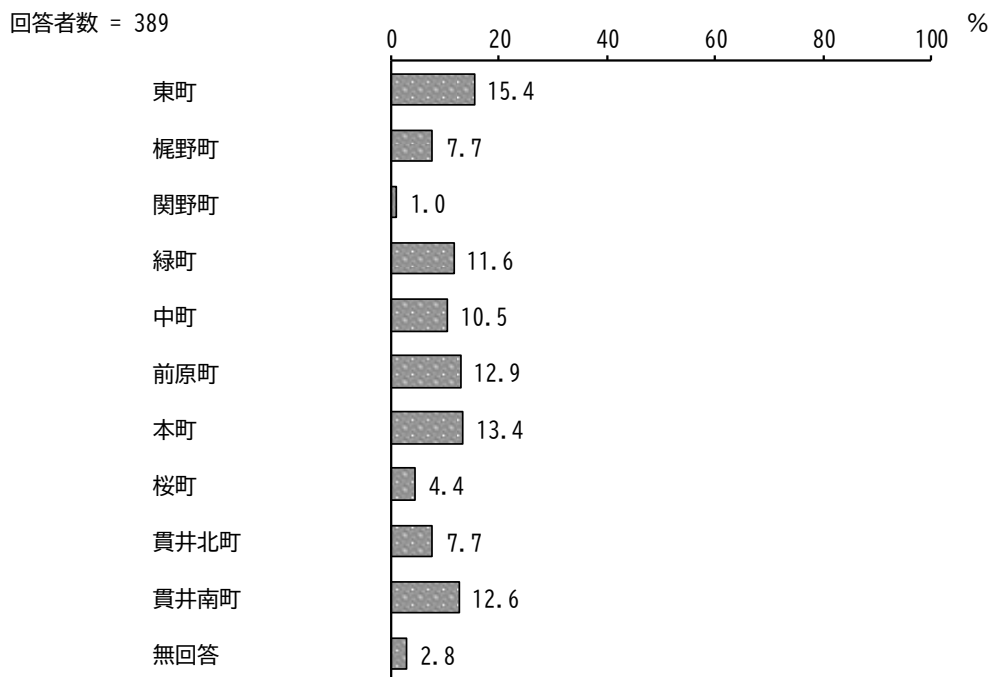
幸福度別にみると、他に比べ、0～3点、4～6点で「一人暮らし」の割合が高くなっています。また、0～3点で「息子・娘との二世帯」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	一人暮らし	夫婦二人暮らし (配偶者64歳以下)	夫婦二人暮らし (配偶者65歳以上)	息子・娘との二世帯	その他	無回答
全体	389	29.6	3.9	20.6	26.2	13.6	6.2
0～3点	32	37.5	6.3	12.5	34.4	6.3	3.1
4～6点	91	35.2	1.1	23.1	22.0	12.1	6.6
7～10点	205	27.3	5.9	20.0	29.3	14.6	2.9

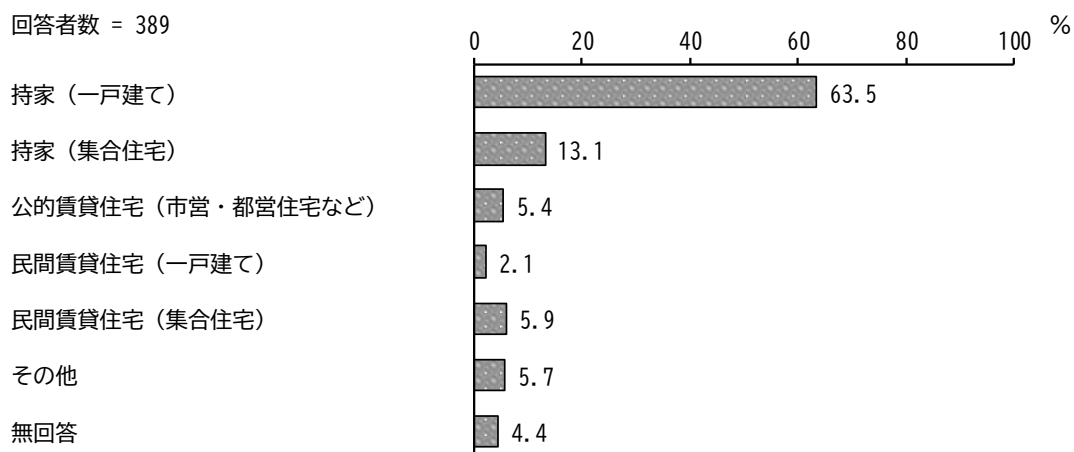
F 4 あなたはどちらにお住まいですか。(1つに○)

「東町」の割合が15.4%と最も高く、次いで「本町」の割合が13.4%、「前原町」の割合が12.9%となっています。



F 5 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

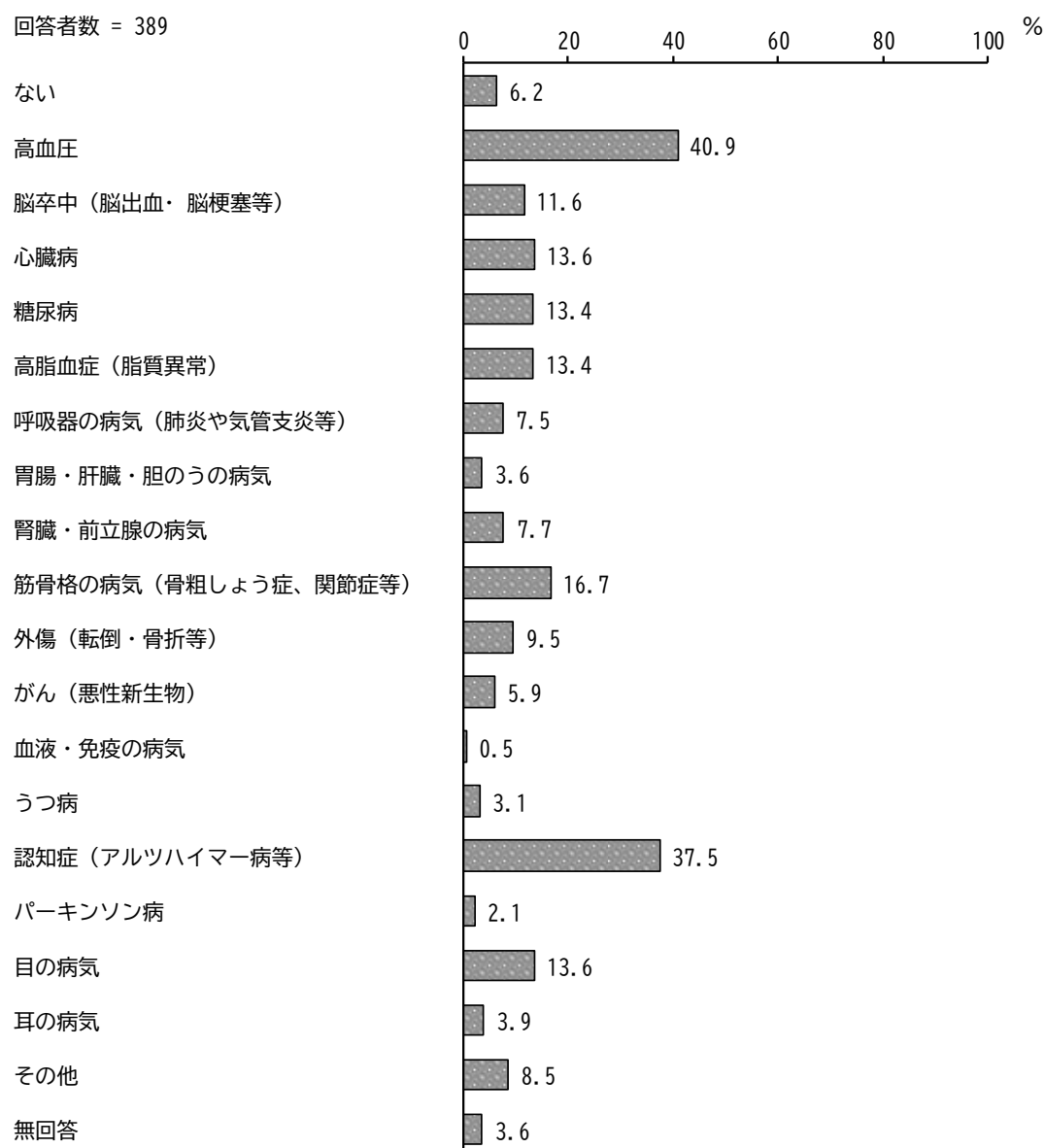
「持家（一戸建て）」の割合が63.5%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が13.1%となっています。



2. 医療の状況等について

問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。
(いくつでも○)

「高血圧」の割合が40.9%と最も高く、次いで「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が37.5%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が16.7%となっています。

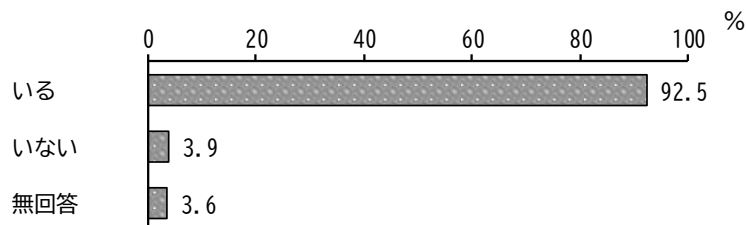


問2 あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」はいますか。また、「かかりつけ薬局」はありますか。(①から③についてそれぞれ1つに○)

(1) かかりつけ医

「いる」の割合が92.5%、「いない」の割合が3.9%となっています。

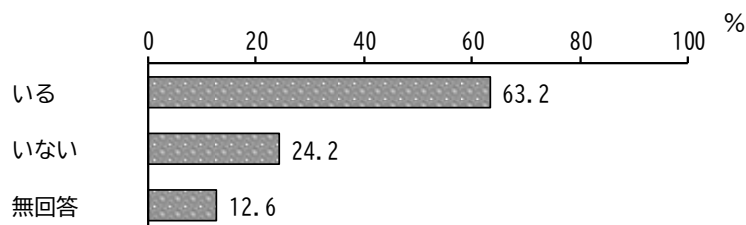
回答者数 = 389



(2) かかりつけ歯科医

「いる」の割合が63.2%、「いない」の割合が24.2%となっています。

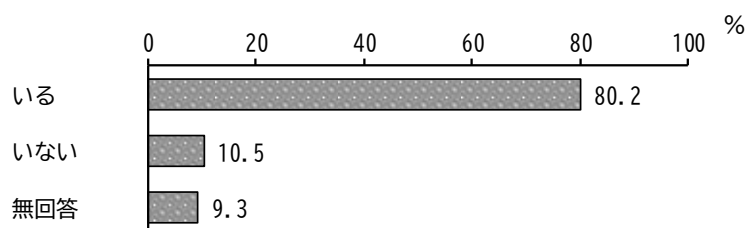
回答者数 = 389



(3) かかりつけ薬局

「いる」の割合が80.2%、「いない」の割合が10.5%となっています。

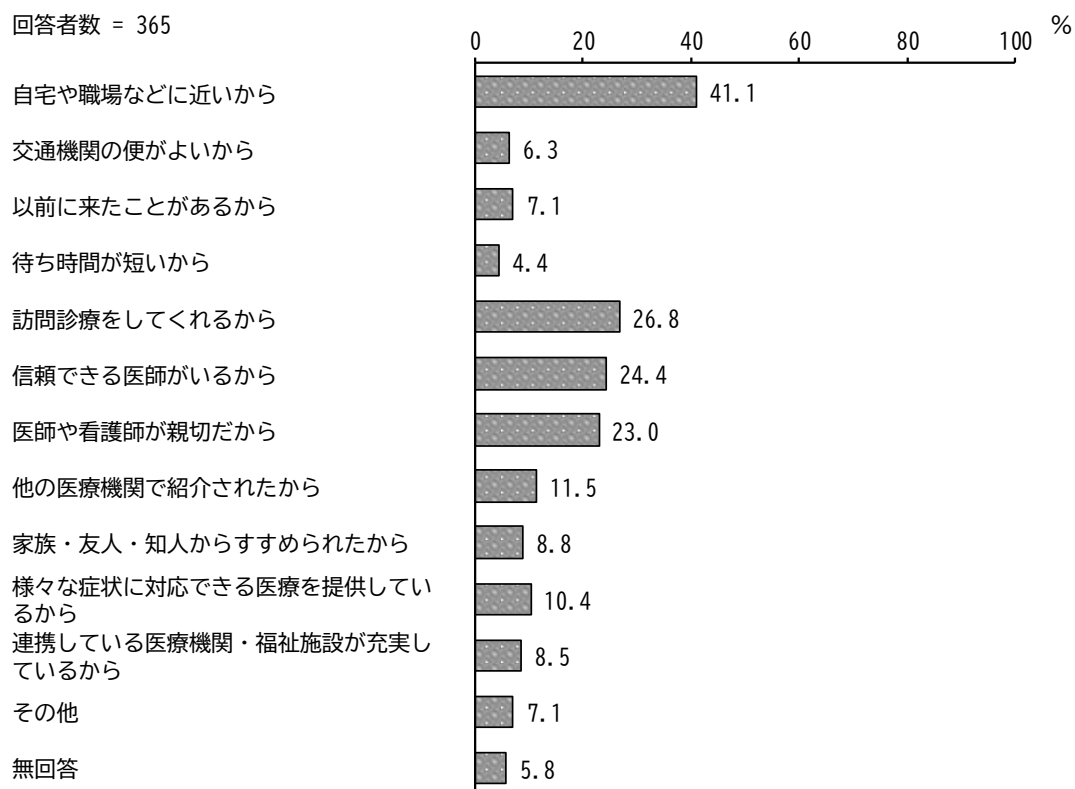
回答者数 = 389



問2-1 問2で①かかりつけ医、②かかりつけ歯科医が「いる」と答えた方におたずねします。

その医療機関をかかりつけに選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

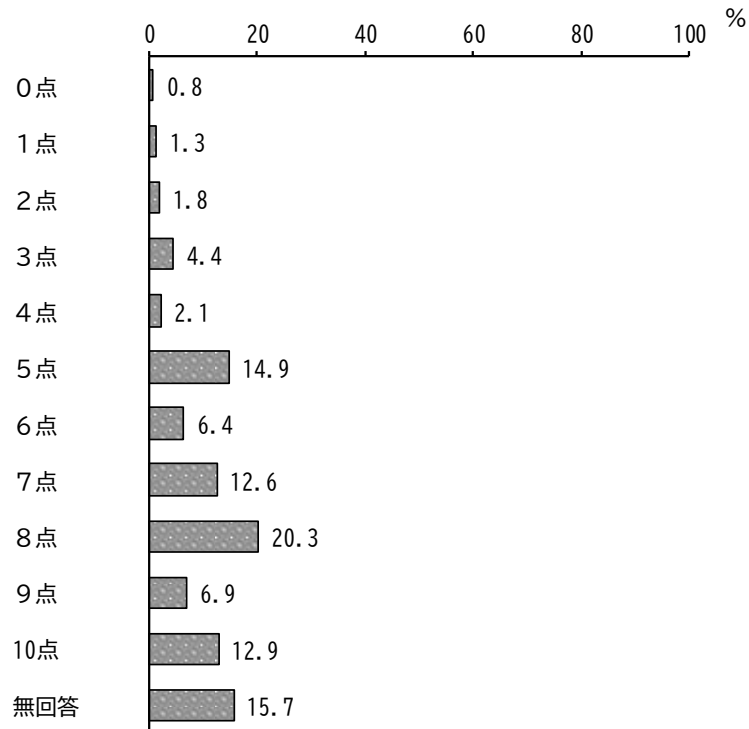
「自宅や職場などに近いから」の割合が41.1%と最も高く、次いで「訪問診療をしてもらえるから」の割合が26.8%、「信頼できる医師がいるから」の割合が24.4%となっています。



問3 あなたは、現在どの程度幸せですか。(当てはまる点数1つに○) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

「8点」の割合が20.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が14.9%、「10点」の割合が12.9%となっています。

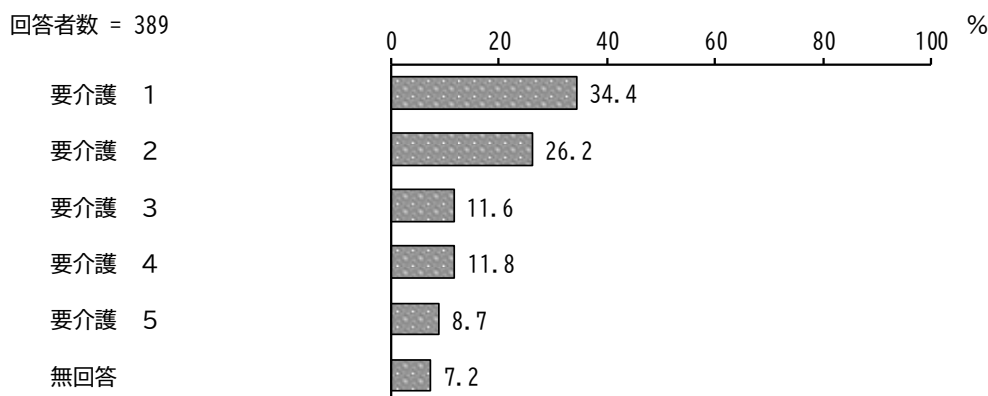
回答者数 = 389



3. 介護保険サービスの利用について

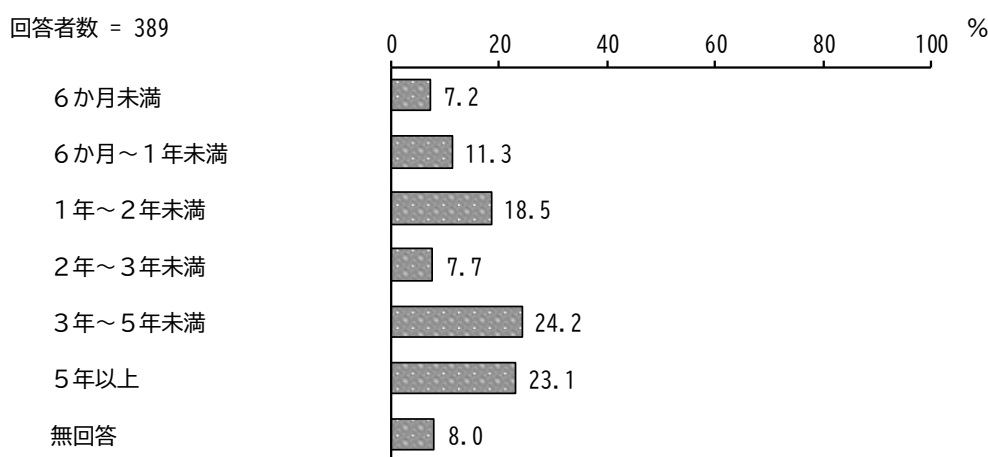
問4 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)

「要介護 1」の割合が34.4%と最も高く、次いで「要介護 2」の割合が26.2%、「要介護 4」の割合が11.8%となっています。



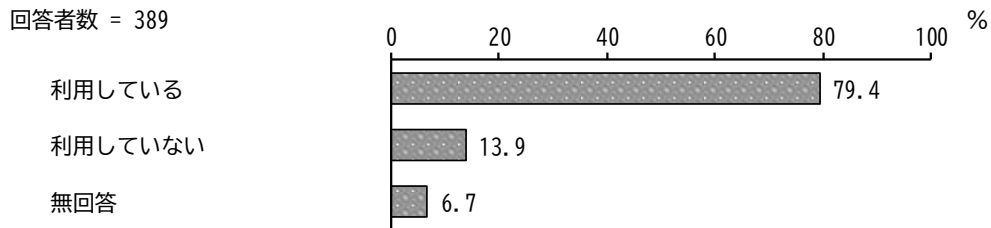
問5 最初の要介護の認定を受けてから、どの程度の期間が経過していますか。(1つに○)

「3年～5年未満」の割合が24.2%と最も高く、次いで「5年以上」の割合が23.1%、「1年～2年未満」の割合が18.5%となっています。



問6 あなたは、介護保険サービスを利用されていますか。(1つに○)

「利用している」の割合が79.4%、「利用していない」の割合が13.9%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、大きな差はみられません。

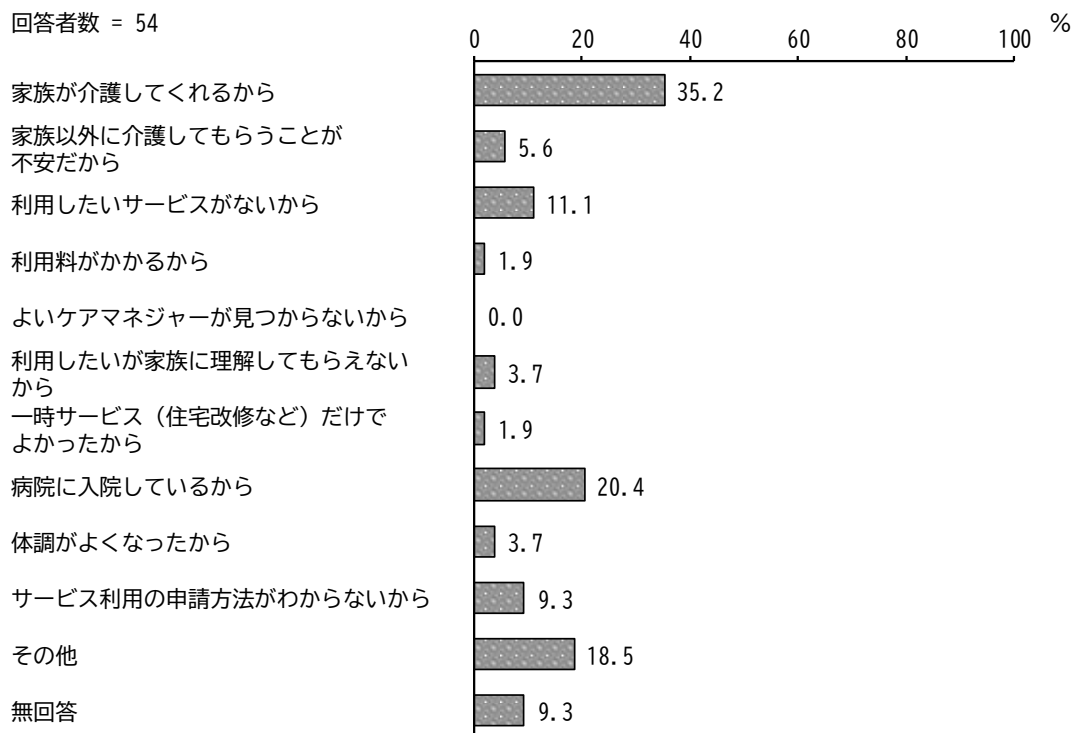
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	389	79.4	13.9	6.7
0～3点	32	81.3	15.6	3.1
4～6点	91	81.3	12.1	6.6
7～10点	205	81.0	15.6	3.4

問6-1 問6で「利用していない」と答えた方におたずねします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

「家族が介護してくれるから」の割合が35.2%と最も高く、次いで「病院に入院しているから」の割合が20.4%、「利用したいサービスがないから」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 54



4. 介護保険について

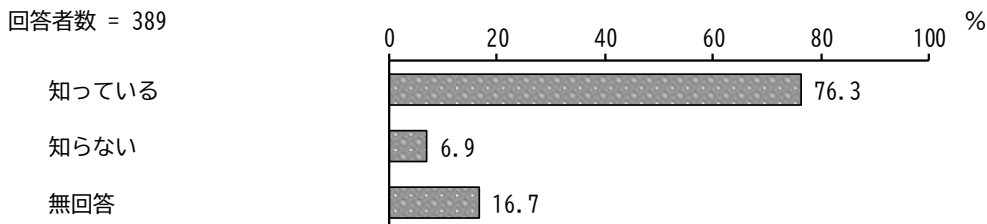
問7 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っています。これらのサービスの認知度、今後の利用意向についておたずねします。

(1) 在宅サービス

① 訪問介護、総合事業訪問型サービス（ホームヘルプ）

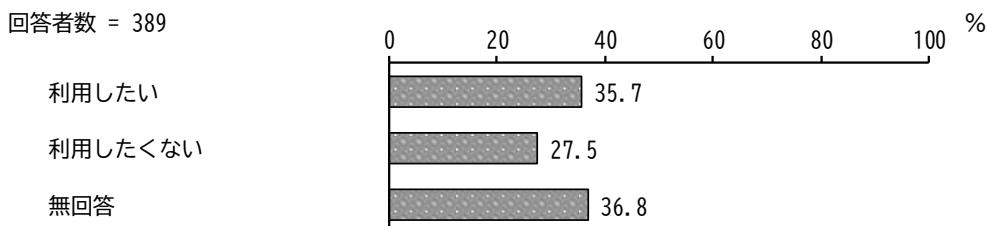
ア 認知度

「知っている」の割合が76.3%、「知らない」の割合が6.9%となっています。



イ 利用意向

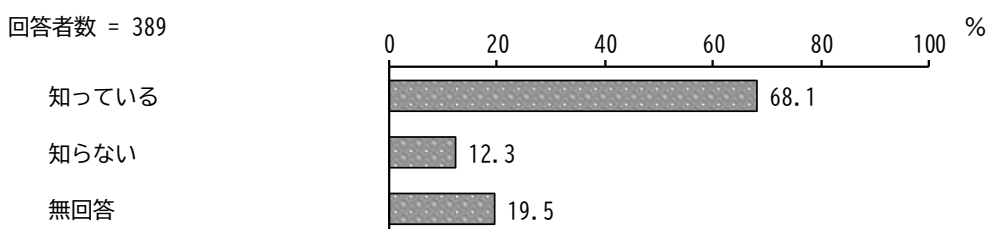
「利用したい」の割合が35.7%、「利用したくない」の割合が27.5%となっています。



② (介護予防) 訪問看護

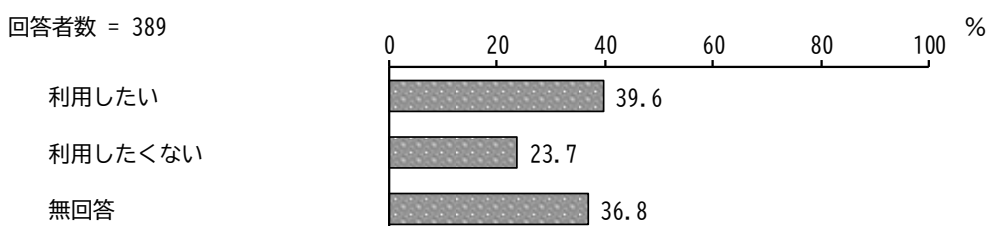
ア 認知度

「知っている」の割合が68.1%、「知らない」の割合が12.3%となっています。



イ 利用意向

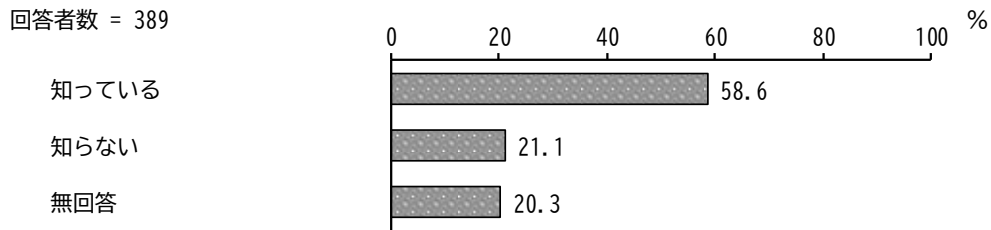
「利用したい」の割合が39.6%、「利用したくない」の割合が23.7%となっています。



③ (介護予防) 訪問リハビリテーション

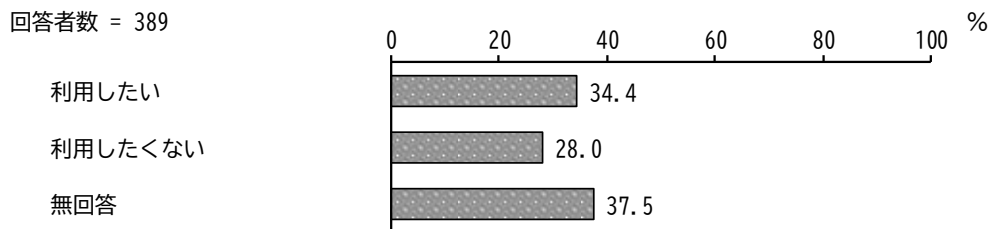
ア 認知度

「知っている」の割合が58.6%、「知らない」の割合が21.1%となっています。



イ 利用意向

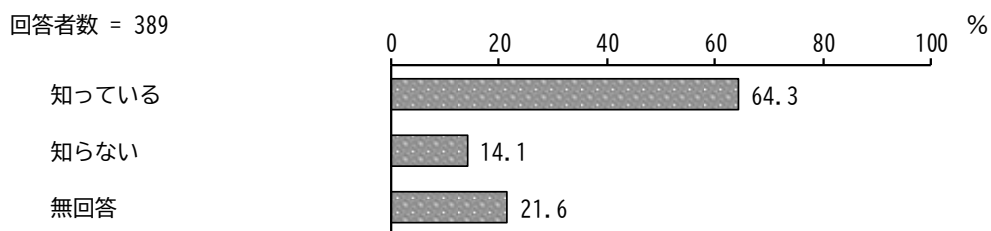
「利用したい」の割合が34.4%、「利用したくない」の割合が28.0%となっています。



④ (介護予防) 訪問入浴介護

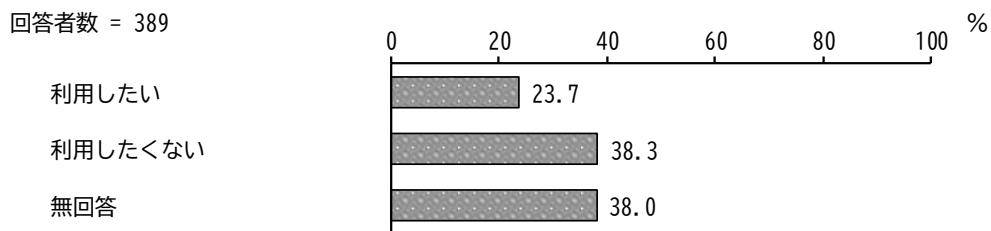
ア 認知度

「知っている」の割合が64.3%、「知らない」の割合が14.1%となっています。



イ 利用意向

「利用したい」の割合が23.7%、「利用したくない」の割合が38.3%となっています。

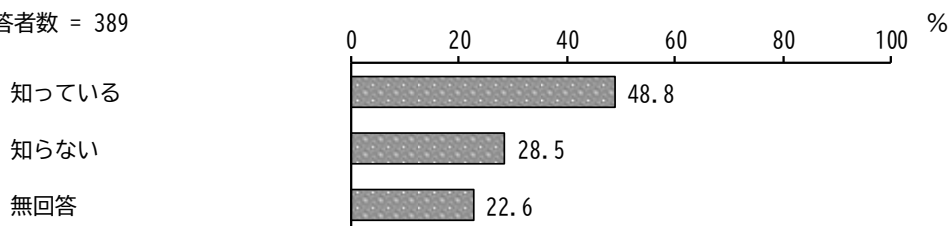


⑤（介護予防）居宅療養管理指導

ア 認知度

「知っている」の割合が48.8%、「知らない」の割合が28.5%となっています。

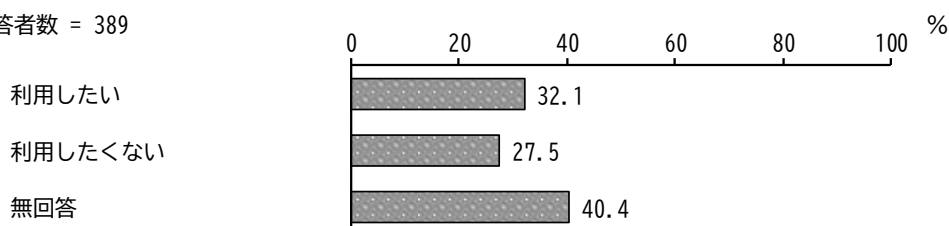
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が32.1%、「利用したくない」の割合が27.5%となっています。

回答者数 = 389

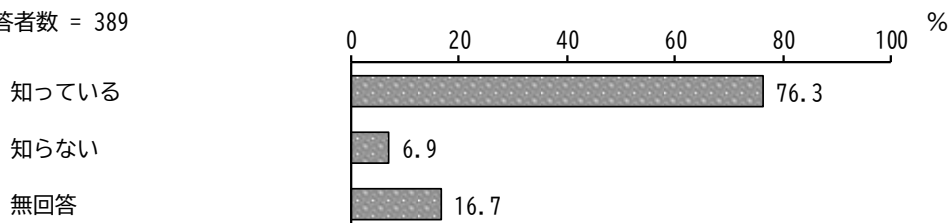


⑥通所介護、総合事業通所型サービス（デイサービス）

ア 認知度

「知っている」の割合が76.3%、「知らない」の割合が6.9%となっています。

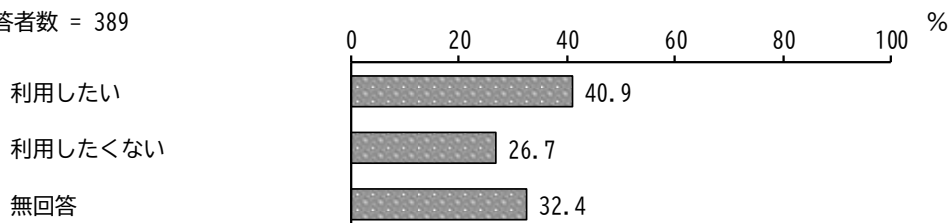
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が40.9%、「利用したくない」の割合が26.7%となっています。

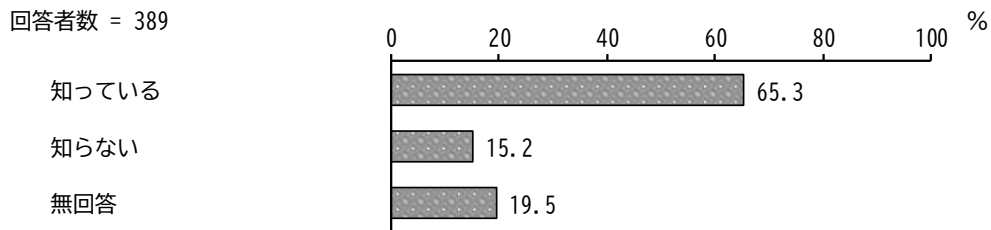
回答者数 = 389



⑦ (介護予防) 通所リハビリテーション (デイケア)

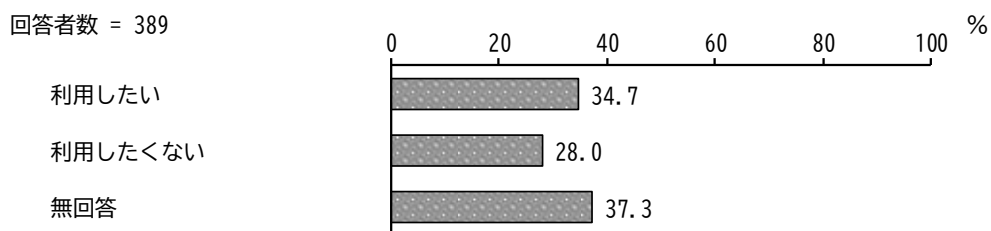
ア 認知度

「知っている」の割合が 65.3%、「知らない」の割合が 15.2%となっています。



イ 利用意向

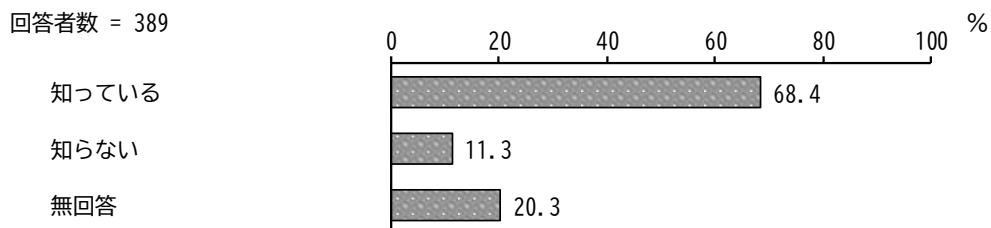
「利用したい」の割合が 34.7%、「利用したくない」の割合が 28.0%となっています。



⑧ (介護予防) 短期入所生活介護 (ショートステイ)

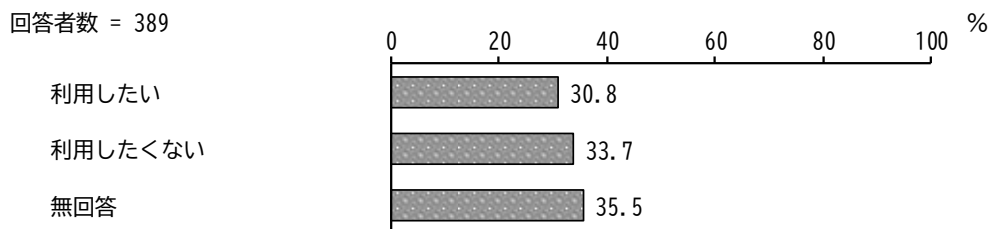
ア 認知度

「知っている」の割合が 68.4%、「知らない」の割合が 11.3%となっています。



イ 利用意向

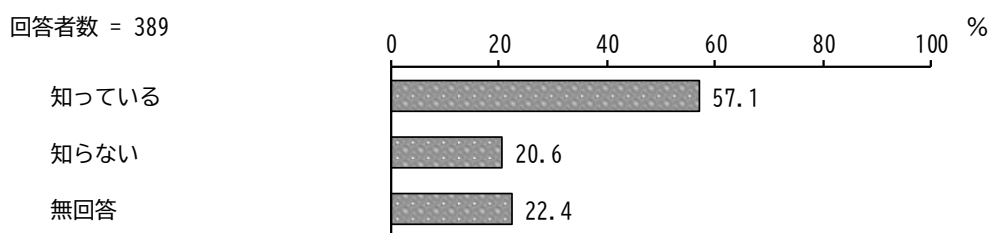
「利用したい」の割合が 30.8%、「利用したくない」の割合が 33.7%となっています。



⑨ (介護予防) 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)

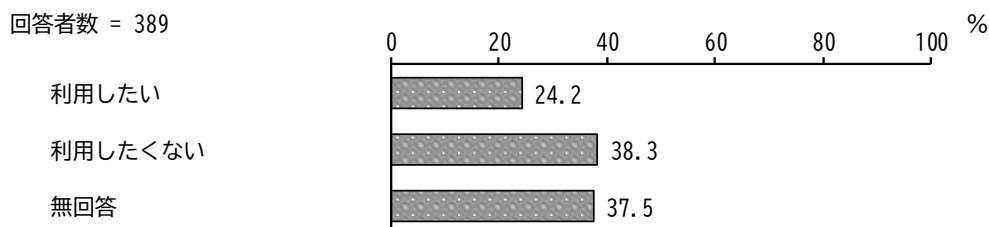
ア 認知度

「知っている」の割合が 57.1%、「知らない」の割合が 20.6%となっています。



イ 利用意向

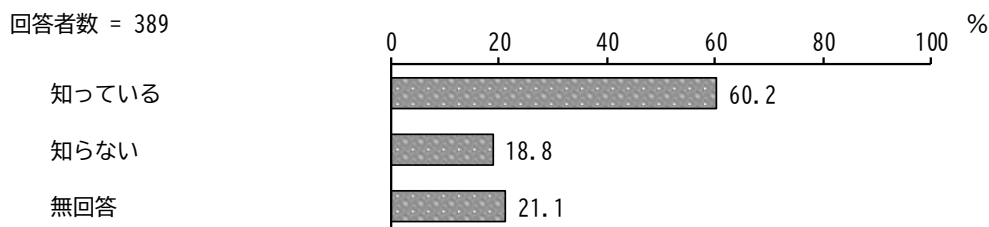
「利用したい」の割合が 24.2%、「利用したくない」の割合が 38.3%となっています。



⑩ (介護予防) 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)

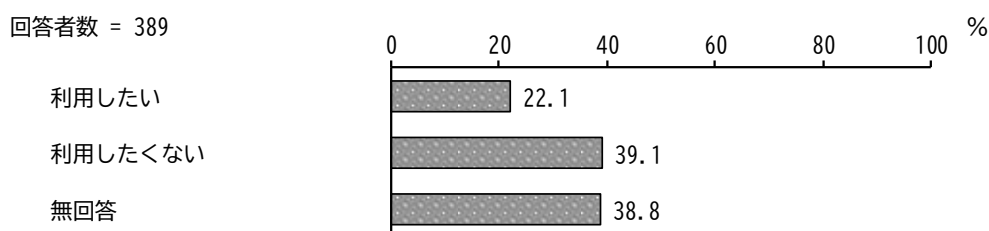
ア 認知度

「知っている」の割合が 60.2%、「知らない」の割合が 18.8%となっています。



イ 利用意向

「利用したい」の割合が 22.1%、「利用したくない」の割合が 39.1%となっています。

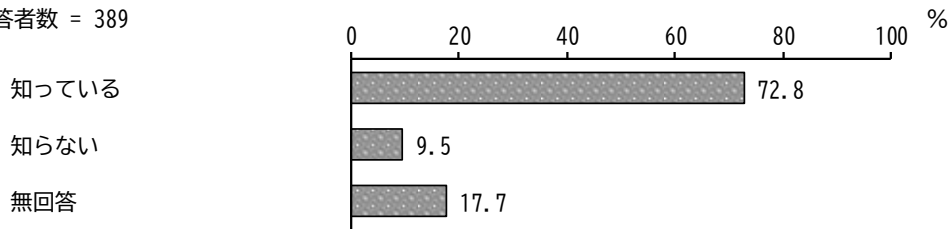


⑪ (介護予防) 福祉用具の貸与

ア 認知度

「知っている」の割合が72.8%、「知らない」の割合が9.5%となっています。

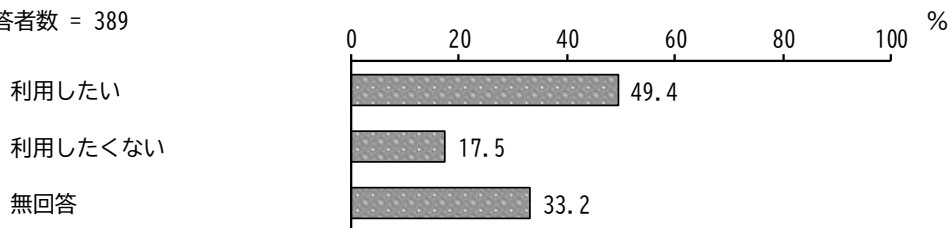
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が49.4%、「利用したくない」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 389

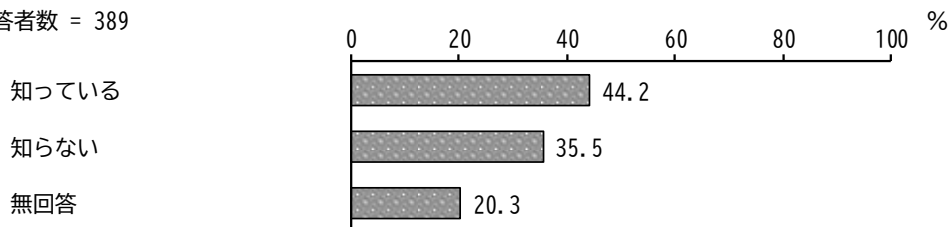


⑫ (介護予防) 特定福祉用具販売

ア 認知度

「知っている」の割合が44.2%、「知らない」の割合が35.5%となっています。

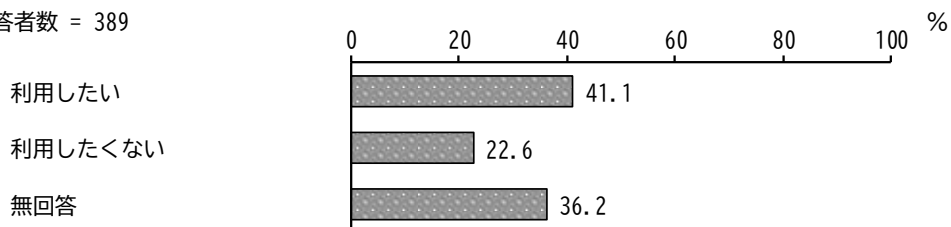
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が41.1%、「利用したくない」の割合が22.6%となっています。

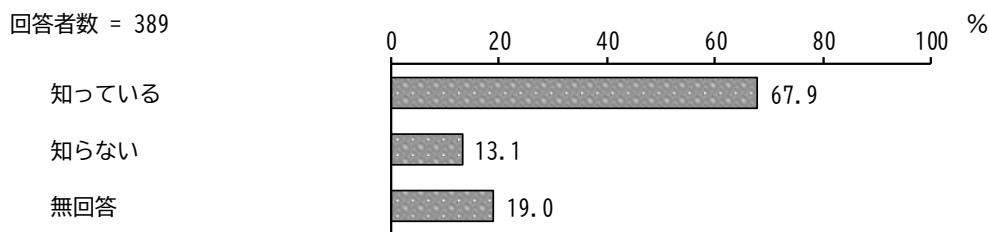
回答者数 = 389



⑬ (介護予防) 住宅改修費の支給

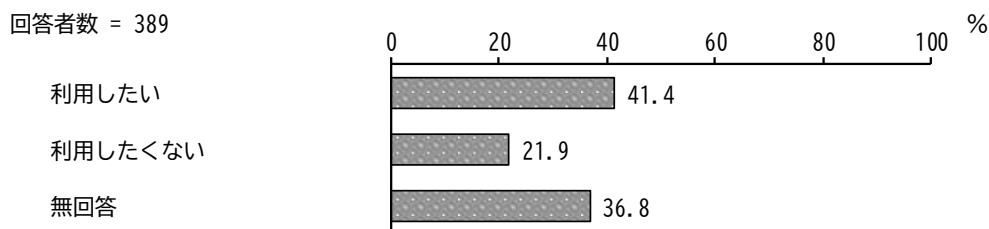
ア 認知度

「知っている」の割合が67.9%、「知らない」の割合が13.1%となっています。



イ 利用意向

「利用したい」の割合が41.4%、「利用したくない」の割合が21.9%となっています。

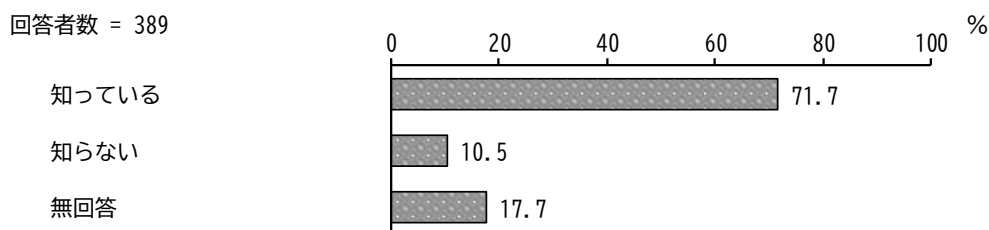


(2) 施設サービス

⑭ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

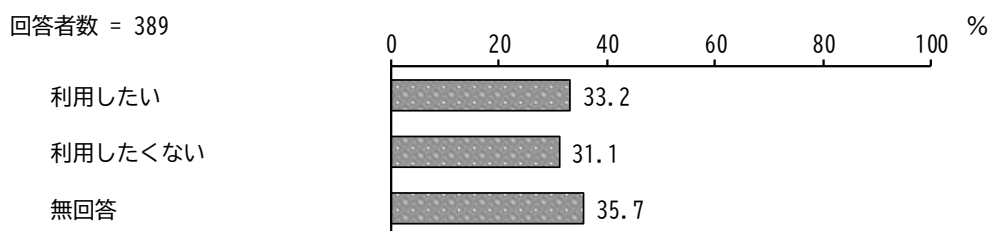
ア 認知度

「知っている」の割合が71.7%、「知らない」の割合が10.5%となっています。



イ 利用意向

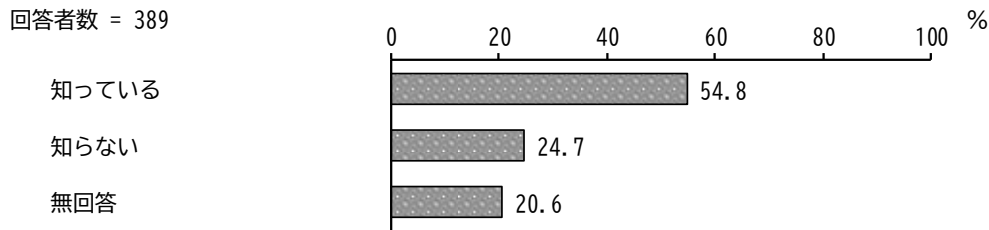
「利用したい」の割合が33.2%、「利用したくない」の割合が31.1%となっています。



⑮ 介護老人保健施設（老人保健施設）

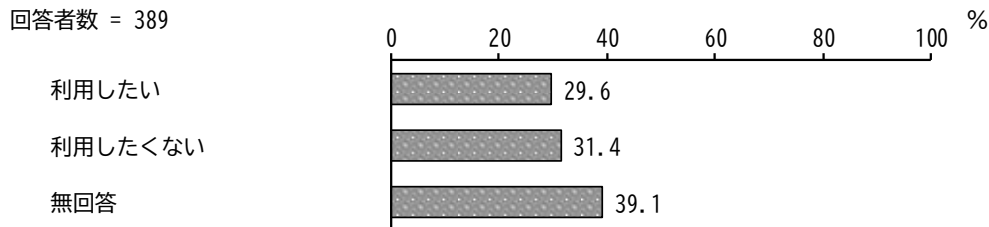
ア 認知度

「知っている」の割合が54.8%、「知らない」の割合が24.7%となっています。



イ 利用意向

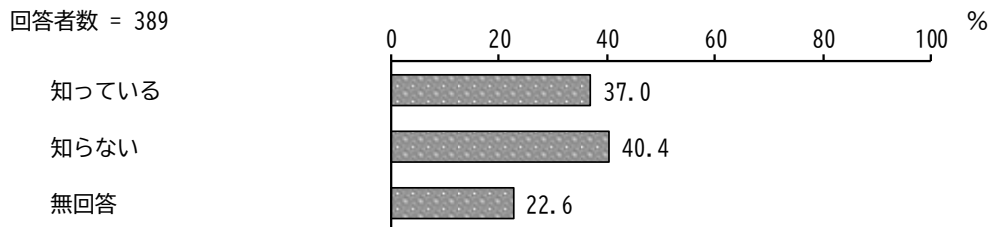
「利用したい」の割合が29.6%、「利用したくない」の割合が31.4%となっています。



⑯ 介護療養型医療施設

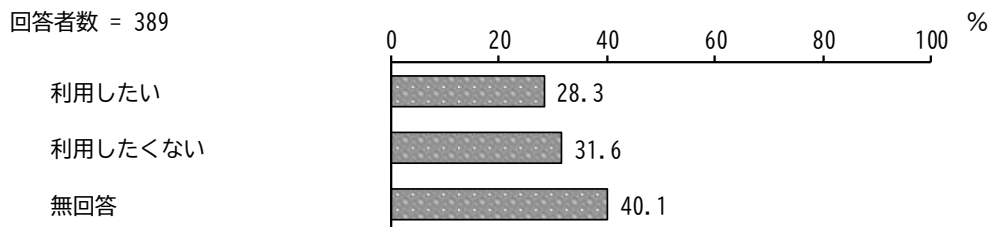
ア 認知度

「知っている」の割合が37.0%、「知らない」の割合が40.4%となっています。



イ 利用意向

「利用したい」の割合が28.3%、「利用したくない」の割合が31.6%となっています。

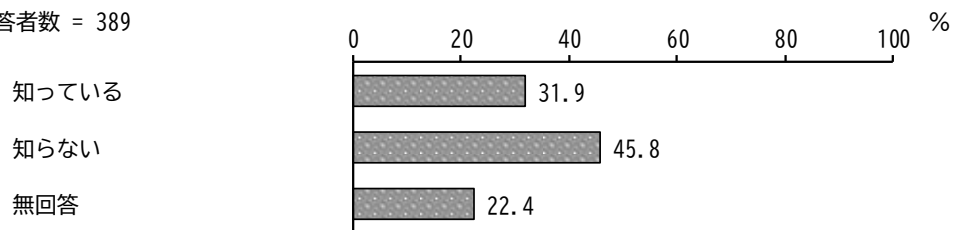


⑰介護医療院

ア 認知度

「知っている」の割合が31.9%、「知らない」の割合が45.8%となっています。

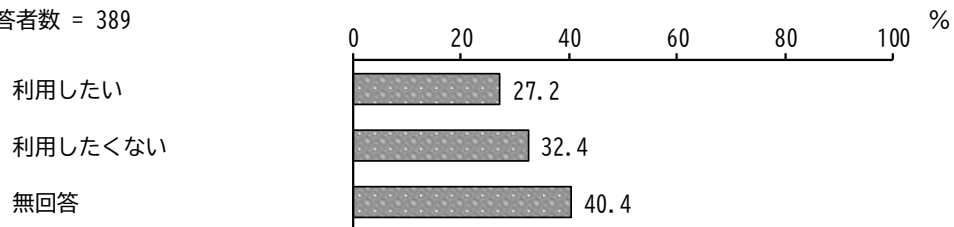
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が27.2%、「利用したくない」の割合が32.4%となっています。

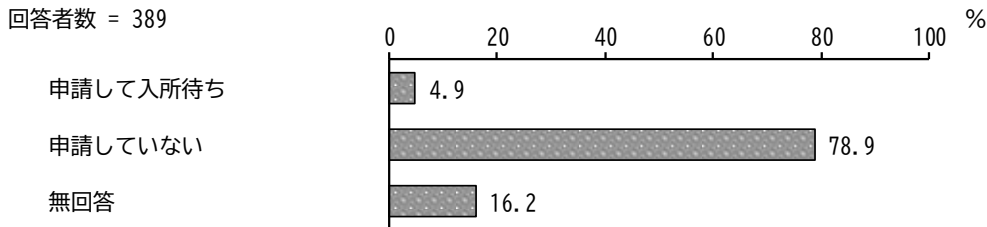
回答者数 = 389



問8 あなたは、次のサービスについて入所申請はしていますか。
 (①から④についてそれぞれ1つに○)

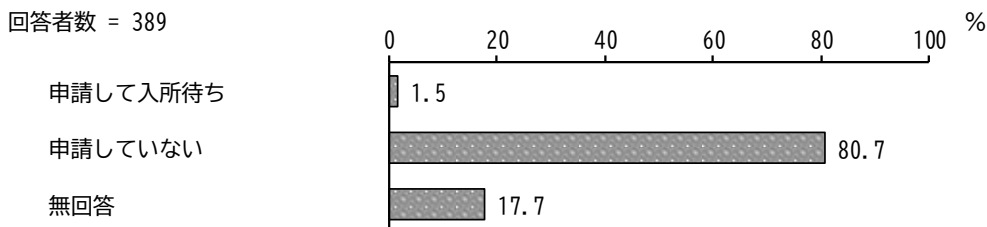
① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

「申請して入所待ち」の割合が4.9%、「申請していない」の割合が78.9%となっています。



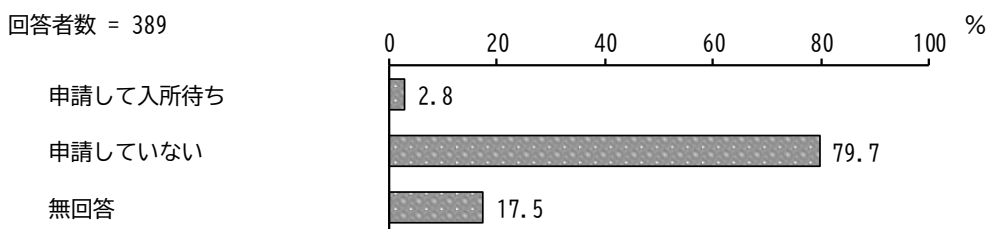
② 介護老人保健施設（老人保健施設）

「申請して入所待ち」の割合が1.5%、「申請していない」の割合が80.7%となっています。



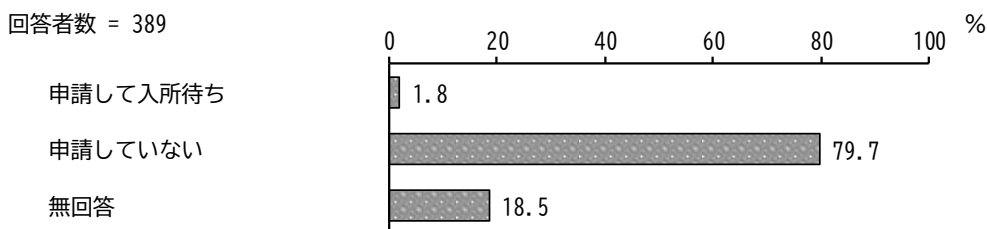
③ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

「申請して入所待ち」の割合が2.8%、「申請していない」の割合が79.7%となっています。



④ 特定施設入居者生活介護（有料老人ホームなど）

「申請して入所待ち」の割合が1.8%、「申請していない」の割合が79.7%となっています。



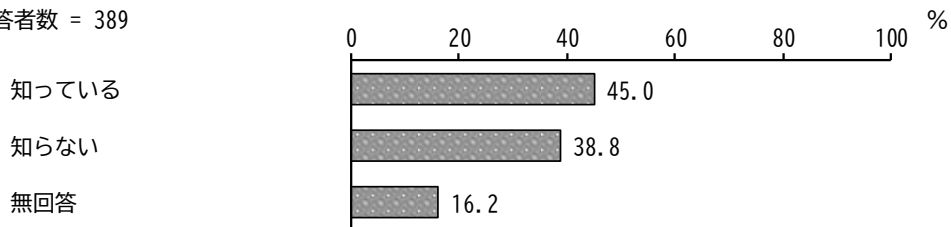
問9 次のような地域密着型サービスを知っていますか。また、利用したいと思いませんか。(①から⑦について「認知度」「利用意向」それぞれ1つに○)

①地域密着型通所介護

ア 認知度

「知っている」の割合が45.0%、「知らない」の割合が38.8%となっています。

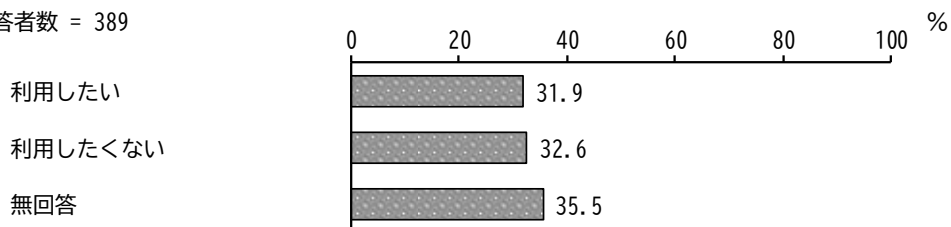
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が31.9%、「利用したくない」の割合が32.6%となっています。

回答者数 = 389

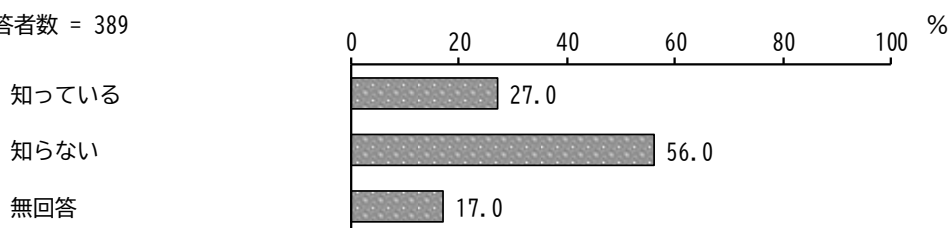


②夜間対応型訪問介護

ア 認知度

「知っている」の割合が27.0%、「知らない」の割合が56.0%となっています。

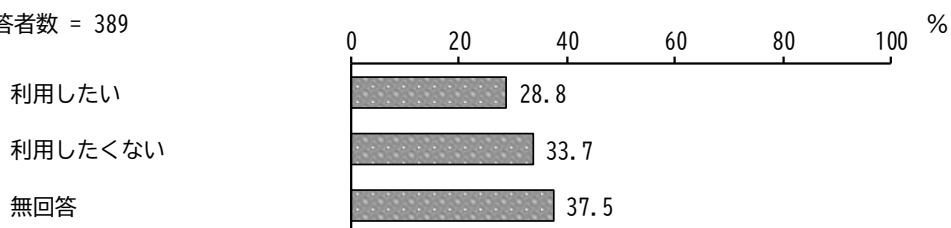
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が28.8%、「利用したくない」の割合が33.7%となっています。

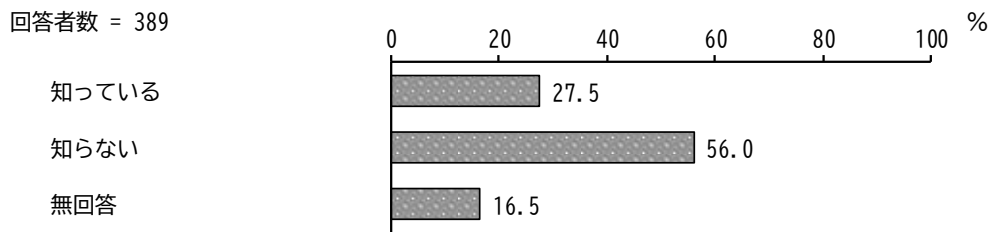
回答者数 = 389



③定期巡回・随時対応型訪問介護看護

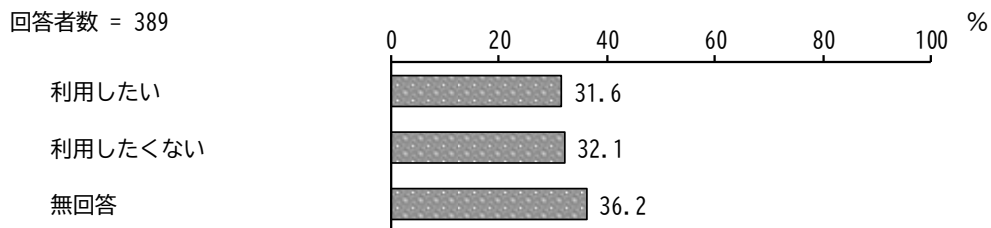
ア 認知度

「知っている」の割合が27.5%、「知らない」の割合が56.0%となっています。



イ 利用意向

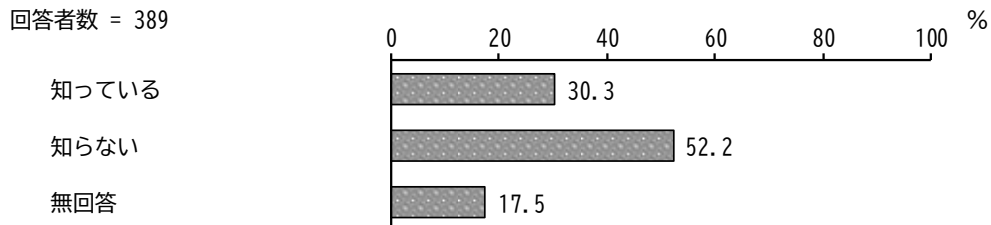
「利用したい」の割合が31.6%、「利用したくない」の割合が32.1%となっています。



④認知症対応型通所介護

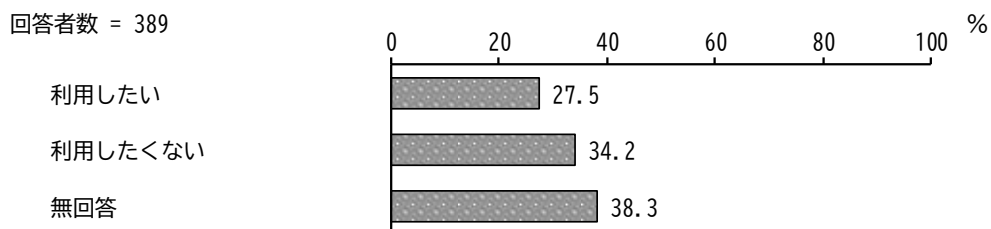
ア 認知度

「知っている」の割合が30.3%、「知らない」の割合が52.2%となっています。



イ 利用意向

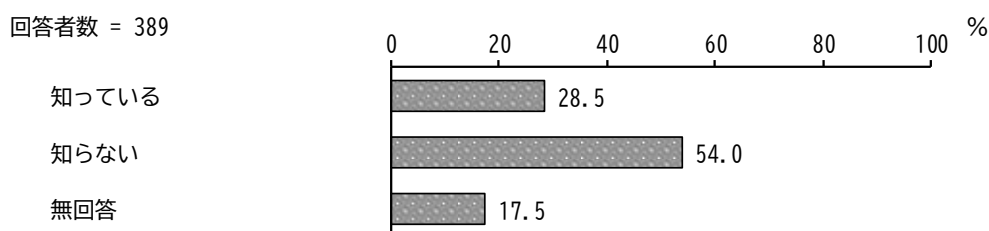
「利用したい」の割合が27.5%、「利用したくない」の割合が34.2%となっています。



⑤小規模多機能型居宅介護

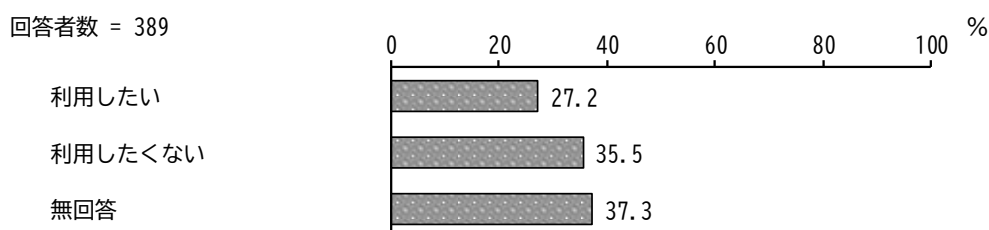
ア 認知度

「知っている」の割合が28.5%、「知らない」の割合が54.0%となっています。



イ 利用意向

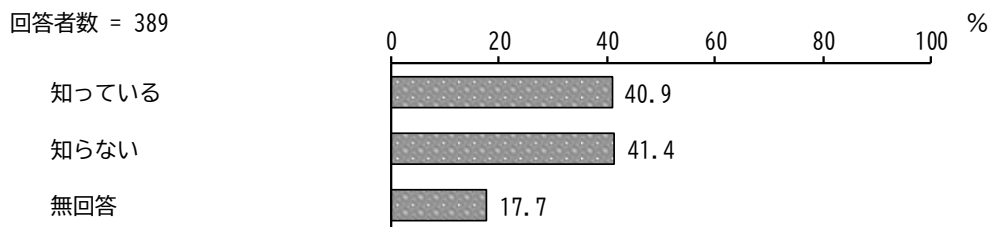
「利用したい」の割合が27.2%、「利用したくない」の割合が35.5%となっています。



⑥認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

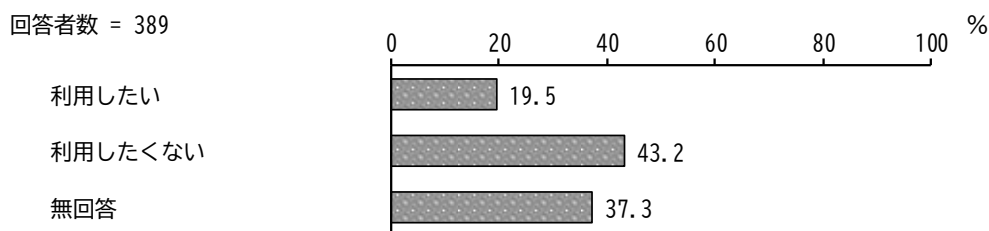
ア 認知度

「知っている」の割合が40.9%、「知らない」の割合が41.4%となっています。



イ 利用意向

「利用したい」の割合が19.5%、「利用したくない」の割合が43.2%となっています。

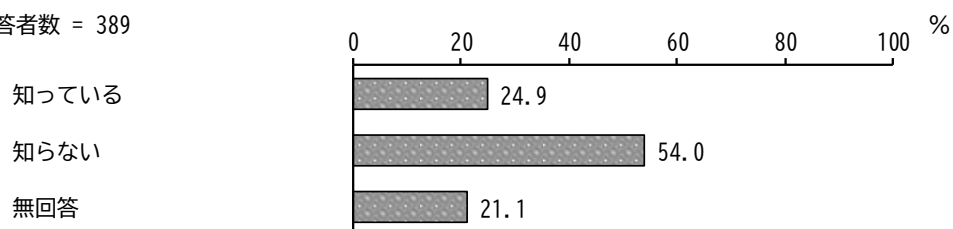


⑦看護小規模多機能型居宅介護

ア 認知度

「知っている」の割合が24.9%、「知らない」の割合が54.0%となっています。

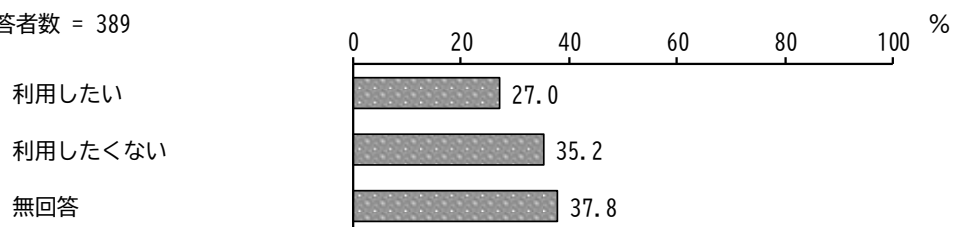
回答者数 = 389



イ 利用意向

「利用したい」の割合が27.0%、「利用したくない」の割合が35.2%となっています。

回答者数 = 389

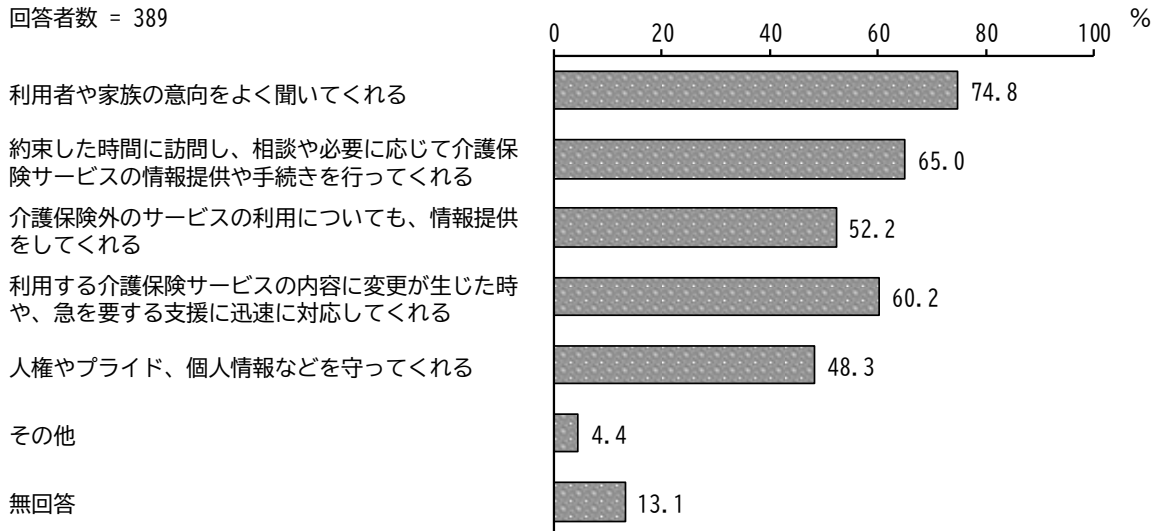


5. ケアプランやサービスのあり方について

問 10 ケアマネジャーを評価する点はどんなことですか。(いくつでも○)

「利用者や家族の意向をよく聞いてくれる」の割合が74.8%と最も高く、次いで「約束した時間に訪問し、相談や必要に応じて介護保険サービスの情報提供や手続きを行ってくれる」の割合が65.0%、「利用する介護保険サービスの内容に変更が生じた時や、急を要する支援に迅速に対応してくれる」の割合が60.2%となっています。

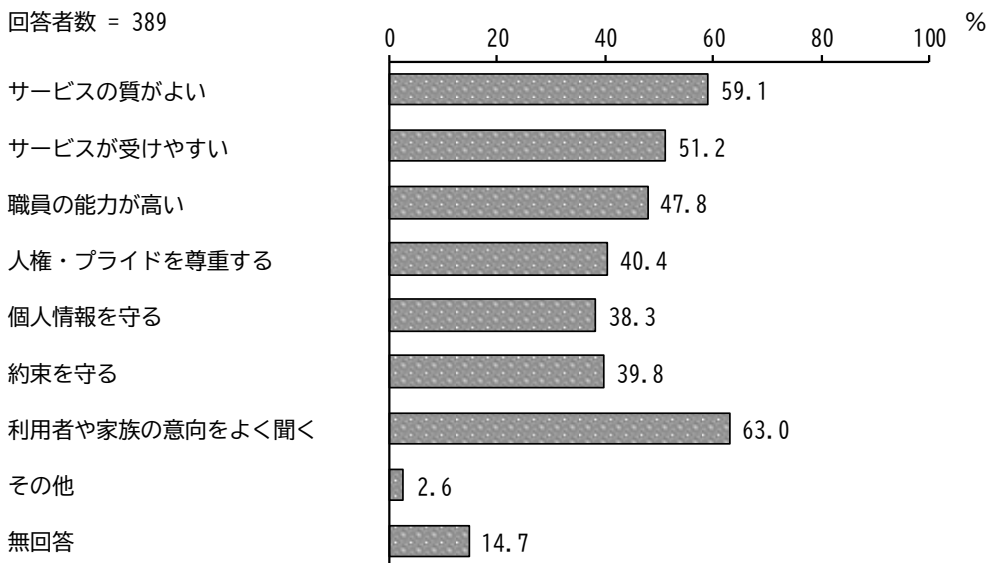
回答者数 = 389



問 11 介護サービス事業者を評価する点はどんなことですか。(いくつでも○)

「利用者や家族の意向をよく聞く」の割合が63.0%と最も高く、次いで「サービスの質がよい」の割合が59.1%、「サービスが受けやすい」の割合が51.2%となっています。

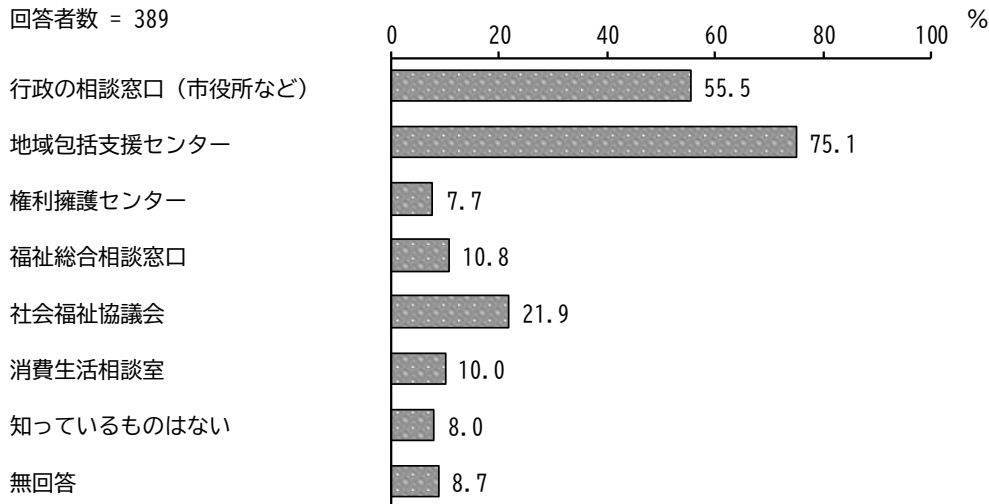
回答者数 = 389



6. 高齢者の権利について

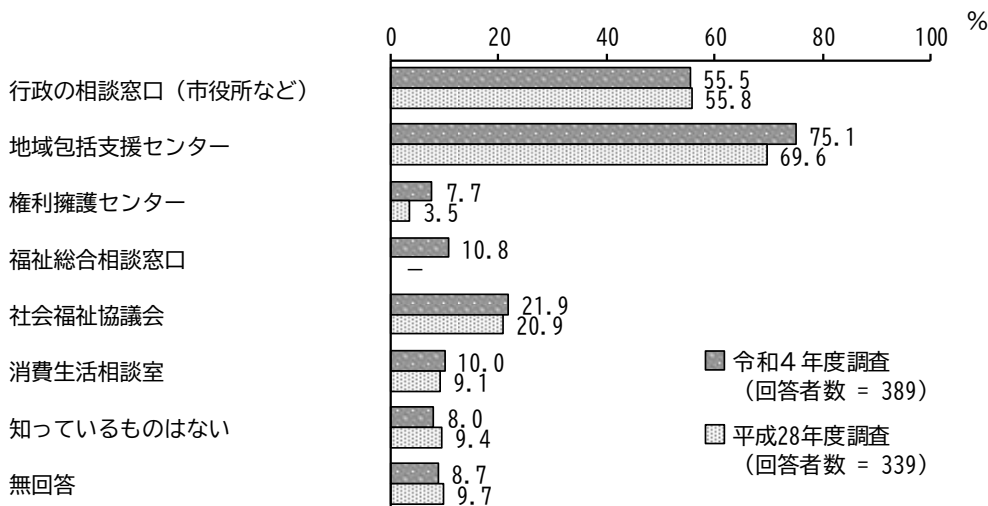
問 12 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも○)

「地域包括支援センター」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「行政の相談窓口(市役所など)」の割合が 55.5%、「社会福祉協議会」の割合が 21.9%となっています。



【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「地域包括支援センター」の割合が増加しています。



※「福祉総合相談窓口」の選択肢は、令和4年度調査で追加されたものです。

7. 地域生活について

問 13 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

「全く参加していない」の割合が 69.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 389

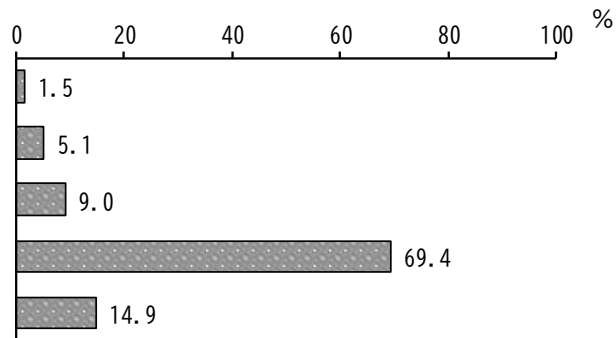
よく参加している

時々参加している

あまり参加していない

全く参加していない

無回答



【幸福度別】

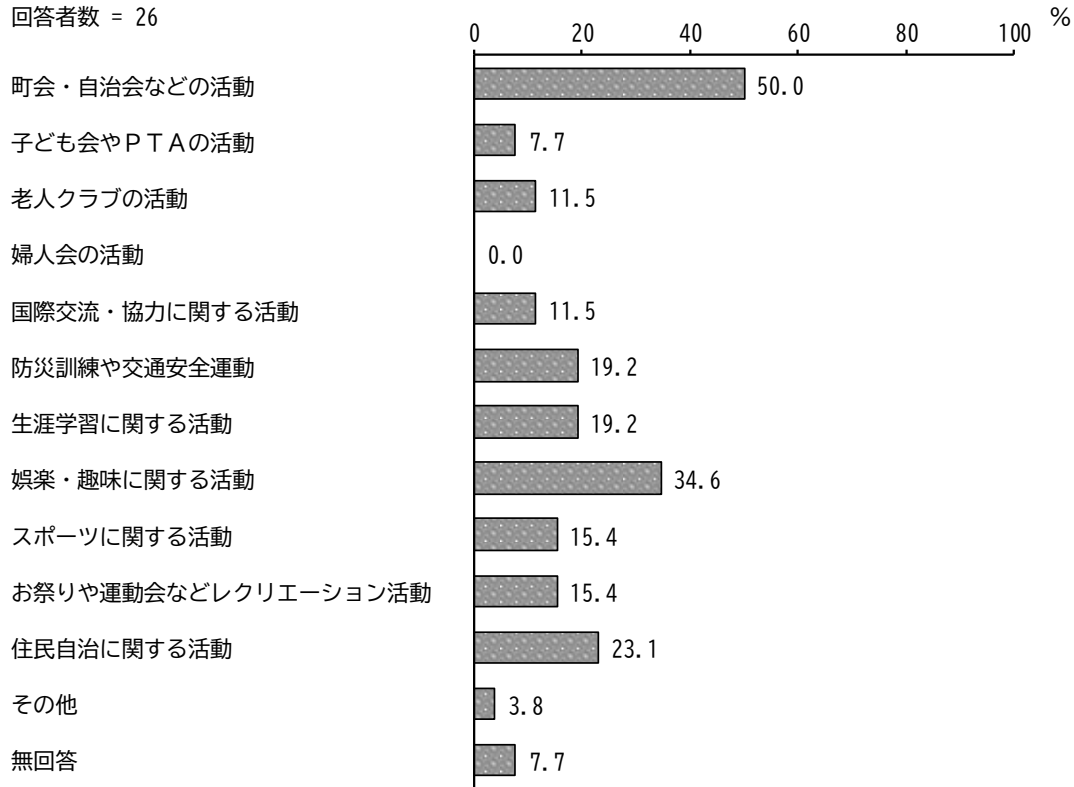
幸福度別にみると、幸福度の点数が低くなるにつれ「全く参加していない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数(件)	よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	無回答
全体	389	1.5	5.1	9.0	69.4	14.9
0～3点	32	—	—	3.1	84.4	12.5
4～6点	91	1.1	7.7	9.9	70.3	11.0
7～10点	205	2.0	5.9	11.7	68.3	12.2

問 13-1 問 13 で「よく参加している」または「時々参加している」と答えた方におたずねします。
 どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも○)

「町会・自治会などの活動」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「娯楽・趣味に関する活動」の割合が 34.6%、「住民自治に関する活動」の割合が 23.1%となっています。



【幸福度別】

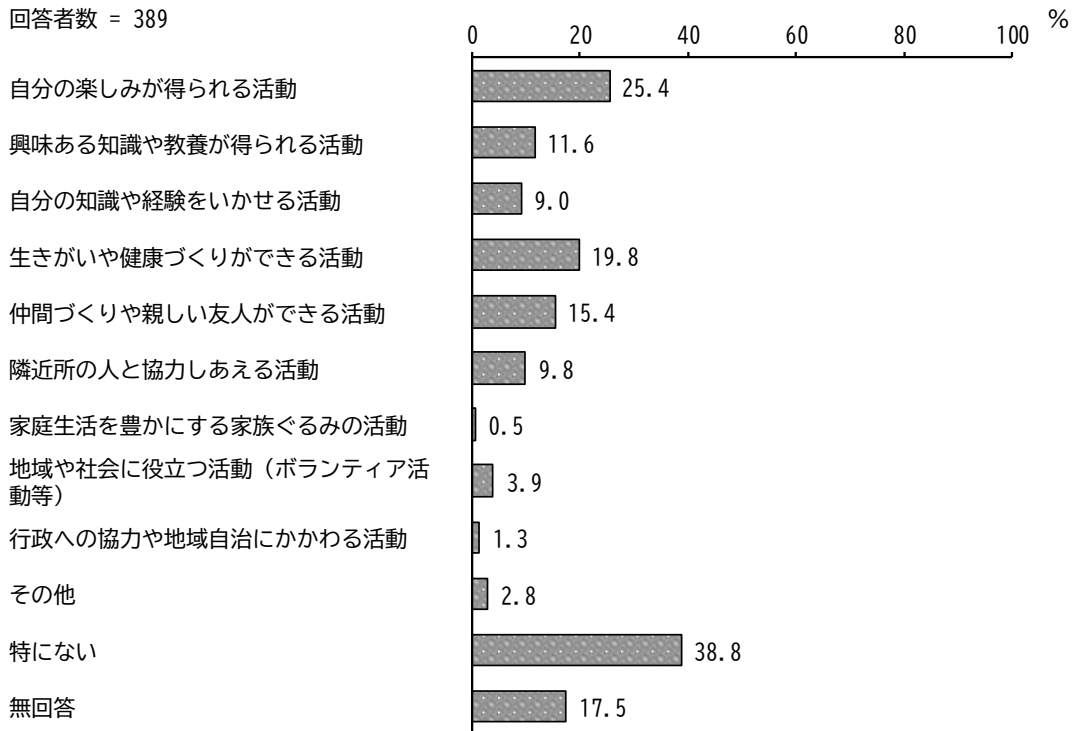
幸福度別では、有効回答が少ないため参考とします。

単位：%

区分	回答者数(件)	町会・自治会などの活動	子ども会やPTAの活動	老人クラブの活動	婦人会の活動	国際交流・協力に関する活動	防災訓練や交通安全運動	生涯学習に関する活動	娯楽・趣味に関する活動	スポーツに関する活動	お祭りや運動会などレクリエーション活動	住民自治に関する活動	その他	無回答
全体	26	50.0	7.7	11.5	—	11.5	19.2	19.2	34.6	15.4	15.4	23.1	3.8	7.7
0～3点	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4～6点	8	62.5	12.5	25.0	—	—	37.5	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	—	12.5
7～10点	16	43.8	6.3	6.3	—	12.5	12.5	12.5	31.3	12.5	18.8	31.3	6.3	6.3

問 14 あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

「特にない」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「自分の楽しみが得られる活動」の割合が 25.4%、「生きがいや健康づくりができる活動」の割合が 19.8%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「自分の楽しみが得られる活動」「興味ある知識や教養が得られる活動」「自分の知識や経験をいかせる活動」「生きがいや健康づくりができる活動」の割合が高くなる傾向がみられます。また、点数が低くなるにつれ「特にない」の割合が高くなる傾向がみられます。

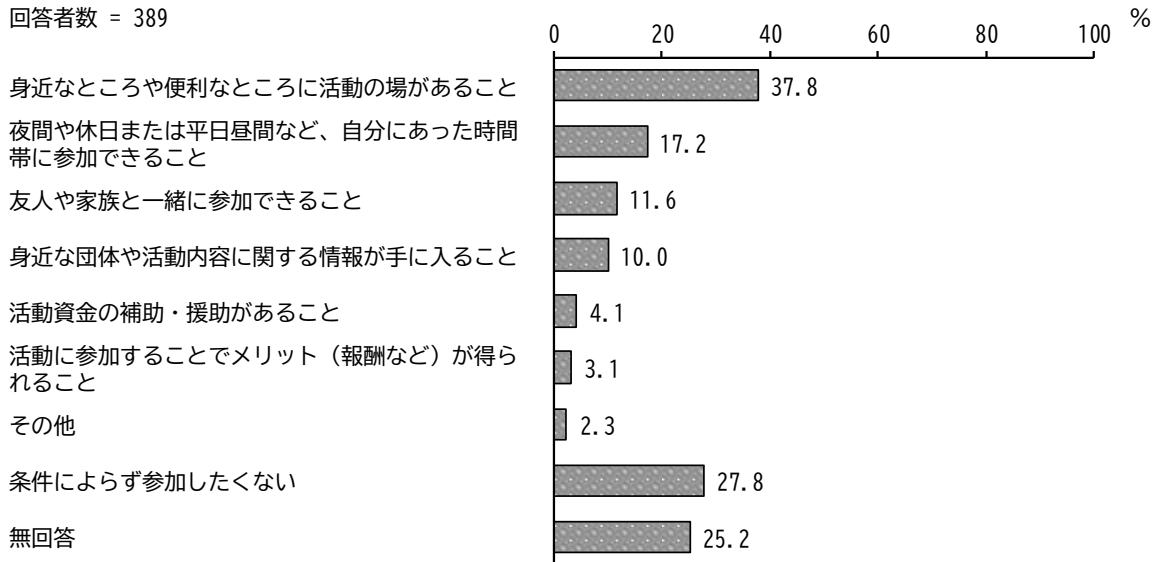
単位：%

区分	回答者数(件)	自分の楽しみが得られる活動	興味ある知識や教養が得られる活動	自分の知識や経験をいかせる活動	生きがいや健康づくりができる活動	仲間づくりや親しい友人ができる活動	隣近所の人と協力しあえる活動	家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	地域や社会に役立つ活動（ボランティア活動等）	行政への協力や地域自治にかかわる活動	その他	特にない	無回答
全体	389	25.4	11.6	9.0	19.8	15.4	9.8	0.5	3.9	1.3	2.8	38.8	17.5
0～3点	32	21.9	6.3	3.1	12.5	21.9	6.3	—	6.3	3.1	3.1	50.0	15.6
4～6点	91	22.0	12.1	8.8	17.6	15.4	7.7	—	5.5	2.2	4.4	42.9	11.0
7～10点	205	29.3	13.7	10.2	23.9	16.1	11.7	1.0	2.9	1.0	1.5	35.6	15.1

問15 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで○)

「身近なところや便利なところに活動の場があること」の割合が37.8%と最も高く、次いで「条件によらず参加したくない」の割合が27.8%、「夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること」の割合が17.2%となっています。

回答者数 = 389



【幸福度別】

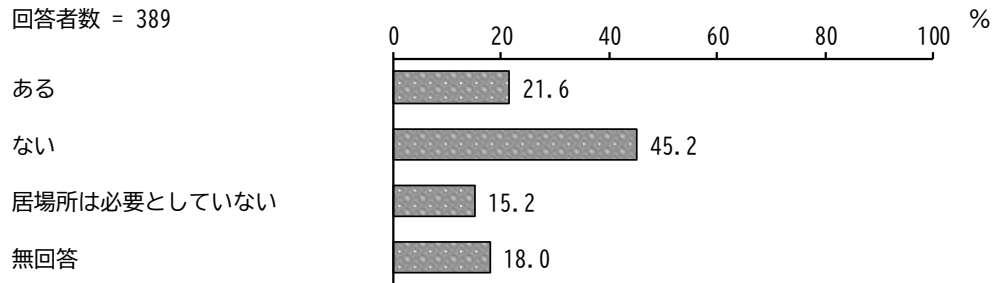
幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「身近なところや便利なところに活動の場があること」「身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、点数が低くなるにつれ「条件によらず参加したくない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数(件)	身近なところや便利なところに活動の場があること	夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること	友人や家族と一緒に参加できること	身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること	活動資金の補助・援助があること	活動に参加することでメリット(報酬など)が得られること	その他	条件によらず参加したくない	無回答
全体	389	37.8	17.2	11.6	10.0	4.1	3.1	2.3	27.8	25.2
0～3点	32	34.4	15.6	15.6	9.4	3.1	—	—	37.5	21.9
4～6点	91	39.6	19.8	9.9	9.9	7.7	1.1	2.2	31.9	17.6
7～10点	205	42.9	19.0	13.2	12.2	3.9	4.9	2.4	25.9	21.5

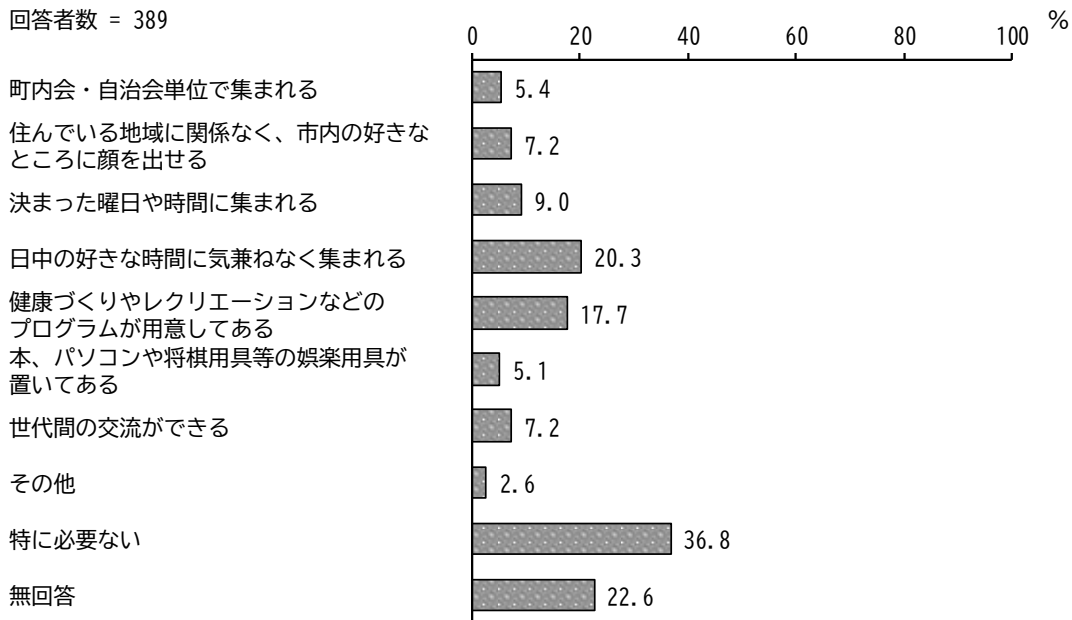
問 16 あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。（1つに○）

「ない」の割合が45.2%と最も高く、次いで「ある」の割合が21.6%、「居場所は必要としていない」の割合が15.2%となっています。



問17 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。
(いくつでも○)

「特に必要ない」の割合が36.8%と最も高く、次いで「日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる」の割合が20.3%、「健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある」の割合が17.7%となっています。



【幸福度別】

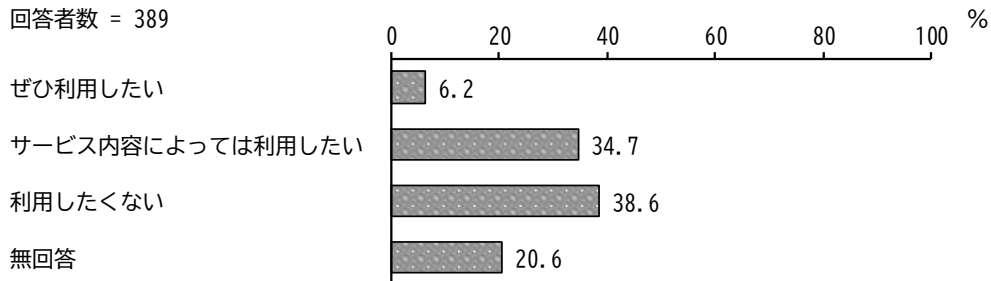
幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる」の割合が高くなる傾向がみられます。また、点数が低くなるにつれ「特に必要ない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数(件)	町内会・自治会単位で集まれる	住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる	決まった曜日や時間に集まれる	日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる	健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある	本、パソコンや将棋用具等の娯楽用具が置いてある	世代間の交流ができる	その他	特に必要ない	無回答
全体	389	5.4	7.2	9.0	20.3	17.7	5.1	7.2	2.6	36.8	22.6
0～3点	32	—	3.1	—	12.5	12.5	—	3.1	—	65.6	15.6
4～6点	91	5.5	7.7	4.4	16.5	20.9	6.6	5.5	4.4	40.7	16.5
7～10点	205	6.8	6.3	12.7	24.4	20.5	5.9	9.8	1.5	31.7	20.5

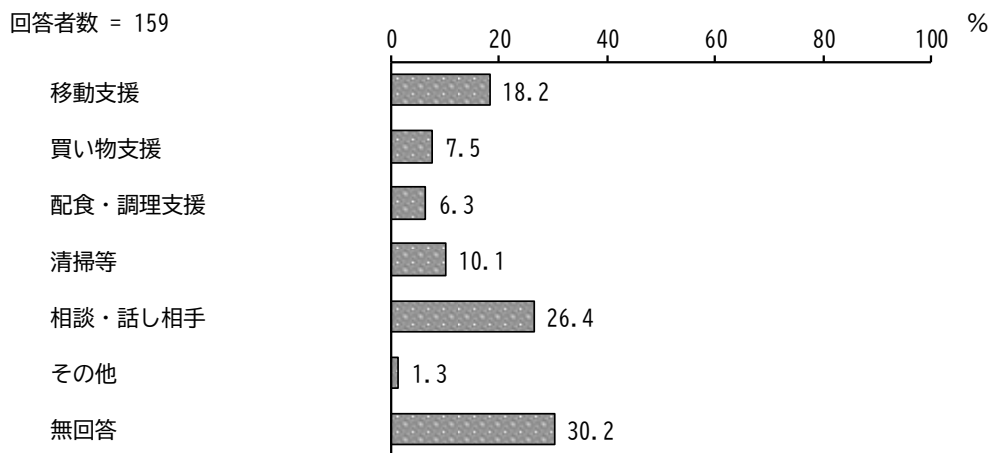
問 18 元気高齢者の方等がサービス提供の担い手となる生活支援サービスがあった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

「利用したくない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「サービス内容によっては利用したい」の割合が 34.7%となっています。



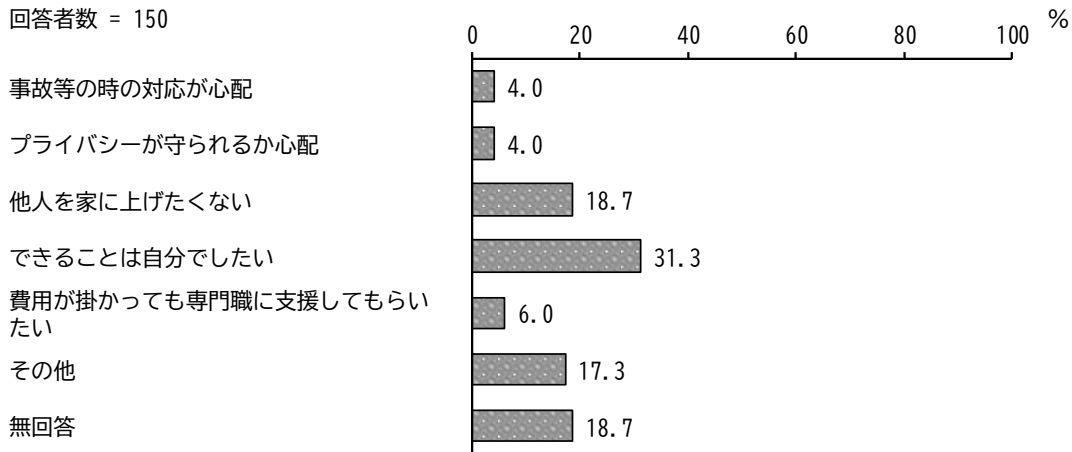
問 18-1 問 18 で「ぜひ利用したい」または「サービス内容によっては利用したい」と答えた方に質問します。
どのようなサービスであれば、利用したいですか。(1つに○)

「相談・話し相手」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「移動支援」の割合が 18.2%、「清掃等」の割合が 10.1%となっています。



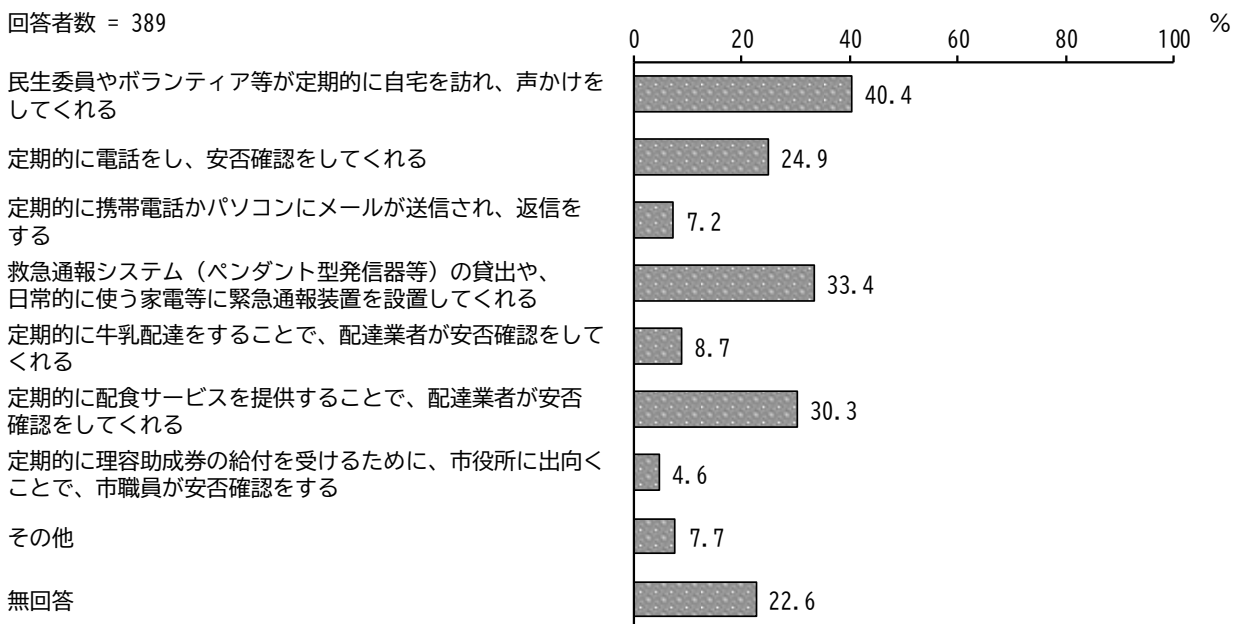
問 18-2 問 18 で「利用したくない」と答えた方に質問します。利用したくないと回答した場合、利用したくない理由はなんですか。(1つに○)

「できることは自分でしたい」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「他人を家に上げたくない」の割合が 18.7%となっています。



問 19 もし、あなたがひとり暮らしになった場合（現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として）、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。(いくつでも○)

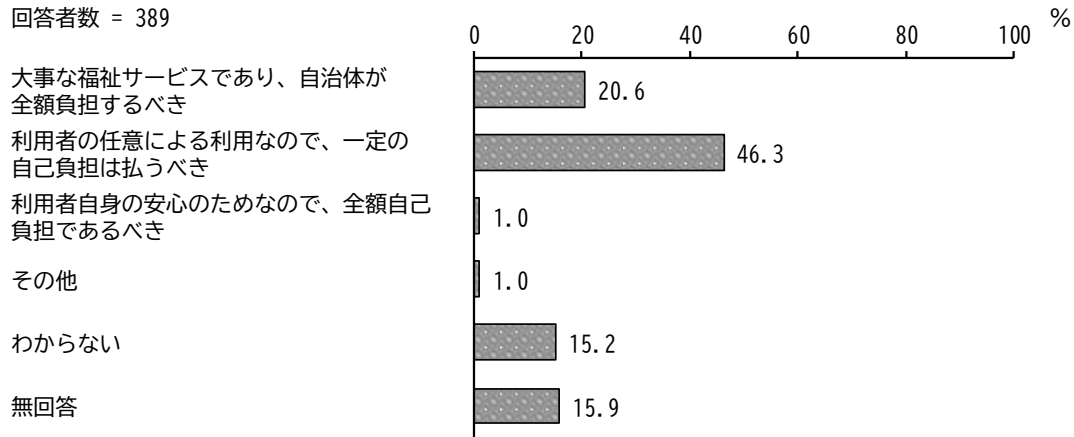
「民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「救急通報システム（ペンダント型発信器等）の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる」の割合が 33.4%、「定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる」の割合が 30.3%となっています。



問 20 ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、費用が発生する場合、利用と負担の関係はどうあるべきだと思いますか。(1つに○)

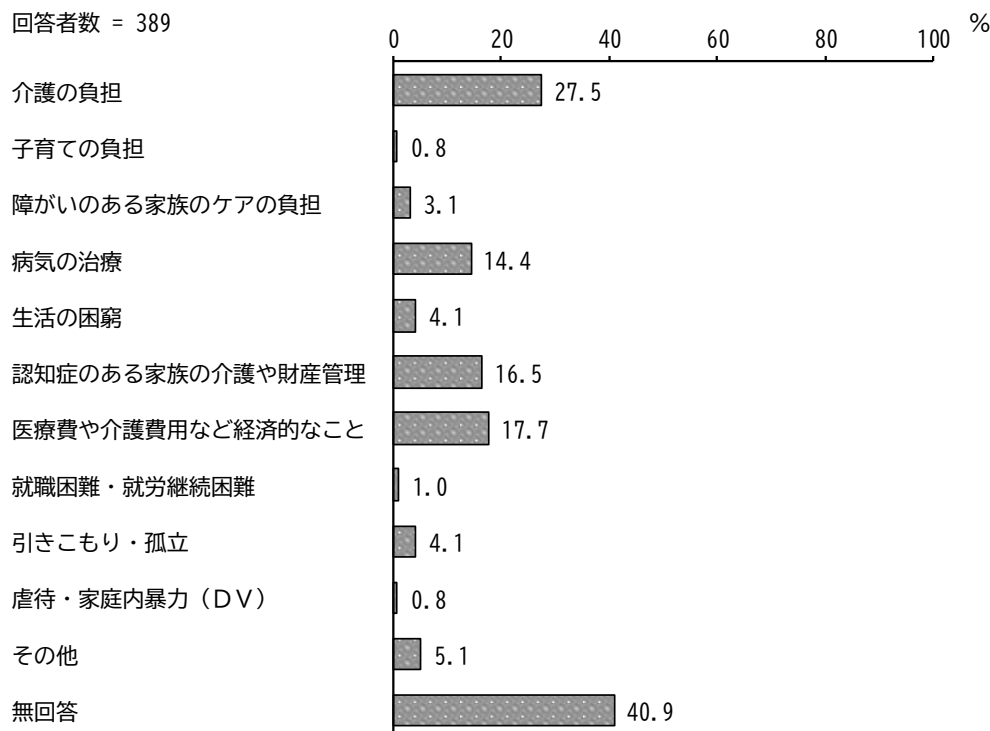
「利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき」の割合が 20.6%、「わからない」の割合が 15.2%となっています。

回答者数 = 389



問 21 あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(いくつでも○)

「介護の負担」の割合が27.5%と最も高く、次いで「医療費や介護費用など経済的なこと」の割合が17.7%、「認知症のある家族の介護や財産管理」の割合が16.5%となっています。



【幸福度別】

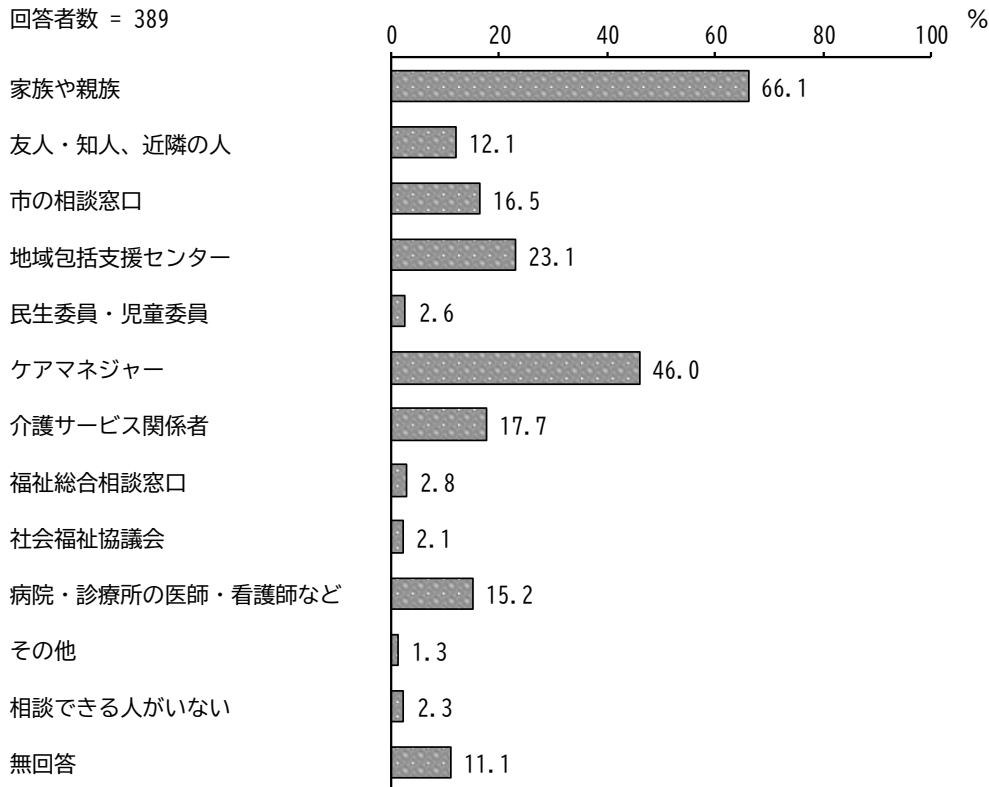
幸福度別にみると、幸福度の点数が低くなるにつれ「介護の負担」「生活の困窮」「医療費や介護費用など経済的なこと」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、0～3点で「認知症のある家族の介護や財産管理」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	介護の負担	子育ての負担	障がいのある家族のケアの負担	病気の治療	生活の困窮	認知症のある家族の介護や財産管理	医療費や介護費用など経済的なこと	就職困難・就労継続困難	引きこもり・孤立	虐待・家庭内暴力(DV)	その他	無回答
全体	389	27.5	0.8	3.1	14.4	4.1	16.5	17.7	1.0	4.1	0.8	5.1	40.9
0～3点	32	43.8	—	—	12.5	12.5	34.4	34.4	3.1	9.4	—	3.1	18.8
4～6点	91	25.3	1.1	5.5	23.1	7.7	15.4	23.1	—	3.3	1.1	4.4	30.8
7～10点	205	26.8	1.0	2.9	11.7	1.5	16.6	14.6	1.5	3.9	0.5	5.9	45.4

問 22 あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）

「家族や親族」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」の割合が 46.0%、「地域包括支援センター」の割合が 23.1%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「家族や親族」「介護サービス関係者」病院・診療所の医師・看護師など」の割合が高くなる傾向がみられます。また、点数が低くなるにつれ「地域包括支援センター」「相談できる人がいない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

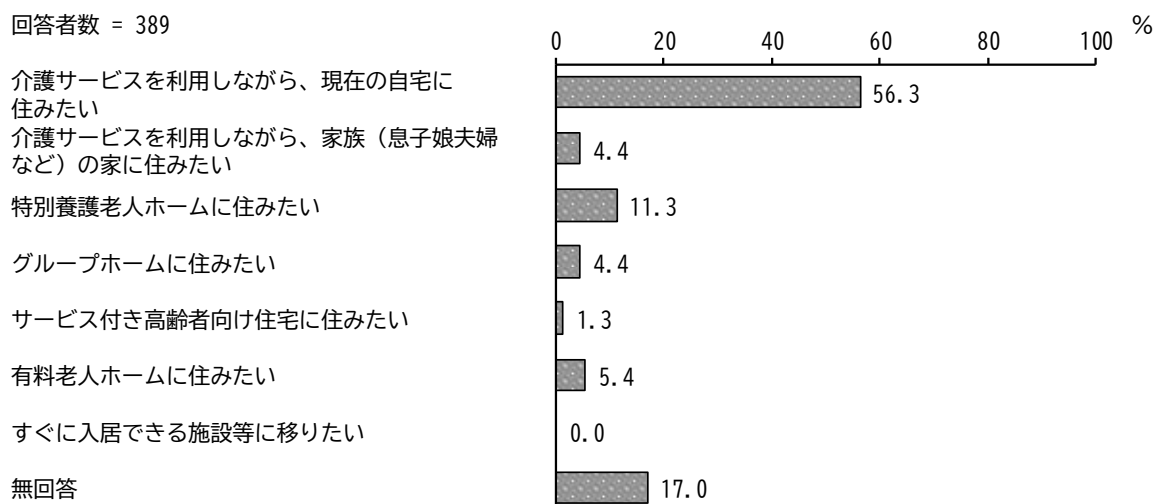
区分	回答者数(件)	家族や親族	友人・知人、近隣の人	市の相談窓口	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	ケアマネジャー	介護サービス関係者	福祉総合相談窓口	社会福祉協議会	病院・診療所の医師・看護師など	その他	相談できる人がいない	無回答
全体	389	66.1	12.1	16.5	23.1	2.6	46.0	17.7	2.8	2.1	15.2	1.3	2.3	11.1
0～3点	32	59.4	12.5	9.4	34.4	—	50.0	15.6	—	3.1	12.5	—	12.5	6.3
4～6点	91	68.1	13.2	19.8	24.2	4.4	42.9	17.6	3.3	3.3	14.3	1.1	3.3	4.4
7～10点	205	73.2	12.7	16.6	21.5	2.0	46.3	18.5	3.9	1.5	18.0	1.0	1.0	7.8

8. 住まいについて

問23 今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。(1つに○)

「介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい」の割合が56.3%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームに住みたい」の割合が11.3%となっています。

回答者数 = 389



【幸福度別】

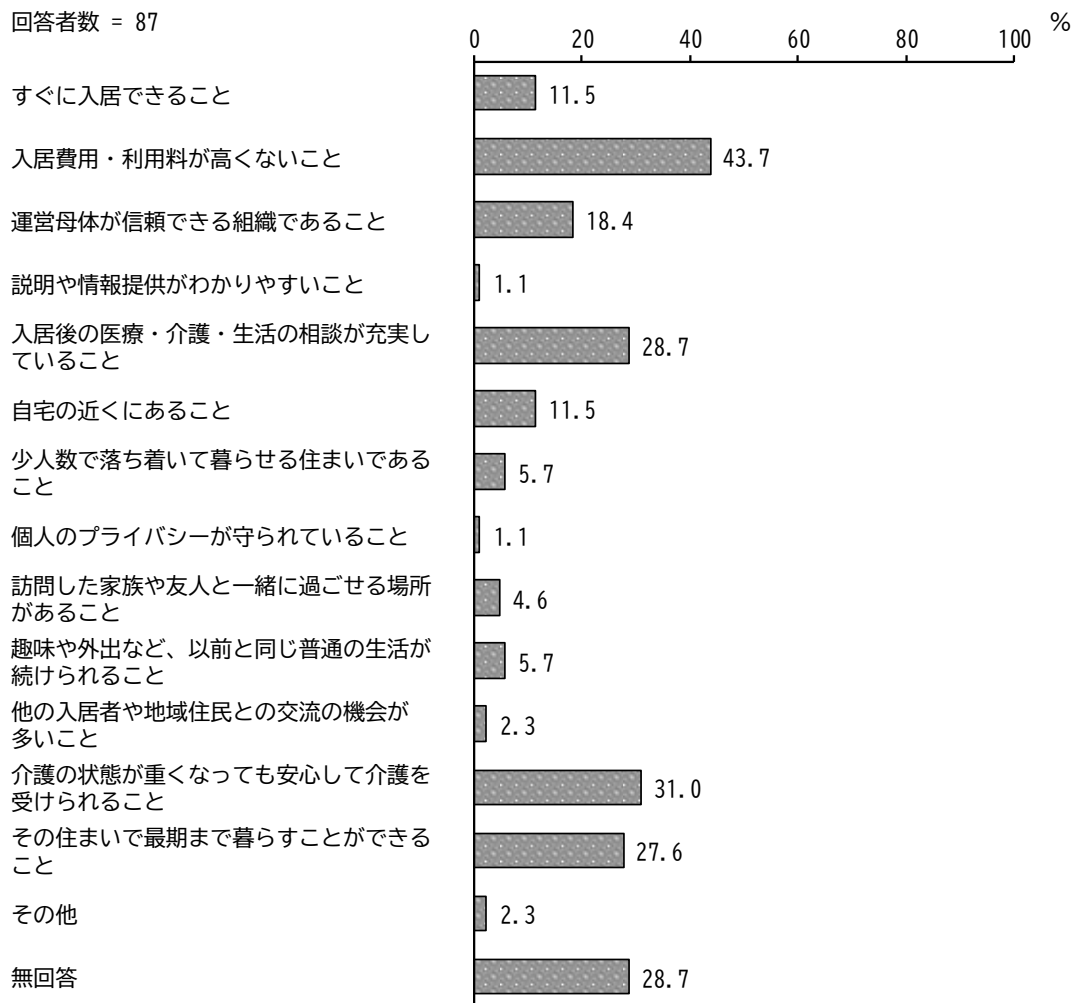
幸福度別にみると、幸福度の点数が低くなるにつれ「特別養護老人ホームに住みたい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、0～3点に比べ、4点以上で「介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい	介護サービスを利用しながら、家族（息子娘夫婦など）の家に住みたい	特別養護老人ホームに住みたい	グループホームに住みたい	サービス付き高齢者向け住宅に住みたい	有料老人ホームに住みたい	すぐに入居できる施設等に移りたい	無回答
全体	389	56.3	4.4	11.3	4.4	1.3	5.4	—	17.0
0～3点	32	34.4	6.3	31.3	—	6.3	9.4	—	12.5
4～6点	91	61.5	3.3	14.3	6.6	1.1	3.3	—	9.9
7～10点	205	61.0	5.9	6.8	4.9	0.5	6.3	—	14.6

問 23-1 問 23 で「特別養護老人ホームに住みたい」～「すぐに入居できる施設等に移りたい」と答えた方におたずねします。
 希望した住まい等についてどのような条件があれば今後選びたいですか。
 (3つまで○)

「入居費用・利用料が高くないこと」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること」の割合が 31.0%、「入居後の医療・介護・生活の相談が充実していること」の割合が 28.7%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、点数が低くなるにつれ「入居費用・利用料が高くないこと」「その住まいで最期まで暮らすことができること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、0～3点で「すぐに入居できること」の割合が、4～6点で「介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること」の割合が高くなっています。

単位：％

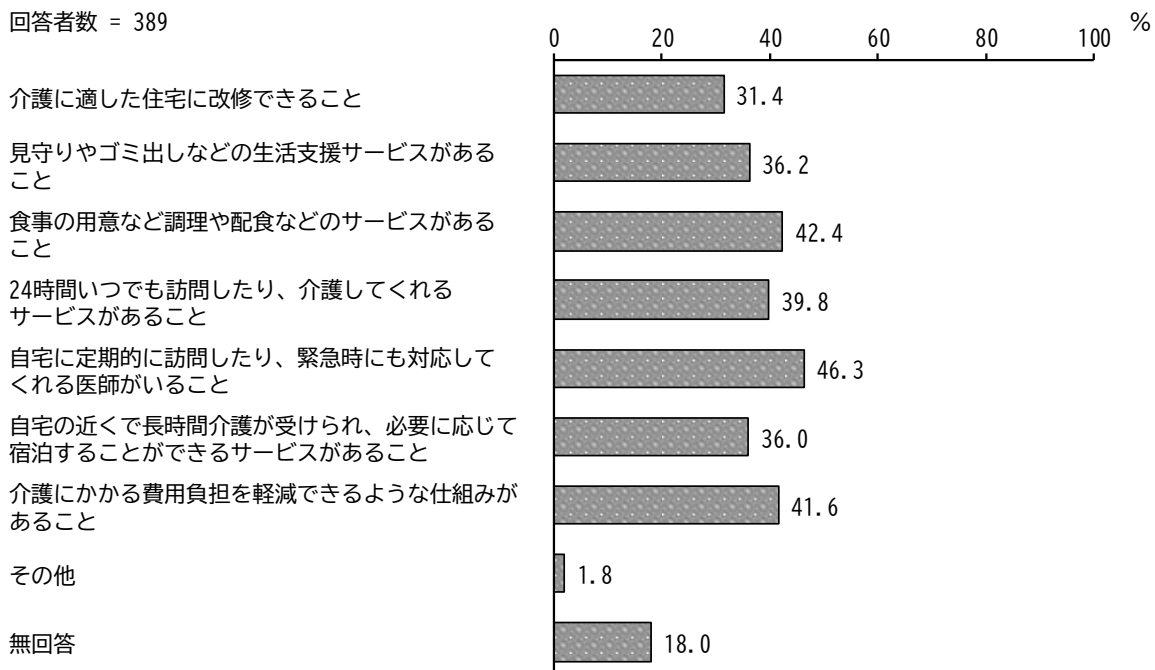
区分	回答者数(件)	すぐに入居できること	入居費用・利用料が高くないこと	運営母体が信頼できる組織であること	説明や情報提供がわかりやすいこと	入居後の医療・介護・生活の相談が充実していること	自宅の近くにあること	少人数で落ち着いて暮らせる住まいであること
全体	87	11.5	43.7	18.4	1.1	28.7	11.5	5.7
0～3点	15	26.7	80.0	13.3	—	33.3	13.3	—
4～6点	23	4.3	60.9	21.7	4.3	30.4	8.7	4.3
7～10点	38	10.5	23.7	15.8	—	31.6	13.2	10.5

区分	個人のプライバシーが守られていること	訪問した家族や友人と一緒に過ごせる場所があること	趣味や外出など、以前と同じ普通の生活が続けられること	他の入居者や地域住民との交流の機会が多いこと	介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること	その住まいで最期まで暮らすことができること	その他	無回答
全体	1.1	4.6	5.7	2.3	31.0	27.6	2.3	28.7
0～3点	—	—	—	—	33.3	46.7	—	6.7
4～6点	4.3	8.7	8.7	4.3	43.5	34.8	4.3	13.0
7～10点	—	5.3	7.9	2.6	21.1	21.1	—	42.1

問 24 在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。
(いくつでも○)

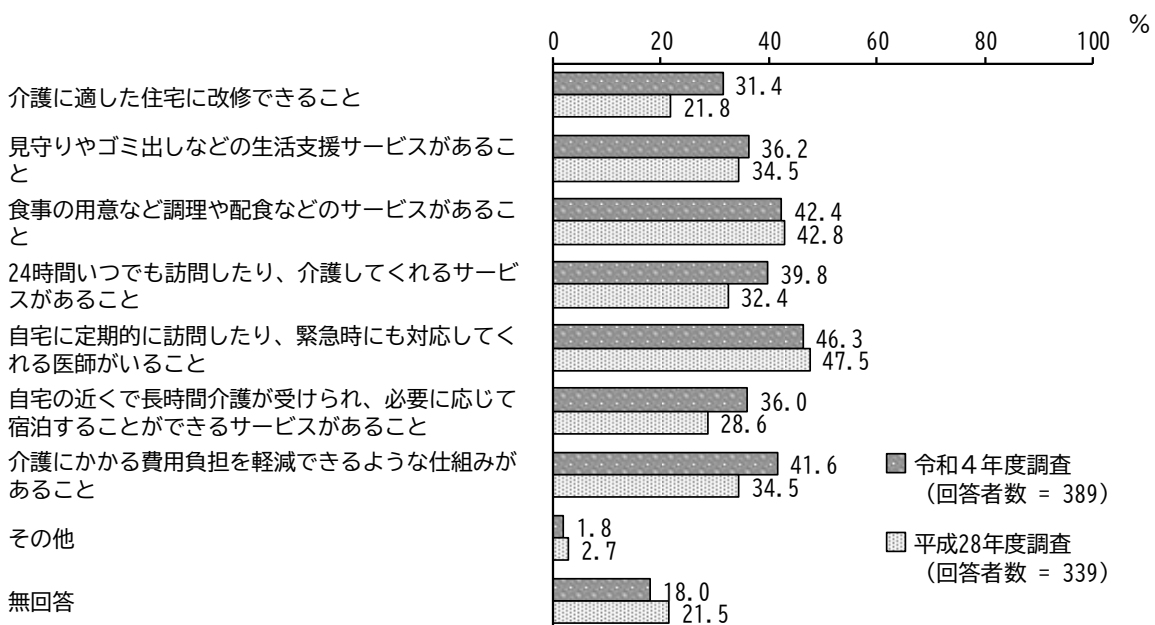
「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「食事の用意など調理や配食などのサービスがあること」の割合が 42.4%、「介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること」の割合が 41.6%となっています。

回答者数 = 389



【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「介護に適した住宅に改修できること」「24 時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること」「介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること」の割合が増加しています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、幸福度の点数が高くなるにつれ「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」「自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊することができるサービスがあること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、0～3点で「24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること」の割合が、4～6点で「介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること」の割合が高くなっています。

単位：%

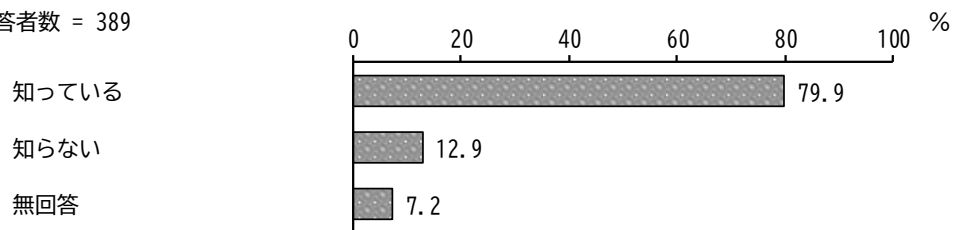
区分	回答者数(件)	介護に適した住宅に改修できること	見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること	食事の用意など調理や配食などのサービスがあること	24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること	医師がいること	自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること	自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊することができるサービスがあること	介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること	その他	無回答
全 体	389	31.4	36.2	42.4	39.8	46.3	36.0	41.6	1.8	18.0	
0～3点	32	31.3	34.4	40.6	53.1	31.3	31.3	40.6	3.1	9.4	
4～6点	91	30.8	31.9	40.7	39.6	40.7	34.1	48.4	2.2	14.3	
7～10点	205	34.6	41.0	45.9	40.0	52.7	39.5	43.4	1.5	14.1	

9. 地域包括支援センターについて

問 25 あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

「知っている」の割合が79.9%、「知らない」の割合が12.9%となっています。

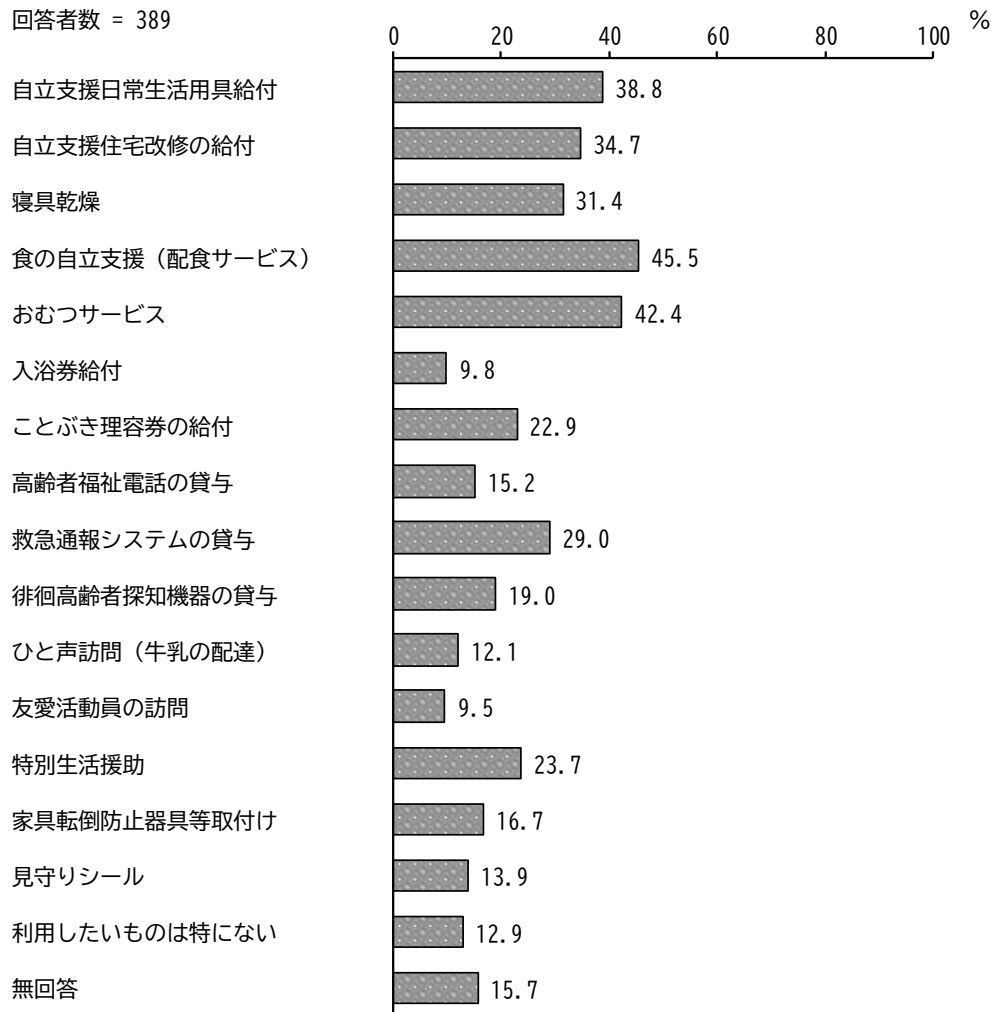
回答者数 = 389



10. 高齢者保健福祉サービス（介護保険外）について

問 26 市では介護保険以外にも、さまざまな高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。（いくつでも○）

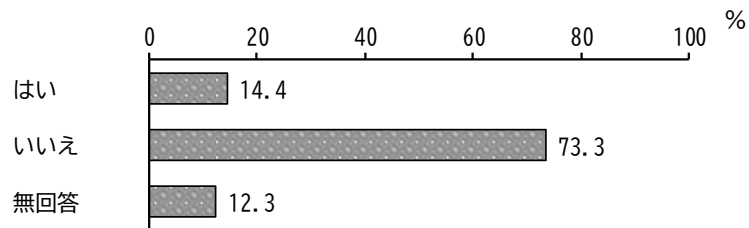
「食の自立支援（配食サービス）」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「おむつサービス」の割合が 42.4%、「自立支援日常生活用具給付」の割合が 38.8%となっています。



問 27 配食サービスを利用していますか。(1つに○)

「はい」の割合が14.4%、「いいえ」の割合が73.3%となっています。

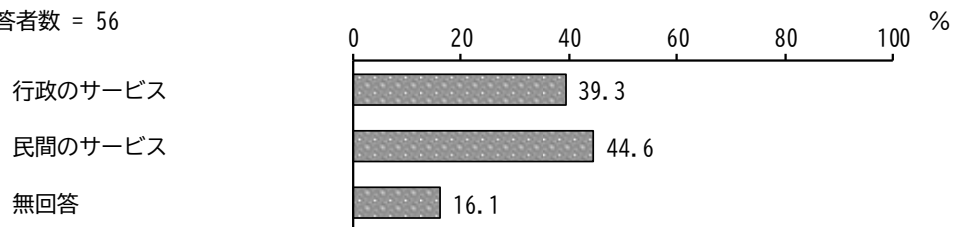
回答者数 = 389



【利用しているサービス】

「行政のサービス」の割合が39.3%、「民間のサービス」の割合が44.6%となっています。

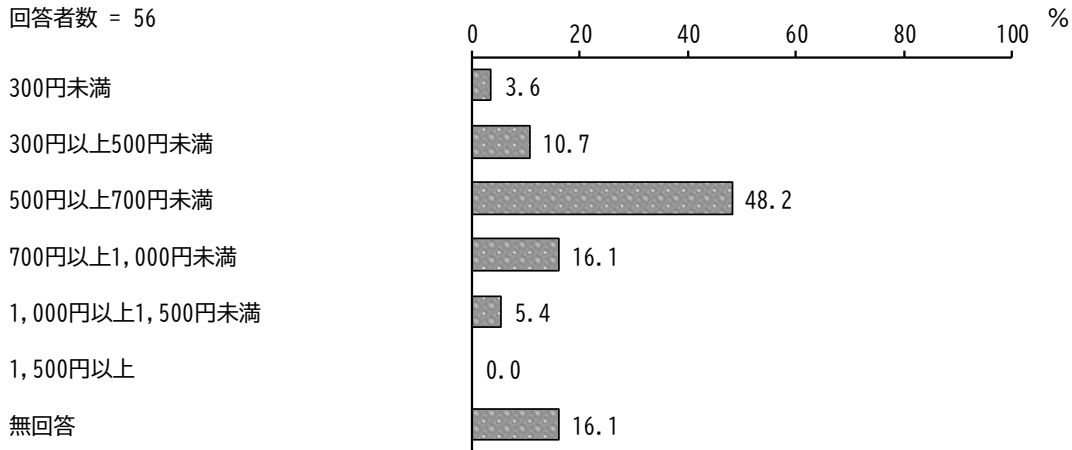
回答者数 = 56



問 27-1 問 27 で民間の配食サービスを利用していると答えた方におたずねします。
1食あたりの金額、利用頻度、特別食（刻み食など）の有無についてお答え
ください。（それぞれ1つに○）

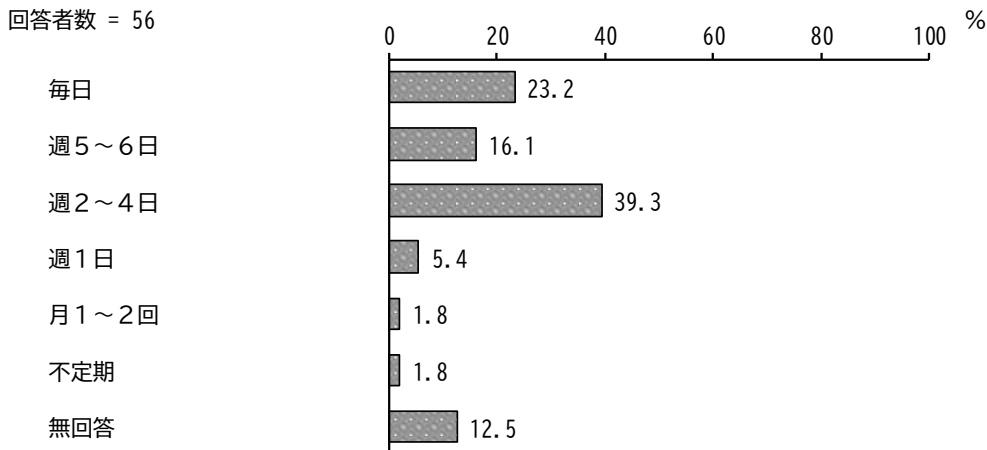
(1) 1食あたりの金額

「500円以上700円未満」の割合が48.2%と最も高く、次いで「700円以上1,000円未満」の割合が16.1%、「300円以上500円未満」の割合が10.7%となっています。



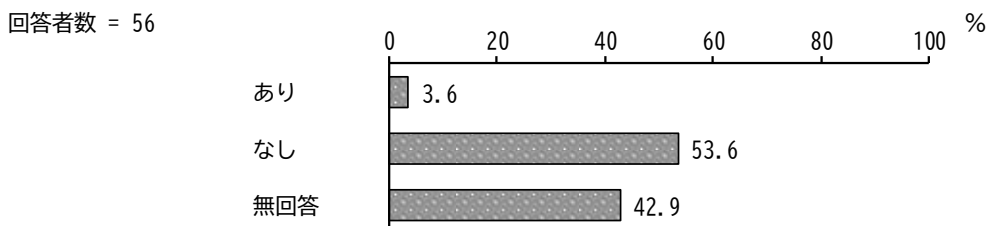
(2) 利用頻度

「週2～4日」の割合が39.3%と最も高く、次いで「毎日」の割合が23.2%、「週5～6日」の割合が16.1%となっています。



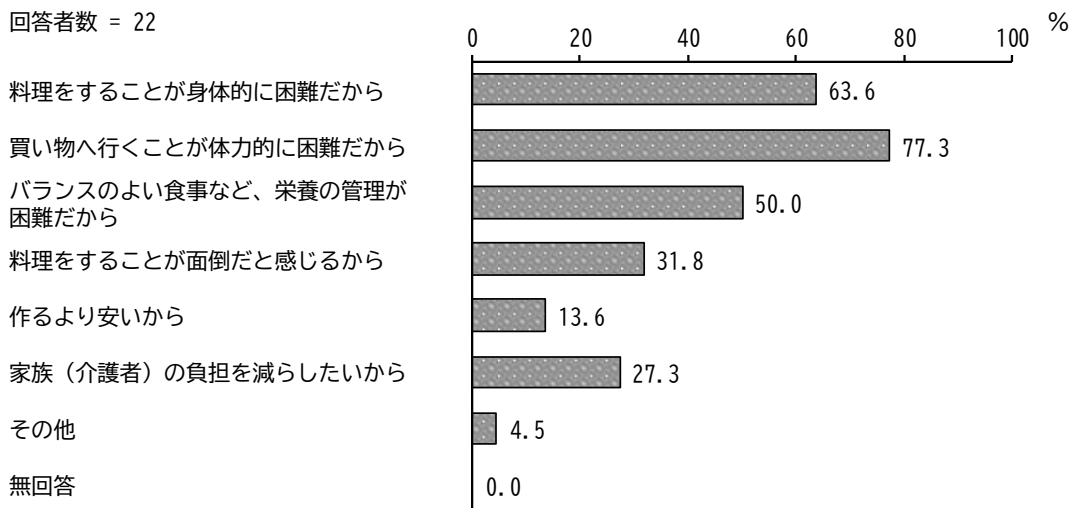
(3) 特別食（刻み食など）の有無

「あり」の割合が3.6%、「なし」の割合が53.6%となっています。



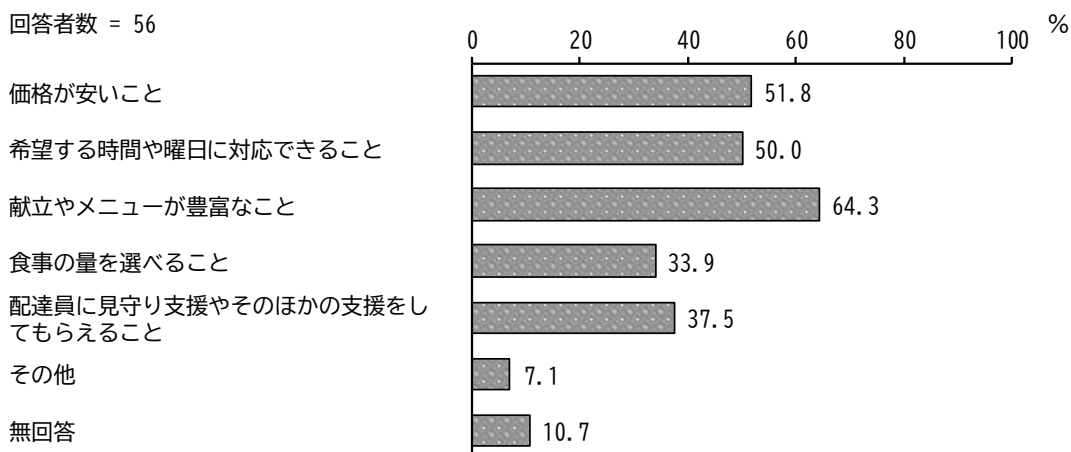
問 27-2 問 27 で行政の配食サービスを利用していると答えた方におたずねします。
利用している理由は何ですか。(いくつでも○)

「買い物へ行くことが体力的に困難だから」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「料理をすることが身体的に困難だから」の割合が 63.6%、「バランスのよい食事など、栄養の管理が困難だから」の割合が 50.0%となっています。



問 28 配食サービスに望むものは何ですか。(いくつでも○)
(配食サービスを利用している人のみ)

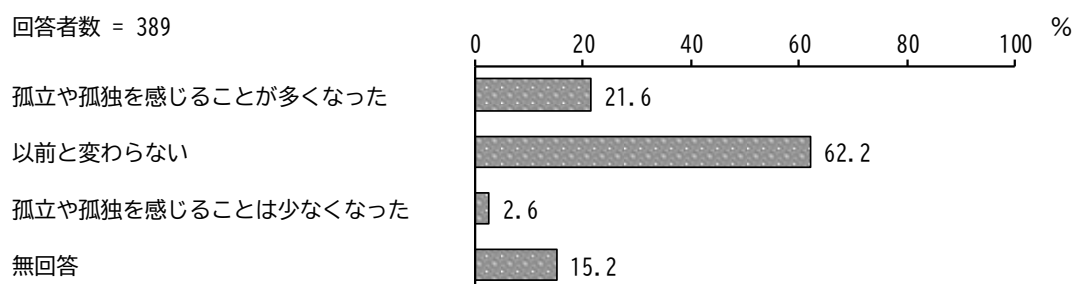
「献立やメニューが豊富なこと」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「価格が安いこと」の割合が 51.8%、「希望する時間や曜日に対応できること」の割合が 50.0%となっています。



11. 新型コロナウイルス感染症拡大のことについて

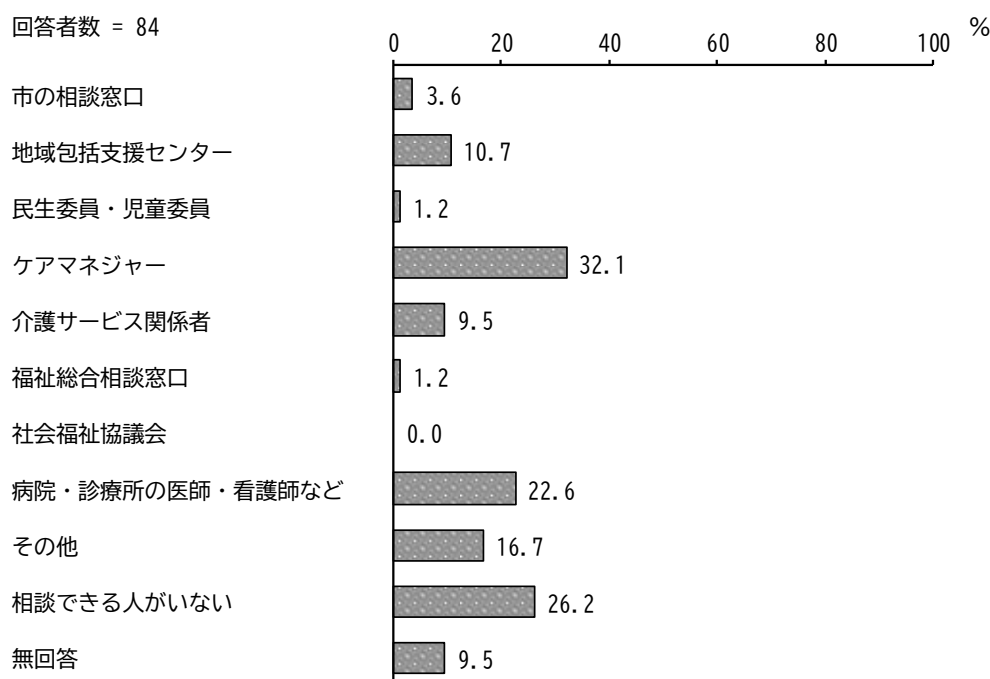
問 29 新型コロナウイルス感染症拡大により、孤立や孤独を感じることがありますか。
(いくつでも○)

「以前と変わらない」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「孤立や孤独を感じることが多くなった」の割合が 21.6%となっています。



問 29-1 問 29 で「孤立や孤独を感じることが多くなった」に答えた方におたずねします。
孤立や孤独を感じることが多くなった時に、どこかに相談しましたか。
(いくつでも○)

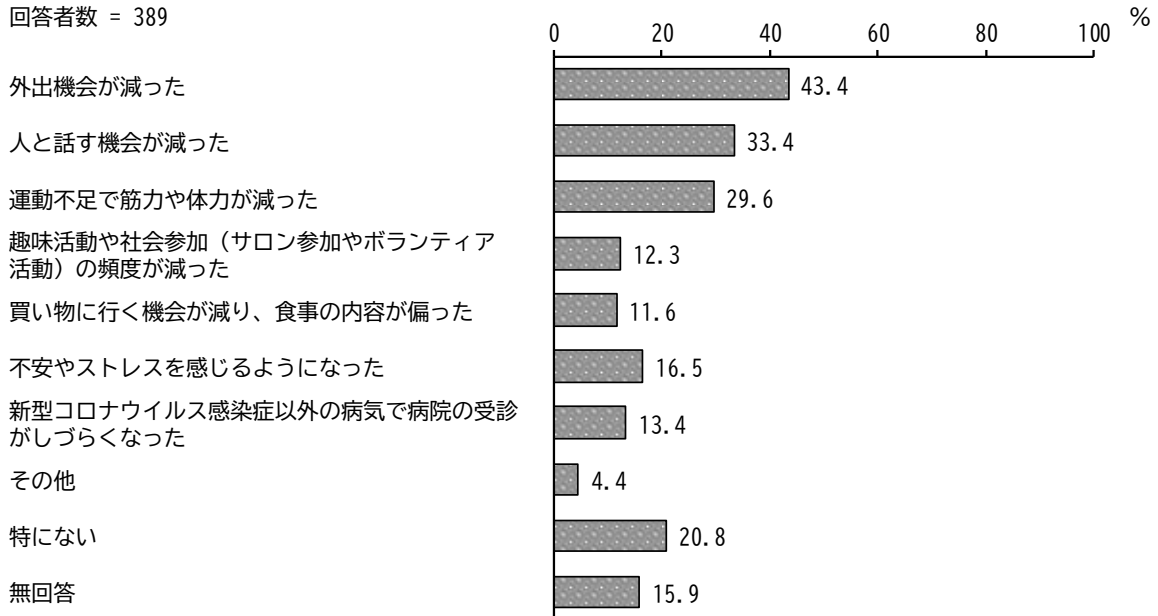
「ケアマネジャー」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「相談できる人がいない」の割合が 26.2%、「病院・診療所の医師・看護師など」の割合が 22.6%となっています。



問 30 新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けたことはありますか。
(いくつでも○)

「外出機会が減った」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「人と話す機会が減った」の割合が 33.4%、「運動不足で筋力や体力が減った」の割合が 29.6%となっています。

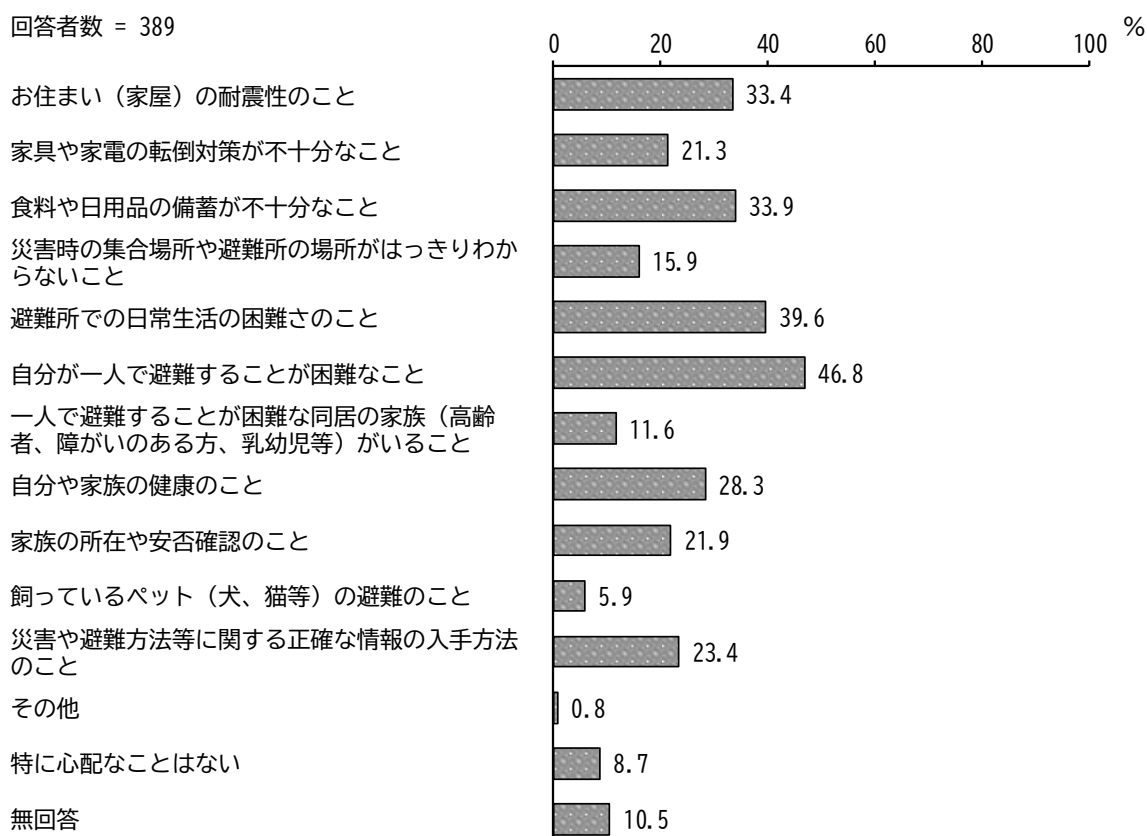
回答者数 = 389



12. 災害時のことについて

問 31 あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。(いくつでも○)

「自分が一人で避難することが困難なこと」の割合が46.8%と最も高く、次いで「避難所での日常生活の困難さのこと」の割合が39.6%、「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」の割合が33.9%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」「災害時の集合場所や避難所の場所がはっきりわからないこと」「家族の所在や安否確認のこと」「災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと」の割合が、点数が低くなるにつれ「一人で避難することが困難な同居の家族（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）がいること」「特に心配なことはない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、4～6点で「自分や家族の健康のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

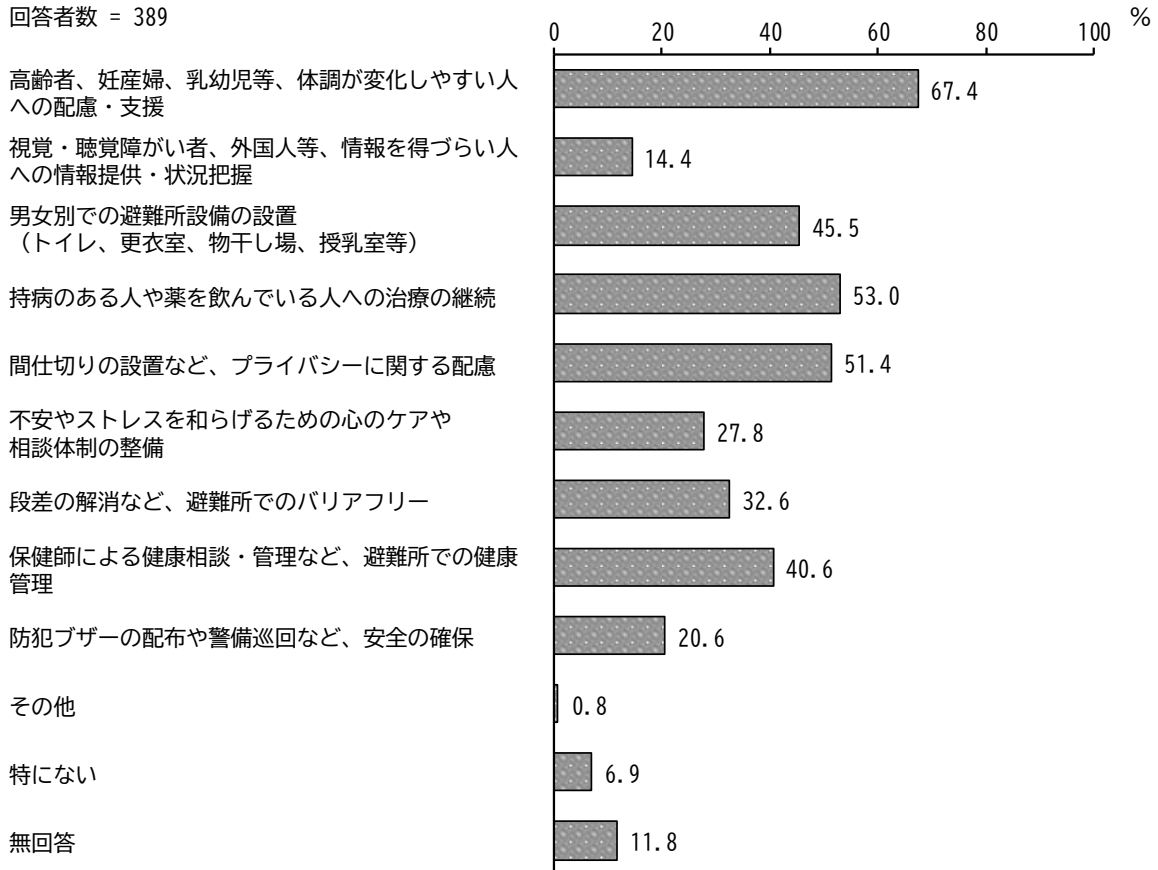
区分	回答者数（件）	お住まい（家屋）の耐震性のこと	家具や家電の転倒対策が不十分なこと	食料や日用品の備蓄が不十分なこと	災害時の集合場所や避難所の場所がはっきりわからないこと	避難所での日常生活の困難さのこと	自分が一人で避難することが困難なこと	一人で避難することが困難な同居の家族（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）がいること
全 体	389	33.4	21.3	33.9	15.9	39.6	46.8	11.6
0～3点	32	37.5	21.9	28.1	6.3	40.6	50.0	18.8
4～6点	91	30.8	20.9	36.3	15.4	44.0	52.7	13.2
7～10点	205	38.0	24.4	38.0	18.0	41.0	47.3	11.2

区分	自分や家族の健康のこと	家族の所在や安否確認のこと	飼っているペット（犬、猫等）の避難のこと	災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと	その他	特に心配なことはない	無回答
全 体	28.3	21.9	5.9	23.4	0.8	8.7	10.5
0～3点	18.8	18.8	6.3	18.8	—	21.9	6.3
4～6点	38.5	19.8	5.5	24.2	1.1	9.9	4.4
7～10点	26.8	24.9	4.9	27.3	0.5	5.9	7.8

問 32 災害が起きた時、避難所で配慮してほしいことは何ですか。(いくつでも○)

「高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援」の割合が67.4%と最も高く、次いで「持病のある人や薬を飲んでいる人への治療の継続」の割合が53.0%、「間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮」の割合が51.4%となっています。

回答者数 = 389

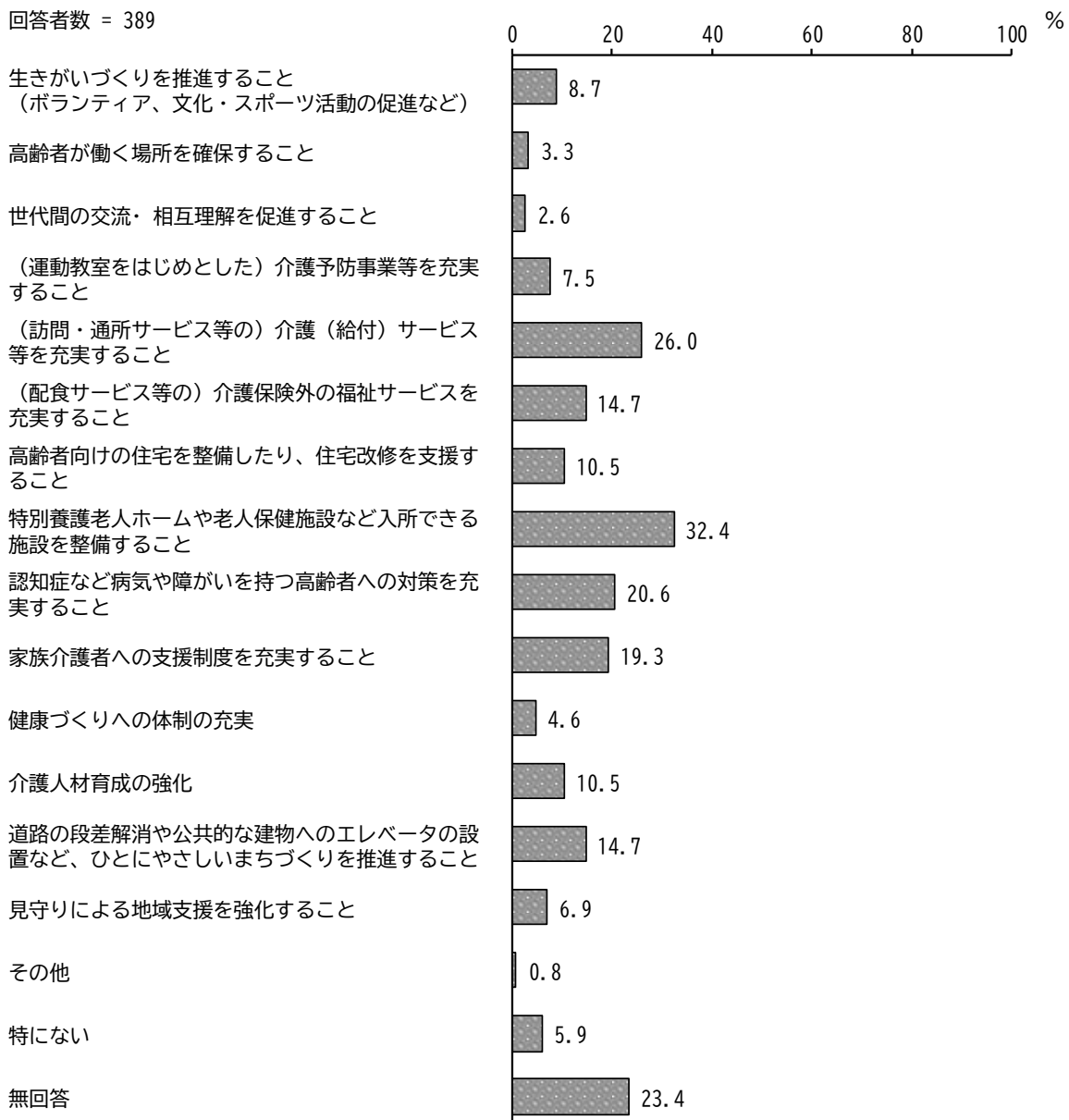


13. その他・市への要望について

問 33 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。(3つまで○)

「特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「(訪問・通所サービス等の)介護(給付)サービス等を充実すること」の割合が 26.0%、「認知症など病気や障がいを持つ高齢者への対策を充実すること」の割合が 20.6%となっています。

回答者数 = 389



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「(配食サービス等の) 介護保険外の福祉サービスを充実すること」「介護人材育成の強化」の割合が、点数が低くなるにつれ「認知症など病気や障がいを持つ高齢者への対策を充実すること」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

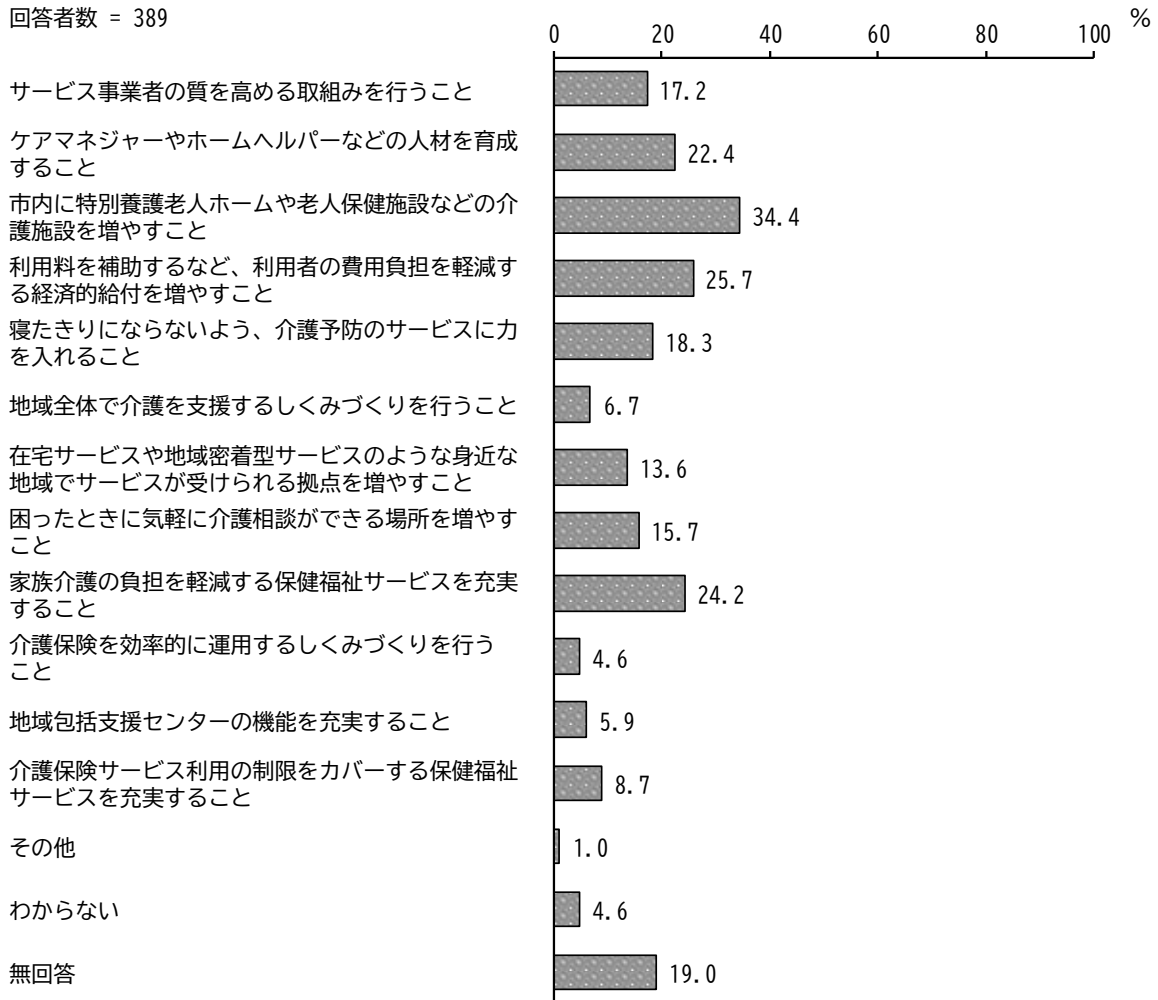
区分	回答者数(件)	生きがいづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)	高齢者が働く場所を確保すること	世代間の交流・相互理解を促進すること	(運動教室をはじめとした)介護予防事業等を充実すること	(訪問・通所サービス等の)介護(給付)サービス等を充実すること	(配食サービス等の)介護保険外の福祉サービスを充実すること	高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改修を支援すること	特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること
全体	389	8.7	3.3	2.6	7.5	26.0	14.7	10.5	32.4
0～3点	32	3.1	6.3	3.1	9.4	18.8	9.4	9.4	40.6
4～6点	91	11.0	1.1	1.1	8.8	30.8	15.4	15.4	40.7
7～10点	205	9.8	3.9	3.9	8.3	29.3	16.1	9.8	29.3

区分	認知症など病気や障がいを持つ高齢者への対策を充実すること	家族介護者への支援制度を充実すること	健康づくりへの体制の充実	介護人材育成の強化	道路の段差解消や公共的な建物へのエレベータの設置など、ひとにやさしいまちづくりを推進すること	見守りによる地域支援を強化すること	その他	特になし	無回答
全体	20.6	19.3	4.6	10.5	14.7	6.9	0.8	5.9	23.4
0～3点	46.9	18.8	3.1	6.3	15.6	9.4	—	9.4	12.5
4～6点	23.1	15.4	3.3	11.0	19.8	4.4	1.1	5.5	14.3
7～10点	18.0	22.0	6.8	12.2	13.7	6.8	0.5	5.4	22.4

問 34 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで○)

「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」の割合が 25.7%、「家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること」の割合が 24.2%となっています。

回答者数 = 389



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること」「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと」の割合が、点数が低くなるにつれ「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」「家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、0～3点で「サービス事業者の質を高める取組みを行うこと」の割合が、0～6点で「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」の割合が高くなっています。

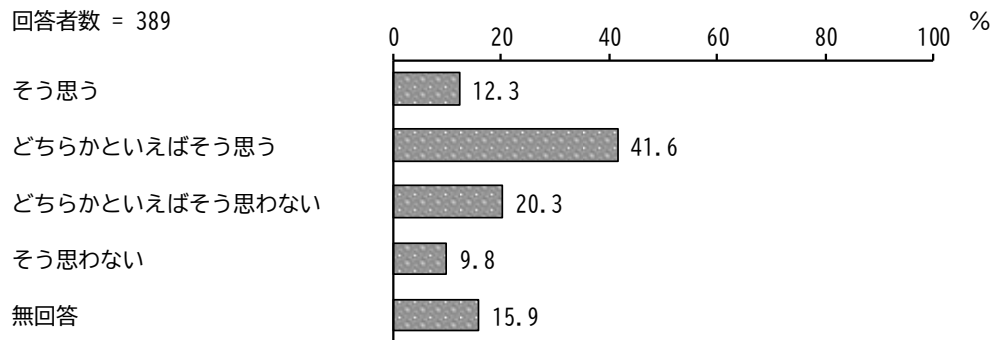
単位：％

区分	回答者数(件)	サービス事業者の質を高める取組みを行うこと	ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと	利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと	寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること	地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと	在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
全 体	389	17.2	22.4	34.4	25.7	18.3	6.7	13.6
0～3点	32	28.1	12.5	40.6	37.5	12.5	12.5	15.6
4～6点	91	15.4	25.3	41.8	30.8	20.9	3.3	14.3
7～10点	205	19.5	23.4	32.2	25.4	21.0	7.8	15.1

区分	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること	介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと	地域包括支援センターの機能を充実すること	介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること	その他	わからない	無回答
全 体	15.7	24.2	4.6	5.9	8.7	1.0	4.6	19.0
0～3点	9.4	34.4	9.4	3.1	6.3	3.1	6.3	9.4
4～6点	14.3	26.4	4.4	4.4	11.0	1.1	5.5	12.1
7～10点	17.6	25.4	4.4	6.8	6.8	0.5	3.4	18.0

問 35 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思えますか。(1つに○)

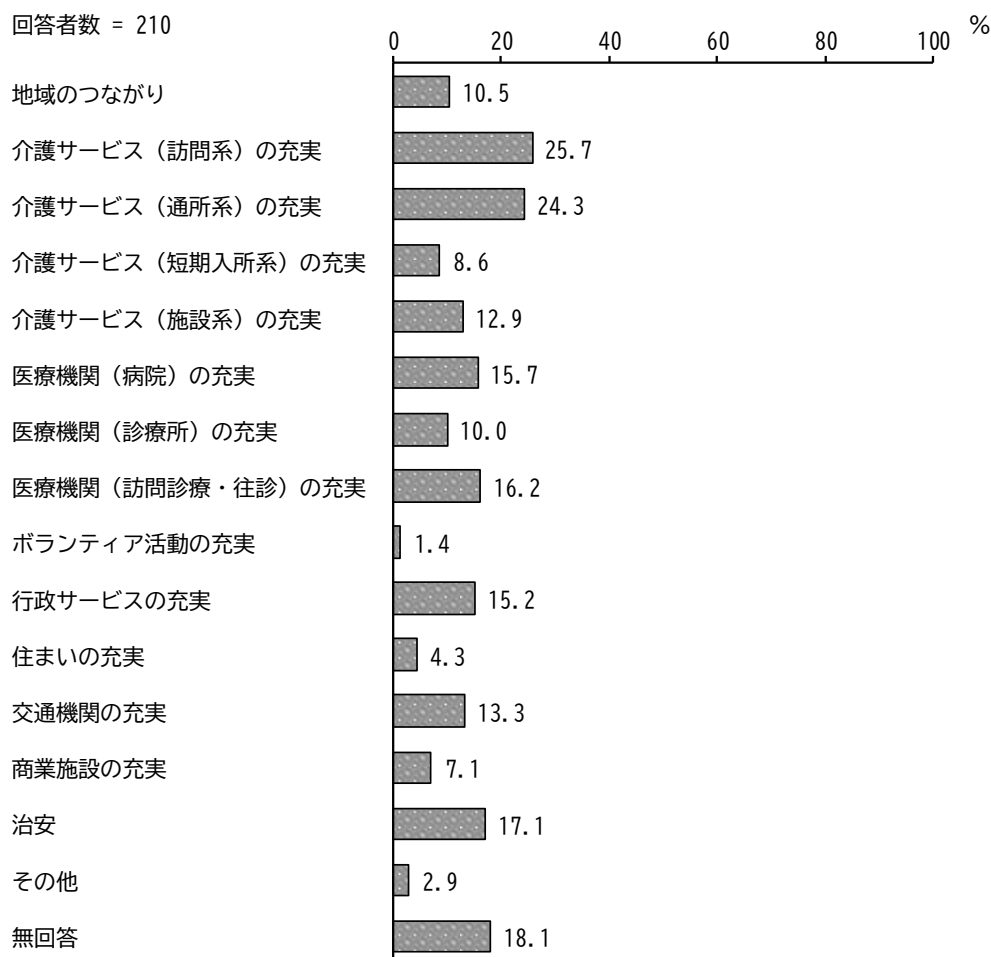
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 53.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 30.1%となっています。



問36 問35で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答された方はその理由を、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで○)

(1) “そう思う”理由

「介護サービス（訪問系）の充実」の割合が25.7%と最も高く、次いで「介護サービス（通所系）の充実」の割合が24.3%、「治安」の割合が17.1%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が低くなるにつれ「介護サービス（訪問系）の充実」「交通機関の充実」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、0～3点で「介護サービス（短期入所系）の充実」「行政サービスの充実」の割合が高くなっています。

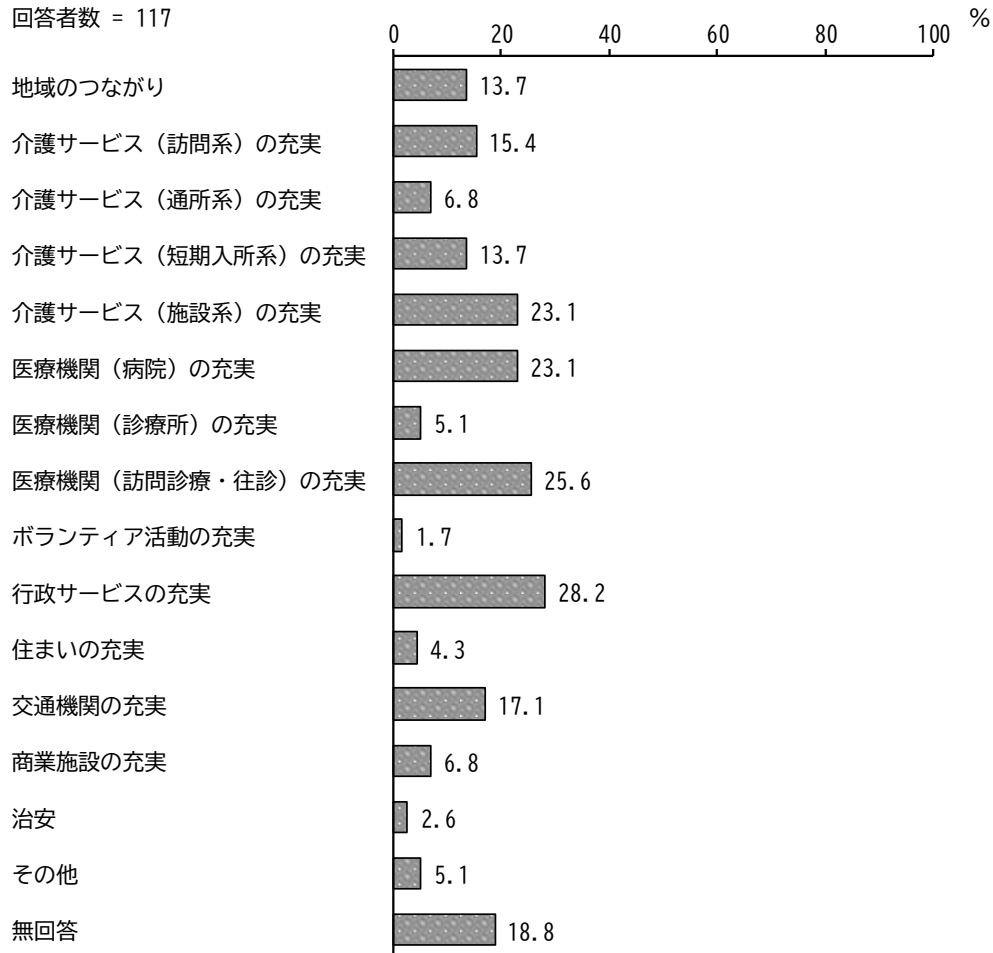
単位：％

区分	回答者数（件）	地域のつながり	介護サービス（訪問系）の充実	介護サービス（通所系）の充実	介護サービス（短期入所系）の充実	介護サービス（施設系）の充実	医療機関（病院）の充実	医療機関（診療所）の充実	医療機関（訪問診療・往診）の充実
全 体	210	10.5	25.7	24.3	8.6	12.9	15.7	10.0	16.2
0～3点	11	9.1	36.4	—	27.3	—	18.2	9.1	18.2
4～6点	56	8.9	26.8	26.8	8.9	19.6	16.1	7.1	16.1
7～10点	125	12.0	25.6	23.2	8.0	12.8	13.6	8.8	17.6

区分	ボランティア活動の充実	行政サービスの充実	住まいの充実	交通機関の充実	商業施設の充実	治安	その他	無回答
全 体	1.4	15.2	4.3	13.3	7.1	17.1	2.9	18.1
0～3点	—	27.3	—	18.2	—	18.2	—	18.2
4～6点	1.8	12.5	5.4	14.3	8.9	14.3	1.8	14.3
7～10点	1.6	15.2	4.8	12.8	7.2	16.8	4.0	18.4

“そう思う” ようになる改善

「行政サービスの充実」の割合が28.2%と最も高く、次いで「医療機関（訪問診療・往診）の充実」の割合が25.6%、「介護サービス（施設系）の充実」、「医療機関（病院）の充実」の割合が23.1%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、幸福度の点数が高くなるにつれ「交通機関の充実」の割合が、点数が低くなるにつれ「介護サービス（訪問系）の充実」「介護サービス（施設系）の充実」「医療機関（病院）の充実」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、0～3点で「医療機関（訪問診療・往診）の充実」の割合が高くなっています。

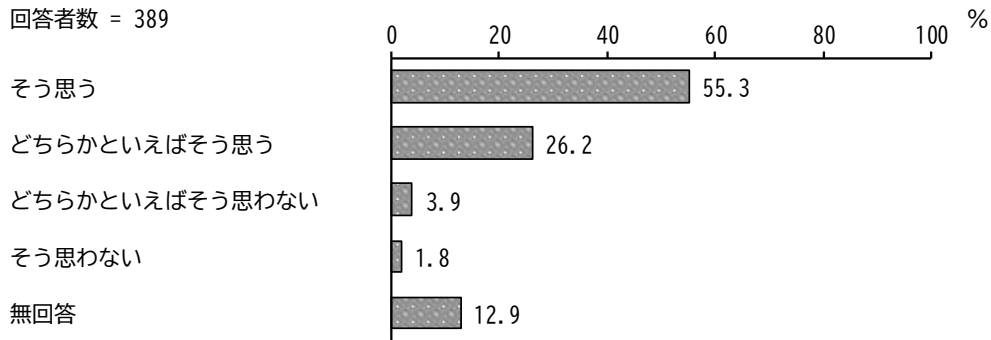
単位：％

区分	回答者数（件）	地域のつながり	介護サービス（訪問系）の充実	介護サービス（通所系）の充実	介護サービス（短期入所系）の充実	介護サービス（施設系）の充実	医療機関（病院）の充実	医療機関（診療所）の充実	医療機関（訪問診療・往診）の充実
全体	117	13.7	15.4	6.8	13.7	23.1	23.1	5.1	25.6
0～3点	16	18.8	25.0	6.3	—	56.3	31.3	6.3	43.8
4～6点	28	10.7	17.9	14.3	17.9	28.6	28.6	7.1	10.7
7～10点	53	17.0	15.1	1.9	18.9	13.2	17.0	3.8	30.2

区分	ボランティア活動の充実	行政サービスの充実	住まいの充実	交通機関の充実	商業施設の充実	治安	その他	無回答
全体	1.7	28.2	4.3	17.1	6.8	2.6	5.1	18.8
0～3点	—	25.0	6.3	6.3	—	—	—	—
4～6点	3.6	21.4	7.1	10.7	10.7	3.6	3.6	17.9
7～10点	1.9	30.2	1.9	20.8	5.7	1.9	7.5	22.6

問37 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が81.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が5.7%となっています。



問 38 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・要介護の人の病院へ行く時タクシーでないと行けないのでタクシー代の補助してもらいたいです。
- ・車イスを利用するようになり、介護タクシーを利用することが多くなりました。急な体調不良の時、予約をしてもなかなかスムーズに予約がとれないこともあります。もっと介護タクシーを増やしていただきたいです。
- ・市内に特別養護老人ホーム的な介護施設を設置して欲しい。
- ・車イスでもっと外出しやすい（安全）道路の整備。
- ・認知症の高齢者を家族で介護する事は大変です。ましてや老々介護であれば介助者も共倒れになります。介護を受ける者と共にそれを助ける介助者へのケア、考えていただきたい。
- ・高齢者に対する情報やサービス等の広報をもっと増やして欲しい。
- ・小金井市の緊急通報サービスを、心失患のある人などの制限をなくし、一人暮らしに不安のある方すべてに対応して欲しい。
- ・より高齢者が住みやすい町づくり、福祉の充実を希望、期待します。
- ・高齢で今は普通に暮しているが、いざという時、訪問診療してくれる医師がいない。主治医も訪問診療していない。是非、医師会と連携して、訪問診療する医師を増やしてほしい。
- ・介護老人福祉施設の職員の皆様のお陰で本人の穏やかな日常生活が守られています。職員の皆様が在宅で生活していた時にお世話になった介護に関わるすべての皆様の大幅な待遇改善を強く求めます。
- ・運転免許を返上する方向に世間は向かっています。CoCo バスの巡回等を改善していくことが、高齢者にとって住みやすくなると思います。
- ・介護認定を受けた時点で、オムツやRパンツなどの援助が欲しい。他の地域は、小金井と違い、要介1から1割負担でRパンツが買える。物価も高騰しているので、年金住らしの者には経済的に厳しい。
- ・そもそも介護サービスには何があるのか、何ができるのかもっと PR すべき。どこに相談してよいのかもっとわかりやすく多くの人が理解できるように、活用できるように、すべきである。

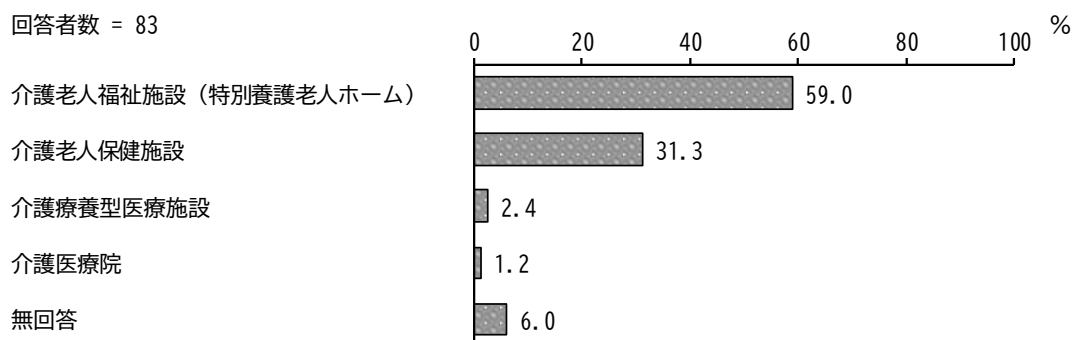
(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

IV-4 施設サービス利用者調査結果

1. 回答者属性

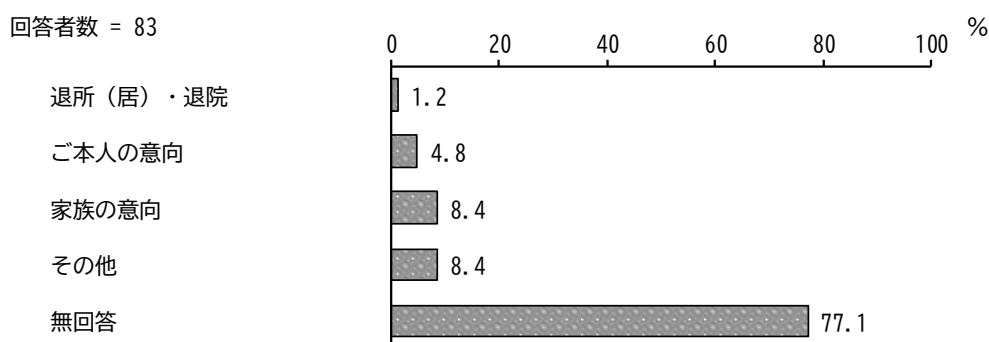
入所されている施設の種類のついて、あてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が59.0%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」の割合が31.3%となっています。



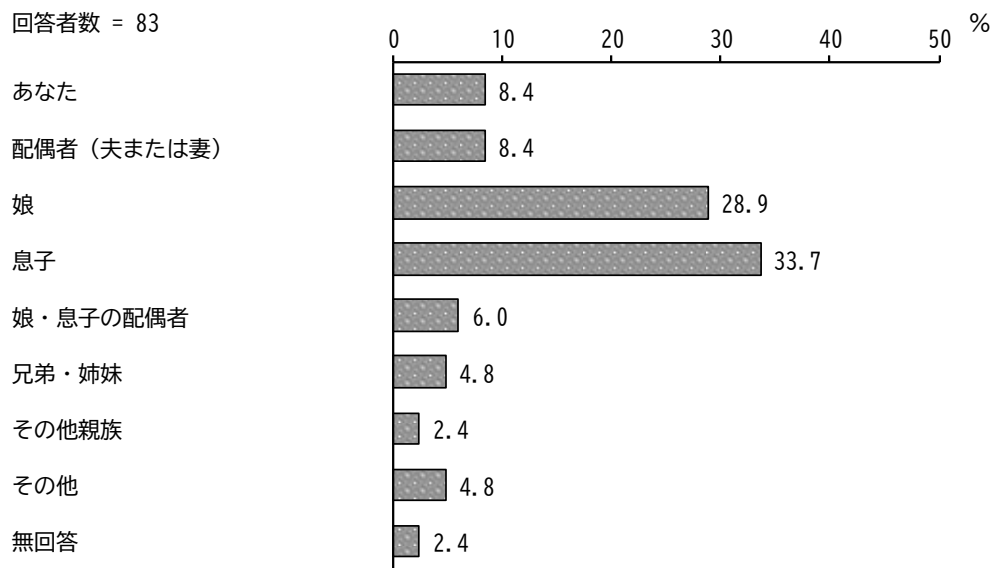
あなたやご家族が何らかの事情により回答できない場合は、その理由にあてはまる番号に○をつけて、ご返送ください。(1つに○)

「家族の意向」の割合が8.4%と最も高くなっています。



この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

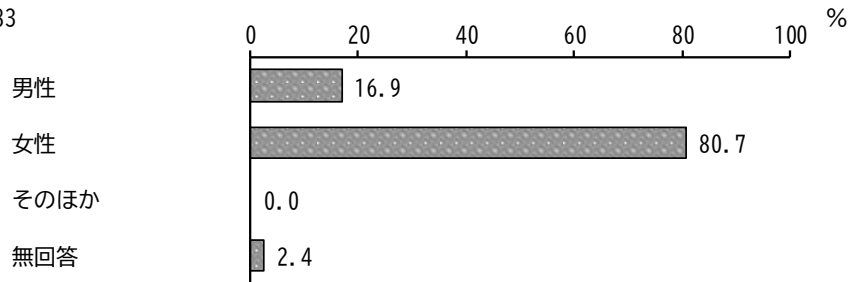
「息子」の割合が33.7%と最も高く、次いで「娘」の割合が28.9%となっています。



F1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「女性」の割合が80.7%と最も高く、次いで「男性」の割合が16.9%となっています。

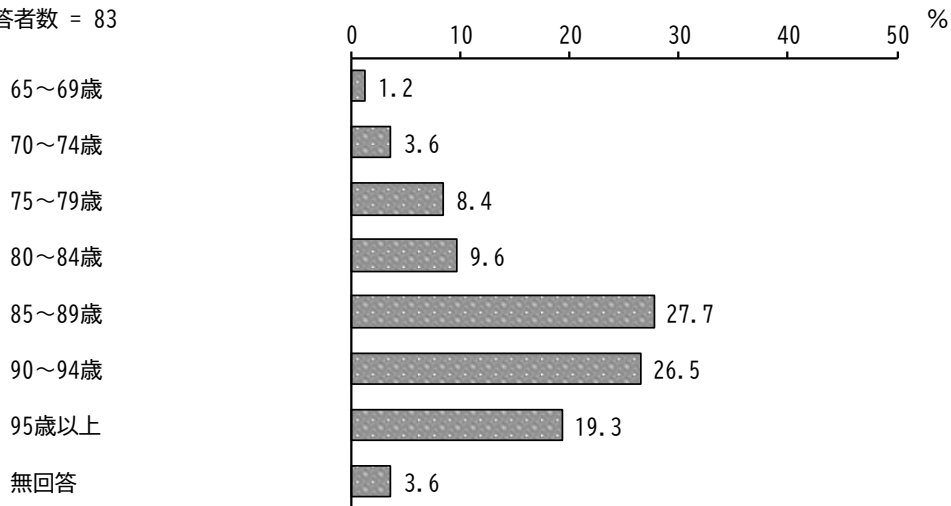
回答者数 = 83



F2 現在のあなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

「85～89歳」の割合が27.7%と最も高く、次いで「90～94歳」の割合が26.5%、「95歳以上」の割合が19.3%となっています。

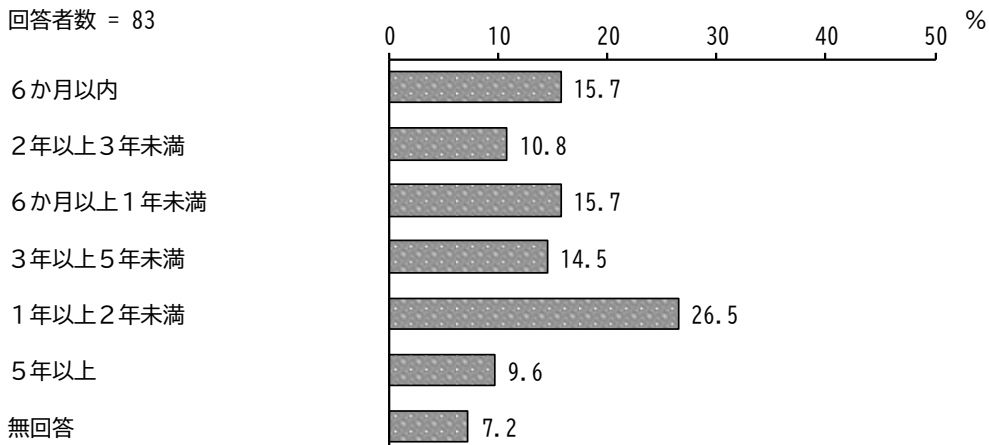
回答者数 = 83



F3 施設に入所されてどのくらいですか。(1つに○)

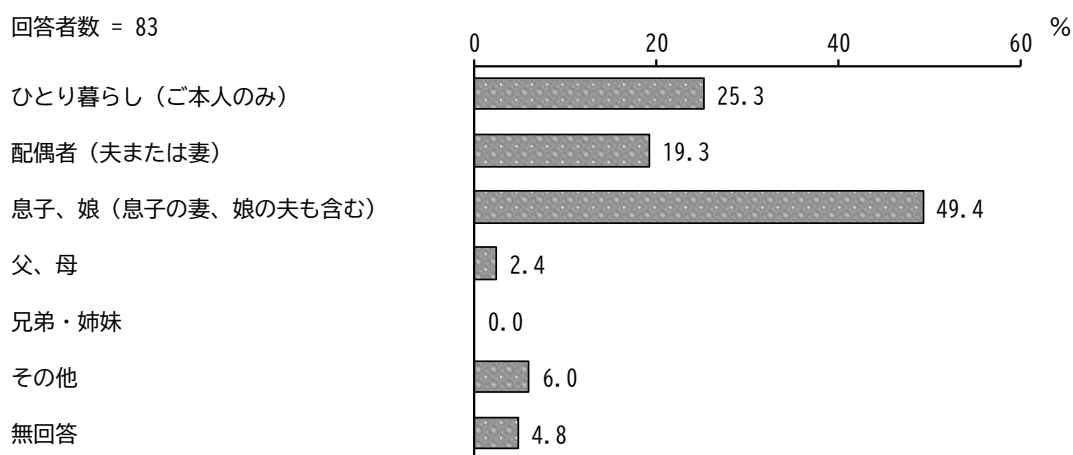
「1年以上2年未満」の割合が26.5%と最も高く、次いで「6か月以内」、「6か月以上1年未満」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 83



F 4 入所する前に同居していた方はどなたですか。(いくつでも○)

「息子、娘（息子の妻、娘の夫も含む）」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「ひとり暮らし（ご本人のみ）」の割合が 25.3%、「配偶者（夫または妻）」の割合が 19.3%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ひとり暮らし（ご本人のみ）」の割合が、7～10点で「息子、娘（息子の妻、娘の夫も含む）」の割合が高くなっています。

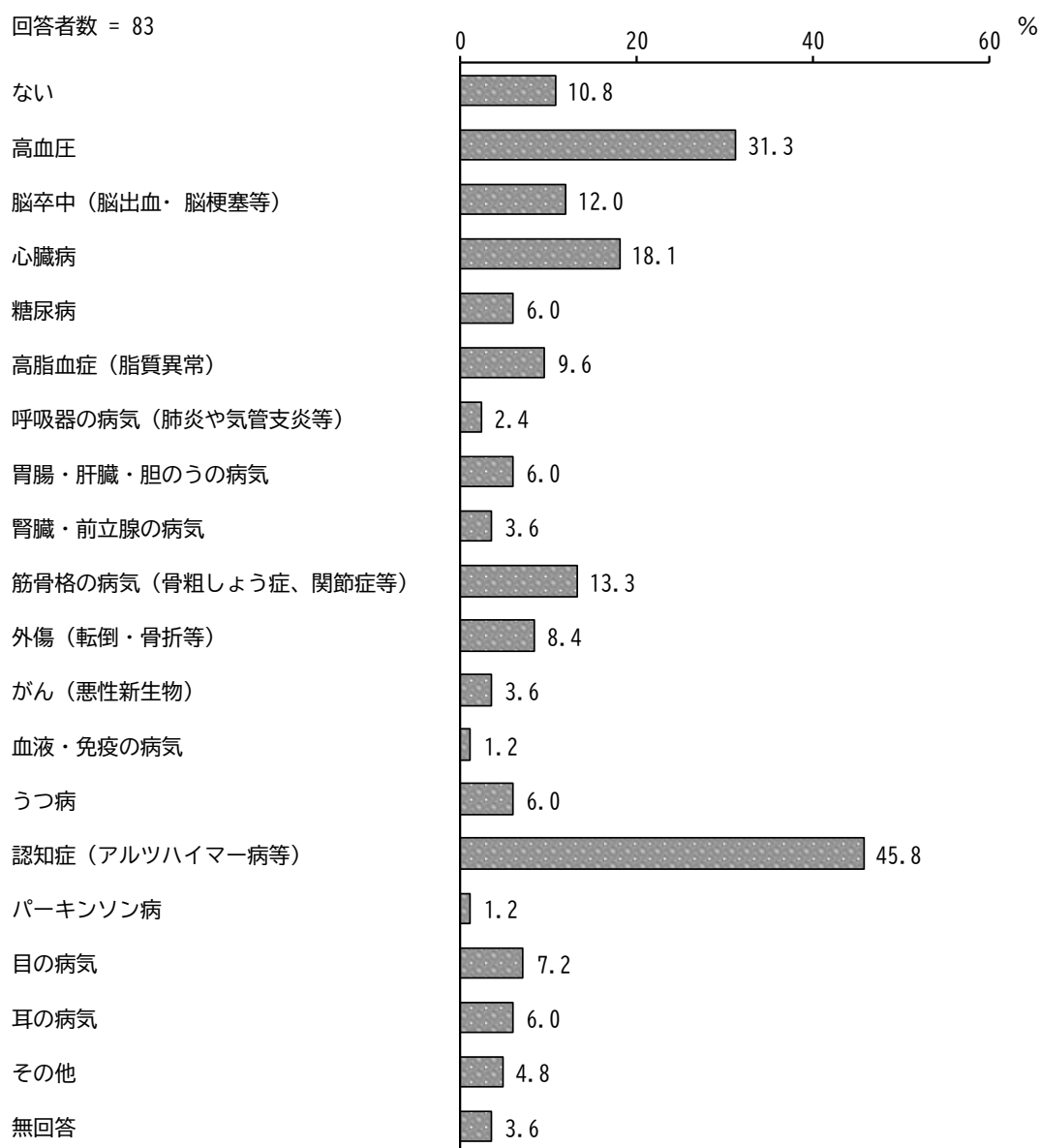
単位：%

区分	回答者数 (件)	ひとり暮らし (ご本人のみ)	配偶者 (夫または妻)	息子、娘 (息子の妻、娘の夫も含む)	父、母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全 体	83	25.3	19.3	49.4	2.4	—	6.0	4.8
0～3点	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—
4～6点	31	35.5	16.1	38.7	6.5	—	9.7	3.2
7～10点	42	19.0	19.0	57.1	—	—	4.8	4.8

2. 現在の施設に入所されるまでのことについて

問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。
(いくつでも○)

「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が45.8%と最も高く、次いで「高血圧」の割合が31.3%、「心臓病」の割合が18.1%となっています。



【入所施設別】

入所施設別にみると、他に比べ、介護老人保健施設で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
全 体	83	10.8	31.3	12.0	18.1	6.0	9.6	2.4	6.0	3.6	13.3
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	49	8.2	34.7	10.2	22.4	6.1	10.2	4.1	6.1	4.1	8.2
介護老人保健施設	26	11.5	26.9	15.4	3.8	7.7	7.7	—	3.8	—	19.2
介護療養型医療施設	2	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—
介護医療院	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	8.4	3.6	1.2	6.0	45.8	1.2	7.2	6.0	4.8	3.6
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	8.2	4.1	2.0	6.1	46.9	2.0	8.2	6.1	2.0	4.1
介護老人保健施設	11.5	3.8	—	7.7	50.0	—	—	3.8	11.5	3.8
介護療養型医療施設	—	—	—	—	50.0	—	50.0	50.0	—	—
介護医療院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【要介護度別】

要介護度にみると、他に比べ、要介護4で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
全 体	83	10.8	31.3	12.0	18.1	6.0	9.6	2.4	6.0	3.6	13.3
要介護1	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
要介護2	3	33.3	33.3	—	—	—	33.3	—	33.3	33.3	33.3
要介護3	28	10.7	32.1	14.3	17.9	3.6	17.9	3.6	10.7	—	10.7
要介護4	27	11.1	25.9	14.8	22.2	7.4	—	—	3.7	7.4	22.2
要介護5	20	5.0	35.0	5.0	15.0	10.0	10.0	—	—	—	5.0

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	8.4	3.6	1.2	6.0	45.8	1.2	7.2	6.0	4.8	3.6
要介護1	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—
要介護2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
要介護3	10.7	7.1	3.6	7.1	50.0	3.6	14.3	10.7	10.7	—
要介護4	7.4	3.7	—	11.1	48.1	—	3.7	3.7	3.7	3.7
要介護5	10.0	—	—	—	50.0	—	5.0	5.0	—	5.0

【要介護度（統合）別】

要介護度（統合）にみると、大きな差はみられません。

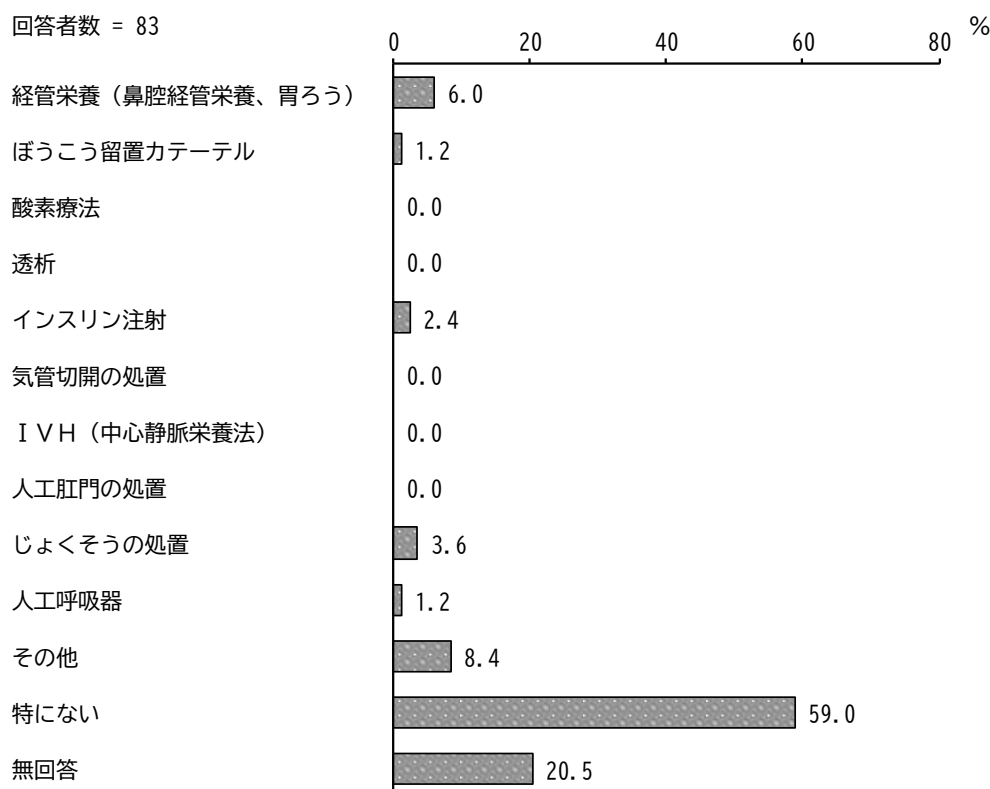
単位：％

区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）
全 体	83	10.8	31.3	12.0	18.1	6.0	9.6	2.4	6.0	3.6	13.3
軽度（要介護1・2）	5	20.0	40.0	—	—	—	20.0	—	20.0	20.0	20.0
中度（要介護3）	28	10.7	32.1	14.3	17.9	3.6	17.9	3.6	10.7	—	10.7
重度（要介護4・5）	47	8.5	29.8	10.6	19.1	8.5	4.3	—	2.1	4.3	14.9

区分	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	8.4	3.6	1.2	6.0	45.8	1.2	7.2	6.0	4.8	3.6
軽度（要介護1・2）	—	—	—	—	20.0	—	—	—	—	—
中度（要介護3）	10.7	7.1	3.6	7.1	50.0	3.6	14.3	10.7	10.7	—
重度（要介護4・5）	8.5	2.1	—	6.4	48.9	—	4.3	4.3	2.1	4.3

問2 現在受けている医療処置等は次のうちどれにあたりますか。(いくつでも○)

「特にない」の割合が59.0%と最も高くなっています。



【入所施設別】

入所施設別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	経管栄養 (鼻腔経管栄養、胃ろう)	ぼうこう留置カテーテル	酸素療法	透析	インスリン注射	気管切開の処置	IVH (中心静脈栄養法)	人工肛門の処置	じょくそうの処置	人工呼吸器	その他	特にない	無回答
全 体	83	6.0	1.2	—	—	2.4	—	—	—	3.6	1.2	8.4	59.0	20.5
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	49	2.0	2.0	—	—	—	—	—	—	4.1	2.0	6.1	61.2	22.4
介護老人保健施設	26	11.5	—	—	—	7.7	—	—	—	3.8	—	11.5	53.8	15.4
介護療養型医療施設	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—
介護医療院	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

【要介護度別】

要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)	ぼうこう留置カテーテル	酸素療法	透析	インスリン注射	気管切開の処置	IVH(中心静脈栄養法)	人工肛門の処置	じょくそこの処置	人工呼吸器	その他	特にない	無回答
全 体	83	6.0	1.2	-	-	2.4	-	-	-	3.6	1.2	8.4	59.0	20.5
要介護1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
要介護2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3
要介護3	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.7	60.7	28.6
要介護4	27	3.7	3.7	-	-	3.7	-	-	-	7.4	-	3.7	70.4	7.4
要介護5	20	20.0	-	-	-	5.0	-	-	-	5.0	-	15.0	50.0	15.0

【要介護度(統合)別】

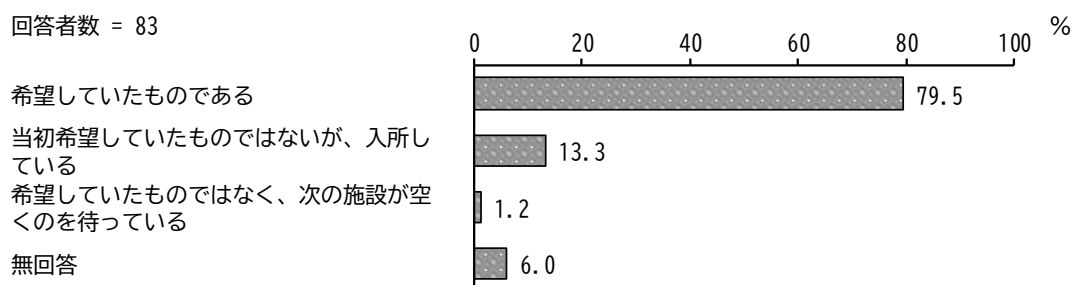
要介護度(統合)別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)	ぼうこう留置カテーテル	酸素療法	透析	インスリン注射	気管切開の処置	IVH(中心静脈栄養法)	人工肛門の処置	じょくそこの処置	人工呼吸器	その他	特にない	無回答
全 体	83	6.0	1.2	-	-	2.4	-	-	-	3.6	1.2	8.4	59.0	20.5
軽度(要介護1・2)	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	40.0
中度(要介護3)	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.7	60.7	28.6
重度(要介護4・5)	47	10.6	2.1	-	-	4.3	-	-	-	6.4	-	8.5	61.7	10.6

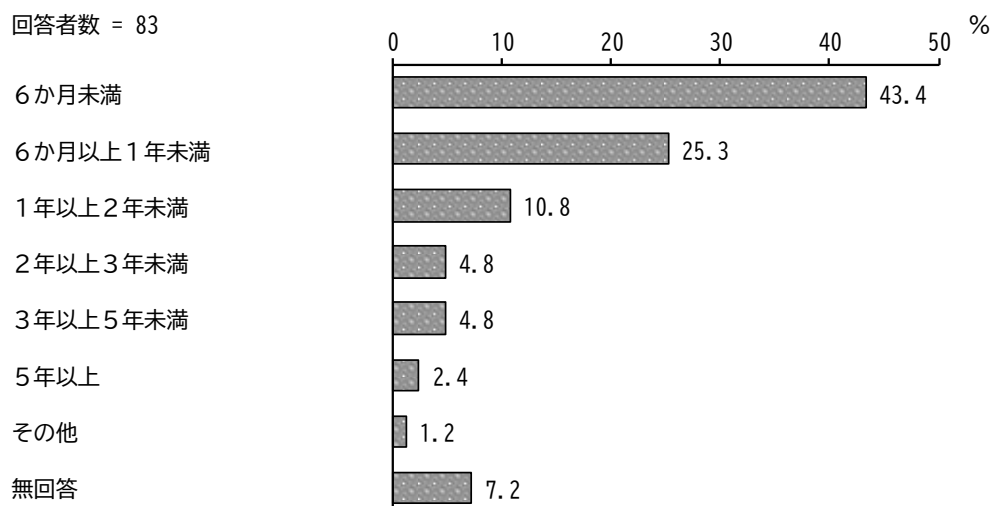
問3 現在入所している施設の種類は、希望していたものですか。(1つに○)

「希望していたものである」の割合が79.5%と最も高く、次いで「当初希望していたものではないが、入所している」の割合が13.3%となっています。



問4 あなたが、現在の施設への入所が必要になってから（または希望してから）、現在の施設に入所されるまでの期間はどれくらいでしたか。(1つに○)

「6か月未満」の割合が43.4%と最も高く、次いで「6か月以上1年未満」の割合が25.3%、「1年以上2年未満」の割合が10.8%となっています。



【入所施設別】

入所施設別にみると、他に比べ、介護老人保健施設で「6か月未満」の割合が高くなっています。また、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で「6か月以上1年未満」「1年以上2年未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	6 か 月 未 満	1 年 未 満 6 か 月 以 上	2 年 未 満 1 年 以 上	3 年 未 満 2 年 以 上	5 年 未 満 3 年 以 上	5 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	83	43.4	25.3	10.8	4.8	4.8	2.4	1.2	7.2
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	49	26.5	40.8	18.4	4.1	4.1	4.1	—	2.0
介護老人保健施設	26	80.8	—	—	—	7.7	—	3.8	7.7
介護療養型医療施設	2	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—
介護医療院	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

【要介護度別】

要介護度別にみると、他に比べ、要介護5で「6か月以上1年未満」の割合が高くなっています。また、要介護4で「1年以上2年未満」の割合が、要介護3で「6か月未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	6 か 月 未 満	1 年 未 満 6 か 月 以 上	2 年 未 満 1 年 以 上	3 年 未 満 2 年 以 上	5 年 未 満 3 年 以 上	5 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	83	43.4	25.3	10.8	4.8	4.8	2.4	1.2	7.2
要介護1	2	100.0	—	—	—	—	—	—	—
要介護2	3	66.7	—	—	33.3	—	—	—	—
要介護3	28	46.4	32.1	7.1	3.6	—	—	3.6	7.1
要介護4	27	37.0	25.9	18.5	3.7	3.7	3.7	—	7.4
要介護5	20	45.0	25.0	10.0	5.0	10.0	5.0	—	—

【要介護度（統合）別】

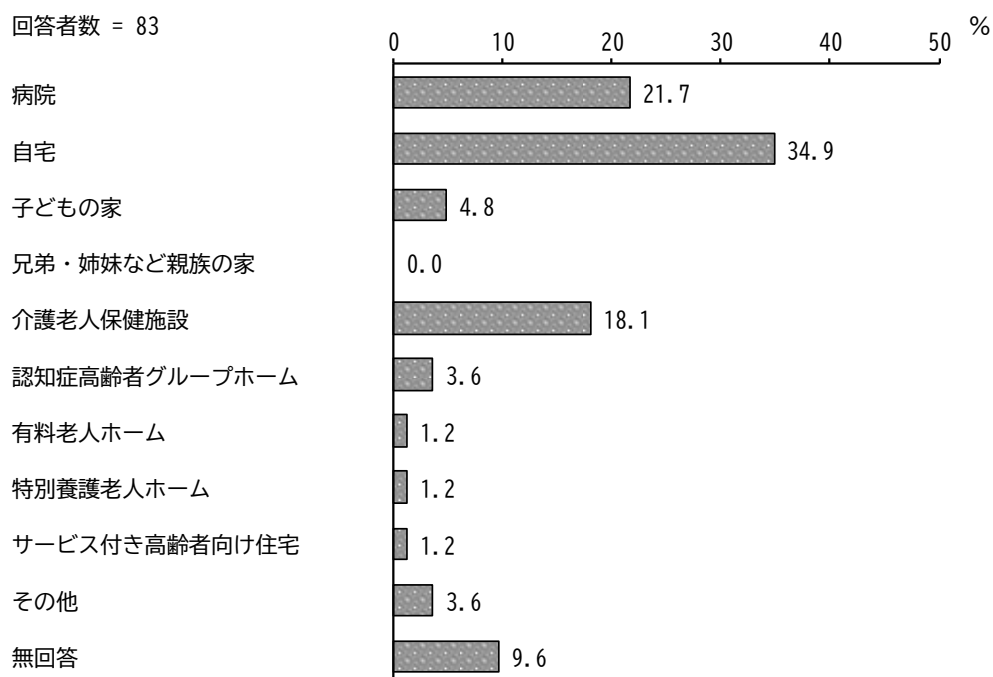
要介護度（統合）別にみると、他に比べ、中度（要介護3）で「6か月未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	6 か 月 未 満	1 年 未 満 6 か 月 以 上	2 年 未 満 1 年 以 上	3 年 未 満 2 年 以 上	5 年 未 満 3 年 以 上	5 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	83	43.4	25.3	10.8	4.8	4.8	2.4	1.2	7.2
軽度（要介護1・2）	5	80.0	—	—	20.0	—	—	—	—
中度（要介護3）	28	46.4	32.1	7.1	3.6	—	—	3.6	7.1
重度（要介護4・5）	47	40.4	25.5	14.9	4.3	6.4	4.3	—	4.3

問5 現在の施設に入所される直前の住まい・施設はどこでしたか。(1つに○)

「自宅」の割合が34.9%と最も高く、次いで「病院」の割合が21.7%、「介護老人保健施設」の割合が18.1%となっています。

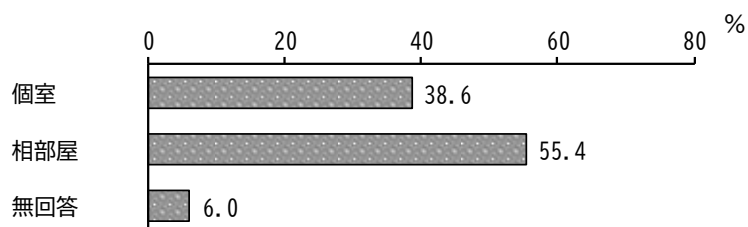


3. 施設での生活やサービスについて

問6 現在入所中のあなたの部屋の種類についてお答えください。(1つに○)

「個室」の割合が38.6%、「相部屋」の割合が55.4%となっています。

回答者数 = 83



【幸福度別】

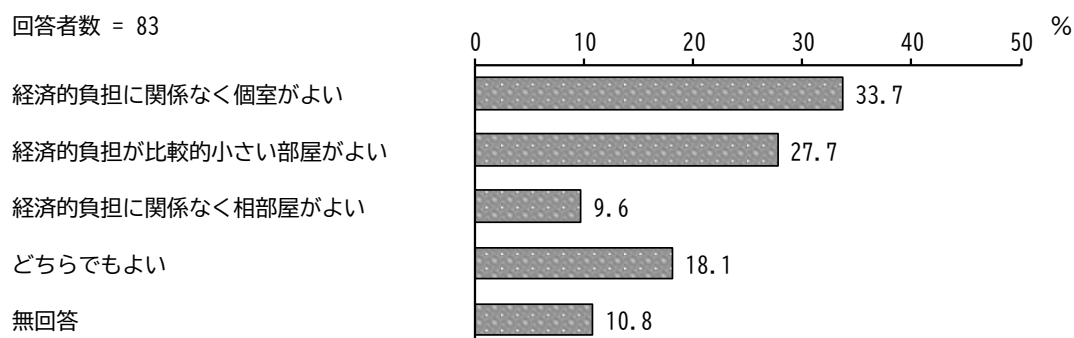
幸福度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	個室	相部屋	無回答
全 体	83	38.6	55.4	6.0
0～3点	2	—	100.0	—
4～6点	31	38.7	58.1	3.2
7～10点	42	40.5	54.8	4.8

問7 あなたは今後、どのような部屋で生活したいですか。(1つに○)

「経済的負担に関係なく個室がよい」の割合が33.7%と最も高く、次いで「経済的負担が比較的小さい部屋がよい」の割合が27.7%、「どちらでもよい」の割合が18.1%となっています。



【幸福度別】

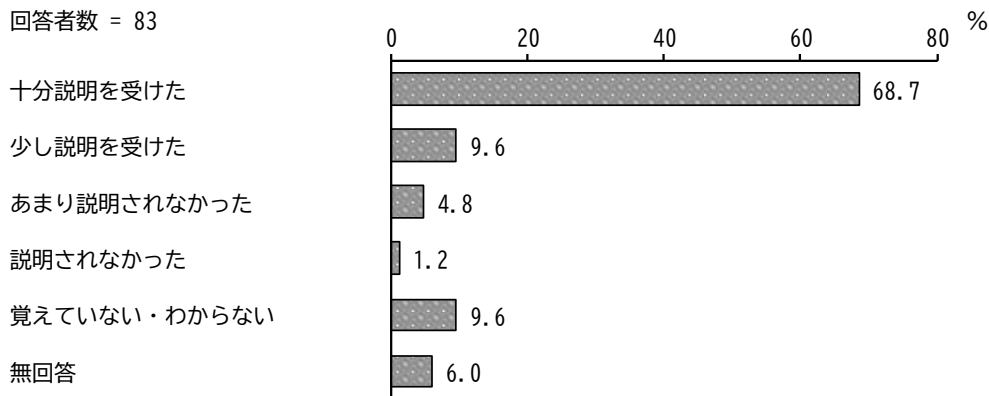
幸福度別にみると、他に比べ、7～10点で「経済的負担に関係なく個室がよい」の割合が、4～6点で「どちらでもよい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	経済的負担に関係なく 個室がよい	経済的負担が比較的小さい 部屋がよい	経済的負担に関係なく 相部屋がよい	どちらでもよい	無回答
全体	83	33.7	27.7	9.6	18.1	10.8
0～3点	2	—	50.0	50.0	—	—
4～6点	31	29.0	32.3	9.7	25.8	3.2
7～10点	42	42.9	26.2	7.1	14.3	9.5

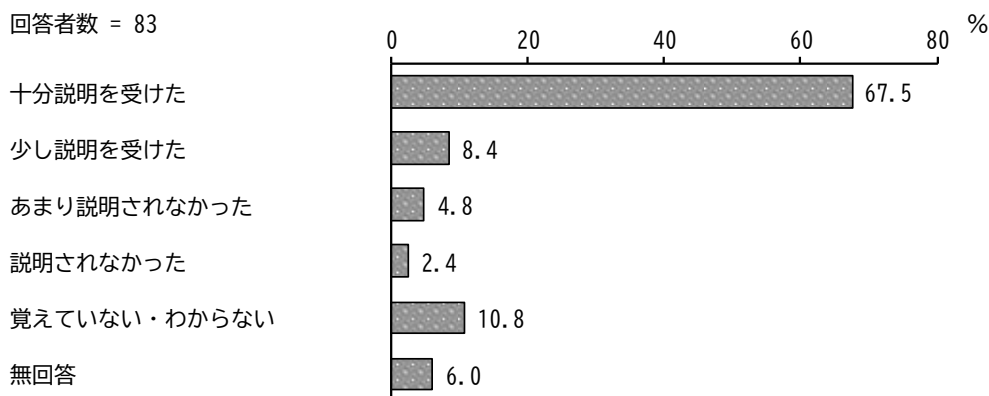
問8 入所されるときに施設の運営方針や費用などの重要事項について、説明が行われましたか。(1つに○)

「十分説明を受けた」と「少し説明を受けた」をあわせた“説明を受けた”の割合が78.3%、「あまり説明されなかった」と「説明されなかった」をあわせた“説明されなかった”の割合が6.0%となっています。



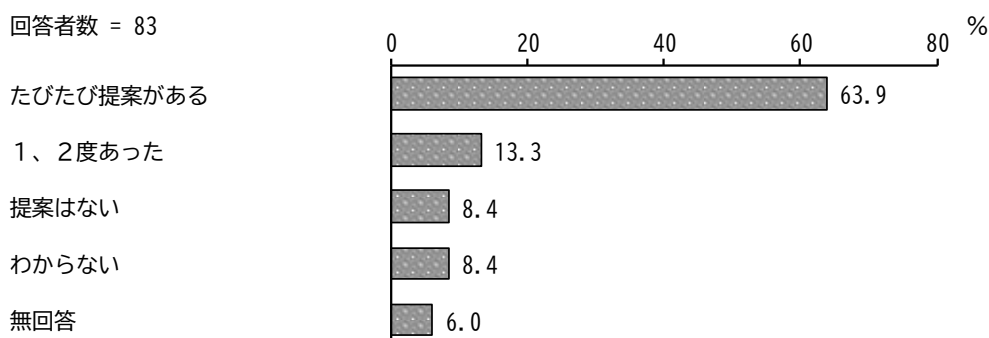
問9 生活するために必要になるサービスなどについて、詳しく説明が行われましたか。(1つに○)

「十分説明を受けた」と「少し説明を受けた」をあわせた“説明を受けた”の割合が75.9%、「あまり説明されなかった」と「説明されなかった」をあわせた“説明されなかった”の割合が7.2%となっています。



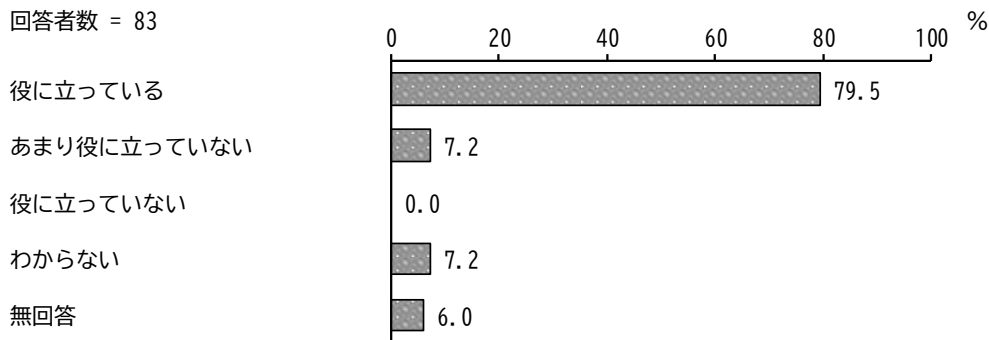
問10 施設から、ご本人の体の状況に応じたサービスの提案がありますか。(1つに○)

「たびたび提案がある」の割合が63.9%と最も高く、次いで「1、2度あった」の割合が13.3%となっています。



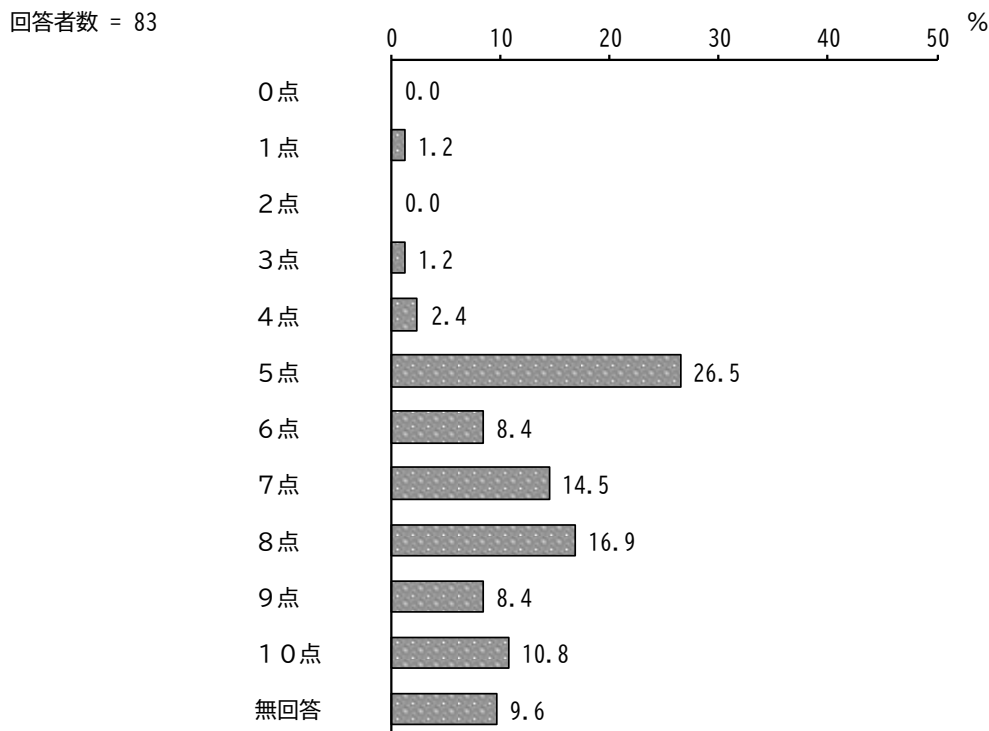
問11 施設でのサービスは、ご本人の体の状況の維持や改善に役に立っていると思いますか。(1つに○)

「役に立っている」の割合が79.5%と最も高くなっています。



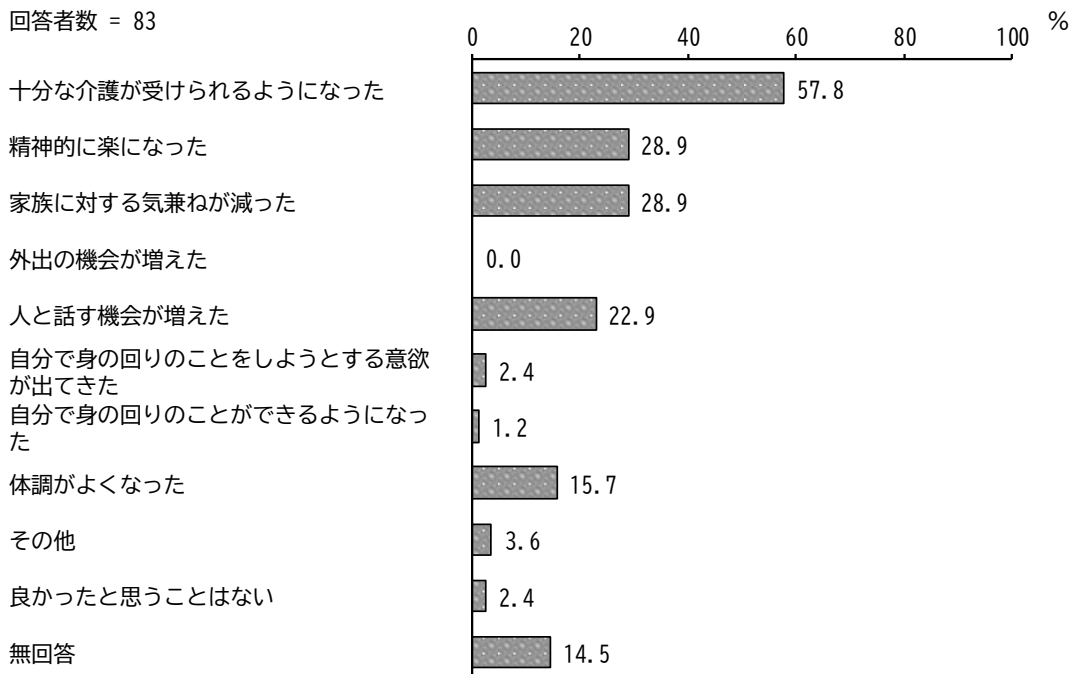
問12 あなたは、現在どの程度幸せですか。(当てはまる点数1つに○)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

「5点」の割合が26.5%と最も高く、次いで「8点」の割合が16.9%、「7点」の割合が14.5%となっています。



問 13 あなたが現在の施設に入所して良かったと思うことは何ですか。
(いくつでも○)

「十分な介護が受けられるようになった」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「精神的に楽になった」、「家族に対する気兼ねが減った」の割合が 28.9%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、7～10点で「十分な介護が受けられるようになった」の割合が、4～6点で「精神的に楽になった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	十分な介護が受けられるようになった	精神的に楽になった	家族に対する気兼ねが減った	外出の機会が増えた	人と話す機会が増えた	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた	自分で身の回りのことができるようになった	体調がよくなった	その他	良かったと思うことはない	無回答
全 体	83	57.8	28.9	28.9	—	22.9	2.4	1.2	15.7	3.6	2.4	14.5
0～3点	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
4～6点	31	51.6	35.5	29.0	—	25.8	—	—	12.9	3.2	6.5	9.7
7～10点	42	71.4	28.6	33.3	—	26.2	4.8	2.4	19.0	4.8	—	9.5

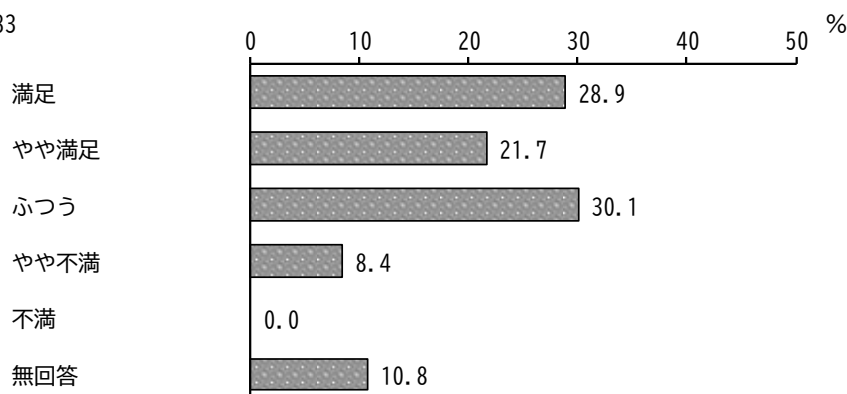
単位：%

問14 サービスの満足度についておたずねします。利用しているサービスには満足していますか。(①から⑧についてそれぞれ1つに○)

①食事

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が50.6%、「ふつう」の割合が30.1%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が8.4%となっています。

回答者数 = 83



【幸福度別】

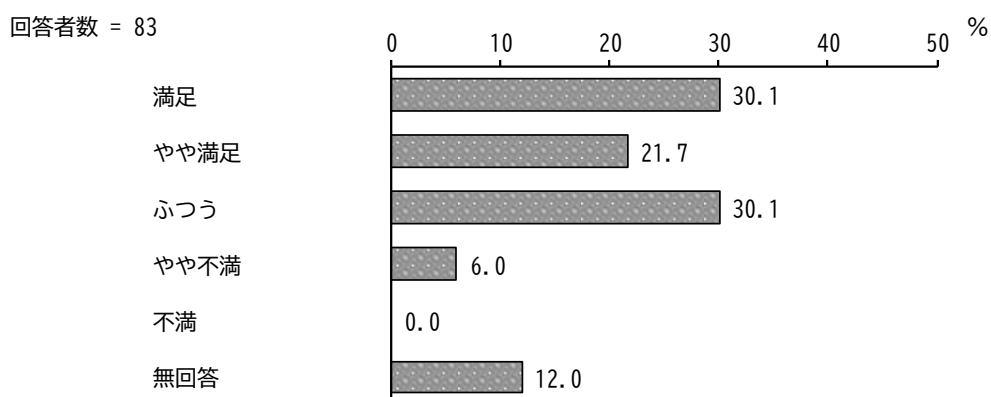
幸福度別にみると、他に比べ、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	83	28.9	21.7	30.1	8.4	—	10.8
0～3点	2	—	50.0	—	50.0	—	—
4～6点	31	6.5	25.8	58.1	9.7	—	—
7～10点	42	50.0	19.0	14.3	7.1	—	9.5

②入浴

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が51.8%、「ふつう」の割合が30.1%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が6.0%となっています。



【幸福度別】

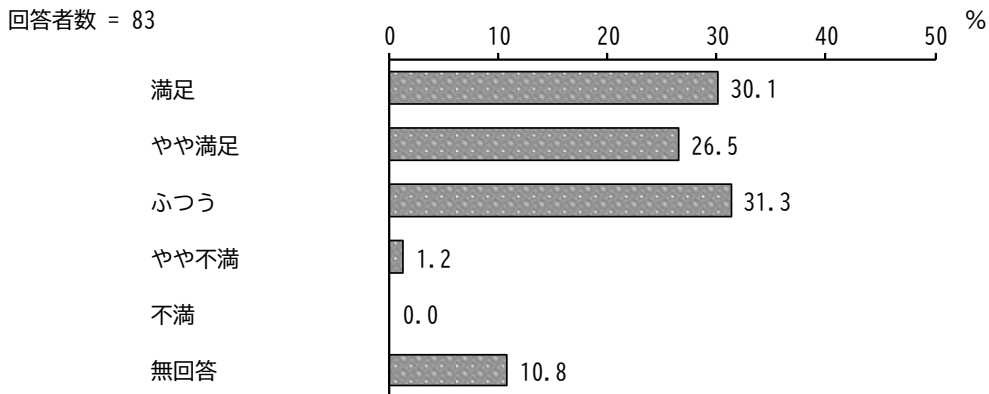
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ふつう」の割合が、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	83	30.1	21.7	30.1	6.0	—	12.0
0～3点	2	—	50.0	50.0	—	—	—
4～6点	31	9.7	22.6	58.1	9.7	—	—
7～10点	42	50.0	23.8	11.9	2.4	—	11.9

③トイレ・排泄

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が56.6%、「ふつう」の割合が31.3%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が1.2%となっています。



【幸福度別】

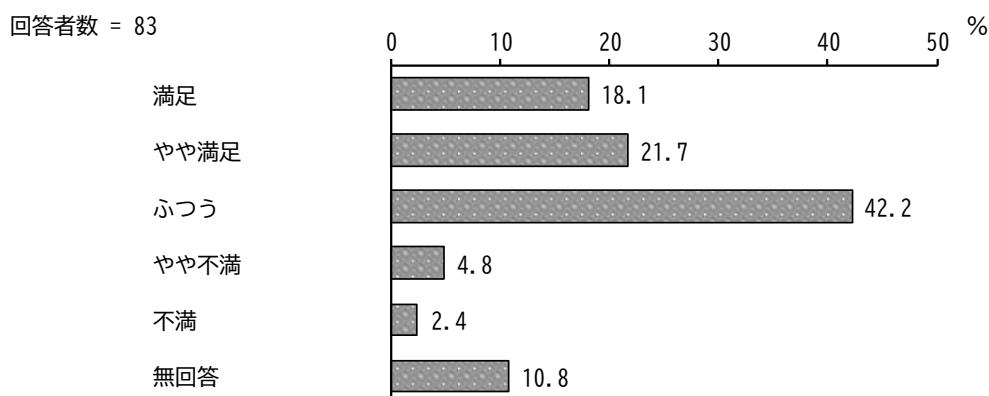
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ふつう」の割合が、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	83	30.1	26.5	31.3	1.2	—	10.8
0～3点	2	—	50.0	50.0	—	—	—
4～6点	31	16.1	16.1	67.7	—	—	—
7～10点	42	47.6	35.7	7.1	—	—	9.5

④機能訓練

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が39.8%、「ふつう」の割合が42.2%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が7.2%となっています。



【幸福度別】

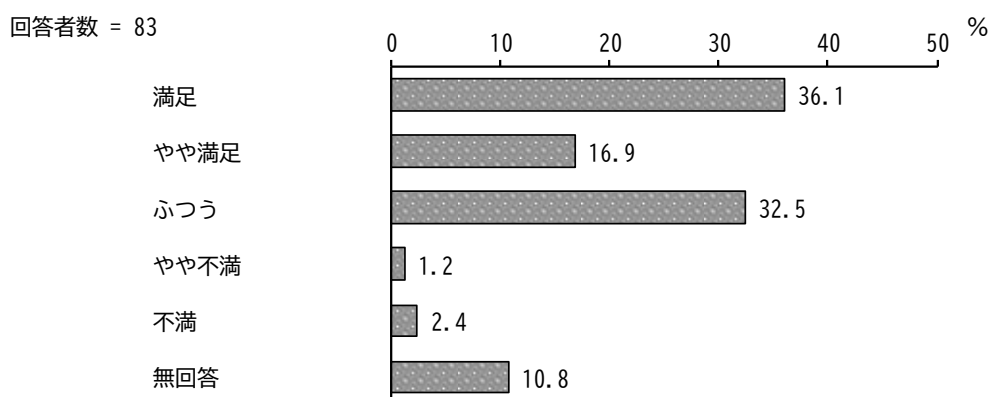
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ふつう」の割合が、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	83	18.1	21.7	42.2	4.8	2.4	10.8
0～3点	2	—	—	50.0	50.0	—	—
4～6点	31	9.7	16.1	71.0	3.2	—	—
7～10点	42	26.2	31.0	26.2	4.8	2.4	9.5

⑤必要な医療の実施

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が53.0%、「ふつう」の割合が32.5%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が3.6%となっています。



【幸福度別】

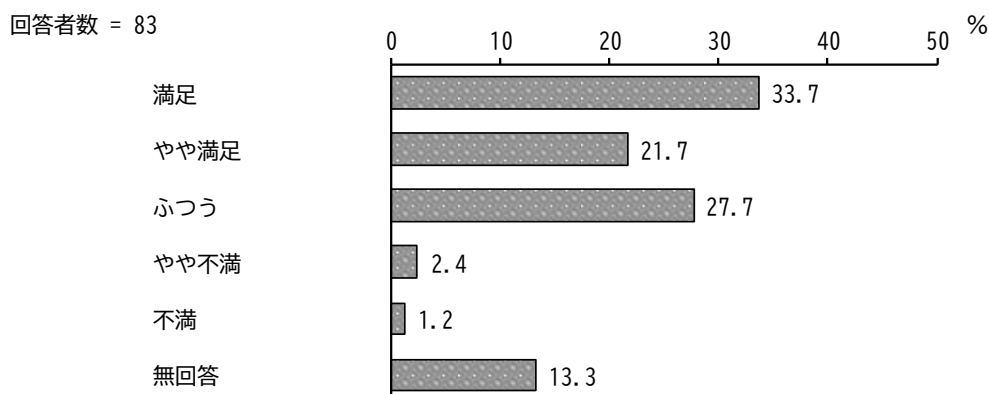
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ふつう」の割合が、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	83	36.1	16.9	32.5	1.2	2.4	10.8
0～3点	2	—	—	100.0	—	—	—
4～6点	31	25.8	9.7	61.3	3.2	—	—
7～10点	42	50.0	26.2	11.9	—	2.4	9.5

⑥看護（医療）

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が55.4%、「ふつう」の割合が27.7%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が3.6%となっています。



【幸福度別】

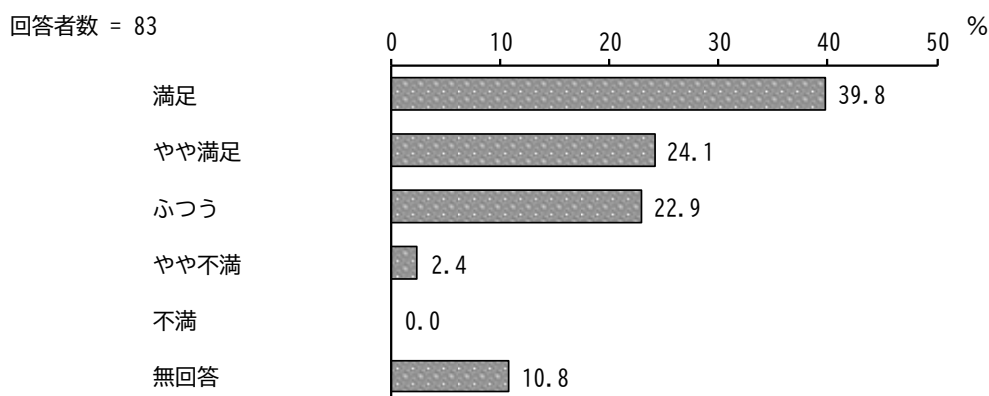
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ふつう」の割合が、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	83	33.7	21.7	27.7	2.4	1.2	13.3
0～3点	2	—	50.0	50.0	—	—	—
4～6点	31	22.6	16.1	58.1	3.2	—	—
7～10点	42	47.6	28.6	7.1	—	2.4	14.3

⑦健康管理、栄養上の管理

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が63.9%、「ふつう」の割合が22.9%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が2.4%となっています。



【幸福度別】

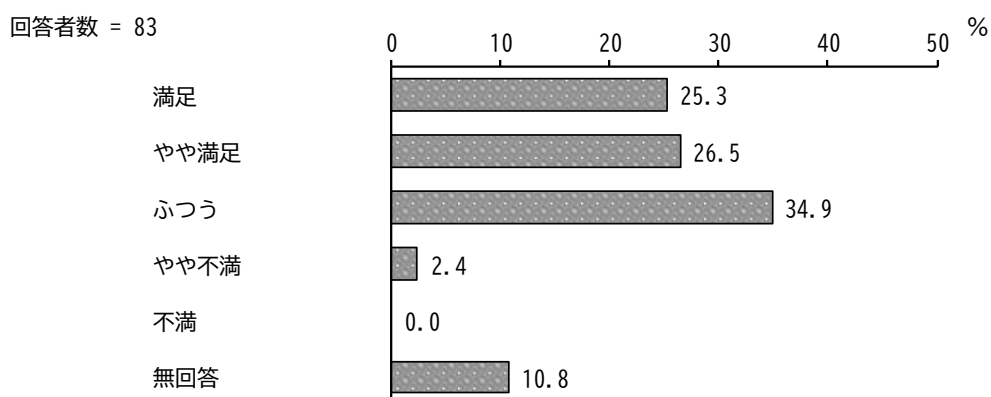
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ふつう」の割合が、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全 体	83	39.8	24.1	22.9	2.4	—	10.8
0～3点	2	—	—	100.0	—	—	—
4～6点	31	25.8	32.3	38.7	3.2	—	—
7～10点	42	57.1	23.8	7.1	2.4	—	9.5

⑧相談・助言

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が51.8%、「ふつう」の割合が34.9%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が2.4%となっています。



【幸福度別】

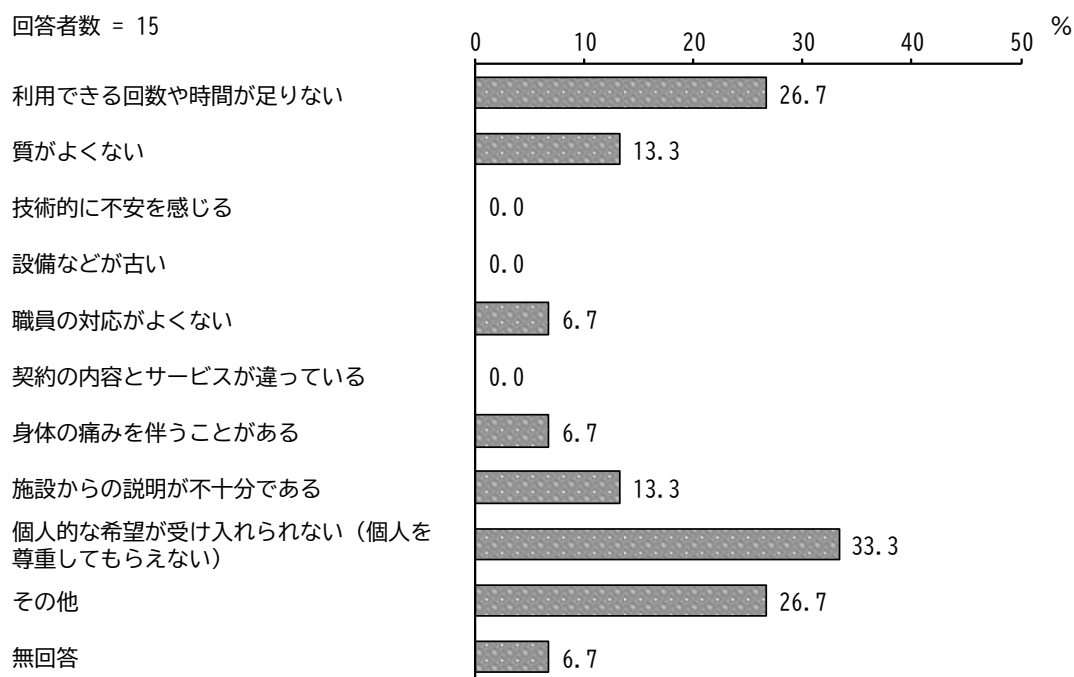
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「ふつう」の割合が、7～10点で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	83	25.3	26.5	34.9	2.4	—	10.8
0～3点	2	—	—	100.0	—	—	—
4～6点	31	6.5	25.8	67.7	—	—	—
7～10点	42	42.9	33.3	11.9	2.4	—	9.5

問 14-1 問 14 で「やや不満」または「不満」と答えたサービスがある方におたずねします。
 ご不満である理由はなんですか。(いくつでも○)

「個人的な希望が受け入れられない(個人を尊重してもらえない)」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「利用できる回数や時間が足りない」の割合が 26.7%、「質がよくない」、「施設からの説明が不十分である」の割合が 13.3%となっています。



【幸福度別】

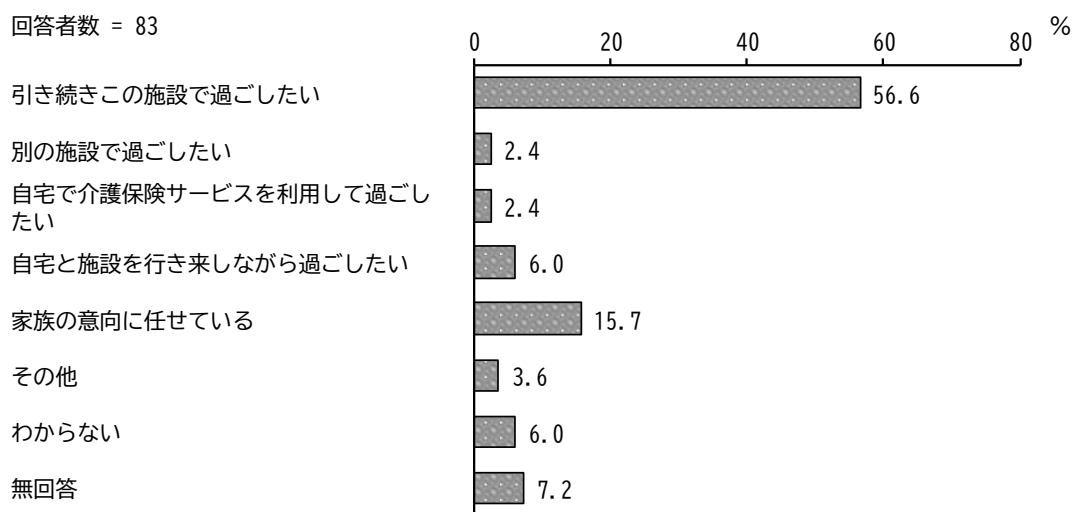
幸福度別では、有効回答が少ないため、参考とします。

単位：%

区分	回答者数(件)	利用できる回数や時間が足りない	質がよくない	技術的に不安を感じる	設備などが古い	職員の対応がよくない	契約の内容とサービスが違っている	身体の痛みを伴うことがある	施設からの説明が不十分である	個人的な希望が受け入れられない(個人を尊重してもらえない)	その他	無回答
全体	15	26.7	13.3	—	—	6.7	—	6.7	13.3	33.3	26.7	6.7
0～3点	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
4～6点	8	25.0	12.5	—	—	12.5	—	—	—	25.0	25.0	12.5
7～10点	5	20.0	20.0	—	—	—	—	—	40.0	40.0	20.0	—

問 15 今後、あなたは、どこで生活するのが良いと考えていますか。(1つに○)

「引き続きこの施設で過ごしたい」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「家族の意向に任せている」の割合が 15.7%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、7～10点で「引き続きこの施設で過ごしたい」の割合が高くなっています。また、4～6点で「家族の意向に任せている」の割合が高くなっています。

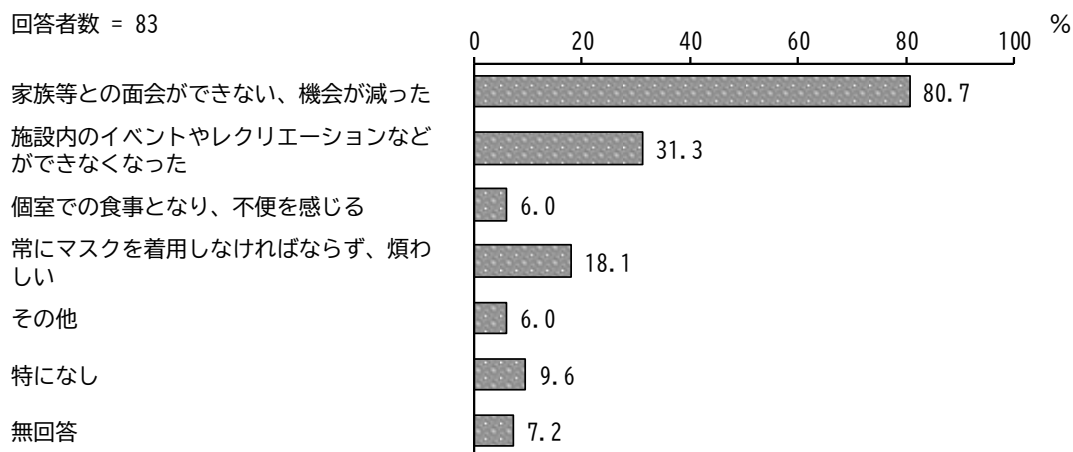
単位：%

区分	回答者数(件)	引き続きこの施設で過ごしたい	別の施設で過ごしたい	自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい	自宅と施設を行き来しながら過ごしたい	家族の意向に任せている	その他	わからない	無回答
全体	83	56.6	2.4	2.4	6.0	15.7	3.6	6.0	7.2
0～3点	2	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—
4～6点	31	51.6	3.2	3.2	6.5	25.8	—	9.7	—
7～10点	42	69.0	2.4	—	7.1	9.5	7.1	2.4	2.4

問16 新型コロナウイルス感染症拡大により、生活に影響はありましたか。
(いくつでも○)

「家族等との面会ができない、機会が減った」の割合が80.7%と最も高く、次いで「施設内のイベントやレクリエーションなどができなくなった」の割合が31.3%、「常にマスクを着用しなければならず、煩わしい」の割合が18.1%となっています。

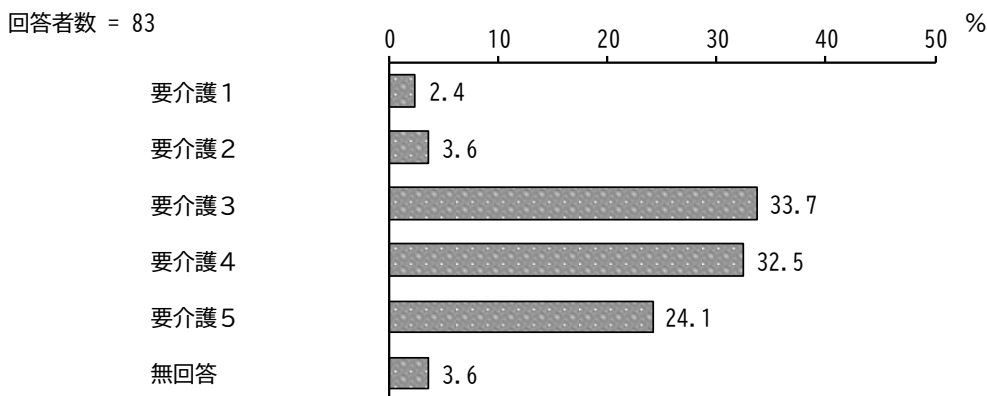
回答者数 = 83



4. 介護保険について

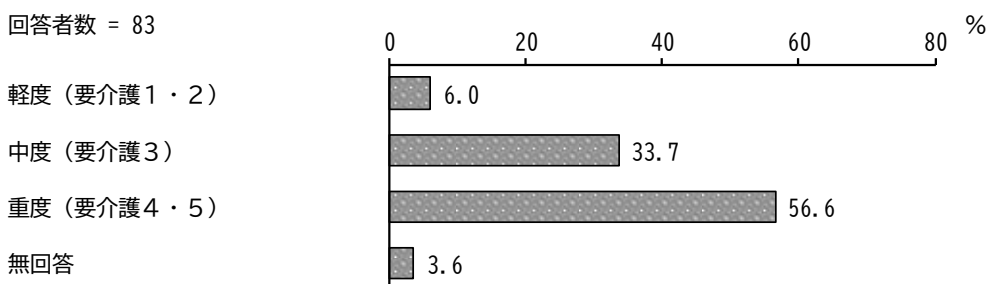
問 17 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)

「要介護3」の割合が33.7%と最も高く、次いで「要介護4」の割合が32.5%、「要介護5」の割合が24.1%となっています。



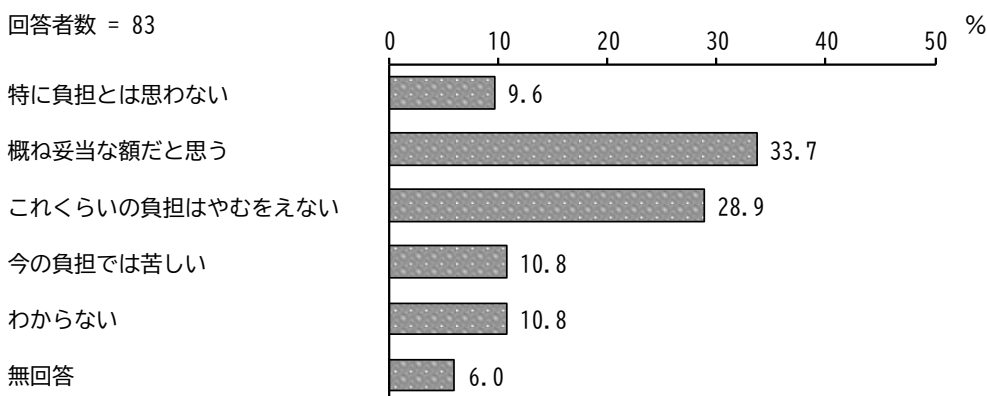
<要介護度(統合)>

「重度(要介護4・5)」の割合が56.6%と最も高く、次いで「中度(要介護3)」の割合が33.7%となっています。



問 18 施設利用料(介護サービス費・食費・居住費等)について、どのようにお考えですか。(1つに○)

「概ね妥当な額だと思う」の割合が33.7%と最も高く、次いで「これくらいの負担はやむをえない」の割合が28.9%、「今の負担では苦しい」、「わからない」の割合が10.8%となっています。



【入所施設別】

入所施設別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	特に負担とは思わない	概ね妥当な額だと思ふ	これくらいの負担はやむをえない	今の負担では苦しい	わからない	無回答
全体	83	9.6	33.7	28.9	10.8	10.8	6.0
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	49	14.3	34.7	28.6	8.2	10.2	4.1
介護老人保健施設	26	3.8	38.5	30.8	11.5	11.5	3.8
介護療養型医療施設	2	—	50.0	50.0	—	—	—
介護医療院	1	—	—	100.0	—	—	—

【要介護度別】

要介護度にみると、他に比べ、要介護5で「概ね妥当な額だと思ふ」の割合が、要介護3で「今の負担では苦しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	特に負担とは思わない	概ね妥当な額だと思ふ	これくらいの負担はやむをえない	今の負担では苦しい	わからない	無回答
全体	83	9.6	33.7	28.9	10.8	10.8	6.0
要介護1	2	—	100.0	—	—	—	—
要介護2	3	—	33.3	—	33.3	33.3	—
要介護3	28	10.7	25.0	32.1	17.9	10.7	3.6
要介護4	27	11.1	29.6	33.3	7.4	14.8	3.7
要介護5	20	10.0	50.0	30.0	5.0	5.0	—

【要介護度(統合)別】

要介護度(統合)にみると、他に比べ、中度(要介護3)で「今の負担では苦しい」の割合が高くなっています。

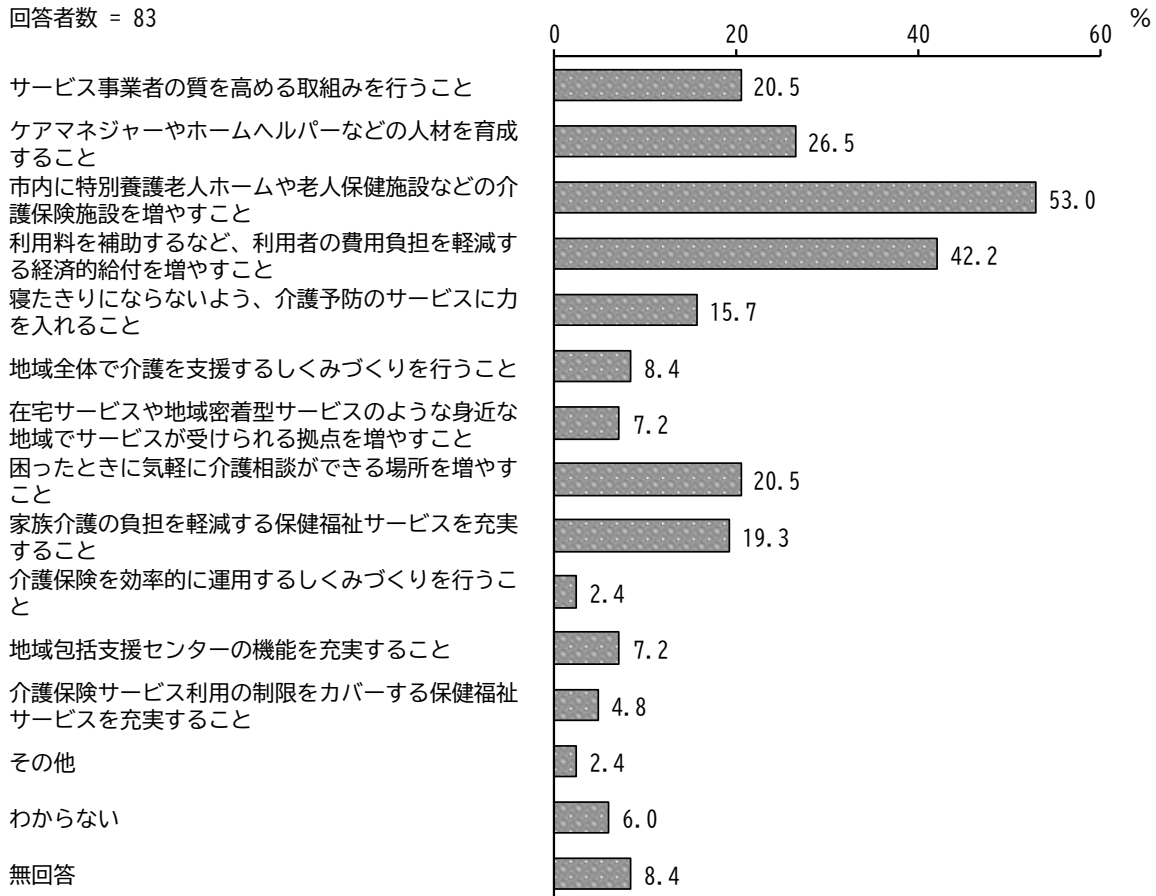
単位：％

区分	回答者数(件)	特に負担とは思わない	概ね妥当な額だと思ふ	これくらいの負担はやむをえない	今の負担では苦しい	わからない	無回答
全体	83	9.6	33.7	28.9	10.8	10.8	6.0
軽度(要介護1・2)	5	—	60.0	—	20.0	20.0	—
中度(要介護3)	28	10.7	25.0	32.1	17.9	10.7	3.6
重度(要介護4・5)	47	10.6	38.3	31.9	6.4	10.6	2.1

問 19 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで○)

「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと」の割合が53.0%と最も高く、次いで「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」の割合が42.2%、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 83



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、7～10点で「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと」の割合が高くなっています。また、4～6点で「寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること」「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」の割合が高くなっています。

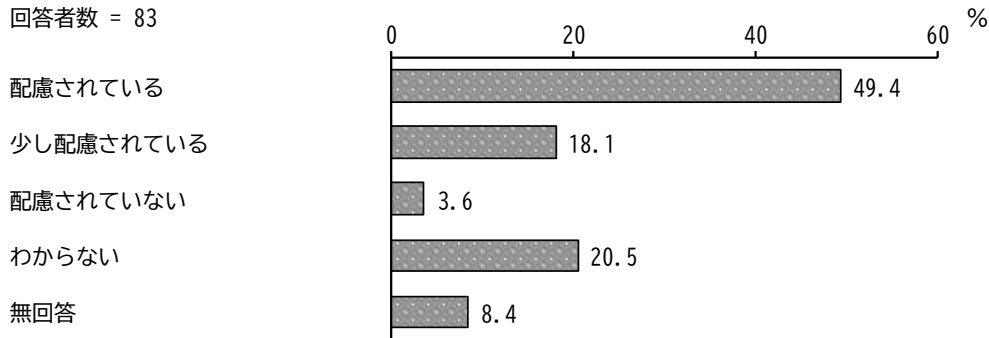
単位：%

区分	回答者数(件)	サービス事業者の質を高める 取組みを行うこと	ケアマネジャーやホームヘルパー などの人材を育成すること	市内に特別養護老人ホームや 老人保健施設などの介護保険 施設を増やすこと	利用料を補助するなど、利用者 の費用負担を軽減する経済的 給付を増やすこと	寝たきりにならないよう、介護 予防のサービスに力を入れること	地域全体で介護を支援する しくみづくりを行うこと	在宅サービスや地域密着型サービ スのような身近な地域でサービス が受けられる拠点を増やすこと	
全 体	83	20.5	26.5	53.0	42.2	15.7	8.4	7.2	
0～3点	2	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	
4～6点	31	19.4	35.5	41.9	38.7	25.8	6.5	12.9	
7～10点	42	23.8	21.4	64.3	47.6	11.9	9.5	4.8	
区分		困ったときに気軽に介護相談が できる場所を増やすこと	家族介護の負担を軽減する保健 福祉サービスを充実すること	介護保険を効率的に運用する しくみづくりを行うこと	地域包括支援センターの機能を 充実すること	介護保険サービス利用の制限を カバーする保健福祉サービスを 充実すること	その他	わからない	無回答
全 体	20.5	19.3	2.4	7.2	4.8	2.4	6.0	8.4	
0～3点	—	—	—	50.0	—	—	—	—	
4～6点	25.8	22.6	—	6.5	6.5	—	12.9	—	
7～10点	16.7	16.7	4.8	4.8	2.4	4.8	2.4	11.9	

5. 高齢者の権利について

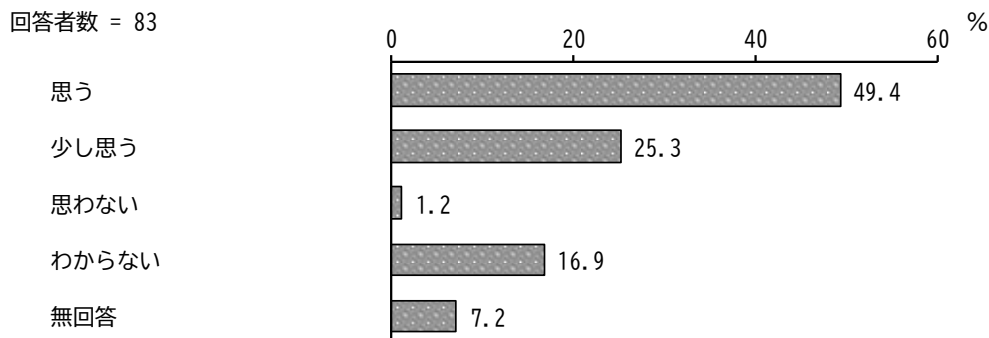
問 20 施設ではプライバシーへの配慮がなされていると思いますか。(1つに○)

「配慮されている」の割合が49.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が20.5%、「少し配慮されている」の割合が18.1%となっています。



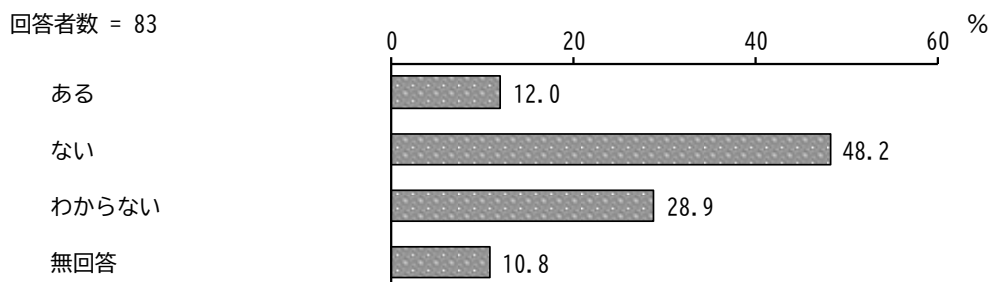
問 21 施設ではご本人の気持ちや希望が尊重されていると思いますか。(1つに○)

「思う」の割合が49.4%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が25.3%、「わからない」の割合が16.9%となっています。



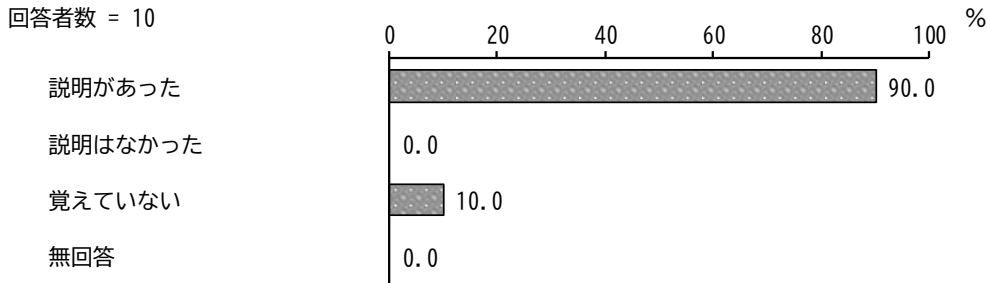
問 22 施設では、ベッドに柵をつける、車いすにベルトで固定するなど、ご本人のからだの動作の制限をすることがありますか。(1つに○)

「ない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が28.9%、「ある」の割合が12.0%となっています。



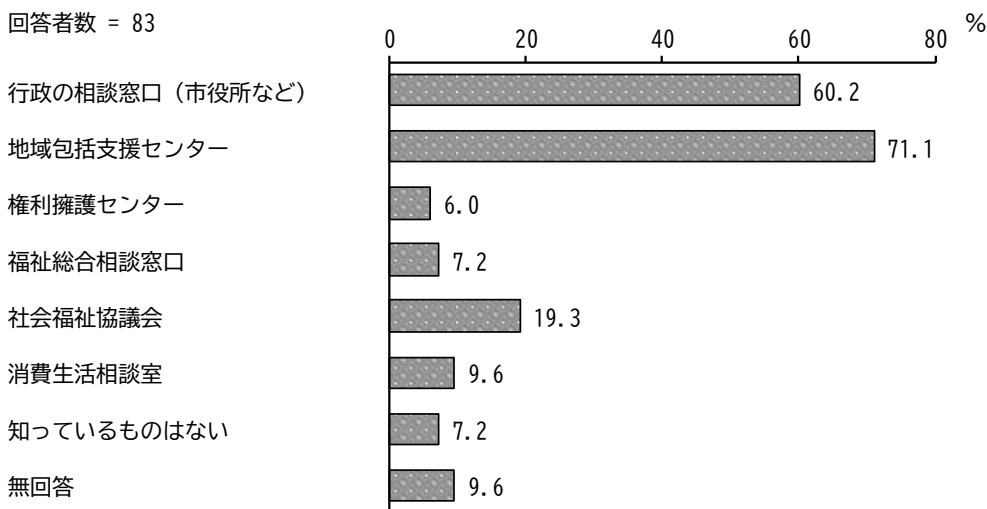
問 22-1 問 22 で「ある」と答えた方におたずねします。
 からだの動作の制限をすることについて、説明がありましたか。(1つに○)

「説明があった」の割合が 90.0%と最も高く、次いで「覚えていない」の割合が 10.0%となっています。



問 23 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも○)

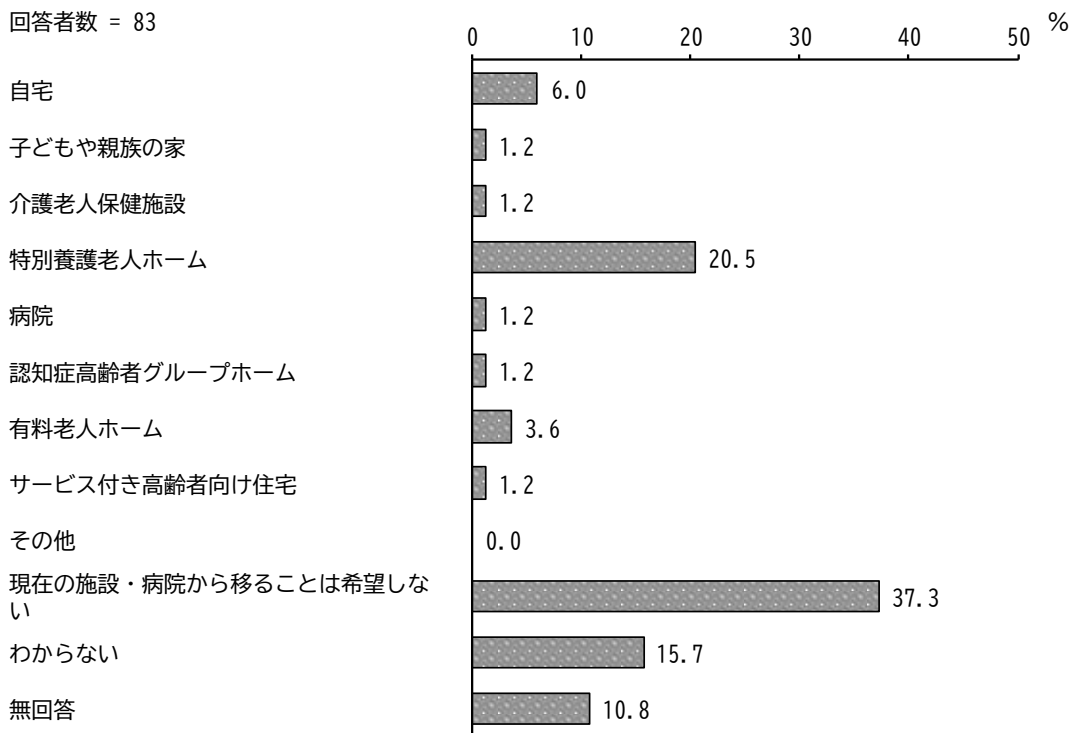
「地域包括支援センター」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「行政の相談窓口(市役所など)」の割合が 60.2%、「社会福祉協議会」の割合が 19.3%となっています。



6. その他・市への要望について

問 24 この施設・病院などを退所される場合に、次に移る所はどちらを希望しますか。
(1つに○)

「現在の施設・病院から移ることは希望しない」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」の割合が 20.5%、「わからない」の割合が 15.7%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、大きな差はみられません。

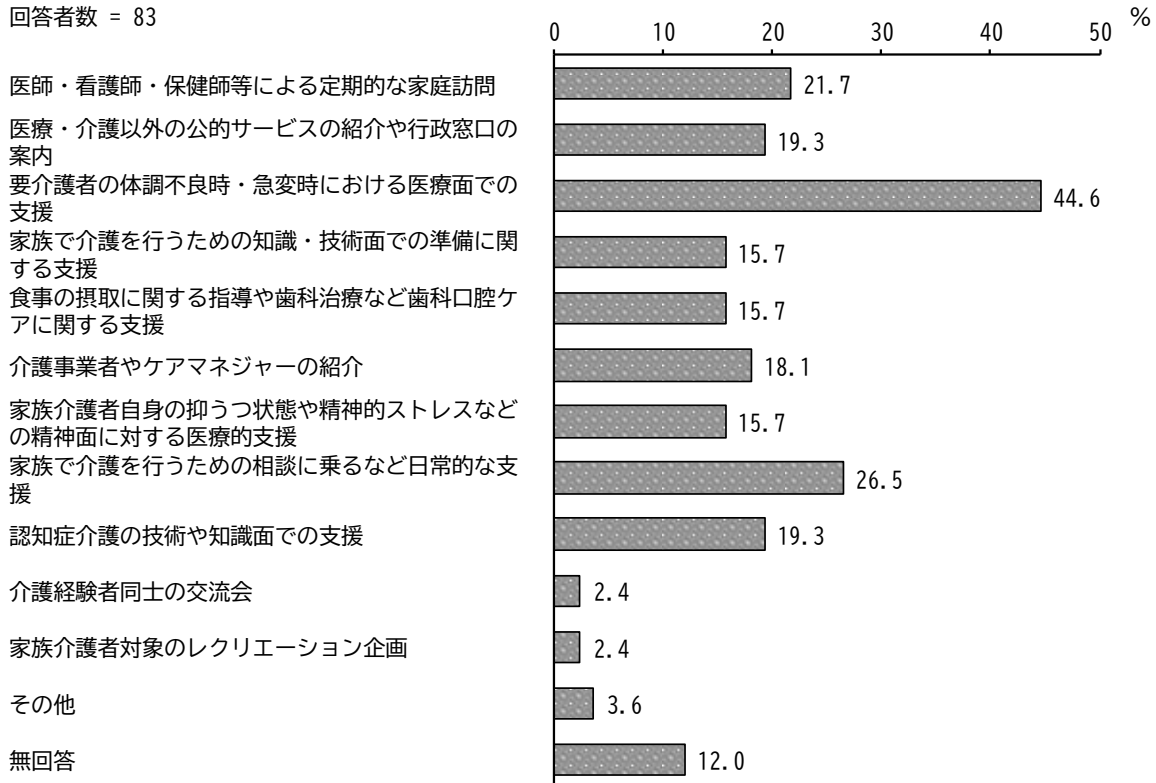
単位：%

区分	回答者数 (件)	自宅	子どもや親族の家	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	病院	認知症高齢者グループホーム	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	現在の施設・病院から移ることは希望しない	わからない	無回答
全体	83	6.0	1.2	1.2	20.5	1.2	1.2	3.6	1.2	—	37.3	15.7	10.8
0～3点	2	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—
4～6点	31	9.7	3.2	—	19.4	—	3.2	6.5	—	—	38.7	19.4	—
7～10点	42	4.8	—	2.4	19.0	2.4	—	2.4	2.4	—	40.5	11.9	14.3

問 25 介護支援施策として必要なことは何だと思えますか。(3つまで○)

「要介護者の体調不良時・急変時における医療面での支援」の割合が44.6%と最も高く、次いで「家族で介護を行うための相談に乗るなど日常的な支援」の割合が26.5%、「医師・看護師・保健師等による定期的な家庭訪問」の割合が21.7%となっています。

回答者数 = 83



【幸福度別】

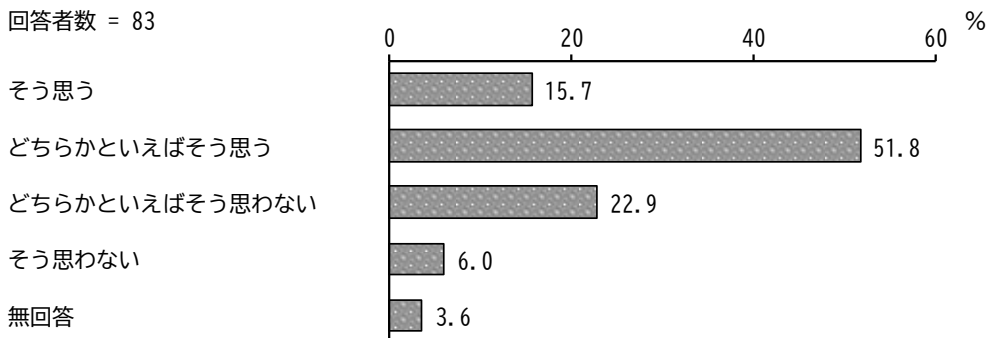
幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「家族介護者自身の抑うつ状態や精神的ストレスなどの精神面に対する医療的支援」「認知症介護の技術や知識面での支援」の割合が、7～10点で「家族で介護を行うための相談に乗るなど日常的な支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家庭訪問 医師・看護師・保健師等による定期的な	医療・介護以外の公的サービスの紹介や 行政窓口の案内	医療面での支援 要介護者の体調不良時・急変時における	家族で介護を行うための知識・技術面 での準備に関する支援	歯科口腔ケアに関する支援	介護事業者やケアマネジャーの紹介	家族介護者自身の抑うつ状態や精神的 ストレスなどの精神面に対する医療的支援	日常的な支援 家族で介護を行うための相談に乗るなど	認知症介護の技術や知識面での支援	介護経験者同士の交流会	家族介護者対象のレクリエーション企画	その他	無回答
全体	83	21.7	19.3	44.6	15.7	15.7	18.1	15.7	26.5	19.3	2.4	2.4	3.6	12.0
0～3点	2	50.0	50.0	50.0	—	—	100.0	—	50.0	—	—	—	—	—
4～6点	31	9.7	19.4	45.2	16.1	19.4	12.9	22.6	16.1	25.8	—	3.2	3.2	6.5
7～10点	42	23.8	19.0	47.6	14.3	16.7	21.4	11.9	33.3	19.0	4.8	2.4	2.4	14.3

問 26 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(1つに○)

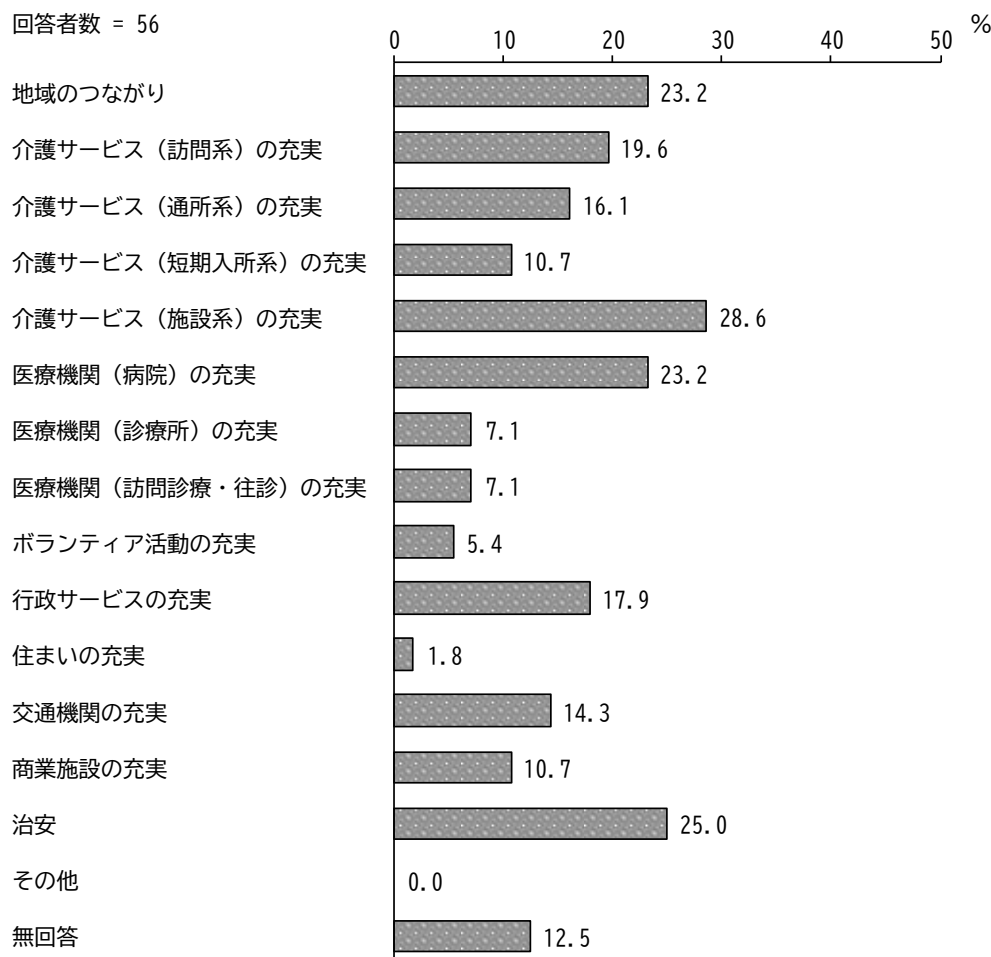
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が67.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が28.9%となっています。



問27 問26で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答された方はその理由を、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで○)

(1) “そう思う”理由

「介護サービス(施設系)の充実」の割合が28.6%と最も高く、次いで「治安」の割合が25.0%、「地域のつながり」「医療機関(病院)の充実」の割合が23.2%となっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、他に比べ、4～6点で「治安」「地域のつながり」の割合が、7～10点で「介護サービス（施設系）の充実」「医療機関（病院）の充実」の割合が高くなっています。

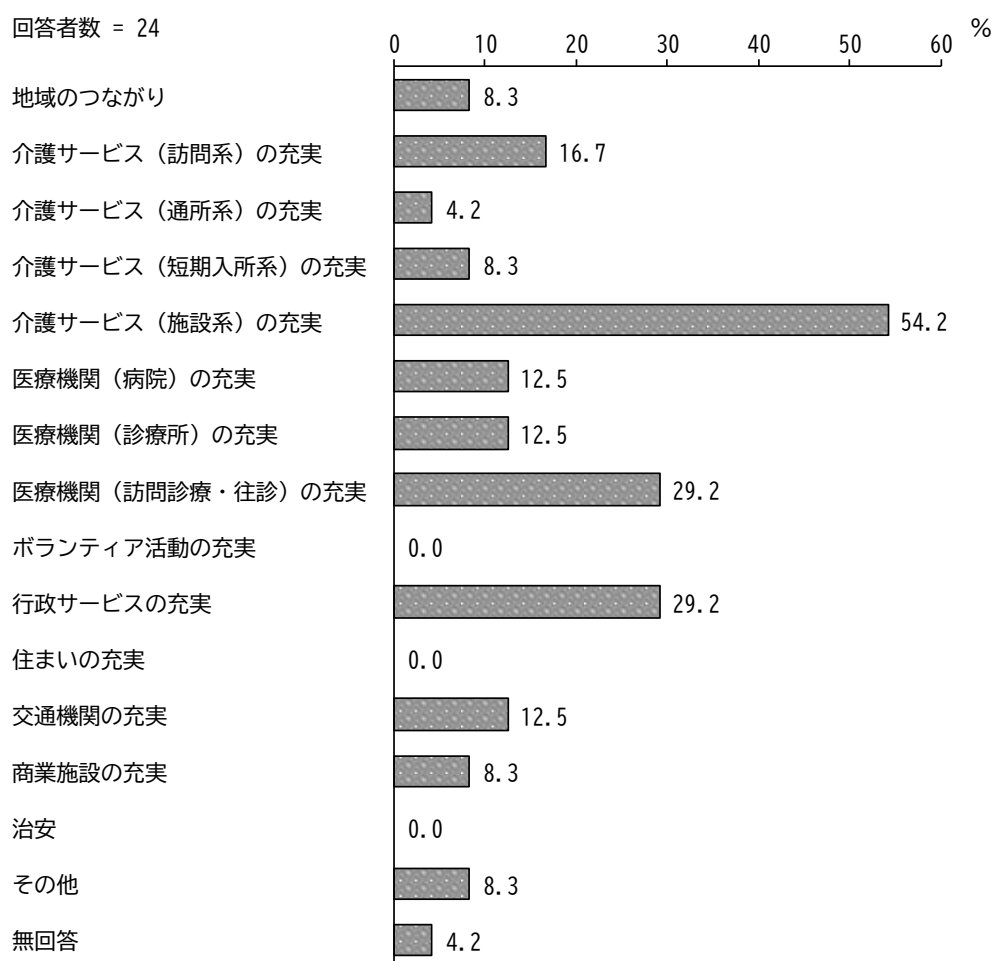
単位：％

区分	回答者数（件）	地域のつながり	介護サービス（訪問系）の充実	介護サービス（通所系）の充実	介護サービス（短期入所系）の充実	介護サービス（施設系）の充実	医療機関（病院）の充実	医療機関（診療所）の充実	医療機関（訪問診療・往診）の充実
全 体	56	23.2	19.6	16.1	10.7	28.6	23.2	7.1	7.1
0～3点	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
4～6点	18	33.3	22.2	11.1	5.6	16.7	11.1	11.1	-
7～10点	33	18.2	18.2	18.2	12.1	36.4	30.3	6.1	9.1

区分	ボランティア活動の充実	行政サービスの充実	住まいの充実	交通機関の充実	商業施設の充実	治安	その他	無回答
全 体	3.6	20.5	1.2	13.3	9.6	16.9	2.4	13.3
0～3点	-	-	-	-	-	-	-	-
4～6点	5.6	22.2	-	11.1	11.1	44.4	-	11.1
7～10点	6.1	18.2	3.0	12.1	9.1	15.2	-	15.2

(2) “そう思う” ようになる改善

「介護サービス（施設系）の充実」の割合が54.2%と最も高く、次いで「医療機関（訪問診療・往診）の充実」「行政サービスの充実」の割合が29.2%となっています。



【幸福度別】

幸福度別では、有効回答が少ないため、参考とします。

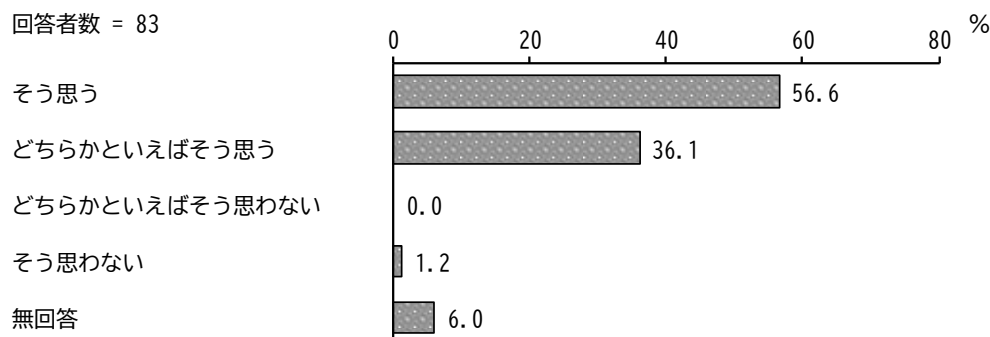
単位：％

区分	回答者数(件)	地域のつながり	介護サービスの充実 (訪問系)	介護サービスの充実 (通所系)	介護サービス(短期 入所系)の充実	介護サービスの充実 (施設系)	医療機関(病院)の充実	医療機関(診療所)の充実	医療機関(訪問診療・往診) の充実
全 体	24	8.3	16.7	4.2	8.3	54.2	12.5	12.5	29.2
0～3点	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
4～6点	13	7.7	7.7	-	15.4	38.5	15.4	23.1	30.8
7～10点	8	12.5	25.0	12.5	-	75.0	12.5	-	25.0

区分	ボランティア活動の充実	行政サービスの充実	住まいの充実	交通機関の充実	商業施設の充実	治安	その他	無回答
全 体	29.2	-	12.5	8.3	-	8.3	4.2	29.2
0～3点	-	-	-	-	-	-	-	-
4～6点	23.1	-	23.1	15.4	-	15.4	7.7	23.1
7～10点	37.5	-	-	-	-	-	-	37.5

問 28 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が92.7%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が1.2%となっています。



問 29 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 交通や、商業施設が便利になり、他地区からの転入が増えているので、高齢者の方への市の広報活動を充実させていってください。民生委員の方が定期的に自宅訪問したり直接情報を伝えたり、相談にのることで、地域のつながりと安心感をもてます。
- ・ 認知症に対応できる老健やその他の施設を増やしてほしい
- ・ 高齢者の運動機能を維持する為の施設及び仕組みの充実。
- ・ 広報を充実させてほしい。良い施策があっても知らないと利用できない。
- ・ 特養の利用料が数年の間はかなり高くなりました。物価も上がっていますので仕方のない事とは思いますが、年金も下がる一方ですので困っています。
- ・ 市内に特別養護老人ホームを増やしてください。

(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

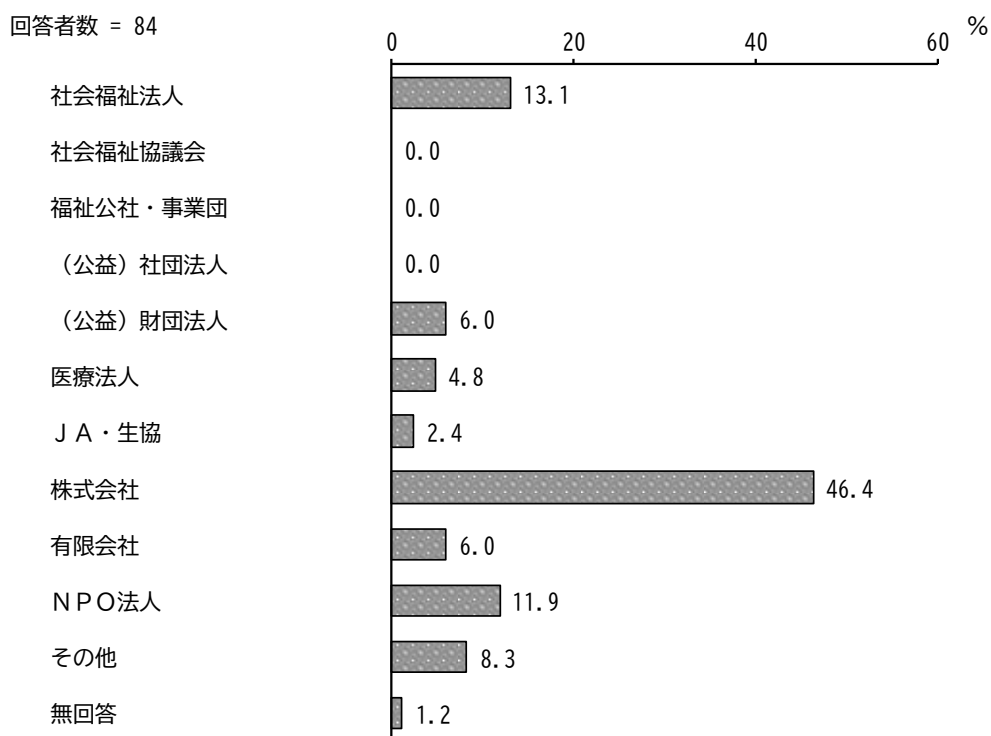
IV-5 介護保険サービス提供事業者調査

1. 回答者属性

問1 活動状況について教えてください。

組織形態（1つに○）

「株式会社」の割合が46.4%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が13.1%、「NPO法人」の割合が11.9%となっています。



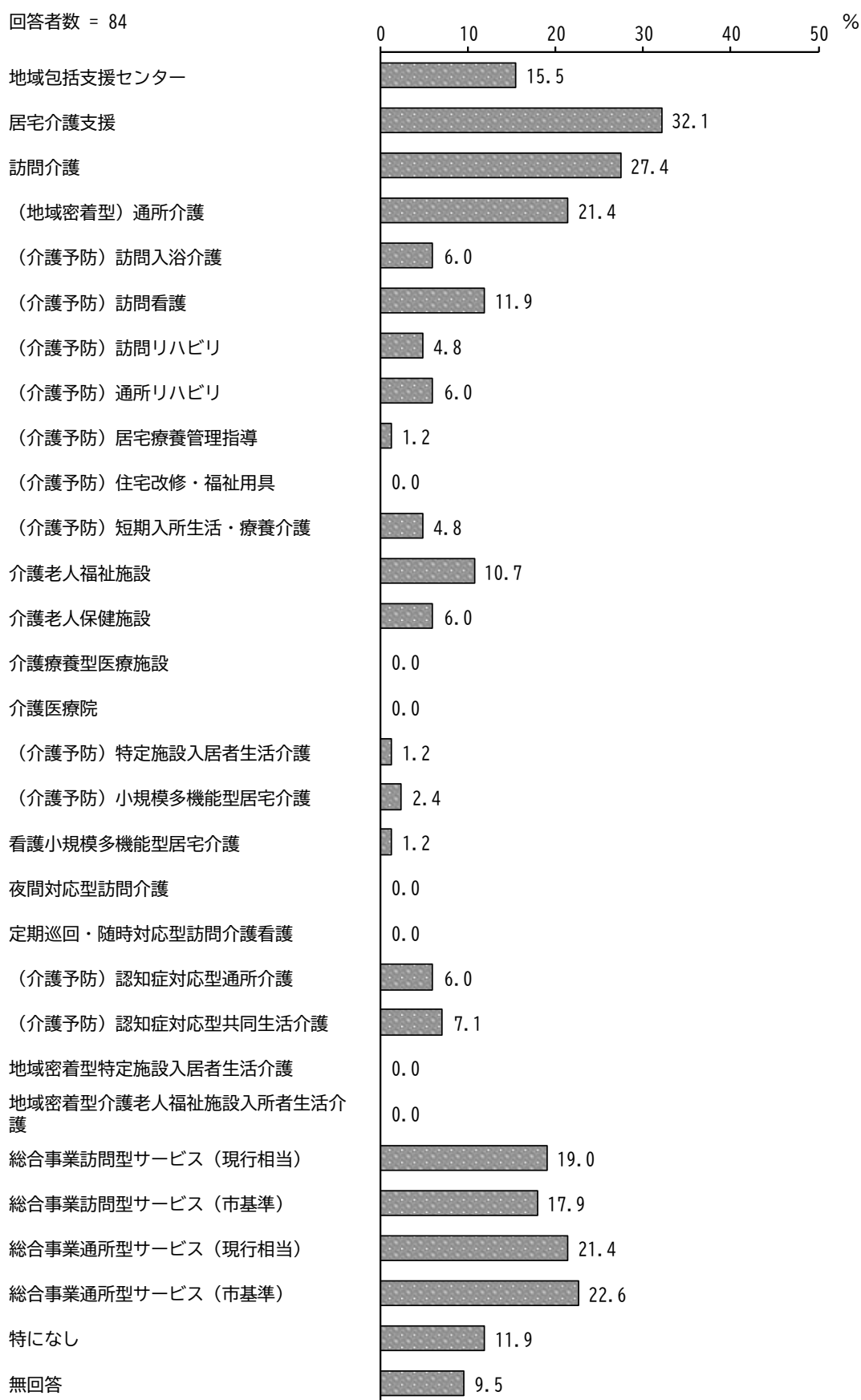
貴事業所の種類（1つに○）

「居宅介護支援」の割合が27.4%と最も高く、次いで「(地域密着型)通所介護」の割合が19.0%、「(介護予防)訪問看護」の割合が13.1%となっています。



併設する事業所の種類（いくつでも○）

「居宅介護支援」の割合が32.1%と最も高く、次いで「訪問介護」の割合が27.4%、「総合事業通所型サービス（市基準）」の割合が22.6%となっています。

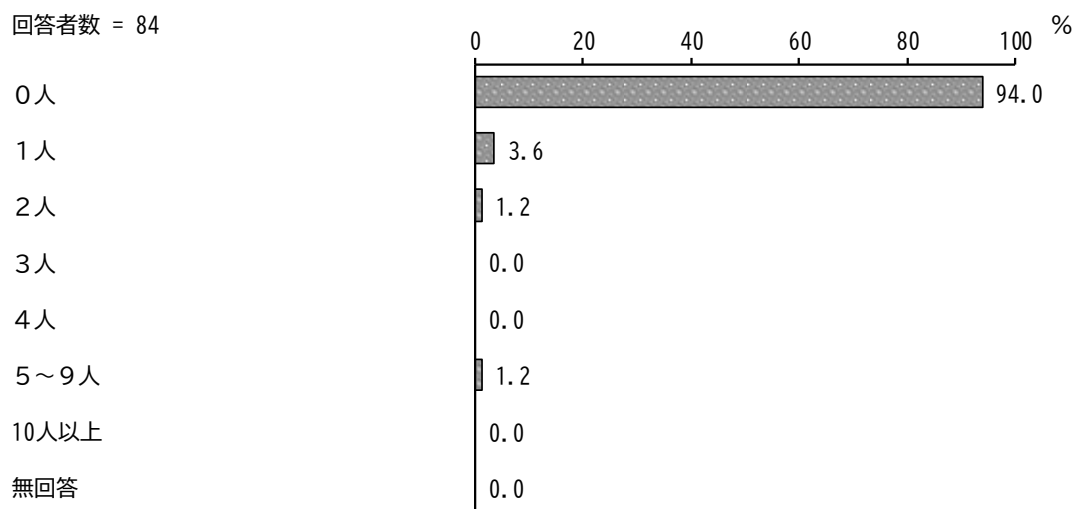


【年齢階級別職員数の状況】

(1) 医師

ア 常勤

「0人」の割合が94.0%と最も高くなっています。

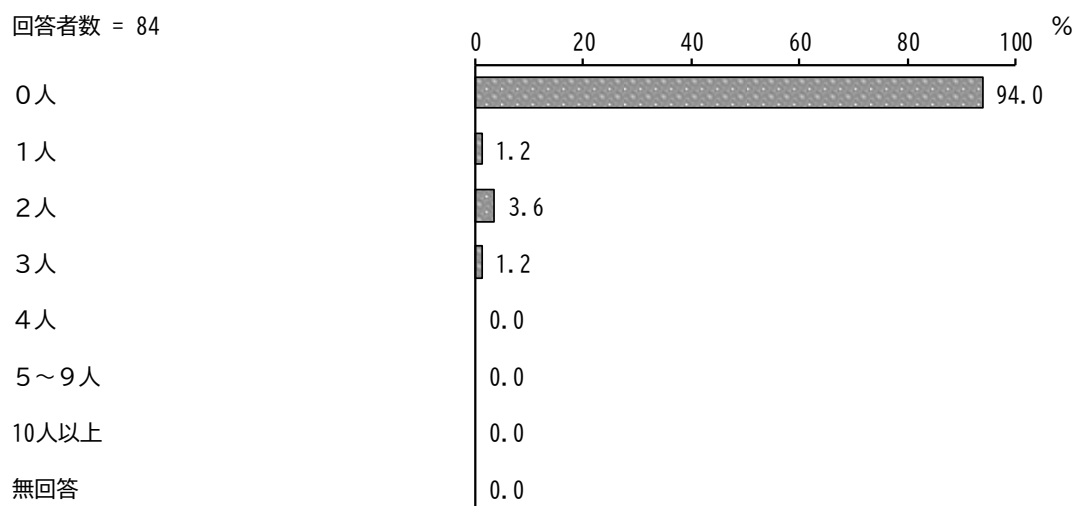


【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	0人	2人	3人	2人	0人	4人

イ 非常勤

「0人」の割合が94.0%と最も高くなっています。



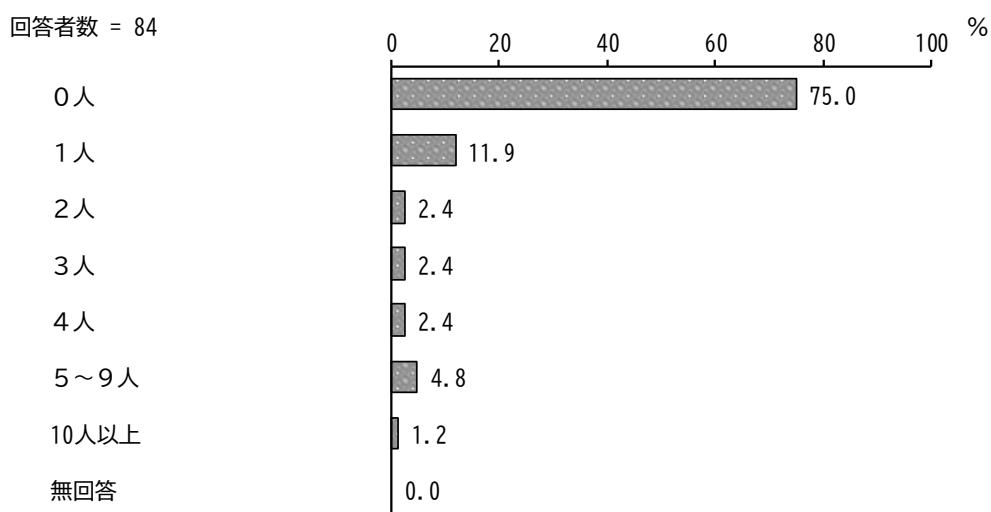
【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	0人	1人	4人	1人	1人	3人

(2) 看護師・保健師

ア 常勤

「0人」の割合が75.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が11.9%となっています。

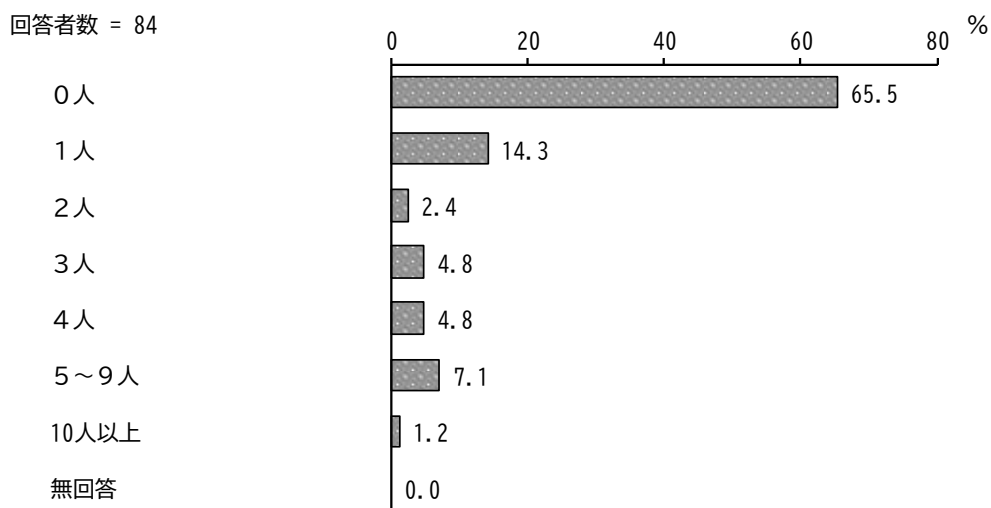


【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	8人	34人	19人	18人	9人	0人

イ 非常勤

「0人」の割合が65.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が14.3%となっています。



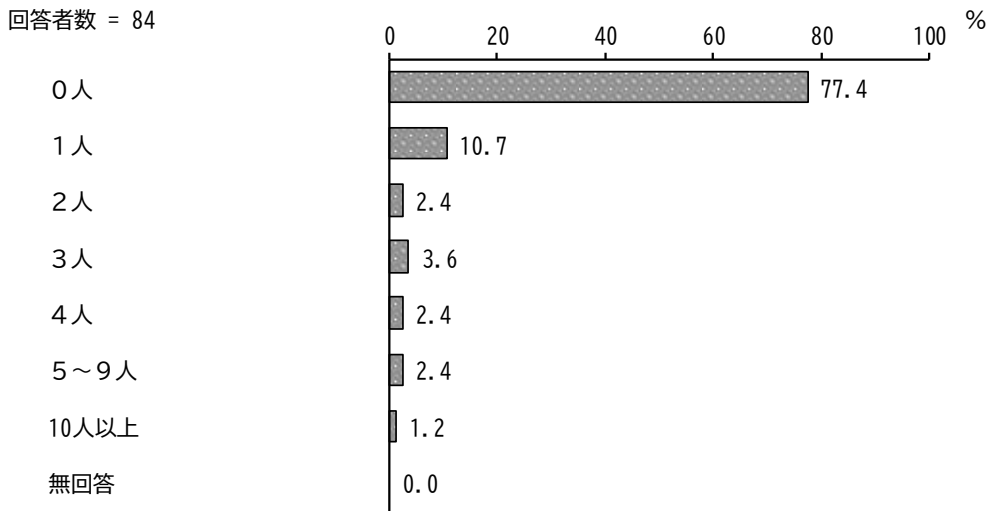
【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	7人	15人	28人	20人	10人	10人

(3) その他医療系専門職（薬剤師・栄養士・PT/OT/ST等）

ア 常勤

「0人」の割合が77.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が10.7%となっています。

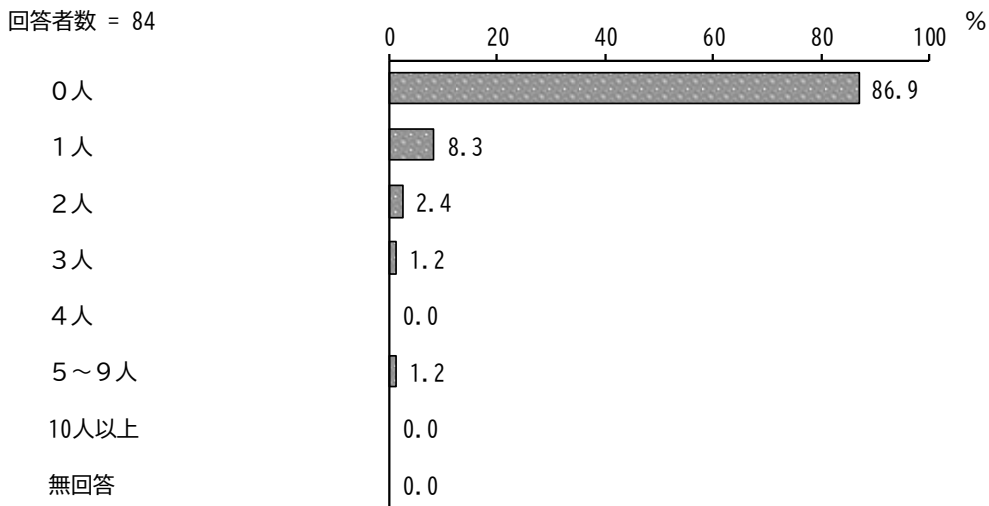


【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	24人	39人	13人	5人	2人	1人

イ 非常勤

「0人」の割合が86.9%と最も高くなっています。



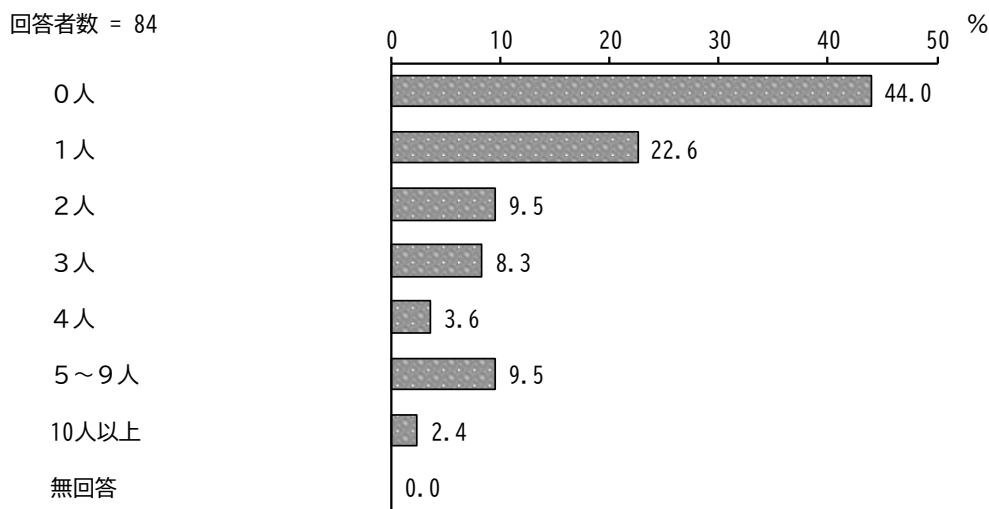
【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	1人	6人	6人	5人	2人	0人

(4) 介護福祉士

ア 常勤

「0人」の割合が44.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が22.6%となっています。

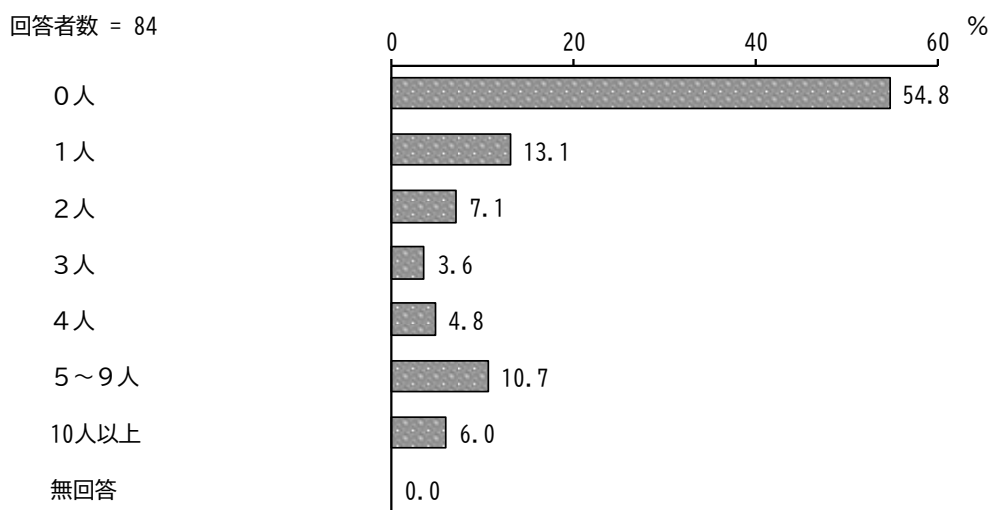


【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	9人	30人	37人	49人	25人	9人

イ 非常勤

「0人」の割合が54.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が13.1%、「5～9人」の割合が10.7%となっています。



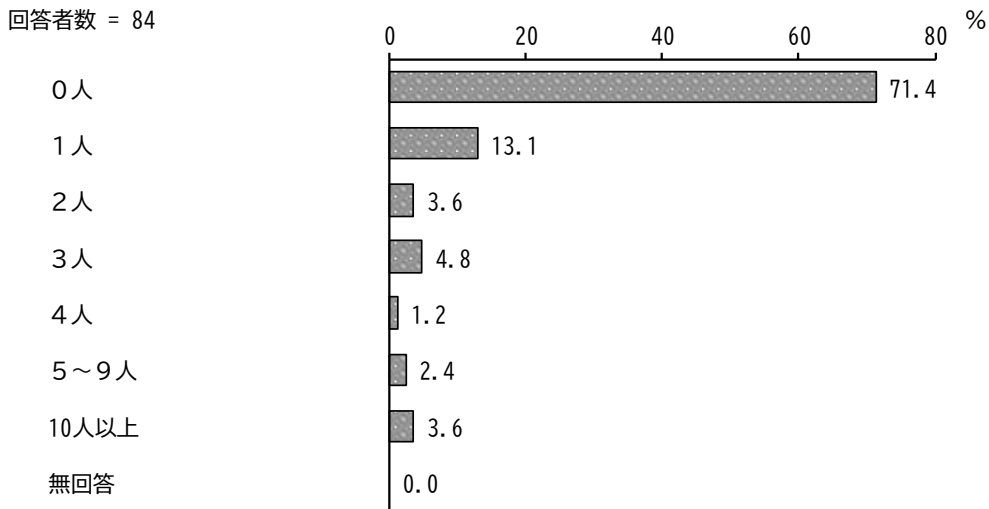
【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	0人	10人	35人	38人	35人	65人

(5) その他介護職員

ア 常勤

「0人」の割合が71.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が13.1%となっています。

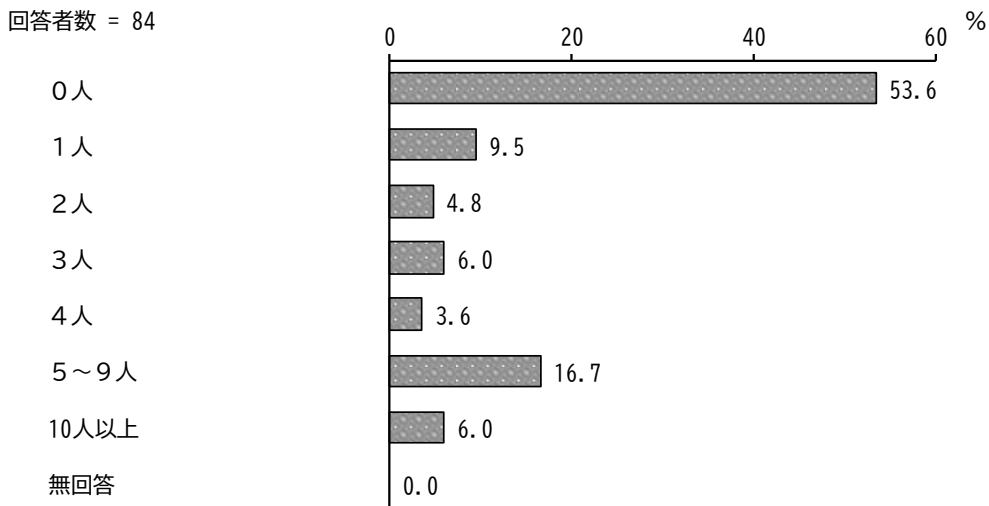


【年齢別人数】

19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
0人	15人	15人	18人	27人	5人	2人

イ 非常勤

「0人」の割合が53.6%と最も高く、次いで「5~9人」の割合が16.7%となっています。



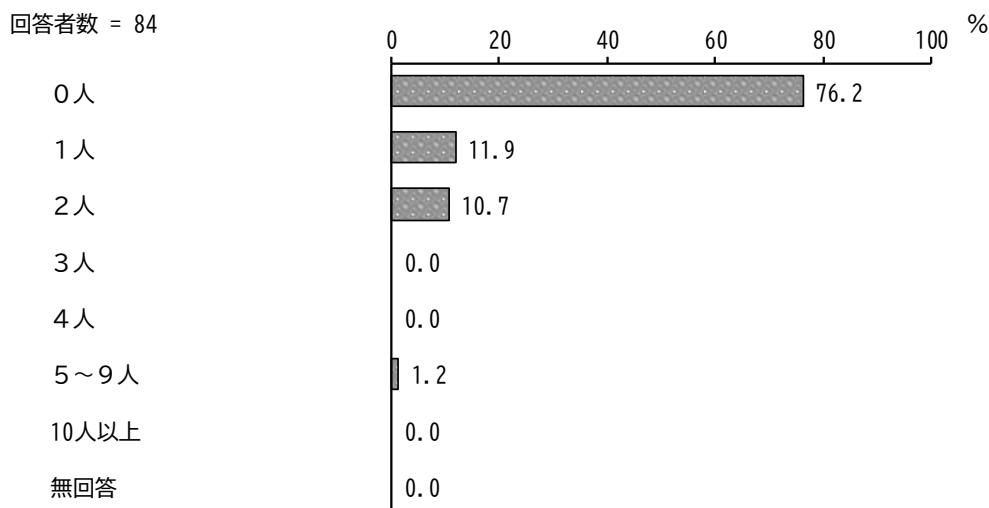
【年齢別人数】

19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
2人	10人	8人	38人	48人	35人	88人

(6) その他事務職員

ア 常勤

「0人」の割合が76.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が11.9%、「2人」の割合が10.7%となっています。

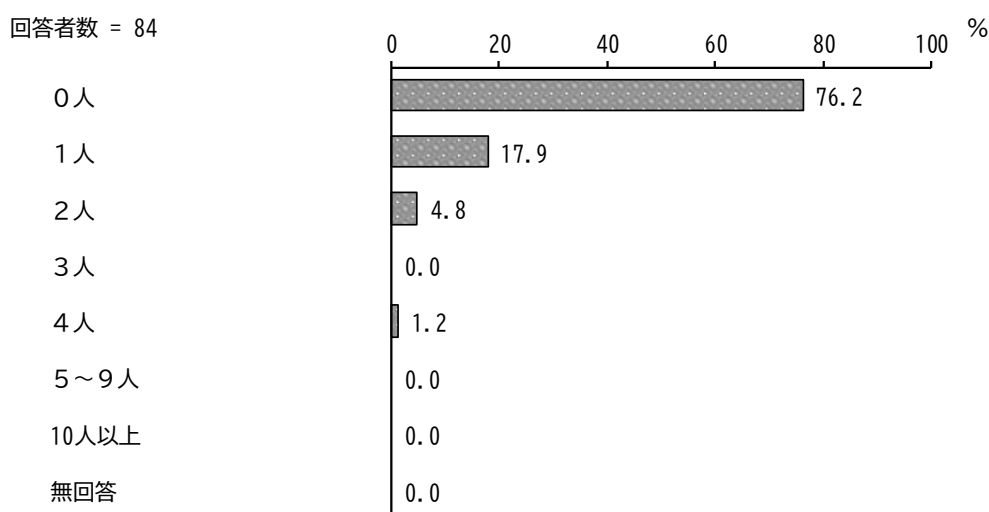


【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	1人	12人	6人	9人	5人	2人

イ 非常勤

「0人」の割合が76.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が17.9%となっています。



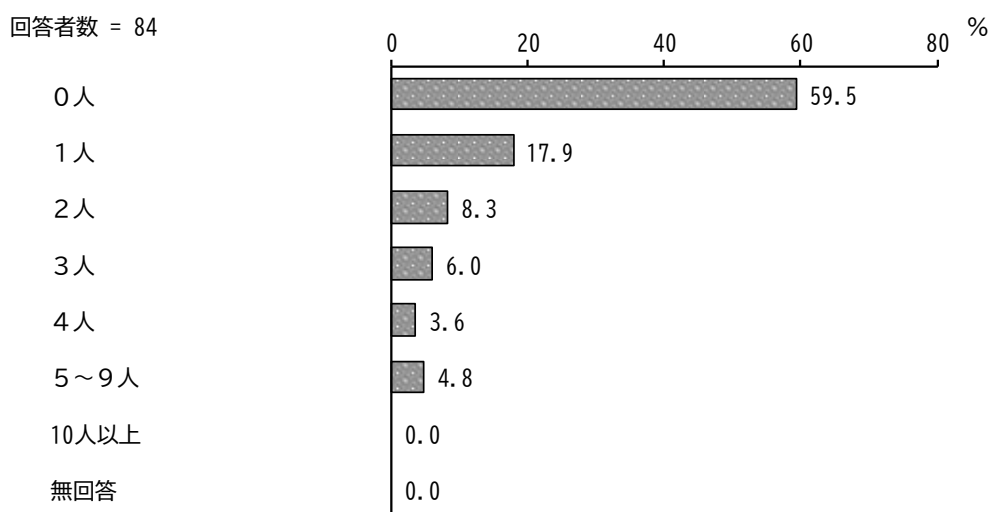
【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	3人	2人	1人	12人	7人	2人

(7) 介護支援専門員

ア 常勤

「0人」の割合が59.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が17.9%となっています。

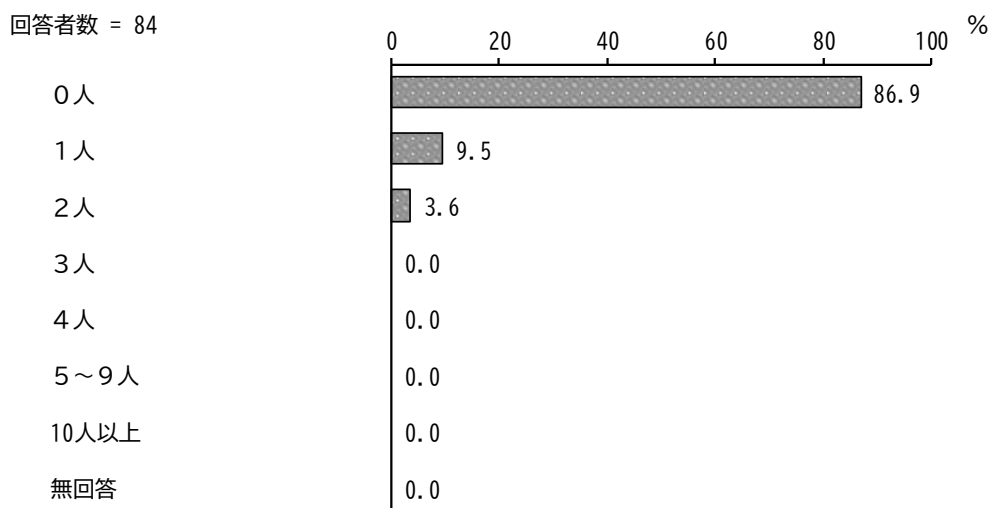


【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	0人	4人	24人	32人	10人	8人

イ 非常勤

「0人」の割合が86.9%と最も高くなっています。



【年齢別人数】

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
0人	0人	0人	3人	3人	3人	5人

【職員の資格取得の状況】

職員の資格取得状況は、常勤では、「介護福祉士」が197人と最も多く、次いで「保健師・看護師」が62人、「理学療法士」が57人となっています。

非常勤では、「介護福祉士」が175人と最も多く、次いで「ホームヘルパー2級（介護職員初任者研修修了）」が144人、「保健師・看護師」が72人となっています。

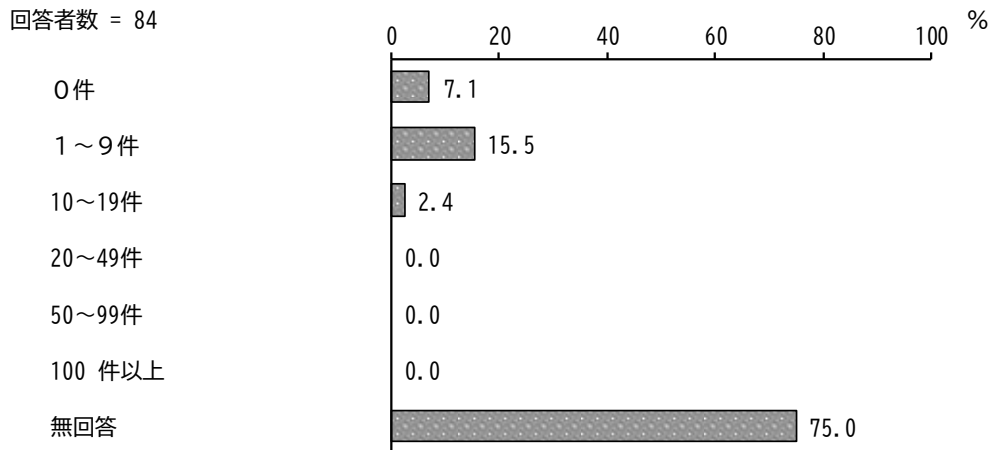
	常 勤	非常勤
社会福祉士	42人	10人
介護福祉士	197人	175人
医 師	4人	7人
保健師・看護師	62人	72人
管理栄養士・栄養士	12人	1人
薬剤師	0人	1人
理学療法士	57人	4人
作業療法士	27人	7人
言語聴覚士	6人	2人
歯科衛生士	0人	0人
あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	5人	3人
ホームヘルパー		
1級	7人	16人
2級（介護職員初任者研修修了）	40人	144人
3級	0人	3人

2. 居宅介護支援事業者について

問2 令和4年10月に小金井市の要支援・要介護認定者、総合事業対象者（チェックリスト該当者）に対し作成したケアプランの給付管理件数は何件でしたか。

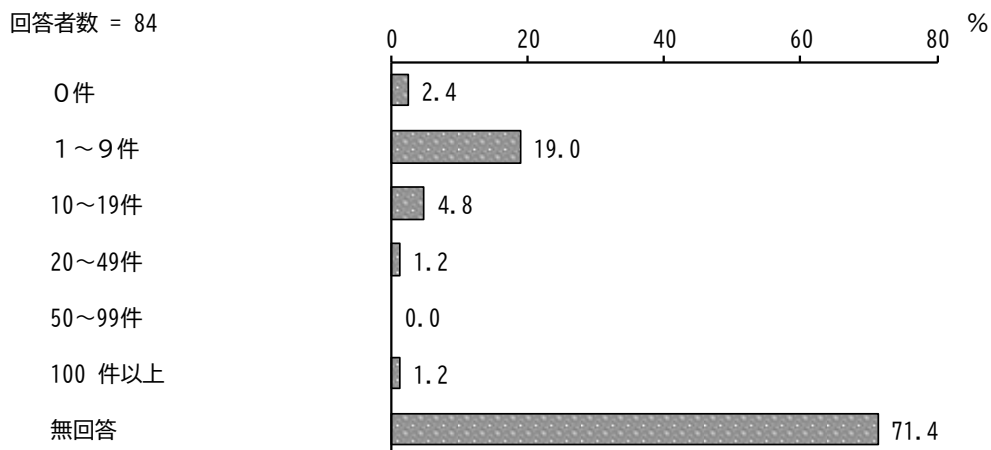
(1) 総合事業対象者（チェックリスト該当者）

「1～9件」の割合が15.5%と最も高くなっています。



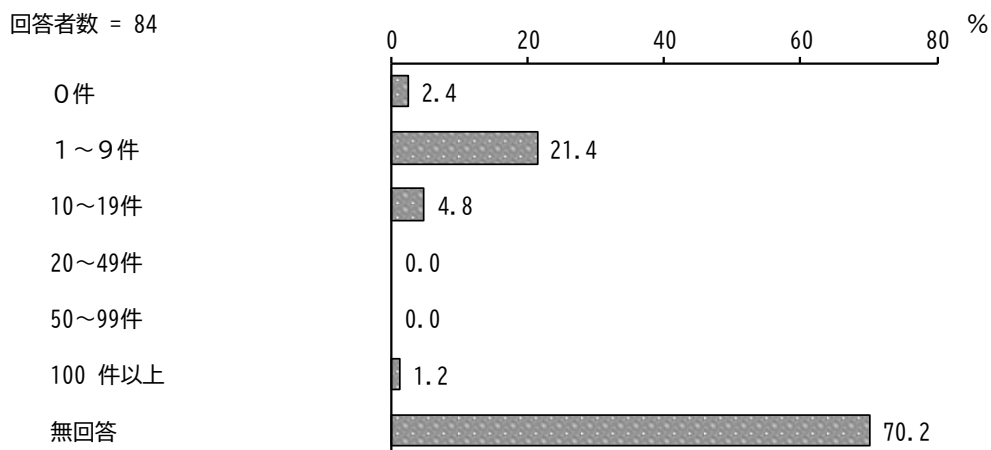
(2) 要支援1

「1～9件」の割合が19.0%と最も高くなっています。



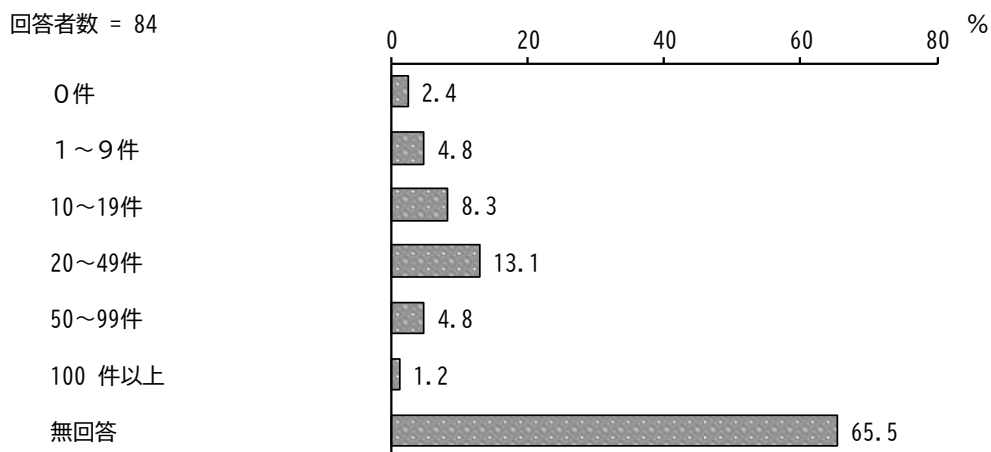
(3) 要支援2

「1～9件」の割合が21.4%と最も高くなっています。



(4) 要介護1

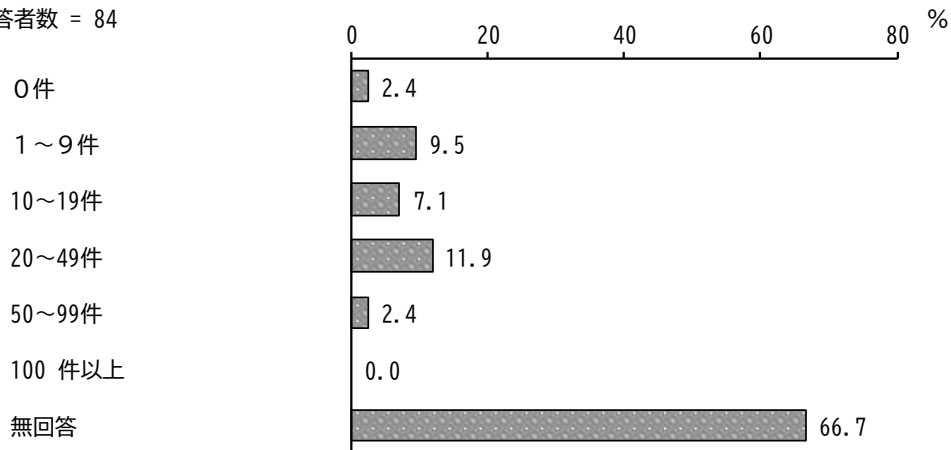
「20～49件」の割合が13.1%と最も高くなっています。



(5) 要介護2

「20～49件」の割合が11.9%と最も高くなっています。

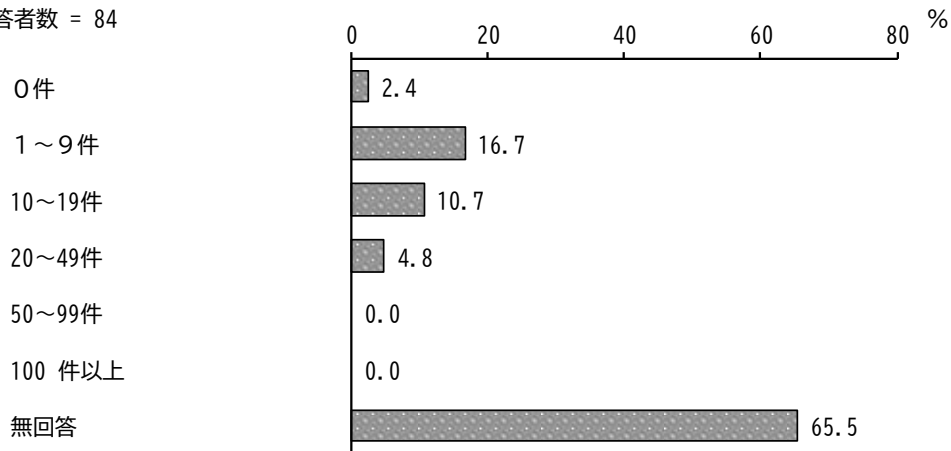
回答者数 = 84



(6) 要介護3

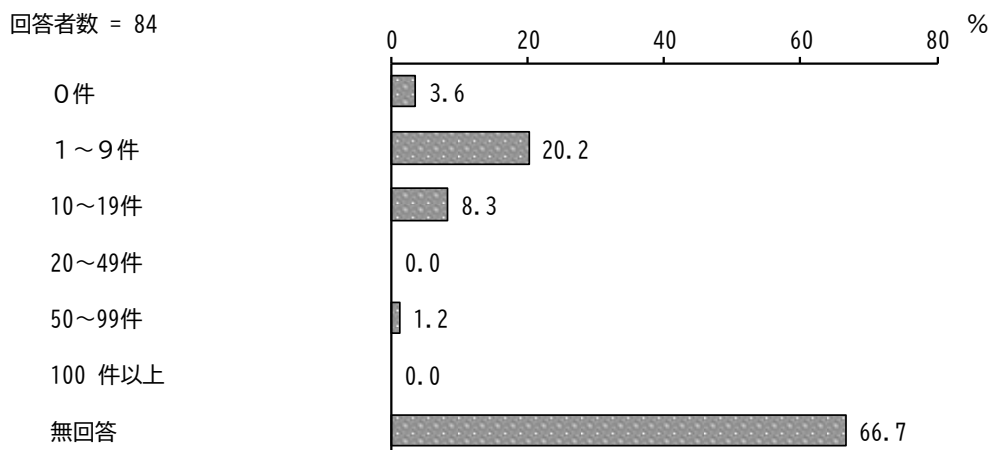
「1～9件」の割合が16.7%と最も高く、次いで「10～19件」の割合が10.7%となっています。

回答者数 = 84



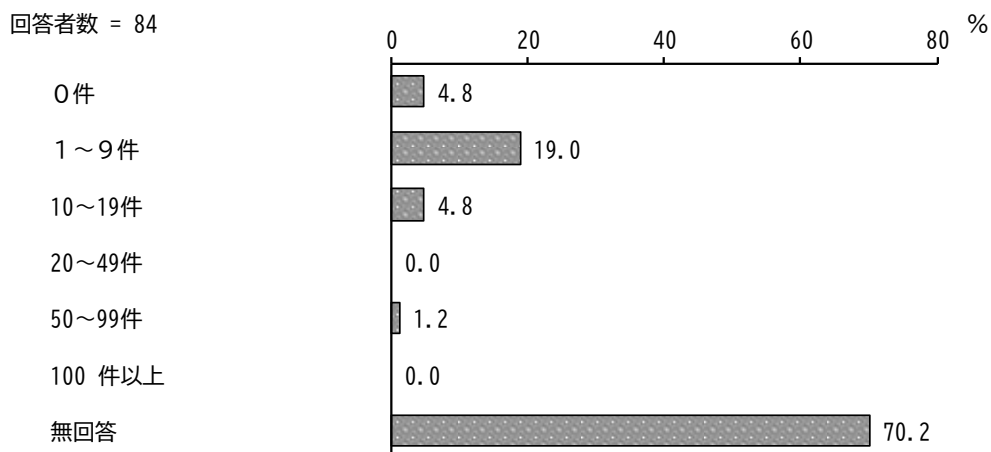
(7) 要介護4

「1～9件」の割合が20.2%と最も高くなっています。



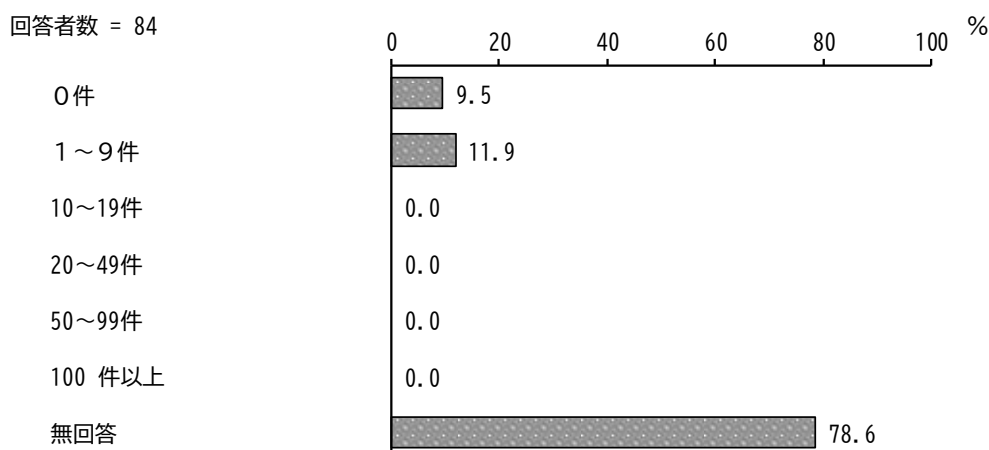
(8) 要介護5

「1～9件」の割合が19.0%と最も高くなっています。



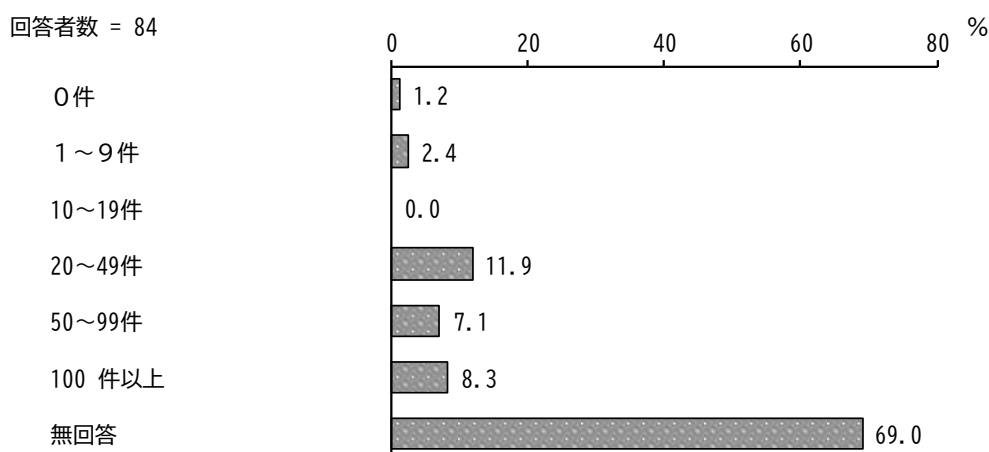
(9) 申請中・暫定プラン

「1～9件」の割合が11.9%と最も高くなっています。



(10) 総件数

「20～49件」の割合が11.9%と最も高くなっています。

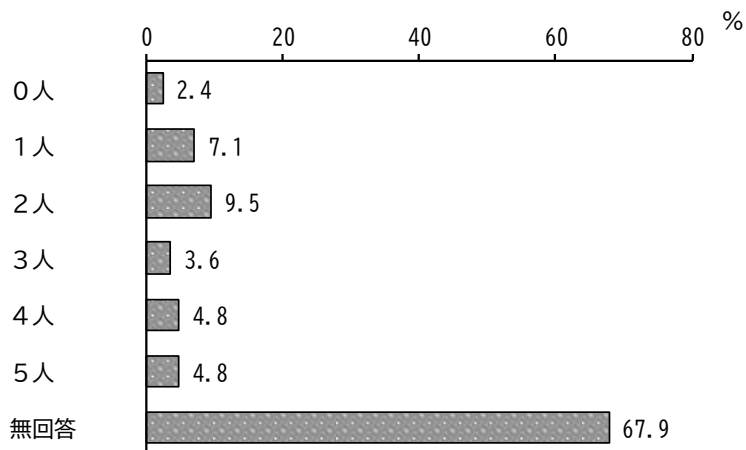


問3 貴事業所の中で、小金井市を中心に活動しているケアマネジャーは何人いますか。そのうち主任ケアマネジャーは何人いますか。(数字を記入)

(1) ケアマネジャー

「2人」の割合が9.5%と最も高くなっています。

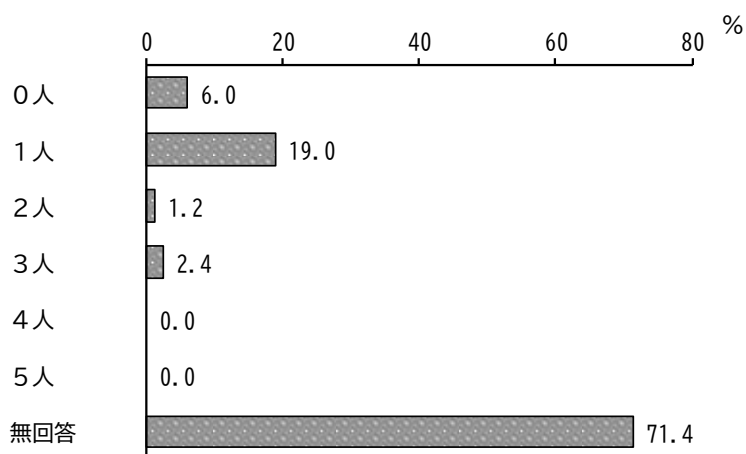
回答者数 = 84



(2) 主任ケアマネジャー

「1人」の割合が19.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 84

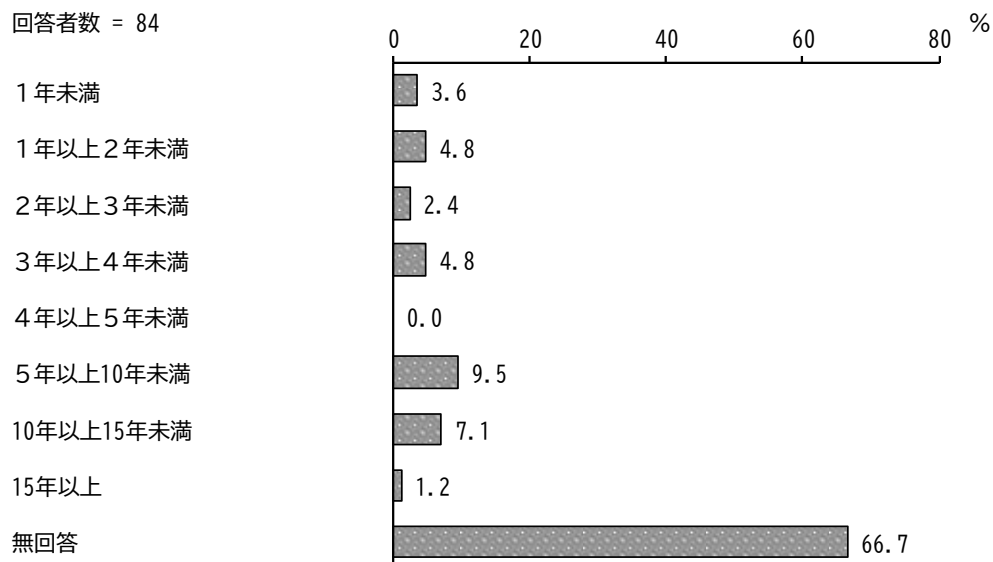


問4 ケアマネジャーの在職年数及び昨年1年間の離職者（退職者・転職者）数と離職率、その理由を記入してください。

(1) 貴事業所の平均在職年数

「5年以上10年未満」の割合が9.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 84

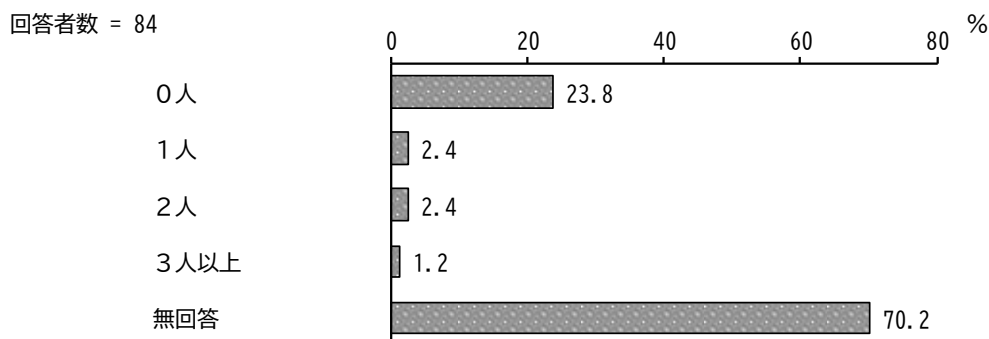


(2) 昨年1年間の離職者数及び離職率

<全体>

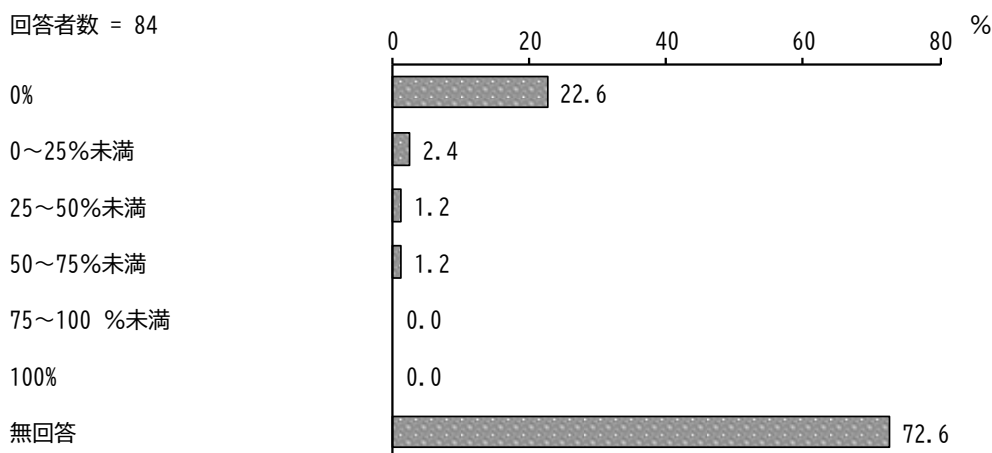
ア 全体の離職者数

「0人」の割合が23.8%と最も高くなっています。



イ 全体の離職率

「0%」の割合が22.6%と最も高くなっています。

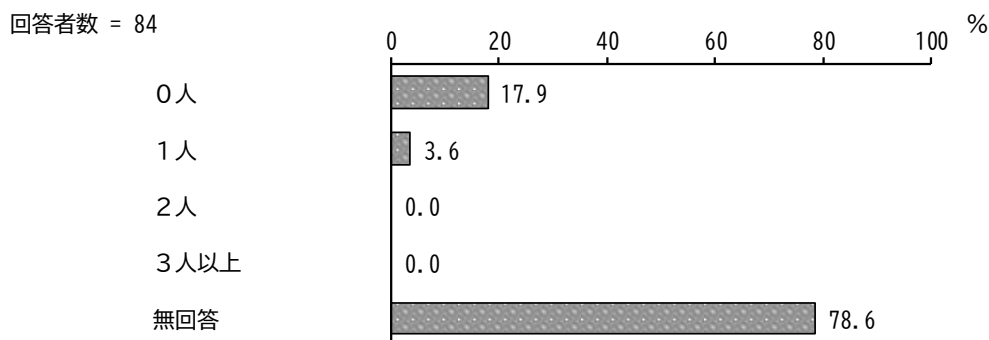


<内訳>

①退職者数

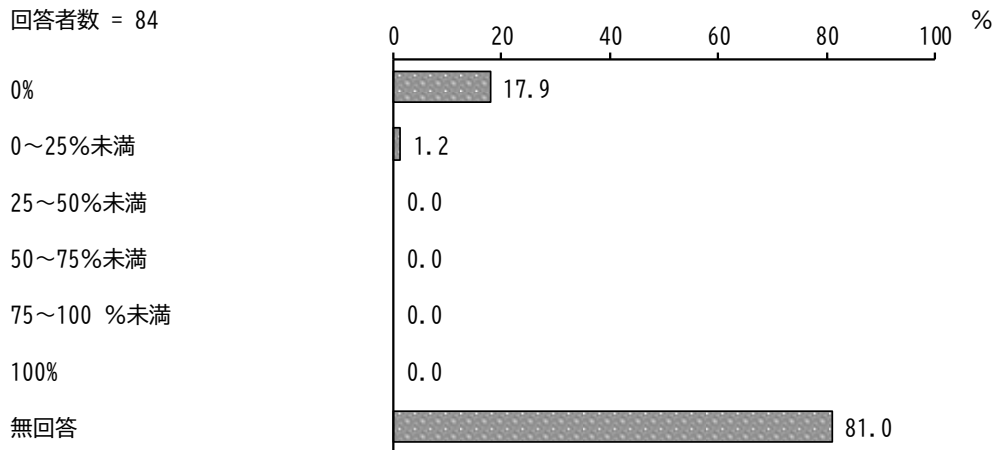
ア 昨年1年間の離職者数

「0人」の割合が17.9%と最も高くなっています。



イ 昨年1年間の離職率

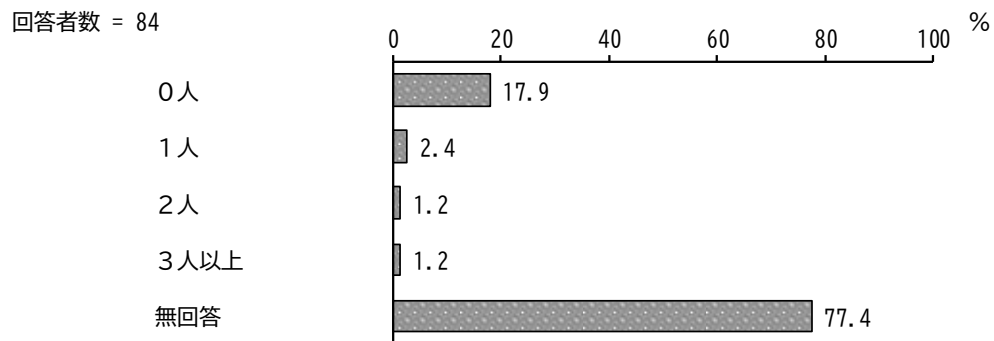
「0%」の割合が17.9%と最も高くなっています。



② 転職者数

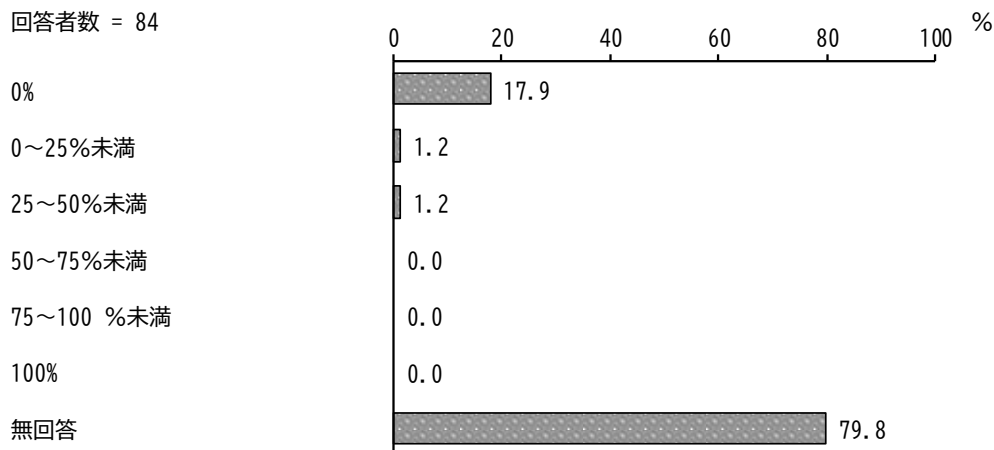
ア 昨年1年間の離職者数

「0人」の割合が17.9%と最も高くなっています。



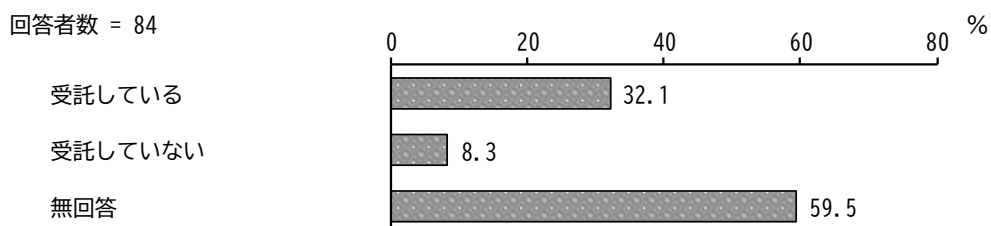
イ 昨年1年間の離職率

「0%」の割合が17.9%と最も高くなっています。



問5 介護予防ケアプランを受託していますか。(1つに○)

「受託している」の割合が32.1%、「受託していない」の割合が8.3%となっています。



問5-1 問5で「受託していない」と答えた方におたずねします。
受託していない理由は何ですか。(いくつでも○)

「事業所において、介護予防ケアプランの作成業務を行っていないため」が3件、「介護予防ケアプラン作成まで手が回らないため」、「運営上の問題で受託していない」が2件となっています。

3. 施設系サービス事業者について

問6 昨年1年間の、貴事業所を退所した人（死亡も含む）の人数をご記入ください。

「1～4人」が4事業所、「5～9人」が3事業所、「10～19人」「20～29人」「30～39人」は1事業所、「100人以上」が2事業所となっており、合計の退所人数は351人となっています。

	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～39人	100人以上
事業所数	4事業所	3事業所	1事業所	1事業所	1事業所	2事業所

問6-1 退所理由別の人数をご記入ください。

「その他」が105人と最も多く、次いで「死亡」が77人、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が62人となっています。

	人数
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	34人
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	30人
3) 認知症の症状が悪化したから	36人
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	62人
5) 1)～4) 以外の状態像が悪化したから	9人
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	1人
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	13人
8) 費用負担が重くなったから	1人
9) 死亡	77人
10) その他	105人

問6-2 退所先別の人数をご記入ください。(死亡を除く)

市内の「自宅」が53人と最も多く、次いで市内の「療養型・介護医療院を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）」が17人、「特別養護老人ホーム」が17人となっています。

	人数	
	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	53人	18人
2) 住宅型有料老人ホーム	2人	0人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	0人	0人
4) サービス付き高齢者向け住宅	0人	0人
5) グループホーム	0人	1人
6) 特定施設（介護付有料老人ホーム等）	0人	4人
7) 介護老人保健施設	13人	8人
8) 療養型・介護医療院	0人	1人
9) 8)を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	17人	7人
10) 特別養護老人ホーム	17人	11人
11) その他	12人	1人
12) 行先を把握していない		31人

問7 退所者が出た場合、すぐに次の入所者が見つかりますか。(1つに○)

「次の入所者がすぐに見つかる」、「次の入所者がなかなか見つからない場合がある(待機者の方に入所を断られる場合がある)」が1件となっています。

問7-1 問7で「次の入所者がなかなか見つからない場合がある(待機者の方に入所を断られる場合がある)」または「次の入所者を見つけるのに苦労している(待機者の方に頻繁に入所を断られる)」と回答した事業所にお聞きします。
入所を断られたときの主な理由は何ですか。(いくつでも○)

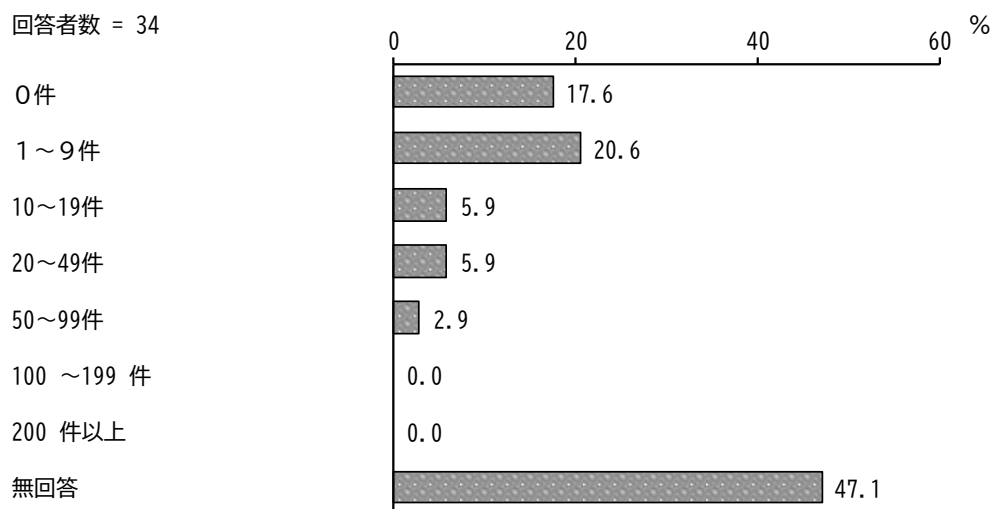
有効回答がありませんでした。

4. サービス提供事業者について

問8 令和4年10月の小金井市内の利用者の総人数は何人でしたか。問1の主な事業所の種類でお答えになった事業についてお答えください。

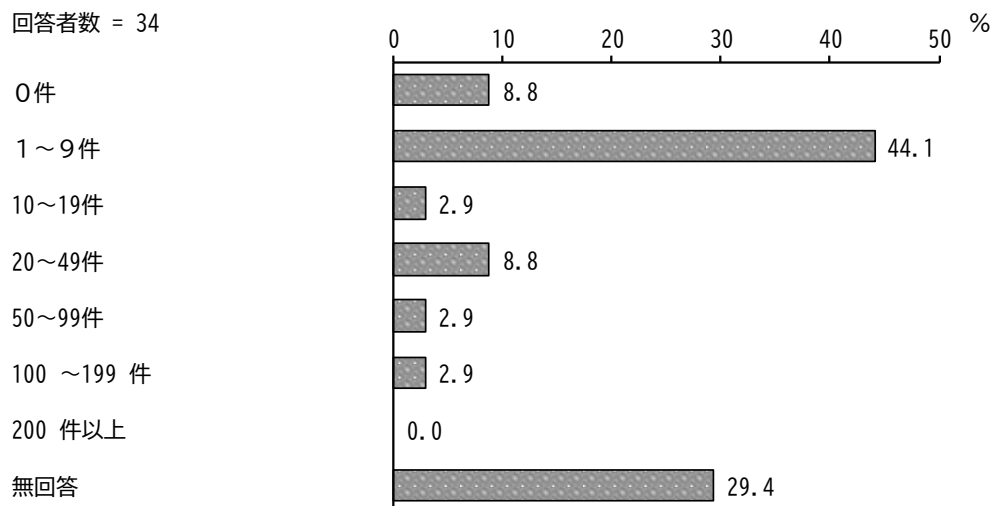
(1) 総合事業対象者（チェックリスト該当者）

「1～9件」の割合が20.6%と最も高く、次いで「0件」の割合が17.6%となっています。



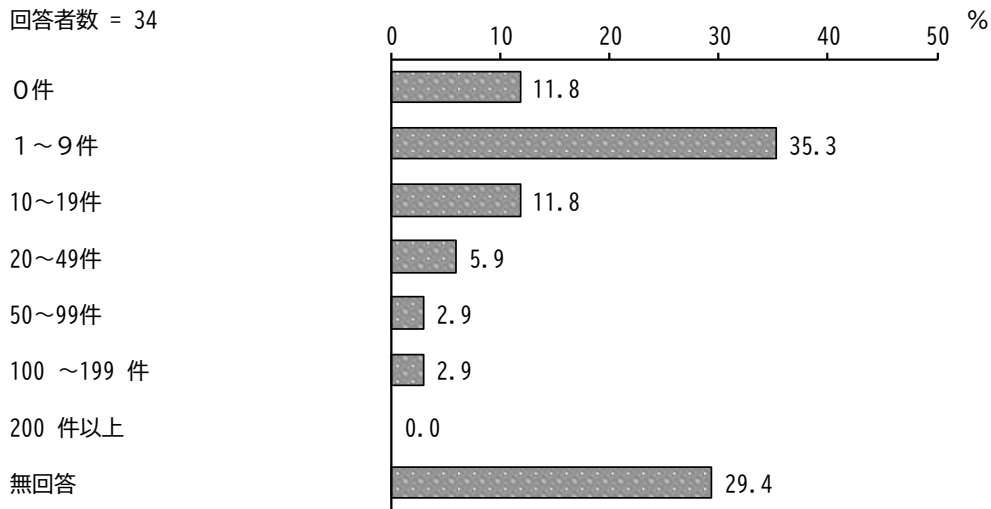
(2) 要支援1

「1～9件」の割合が44.1%と最も高くなっています。



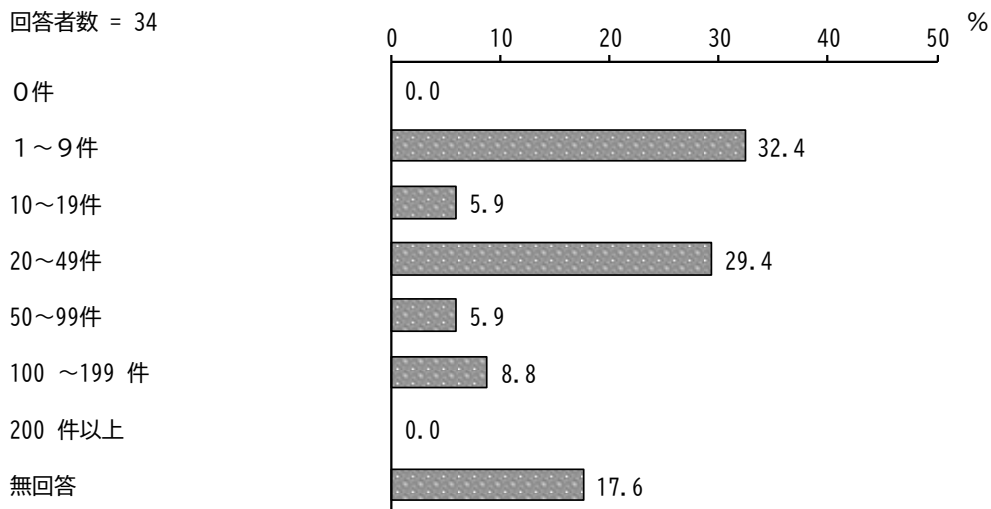
(3) 要支援2

「1～9件」の割合が35.3%と最も高く、次いで「0件」、「10～19件」の割合が11.8%となっています。



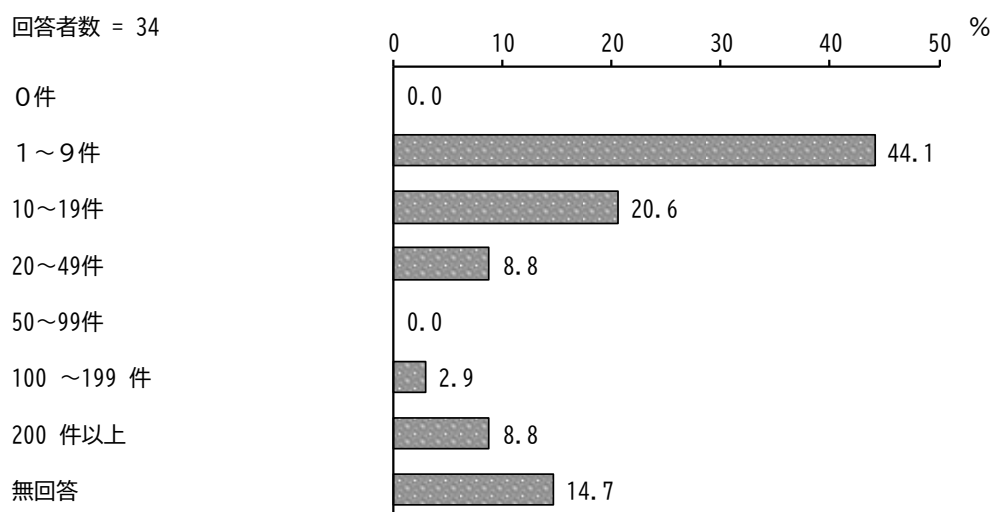
(4) 要介護1

「1～9件」の割合が32.4%と最も高く、次いで「20～49件」の割合が29.4%となっています。



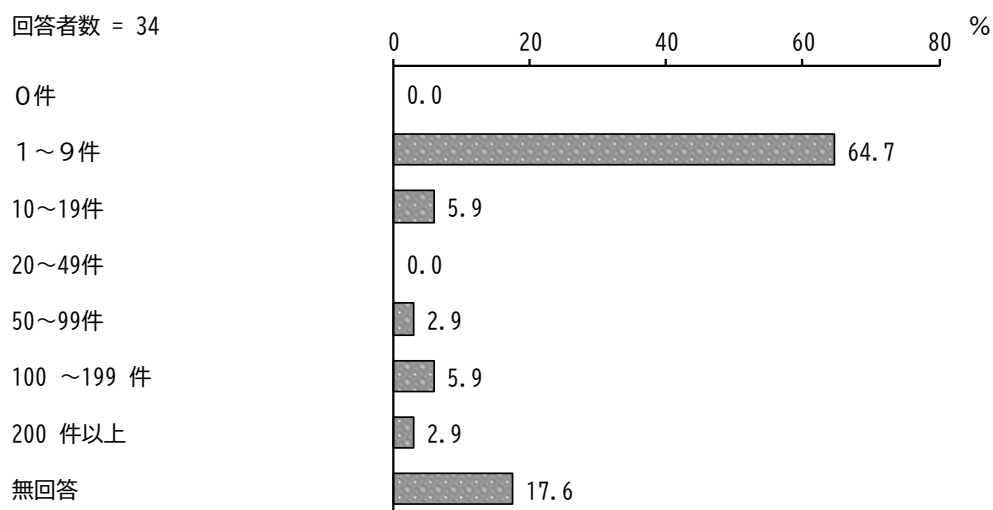
(5) 要介護2

「1～9件」の割合が44.1%と最も高く、次いで「10～19件」の割合が20.6%となっています。



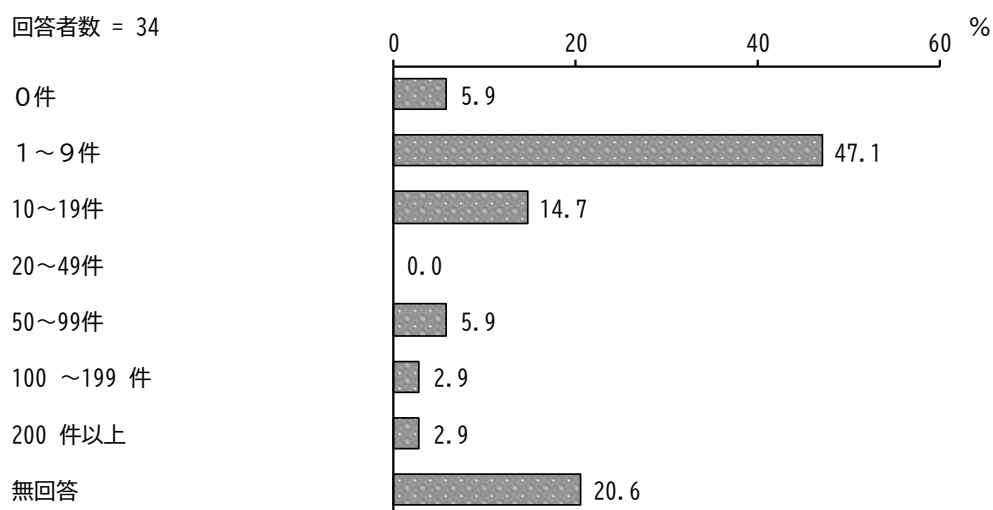
(6) 要介護3

「1～9件」の割合が64.7%と最も高くなっています。



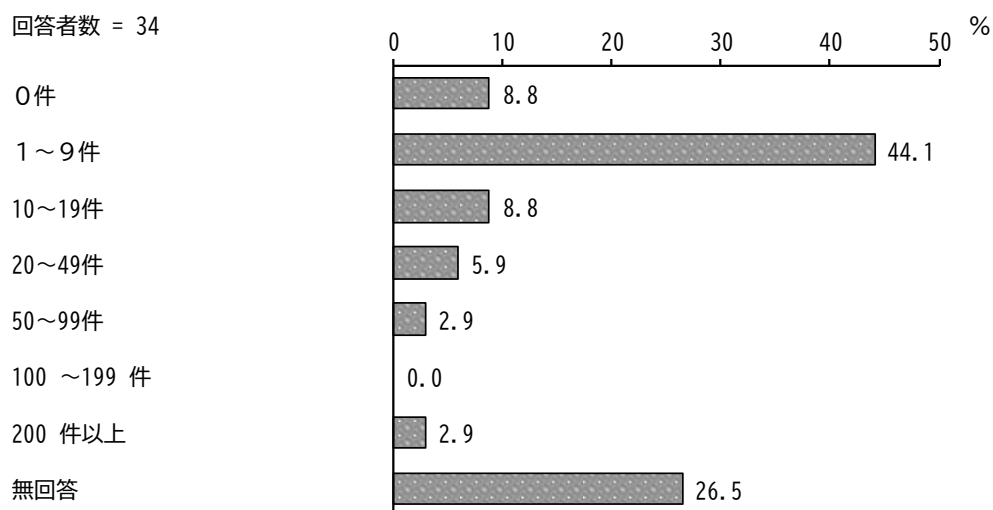
(7) 要介護4

「1～9件」の割合が47.1%と最も高く、次いで「10～19件」の割合が14.7%となっています。



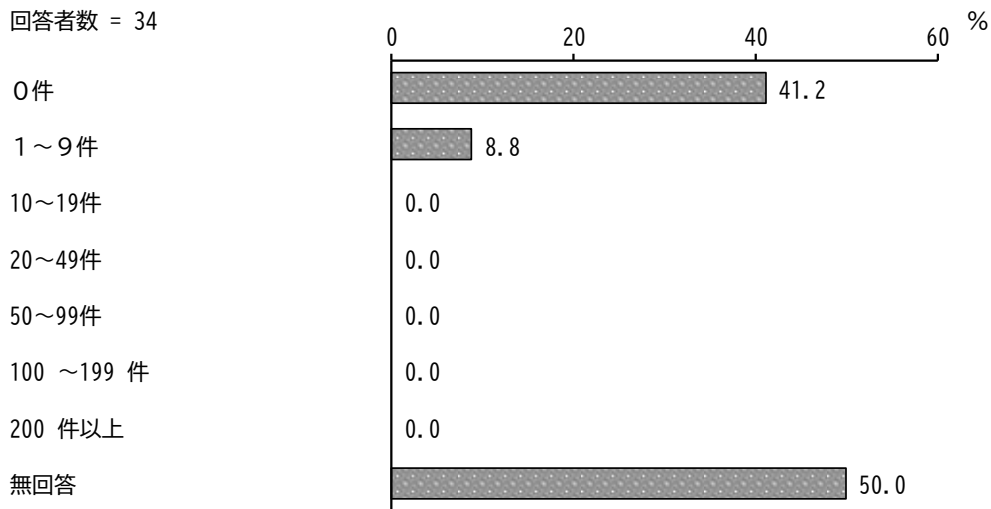
(8) 要介護5

「1～9件」の割合が44.1%と最も高くなっています。



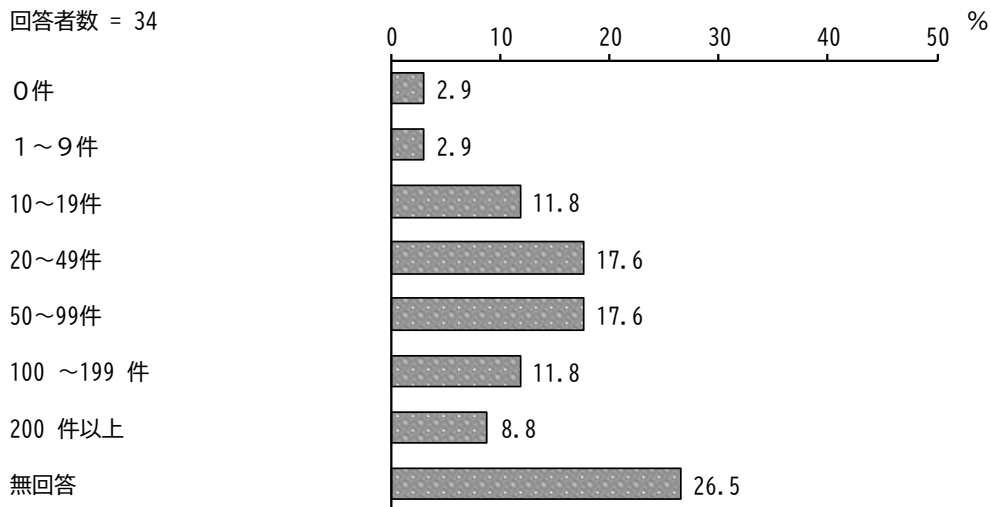
(9) 申請中・暫定プラン

「0件」の割合が41.2%と最も高くなっています。



(10) 総件数

「20~49件」、「50~99件」の割合が17.6%と最も高く、次いで「10~19件」、「100~199件」の割合が11.8%となっています。

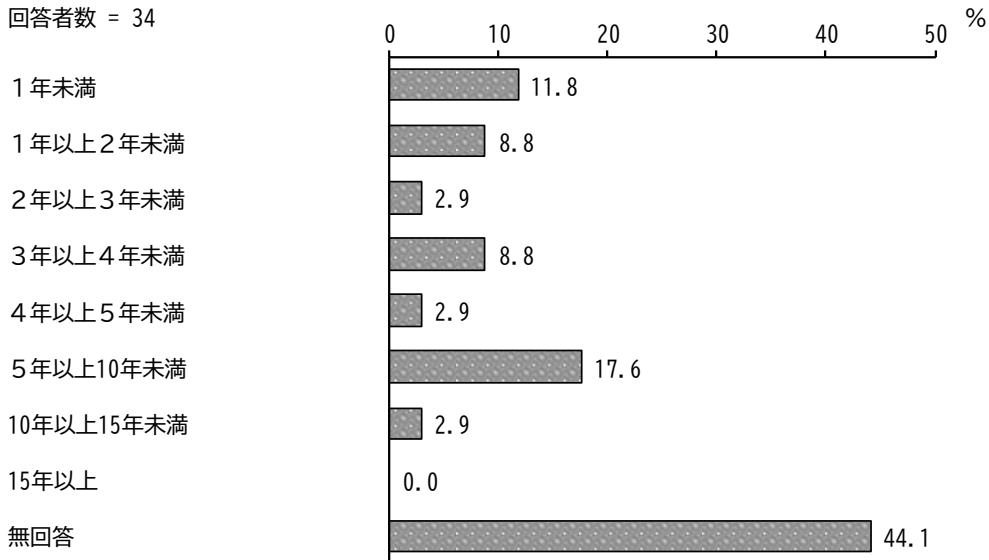


問9 昨年1年間の職員の離職状況（退職や転職）をお教えてください。

(1) 貴事業所の職員の平均在職年数は何年ですか。

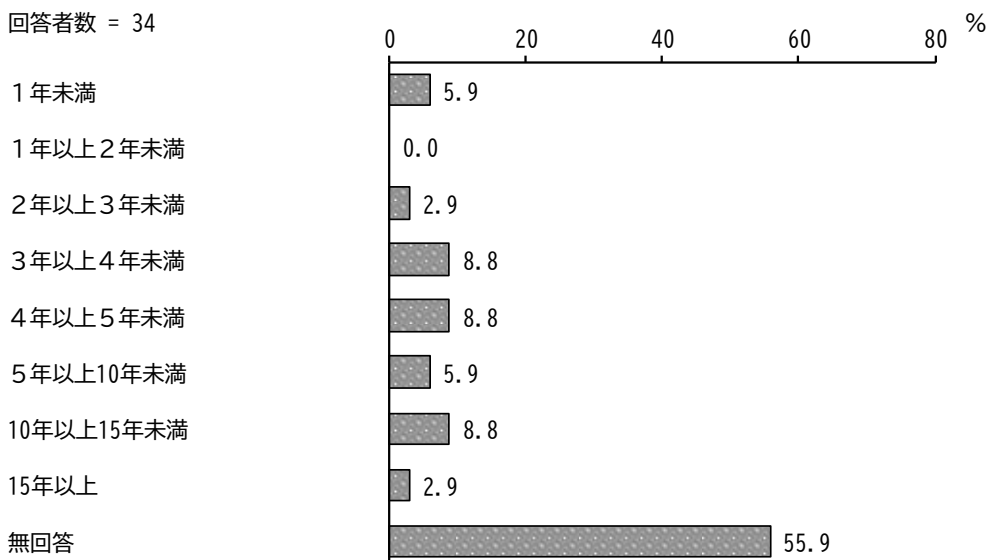
①看護師

「5年以上10年未満」の割合が17.6%と最も高く、次いで「1年未満」の割合が11.8%となっています。



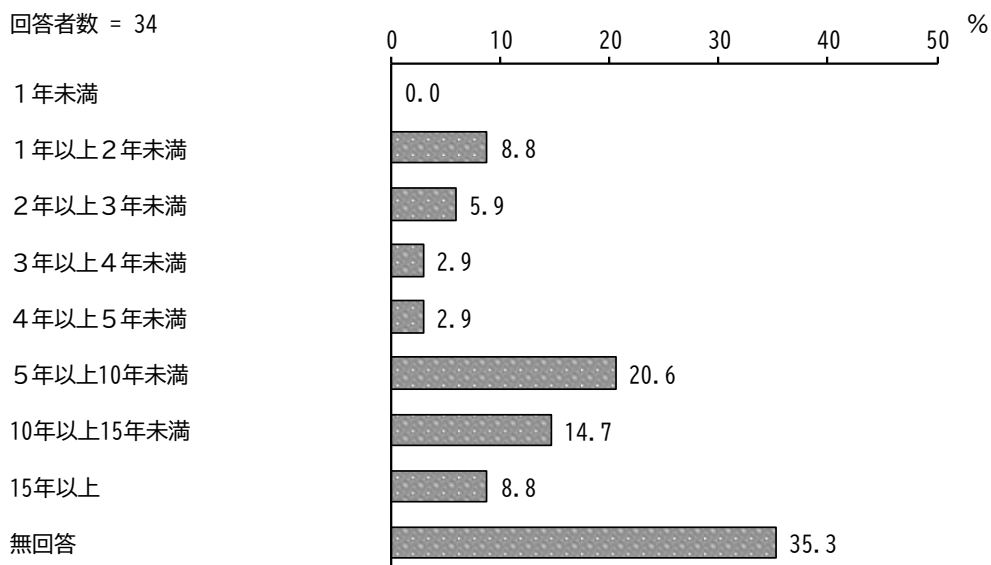
②ヘルパー

「3年以上4年未満」、「4年以上5年未満」、「10年以上15年未満」の割合が8.8%と最も高くなっています。



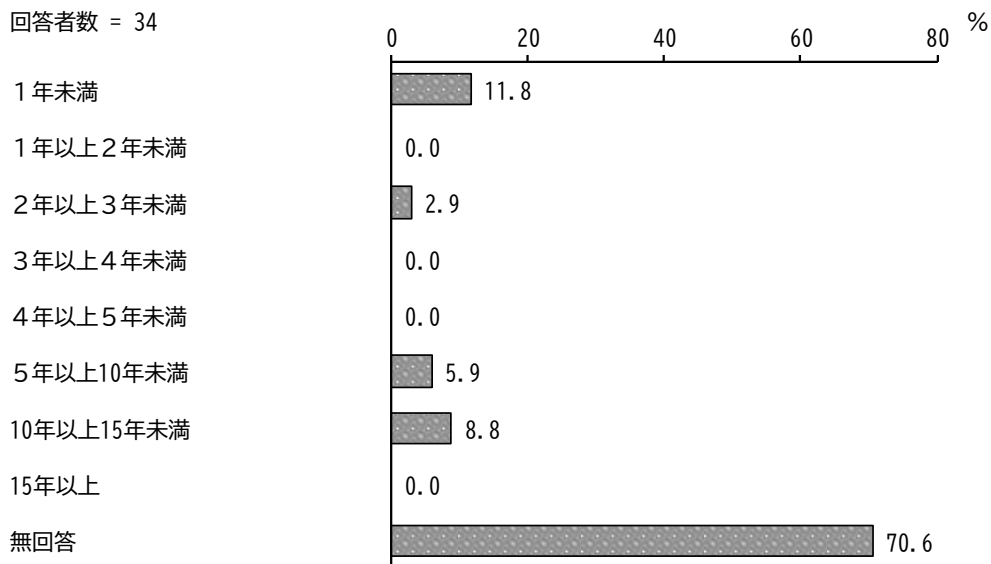
③介護福祉士

「5年以上10年未満」の割合が20.6%と最も高く、次いで「10年以上15年未満」の割合が14.7%となっています。



④社会福祉士

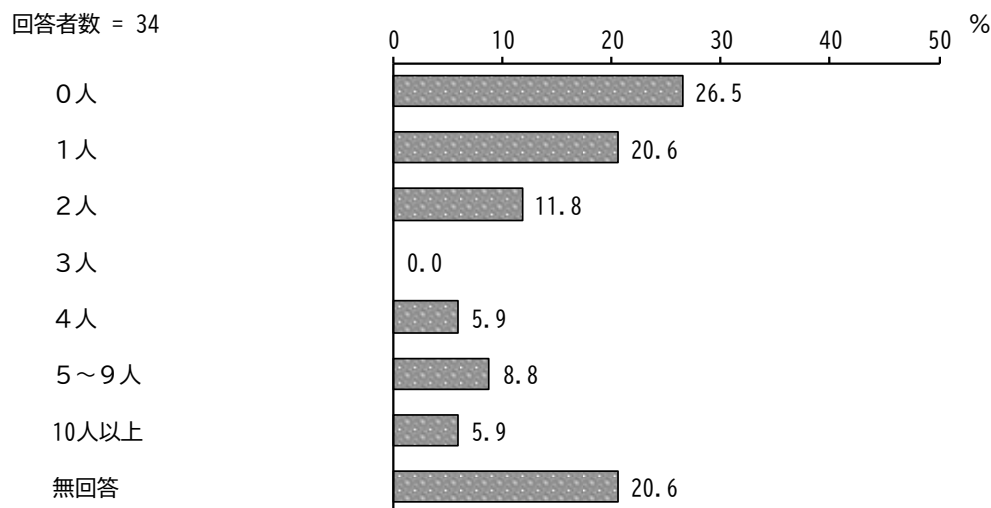
「1年未満」の割合が11.8%と最も高くなっています。



(2) 昨年1年間の離職者数及び離職率

①離職者数全体

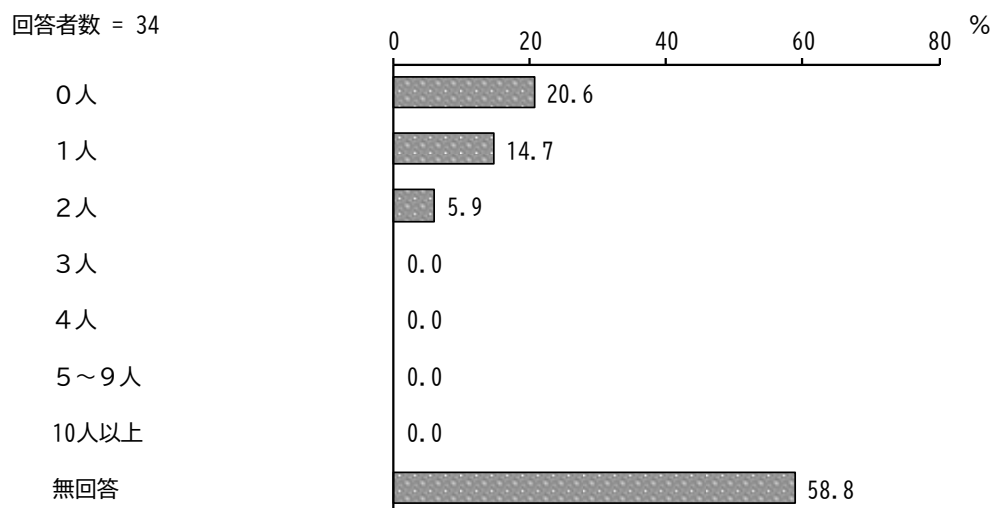
「0人」の割合が26.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が20.6%、「2人」の割合が11.8%となっています。



②退職者

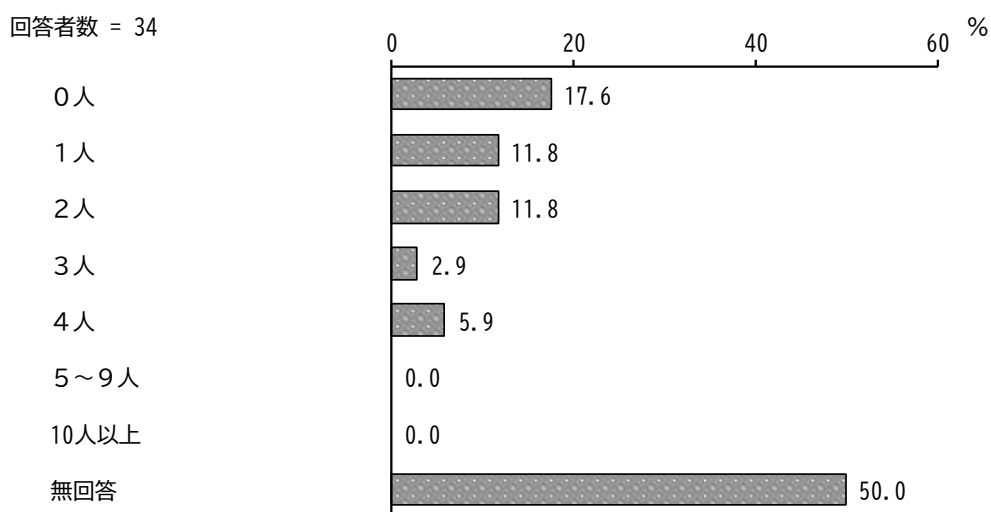
ア 看護師

「0人」の割合が20.6%と最も高く、次いで「1人」の割合が14.7%となっています。



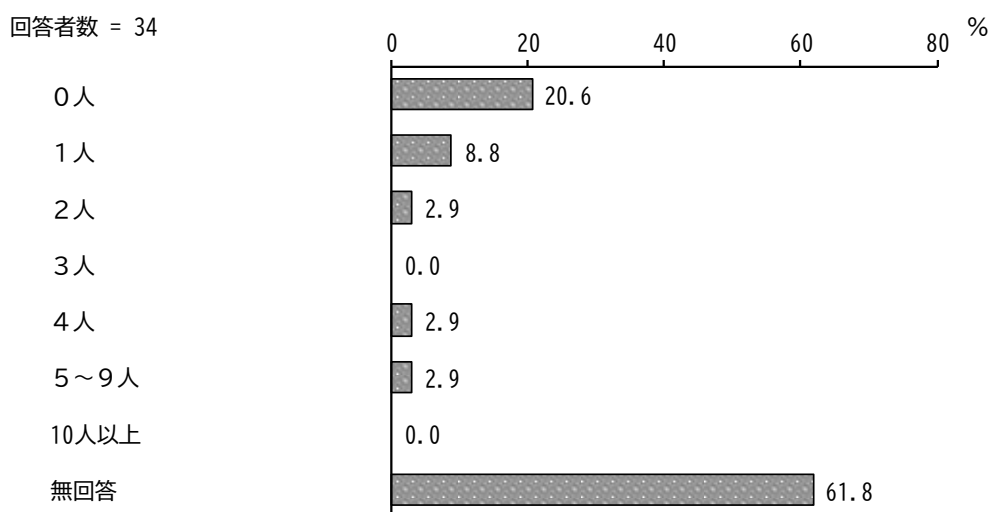
イ ヘルパー

「0人」の割合が17.6%と最も高く、次いで「1人」、「2人」の割合が11.8%となっています。



ウ 介護福祉士

「0人」の割合が20.6%と最も高くなっています。



工 社会福祉士

「0人」の割合が23.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 34

0人

1人

2人

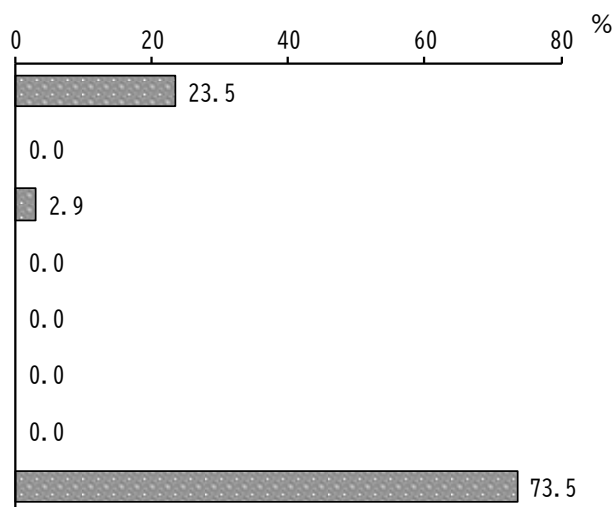
3人

4人

5～9人

10人以上

無回答



③ 転職者

ア 看護師

「0人」の割合が26.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 34

0人

1人

2人

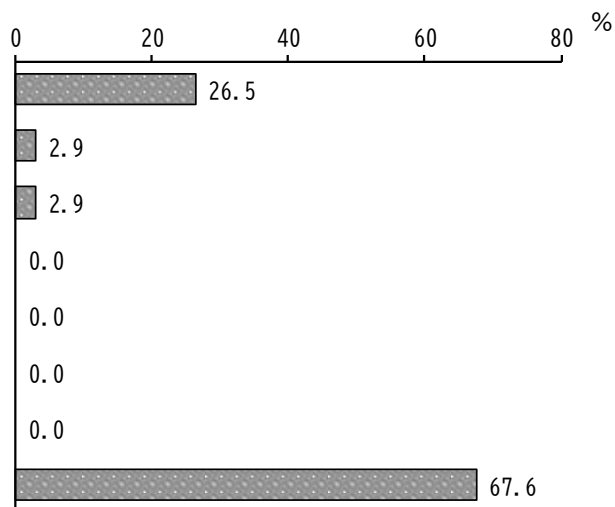
3人

4人

5～9人

10人以上

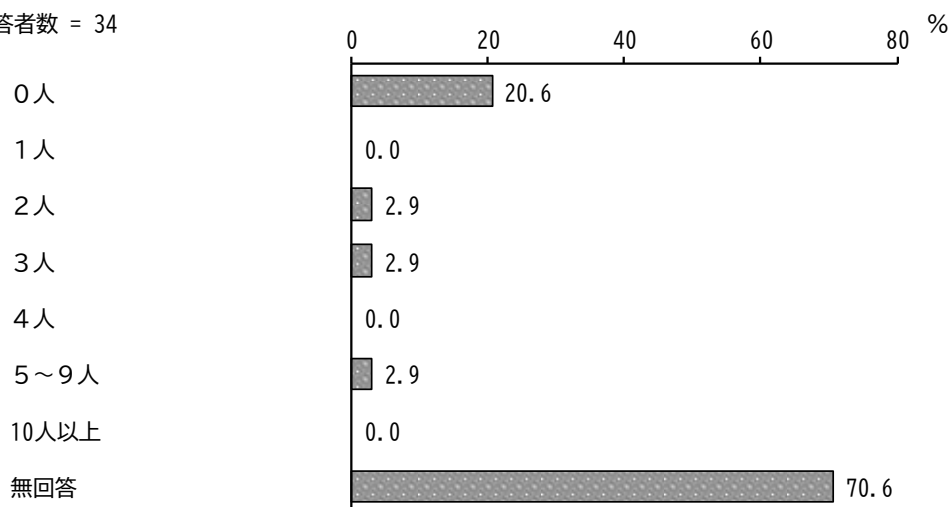
無回答



イ ヘルパー

「0人」の割合が20.6%と最も高くなっています。

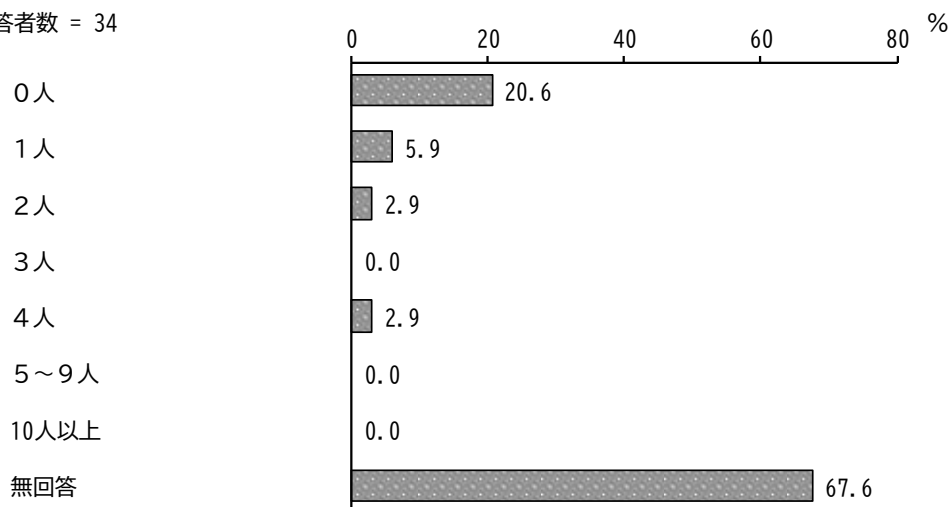
回答者数 = 34



ウ 介護福祉士

「0人」の割合が20.6%と最も高くなっています。

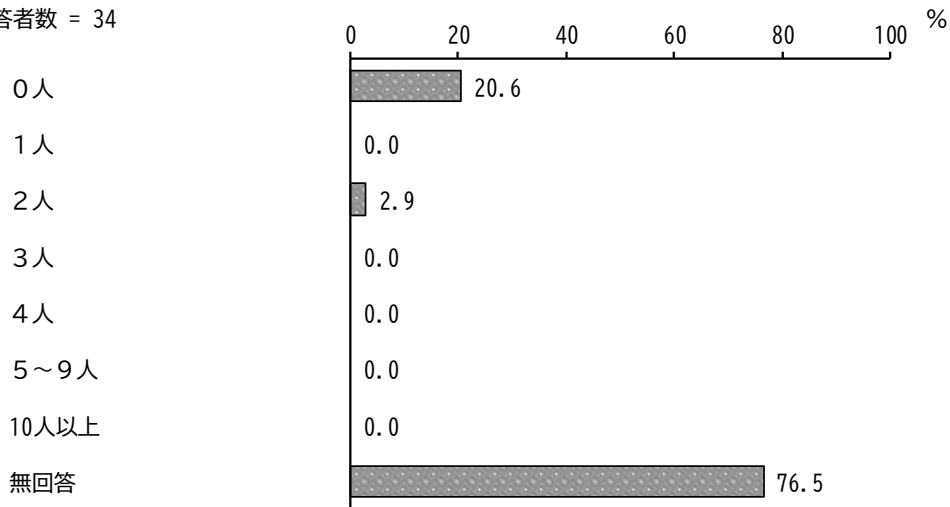
回答者数 = 34



工 社会福祉士

「0人」の割合が20.6%と最も高くなっています。

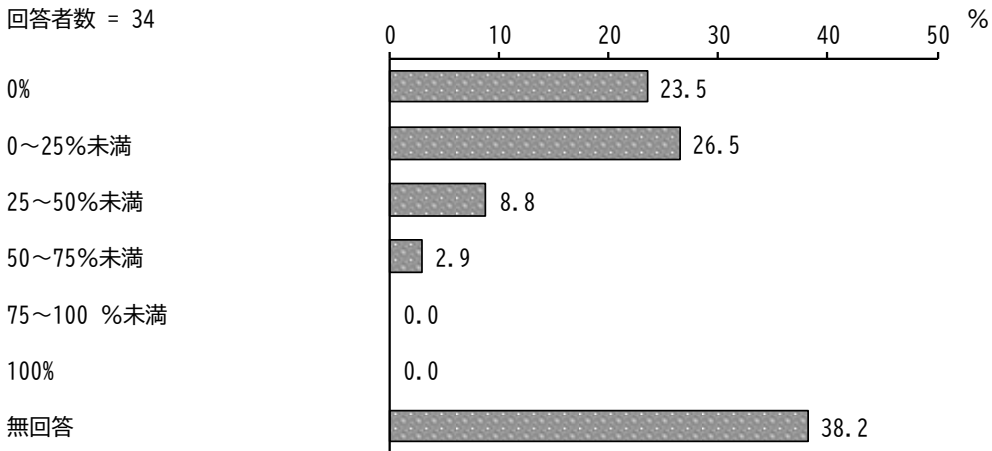
回答者数 = 34



(3) 全体離職率

「0~25%未満」の割合が26.5%と最も高く、次いで「0%」の割合が23.5%となっています。

回答者数 = 34

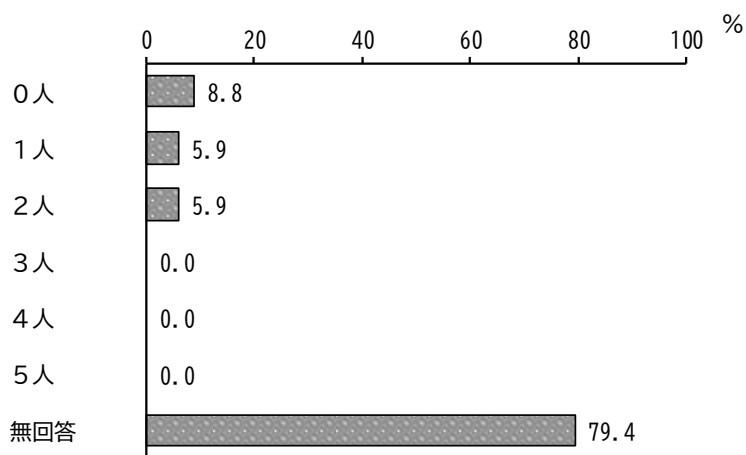


(4) 転職の理由 (主な理由)

① 働きがい

「0人」の割合が8.8%と最も高くなっています。

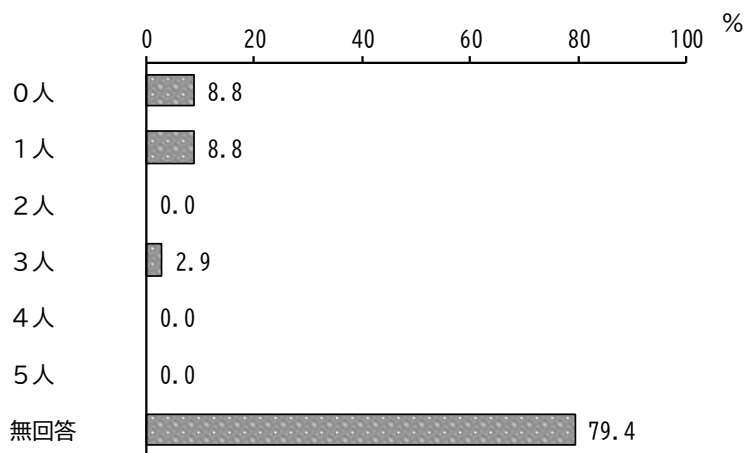
回答者数 = 34



② 給与・賃金

「0人」、「1人」の割合が8.8%と最も高くなっています。

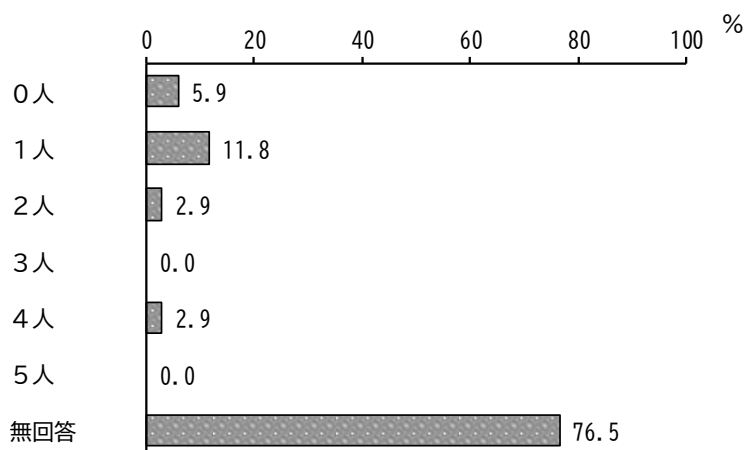
回答者数 = 34



③人間関係

「1人」の割合が11.8%と最も高くなっています。

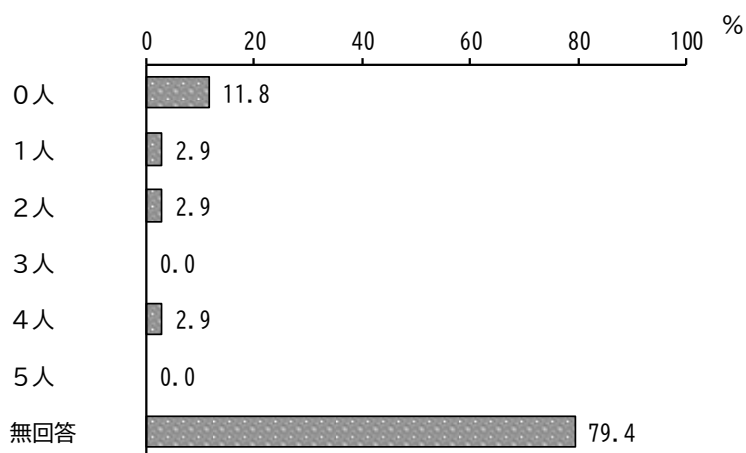
回答者数 = 34



④転出・結婚等

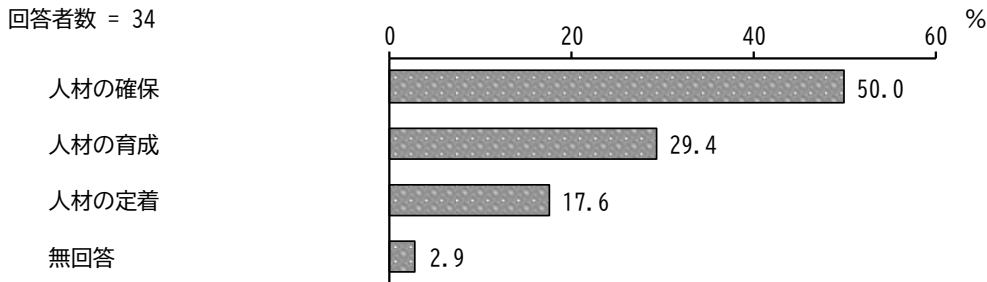
「0人」の割合が11.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 34



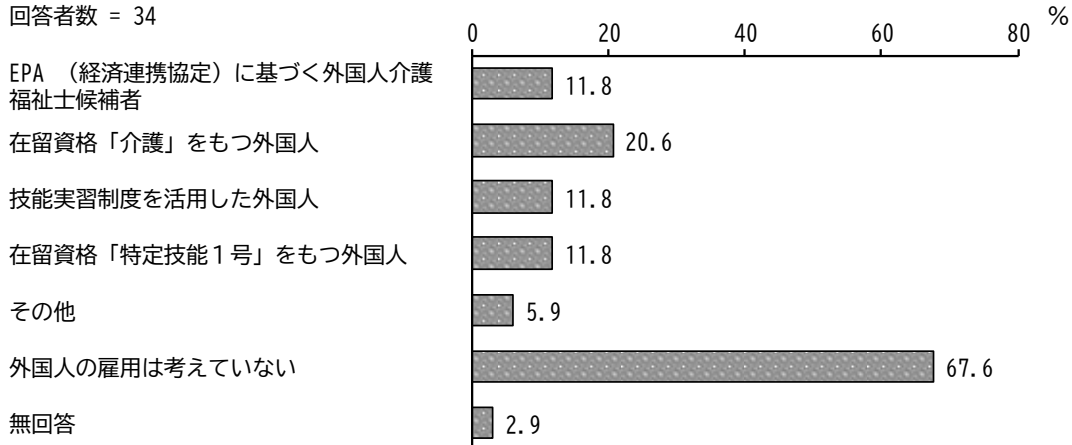
問10 人材対策で力を入れる必要があるものは何かありますか。(1つに○)

「人材の確保」の割合が50.0%と最も高く、次いで「人材の育成」の割合が29.4%、「人材の定着」の割合が17.6%となっています。



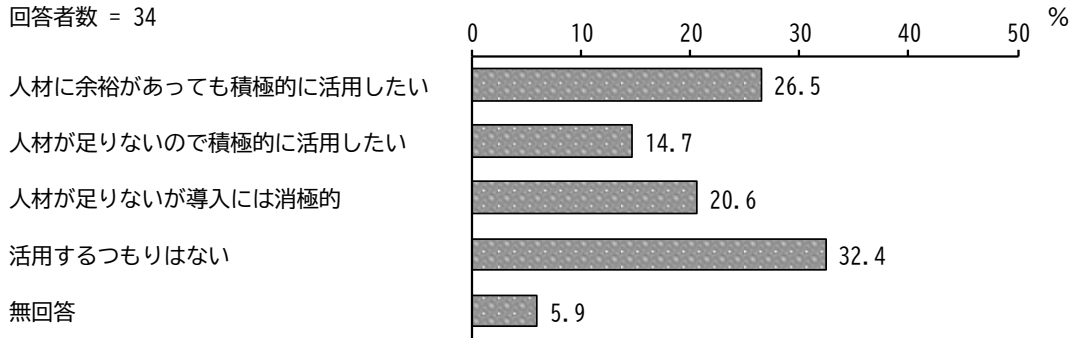
問11 外国人の雇用について、どのような外国人を雇用したいと思いますか。(いくつでも○)

「外国人の雇用は考えていない」の割合が67.6%と最も高く、次いで「在留資格「介護」をもつ外国人」の割合が20.6%、「EPA（経済連携協定）に基づく外国人介護福祉士候補者」、「技能実習制度を活用した外国人」「在留資格「特定技能1号」をもつ外国人」の割合が11.8%となっています。



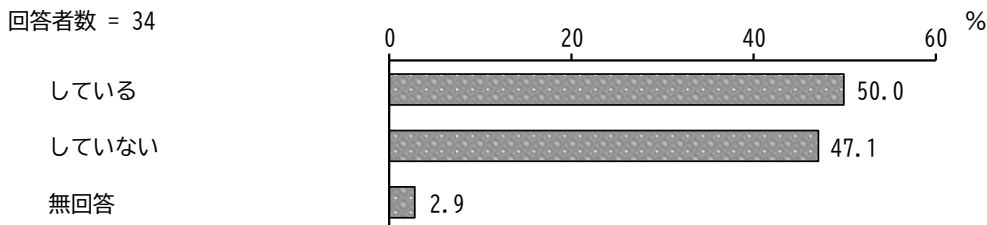
問12 市では認定サブスタッフ・生活支援ヘルパー・介護支援ボランティアポイント事業への元気高齢者の参加を進めていますが、元気高齢者の活用について、どのように考えていますか。(1つに○)

「活用するつもりはない」の割合が32.4%と最も高く、次いで「人材に余裕があっても積極的に活用したい」の割合が26.5%、「人材が足りないが導入には消極的」の割合が20.6%となっています。



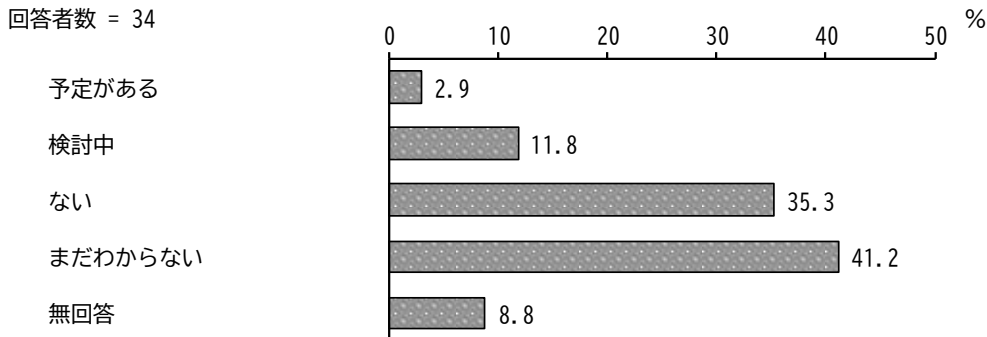
問13 貴事業所では、介護保険以外のサービスを提供していますか。提供している場合は、具体的なサービス内容を記入してください。(1つに○)

「している」の割合が50.0%、「していない」の割合が47.1%となっています。



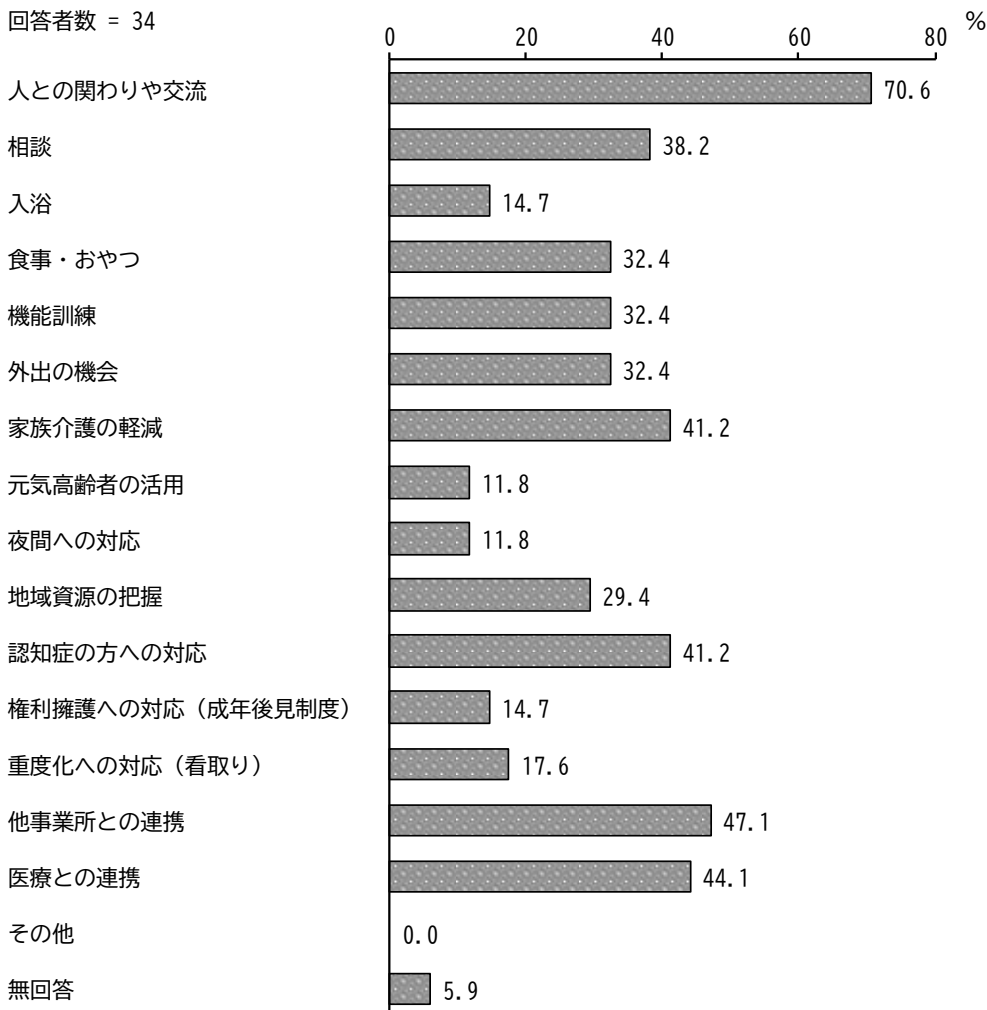
問14 今後は介護保険外サービスの実施、またはその事業について拡充の予定がありますか。(1つに○)

「まだわからない」の割合が41.2%と最も高く、次いで「ない」の割合が35.3%、「検討中」の割合が11.8%となっています。



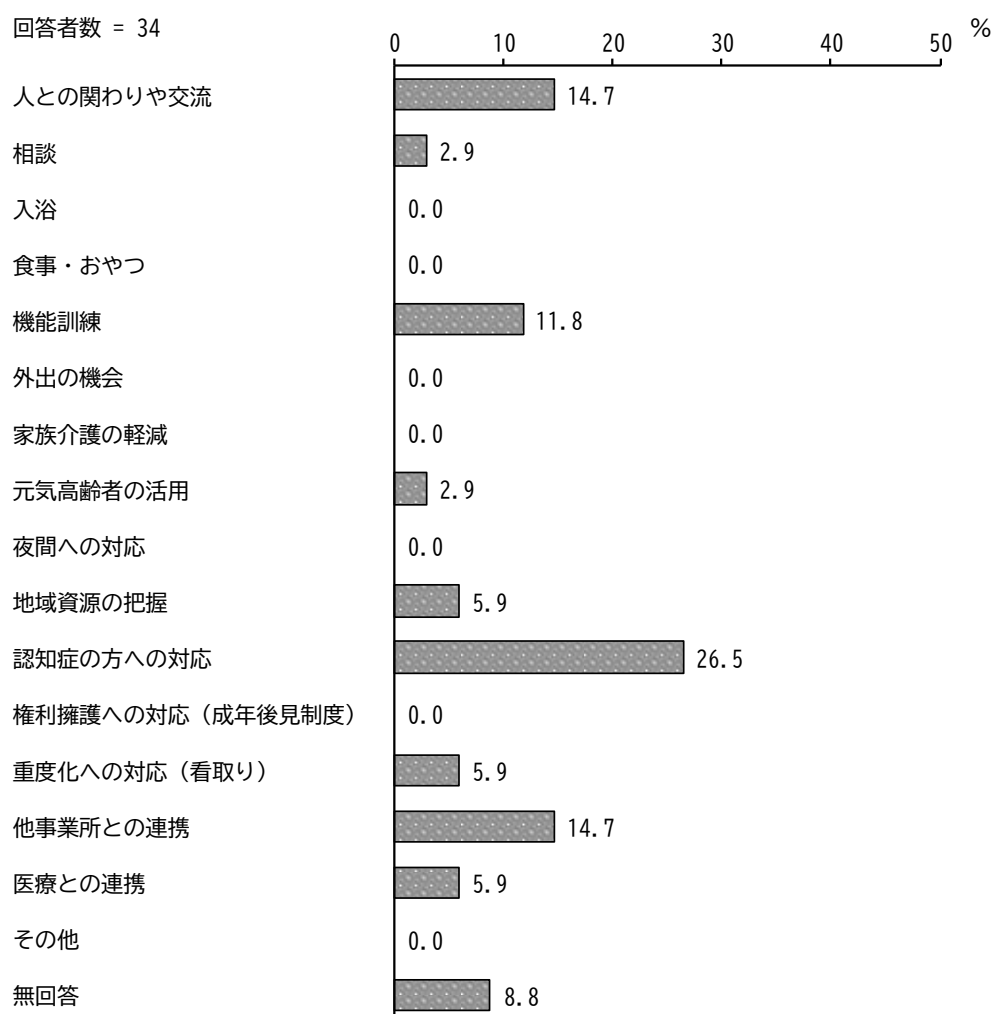
問15 現在、貴事業所で力を入れていることは何ですか。(いくつでも○)

「人との関わりや交流」の割合が70.6%と最も高く、次いで「他事業所との連携」の割合が47.1%、「医療との連携」の割合が44.1%となっています。



問16 これから貴事業所が特に力を入れたいことを教えてください。(1つに○)

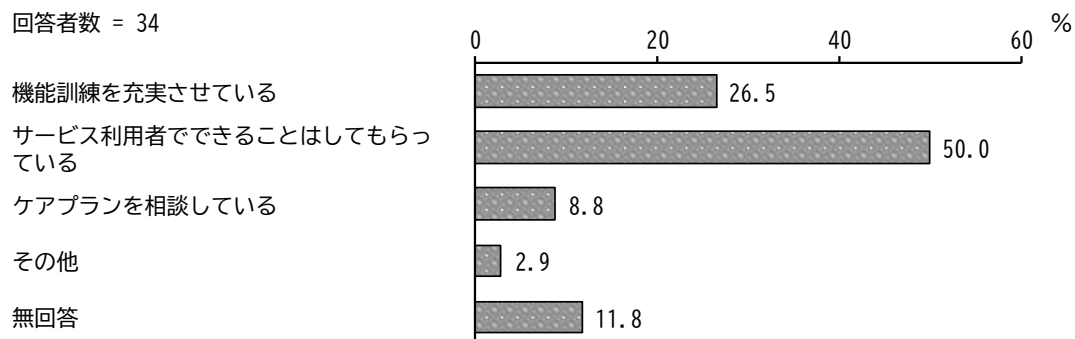
「認知症の方への対応」の割合が26.5%と最も高く、次いで「人との関わりや交流」、「他事業所との連携」の割合が14.7%となっています。



問 17 自立支援・介護予防・重度化防止について、どのようなことに取り組んでいますか。(1つに○)

「サービス利用者でできることはしてもらっている」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「機能訓練を充実させている」の割合が 26.5%となっています。

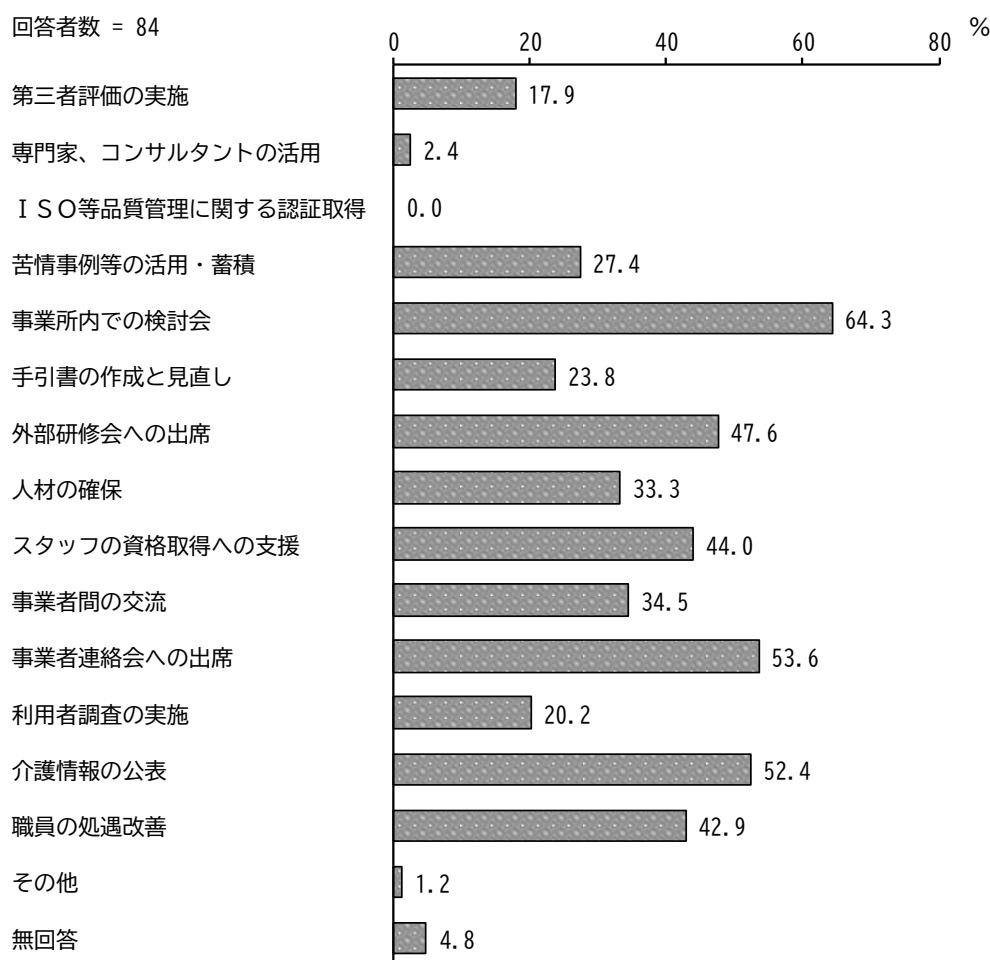
回答者数 = 34



5. サービスの向上に向けた取組みについて

問18 現在、貴事業所では質の向上に対する取組みをどのように行っていますか。(いくつでも○)

「事業所内での検討会」の割合が64.3%と最も高く、次いで「事業者連絡会への出席」の割合が53.6%、「介護情報の公表」の割合が52.4%となっています。

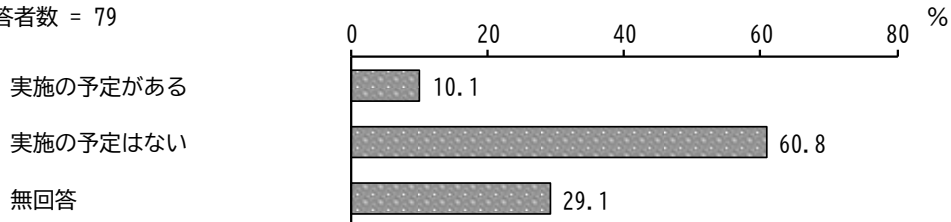


問 19 問 18 で「専門家、コンサルタントの活用」～「その他」に回答した事業所におたずねします。

今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

「実施の予定がある」の割合が 10.1%、「実施の予定はない」の割合が 60.8%となっています。

回答者数 = 79

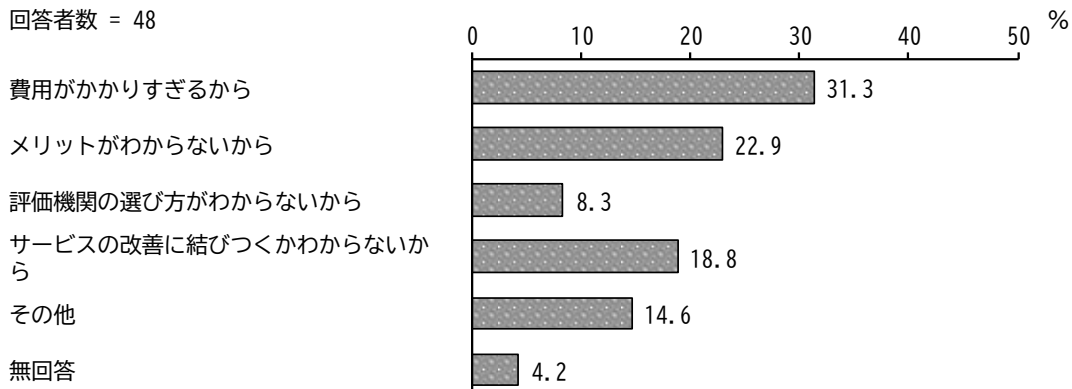


問 19-1 問 19 で「実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。

その主な理由は次のうちどれですか。(1つに○)

「費用がかかりすぎるから」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「メリットがわからないから」の割合が 22.9%、「サービスの改善に結びつくかわからないから」の割合が 18.8%となっています。

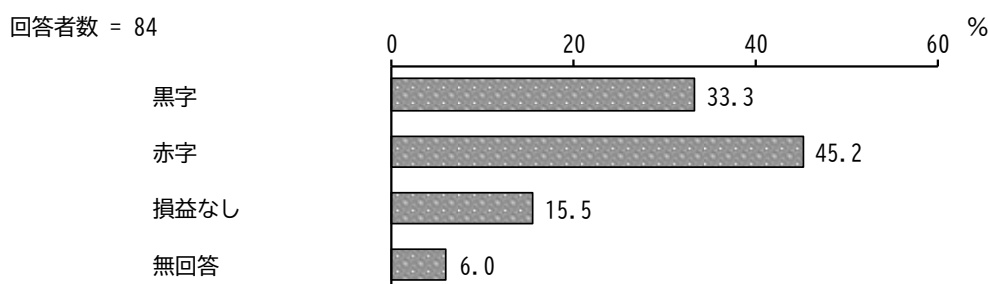
回答者数 = 48



6. 事業運営について

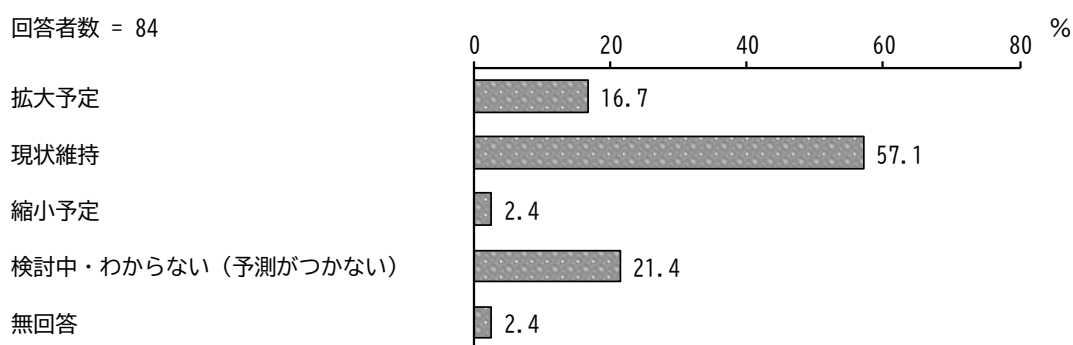
問20 直前の決算年度の事業の採算はいかがでしたか。差し支えなければお答えください。(1つに○)

「赤字」の割合が45.2%と最も高く、次いで「黒字」の割合が33.3%、「損益なし」の割合が15.5%となっています。



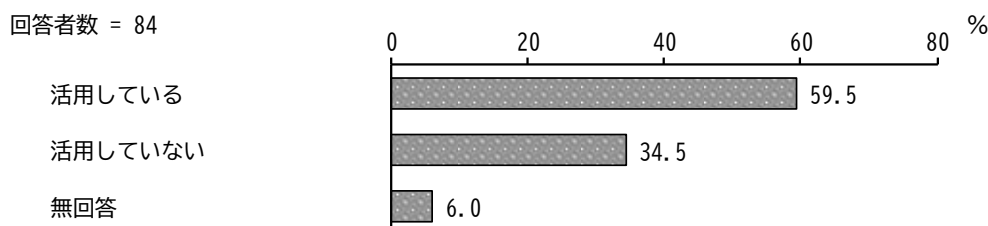
問21 貴事業所では、今後3年のうちに介護保険サービスの事業規模についてどのように考えますか。(1つに○)

「現状維持」の割合が57.1%と最も高く、次いで「検討中・わからない(予測がつかない)」の割合が21.4%、「拡大予定」の割合が16.7%となっています。



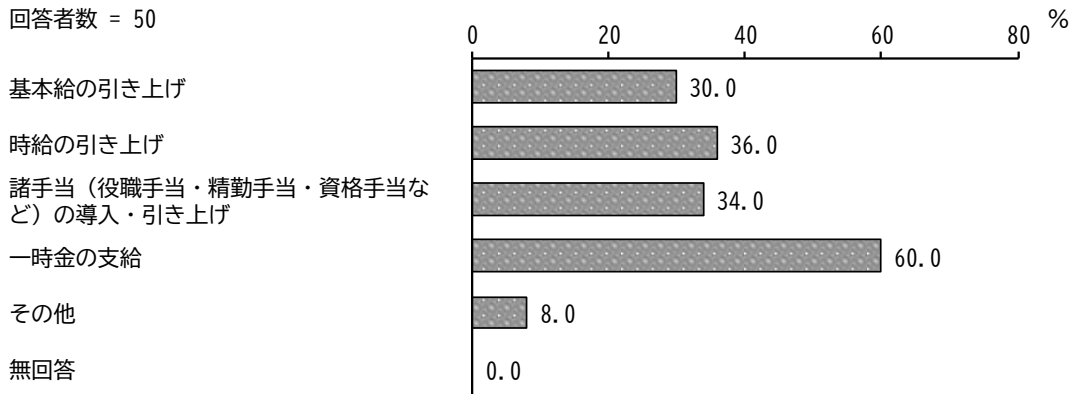
問22 貴事業所では、介護職員処遇改善加算は活用していますか。(1つに○)

「活用している」の割合が59.5%、「活用していない」の割合が34.5%となっています。



問 22-1 問 22 で「活用している」と答えた事業所におたずねします。
 介護職員処遇改善加算をどのようなことに使用していますか。
 また、選んだ選択肢について金額もご記入ください。(いくつでも○)

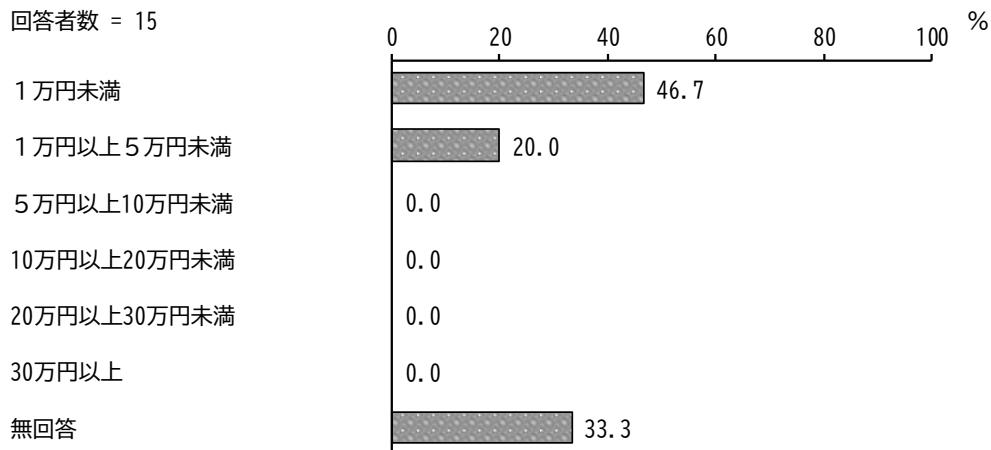
「一時金の支給」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「時給の引き上げ」の割合が 36.0%、
 「諸手当（役職手当・精勤手当・資格手当など）の導入・引き上げ」の割合が 34.0%となっ
 ています。



【平均金額】

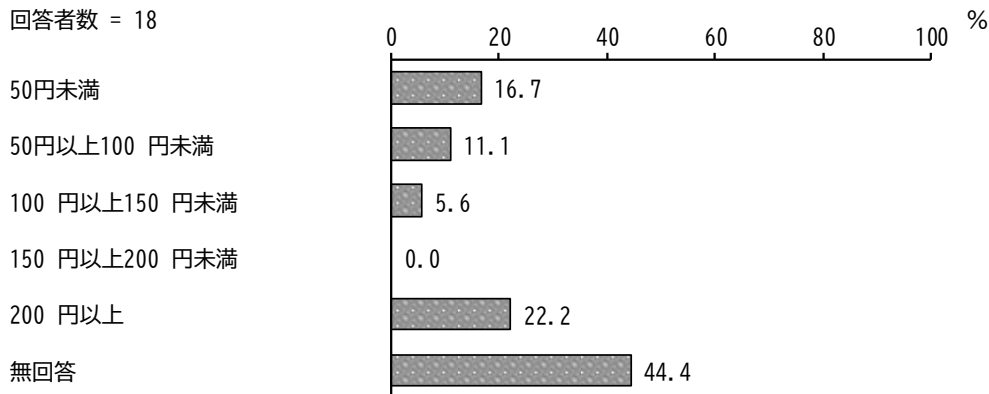
(1) 基本給の引き上げ

「1万円未満」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「1万円以上5万円未満」の割合が 20.0%
 となっています。



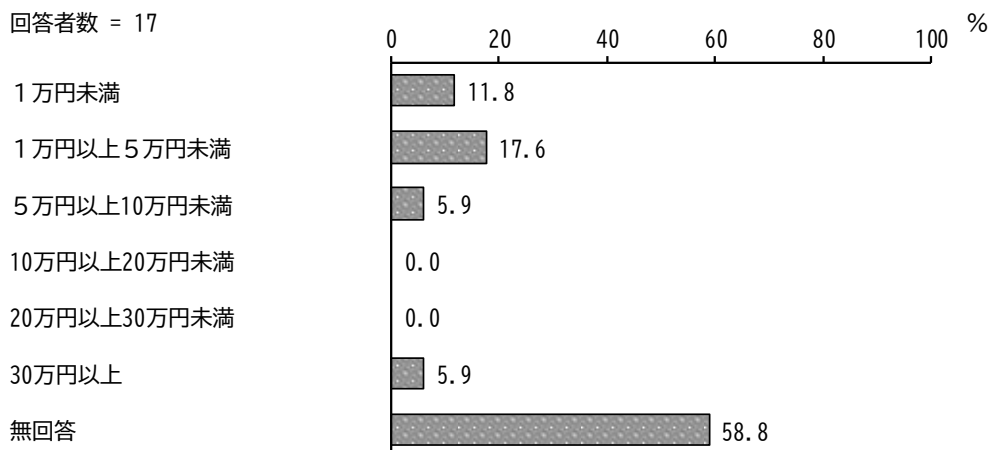
(2) 時給の引き上げ

「200円以上」の割合が22.2%と最も高く、次いで「50円未満」の割合が16.7%、「50円以上100円未満」の割合が11.1%となっています。



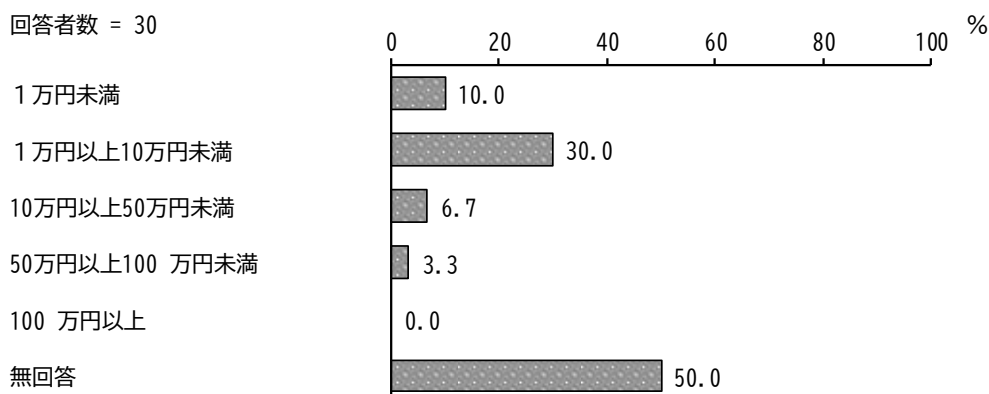
(3) 諸手当（役職手当・精勤手当・資格手当など）の導入・引き上げ

「1万円以上5万円未満」の割合が17.6%と最も高く、次いで「1万円未満」の割合が11.8%となっています。



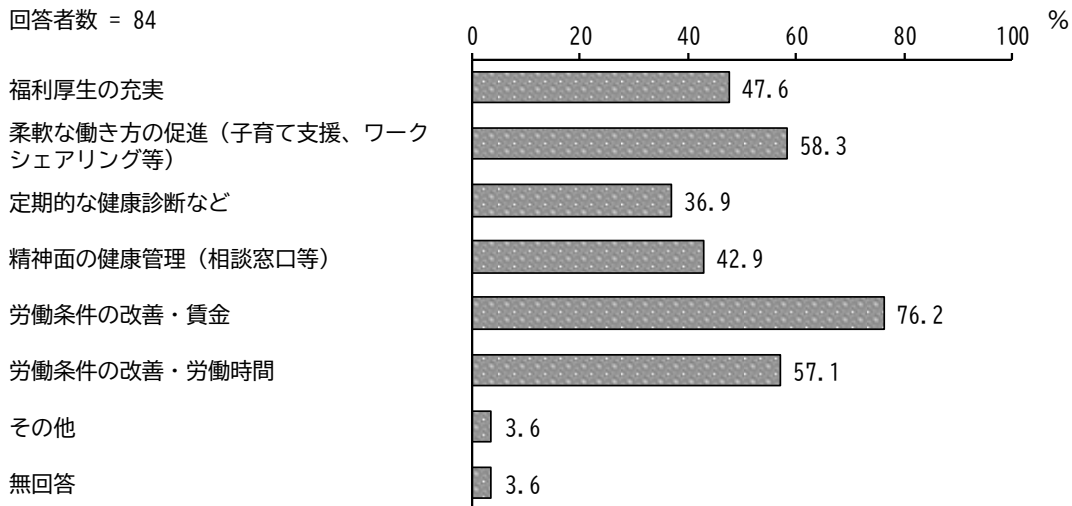
(4) 一時金の支給

「1万円以上10万円未満」の割合が30.0%と最も高く、次いで「1万円未満」の割合が10.0%となっています。



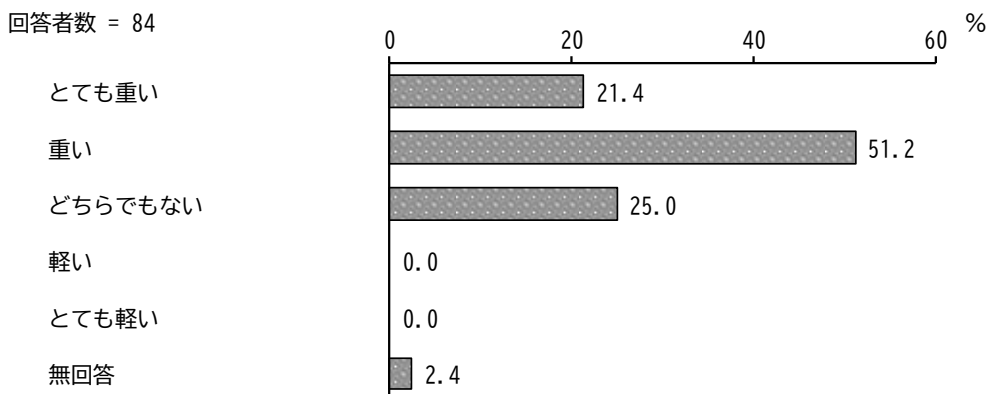
問 23 労働環境整備のためにどのような取組みが必要だと思いますか。(いくつでも○)

「労働条件の改善・賃金」の割合が76.2%と最も高く、次いで「柔軟な働き方の促進（子育て支援、ワークシェアリング等）」の割合が58.3%、「労働条件の改善・労働時間」の割合が57.1%となっています。



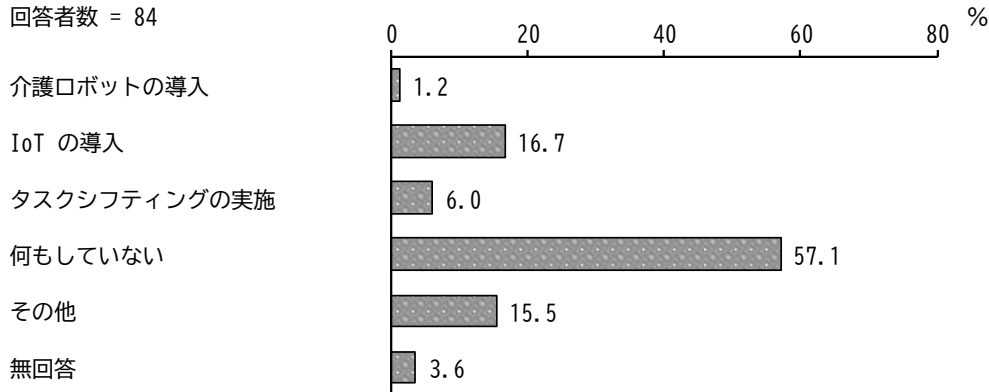
問 24 事務作業の負担感はどの程度ですか。(1つに○)

「重い」の割合が51.2%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が25.0%、「とても重い」の割合が21.4%となっています。



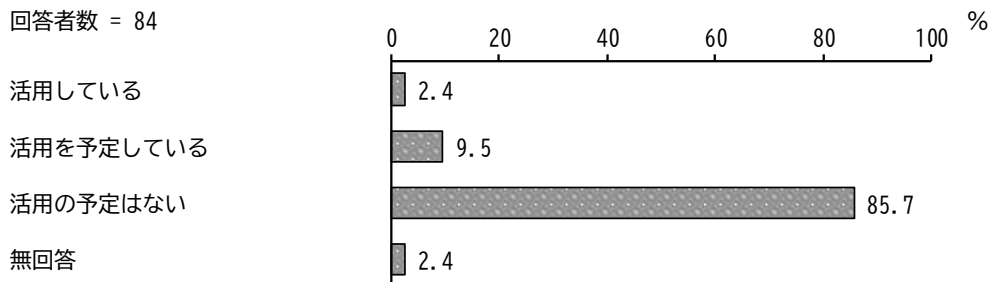
問 25 生産性向上（労働時間短縮）のためにどのようなことに取り組まれていますか。（1つに○）

「何もしていない」の割合が57.1%と最も高く、次いで「IoT の導入」の割合が16.7%となっています。



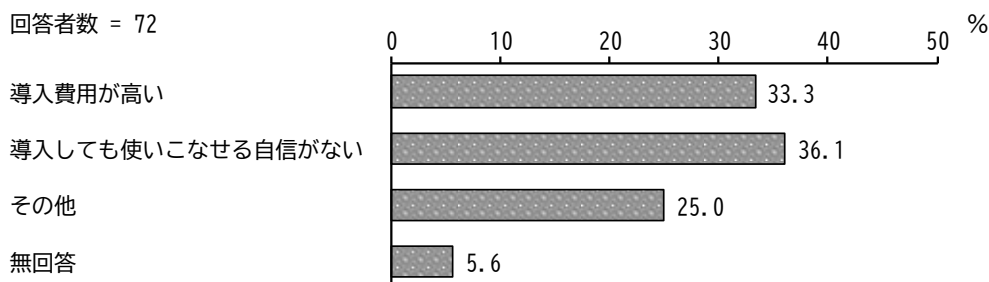
問 26 介護ロボットやA Iの導入について、活用の予定がありますか。（1つに○）

「活用の予定はない」の割合が85.7%と最も高くなっています。



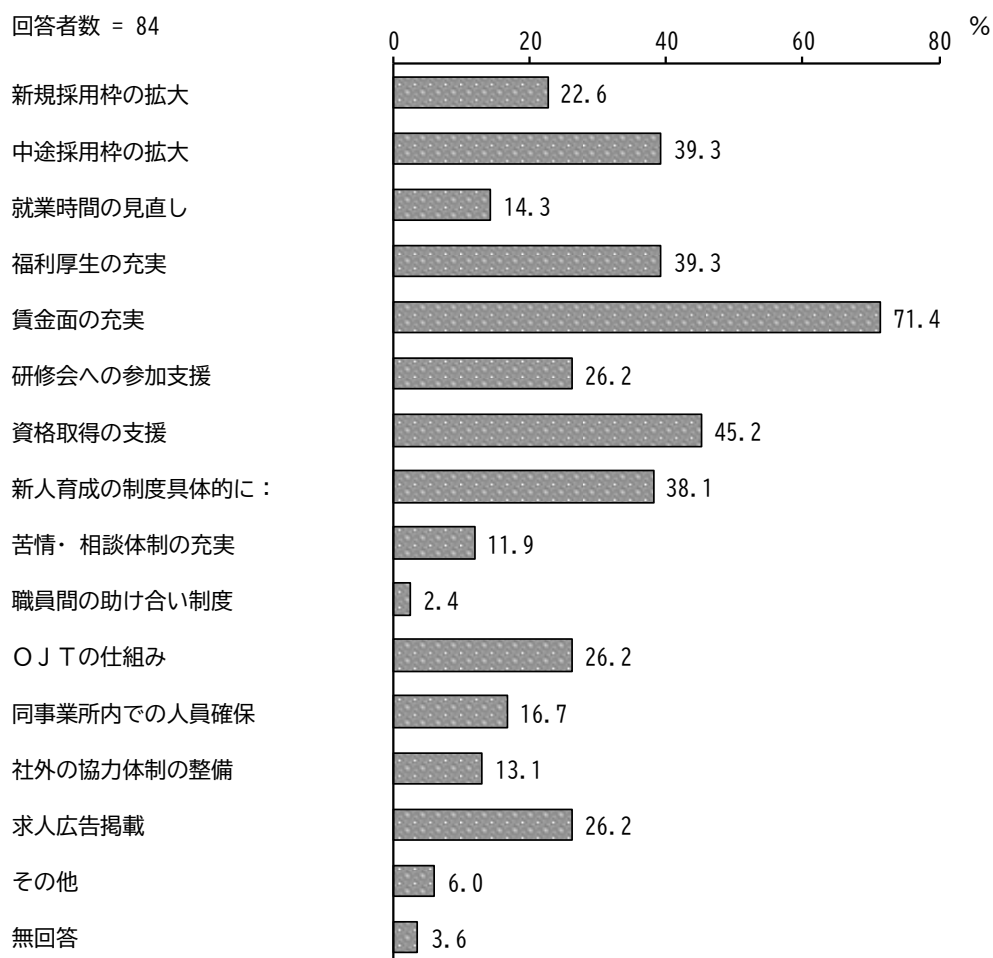
問 26-1 活用の予定はない理由は何ですか。（1つに○）

「導入費用が高い」の割合が33.3%、「導入しても使いこなせる自信がない」の割合が36.1%となっています。



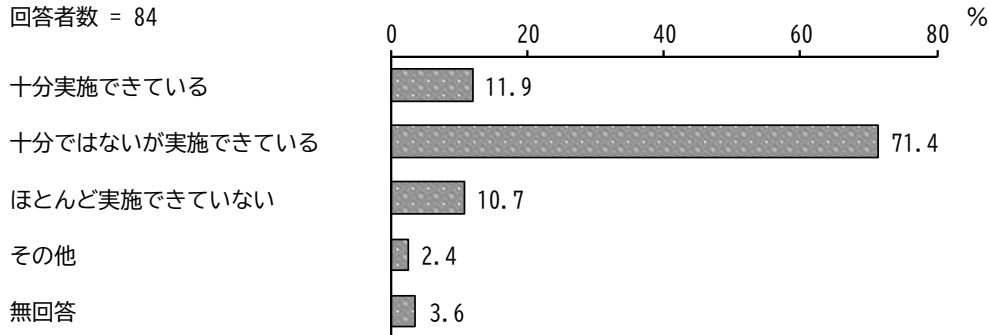
問 27 人材確保のため今後どのような取組みが必要だと思いますか。(いくつでも○)

「賃金面の充実」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「資格取得の支援」の割合が 45.2%、「中途採用枠の拡大」の割合が 39.3%となっています。



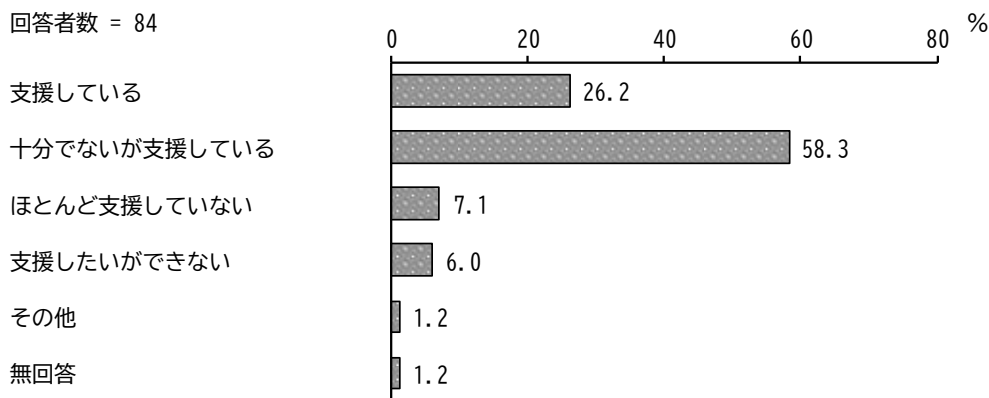
問 28 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

「十分ではないが実施できている」の割合が71.4%と最も高く、次いで「十分実施できている」の割合が11.9%、「ほとんど実施できていない」の割合が10.7%となっています。



問 29 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

「十分でないが支援している」の割合が58.3%と最も高く、次いで「支援している」の割合が26.2%となっています。

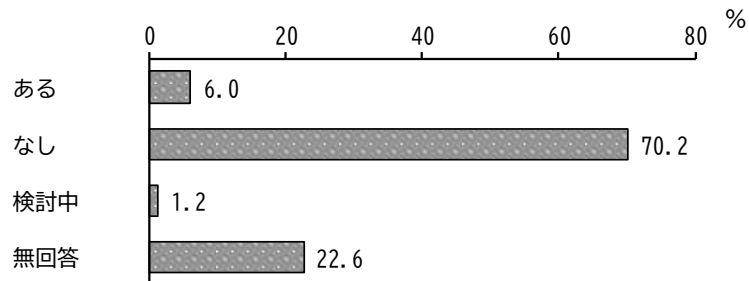


問 30 今後、参入予定の地域密着型サービス事業がありましたら教えてください。
(①から④についてそれぞれ1つに○)

①地域密着型通所介護

「なし」の割合が70.2%と最も高くなっています。

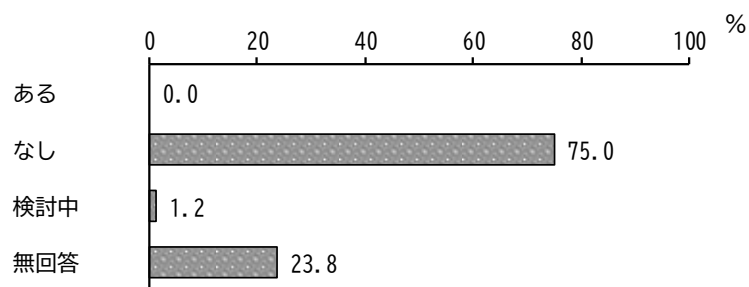
回答者数 = 84



②定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「なし」の割合が75.0%と最も高くなっています。

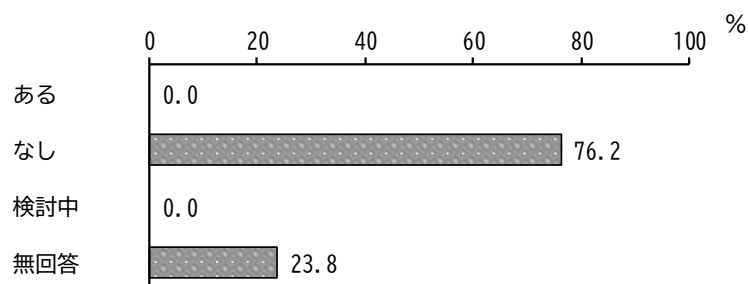
回答者数 = 84



③夜間対応型訪問介護

「なし」の割合が76.2%と最も高くなっています。

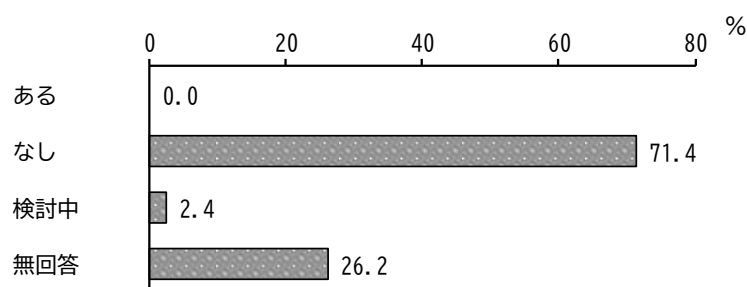
回答者数 = 84



④認知症対応型通所介護

「なし」の割合が71.4%と最も高くなっています。

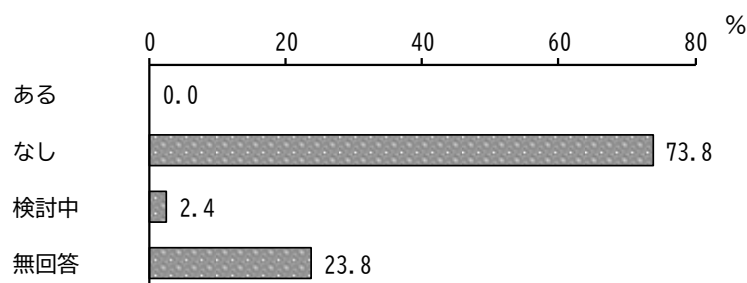
回答者数 = 84



⑤介護予防認知症対応型通所介護

「なし」の割合が73.8%と最も高くなっています。

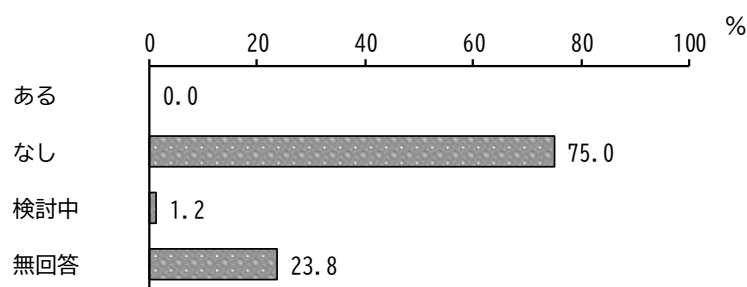
回答者数 = 84



⑥小規模多機能型居宅介護

「なし」の割合が75.0%と最も高くなっています。

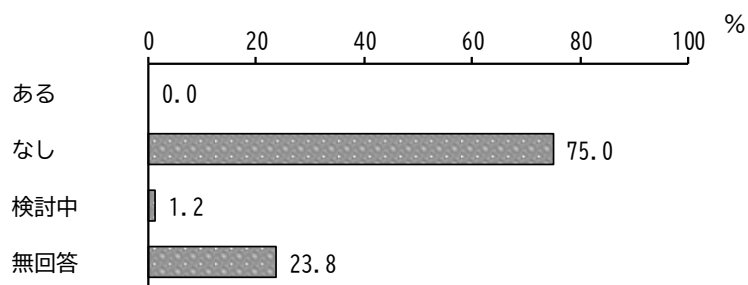
回答者数 = 84



⑦看護小規模多機能型居宅介護

「なし」の割合が75.0%と最も高くなっています。

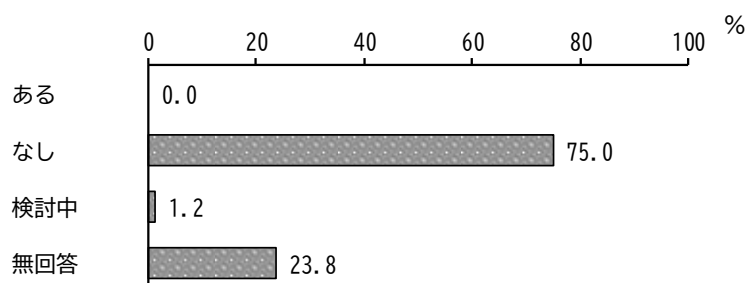
回答者数 = 84



⑧介護予防小規模多機能型居宅介護

「なし」の割合が75.0%と最も高くなっています。

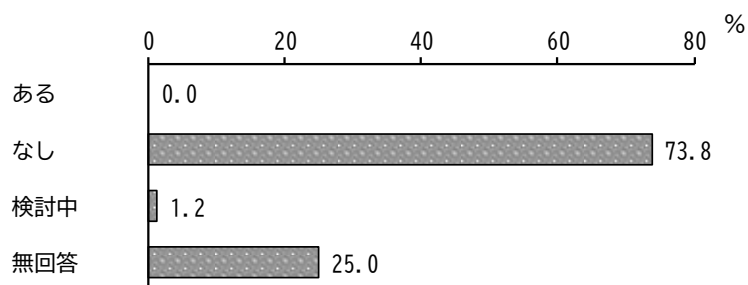
回答者数 = 84



⑨認知症対応型共同生活介護

「なし」の割合が73.8%と最も高くなっています。

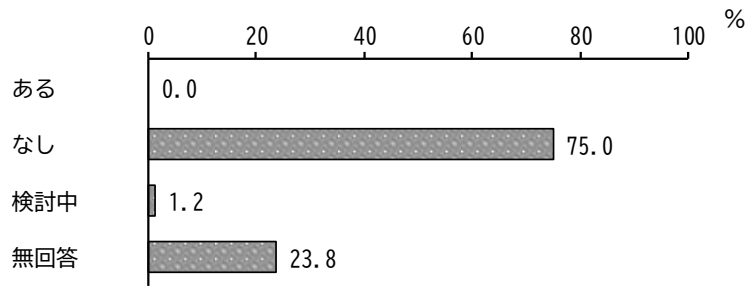
回答者数 = 84



⑩介護予防認知症対応型共同生活介護

「なし」の割合が75.0%と最も高くなっています。

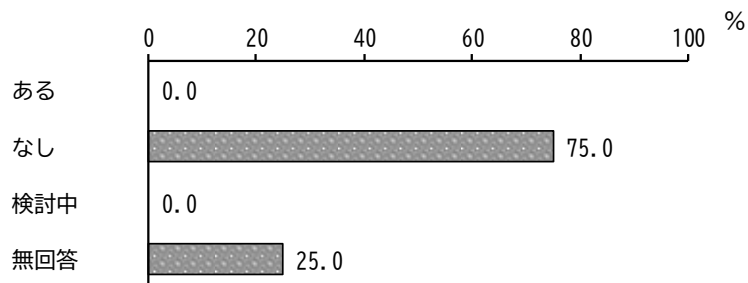
回答者数 = 84



⑪地域密着型特定施設入居者生活介護

「なし」の割合が75.0%と最も高くなっています。

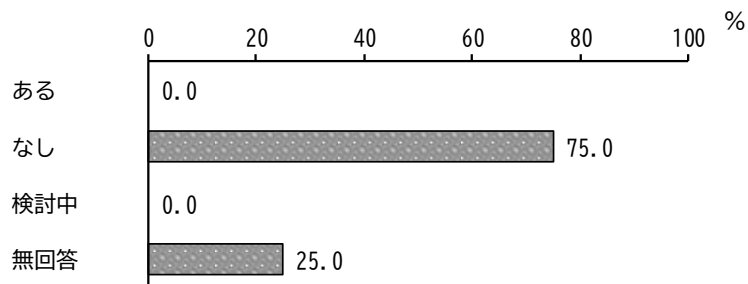
回答者数 = 84



⑫地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

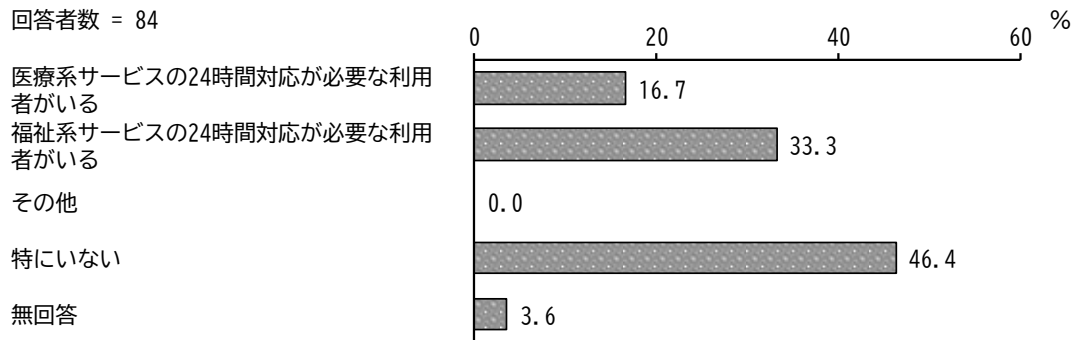
「なし」の割合が75.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 84



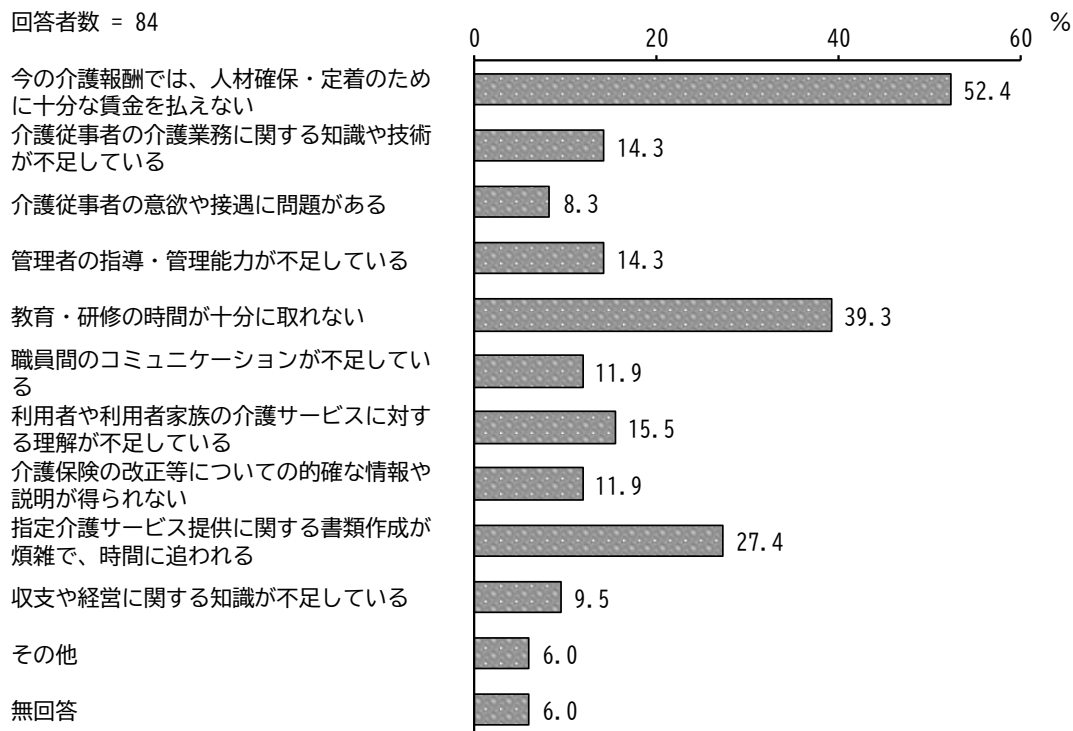
問 31 貴事業所のサービス利用者の中に、24 時間の見守りや巡回が必要な方はいらっしゃいますか。(1 つに○)

「特にいない」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「福祉系サービスの 24 時間対応が必要な利用者がある」の割合が 33.3%、「医療系サービスの 24 時間対応が必要な利用者がある」の割合が 16.7%となっています。



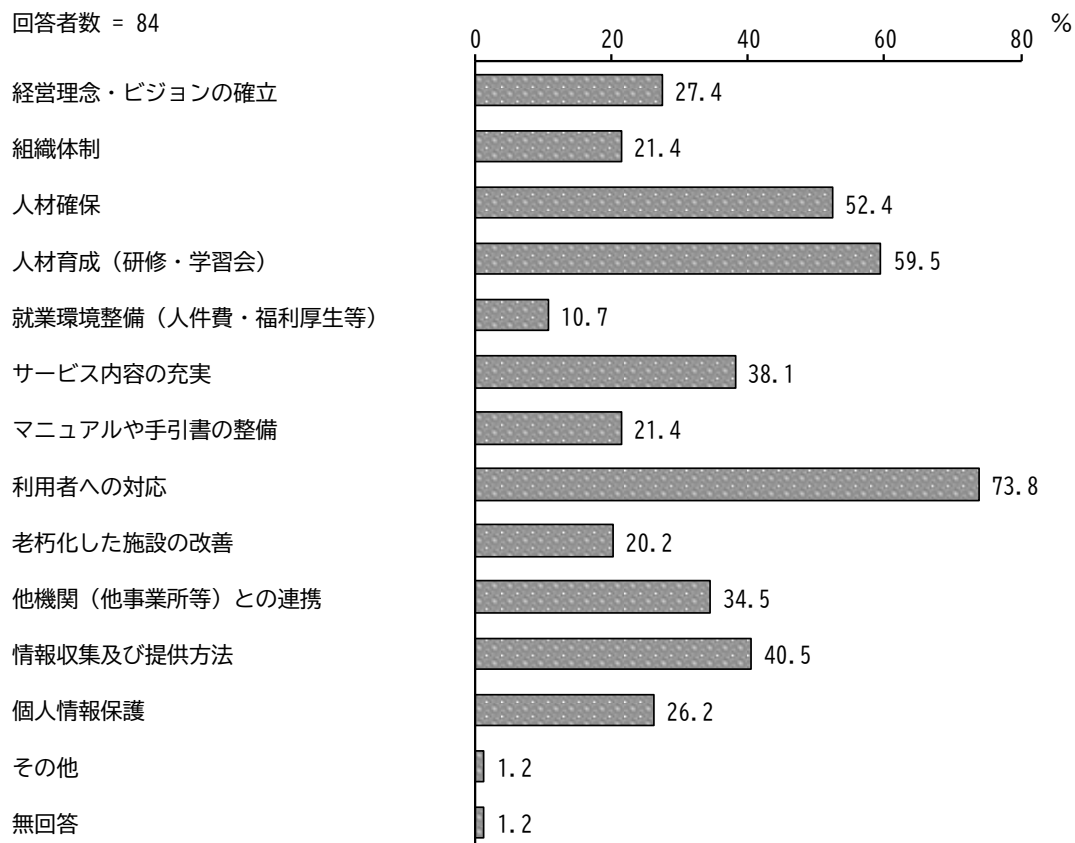
問 32 貴事業所の運営上の課題は何ですか。(3 つまで○)

「今の介護報酬では、人材確保・定着のために十分な賃金を払えない」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「教育・研修の時間が十分に取れない」の割合が 39.3%、「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる」の割合が 27.4%となっています。



問 33 日ごろサービスを提供していくうえで、法令順守（コンプライアンス）は前提として、利用者からの信頼を得るためには何が大切とお考えですか。（いくつでも○）

「利用者への対応」の割合が73.8%と最も高く、次いで「人材育成（研修・学習会）」の割合が59.5%、「人材確保」の割合が52.4%となっています。

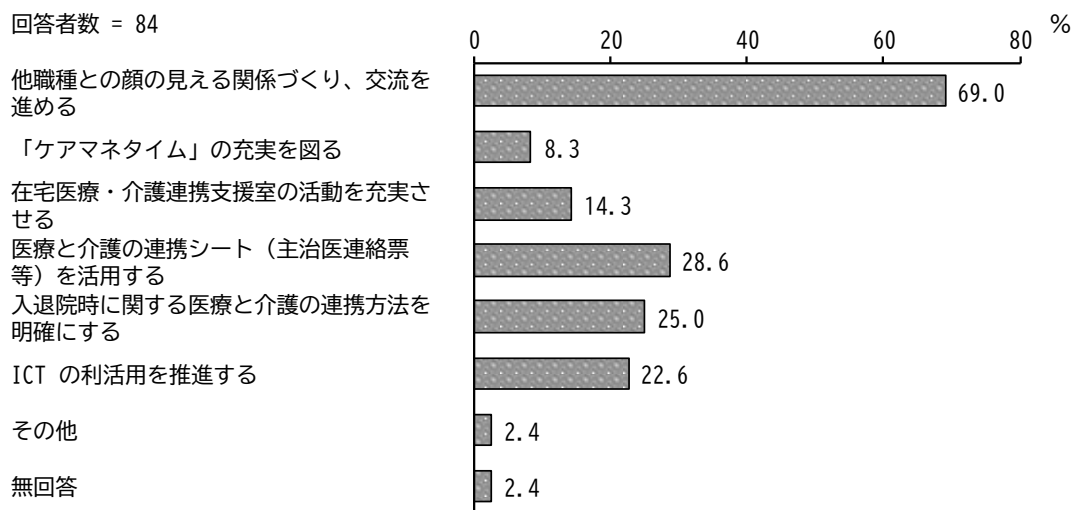


7. 医療と介護の連携について

問 34 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

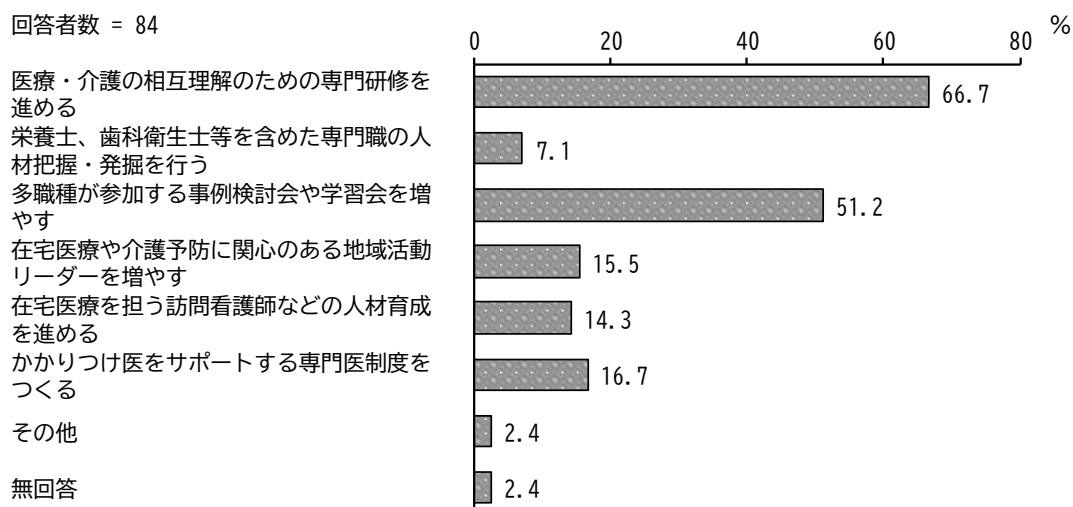
(1) 連携の仕組みづくり (2つまで○)

「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「医療と介護の連携シート（主治医連絡票等）を活用する」の割合が 28.6%、「入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする」の割合が 25.0%となっています。



(2) 地域の人材育成 (2つまで○)

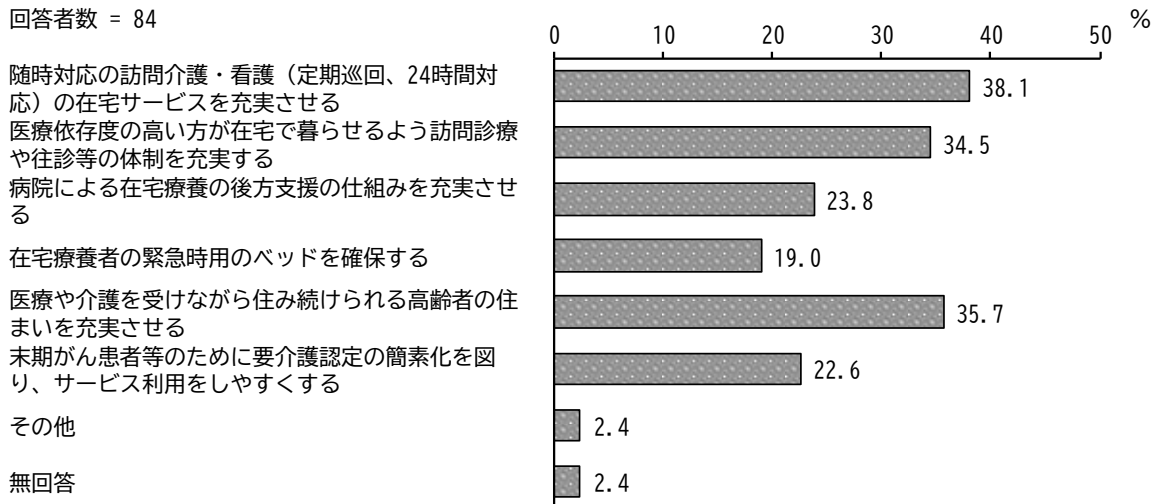
「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「多職種が参加する事例検討会や学習会を増やす」の割合が 51.2%、「かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる」の割合が 16.7%となっています。



(3) サービス・基盤整備（2つまで○）

「随時対応の訪問介護・看護（定期巡回、24時間対応）の在宅サービスを充実させる」の割合が38.1%と最も高く、次いで「医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実させる」の割合が35.7%、「医療依存度の高い方が在宅で暮らせるよう訪問診療や往診等の体制を充実する」の割合が34.5%、「医療依存度の高い方が在宅で暮らせるよう訪問診療や往診等の体制を充実する」の割合が34.5%となっています。

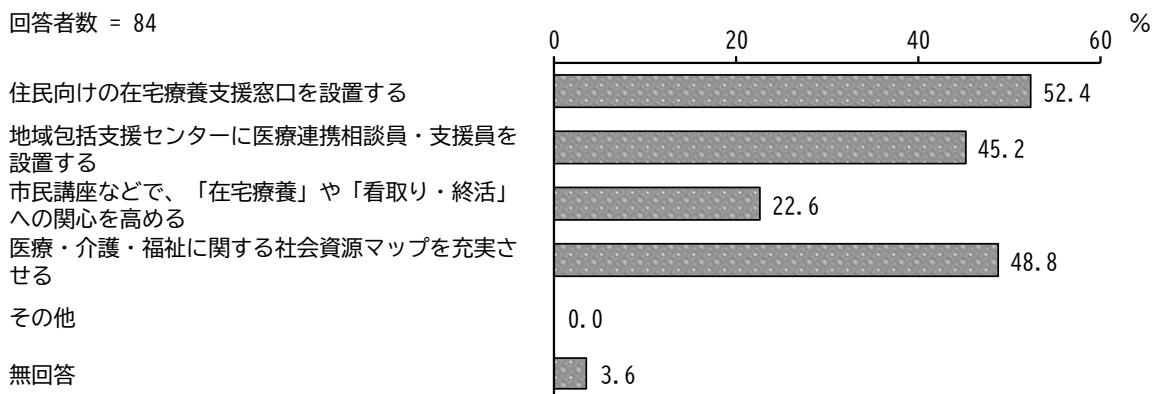
回答者数 = 84



(4) 相談支援・情報提供（2つまで○）

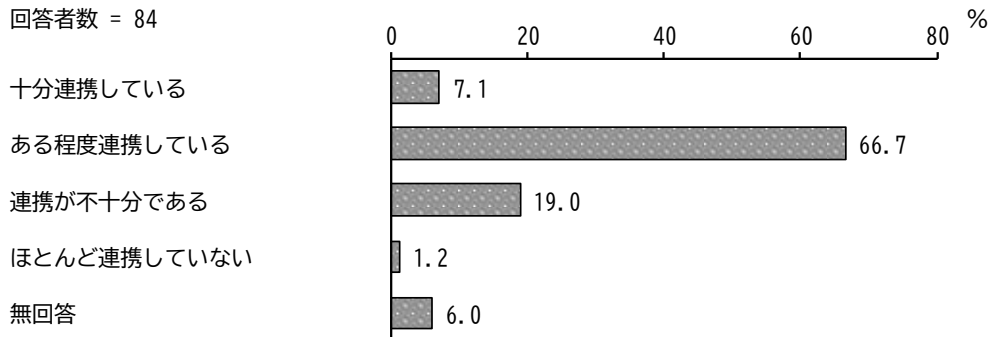
「住民向けの在宅療養支援窓口を設置する」の割合が52.4%と最も高く、次いで「医療・介護・福祉に関する社会資源マップを充実させる」の割合が48.8%、「地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する」の割合が45.2%となっています。

回答者数 = 84



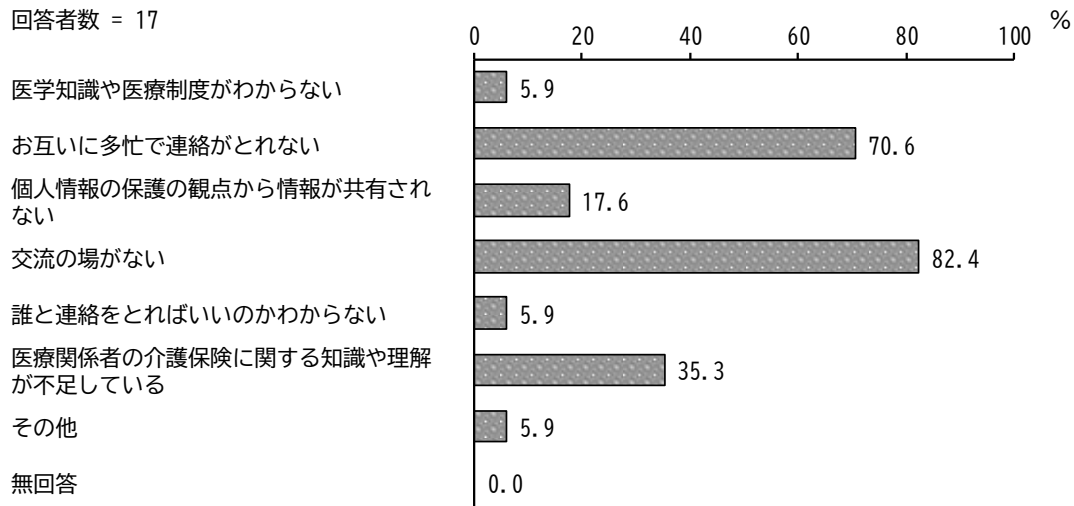
問 35 小金井市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)

「ある程度連携している」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「連携が不十分である」の割合が 19.0%となっています。



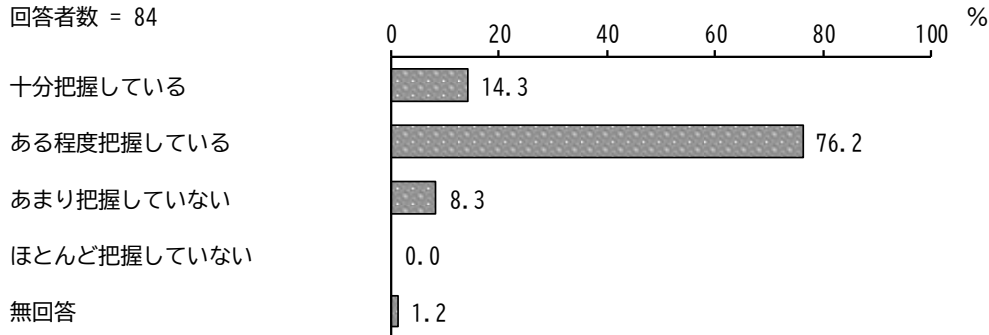
問 35-1 問 35 で「連携が不十分である」または「ほとんど連携していない」と答えた事業所におたずねします。そのように考える理由は何ですか。(いくつでも○)

「交流の場がない」の割合が 82.4%と最も高く、次いで「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が 70.6%、「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」の割合が 35.3%となっています。



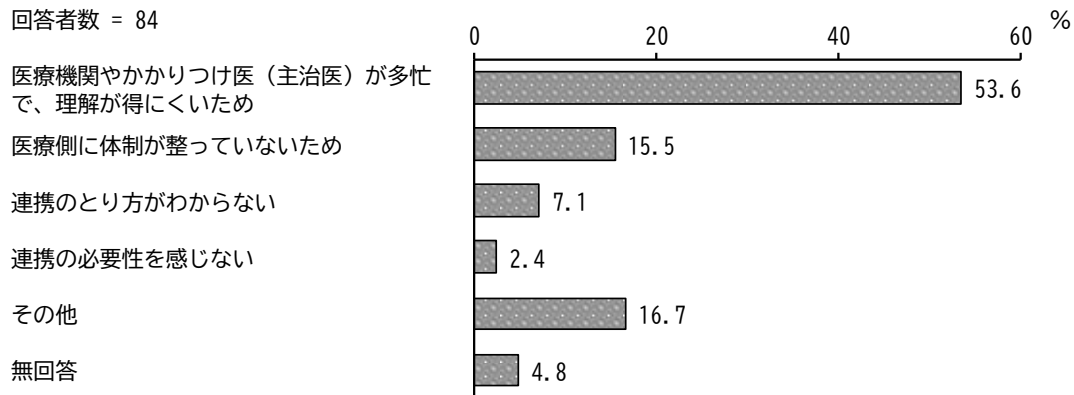
問 36 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。(1つに○)

「ある程度把握している」の割合が76.2%と最も高く、次いで「十分把握している」の割合が14.3%となっています。



問 37 一般に医療機関やかかりつけ医（主治医）などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。(1つに○)

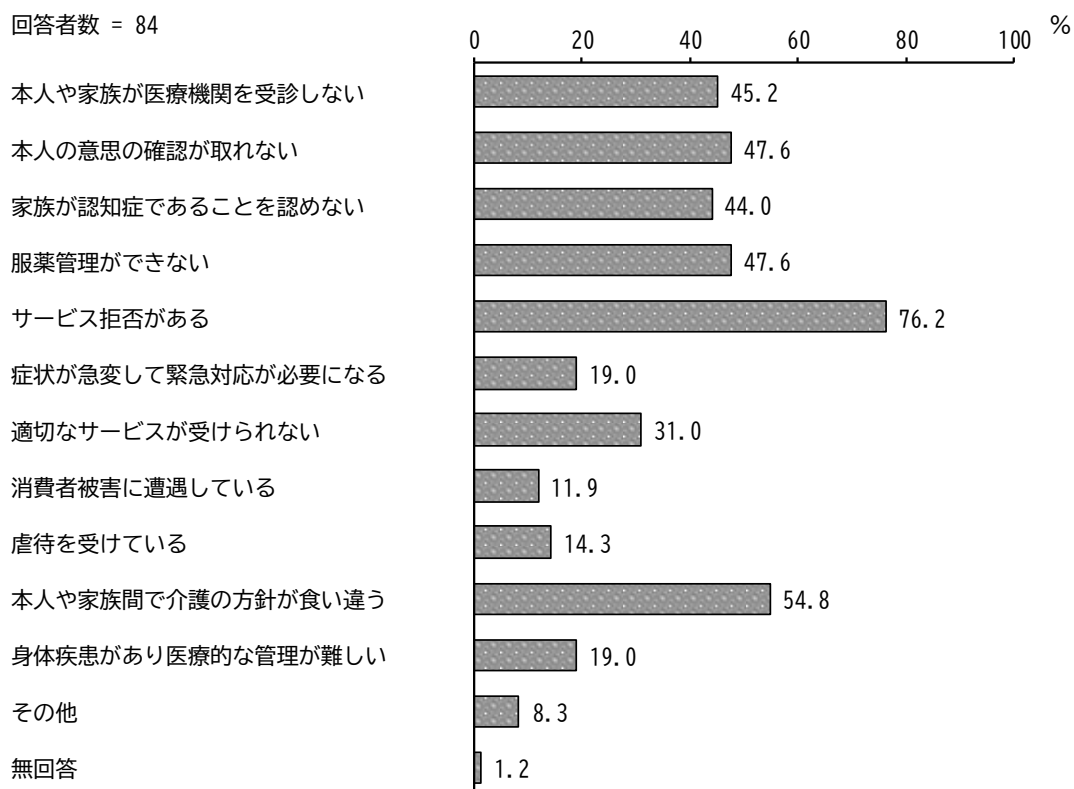
「医療機関やかかりつけ医（主治医）が多忙で、理解が得にくい」の割合が53.6%と最も高く、次いで「医療側に体制が整っていない」の割合が15.5%となっています。



8. 認知症の介護支援について

問 38 認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。(いくつでも○)

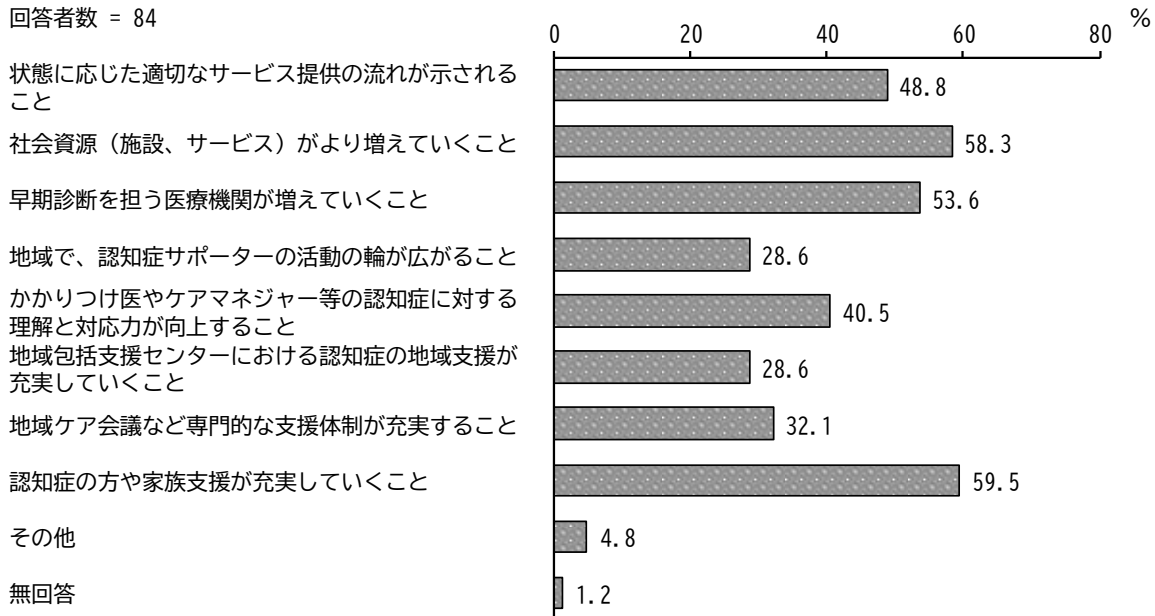
「サービス拒否がある」の割合が 76.2%と最も高く、次いで「本人や家族間で介護の方針が食い違う」の割合が 54.8%、「本人の意思の確認が取れない」、「服薬管理ができない」の割合が 47.6%となっています。



問 39 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。
(いくつでも○)

「認知症の方や家族支援が充実していくこと」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」の割合が 58.3%、「早期診断を担う医療機関が増えていくこと」の割合が 53.6%となっています。

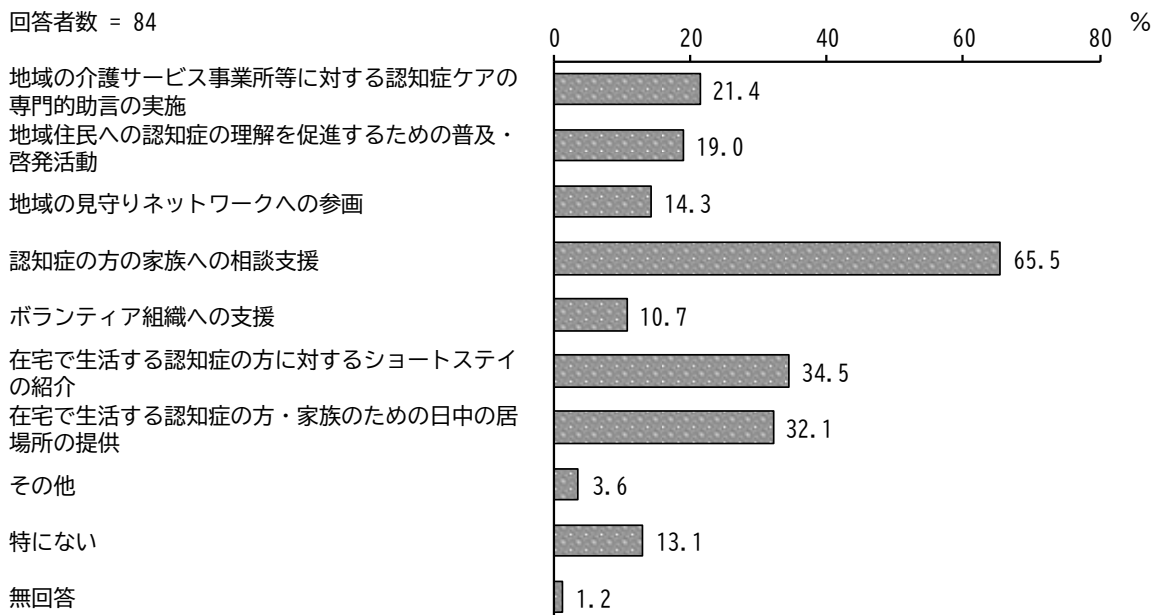
回答者数 = 84



問 40 貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。(いくつでも○)

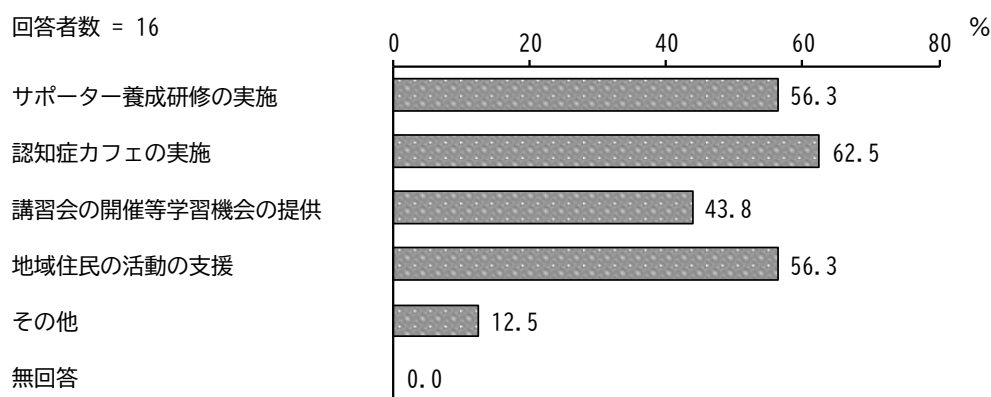
「認知症の方の家族への相談支援」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介」の割合が 34.5%、「在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供」の割合が 32.1%となっています。

回答者数 = 84



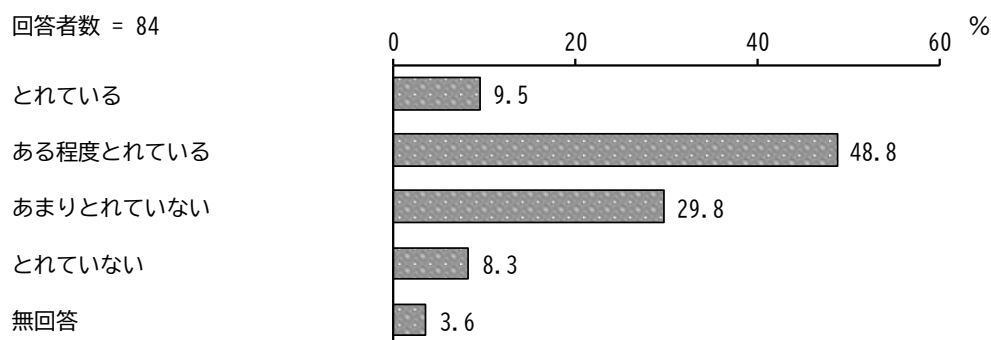
認知症の理解を促進するための普及・啓発活動

「認知症カフェの実施」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「サポーター養成研修の実施」、「地域住民の活動の支援」の割合が 56.3%となっています。



問 41 貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)

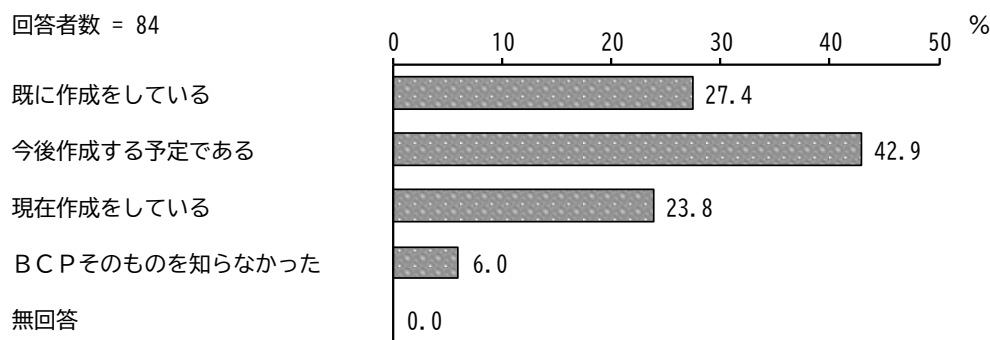
「ある程度とれている」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「あまりとれていない」の割合が 29.8%となっています。



9. 災害時の体制について

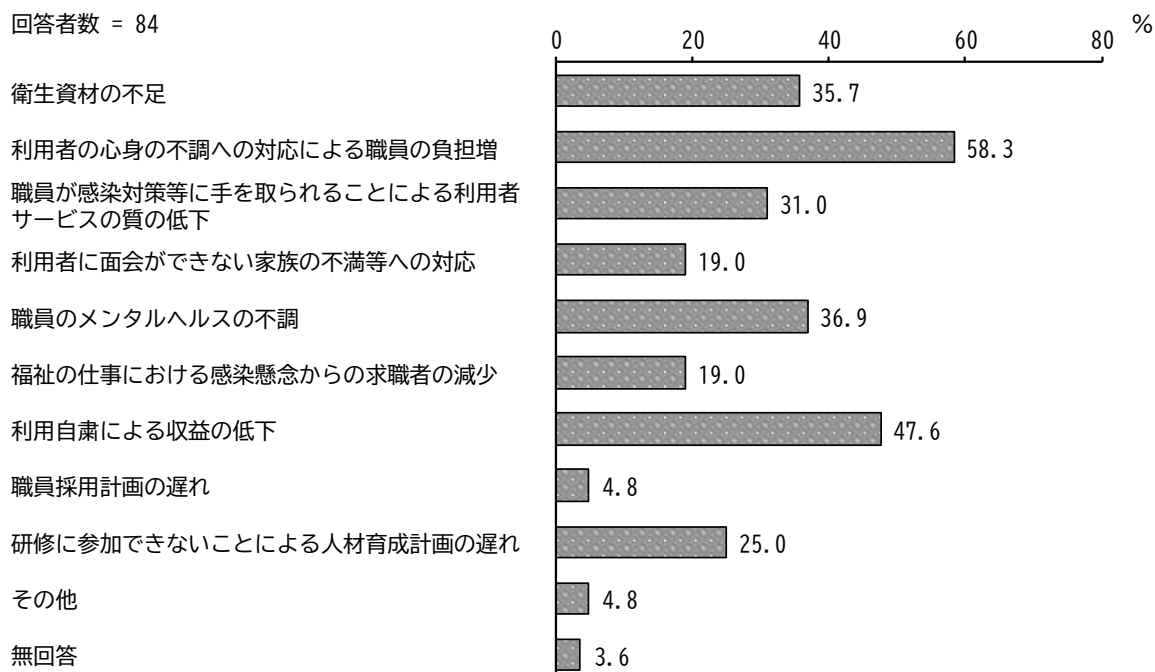
問 42 貴事業所では、BCP（事業継続計画）を作成していますか。（1つに○）

「今後作成する予定である」の割合が42.9%と最も高く、次いで「既に作成をしている」の割合が27.4%、「現在作成をしている」の割合が23.8%となっています。



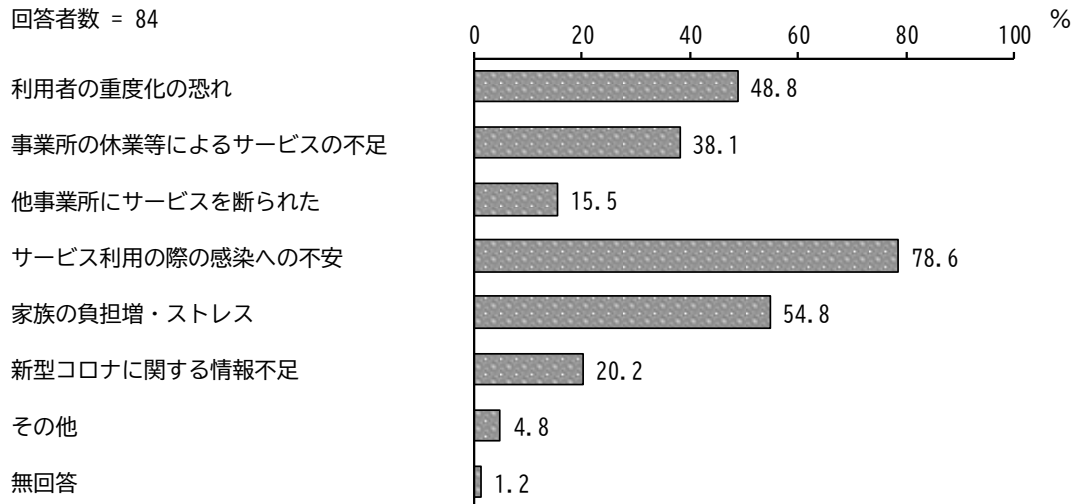
問 43 新型コロナウイルス感染症拡大により、貴事業所の経営などへの影響や課題はありましたか。（いくつでも○）

「利用者の心身の不調への対応による職員の負担増」の割合が58.3%と最も高く、次いで「利用自粛による収益の低下」の割合が47.6%、「職員のメンタルヘルスの不調」の割合が36.9%となっています。



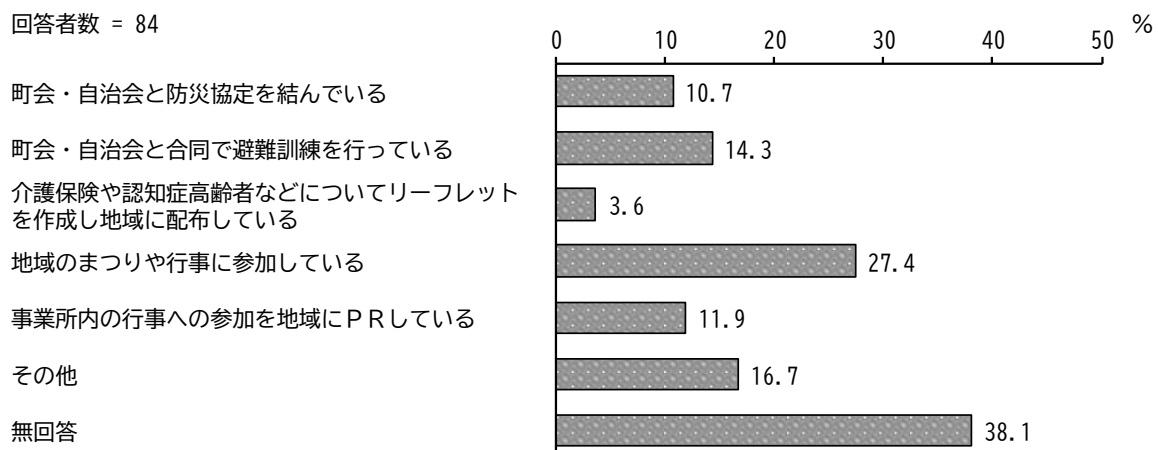
問 44 新型コロナウイルス感染症拡大により、サービス利用者への影響や課題はありましたか。(いくつでも○)

「サービス利用の際の感染への不安」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「家族の負担増・ストレス」の割合が 54.8%、「利用者の重度化の恐れ」の割合が 48.8%となっています。



問 45 貴事業所では災害時に備えてどの程度、地域と連携していますか。(いくつでも○)

「地域のまつりや行事に参加している」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「町会・自治会と合同で避難訓練を行っている」の割合が 14.3%、「事業所内の行事への参加を地域にPRしている」の割合が 11.9%となっています。

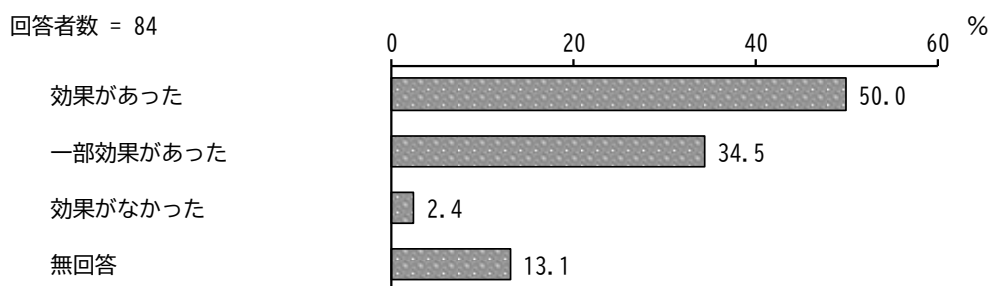


10. その他・市への要望について

問 46 小金井市ではコロナ禍における支援として、介護事業所運営補助金、PCR検査費等補助金、物価高騰対策事業継続支援金を実施しました。これらの事業について、事業所の事業継続に効果がありましたか。

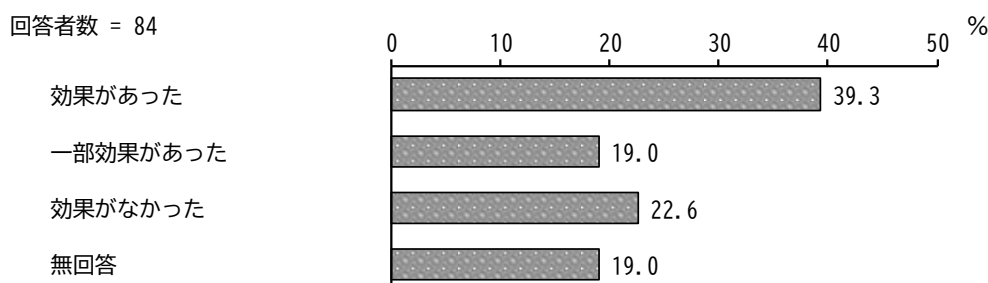
介護事業所運営補助金

「効果があった」の割合が50.0%と最も高く、次いで「一部効果があった」の割合が34.5%となっています。



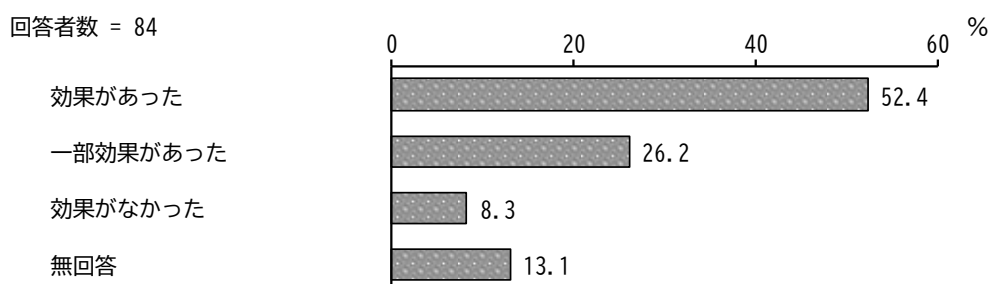
PCR検査費等補助金

「効果があった」の割合が39.3%と最も高く、次いで「効果がなかった」の割合が22.6%、「一部効果があった」の割合が19.0%となっています。



物価高騰対策事業継続支援金

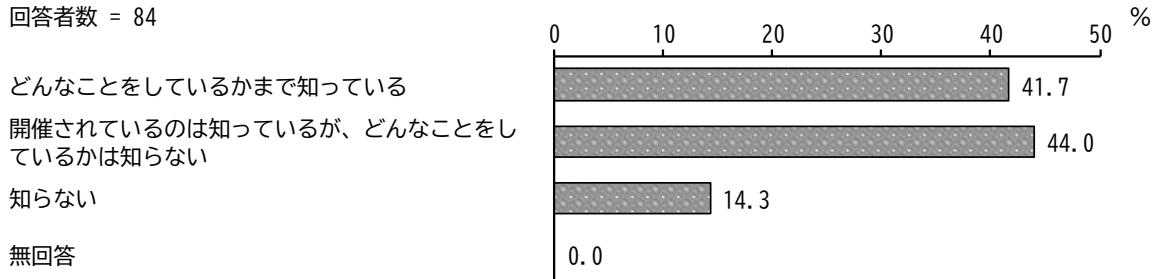
「効果があった」の割合が52.4%と最も高く、次いで「一部効果があった」の割合が26.2%となっています。



問 47 地域ケア会議について、知っていますか。(1つに○)

「開催されているのは知っているが、どんなことをしているかは知らない」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「どんなことをしているかまで知っている」の割合が 41.7%、「知らない」の割合が 14.3%となっています。

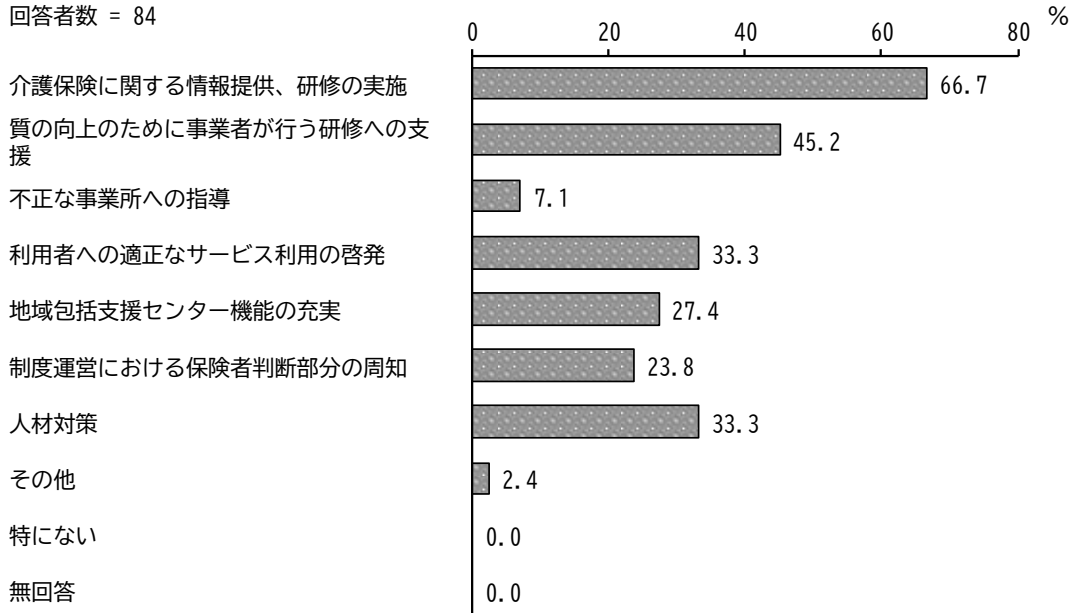
回答者数 = 84



問 48 今後、保険者としての小金井市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(3つまで○)

「介護保険に関する情報提供、研修の実施」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「質の向上のために事業者が行う研修への支援」の割合が 45.2%、「利用者への適正なサービス利用の啓発」、「人材対策」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 84



問 49 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・介護予防・日常生活支援総合事業で利用曜日が5回あれば利用できるのは4日、1回45分というのが、なかなか理解できない。5回目を自費で利用されている人もいるが、5回利用されている人もおり、バラバラ。事業所が選択するようになっているのか。公平性から言っても、決めてほしい。
- ・人材確保がままならない状況を解決してほしい。
- ・介護保険改正時の、保険者としての見解を周知する場を開催して頂きたいです。
- ・コロナのような感染症が発生した時や、今後起こりうる災害発生時、どのような対応ができるのか高齢者のみ世帯や一人暮らし世帯に対して、どのような支援が必要になるのか、対策が必要ではないかと思われます。
- ・利用者の支援をする中で、介護保険では対応しきれない部分をどのように支援していくのか、介護保険以外の支援の検討が必要ではないかと思ひます。
- ・精神面での疾患がみられるご家族、ご利用者に対して、早く市や包括が動けるようになればいいと思われます、虐待など問題が起きてから動くのではなく早めに対応してほしい、ある程度の強制的な引き離しなどでできればと思われます。在宅生活を続けるのが難しい方なども在宅しない方向で対応できればと思ひます。
- ・研修制度の充実の中で、①行政としての新任研修・現任研修・主任ケアマネ研修の機会を毎年位置づけてほしい。(人数制限に伴い、研修参加を諦めてしまっている。偏らないようにしてほしい) ②制度改正などにも伴い行政としての見解③行政としてのBCPの考えをしっかりとアナウンスしてほしい。また、ケアプラン点検なども最近は行えていないようなので、是非行ってもらい、ケアマネジメントの質の向上に繋げられるような機会があると有難い。
- ・ネットを活用できない高齢者へむけての情報発信の仕方
- ・認知症カフェや認知症家族会にも参加しにくい家族・本人の支援方法が何かあれば良いと思う。また子ども食堂のようなお年寄りが気軽に食事に来れるような場所があればよいと思う。
- ・小金井市に夜間対応型訪問介護、随時対応型訪問介護看護の事業所を作ってほしい。それがあつことで救急車の要請が減つたり、独居の方の重症化や緊急事態が減る。
- ・地域包括ケア会議の開催状況が知りたい。
- ・通所介護と医療連携の強化についても具体的な情報があれば提供をお願いします。

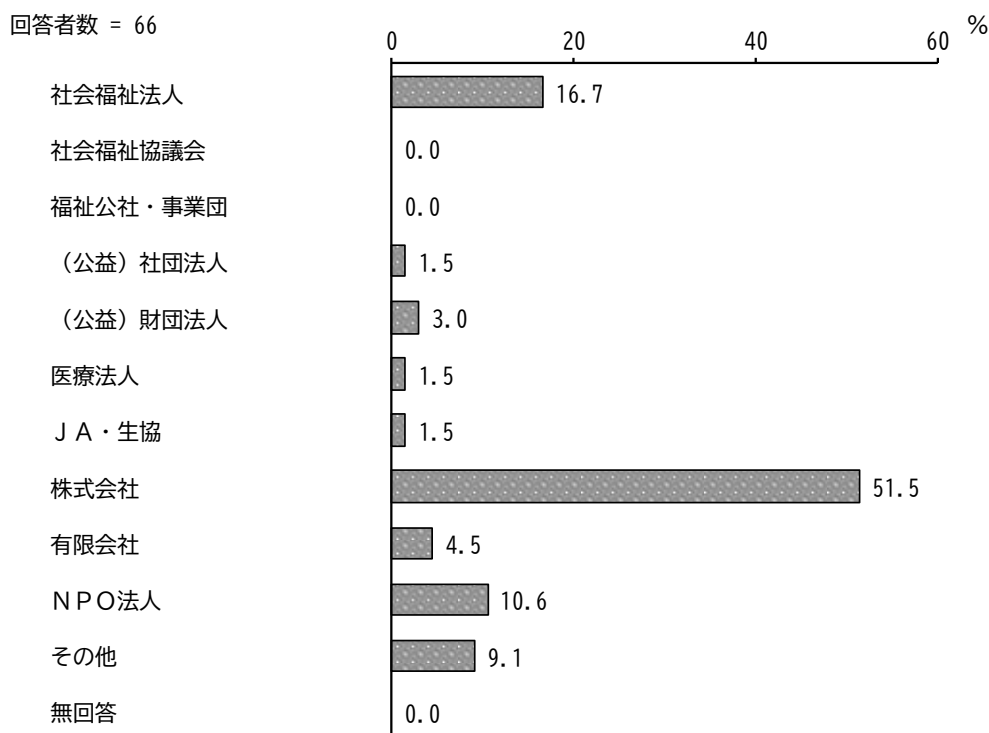
(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

IV-6 ケアマネジャー調査

1. 回答者属性

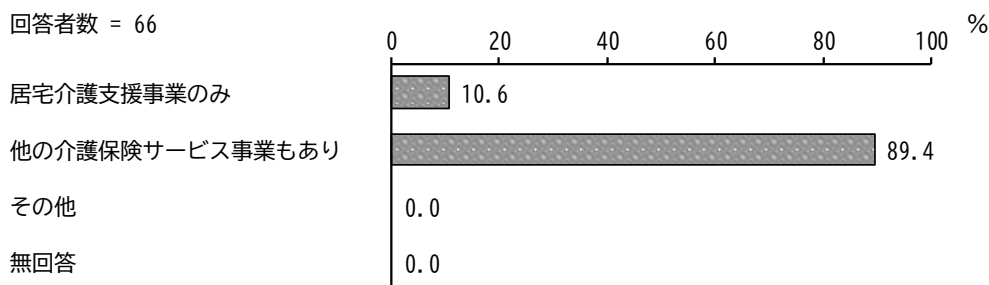
問1 あなたの所属事業所の組織体はどれに当てはまりますか。(1つに○)

「株式会社」の割合が51.5%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が16.7%、「NPO法人」の割合が10.6%となっています。



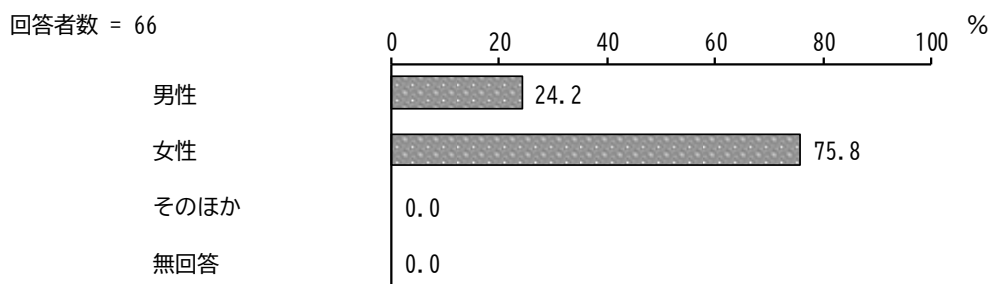
問2 あなたの所属事業所の組織形態は次のどれに当てはまりますか。(1つに○)

「居宅介護支援事業のみ」の割合が10.6%、「他の介護保険サービス事業もあり」の割合が89.4%となっています。

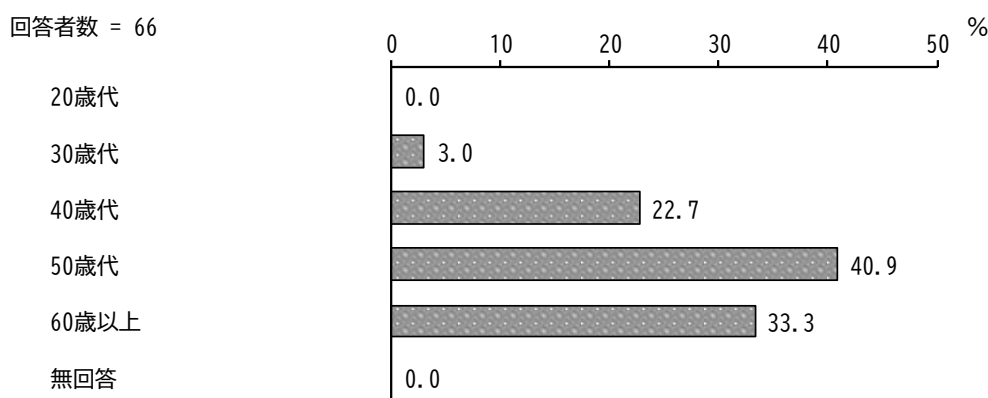


問3 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「女性」の割合が75.8%と最も高く、次いで「男性」の割合が24.2%となっています。

**問4 現在のあなたの年齢は次のどれですか。(1つに○) ※ 令和4年12月1日現在の年齢でお答えください。**

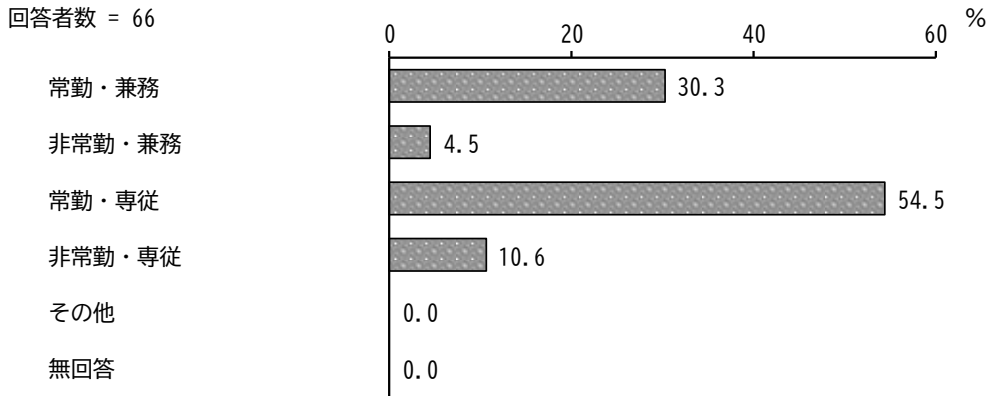
「50歳代」の割合が40.9%と最も高く、次いで「60歳以上」の割合が33.3%、「40歳代」の割合が22.7%となっています。



2. 勤務形態について

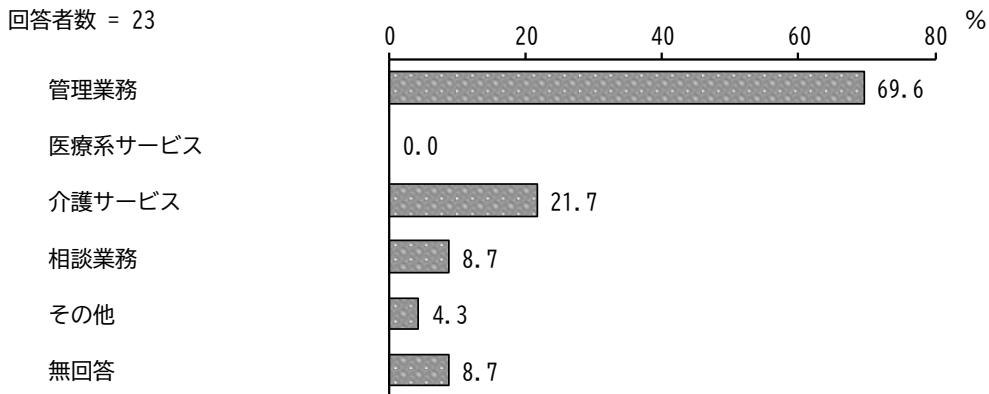
問5 あなたの勤務形態はどれですか。(1つに○)

「常勤・専従」の割合が54.5%と最も高く、次いで「常勤・兼務」の割合が30.3%、「非常勤・専従」の割合が10.6%となっています。



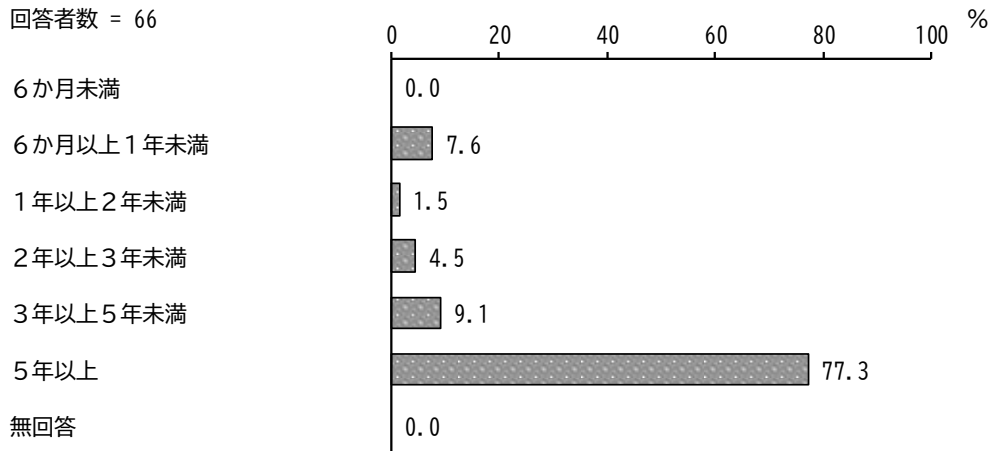
問5-1 問5で「常勤・兼務」または「非常勤・兼務」と答えた方におたずねします。あなたは、どのような業務を兼務していますか。(いくつでも○)

「管理業務」の割合が69.6%と最も高く、次いで「介護サービス」の割合が21.7%となっています。



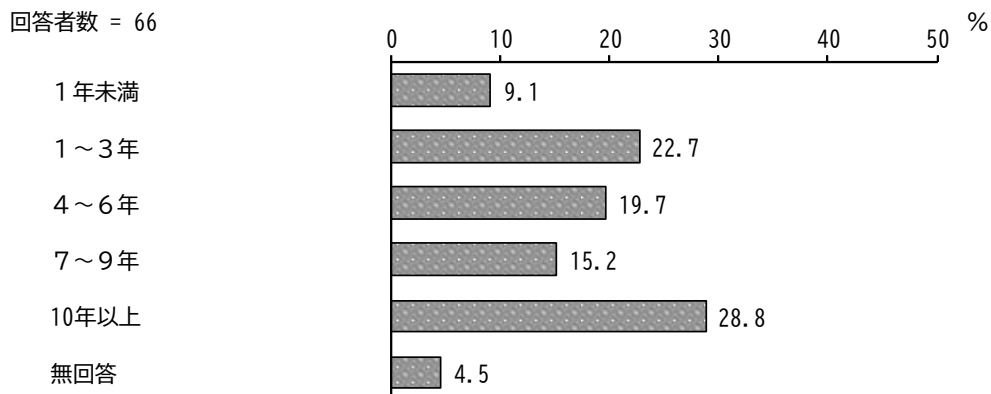
問6 あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職などを含めた合計期間でお答えください。(1つに○)

「5年以上」の割合が77.3%と最も高くなっています。



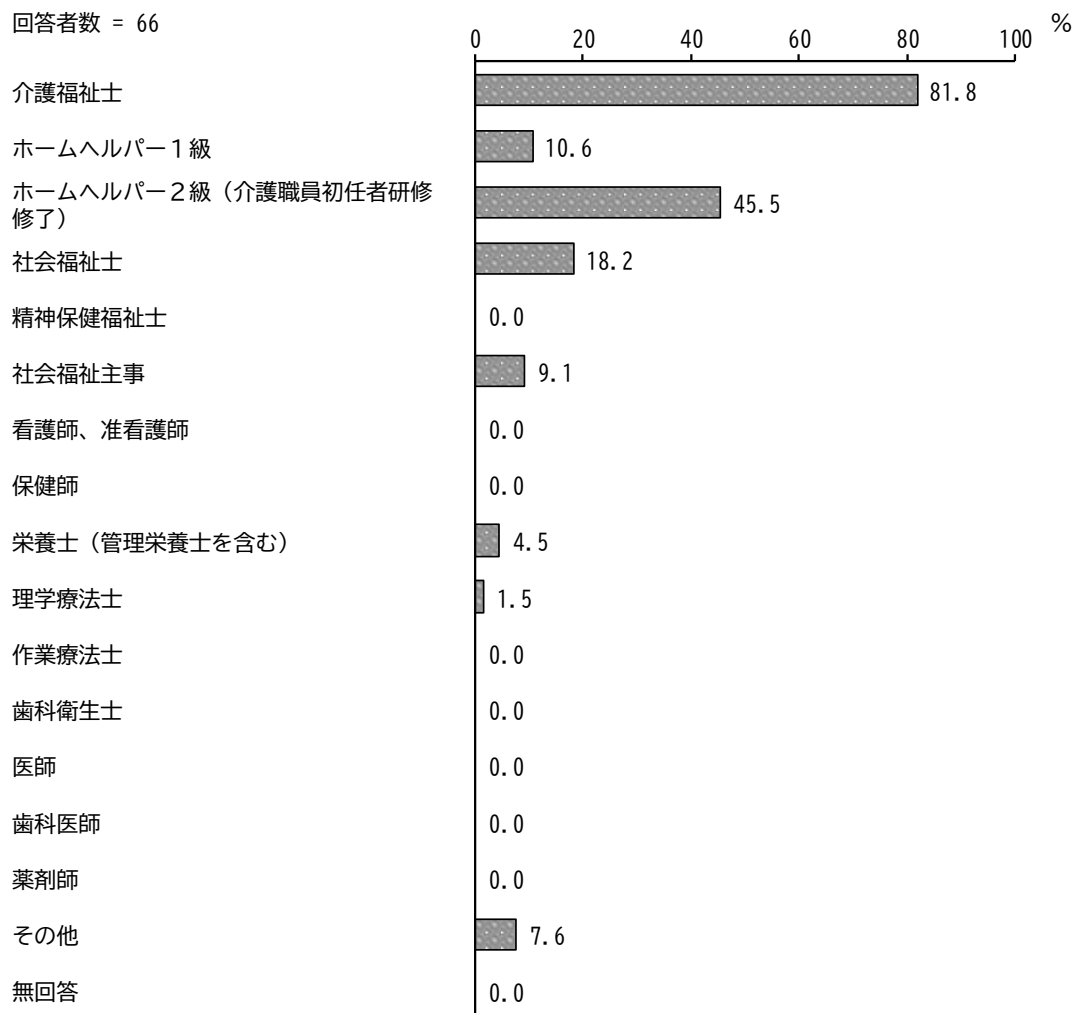
経験年数

「10年以上」の割合が28.8%と最も高く、次いで「1～3年」の割合が22.7%、「4～6年」の割合が19.7%となっています。



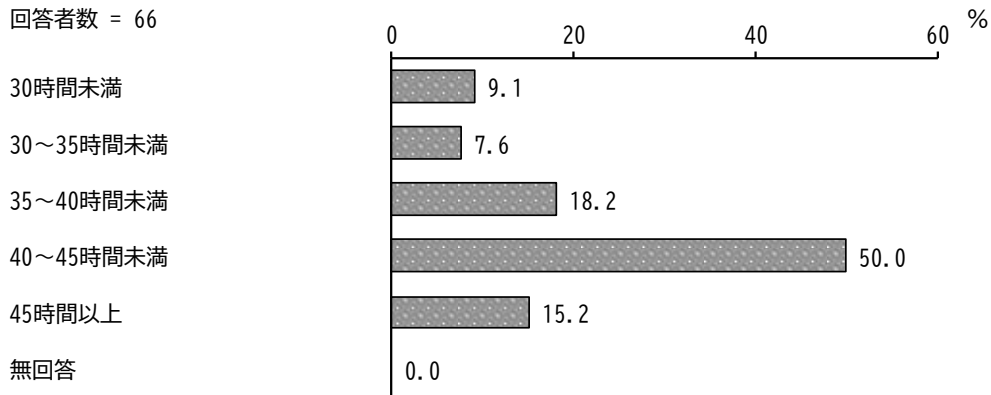
問7 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(いくつでも○)

「介護福祉士」の割合が81.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパー2級（介護職員初任者研修修了）」の割合が45.5%、「社会福祉士」の割合が18.2%となっています。



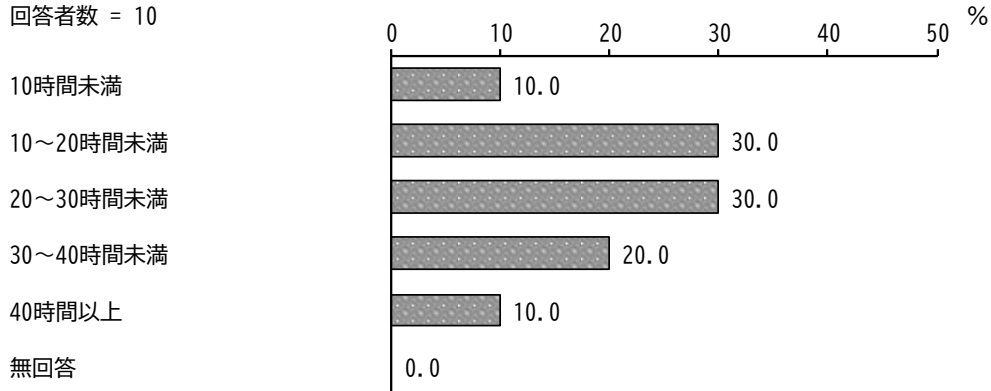
問8 あなたの一週間の実際の勤務時間はどのくらいですか。(1つに○)

「40～45 時間未満」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「35～40 時間未満」の割合が 18.2%、「45 時間以上」の割合が 15.2%となっています。



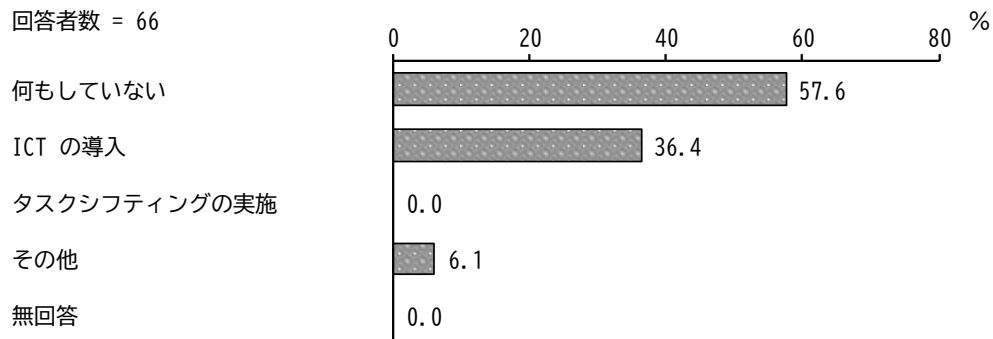
問8-1 問8で「45 時間以上」と答えた方におたずねします。1か月の超過勤務時間はどのくらいですか。(1つに○)

「10～20 時間未満」、「20～30 時間未満」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「30～40 時間未満」の割合が 20.0%となっています。



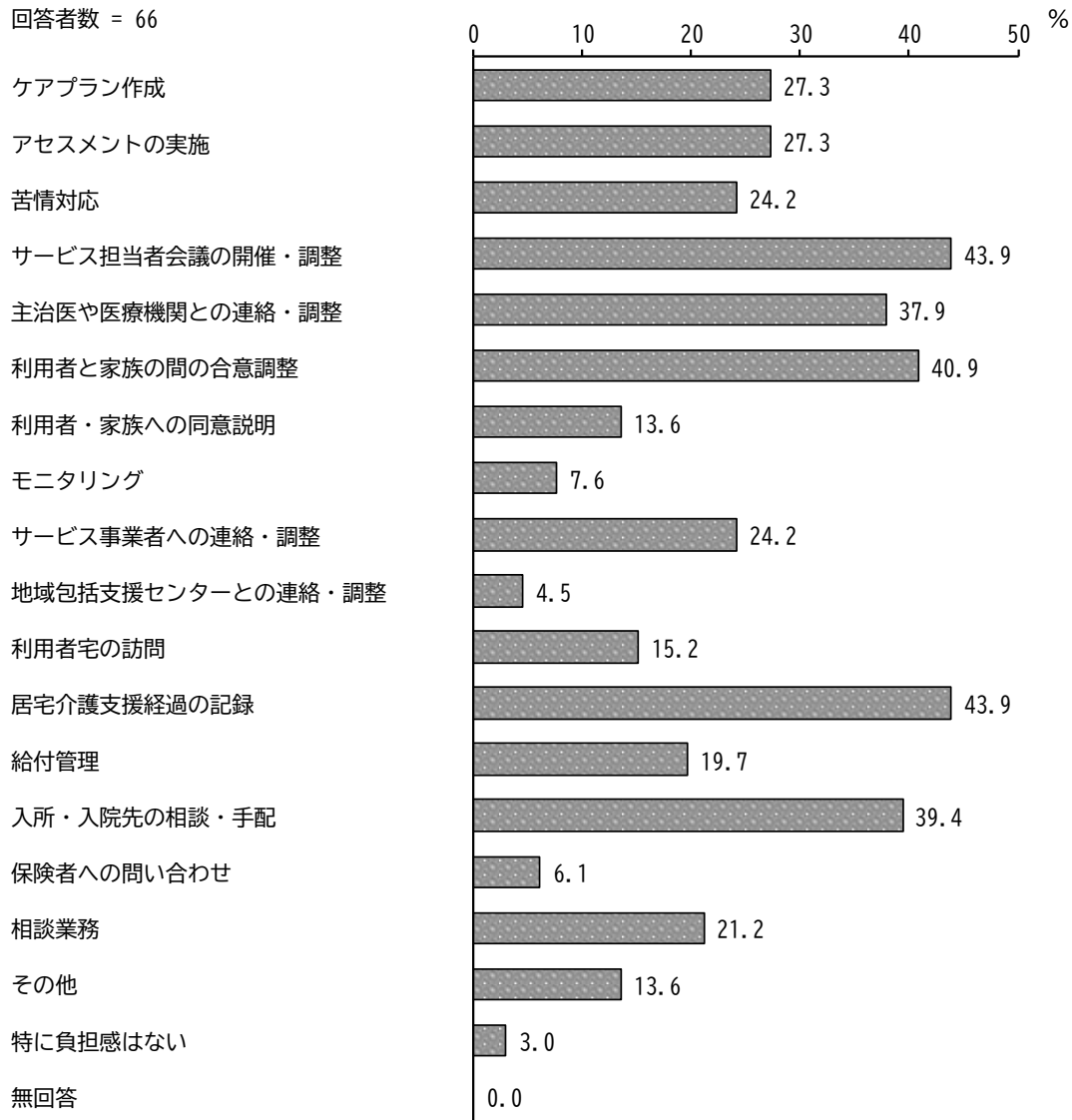
問8-2 生産性向上（労働時間短縮）のためにどのようなことに取り組まれていますか。（1つに○）

「何もしていない」の割合が57.6%と最も高く、次いで「ICTの導入」の割合が36.4%となっています。



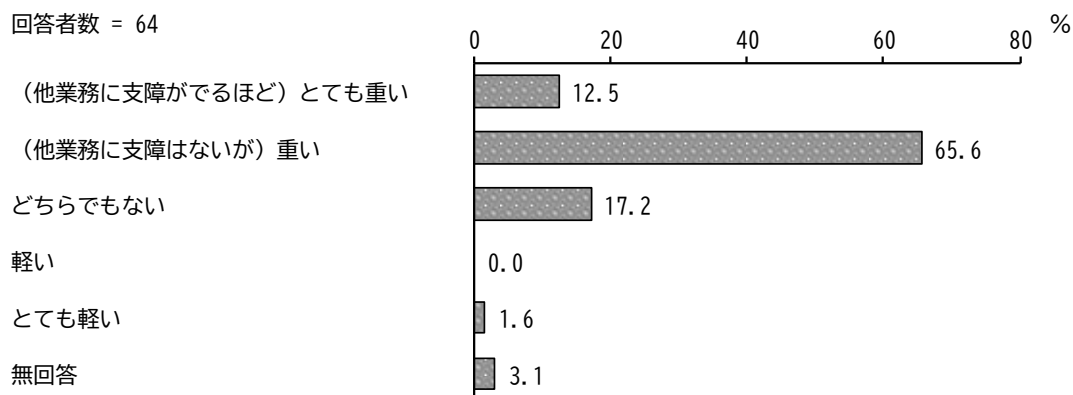
問9 どのような業務に負担感がありますか。(いくつでも○)

「サービス担当者会議の開催・調整」、「居宅介護支援経過の記録」の割合が43.9%と最も高く、次いで「利用者と家族の間の合意調整」の割合が40.9%となっています。



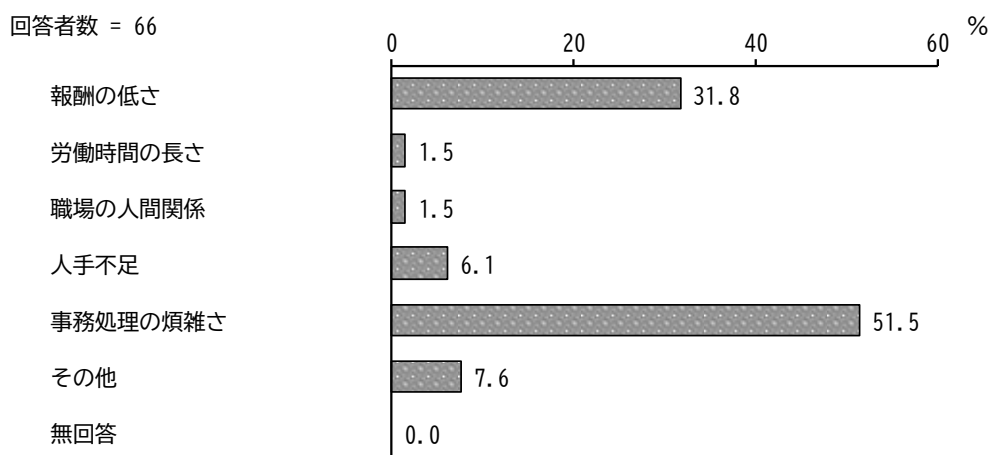
問9-1 事務作業の負担感はどの程度ですか。(1つに○)

「(他業務に支障はないが) 重い」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 17.2%、「(他業務に支障がでるほど) とても重い」の割合が 12.5%となっています。



問9-2 今後ケアマネジャーの仕事が続けていくに当たり、どのような改善が必要だと思えますか。(1つに○)

「事務処理の煩雑さ」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「報酬の低さ」の割合が 31.8%となっています。



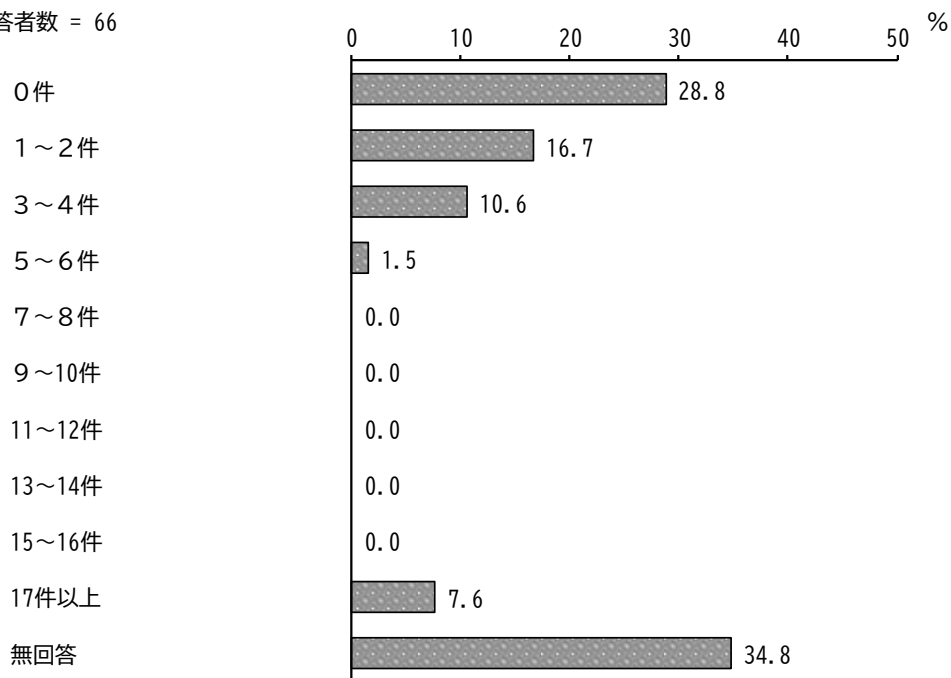
3. ケアマネジメントの状況について

問10 あなたが令和4年10月に小金井市の要支援・要介護認定者、総合事業対象者（チェックリスト該当者）に対し作成したケアプランの給付管理件数は何件でしたか。（件数記入）

総合事業対象者（チェックリスト該当者）

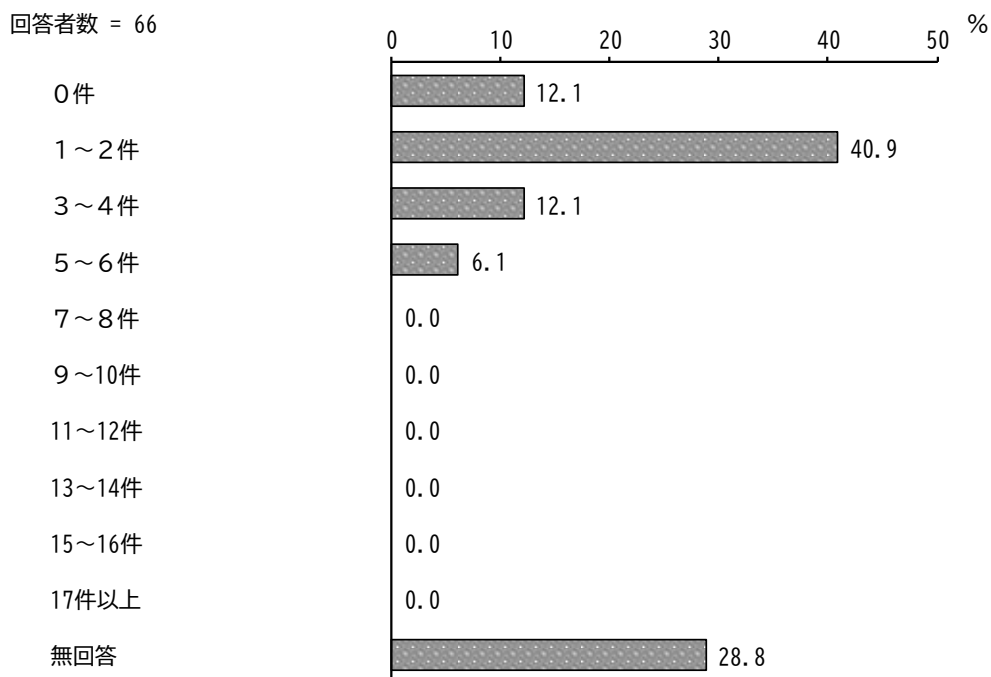
「0件」の割合が28.8%と最も高く、次いで「1～2件」の割合が16.7%、「3～4件」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 66



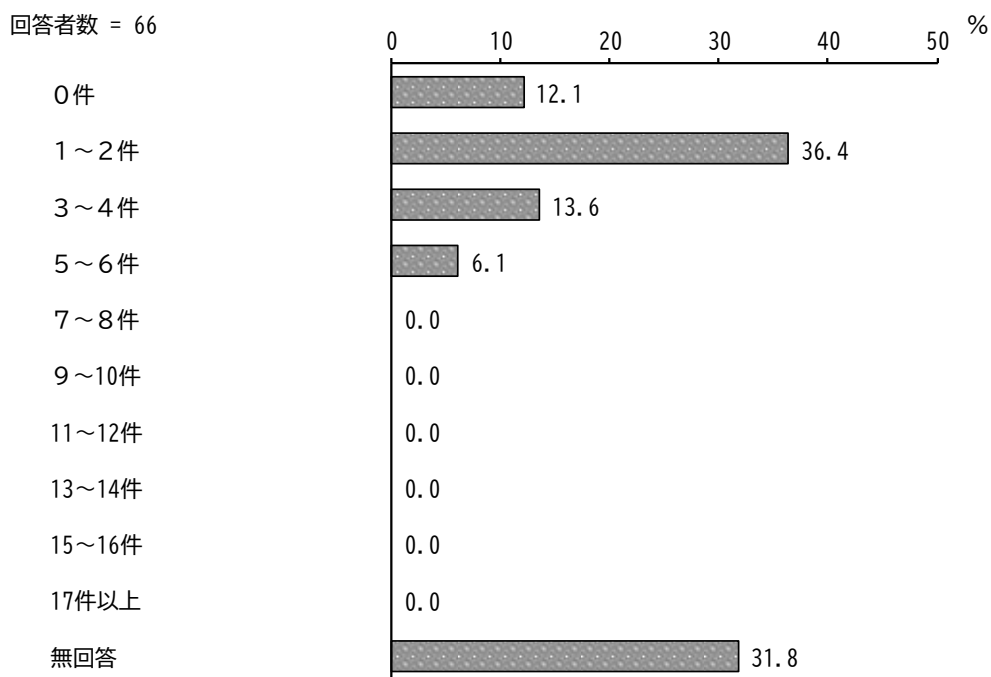
要支援1

「1～2件」の割合が40.9%と最も高く、次いで「0件」、「3～4件」の割合が12.1%となっています。



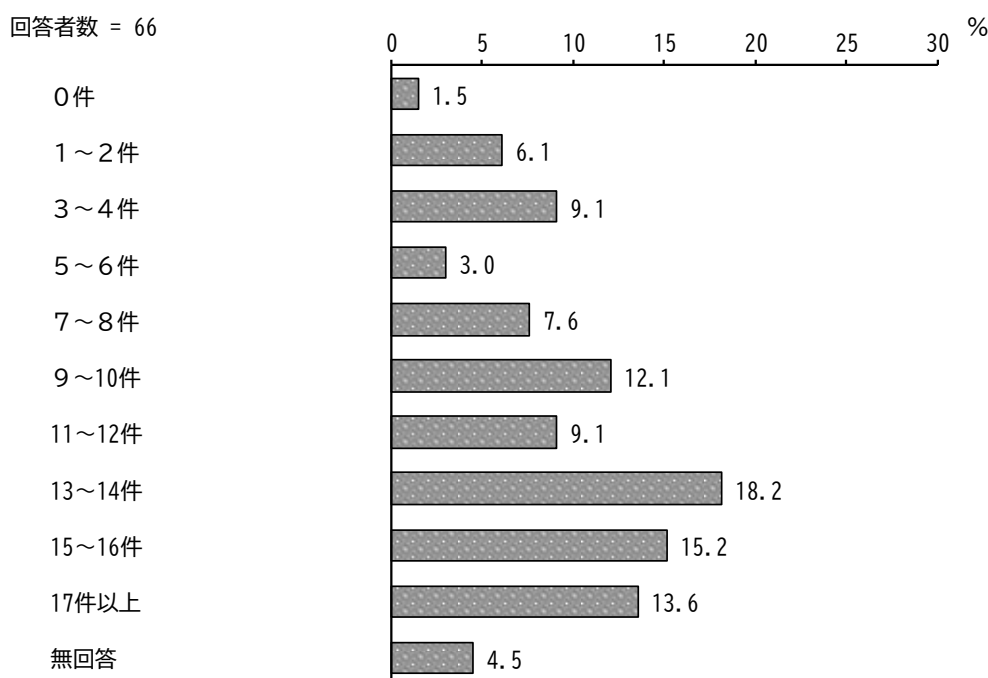
要支援2

「1～2件」の割合が36.4%と最も高く、次いで「3～4件」の割合が13.6%、「0件」の割合が12.1%となっています。



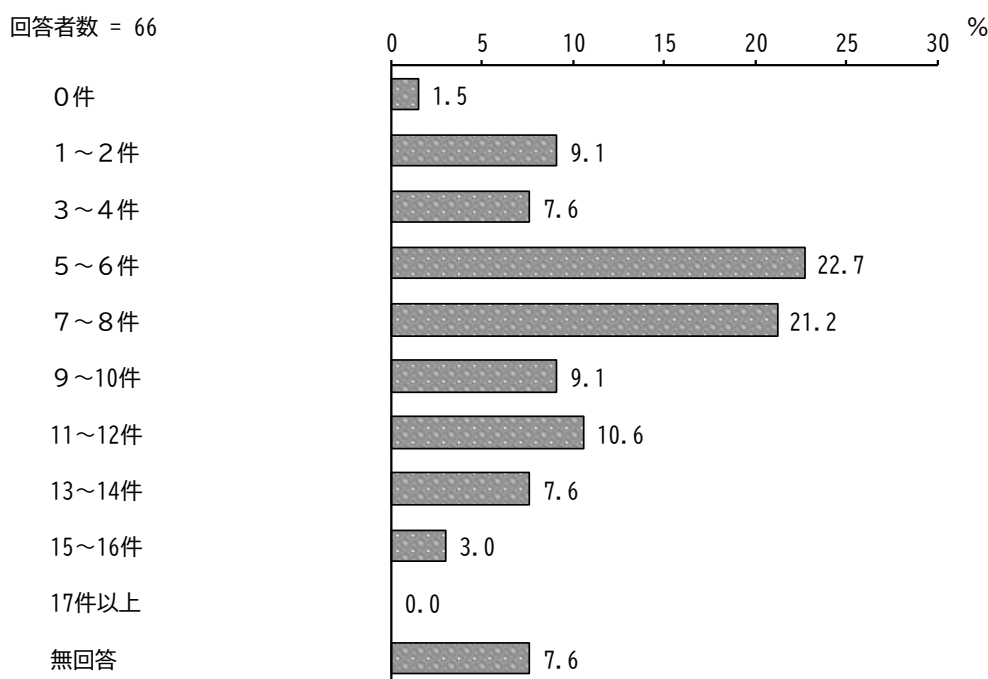
要介護1

「13～14件」の割合が18.2%と最も高く、次いで「15～16件」の割合が15.2%、「17件以上」の割合が13.6%となっています。



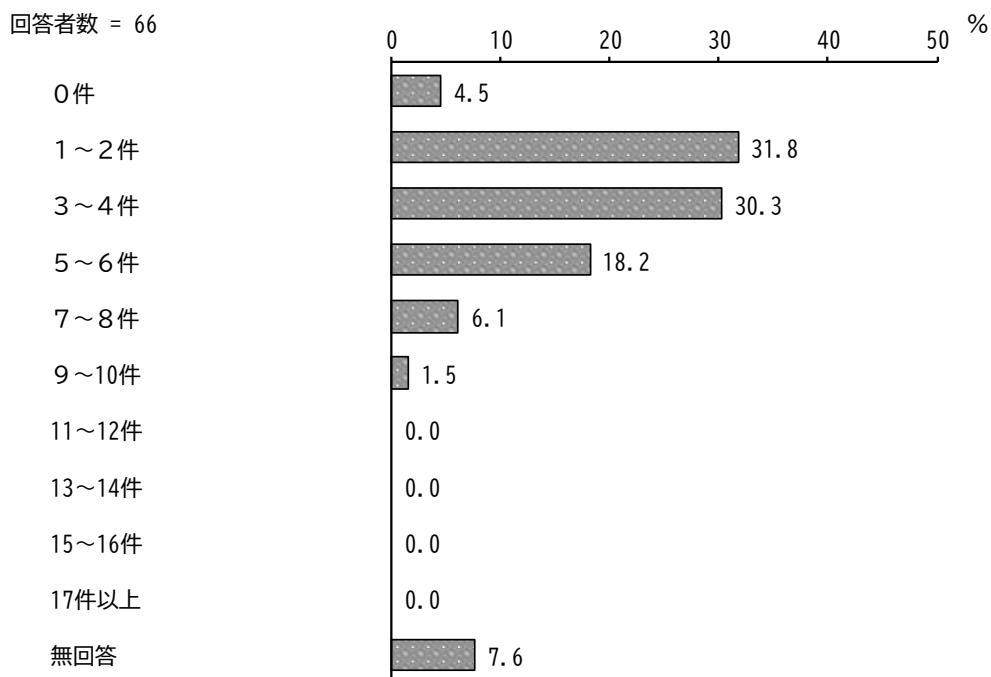
要介護2

「5～6件」の割合が22.7%と最も高く、次いで「7～8件」の割合が21.2%、「11～12件」の割合が10.6%となっています。



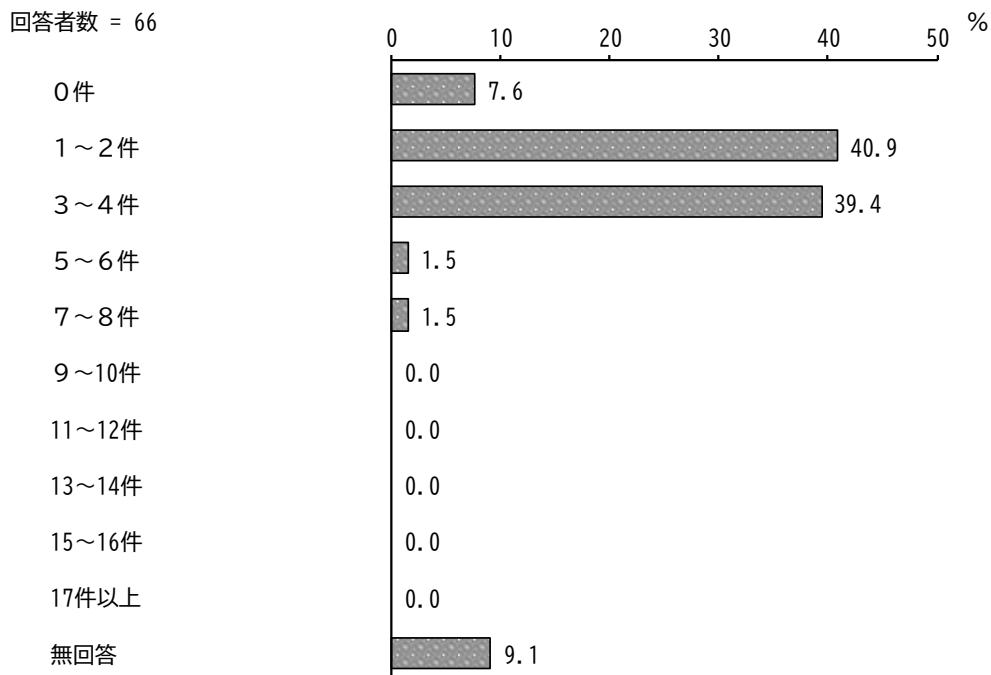
要介護3

「1～2件」の割合が31.8%と最も高く、次いで「3～4件」の割合が30.3%、「5～6件」の割合が18.2%となっています。



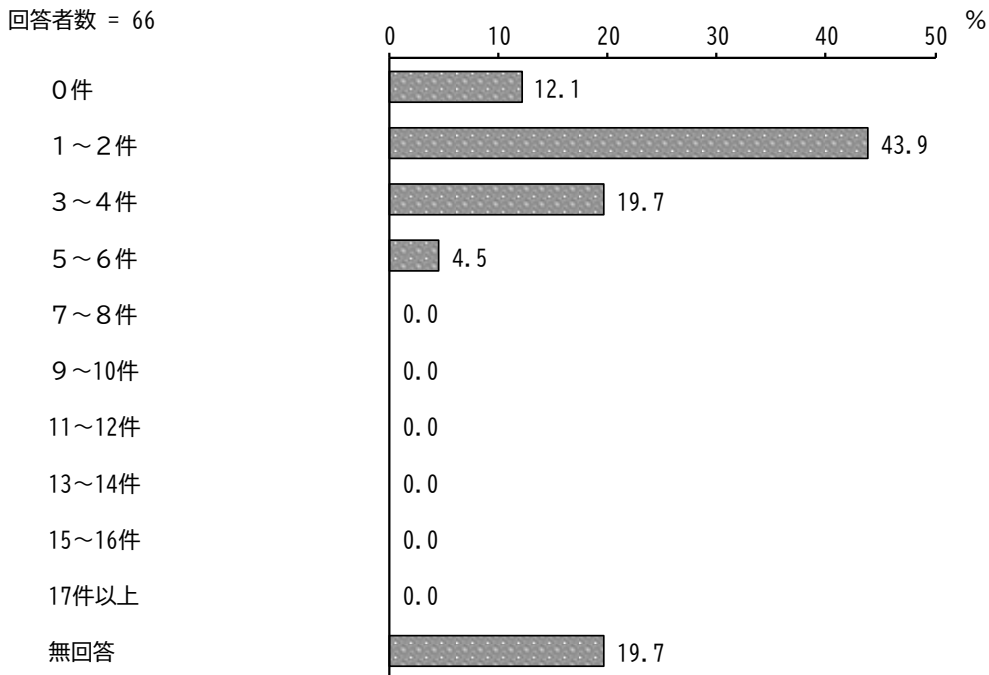
要介護4

「1～2件」の割合が40.9%と最も高く、次いで「3～4件」の割合が39.4%となっています。



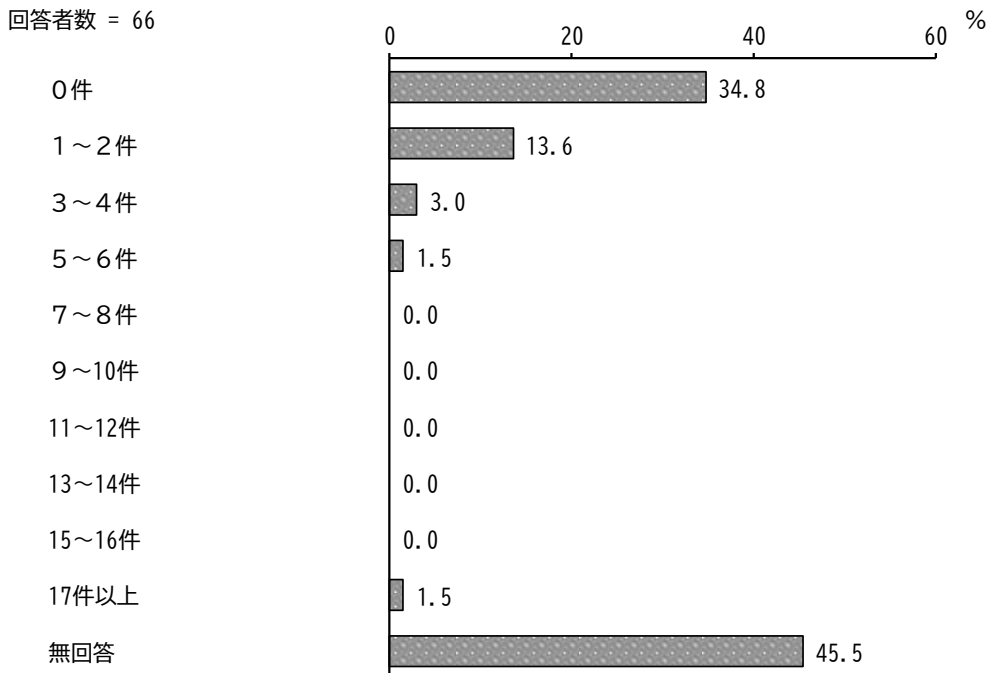
要介護5

「1～2件」の割合が43.9%と最も高く、次いで「3～4件」の割合が19.7%、「0件」の割合が12.1%となっています。



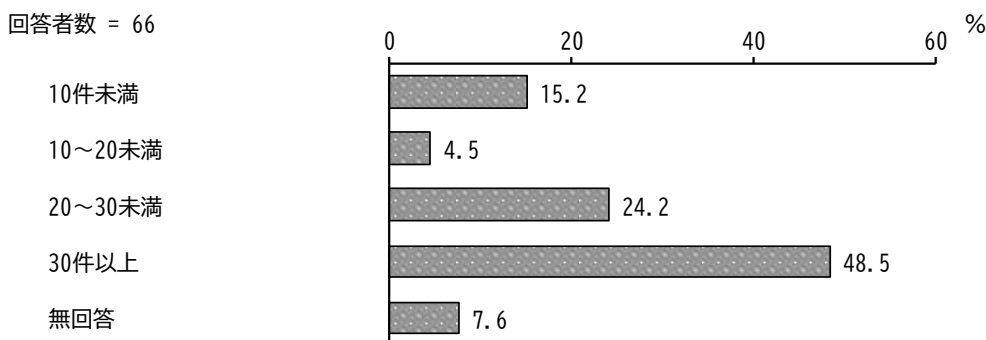
申請中・暫定プラン

「0件」の割合が34.8%と最も高く、次いで「1～2件」の割合が13.6%となっています。



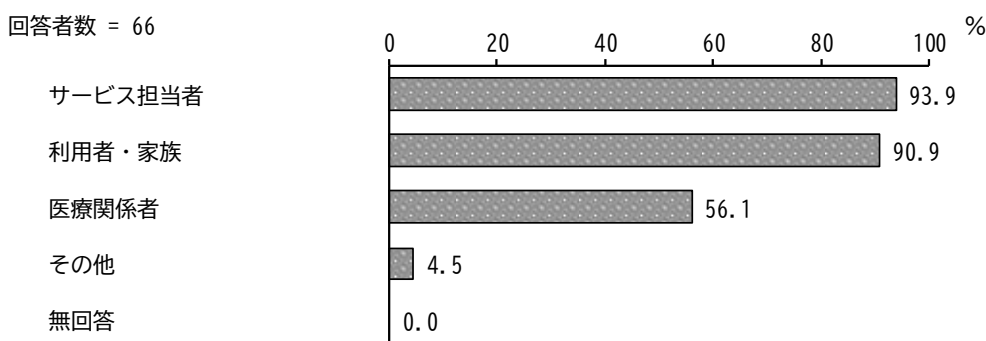
総件数

「30 件以上」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「20～30 未満」の割合が 24.2%、「10 件未満」の割合が 15.2%となっています。



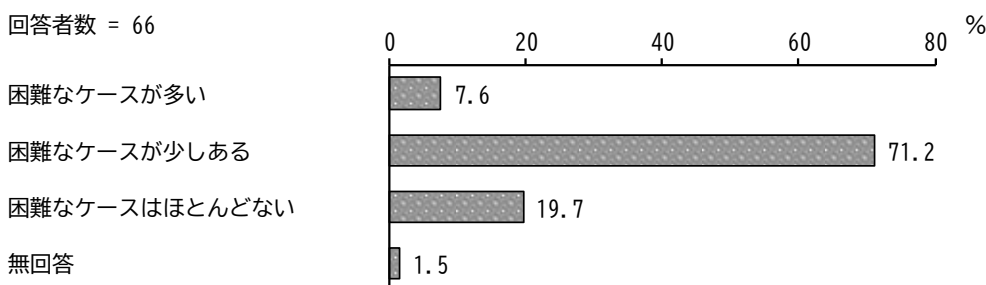
問 11 ケアプランの作成にかかわる人はどなたですか。(いくつでも○)

「サービス担当者」の割合が 93.9%と最も高く、次いで「利用者・家族」の割合が 90.9%、「医療関係者」の割合が 56.1%となっています。



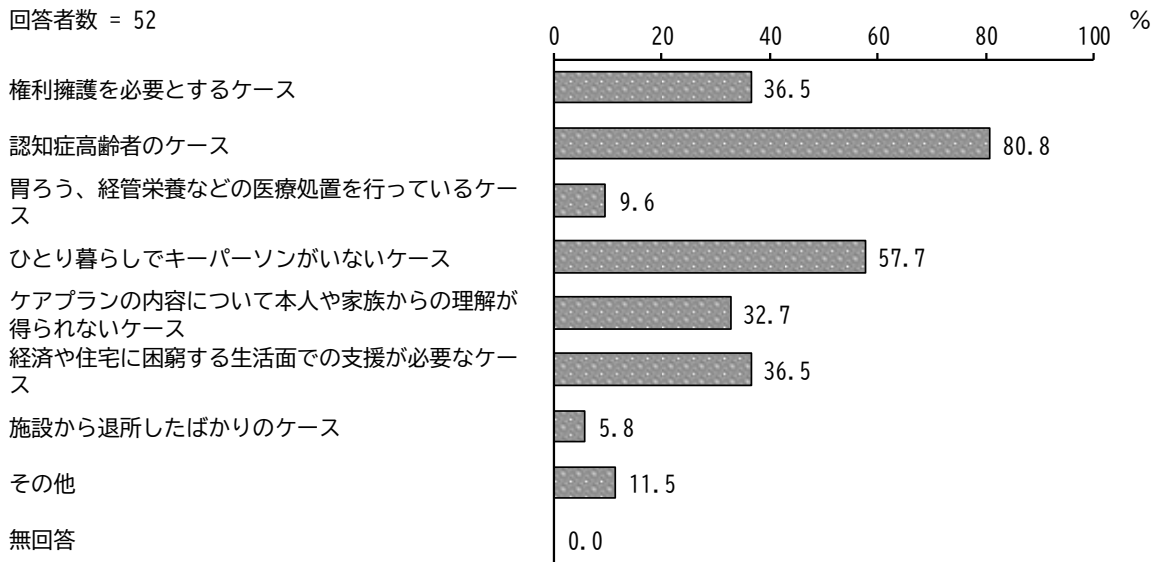
問 12 ケアプランの作成が困難だったケースはどの程度ありますか。(1つに○)

「困難なケースが少しある」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「困難なケースはほとんどない」の割合が 19.7%となっています。



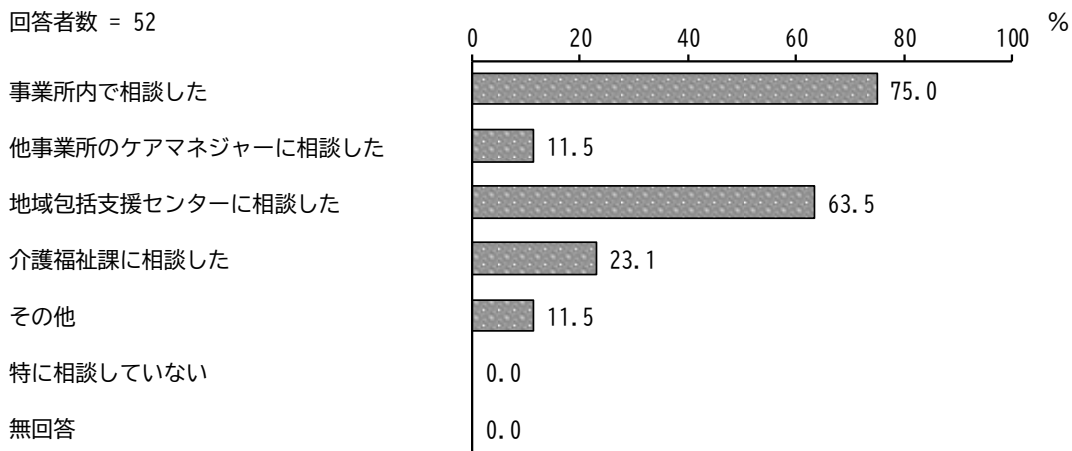
問 12-1 問 12 で「困難なケースが多い」、「困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。困難だったのは、どのようなケースですか。(いくつでも○)

「認知症高齢者のケース」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース」の割合が 57.7%、「権利擁護を必要とするケース」、「経済や住宅に困窮する生活面での支援が必要なケース」の割合が 36.5%となっています。



問 12-2 問 12 で「困難なケースが多い」、「困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。困難だったケースについて、あなたはどこかに相談しましたか。(いくつでも○)

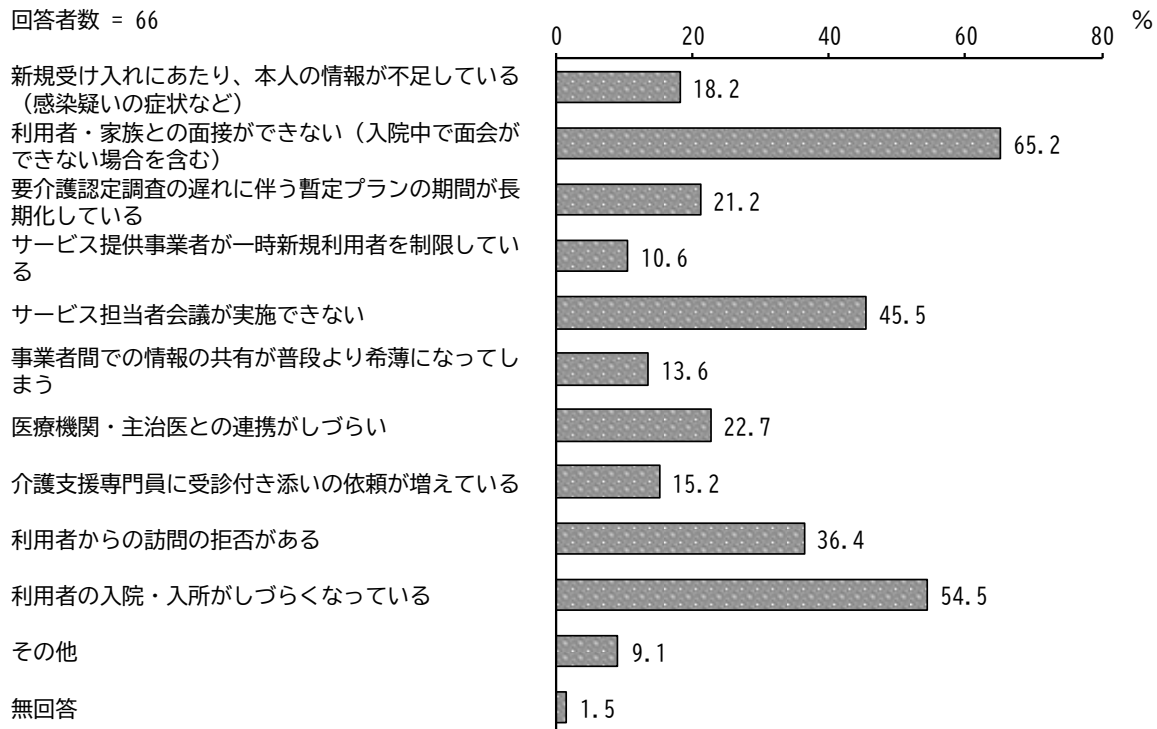
「事業所内で相談した」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センターに相談した」の割合が 63.5%、「介護福祉課に相談した」の割合が 23.1%となっています。



問 13 新型コロナウイルス感染拡大の中、ケアマネジメントを実施していく上でどのような課題がありますか。(いくつでも○)

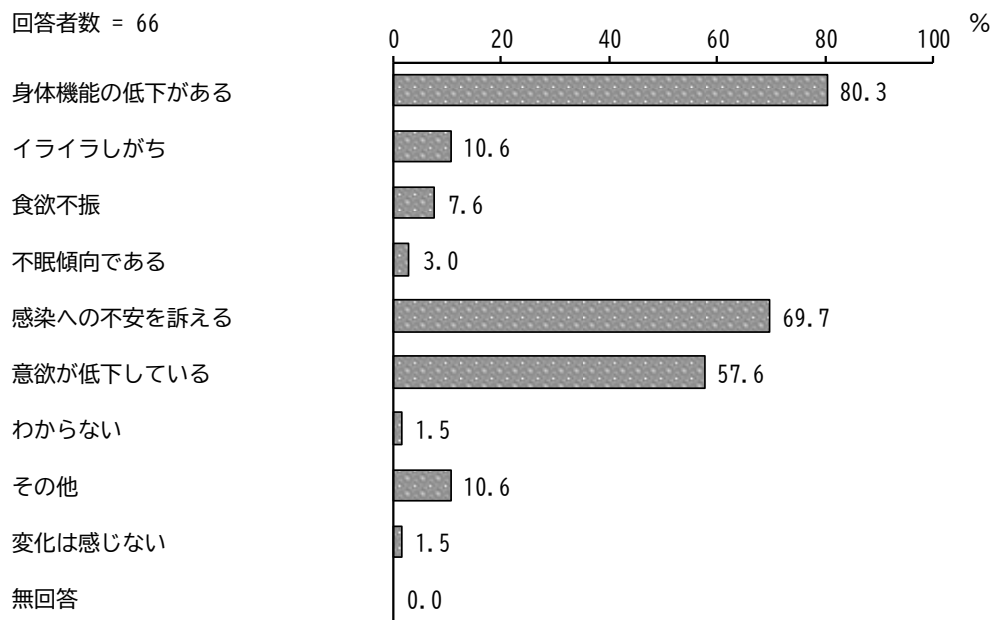
「利用者・家族との面接ができない（入院中で面会ができない場合を含む）」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「利用者の入院・入所がしづらくなっている」の割合が 54.5%、「サービス担当者会議が実施できない」の割合が 45.5%となっています。

回答者数 = 66



問14 新型コロナウイルス感染拡大の中で、サービス利用者の心身の変化はありましたか。(いくつでも○)

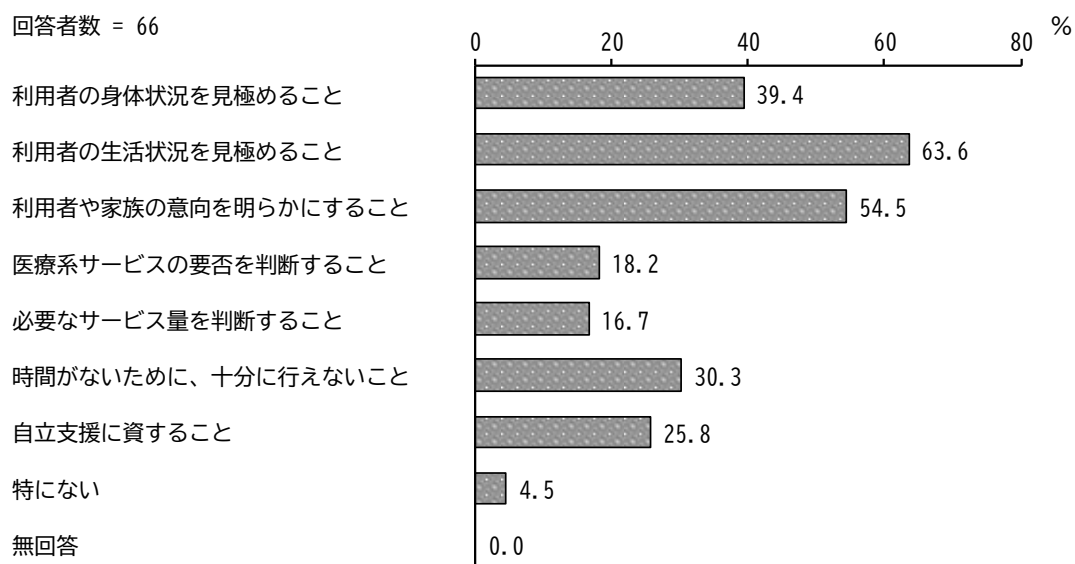
「身体機能の低下がある」の割合が80.3%と最も高く、次いで「感染への不安を訴える」の割合が69.7%、「意欲が低下している」の割合が57.6%となっています。



4. アセスメントの実施状況について

問 15 アセスメントを実施する際に難しいと感じることは何ですか。(いくつでも○)

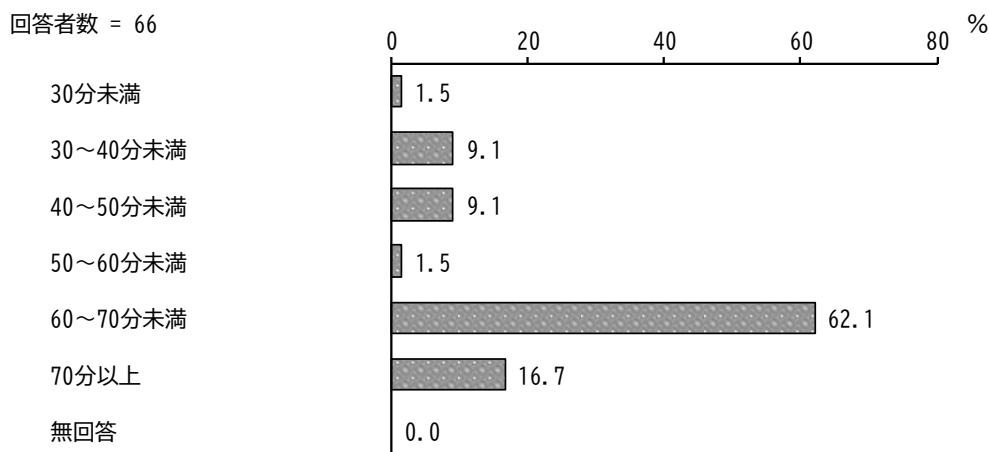
「利用者の生活状況を見極めること」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「利用者や家族の意向を明らかにすること」の割合が 54.5%、「利用者の身体状況を見極めること」の割合が 39.4%となっています。



問 16 1 回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間はどのくらいですか。

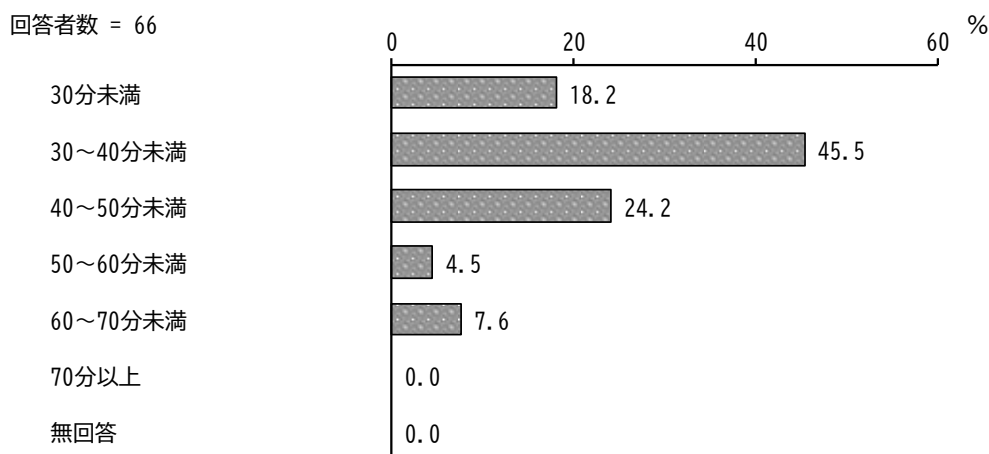
初回

「60～70分未満」の割合が62.1%と最も高く、次いで「70分以上」の割合が16.7%となっています。



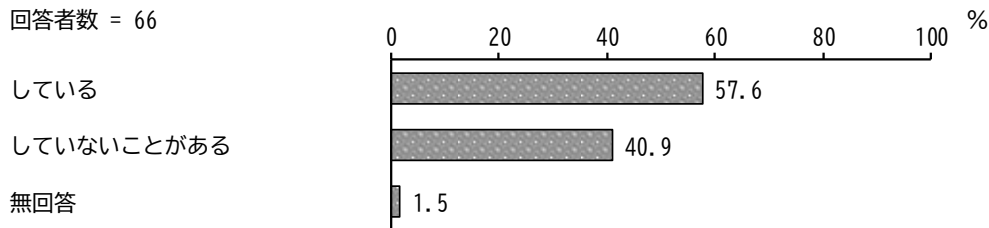
2回目以降

「30～40分未満」の割合が45.5%と最も高く、次いで「40～50分未満」の割合が24.2%、「30分未満」の割合が18.2%となっています。



問 17 全てのケースについてサービス担当者会議を実施していますか。(1つに○)

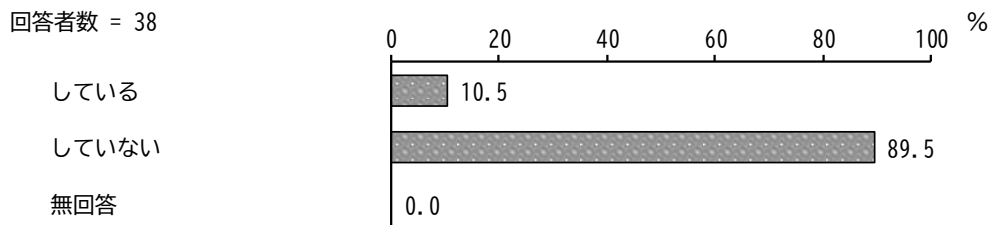
「している」の割合が 57.6%、「していないことがある」の割合が 40.9%となっています。



問 17-1 問 17 で「している」と答えた方におたずねします。

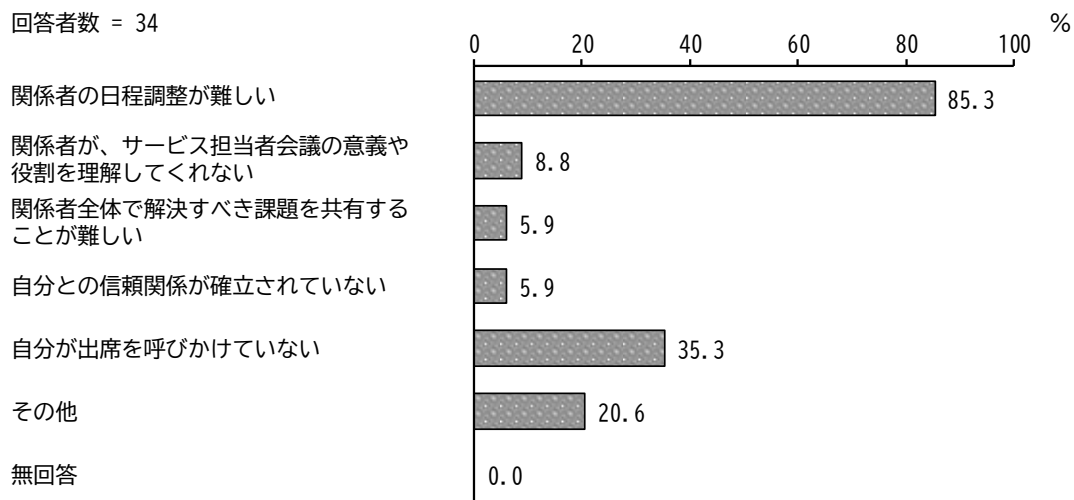
① サービス担当者会議にかかりつけ医は参加していますか。(1つに○)

「している」の割合が 10.5%、「していない」の割合が 89.5%となっています。



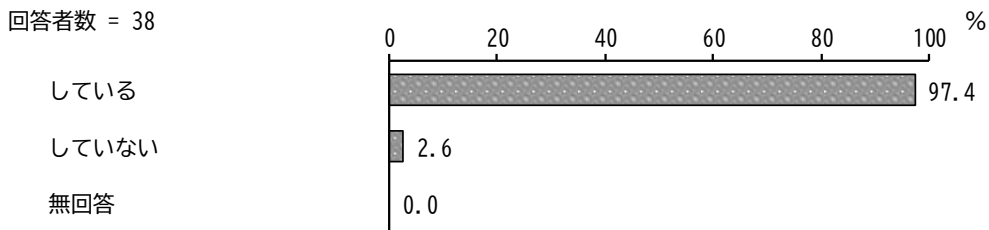
<参加しない理由は何ですか。(いくつでも○)>

「関係者の日程調整が難しい」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「自分が出席を呼びかけていない」の割合が 35.3%となっています。



②サービス担当者会議に利用者家族は参加していますか。(1つに○)

「している」の割合が97.4%、「していない」の割合が2.6%となっています。

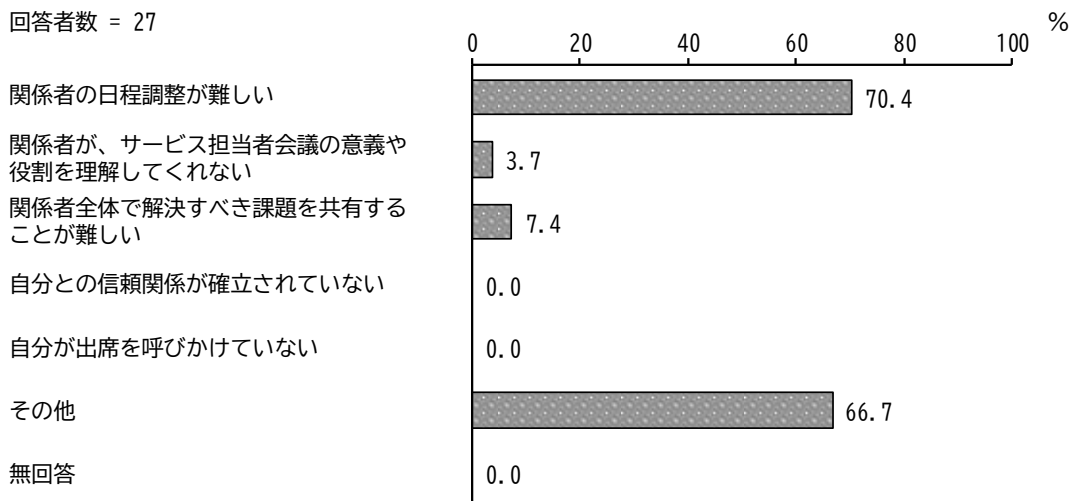


<参加しない理由は何ですか。(いくつでも○)>

「関係者の日程調整が難しい」が1件となっています。

問 17-2 問 17で「していないことがある」と答えた方におたずねします。
サービス担当者会議を開催できない理由は何ですか。(いくつでも○)

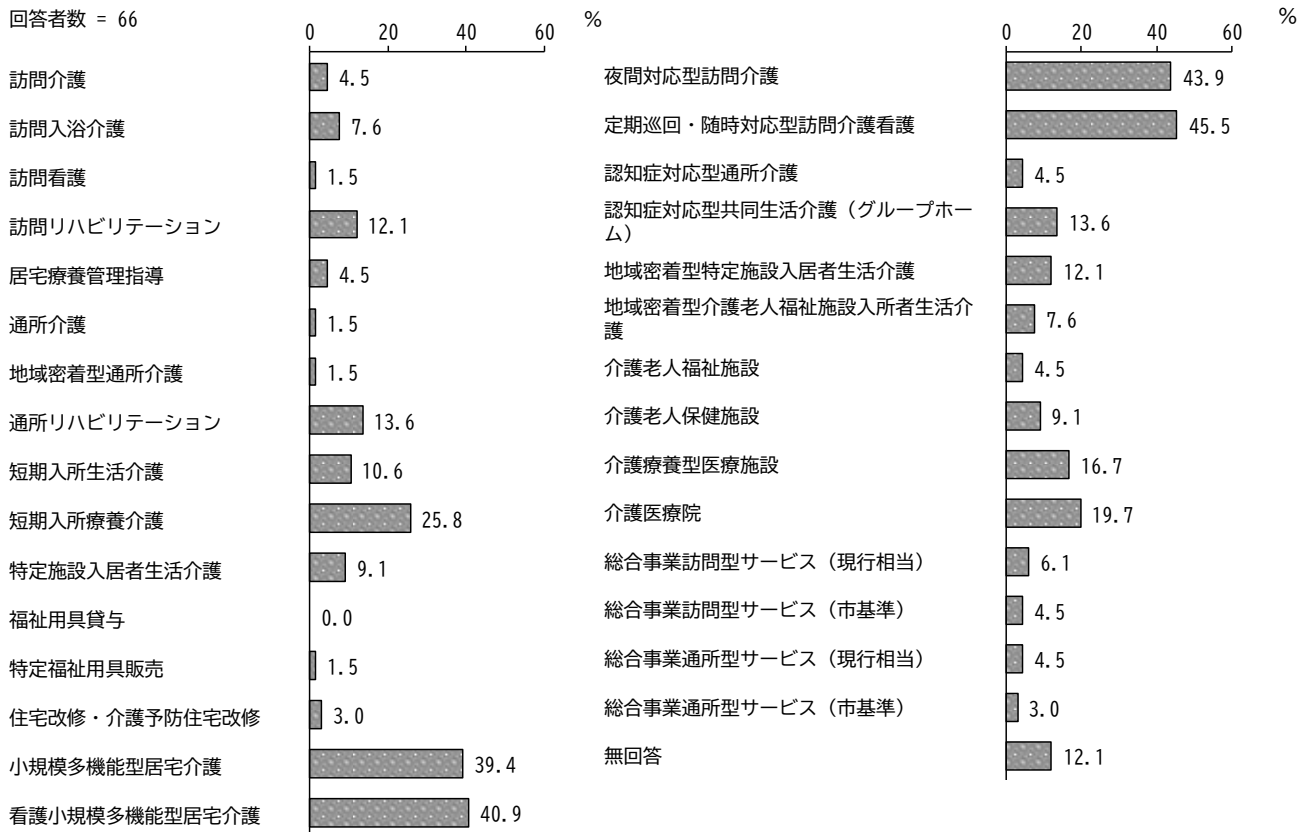
「関係者の日程調整が難しい」の割合が70.4%と最も高くなっています。



5. 市内のサービス提供体制について

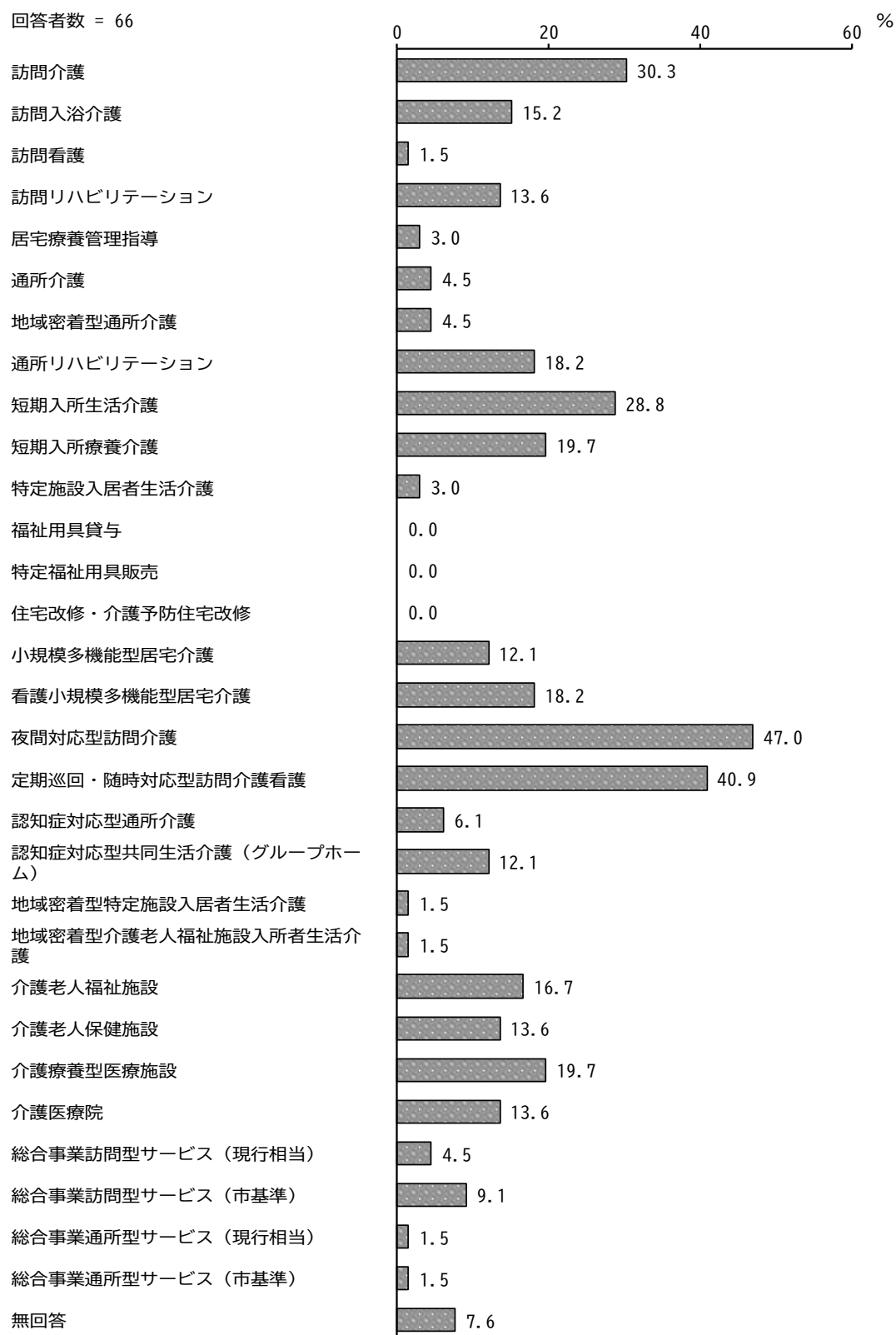
問 18 ケアプランを作成するにあたって、利用しにくいと感じているサービスは何ですか。(いくつでも○)

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「夜間対応型訪問介護」の割合が 43.9%、「看護小規模多機能型居宅介護」の割合が 40.9%となっています。



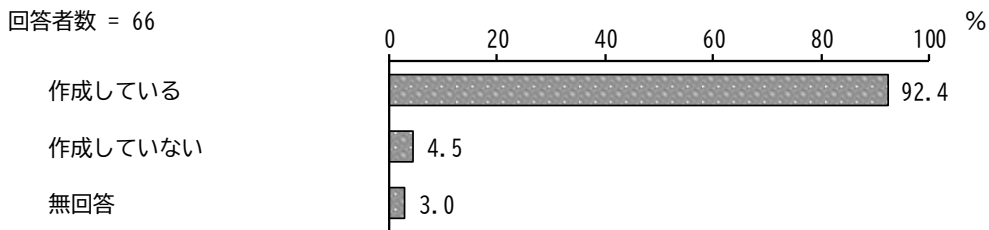
問19 量的に不足していると感じるサービスは何ですか。(いくつでも○)

「夜間対応型訪問介護」の割合が47.0%と最も高く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の割合が40.9%、「訪問介護」の割合が30.3%となっています。



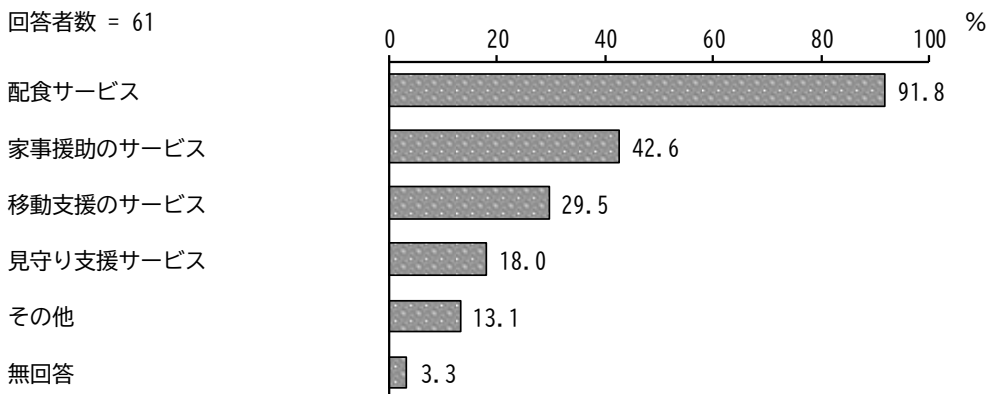
問 20 介護保険以外のサービス等を組み入れてケアプランを作成していますか。(1つに○)

「作成している」の割合が 92.4%、「作成していない」の割合が 4.5%となっています。



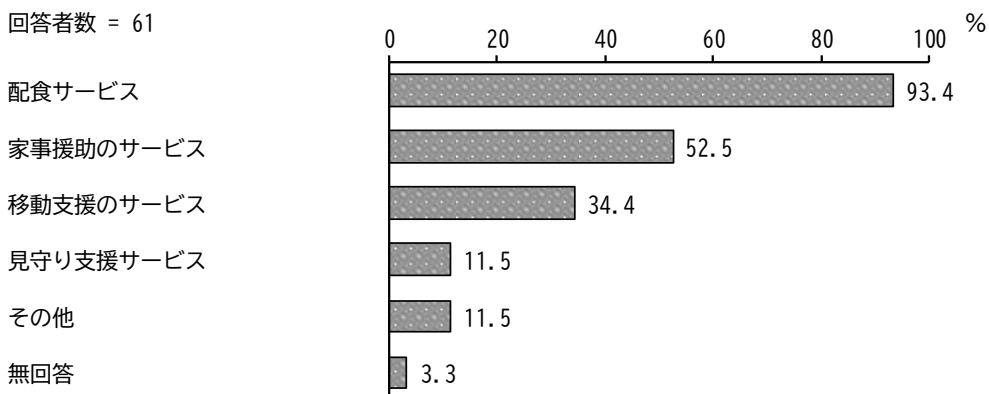
問 20-1 フォーマルサービス 行政等が制度に基づいて支援するサービス

「配食サービス」の割合が 91.8%と最も高く、次いで「家事援助のサービス」の割合が 42.6%、「移動支援のサービス」の割合が 29.5%となっています。



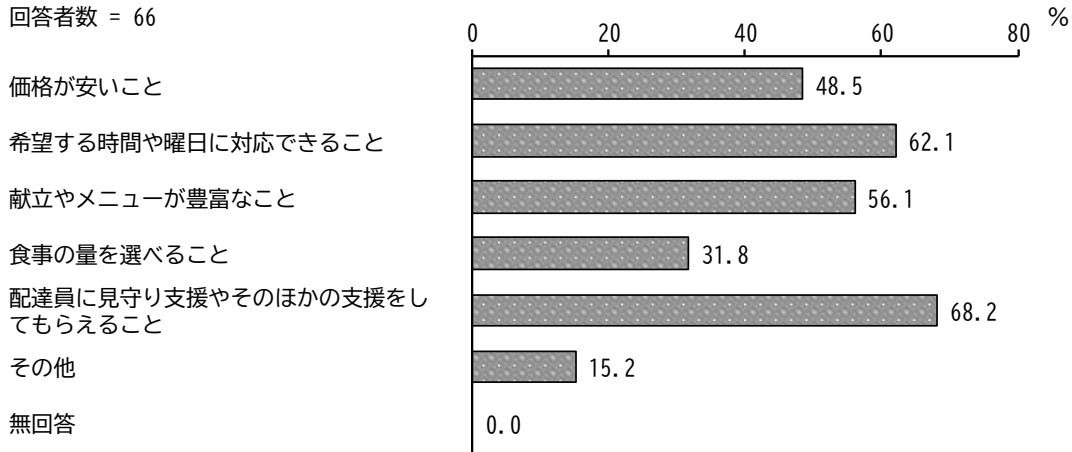
インフォーマルなサービス 制度外で支援しているサービス

「配食サービス」の割合が 93.4%と最も高く、次いで「家事援助のサービス」の割合が 52.5%、「移動支援のサービス」の割合が 34.4%となっています。



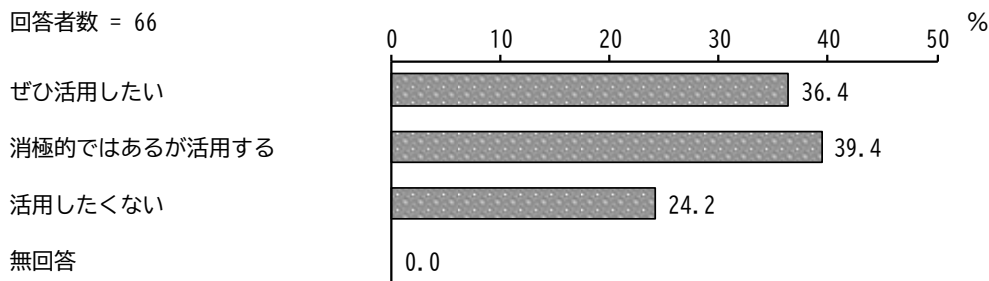
問21 配食サービスに望むものは何ですか。(いくつでも○)

「配達員に見守り支援やそのほかの支援をしてもらえること」の割合が68.2%と最も高く、次いで「希望する時間や曜日に対応できること」の割合が62.1%、「献立やメニューが豊富なこと」の割合が56.1%となっています。



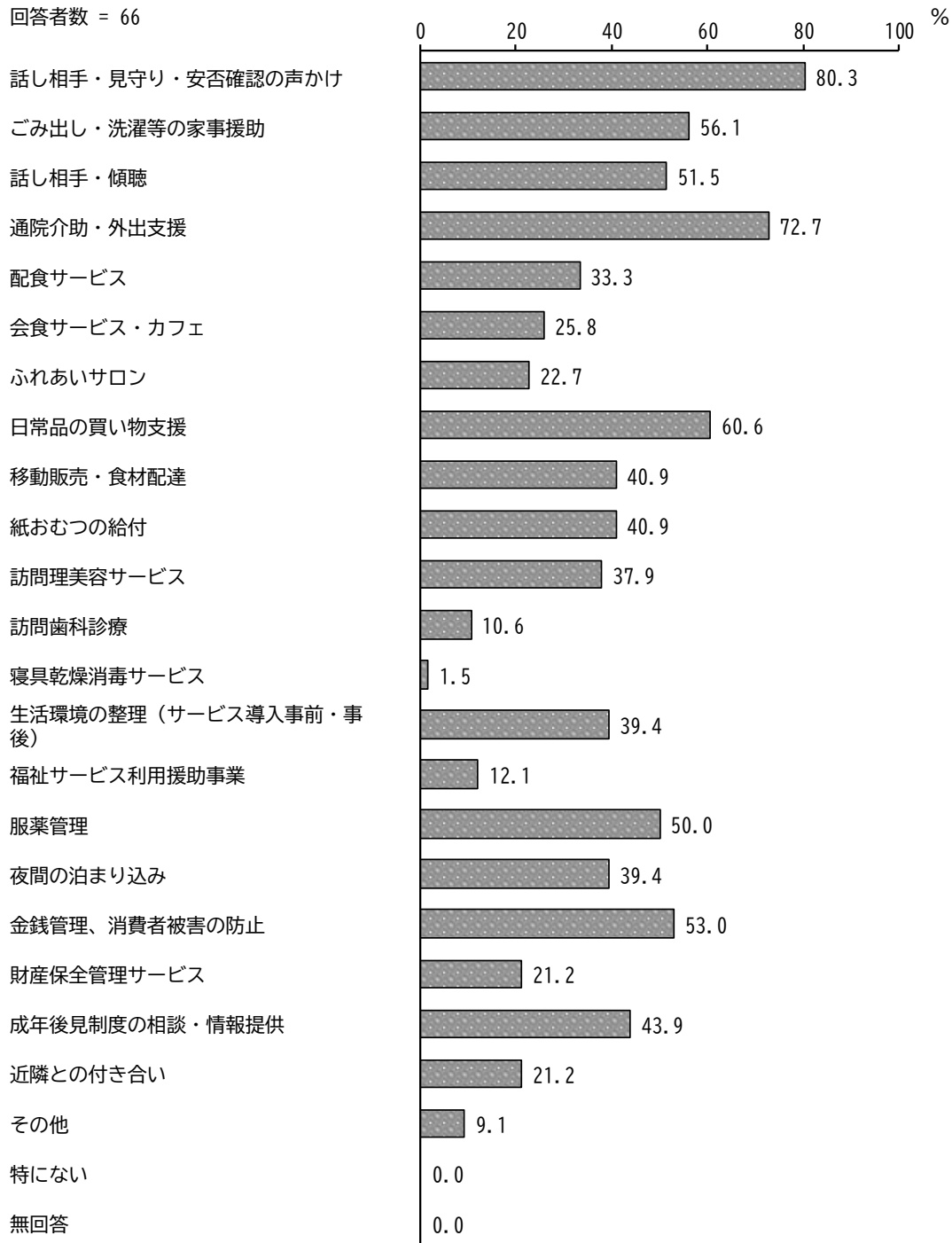
問22 AIでのケアプラン作成について、どう思いますか。(1つに○)

「消極的ではあるが活用する」の割合が39.4%と最も高く、次いで「ぜひ活用したい」の割合が36.4%、「活用したくない」の割合が24.2%となっています。



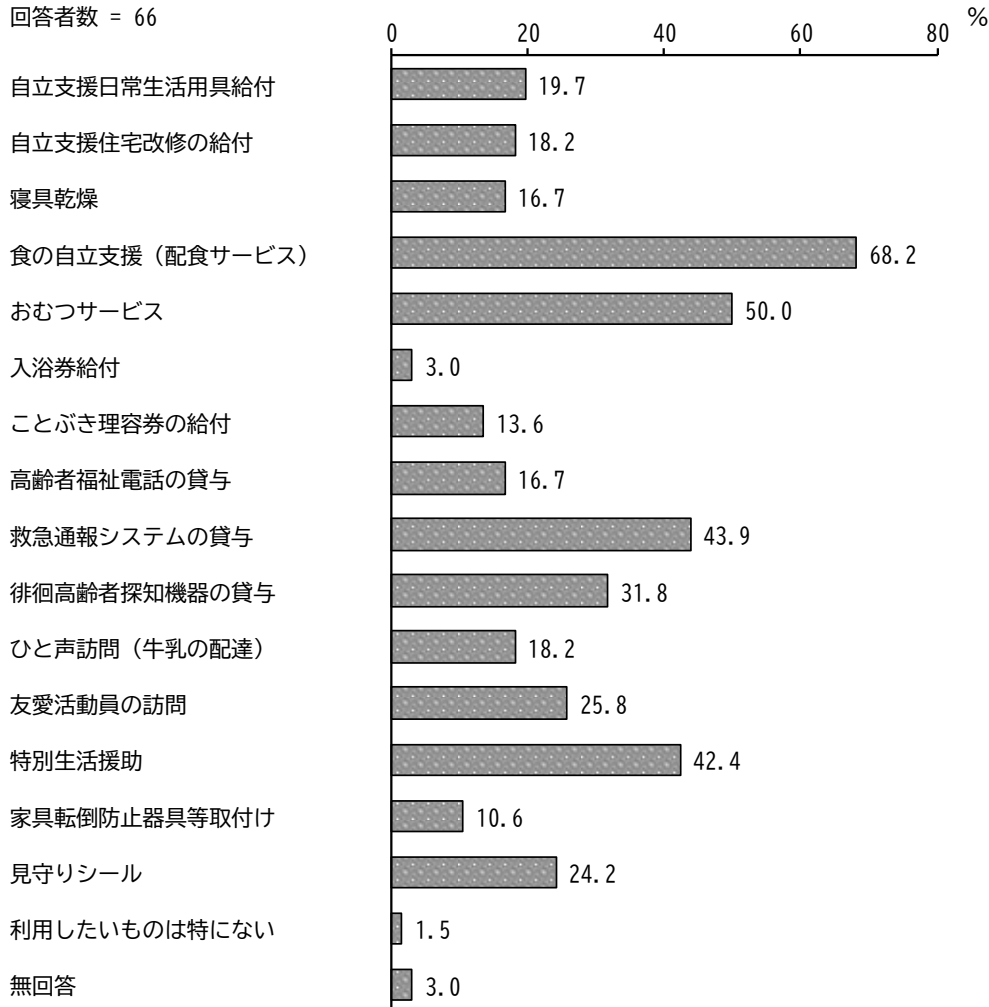
問 23 高齢者の在宅生活を支えるために、これから充実が必要だと思う「活動」や「生活支援」は次のどれだと思いますか。(いくつでも○)

「話し相手・見守り・安否確認の声かけ」の割合が80.3%と最も高く、次いで「通院介助・外出支援」の割合が72.7%、「日常品の買い物支援」の割合が60.6%となっています。



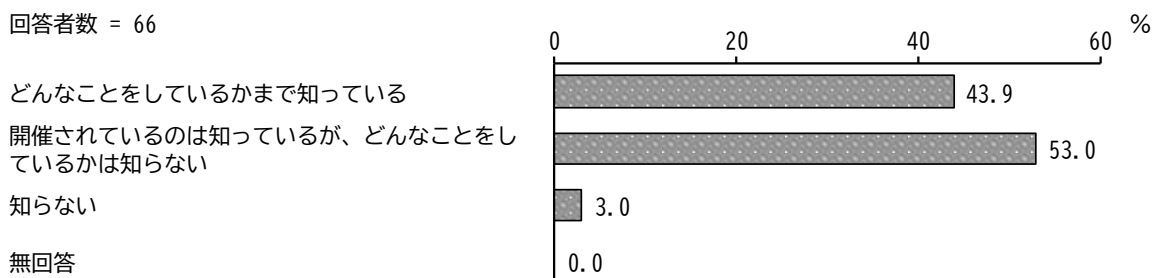
問24 現在、小金井市では以下のような高齢者保健福祉サービスを実施していますが、今後一層の充実が必要と思うサービスは次のどれですか。(いくつでも○)

「食の自立支援（配食サービス）」の割合が68.2%と最も高く、次いで「おむつサービス」の割合が50.0%、「救急通報システムの貸与」の割合が43.9%となっています。



問25 地域ケア会議について、知っていますか。(1つに○)

「開催されているのは知っているが、どんなことをしているかは知らない」の割合が53.0%と最も高く、次いで「どんなことをしているかまで知っている」の割合が43.9%となっています。



6. 在宅医療の支援について

問 26 あなたが、この1年間で、施設入所を勧めた件数をお書きください。

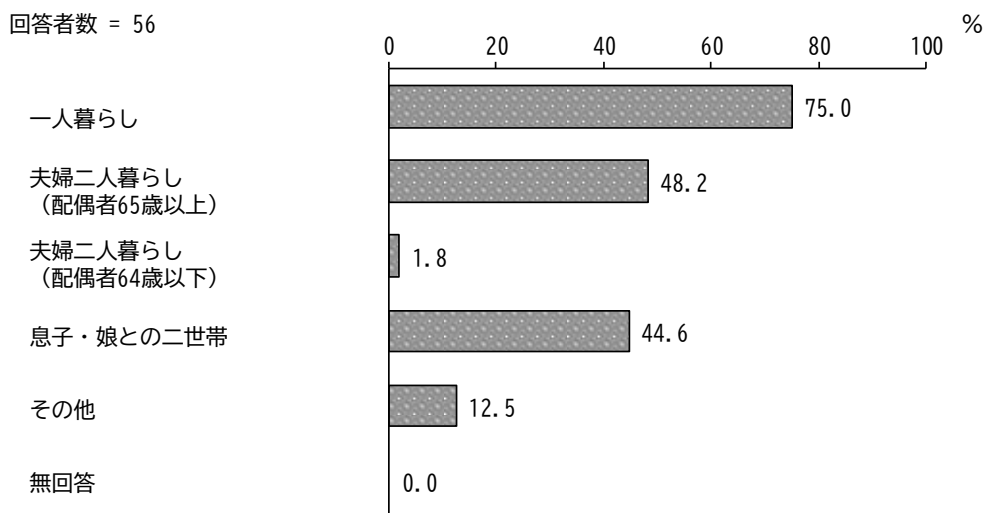
「1～2件」が24事業所と最も多く、次いで「3～4件」が17事業所、「5～6件」が10事業所となっています。

	0件	1～2件	3～4件	5～6件	7件以上	無回答
事業所数	6事業所	24事業所	17事業所	10事業所	5事業所	4事業所

問 26-1 問 26 で施設入所を勧めた方についておたずねします。

勧めたケースの世帯構成とその世帯数をお答えください。

「一人暮らし」の割合が75.0%と最も高く、次いで「夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が48.2%、「息子・娘との二世帯」の割合が44.6%となっています。

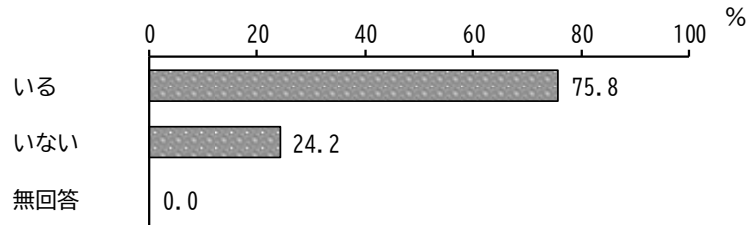


	件数
1. 一人暮らし	42件
2. 夫婦二人暮らし (配偶者65歳以上)	27件
3. 夫婦二人暮らし (配偶者64歳以下)	1件
4. 息子・娘との二世帯	25件
5. その他	7件

問 27 令和4年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、往診が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (※患者さんの求めに応じて急変時に行う診療)

「いる」の割合が75.8%、「いない」の割合が24.2%となっています。

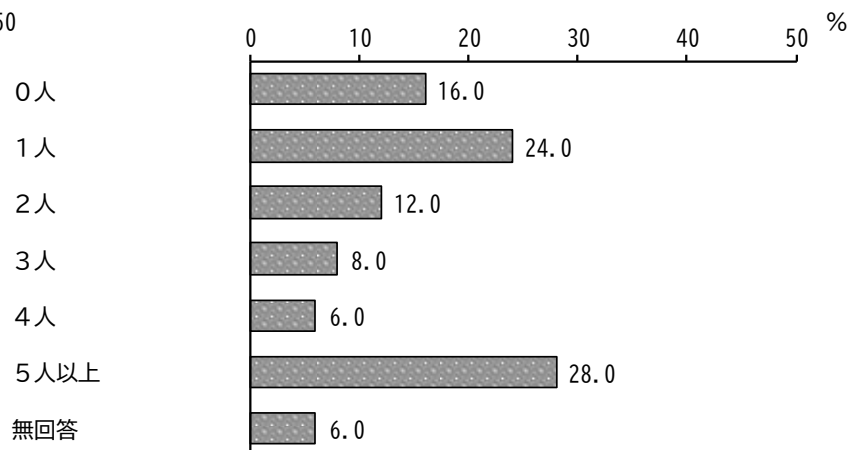
回答者数 = 66



実際に往診を受けている

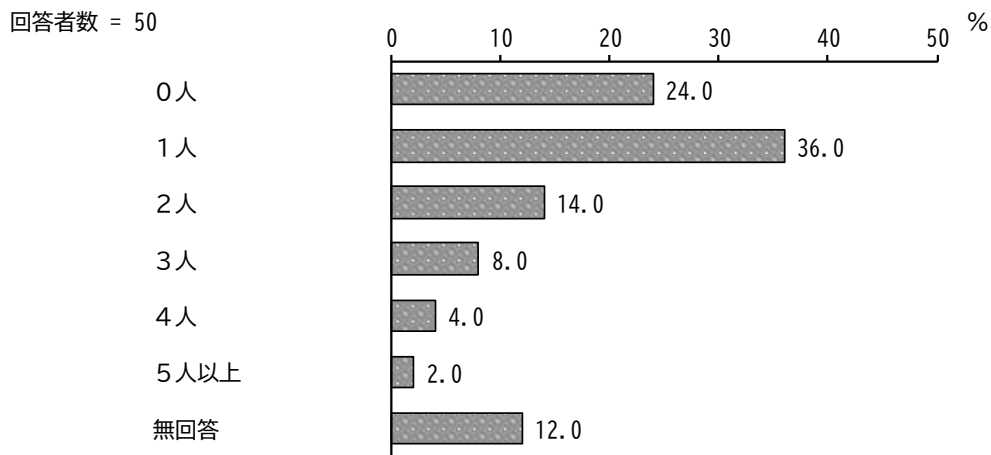
「5人以上」の割合が28.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が24.0%、「0人」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 50



往診が必要と思われるが受けていない

「1人」の割合が36.0%と最も高く、次いで「0人」の割合が24.0%、「2人」の割合が14.0%となっています。



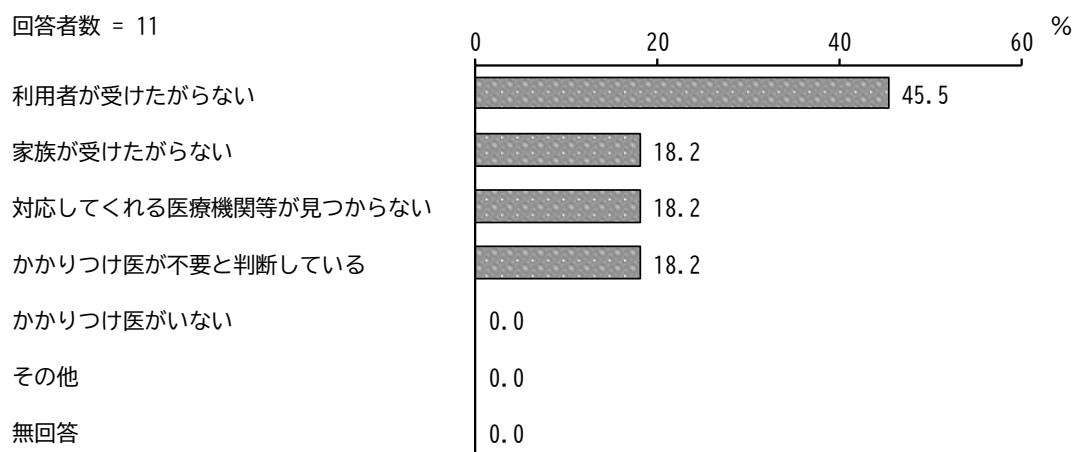
問 27-1 問 27 で「いる」とお答えの方におたずねします。あなたは、必要な方に往診が十分行われていると思いますか。(1つに○)

「ある程度行われている」の割合が54.0%と最も高く、次いで「十分行われている」の割合が22.0%、「あまり行われていない」の割合が16.0%となっています。



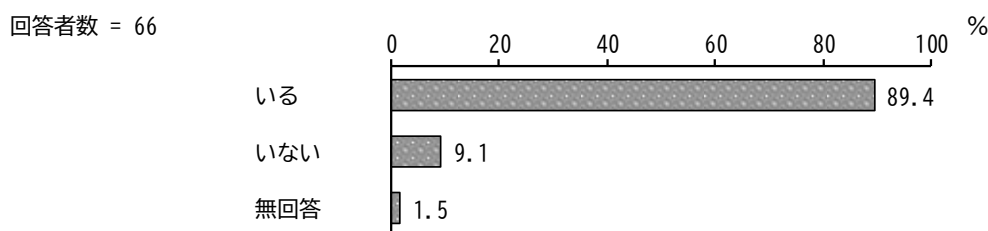
問 27-2 問 27-1 で「あまり行われていない」または「全く行われていない」とお答えの方におたずねします。
 必要なのに実施していないのはなぜですか。(1つに○)

「利用者が受けたがらない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「家族が受けたがらない」、「対応してくれる医療機関等が見つからない」、「かかりつけ医が不要と判断している」の割合が 18.2%となっています。



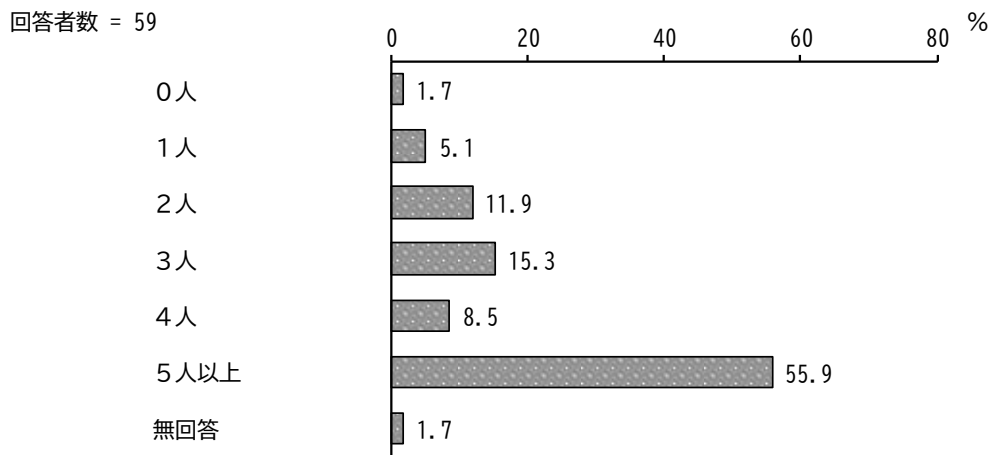
問 28 令和4年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療が必要と思われる方はいますか。(1つに○)
 (※通院の困難な患者さん宅に訪問して行う診療)

「いる」の割合が 89.4%、「いない」の割合が 9.1%となっています。



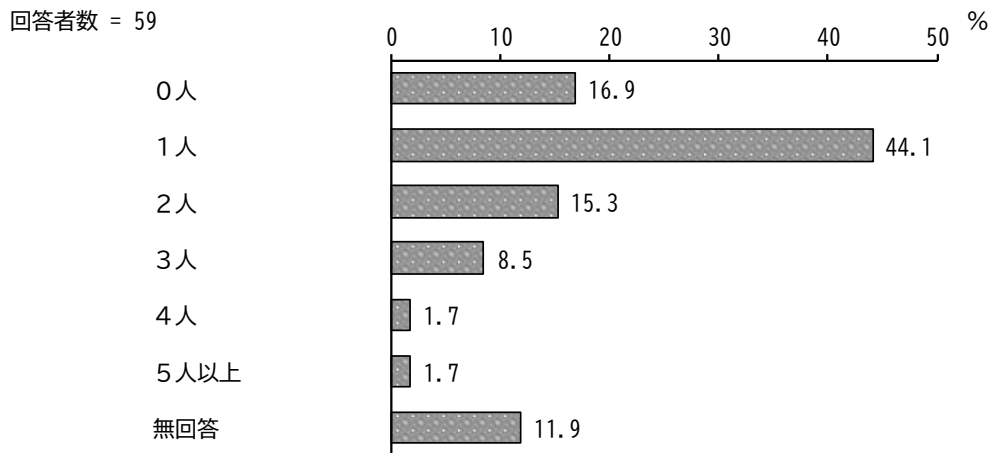
実際に訪問診療を受けている

「5人以上」の割合が55.9%と最も高く、次いで「3人」の割合が15.3%、「2人」の割合が11.9%となっています。



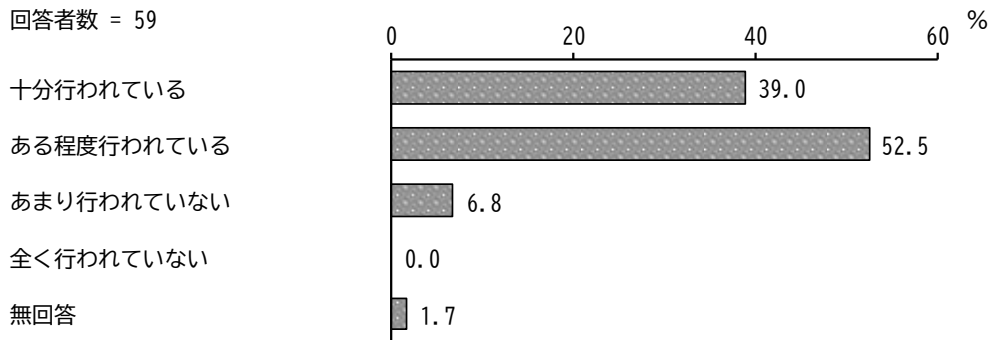
訪問診療が必要と思われるが受けていない

「1人」の割合が44.1%と最も高く、次いで「0人」の割合が16.9%、「2人」の割合が15.3%となっています。



問 28-1 問 28 で「いる」とお答えの方におたずねします。
 あなたは、必要な方に訪問診療が十分行われていると思いますか。
 (1つに○)

「ある程度行われている」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「十分行われている」の割合が 39.0%となっています。



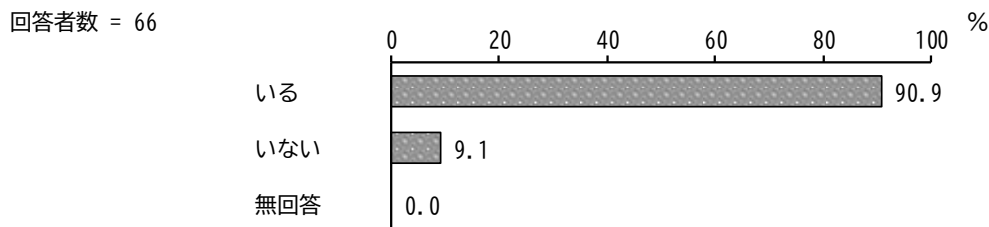
問 28-2 問 28-1 で「あまり行われていない」または「全く行われていない」とお答えの方におたずねします。
 必要なのに実施していないのはなぜですか。(1つに○)

「利用者が受けたがらない」、「家族が受けたがらない」が1件となっています。

問 29 令和4年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。
 (①から③についてそれぞれ1つに○)

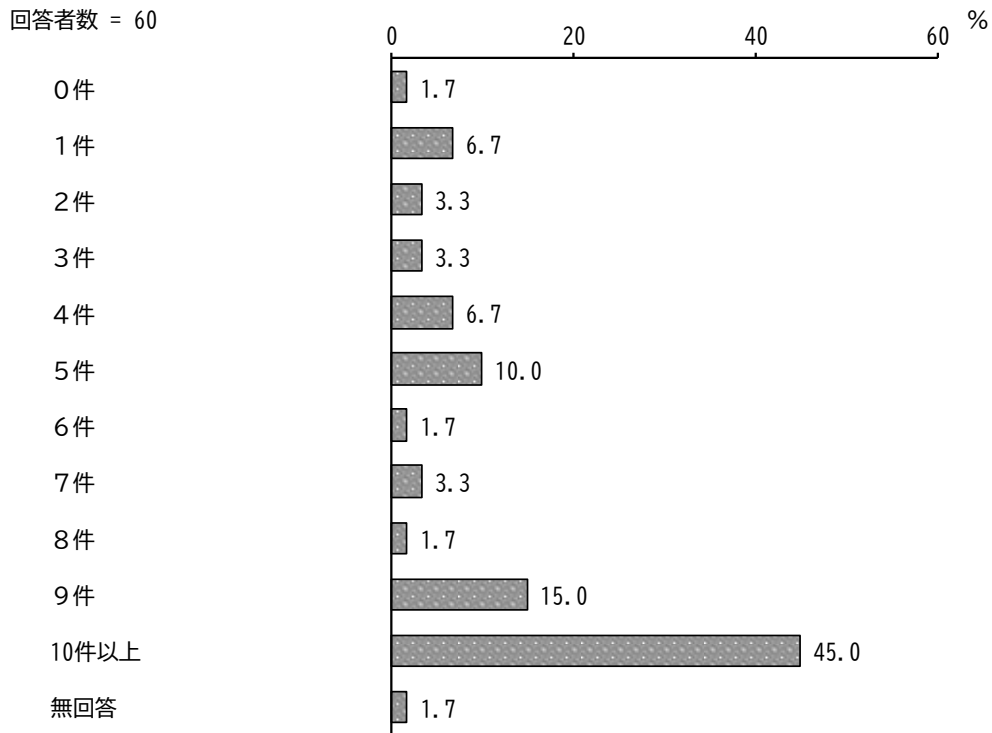
①訪問看護が必要と思われる方

「いる」の割合が 90.9%、「いない」の割合が 9.1%となっています。



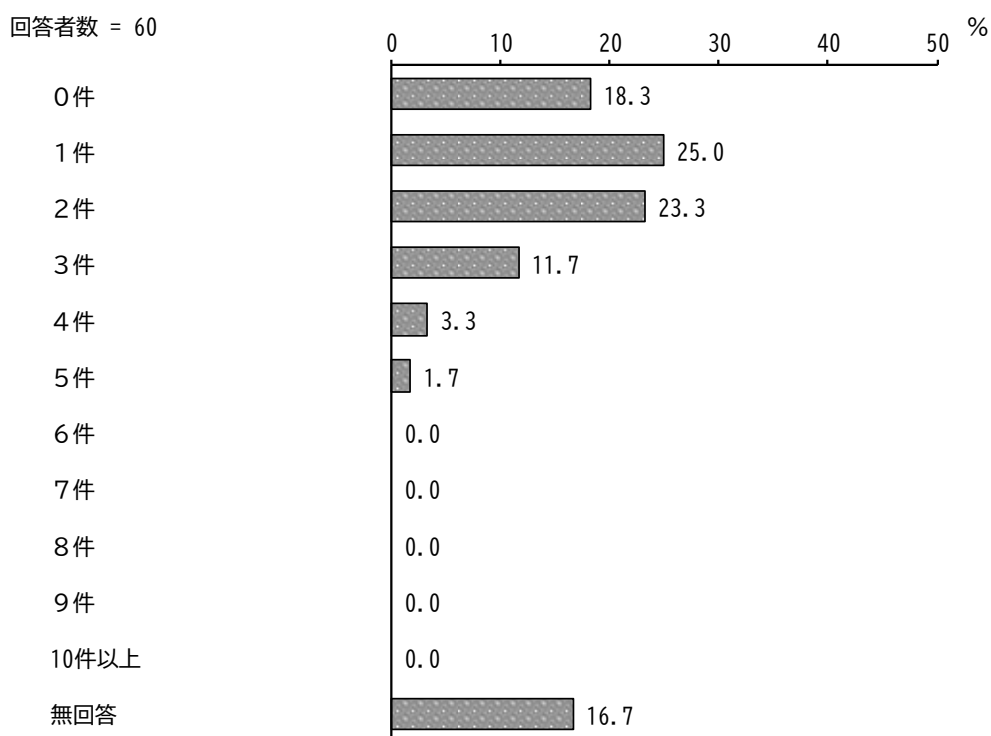
<実際に受けている>

「10件以上」の割合が45.0%と最も高く、次いで「9件」の割合が15.0%、「5件」の割合が10.0%となっています。



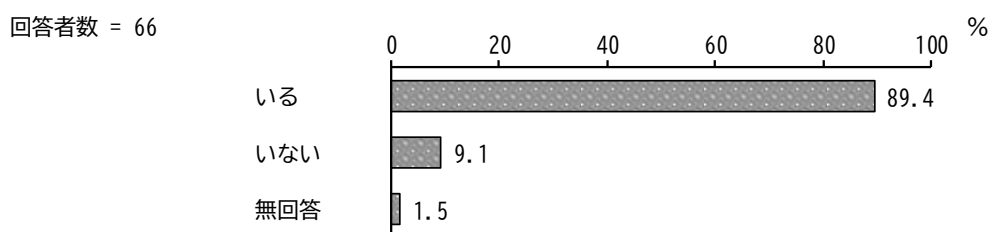
<必要だと思うが受けていない>

「1件」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2件」の割合が23.3%、「0件」の割合が18.3%となっています。



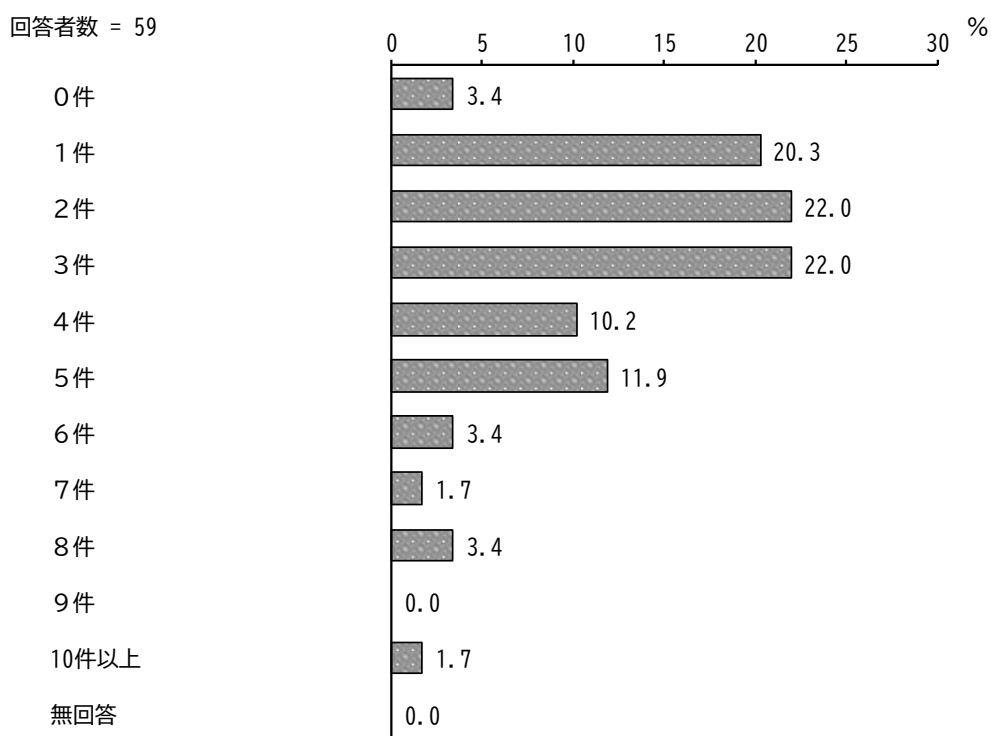
②訪問歯科診療が必要と思われる方

「いる」の割合が89.4%、「いない」の割合が9.1%となっています。



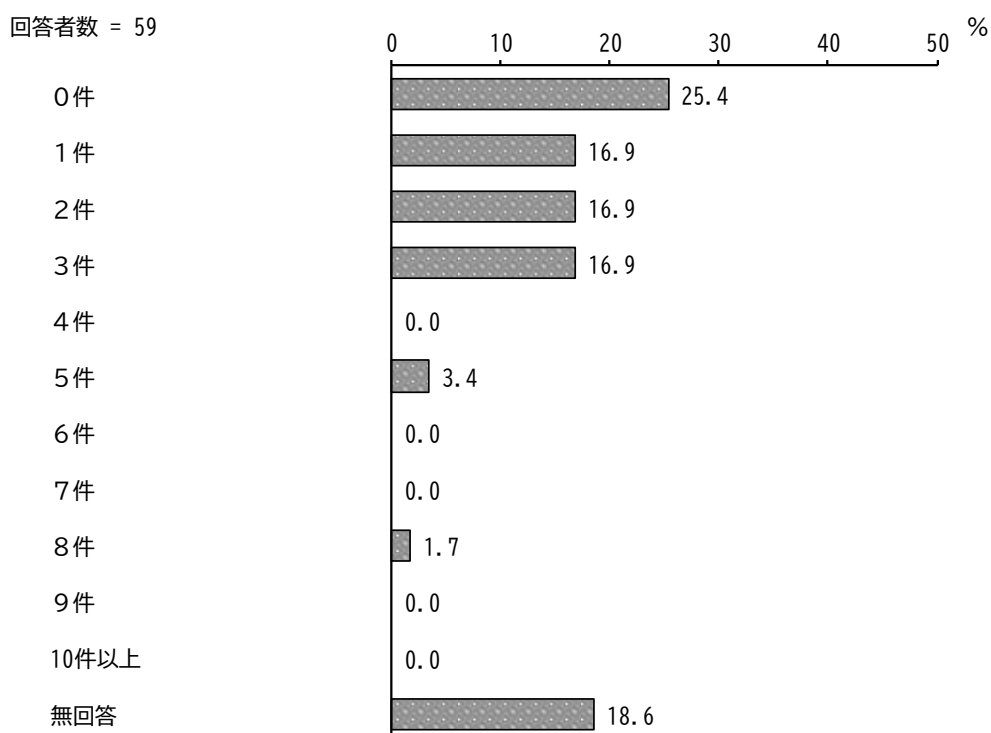
<実際に受けている>

「2件」、「3件」の割合が22.0%と最も高く、次いで「1件」の割合が20.3%となっています。



<必要だと思うが受けていない>

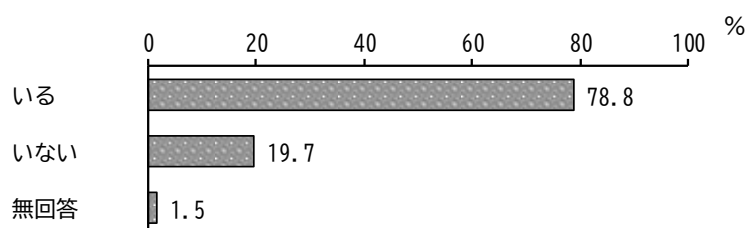
「0件」の割合が25.4%と最も高く、次いで「1件」、「2件」、「3件」の割合が16.9%となっています。



③訪問服薬管理指導が必要と思われる方

「いる」の割合が78.8%、「いない」の割合が19.7%となっています。

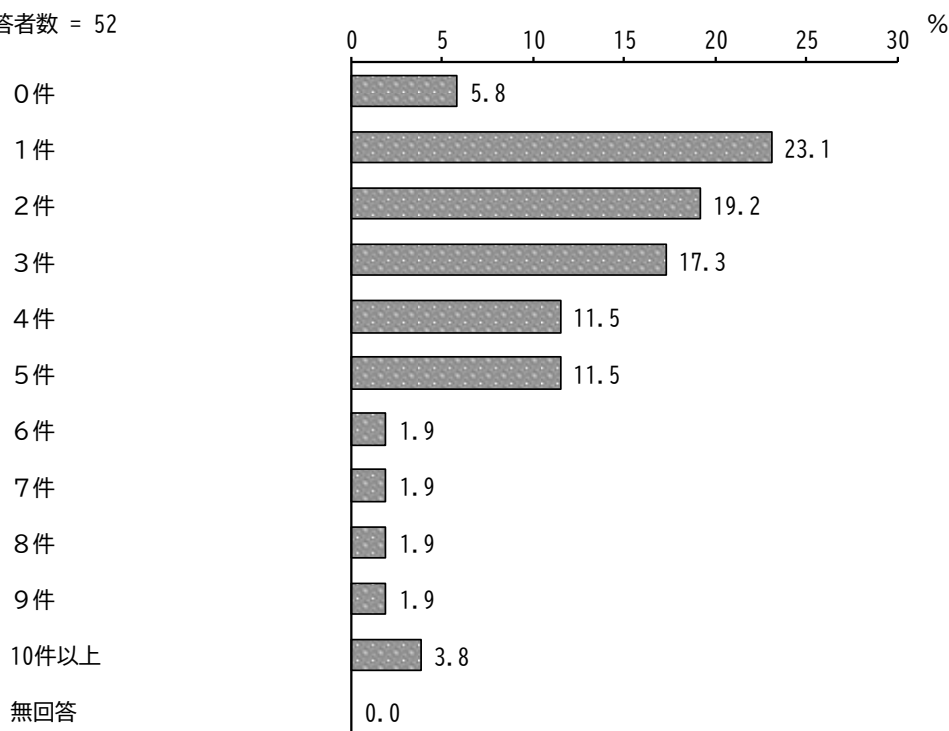
回答者数 = 66



<実際に受けている>

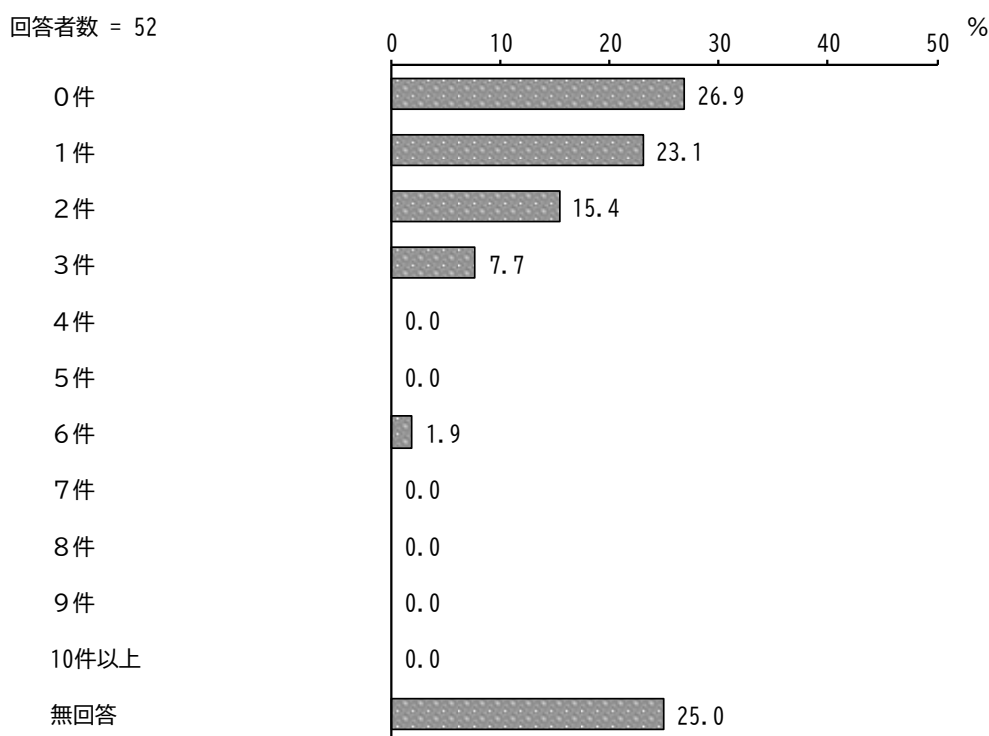
「1件」の割合が23.1%と最も高く、次いで「2件」の割合が19.2%、「3件」の割合が17.3%となっています。

回答者数 = 52



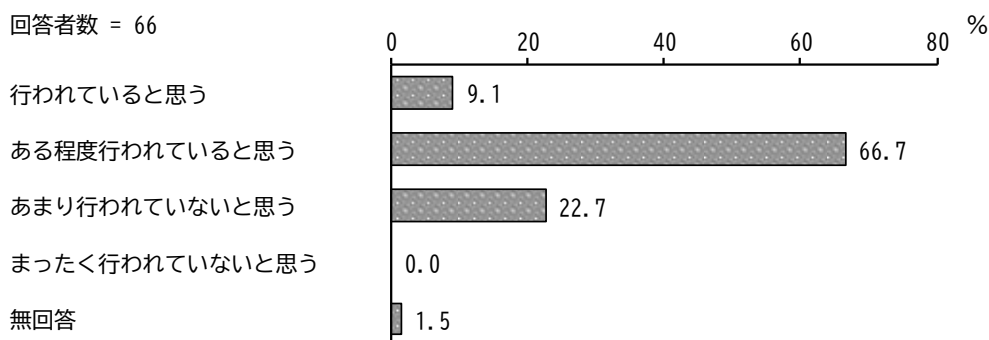
<必要だと思うが受けていない>

「0件」の割合が26.9%と最も高く、次いで「1件」の割合が23.1%、「2件」の割合が15.4%となっています。



問 30 専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。(1つに○)

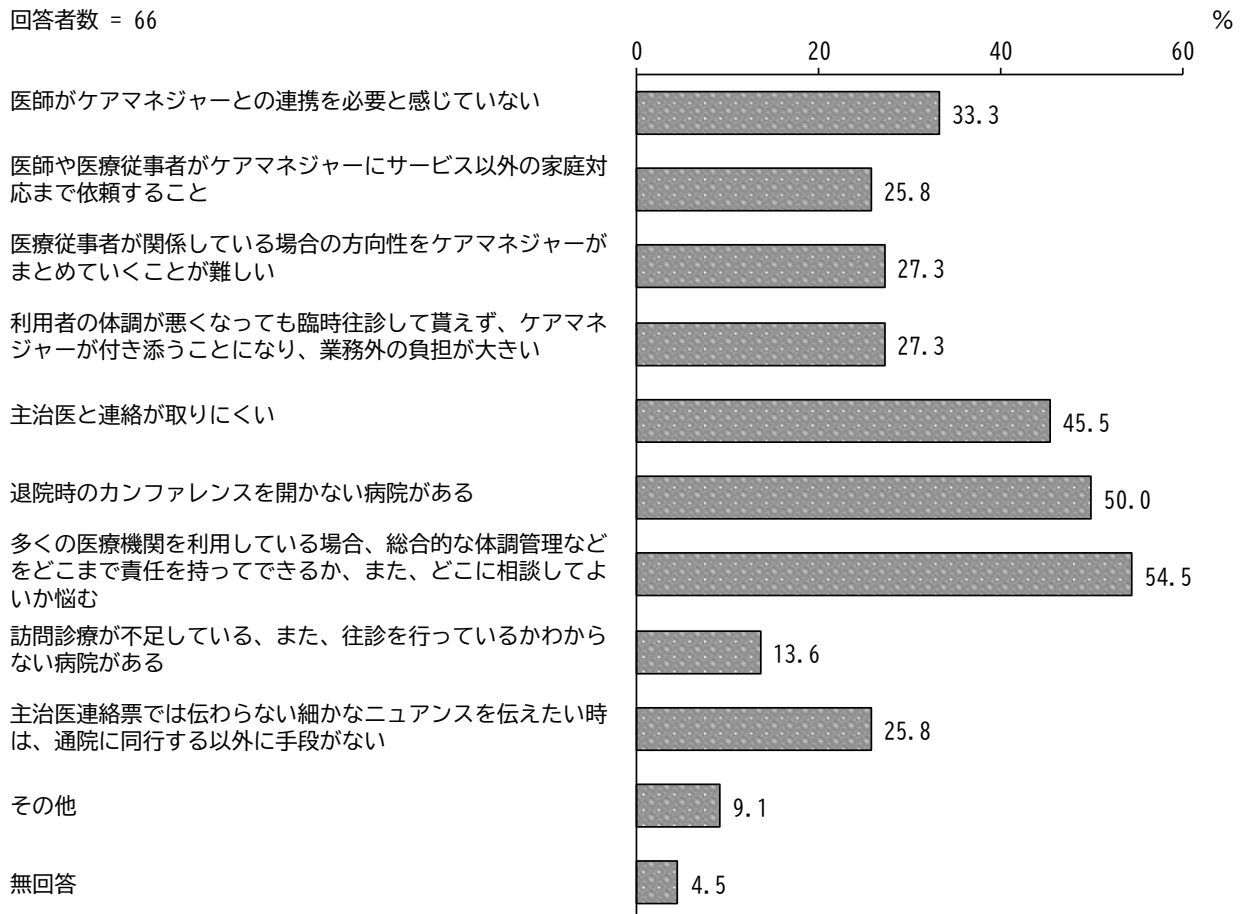
「ある程度行われていると思う」の割合が66.7%と最も高く、次いで「あまり行われていないと思う」の割合が22.7%となっています。



問 31 医療と在宅ケアの関係で苦労していることは何ですか。(いくつでも○)

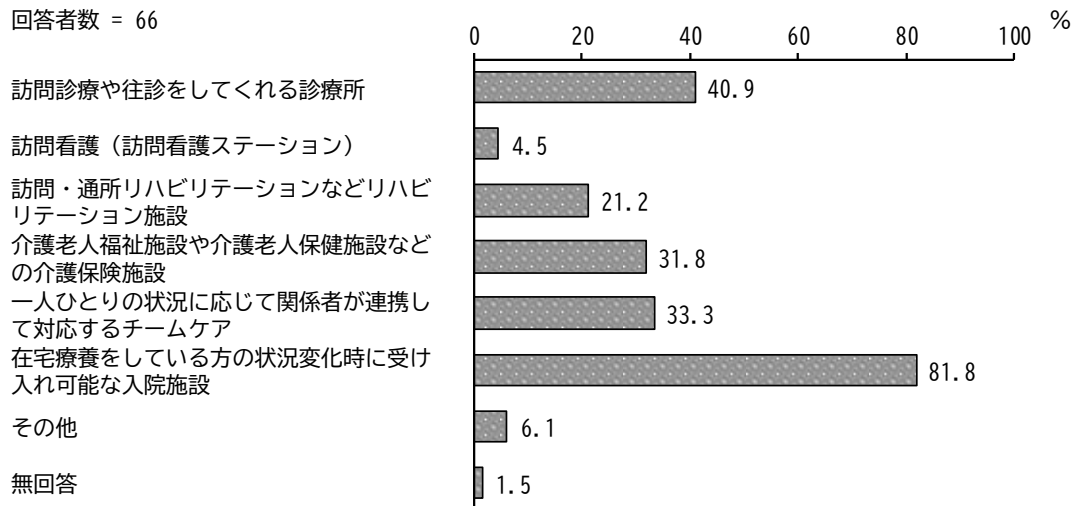
「多くの医療機関を利用している場合、総合的な体調管理などをどこまで責任を持ってできるか、また、どこに相談してよいか悩む」の割合が54.5%と最も高く、次いで「退院時のカンファレンスを開かない病院がある」の割合が50.0%、「主治医と連絡が取りにくい」の割合が45.5%となっています。

回答者数 = 66



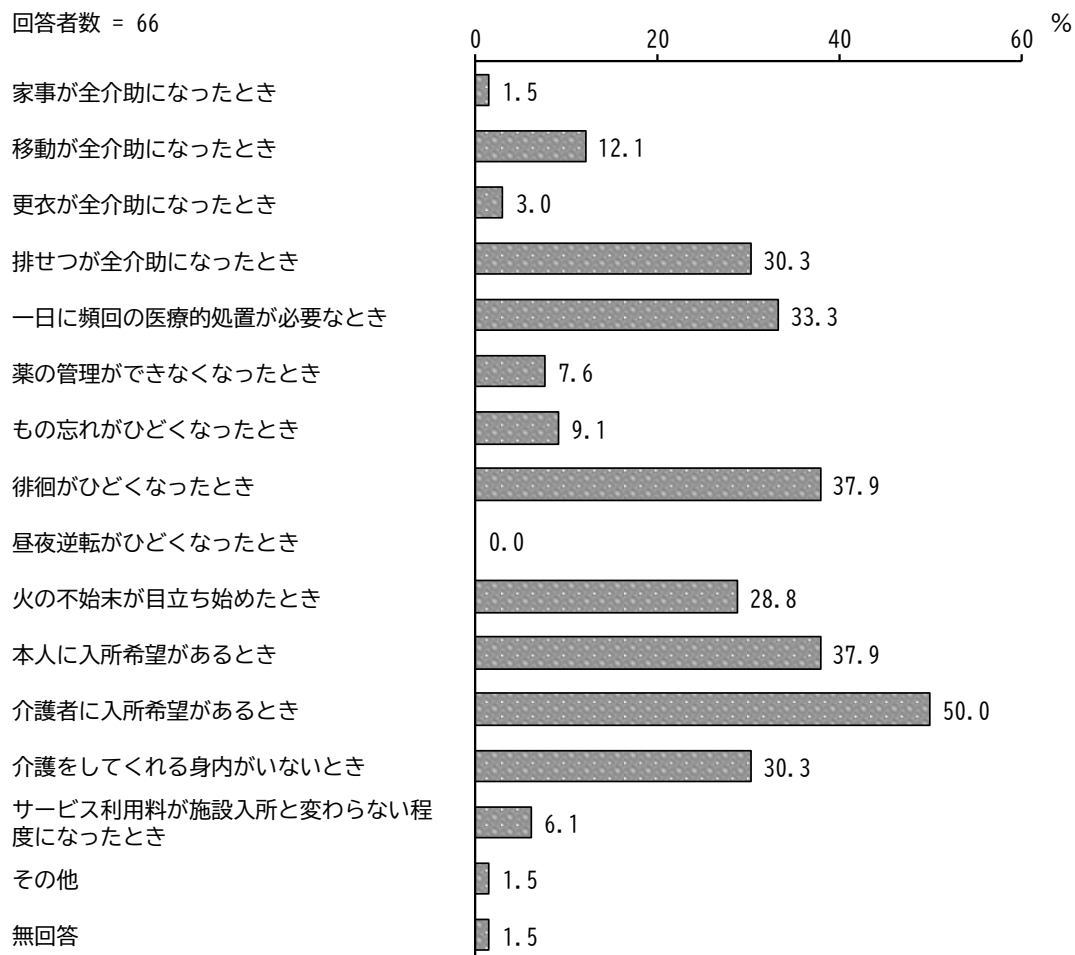
問 32 高齢者の在宅医療を進めていくうえで不足している機能はどのようなことだとお考えですか。(いくつでも○)

「在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「訪問診療や往診をしてくれる診療所」の割合が 40.9%、「一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア」の割合が 33.3%となっています。



問33 在宅介護の限界、施設入所を意識する要因は何だとお考えですか。(3つまで
○)

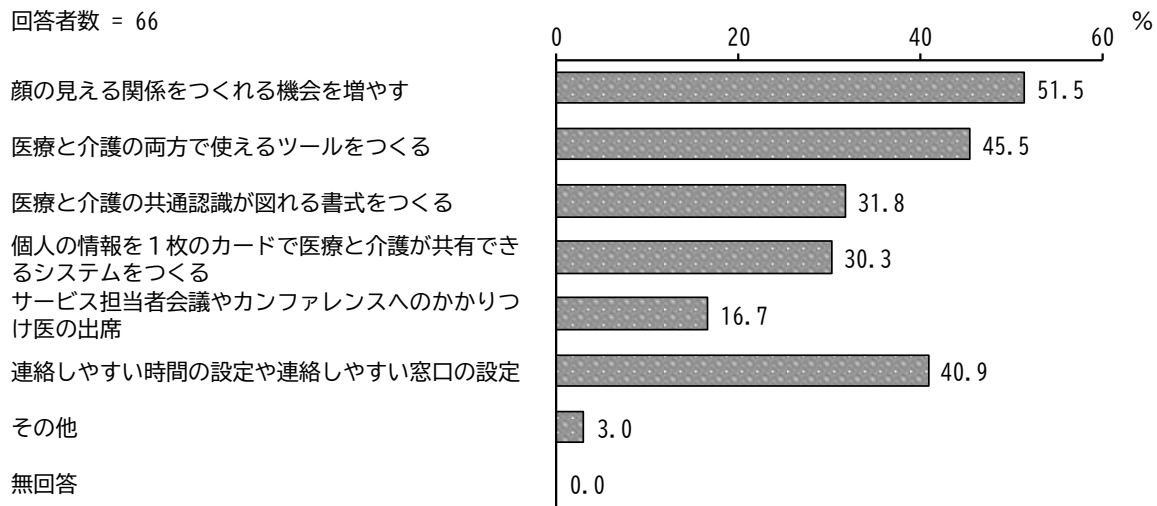
「介護者に入所希望があるとき」の割合が50.0%と最も高く、次いで「徘徊がひどくなったとき」、「本人に入所希望があるとき」の割合が37.9%となっています。



7. 医療と介護の連携について

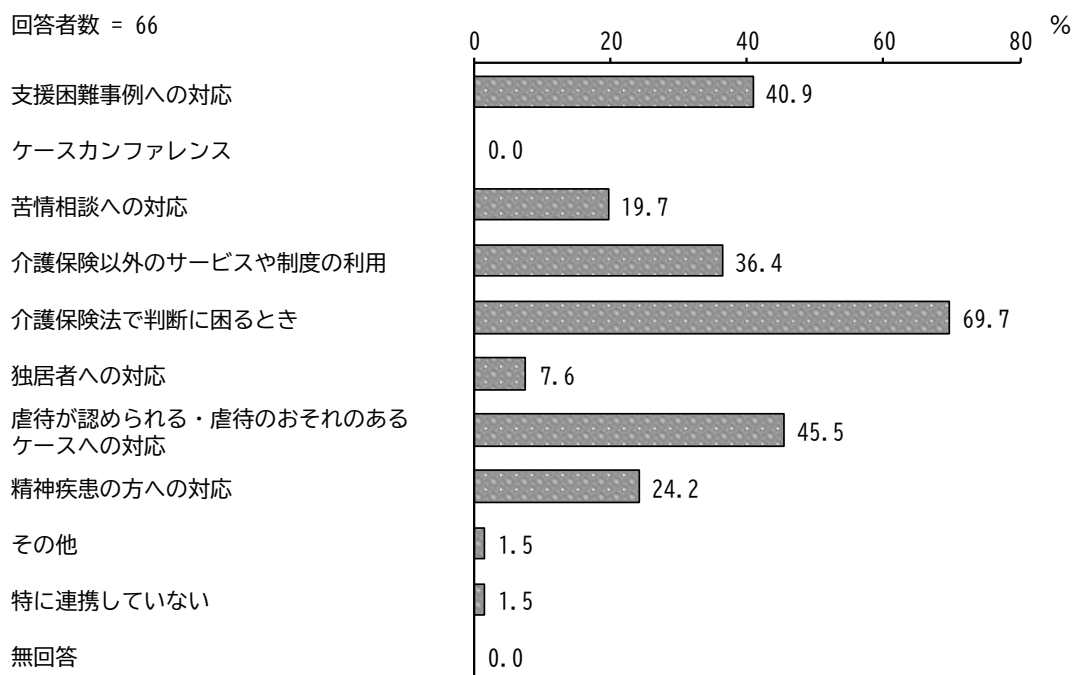
問 34 医療と介護の連携を図るうえでの情報の共有化をどのように進めればよいと思いますか。(3つまで○)

「顔の見える関係をつくれる機会を増やす」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「医療と介護の両方で使えるツールをつくる」の割合が 45.5%、「連絡しやすい時間の設定や連絡しやすい窓口の設定」の割合が 40.9%となっています。



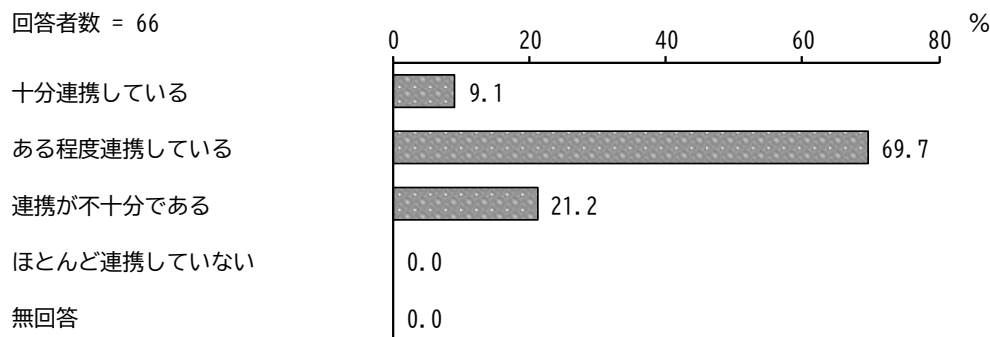
問 35 市の担当者と連携するときにはどのような場合ですか。(3つまで○)

「介護保険法で判断に困るとき」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応」の割合が 45.5%、「支援困難事例への対応」の割合が 40.9%となっています。



問 36 在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)

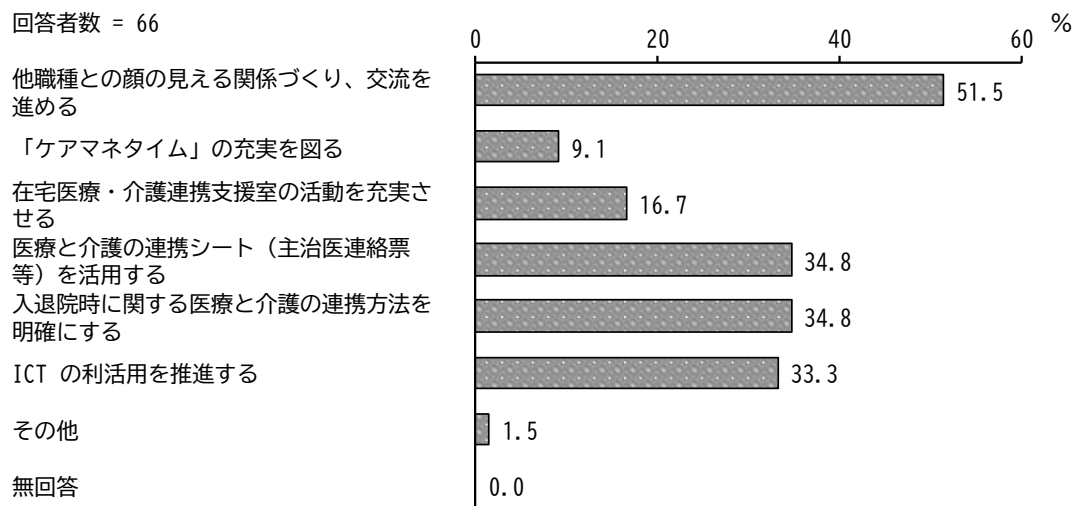
「ある程度連携している」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「連携が不十分である」の割合が 21.2%となっています。



問 37 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

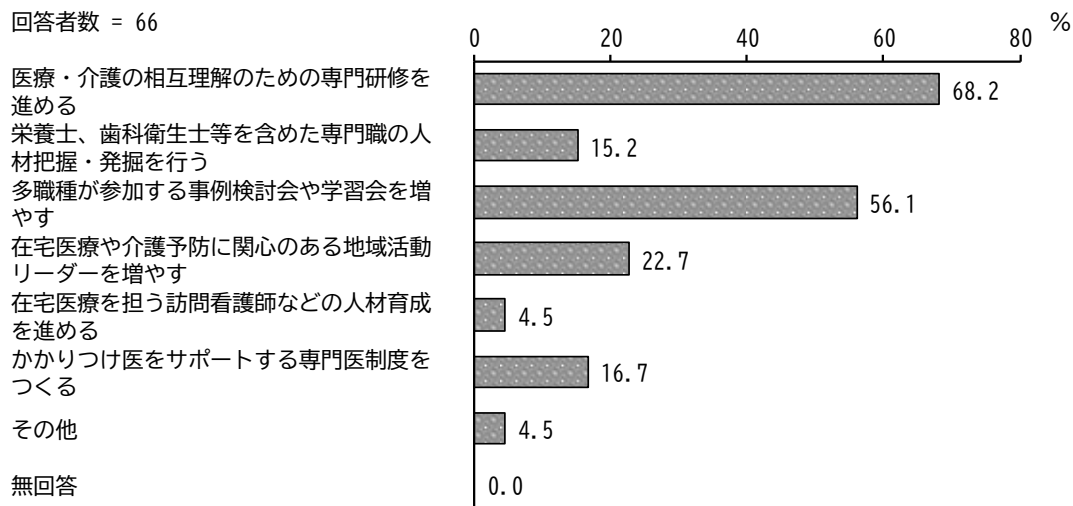
(1) 連携の仕組みづくり (2つまで○)

「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「医療と介護の連携シート (主治医連絡票等) を活用する」、「入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする」の割合が 34.8%となっています。



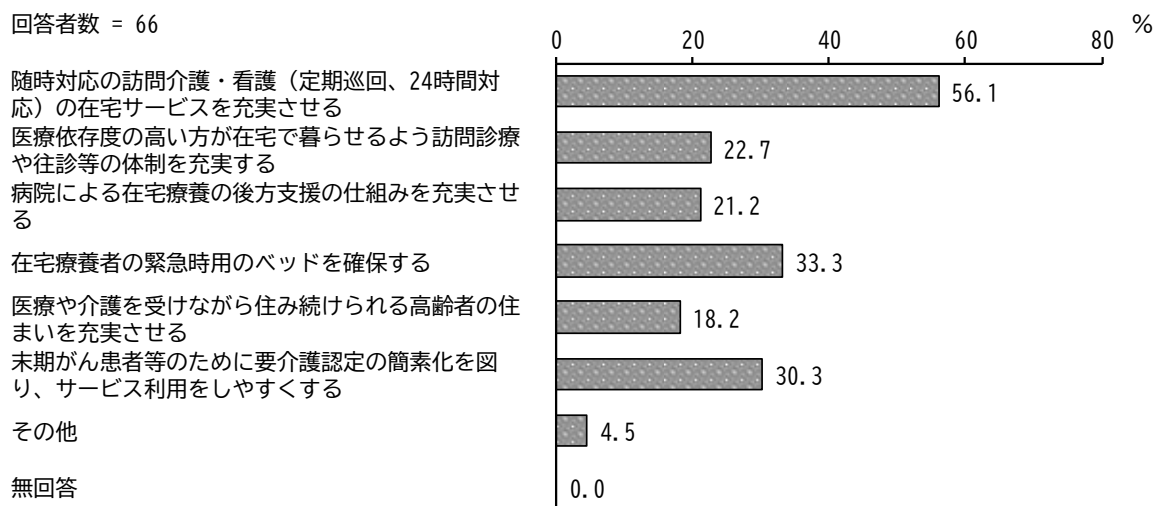
(2) 地域の人材育成（2つまで○）

「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」の割合が68.2%と最も高く、次いで「多職種が参加する事例検討会や学習会を増やす」の割合が56.1%、「在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす」の割合が22.7%となっています。



(3) サービス・基盤整備（2つまで○）

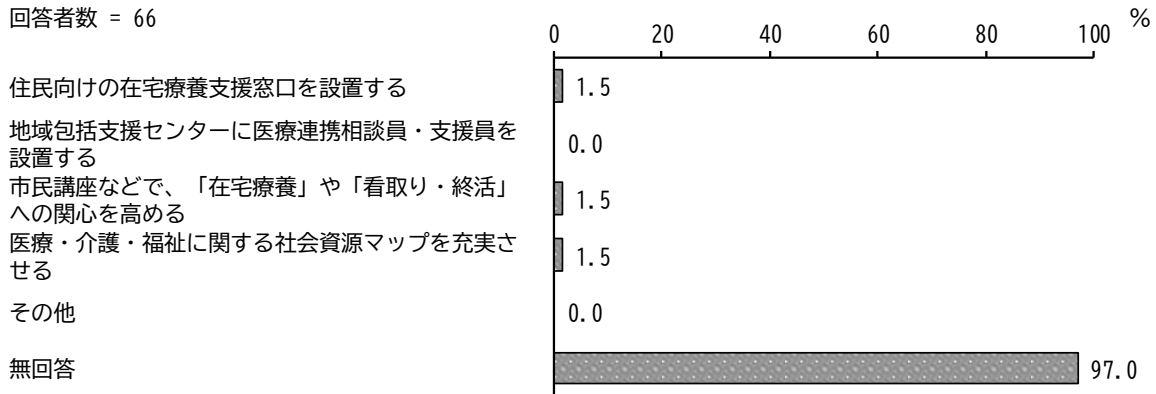
「随時対応の訪問介護・看護（定期巡回、24時間対応）の在宅サービスを充実させる」の割合が56.1%と最も高く、次いで「在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する」の割合が33.3%、「末期がん患者等のために要介護認定の簡素化を図り、サービス利用をしやすくする」の割合が30.3%となっています。



(4) 相談支援・情報提供 (2つまで○)

「住民向けの在宅療養支援窓口を設置する」、「市民講座などで、「在宅療養」や「看取り・終活」への関心を高める」、「医療・介護・福祉に関する社会資源マップを充実させる」の割合が1.5%と最も高くなっています。

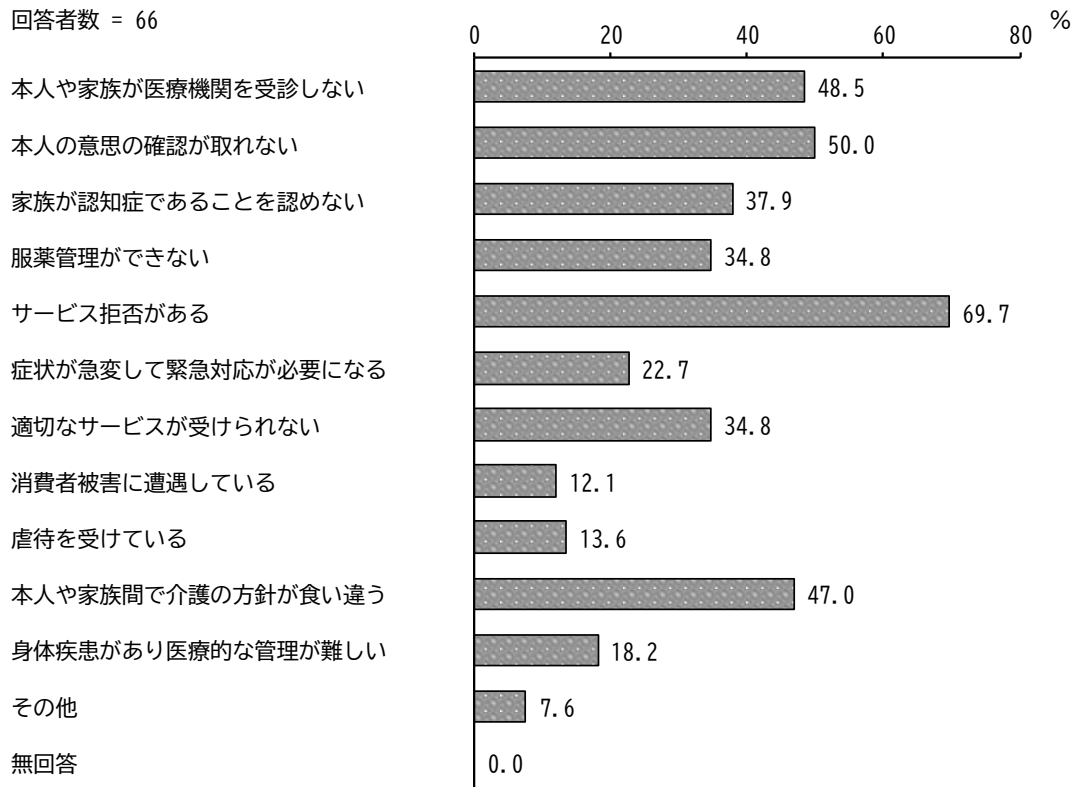
回答者数 = 66



8. 認知症の介護支援について

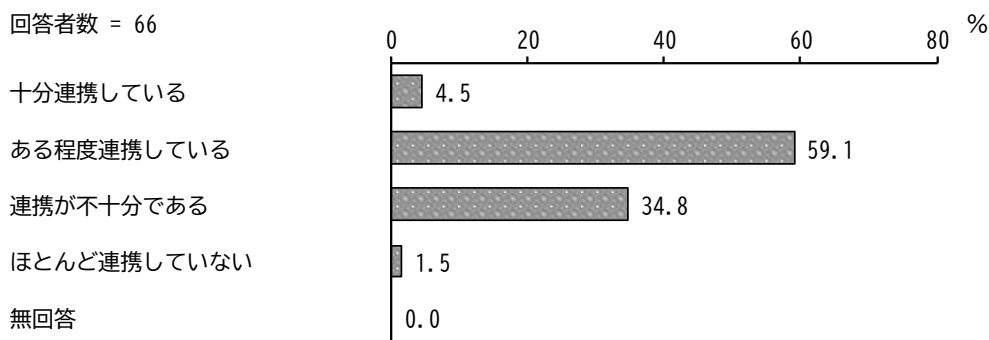
問 38 担当する認知症の方の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。(いくつでも○)

「サービス拒否がある」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「本人の意思の確認が取れない」の割合が 50.0%、「本人や家族が医療機関を受診しない」の割合が 48.5%となっています。



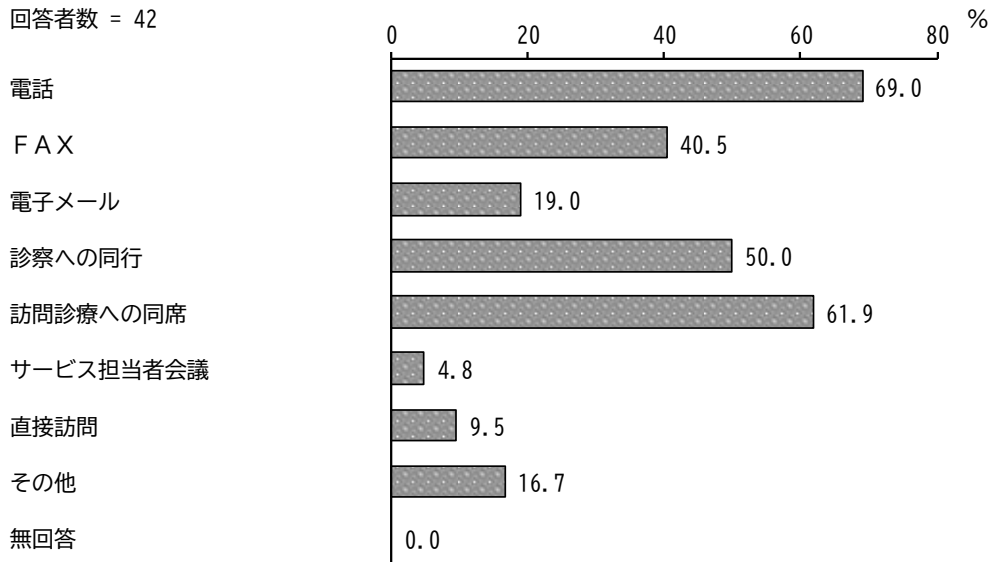
問 39 認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医と十分連携していると思いますか。(1つに○)

「ある程度連携している」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「連携が不十分である」の割合が 34.8%となっています。



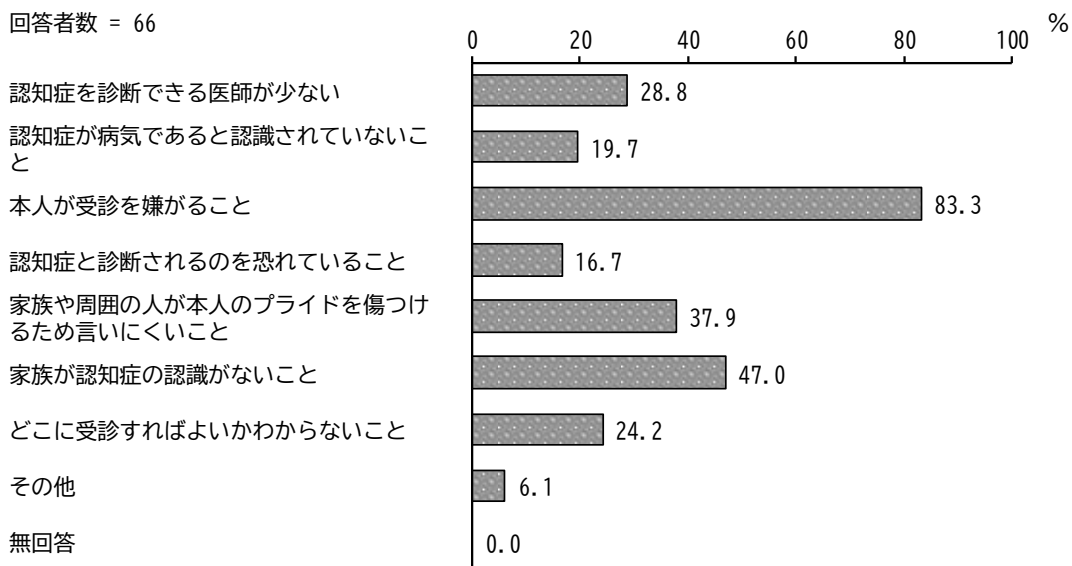
問 39-1 問 39 で「十分連携している」「ある程度連携している」と答えた方におたずねします。医療機関やかかりつけ医との情報交換方法は何か。(いくつでも○)

「電話」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「訪問診療への同席」の割合が 61.9%、「診察への同行」の割合が 50.0%となっています。



問 40 認知症の早期受診が進まない原因は、次のどれだと思いますか。(3つまで○)

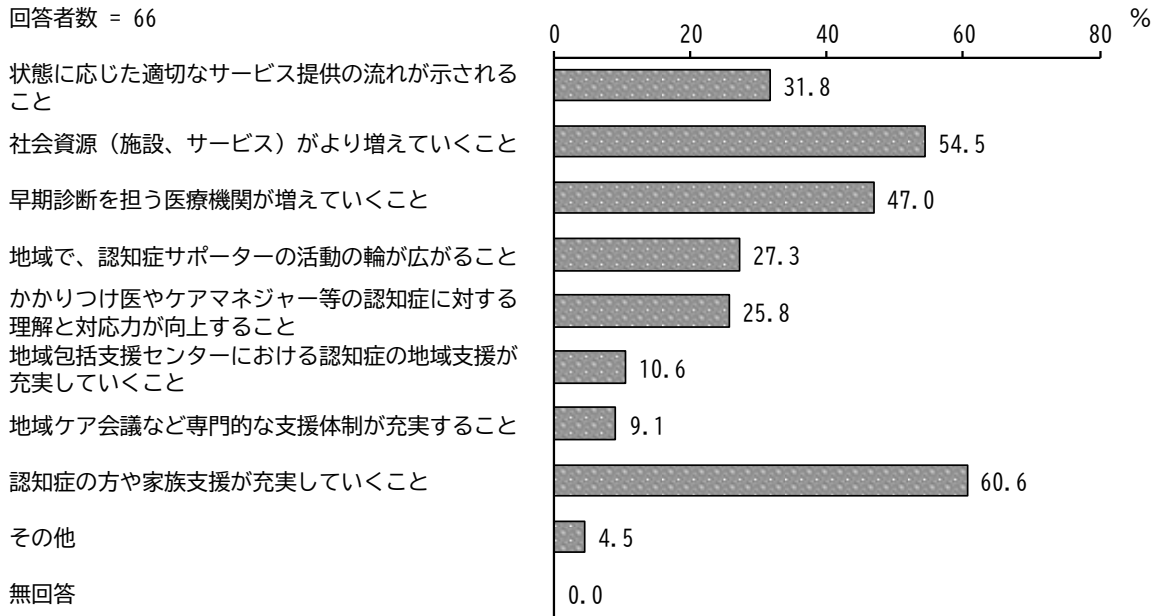
「本人が受診を嫌がること」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「家族が認知症の認識がないこと」の割合が 47.0%、「家族や周囲の人が本人のプライドを傷つけるため言いにくいこと」の割合が 37.9%となっています。



問 41 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。
(3つまで○)

「認知症の方や家族支援が充実していくこと」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」の割合が 54.5%、「早期診断を担う医療機関が増えていくこと」の割合が 47.0%となっています。

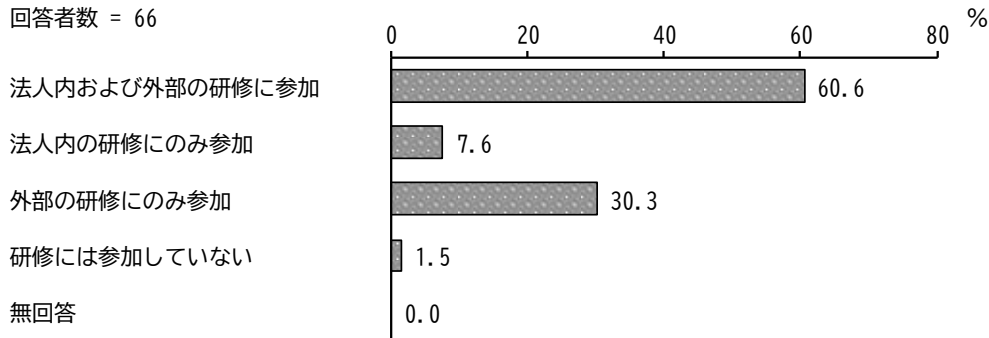
回答者数 = 66



9. ケアマネジメントの質の向上について

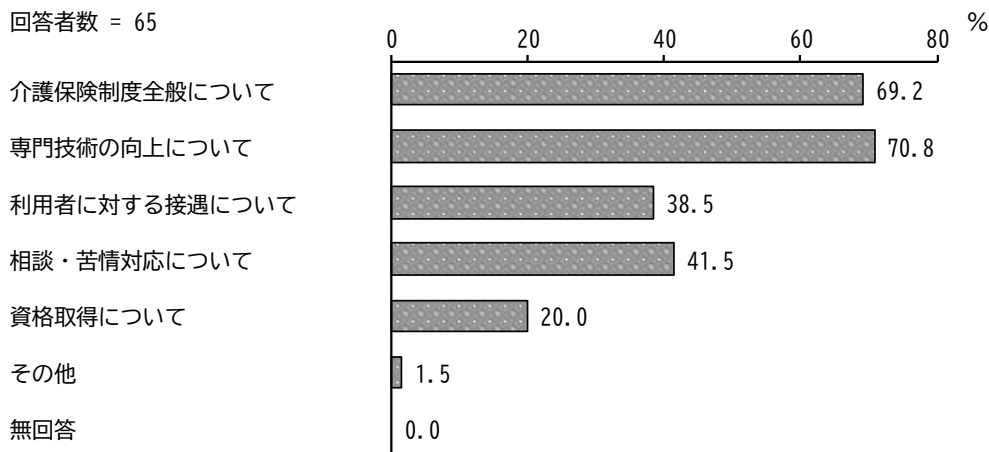
問 42 サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。(1つに○)

「法人内および外部の研修に参加」の割合が60.6%と最も高く、次いで「外部の研修にのみ参加」の割合が30.3%となっています。



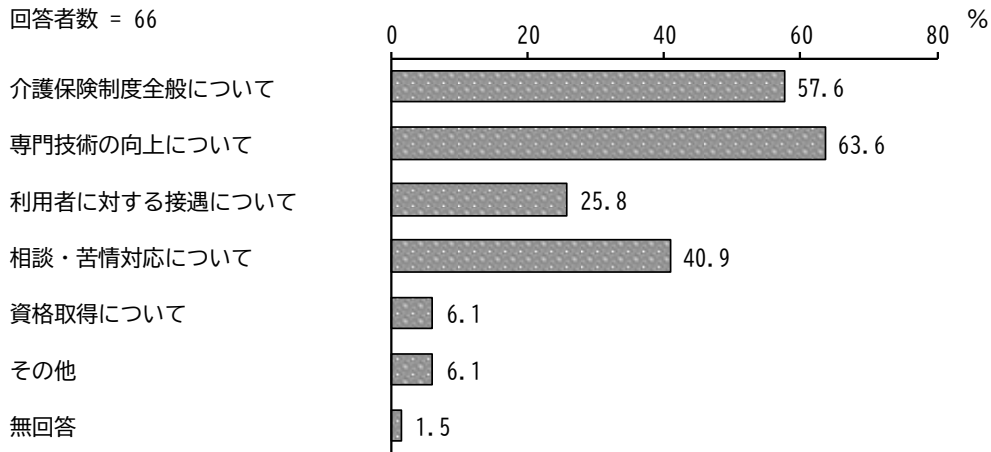
問 43 参加した研修の内容にはどのようなものがありますか。(いくつでも○)

「専門技術の向上について」の割合が70.8%と最も高く、次いで「介護保険制度全般について」の割合が69.2%、「相談・苦情対応について」の割合が41.5%となっています。



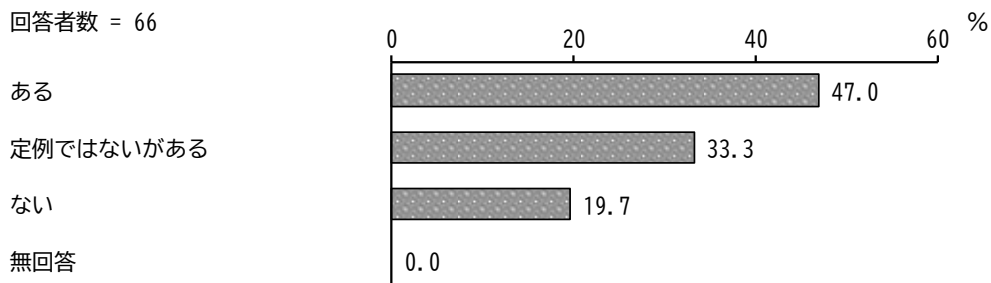
問 44 研修で取り上げてほしい内容にはどのようなものがありますか。(いくつでも○)

「専門技術の向上について」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「介護保険制度全般について」の割合が 57.6%、「相談・苦情対応について」の割合が 40.9%となっています。



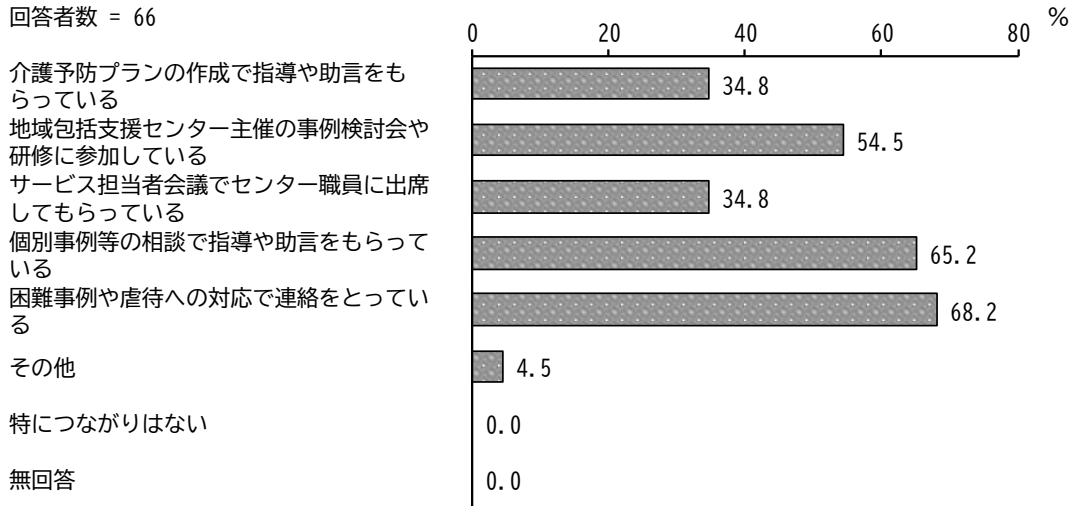
問 45 事業所内では、定例的な研修や勉強会はありますか。(1つに○)

「ある」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「定例ではないがある」の割合が 33.3%、「ない」の割合が 19.7%となっています。



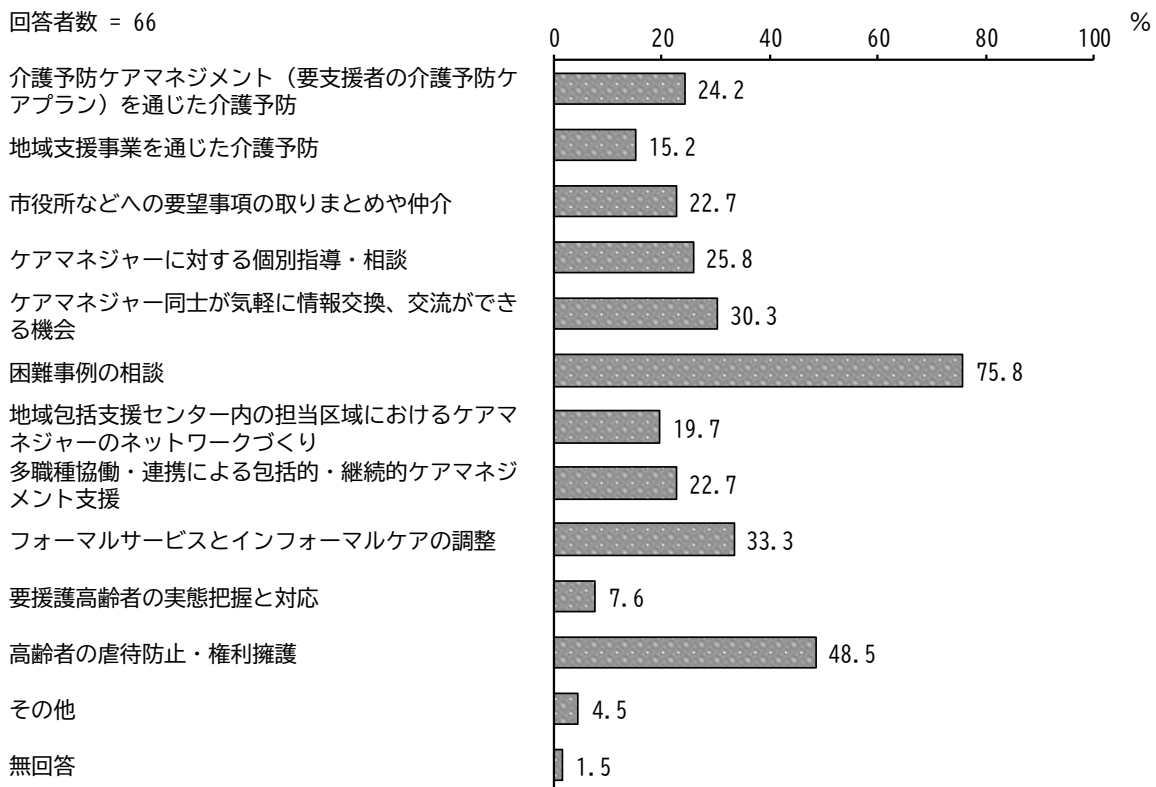
問 46 地域包括支援センターとのつながりはありますか。(いくつでも○)

「困難事例や虐待への対応で連絡をとっている」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「個別事例等の相談で指導や助言をもらっている」の割合が 65.2%、「地域包括支援センター主催の事例検討会や研修に参加している」の割合が 54.5%となっています。



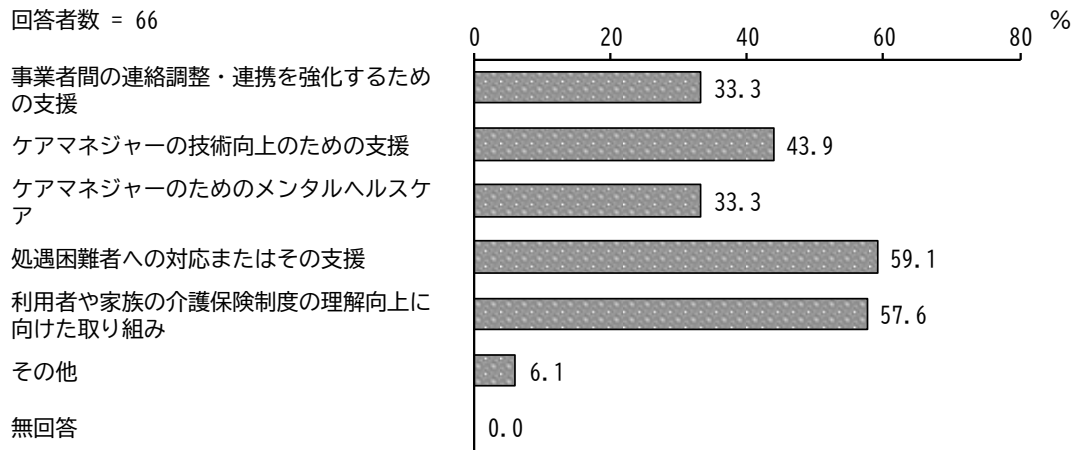
問 47 今後、地域包括支援センターへ期待することは何ですか。(いくつでも○)

「困難事例の相談」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「高齢者の虐待防止・権利擁護」の割合が 48.5%、「フォーマルサービスとインフォーマルケアの調整」の割合が 33.3%となっています。



問 48 ケアマネジャーに求められる中立性・独立性を確保するために、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも○)

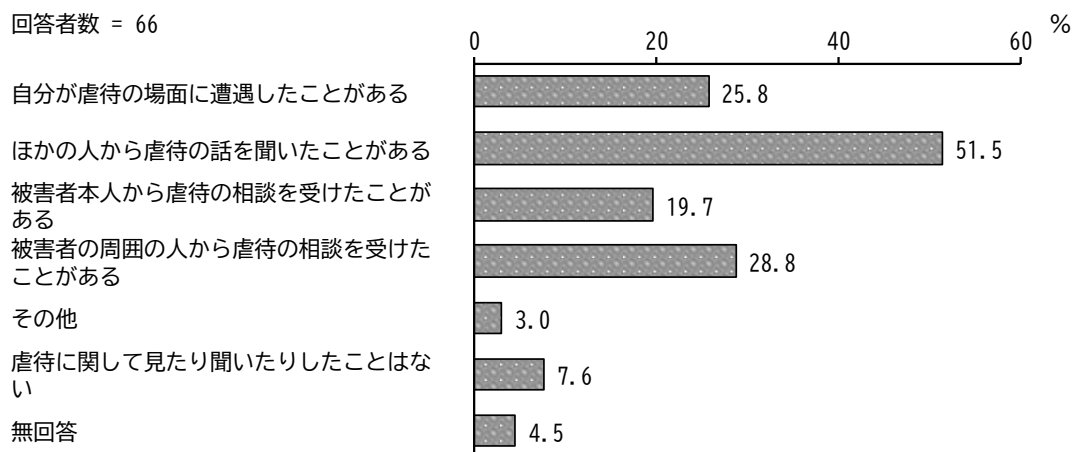
「処遇困難者への対応またはその支援」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み」の割合が 57.6%、「ケアマネジャーの技術向上のための支援」の割合が 43.9%となっています。



10. 高齢者の虐待について

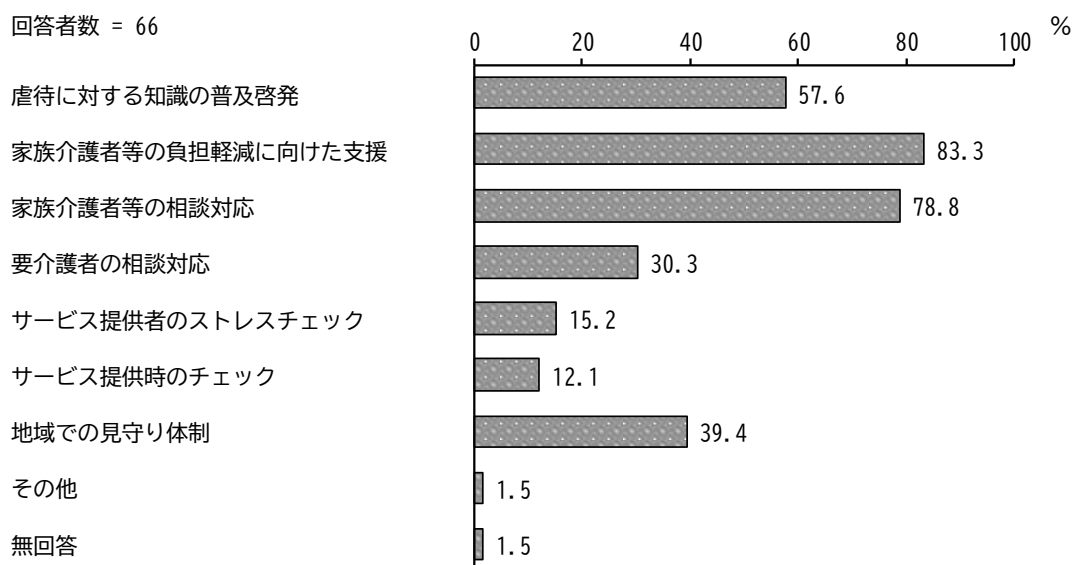
問 49 これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。(いくつでも○)

「ほかの人から虐待の話を聞いたことがある」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある」の割合が 28.8%、「自分が虐待の場面に遭遇したことがある」の割合が 25.8%となっています。



問 50 専門職の立場からみて、高齢者虐待を未然に防ぐために必要なことは何だとお考えですか。(いくつでも○)

「家族介護者等の負担軽減に向けた支援」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「家族介護者等の相談対応」の割合が 78.8%、「虐待に対する知識の普及啓発」の割合が 57.6%となっています。

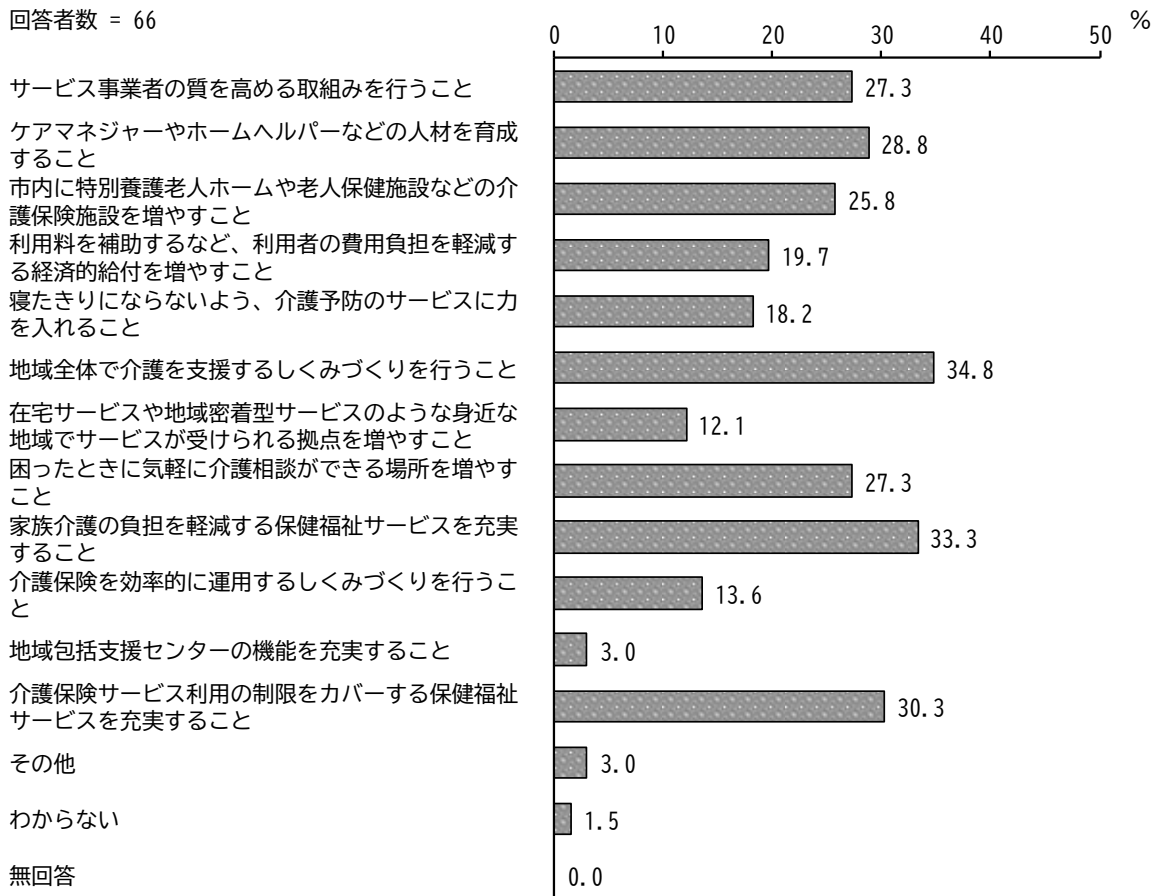


11. 今後の介護サービス、高齢者福祉について

問 51 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで○)

「地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること」の割合が 33.3%、「介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること」の割合が 30.3%となっています。

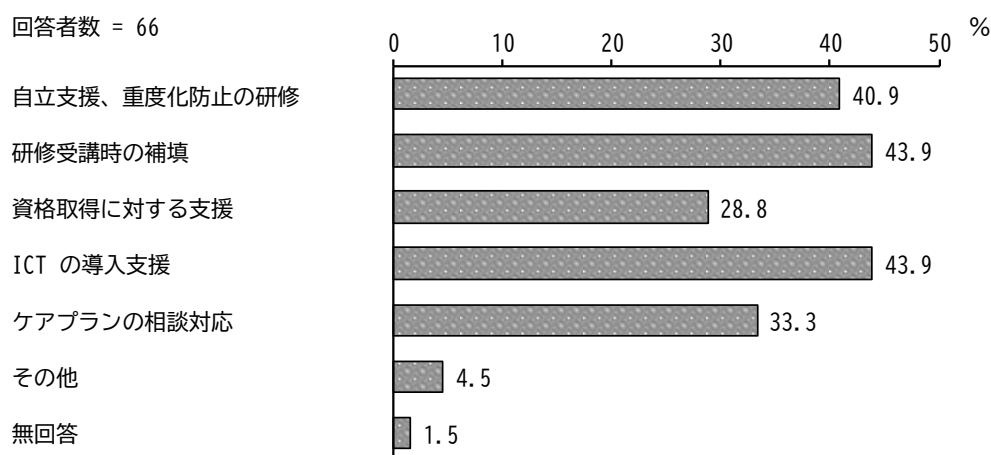
回答者数 = 66



12. その他・市への要望について

問 52 今後、ケアマネジャーの人材育成等について、市に支援をしてほしいことはなんですか。(いくつでも○)

「研修受講時の補填」、「ICT の導入支援」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「自立支援、重度化防止の研修」の割合が 40.9%となっています。



問 53 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ケアマネジャーの育成を心がけてほしいです。あとはケアマネジャー業務の理解、処遇等を早めに取り入れてください。
- ・居宅介護支援にむけて集団指導などあるといいかと思えます。
- ・夜間対応型訪問介護を市内で担ってくださる事業所を見つけて頂きたいです。
- ・ケアマネジャーという職種が浸透していると実感しているが、その一方で業務外のことを要望されることが多くなっている。その一つ一つが負担になってきている。またお一人のケアマネジメントに係る時間が長期化している。高齢者福祉に携わる人が減少し、受験資格として、経験年数が必要なケアマネジャーがますます減少している。人材育成やサポートということが必要ではないかと感じている。
- ・社会福祉協議会を利用するために時間がかかる。軽度認知症の高齢者に対して、書類の確認や記入支援のサービスが充実すると思う。
- ・介護保険以外のことでのケアマネへの要望を辞めて欲しい。
- ・市役所にてタブレットをレンタルで持たせ、本人の病気や利用しているサービスなどが入力されている（アプリなどにより）と介護医療の連携も図れるツールになる。また、支援によりネットでの買い物が出来るなど、家族が居ない人は何か一つ買うのも大変な状況なので、そんな事ができると良い。
- ・ケアマネジャー研修を主任ケアマネに絞らず、底上げということを意識してほしい。
- ・いつでもどこでも、知りたい情報や相談などが出来るシステムが欲しい
- ・夜間や緊急時に救急車を呼ばないでよいように、夜間対応型訪問介護や、随時対応型訪問介護看護事業所を作ってほしい。 周辺の市にある事業所はほぼ小金井市まで対応してくれない。作っただけではなく、利用方法などの教育を行い、事業が継続して行けるような取り組みもしてほしい。
- ・インフォーマル支援の充実

(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。